

**平成 29 年度実施  
西東京市の障害者福祉に関する調査報告書**

平成 30 年 3 月

西東京市



# 目次

I 平成 29 年度実施 西東京市の障害者福祉に関する調査実施概要	1
1 調査目的	1
2 調査対象	1
3 調査時期	1
4 調査方法	1
5 回収状況	1
6 調査項目	2
II 調査結果	7
1 身体障害者	7
（1）基本的な属性	7
（2）障害状況	9
（3）介助・援助の状況	11
（4）日中の過ごし方や外出の状況・社会参加状況	13
（5）将来の希望	19
（6）雇用・就労について	21
（7）障害者施設・施策について	26
（8）相談や情報入手方法	27
（9）福祉サービス認知・利用状況	30
（10）災害対策について	36
（11）障害・障害者への理解	40
（12）障害者施策、市への要望等	42
2 知的障害者	49
（1）基本的な属性	49
（2）障害状況	51
（3）介助・援助の状況	53
（4）日中の過ごし方や外出の状況・社会参加状況	54
（5）将来の希望	60
（6）雇用・就労について	62
（7）障害者施設・施策について	66
（8）相談や情報入手方法	67
（9）福祉サービス認知・利用状況	69
（10）災害対策について	74
（11）障害・障害者への理解	76
（12）障害者施策、市への要望等	78
3 精神障害者	83
（1）基本的な属性	83
（2）障害状況	84
（3）介助・援助の状況	86

(4) 日中の過ごし方や外出の状況・社会参加状況 .....	87
(5) 将来の希望 .....	92
(6) 雇用・就労について .....	94
(7) 障害者施設・施策について .....	99
(8) 相談や情報入手方法 .....	99
(9) 福祉サービス認知・利用状況 .....	102
(10) 災害対策について .....	106
(11) 障害・障害者への理解 .....	108
(12) 障害者施策、市への要望等 .....	110
4 難病患者 .....	115
(1) 基本的な属性 .....	115
(2) 障害状況 .....	116
(3) 介助・援助の状況 .....	118
(4) 日中の過ごし方や外出の状況・社会参加状況 .....	120
(5) 将来の希望 .....	126
(6) 雇用・就労について .....	128
(7) 障害者施設・施策について .....	132
(8) 相談や情報入手方法 .....	133
(9) 福祉サービス認知・利用状況 .....	135
(10) 災害対策について .....	140
(11) 障害・障害者への理解 .....	143
(12) 障害者施策、市への要望等 .....	145
5 施設入所者 .....	149
(1) 基本的な属性 .....	149
(2) 障害・入所状況 .....	150
(3) 日中の過ごし方や外出の状況・社会参加状況 .....	151
(4) 将来の希望 .....	156
(5) 雇用・就労について .....	159
(6) 障害者施設・施策について .....	160
(7) 相談や情報入手方法 .....	161
(8) 障害・障害者への理解 .....	162
(9) 障害者施策、市への要望等 .....	164
6 児童 .....	167
(1) 基本的な属性 .....	167
(2) 障害状況 .....	169
(3) 介助・援助の状況 .....	170
(4) 日中の過ごし方や外出の状況・社会参加状況 .....	171
(5) 将来の希望 .....	176
(6) 通園・通学等について .....	178
(7) 雇用・就労について .....	183

(8) 障害者施設・施策について .....	184
(9) 相談や情報入手方法.....	185
(10) 福祉サービス認知・利用状況 .....	188
(11) 災害対策について .....	195
(12) 障害・障害者への理解 .....	198
(13) 障害者施策、市への要望等 .....	199
7 特別支援教室・通級指導学級 .....	205
(1) 基本的な属性 .....	205
(2) 障害状況.....	206
(3) 外出の状況・社会参加状況 .....	206
(4) 通園・通学等について.....	207
(5) 障害者施設・施策について .....	209
(6) 相談や情報入手方法.....	210
(7) 福祉サービス認知・利用状況 .....	213
(8) 災害対策について .....	217
(9) 障害・障害者への理解.....	218
(10) 障害者施策、市への要望等 .....	220
8 相談支援機関利用者 .....	223
(1) 基本的な属性 .....	223
(2) 障害状況.....	224
(3) 介助・援助の状況 .....	227
(4) 日中の過ごし方や外出の状況・社会参加状況 .....	228
(5) 将来の希望.....	231
(6) 通園・通学等について.....	233
(7) 雇用・就労について.....	235
(8) 障害者施設・施策について .....	237
(9) 相談や情報入手方法.....	238
(10) 福祉サービス認知・利用状況 .....	240
(11) 災害対策について.....	241
(12) 障害・障害者への理解 .....	242
(13) 障害者施策、市への要望等 .....	245
Ⅲ 事業所・団体ヒアリング結果 .....	249
1 事業所ヒアリング結果.....	249
2 団体ヒアリング結果 .....	258
Ⅳ 資料.....	261



## I 平成 29 年度実施 西東京市の障害者福祉に関する調査実施概要

### 1 調査目的

第 5 期西東京市障害福祉計画・第 1 期西東京市障害児福祉計画策定の基礎資料とするため、市内に在住する障害者および児童、特別支援教室・通級指導学級に通う生徒・児童、相談支援機関利用者の福祉サービス利用状況・利用意向等を把握する。

なお、西東京市の障害者施策全般について定める「西東京市障害者基本計画（計画期間 平成 26 年度から平成 35 年度）」の進捗状況等を踏まえ、5 年めにあたる平成 30 年度に、中間年の見直しを行うことが予定されていることから、次年度の計画改訂にも資する内容として実施した。

### 2 調査対象

身体障害者調査	市内在住の身体障害者手帳所持者／無作為抽出
知的障害者調査	市内在住の愛の手帳（療育手帳）所持者／無作為抽出
精神障害者調査	市内在住の精神障害者保健福祉手帳所持者／無作為抽出
難病患者調査	市内在住の難病医療費等助成対象者／無作為抽出
施設入所者調査	西東京市に住所登録があり市内外の障害者施設入所者／無作為抽出
児童調査	市内在住の障害手帳所持児童・難病医療費等助成対象児童／無作為抽出
特別支援教室・通級指導学級調査	市内の特別支援教室・通級指導学級に通う児童・生徒／学校配布
相談支援機関利用者調査	市内相談支援機関利用者（8 か所）／窓口配布

※いずれの対象者とも平成 29 年 7 月時点での抽出・配布

### 3 調査時期

平成 29 年 7 月～9 月

### 4 調査方法

郵送配付・郵送回収

※特別支援教室・通級指導学級に通う児童・生徒には学校を通じて配布し、郵送回収。相談支援機関利用者には、相談機関に来所した際、調査協力を賛同した者のみに配布し、郵送回収。

### 5 回収状況

調査種類	発送数	有効回収票数	有効回収率
身体障害者調査	910	456	50.1%
知的障害者調査	215	96	44.7%
精神障害者調査	240	86	35.8%
難病患者調査	220	104	47.3%
施設入所者調査	85	53	62.4%
児童調査	330	149	45.2%
特別支援教室・通級指導学級調査	100	46	46.0%
相談支援機関利用者調査	100	52	52.0%
合 計	2,200	1,042	47.4%

## 6 調査項目

設問	回答形式	身体障害	知的障害	精神障害	難病	施設入所	児童	通級等に 通う児童・生徒	相談支援 機関利用者等
調査票記入者	単一	問 1	問 1	問 1	問 1	問 1	問 1	問 1	問 2
相談支援機関 相談対象者	—	—	—	—	—	—	—	—	問 1
性別	単一	問 2	問 2	問 2	問 2	問 2	問 2	問 2	問 3
年齢	数値	問 3	問 3	問 3	問 3	問 3	問 3	問 3	問 4
暮らしている場所	単一	問 4	問 4	問 4	問 4	—	問 4	—	—
同居者	複数	問 5	問 5	問 5	問 5	—	問 5	—	—
通級指導学級に通 うきっかけ		—	—	—	—	—	—	問 4	—
障害者手帳記載の 障害種類・等級など	複数・ 単一	問 6	問 6	問 6	—	—	—	—	—
その他の障害の状況	複数	問 7	問 7	問 7	問 6	問 4	問 6	問 5	問 5
発達障害診断の有無		—	—	—	—	—	—	—	問 6
【発達障害診断 有】日常生活上での支障	自由	—	—	—	—	—	—	—	問 7
【発達障害診断有】 日常生活上での支障 の際に必要な支援	自由	—	—	—	—	—	—	—	問 8
要介護認定状況・ 介護度	単一	問 8	問 8	—	問 7	—	—	—	—
手当・年金の使いみち	単一	問 9	問 9	問 8	問 8	—	問 7	—	—
特定医療費受給者 証記載の難病名	自由	—	—	—	問 9	—	—	—	—
難病治療のための 通院頻度	単一	—	—	—	問 10	—	—	—	—
医療的ケアの状況	複数	—	—	—	問 11	—	—	—	—
日常生活での困りごと	複数	—	—	—	—	—	—	—	問 9
介助・援助を受け ている内容	複数	問 10	問 10	問 9	問 12	—	問 8	—	—
主な介助・援助者	単一	問 11	問 11	問 10	問 13	—	問 9	—	—
外出頻度	単一	問 12	問 12	問 11	問 14	問 7	問 10	—	—
外出の際の支援の 必要性	単一	問 13	問 13	問 12	問 15	—	—	—	—
外出時に困ってい ること	複数	問 14	問 14	問 13	問 16	問 8	問 11	問 6	問 10
直近 1 年間に行っ た活動	複数	問 15	問 15	問 14	問 17	問 9	問 12	—	問 11
【スポーツ活動有】 スポーツ活動の内容	複数	問 17	問 17	問 16	問 18	問 11	問 13	—	—
【選挙投票経験有】 選挙の投票の際の困 りごとや改善してほ しいこと	自由	問 16	問 16	問 15	問 19	問 10	—	—	—

設問	回答形式	身体障害	知的障害	精神障害	難病	施設入所	児童	通級等に 通う児童・生徒	相談支援 機関利用者等
【活動有】活動するために移動支援等のヘルパー利用の有無	単一	問 18	問 18	問 17	問 20	—	問 14	—	—
今後、行いたい活動	複数	問 19	問 19	問 18	問 21	問 12	問 15	—	問 12
活動するために必要な支援	複数	問 20	問 20	問 19	問 22	問 13	問 16	—	問 13
日中の主な過ごし方	単一	問 21	問 21	問 20	問 23	問 14	問 17	—	問 14
入所期間	単一	—	—	—	—	問 5	—	—	—
入所を決めた理由	複数	—	—	—	—	問 6	—	—	—
地域生活についての意向	単一	—	—	—	—	問 20	—	—	—
【地域生活希望者】退所後の不安	複数	—	—	—	—	問 21	—	—	—
退所後に必要となる支援	自由	—	—	—	—	問 22	—	—	—
【施設生活継続希望者】施設での生活を継続したい理由	複数	—	—	—	—	問 23	—	—	—
通園・通学先	単一	—	—	—	—	—	問 18	—	問 15
幼稚園・学校などに通っていて困っていること	複数	—	—	—	—	—	問 19	問 7	問 16
学童クラブ利用状況	単一	—	—	—	—	—	問 20	問 9	—
【学童クラブ利用者】利用で困ること	複数	—	—	—	—	—	問 21	問 10	—
放課後や長期休業中の過ごし方	複数	—	—	—	—	—	問 22	—	—
放課後や長期休業中に希望する過ごし方	複数	—	—	—	—	—	問 23	—	—
学校教育に望むこと	複数	—	—	—	—	—	問 24	問 8	問 17
収入を伴う仕事の有無	単一	問 22	問 22	問 21	問 24	問 15	—	—	問 18
【収入を伴う仕事有】就職活動時の支援の有無	複数	問 23	問 23	問 22	問 25	—	—	—	—
【収入を伴う仕事有】仕事の形態	単一	問 24	問 24	問 23	問 26	—	—	—	問 19
【収入を伴う仕事有】1ヵ月当たりの平均的給与・賃金	数値	問 25	問 25	問 24	問 27	—	—	—	問 20
【収入を伴う仕事有】仕事をする上で困っていること	複数	問 26	問 26	問 25	問 28	—	—	—	問 21
【収入を伴う仕事無】働いていない理由	単一	問 27	問 27	問 26	問 29	—	—	—	問 22

< I 調査結果概要 >

設問	回答形式	身体障害	知的障害	精神障害	難病	施設入所	児童	通級等に 通う児童・生徒	相談支援 機関利用者等
働くために整備されていることが望ましい環境	複数	—	—	—	—	—	問 25	—	—
雇用促進のために不足していると思われるサービスや取組み	複数	問 28	問 28	問 27	問 30	—	—	—	—
【収入を伴う仕事無】今後の就労意向	単一	—	—	—	—	問 16	—	—	—
IT/ドリー認知状況	単一	問 29	問 29	問 28	問 31	—	問 26	問 11	問 23
市の各福祉施設の利用状況（5施設）	単一	問 30	問 30	問 29	問 32	問 17	問 27	問 12	問 24
市の障害福祉施策の認知度	複数	問 31	問 31	問 30	問 33	問 18	問 28	問 13	問 25
家族や親せき以外の相談先	複数	問 32	問 32	問 31	問 34	—	問 29	問 14	問 26
【相談者、相談するところ無】相談できるところがない理由	複数	問 33	問 33	問 32	問 35	—	問 30	—	—
家族や親せき以外に希望する相談先、相談するために整っているとよい体制	自由	—	—	—	—	—	—	問 15	—
障害福祉サービスの情報入手先	複数	問 34	問 34	問 33	問 36	問 19	問 31	問 16	問 27
【視覚・聴覚】コミュニケーションや情報入手で困ること	複数	問 35	—	—	—	—	—	—	—
【視覚・聴覚】コミュニケーションや情報入手に際するとよいサービス	自由	問 36	—	—	—	—	—	—	—
障害福祉サービスの利用に関する相談先	複数	—	—	—	—	—	問 32	—	—
地域で生活していく上で必要なもの	複数	—	—	問 34	—	—	—	—	—
利用経験（認知有*）のあるサービス	複数	問 37	問 35	問 35	問 37	—	問 33	問 17*	問 28*
【児童発達支援利用者】個別支援計画の共有	単一	—	—	—	—	—	問 33	—	—
【利用有】利用サービスの利用感想	自由	問 38	問 36	問 36	問 38	—	問 34	問 18	—

設問	回答形式	身体障害	知的障害	精神障害	難病	施設入所	児童	通級等に 通う児童・生徒	相談支援 機関利用者等
十分、利用できていないと思うサービス	複数	問 39	問 37	問 37	問 39	—	問 35	—	—
【利用不十分者】 十分利用できていない理由	複数	問 40	問 38	問 38	問 40	—	問 36	問 19 ※全員回答	—
今後利用したいサービス	複数	問 41	問 39	問 39	問 41	—	問 37	問 20	—
今後充実させてほしいサービス	複数	—	—	—	—	—	—	問 21	—
【65歳以上】過去1 年間での介護保険サ ービスの利用状況	複数	問 42	問 40	—	問 42	—	—	—	—
【障害福祉サービ ス、介護保険サー ビス利用有】必要なサ ービス利用状況	複数	問 43	問 41	—	問 43	—	—	—	—
サービスを利用しや すくするために必要 な情報や相談先、利 用のための支援	自由	問 44	問 42	問 40	問 44	—	問 38	問 22	—
新たなサービスの 利用意向	単一	問 45	問 43	問 41	問 45	—	問 39	—	—
避難場所の認知状況	単一	問 46	問 44	問 42	問 46	—	問 40	問 23	問 29
福祉避難施設の認 知状況	単一	問 47	問 45	問 43	問 47	—	問 41	—	—
災害時要援護者登 録の認知状況	単一	問 48	問 46	問 44	問 48	—	問 42	問 24	問 30
災害時支援のための 個人情報提供意向	単一	問 49	問 47	問 45	問 49	—	問 43	—	—
災害時の自力避難可 否	単一	問 50	問 48	問 46	問 50	—	問 44	問 25	問 31
災害が起こった際の 不安	複数	問 51	問 49	問 47	問 51	—	問 45	問 26	問 32
災害に備えた必要な 対策	複数	問 52	問 50	問 48	問 52	—	問 46	問 27	問 33
今後希望する日中の 過ごし方	複数	問 53	問 51	問 49	問 53	—	問 47	—	問 34
将来希望する暮らし 方（居住場所等）	複数	問 54	問 52	問 50	問 54	—	問 48	—	問 35
成年後見制度の認知 状況	単一	問 55	問 53	問 51	問 55	問 24	問 49	—	問 40
成年後見制度の活用 意向	単一	問 56	問 54	問 52	問 56	問 25	問 50	—	問 41
差別や人権侵害、虐 待を受けていると感 じることの有無	単一	問 57	問 55	問 53	問 57	問 26	問 51	問 28	問 36

< I 調査結果概要 >

設問	回答形式	身体障害	知的障害	精神障害	難病	施設入所	児童	通級等に 通う児童・生徒	相談支援 機関利用者等
障害者差別解消法の認知	単一	問 58	問 56	問 54	問 58	問 27	—	—	—
障害、障害者の理解	単一	問 59	問 57	問 55	問 59	問 28	問 52	問 29	問 37
障害、障害者の理解の深化に必要なこと	複数	問 60	問 58	問 56	問 60	問 29	問 53	問 30	問 39
地域や社会へ参加するために大切なこと	複数	—	—	—	—	—	—	—	問 38
施策推進にあたり市に充実を求めるもの	複数	問 61	問 59	問 57	問 61	問 30	問 54	問 31	問 42
西東京市の障害者施策の総合満足度	単一	問 62	問 60	問 58	問 62	—	問 55	—	—
5年前と比べた障害サービス	単一	問 63	問 61	問 59	問 63	—	問 56	—	問 43
5年前と比べた障害サービス回答理由	自由	問 64	問 62	問 60	問 64	—	問 57	—	問 44
西東京市での継続居留意向	単一	問 65	問 63	問 61	問 65	問 31	問 58	問 32	問 45
意見、要望、計画に盛り込みたいこと	自由	問 66	問 64	問 62	問 66	問 32	問 59	問 33	問 46

**【報告書における調査結果の見方】**

- 調査結果の数値は、回答率(%)で表示している。回答率(%)の母数は、その質問項目に該当する回答者の総数であり、その数はTOTAL及びnで示している。
- 回答率(%)については、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示している。このため、その合計数値は必ずしも100%とはならない場合がある。
- 回答には、単一回答(○は1つ)と複数回答(○はいくつでも)の2種類がある。複数回答の場合、その回答率(%)の合計は100%を超える場合がある。
- 調査結果を示した図表においては、表側から「無回答」等の項目を省略している場合がある。このような場合、「無回答」の人数(割合)はTOTALのみに計上されているため、各項目の合計値は必ずしも100%とならない場合がある。
- 図表の問のタイトル及び、回答の選択肢は、簡略化して表現している場合がある。正式な問のタイトル及び、回答の選択肢は、調査票を参照されたい。
- 自由回答を掲載する場合は、性別・年齢・障害の種類(身体障害者調査のみ)も掲載しているが、紙面の都合上、以下のように省略して表記している。  
「視覚障害」→「視覚」／「聴覚障害」→「聴覚」／「平衡機能障害」→「平衡」／「音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害」→「音声」／「肢体不自由(上肢、下肢、体幹)」→「肢体不自由」／「内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、肝臓の機能の障害)」→「内部」

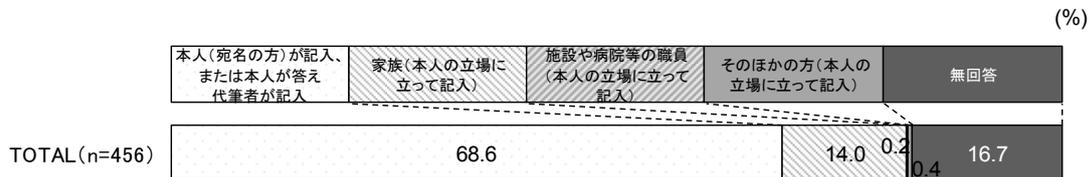
## II 調査結果

### 1 身体障害者

#### (1) 基本的な属性

問1 この用紙（調査票）に記入されるのはどなたですか。（○は1つ）

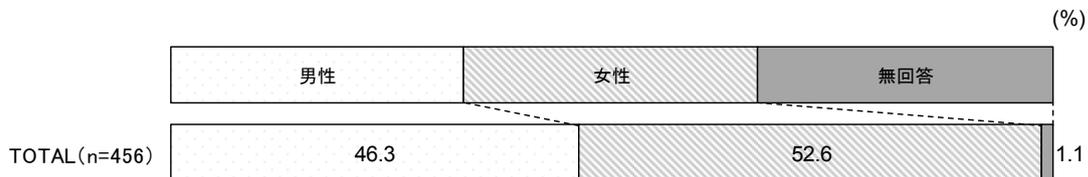
調査票記入者は「本人（宛名の方）が記入、または本人が答え代筆者が記入」が68.6%。



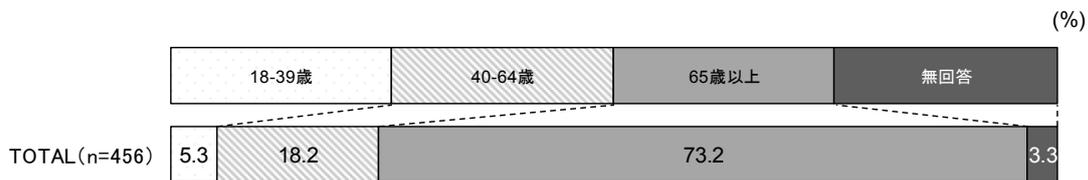
問2 あなたの性別をお答えください。（○は1つ）

問3 年齢（8月1日現在）を記入してください。

性別は、男性が46.3%、女性が52.6%。



年齢は、65歳以上が73.2%で平均年齢は71.5歳。



(%)

TOTAL	19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答	平均年齢
n=456	0.2	2.6	2.4	4.6	7.9	17.3	61.6	3.3	71.5歳

問4 現在、あなたはどこで暮らしていますか。（○は1つ）

居住形態は、「持ち家（分譲マンションを含む）」が65.1%で最も多く、次いで、賃貸住宅（アパート、賃貸マンション、借家）」が27.6%である。

(%)

TOTAL	持ち家(分譲マンションを含む)	賃貸住宅(アパート、賃貸マンション、借家)	グループホーム、ケアホーム、福祉ホーム	福祉施設(障害者支援施設、高齢者支援施設)	入院している	その他	無回答
n=456	65.1	27.6	1.1	2.6	1.3	0.7	1.5

< II 1 身体障害者調査 >

問5 どなたと一緒に暮らしていますか。(〇はいくつでも)

同居者は、「配偶者(夫または妻)」が51.8%で最も高く、「子ども(子どもの配偶者も含む)」が31.1%で続いている。

年代別にみると、40代の28.6%、60代の26.6%が「自分ひとりだけで暮らしている」と回答しており、他の年代に比べ高い。50代以上では「配偶者(夫または妻)」が半数を超えている。

(%)

	n=	自分ひとりだけで暮らしている	配偶者 (夫または妻)	子ども (子どもの配偶者も含む)	父親	母親	祖父	祖母	兄弟、 姉妹	その他の親せき	福祉施設の職員や 仲間	その他	無回答
TOTAL	456	19.1	51.8	31.1	5.5	8.6	0.7	0.4	4.8	1.1	3.1	1.3	1.5
19歳以下	1	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	12	8.3	0.0	0.0	83.3	83.3	25.0	16.7	50.0	0.0	8.3	0.0	0.0
30代	11	0.0	54.5	27.3	45.5	45.5	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0
40代	21	28.6	28.6	33.3	19.0	28.6	0.0	0.0	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0
50代	36	16.7	55.6	30.6	5.6	27.8	0.0	0.0	8.3	5.6	0.0	0.0	0.0
60代	79	26.6	59.5	31.6	1.3	6.3	0.0	0.0	5.1	1.3	0.0	0.0	0.0
70歳以上	281	18.1	54.1	33.1	0.4	0.4	0.0	0.0	1.8	0.7	4.3	2.1	1.1
無回答	15	13.3	33.3	20.0	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	26.7

**(2) 障害状況**

問6 身体障害者手帳に記載されている障害は次のどれですか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも) また記載されている障害の程度(等級)をお答えください。

身体障害者手帳記載の障害は、視覚障害が6.6%、聴覚障害が9.2%、平衡機能障害が1.5%、音声・言語・そしゃく機能の障害が2.4%、肢体不自由(上肢、下肢、乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害)が38.8%、肢体不自由(体幹)が10.5%、内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の機能の障害)が30.5%、内部障害(免疫、肝臓の機能の障害)が1.3%である。

(%)

n=456		1級	2級	3級	4級	5級	6級	等級不明
視覚障害	30 6.6	33.3	16.7	10.0	10.0	16.7	10.0	3.3
聴覚障害	42 9.2	—	21.4	9.5	16.7	—	35.7	16.7
平衡機能障害	7 1.5	—	—	71.4	—	14.3	—	14.3
音声・言語・そしゃく	11 2.4	—	—	63.6	27.3	—	—	9.1
肢体不自由(上肢、下肢等)	177 38.8	6.8	14.7	18.1	35.0	14.1	7.9	3.4
肢体不自由(体幹)	48 10.5	29.2	14.6	27.1	—	27.1	—	2.1
内部障害(心臓、じん臓等)	139 30.5	66.2	—	9.4	15.1	—	—	9.4
内部障害(免疫、肝臓の機能の障害)	6 1.3	33.3	50.0	0.0	16.7	—	—	0.0
わからない	9 2.0	—	—	—	—	—	—	—
無回答	24 5.3	—	—	—	—	—	—	—

※等級は、各障害に対する割合である。障害等級がないものは「—」としている。

問7 次のうち、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

身体障害者手帳以外の障害との重複状況をみると、「国または東京都が指定する難病医療費等助成対象疾病を患っている」が14.7%である。

(%)

n=		愛の手帳(療育手帳)を持っている	精神障害者保健福祉手帳を持っている	国または東京都が指定する難病医療費等助成対象疾病を患っている	高次脳機能障害と診断されたことがある	発達障害と診断されたことがある	訪問看護などの医療的ケアを受けている	あてはまるものはない	無回答
TOTAL	456	5.0	1.5	14.7	2.2	0.4	6.8	55.7	16.4
19歳以下	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	12	50.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	41.7	8.3
30代	11	9.1	0.0	27.3	9.1	0.0	18.2	45.5	27.3
40代	21	9.5	4.8	28.6	0.0	0.0	9.5	52.4	4.8
50代	36	0.0	0.0	22.2	5.6	2.8	0.0	61.1	8.3
60代	79	0.0	1.3	16.5	2.5	0.0	5.1	63.3	12.7
70歳以上	281	4.3	1.8	12.1	1.4	0.0	7.8	55.9	18.5
無回答	15	6.7	0.0	20.0	6.7	0.0	6.7	26.7	33.3

< II 1 身体障害者調査 >

問8 あなたは、介護保険の介護認定を受けていますか。受けている場合、あてはまる要介護度に○をつけてください。(○は1つ)

<回答対象者：40歳以上>

介護認定状況は、40～64歳、65歳以上とも「認定は受けていない」が最も高いが、65歳以上の9.3%が要支援、34.1%が要介護の認定を受けている。

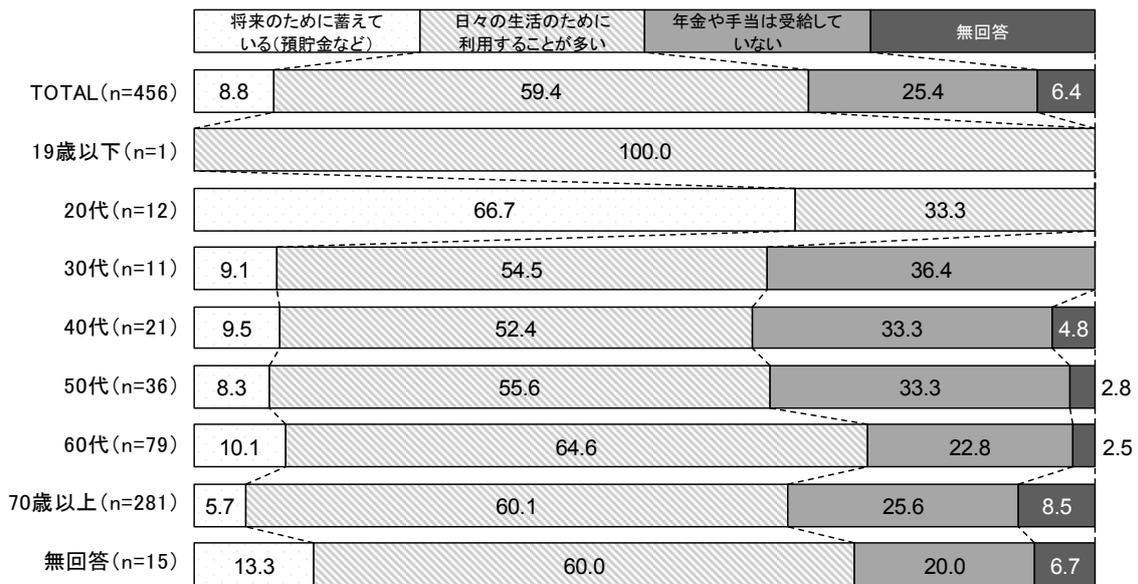
(%)

	n=	認定は受けていない	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	わからない	無回答
TOTAL	417	53.0	4.3	3.8	10.1	6.0	5.3	4.1	3.6	1.9	7.9
40-64歳	21	81.9	1.2	2.4	3.6	1.2	2.4	1.2	0.0	2.4	3.6
65歳以上	281	45.8	5.1	4.2	11.7	7.2	6.0	4.8	4.5	1.8	9.0

問9 あなたは、障害者支援の手当や年金を主にどのように利用していますか。(○は1つ)

障害者支援の手当や年金の利用状況は、「将来のために蓄えている(預貯金など)」が8.8%、「日々の生活のために利用することが多い」が59.4%、「年金や手当は受給していない」が25.4%である。

(%)

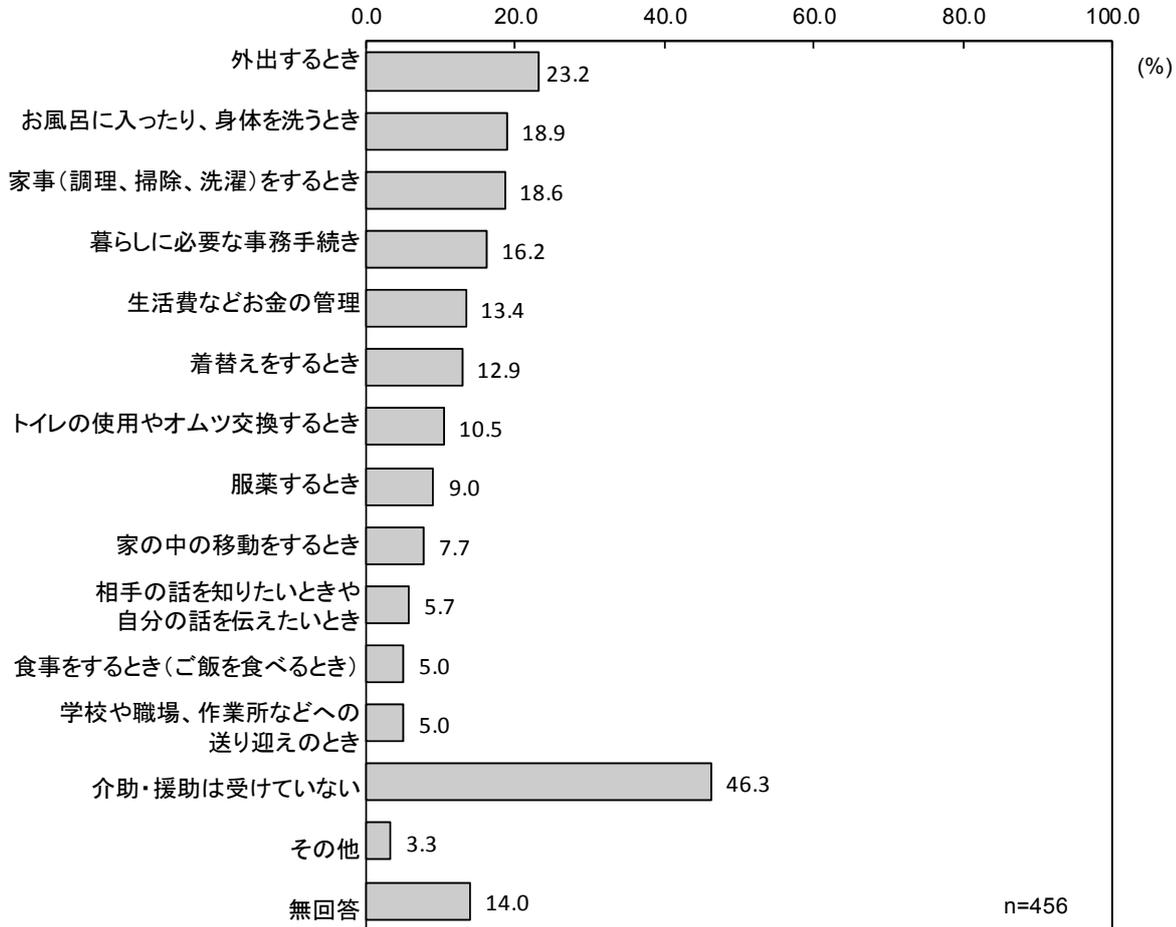


※0.0は非表示

**(3) 介助・援助の状況**

問 10 あなたは、どのようなときに介助・援助を受けていますか。(○はいくつでも)

46.3%の人が「介助・援助は受けていない」と回答しているが、介助・援助を受けている場面としては、「外出するとき」が23.2%で最も高く、次いで、「お風呂に入ったり、身体を洗うとき」が18.9%である。



< II 1 身体障害者調査 >

問 11 ふだん、あなたを主に介助・援助しているのはどなたですか。(○は1つ)

ふだん、主に介助・援助している人は「配偶者（夫、妻）」が 34.3%で最も高く、次いで、「子ども、子どもの配偶者」が 24.9%、「ホームヘルパー等の在宅サービス事業者」が 15.5%である。

年代別にみると、70歳以上では「配偶者（夫、妻）」が高い。

(%)

	n=	配偶者 (夫、妻)	子ども、 子どもの 配偶者	父親	母親	祖父	祖母	兄弟、 姉妹	その他の親せき	近所の人、 友人・知 人	ホームヘルパー等の 在宅サービス事業者	その他	無回答
TOTAL	181	34.3	24.9	3.3	6.1	0.0	0.0	2.2	2.2	0.6	15.5	8.3	2.8
19歳以下	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	7	0.0	0.0	14.3	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0
30代	6	50.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
40代	8	25.0	12.5	12.5	37.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
50代	11	27.3	9.1	9.1	18.2	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	27.3	0.0	0.0
60代	19	47.4	21.1	5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	15.8	5.3	0.0
70歳以上	119	35.3	29.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	2.5	0.0	17.6	10.9	3.4
無回答	10	30.0	40.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0

**(4) 日中の過ごし方や外出の状況・社会参加状況**

問 21 あなたは、平日（月曜日～金曜日）の日中を主にどのように過ごしていますか。（○は1つ）

平日の日中の過ごし方は、「自宅にすることが多い」が48.0%、「働いている」が16.7%である。

年代別にみると、20代では「福祉施設、作業所などに通っている」が41.7%、「働いている」が50.0%である。70歳以上の8.2%が「入所・入院している施設や病院などで過ごしている」と回答しており、他の年代に比べ高い。

(%)

	n=	幼稚園や保育園、学校などに通っている	福祉施設、作業所などに通っている	病院などのデイケアに通っている	リハビリテーションを受けている	働いている	入所・入院している施設や病院などで過ごしている	自宅にすることが多い	その他	無回答
TOTAL	456	0.0	4.6	6.6	6.6	16.7	5.7	48.0	6.6	5.3
19歳以下	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	12	0.0	41.7	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	8.3	0.0
30代	11	0.0	9.1	0.0	0.0	54.5	0.0	36.4	0.0	0.0
40代	21	0.0	4.8	9.5	0.0	38.1	4.8	42.9	0.0	0.0
50代	36	0.0	2.8	5.6	2.8	44.4	0.0	30.6	11.1	2.8
60代	79	0.0	1.3	0.0	11.4	24.1	2.5	45.6	7.6	7.6
70歳以上	281	0.0	2.8	8.5	6.4	7.1	8.2	54.8	6.8	5.3
無回答	15	0.0	20.0	13.3	13.3	6.7	0.0	33.3	0.0	13.3

問 12 あなたは、どのくらい外出しますか。通所、通学、通勤、買い物、日常の散歩など、すべてを含めてお答えください。（○は1つ）

外出頻度は、「週に5日以上」が34.2%、「週に3～4日」が28.9%、「週に1～2日」が20.8%である。「ほとんど外出しない」と回答した人は9.0%となっている。

(%)

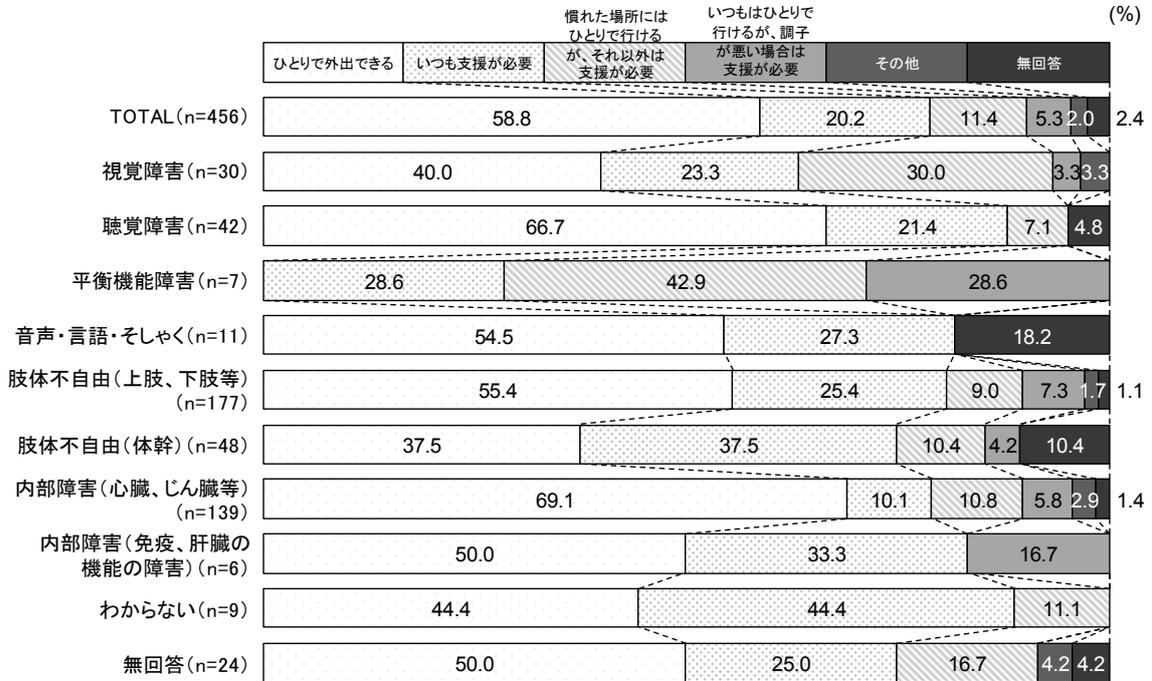


< II 1 身体障害者調査 >

問 13 あなたは、外出をするときに支援が必要ですか。(○は1つ)

外出時の支援の必要性は、58.8%の人が「ひとりで外出できる」と回答している。「いつも支援が必要」は20.2%である。

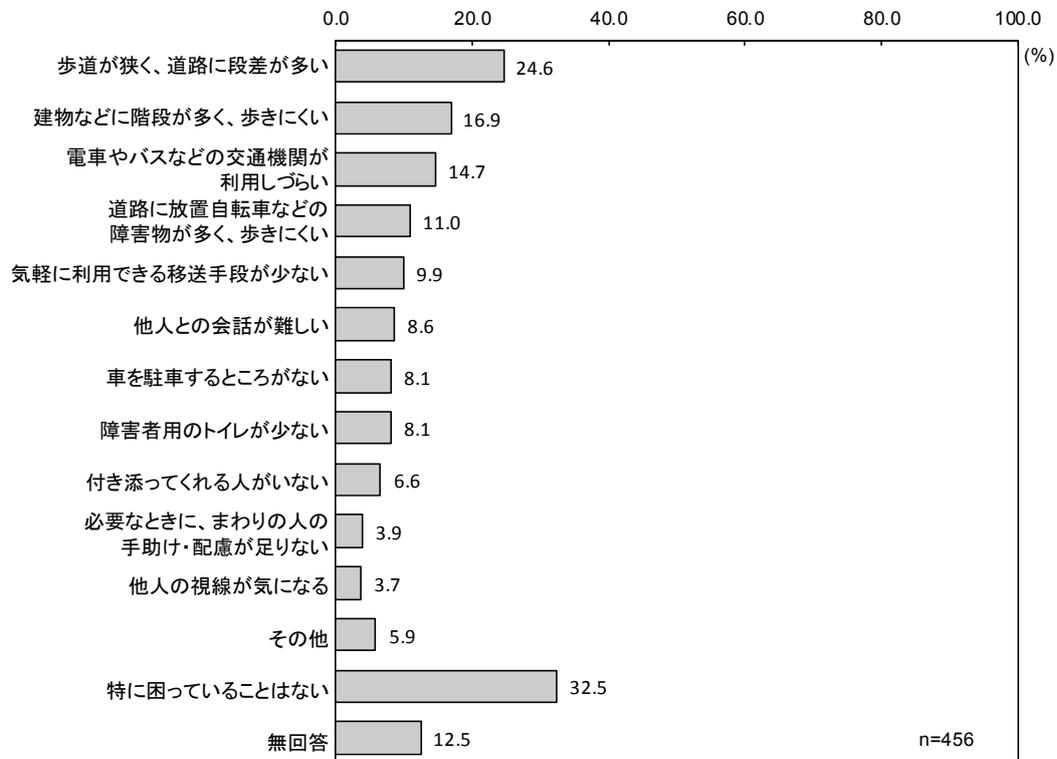
障害の種類別に見ると、肢体不自由（体幹）では、37.5%が「いつも支援が必要」としている。視覚障害では、3割の人が「慣れた場所にはひとりで行けるが、それ以外は支援が必要」と回答している。



※0.0 は非表示

問 14 外出の際に困っていることはありますか。(○はいくつでも)

外出の際に困っていることとしては、「歩道が狭く、道路に段差が多い」との回答が 24.6%で最も高い。次いで、「建物などに階段が多く、歩きにくい」(16.9%)、「電車やバスなどの交通機関が利用しづらい」(14.7%)、「道路に放置自転車等の障害物が多く、歩きにくい」(11.0%) となっており、ハード面での困りごとが上位になっている。

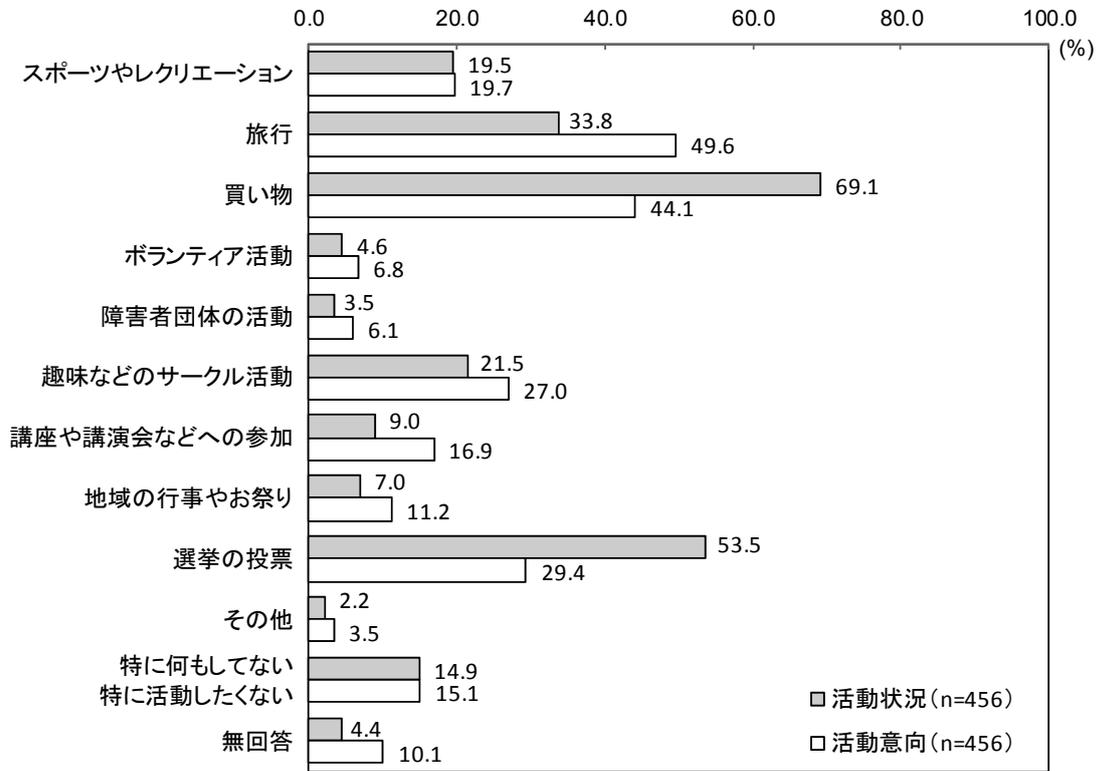


< II 1 身体障害者調査 >

問 15 あなたは、この1年くらいの中に、次のような活動をしましたか。(○はいくつでも)：活動状況  
 問 19 これからどのような活動をしたいと思いますか。(○はいくつでも)：活動意向

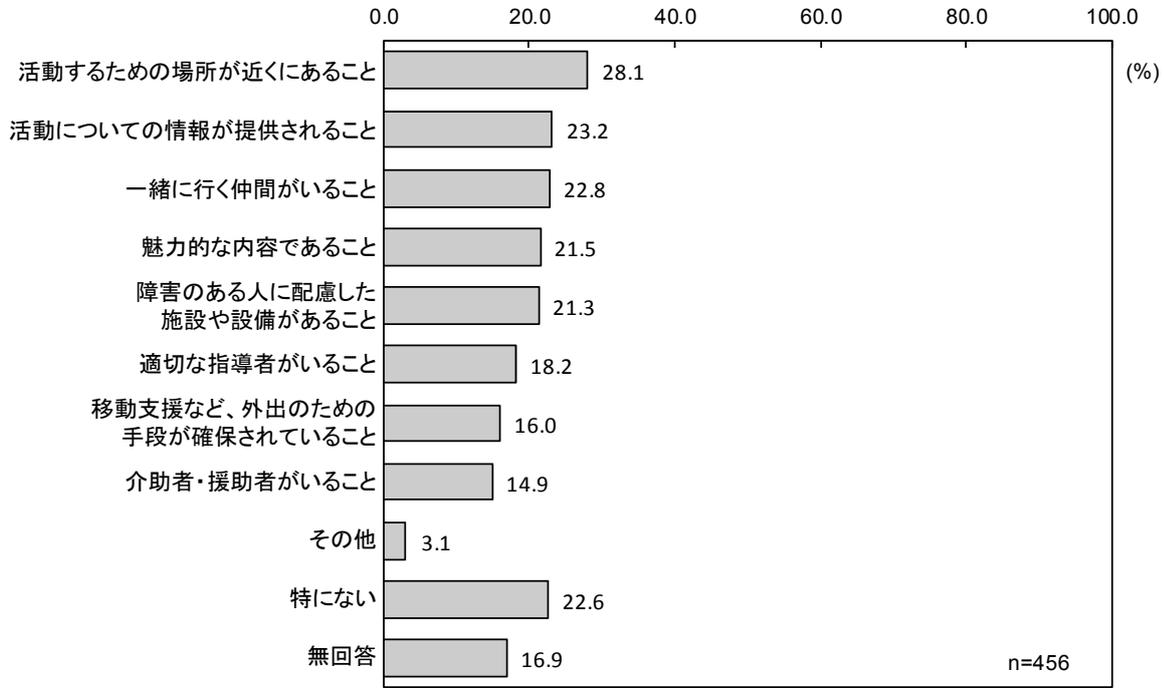
活動状況と活動意向を比べると、「旅行」は実際の活動状況が 33.8%、活動意向は 49.6%となっており、意向が約 16 ポイント高い。

実際の活動状況では、「買い物」(69.1%)、「選挙の投票」(53.5%)が高く、活動意向では、「旅行」(49.6%)、「買い物」(44.1%)が高い。



問 20 問 19 のような活動をするために、どのような支援が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

活動のために必要な支援としては、「活動するための場所が近くにあること」が 28.1% で最も高く、次いで、「活動についての情報が提供されること」(23.2%)、「一緒に行く仲間がいること」(22.8%)が続いている。



問 16 選挙の投票の際、困ったことや改善してほしいことはありましたか。(自由記述)

<回答対象者：問 15 で「選挙の投票」と回答した人>

選挙の投票の際、困ったことや改善してほしいこととして、以下の記述があった。

- ・ エンピツが細くて持ちづらい。(男性・61歳・肢体不自由、内部)
- ・ 案内図・説明がない。(男性・43歳・内部)
- ・ 片手で書けるように、紙の固定等工夫して欲しい。(女性・59歳・視覚障害、肢体不自由)
- ・ 私はながく歩けないので、車椅子があればと思います。(女性・85歳・肢体不自由)
- ・ 選挙の投票に行くための交通手段がない。(女性・76歳・内部)
- ・ 投票所までの移動が困難 (女性・89歳・肢体不自由)

< II 1 身体障害者調査 >

問 17 スポーツ活動をした方は、どのようなスポーツ活動をしましたか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

<回答対象者：問 15 で「スポーツやレクリエーション」と回答した人>

スポーツ活動の内容は、以下の通りである。

(%)

n=	卓球	バスケットボール	ポッチャ	ダンス	ボウリング	パドミントン	水泳	その他	無回答
89	6.7	3.4	2.2	4.5	4.5	1.1	27.0	58.4	4.5

「その他」(58.4%)として、49人から以下のような具体的な記述があった。

(件)

体操、ストレッチ	ゴルフ	ウォーキング、散歩	サイクリング、自転車	スポーツジム	太極拳、気功、ヨガ
14	7	6	4	3	3
水中歩行	テニス	登山、ハイキング	釣り	ボルダリング	輪投げ
3	2	2	2	2	2
ダーツ・吹き矢	競歩	ゴールボール	ソフトバレー	居合道	その他
2	1	1	1	1	2

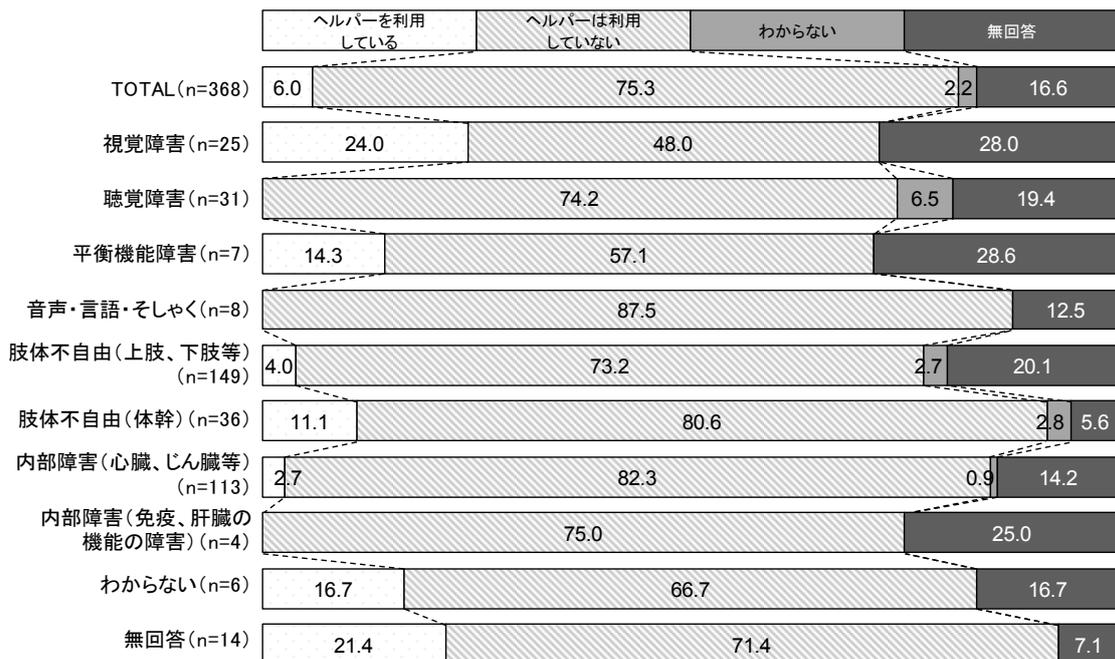
問 18 活動のために外出する際に「同行援護」「行動援護」「移動支援」等のヘルパーを利用していますか。(○は1つ)

<回答対象者：問 15 で何らかの活動をしている人>

活動のためのヘルパー利用状況は、「ヘルパーを利用している」が6.0%、「ヘルパーは利用していない」は75.3%である。

障害の種類別にみると、視覚障害では25人のうち6人(24.0%)が「ヘルパーを利用している」と回答している。

(%)



※0.0 は非表示

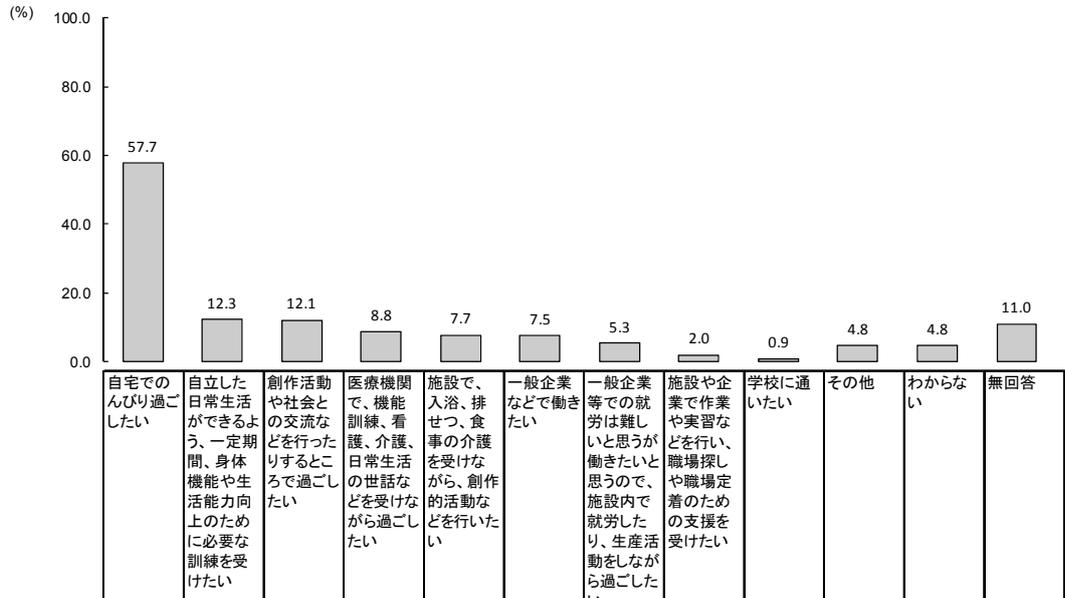
**(5) 将来の希望**

問 53 あなたは、今後、どのように日中を過ごしたいと思いますか。(○はいくつでも)

今後、希望する日中の過ごし方は、「自宅でのんびり過ごしたい」が 57.7%で最も高く、次いで「自立した日常生活ができるよう、一定期間、身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を受けたい」が 12.3%で続いている。

平日の日中の過ごし方別にみると、福祉施設、作業所などに通っている人では「一般企業などで働きたい」、「一般企業等での就労は難しいと思うが働きたいと思うので、施設内で就労したり、生産活動をしながら過ごしたい」がそれぞれ 14.3%である。

<平日の日中の過ごし方別・今後、希望する過ごし方>

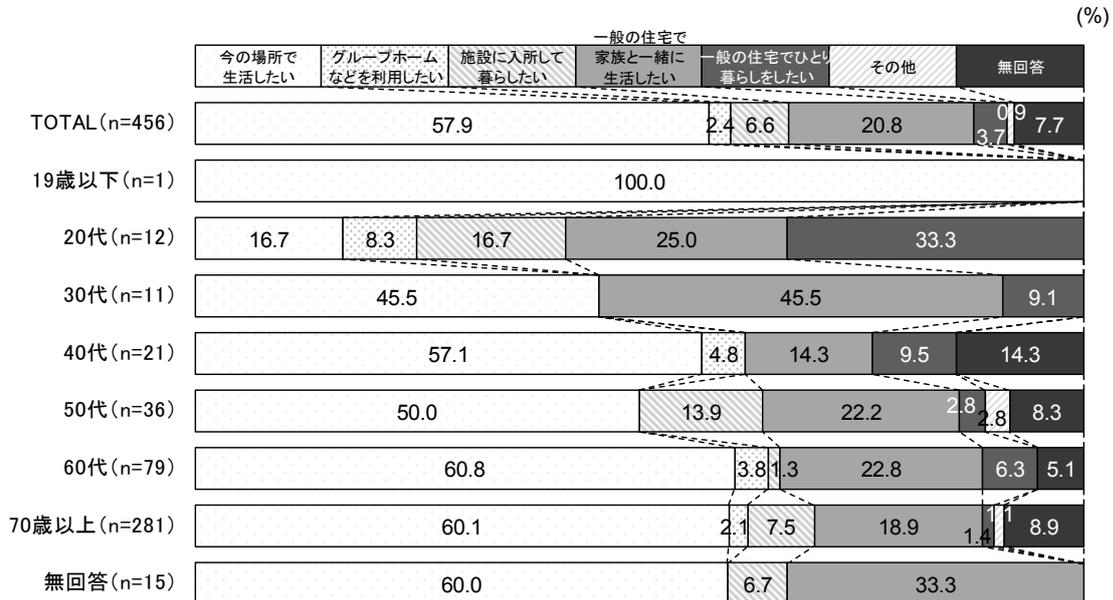


	n	自宅でのんびり過ごしたい	自立した日常生活ができるよう、一定期間、身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を受けたい	創作活動や社会との交流などを行ったりするところを過ごしたい	医療機関で、機能訓練、看護、介護、日常生活の世話などを受けながら過ごしたい	施設で、入浴、排泄つ、食事の介護を受けながら、創作的活動などを行いたい	一般企業などで働きたい	一般企業等での就労は難しいと思うが働きたいと思うので、施設内で就労したり、生産活動をしながら過ごしたい	施設や企業で作業や実習などを行い、職場探しや職場定着のための支援を受けたい	学校に通いたい	その他	わからない	無回答
TOTAL	456	57.7	12.3	12.1	8.8	7.7	7.5	5.3	2.0	0.9	4.8	4.8	11.0
福祉施設、作業所などに通っている	21	33.3	19.0	38.1	4.8	38.1	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	4.8	4.8
病院などのデイケアに通っている	30	56.7	16.7	13.3	6.7	13.3	0.0	3.3	0.0	0.0	3.3	6.7	10.0
リハビリテーションを受けている	30	53.3	30.0	20.0	40.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	6.7
働いている	76	55.3	6.6	11.8	1.3	1.3	28.9	6.6	0.0	1.3	6.6	6.6	10.5
入所・入院している施設や病院などで過ごしている	26	23.1	11.5	0.0	26.9	34.6	3.8	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7
自宅にすることが多い	219	67.1	9.6	9.1	5.5	4.1	3.2	5.0	1.8	0.0	3.7	5.0	10.0
その他	30	50.0	23.3	16.7	6.7	0.0	3.3	6.7	6.7	0.0	13.3	0.0	20.0
無回答	24	54.2	8.3	12.5	12.5	4.2	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	4.2	25.0

< II 1 身体障害者調査 >

問 54 あなたは、将来、どこで生活したいと思いますか。(○は1つ)

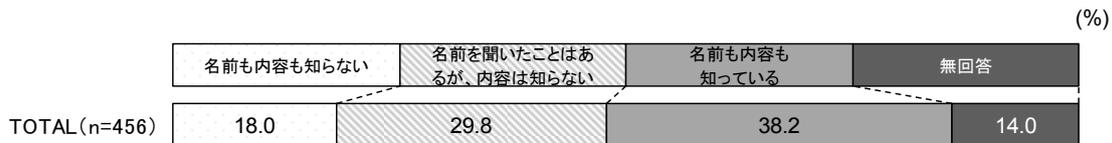
将来、生活したいところは、「今の場所で生活したい」が 57.9%、「グループホームなどを利用したい」が 2.4%、「施設に入所して暮らしたい」が 6.6%、「一般の住宅で家族といっしょに生活したい」が 20.8%、「一般の住宅でひとり暮らしをしたい」が 3.7%である。



※0.0 は非表示

問 55 成年後見制度とは、知的障害や精神障害などの理由により、判断能力が十分でない方の財産などの権利を守る制度です。あなたは、成年後見制度について知っていますか。(○は1つ)

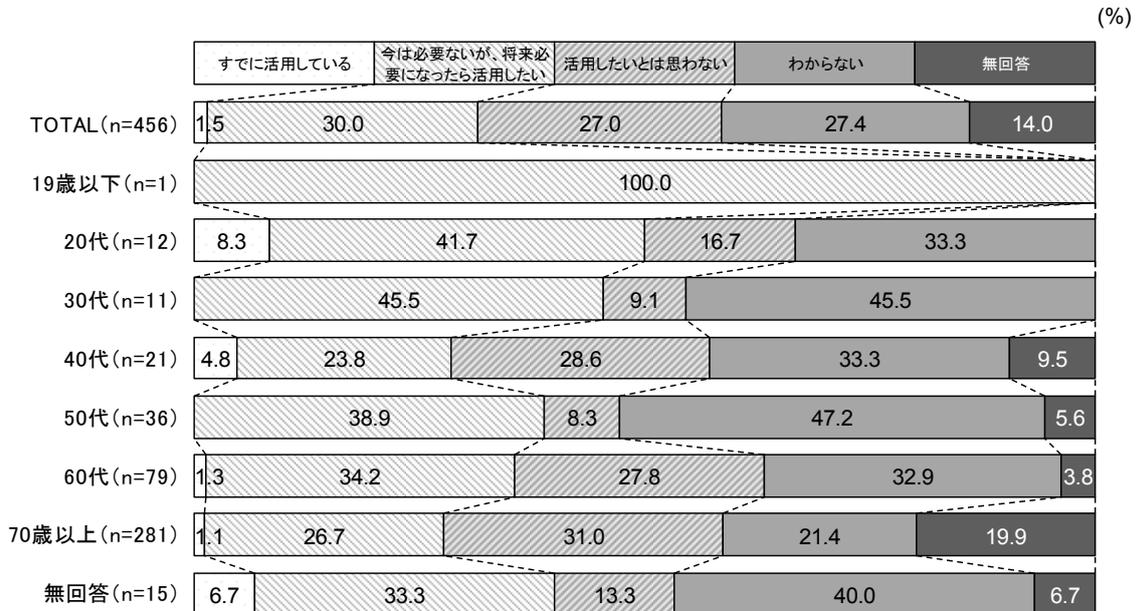
成年後見制度について、「名前も内容も知っている」人は 38.2%、「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」人は 29.8%である。18.0%の人が「名前も内容も知らない」と回答している。



問 56 あなたは、成年後見制度を活用したいと思いますか。(○は1つ)

成年後見制度を「すでに活用している」人は1.5%である。「今は必要ないが、将来必要になったら活用したい」と考える人は30.0%である。

年代別にみると、「すでに活用している」人は、20代、40代、60代以上である。20代、30代では「今は必要ないが、将来必要になったら活用したい」がそれぞれ40%を超えている。70歳以上では、「活用したいと思わない」人が31.0%である。

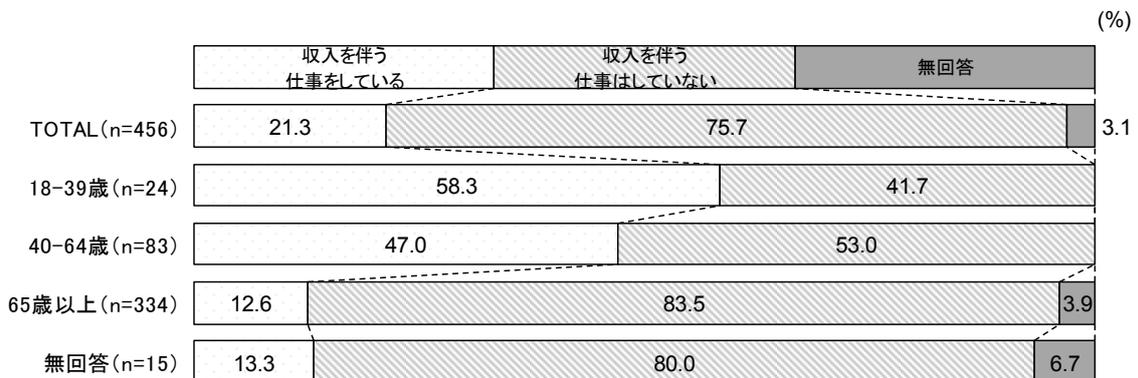


※0.0 は非表示

(6) 雇用・就労について

問 22 現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。(○は1つ)

収入を伴う仕事している人の割合は、18-39歳で58.3%、40-64歳で47.0%、65歳以上で12.6%である。



※0.0 は非表示

< II 1 身体障害者調査 >

< 問 23～問 26 回答対象者：収入を伴う仕事をしている人 >

問 23 どなたかの支援を受けて現在の仕事に就きましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

就労の際の支援については、52.6%の人が「支援は受けなかった」と回答しているが、あげられた支援先としては、「ハローワーク」が8.2%と最も高くなっている。

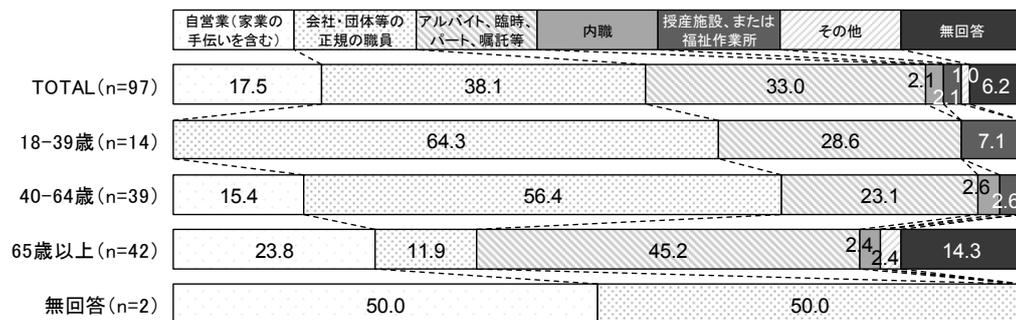
(%)

n=	ハローワーク	障害者就労支援センター(一歩)	就労移行支援事業所(さくらの園)	学校	家族	友人・知人	その他	支援は受けなかった	無回答
97	8.2	0.0	1.0	4.1	7.2	4.1	10.3	52.6	12.4

問 24 仕事の形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

就労形態は、「会社・団体等の正規の職員」が38.1%、「アルバイト、臨時、パート、嘱託等」が33.0%、「自営業(家業の手伝いを含む)」が17.5%である。

(%)



※0.0 は非表示

問 25 あなたご自身の1ヶ月当たりの平均的な給与・賃金・工賃はいくらですか。

全体で見ると、1ヶ月当たりの平均的な給与・賃金・工賃は、平均 171,303 円である。

就労形態別にみると、1ヶ月当たりの平均的な給与・賃金・工賃は、「自営業（家業の手伝いを含む）」185,769 円、「会社・団体等の正規職員」248,387 円、「アルバイト、臨時、パート、嘱託等」115,185 円、「内職」22,500 円、「授産施設、または福祉作業所」4,000 円となっている。

(%)

	n=	50,000 円 未満	100,000 円未満	150,000 円未満	200,000 円未満	250,000 円未満	400,000 円未満	400,000 円以上	無回答	平均(円)
TOTAL	97	10.3	15.5	10.3	13.4	16.5	8.2	7.2	18.6	171,303
自営業(家業の 手伝いを含む)	17	5.9	23.5	0.0	11.8	5.9	17.6	11.8	23.5	185,769
会社・団体等 の正規の職員	37	0.0	0.0	8.1	16.2	35.1	13.5	10.8	16.2	248,387
アルバイト、臨時、 パート、嘱託等	32	9.4	31.3	21.9	12.5	6.3	0.0	3.1	15.6	115,185
内職	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22,500
授産施設、また は福祉作業所	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4,000
その他	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15,000

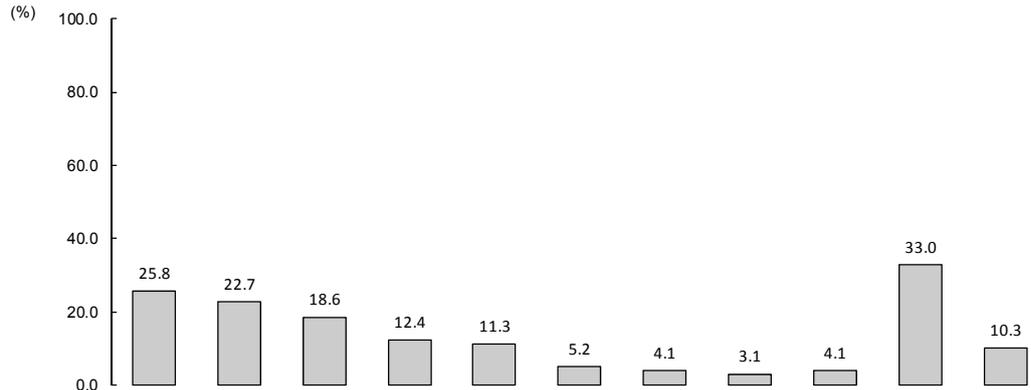
< II 1 身体障害者調査 >

問 26 仕事をする上で困っていることは何ですか。(○はいくつでも)

仕事をする上で困っていることとして、「通勤が大変」との回答が 25.8%と最も高い。次いで、「給与・工賃などの収入が少ない」(22.7%)、「勤務時間、日数が多く体力的に不安」(18.6%)が続く。

身体障害者手帳記載の障害の種類別にみると、「通勤が大変」との回答は、肢体不自由(上肢、下肢等)で 28.3%、内部障害で 31.0%である。

就労形態別にみると、「給与・工賃などの収入が少ない」との回答は、アルバイト、臨時、パート、嘱託等で 25.0%、「障害に対する職場の理解不足」は、会社・団体等の正規の職員で 21.6%である。



<身体障害者手帳記載の障害の種類別>		n=										
		通勤が大変	給与・工賃などの収入が少ない	勤務時間、日数が多く体力的に不安	障害に対する職場の理解不足	職場の間関係	職場の設備が障害に対応していない	職場外で相談相手がない	業務内容が合わない	その他	特に困っていることはない	無回答
TOTAL	97	25.8	22.7	18.6	12.4	11.3	5.2	4.1	3.1	4.1	33.0	10.3
視覚障害	7	14.3	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	57.1	0.0
聴覚障害	7	14.3	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0	42.9	14.3	14.3
音声・言語・そしゃく	2	0.0	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
肢体不自由(上肢、下肢等)	46	28.3	21.7	23.9	13.0	8.7	10.9	2.2	0.0	0.0	32.6	15.2
肢体不自由(体幹)	5	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0
内部障害(心臓、じん臓等)	29	31.0	17.2	24.1	6.9	20.7	0.0	6.9	6.9	0.0	31.0	6.9
内部障害(免疫、肝臓の機能の障害)	2	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
無回答	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0

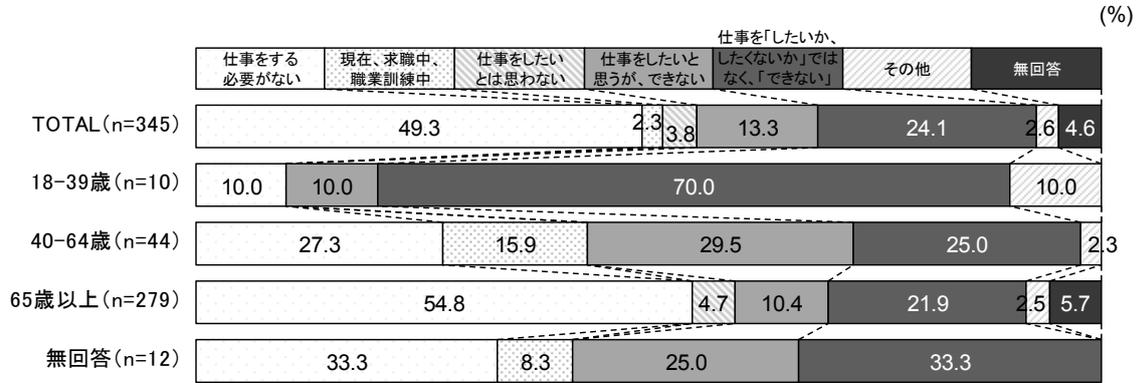
<就労形態別>		n=										
		通勤が大変	給与・工賃などの収入が少ない	勤務時間、日数が多く体力的に不安	障害に対する職場の理解不足	職場の間関係	職場の設備が障害に対応していない	職場外で相談相手がない	業務内容が合わない	その他	特に困っていることはない	無回答
自営業(家業の手伝いを含む)	17	5.9	11.8	5.9	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	58.8	17.6
会社・団体等の正規の職員	37	51.4	18.9	35.1	21.6	13.5	10.8	8.1	5.4	8.1	18.9	0.0
アルバイト、臨時、パート、嘱託等	32	9.4	25.0	12.5	9.4	18.8	0.0	3.1	3.1	3.1	37.5	15.6
内職	2	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
授産施設、または福祉作業所	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
無回答	6	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3

問 27 仕事をしていない主な理由は何ですか。(○は1つ)

<回答対象者：収入を伴う仕事をしていない人>

仕事をしていない主な理由として、「仕事をする必要がない」が49.3%で最も高い。

40-64歳の29.5%が「仕事をしたいと思うが、できない」と回答している。

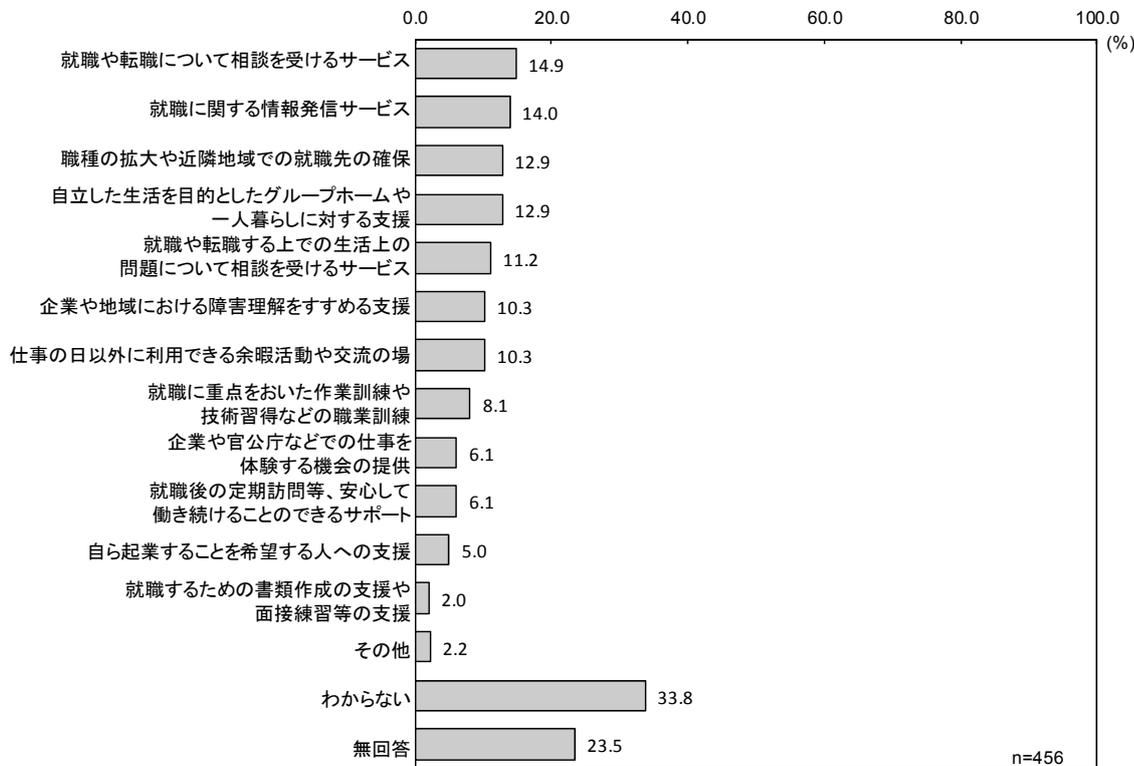


※0.0 は非表示

< II 1 身体障害者調査 >

問 28 あなたは、障害のある方の雇用を促進するために、市内で不足していると思われるサービスや取組みは何だと思えますか。(○はいくつでも)

障害のある人の雇用促進のために、不足していると思われるサービスや取組みは、「就職や転職について相談を受けるサービス」が 14.9%で最も高く、次いで「就職に関する情報発信サービス」が 14.0%で続く。

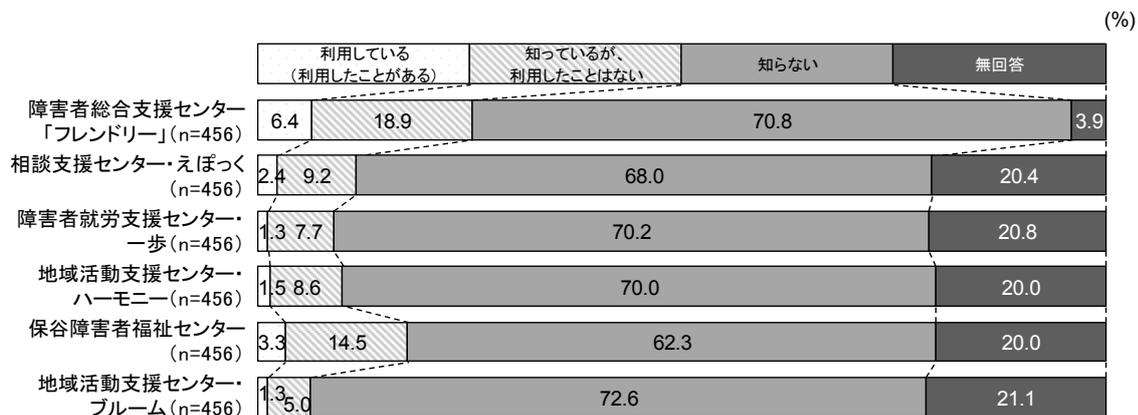


(7) 障害者施設・施策について

問 29 あなたは、西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。(○は1つ)

問 30 あなたは、西東京市にある次の施設を利用したことがありますか。また、知っていますか。(○は1つ)

市内施設を利用したことがある人は、障害者総合支援センター「フレンドリー」が 6.4%、相談支援センター・えぼっくが 2.4%、障害者就労支援センター・一歩が 1.3%、地域活動支援センター・ハーモニーが 1.5%、保谷障害者福祉センターが 3.3%、地域活動支援センター・ブルームが 1.3%である。



問 31 あなたは、次の講座や事業等を知っていますか。(〇はいくつでも)

市開催の講座や事業等の認知状況は、以下の通りである。

(%)

n=	サポーター 養成講座	ヘルプカード	スポーツ 支援事業	障害者 水泳教室	講座や事業等 は知らない	無回答
456	8.3	21.1	5.7	6.4	58.6	15.8

**(8) 相談や情報入手方法**

問 32 あなたは、悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親せき以外に、どのようなところに相談していますか。(〇はいくつでも)

家族や親せき以外の相談先としては、「知人・友人」をあげる人が 27.4%と最も高く、次いで「病院・診療所」(18.6%)、「市役所の福祉相談窓口」(15.8%)と続いている。一方で、23.2%が「相談できるところは特にない」と回答している。

(%)

n=	友人・ 知人	病院・ 診療所	市役所の 福祉相談 窓口	福祉施設 や作業所 の職員	生活保護 の担当職 員	保谷障害 者福祉セ ンター	民生委 員・児童 委員	幼稚園・ 保育園・ 学校の先 生や職場 の仲間	社会福祉 協議会の 職員	地域活動 支援セタ ー・ ハーモニ ー
456	27.4	18.6	15.8	3.7	2.6	1.1	1.1	1.1	1.1	0.9
	障害者 団体	相談支援 センター・ えぽっく	地域活動 支援セン ター・ブ ルーム	保健師	障害者 就労支援 センタ ー・一歩	児童 相談所	その他	誰かに相 談するこ とはまれ である	相談でき るところ は特にな い	無回答
	0.9	0.7	0.7	0.7	0.4	0.0	5.9	16.4	23.2	10.1

問 33 相談できるところは特にないと回答した理由は何ですか。(〇はいくつでも)

<回答対象者：「相談できるところは特にない」と回答した人>

35.8%は「どこに相談したらよいかわからないから」と回答している。

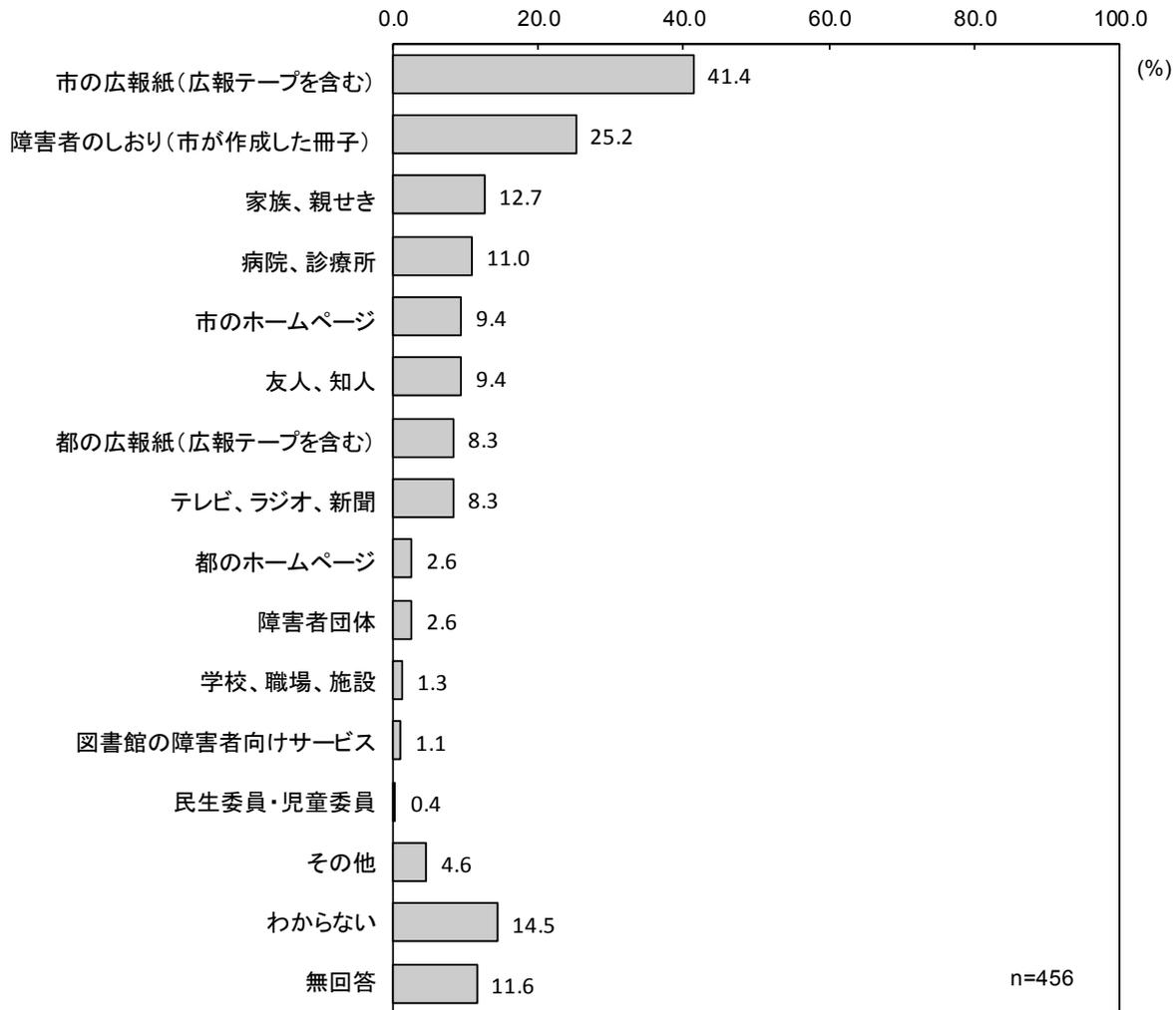
(%)

n=	相談するほどでも ない・必要がない	相談したく ないから	どこに相談 したらよいか わからないから	その他	無回答
106	51.9	8.5	35.8	4.7	0.9

< II 1 身体障害者調査 >

問 34 あなたは、障害福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。(〇はいくつでも)

情報の入手先として、「市の広報紙（広報テープを含む）」が41.4%で最も高く、次いで、「障害者のしおり（市が作成した冊子）」（25.2%）、「家族、親せき」（12.7%）と続いている。情報入手先が「わからない」と回答した人は14.5%である。



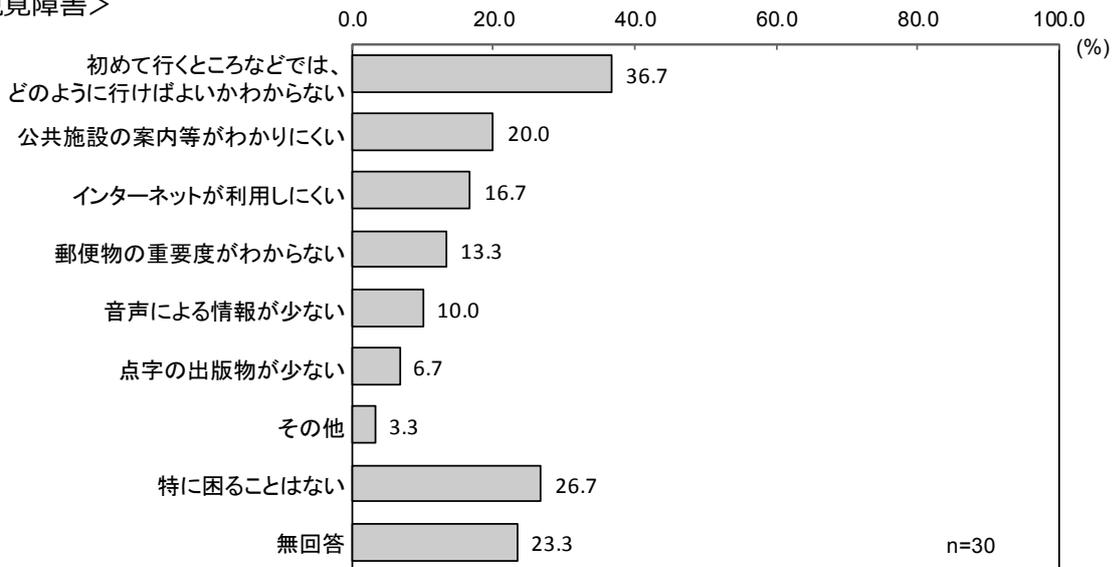
<問 35、問 36 回答対象者：視覚障害または聴覚障害のある人>

問 35 コミュニケーションや情報取得をする上で困ることはどのようなことですか。(○はいくつでも)

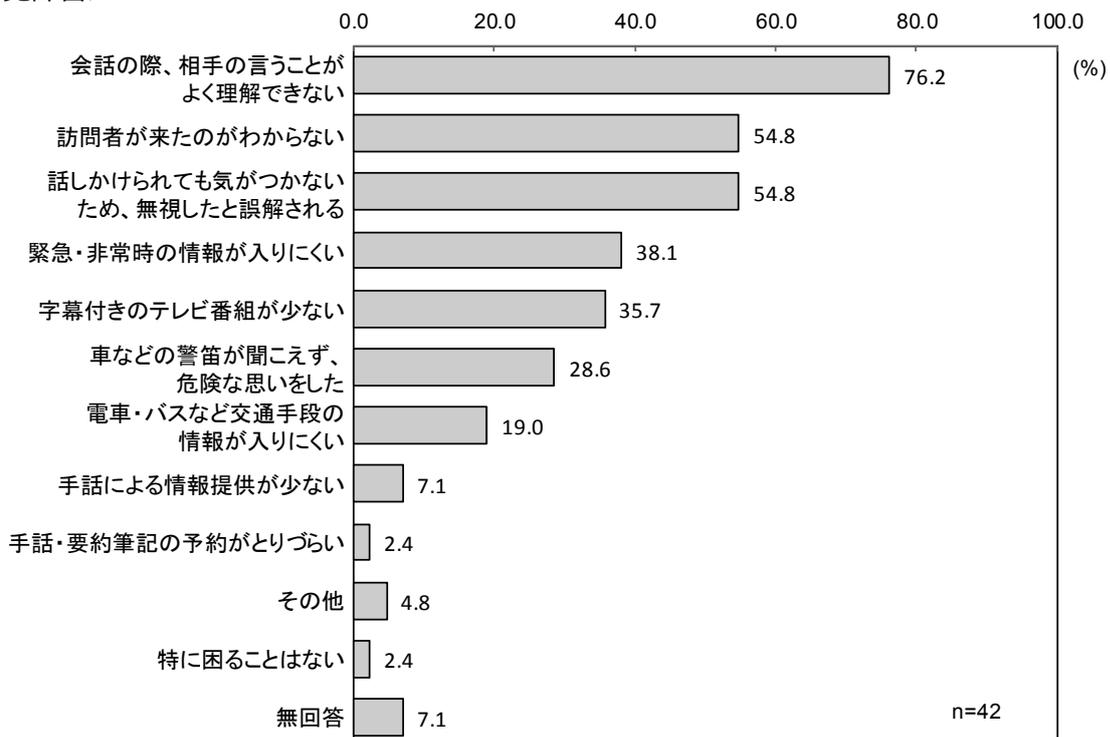
視覚障害のある人の、コミュニケーションや情報取得をする上で困っていることは、36.7%の人が「初めて行くところなどでは、どのように行けばよいかわからない」、20.0%が「公共施設の案内等がわかりにくい」と回答している。

また聴覚障害のある人では、76.2%の人が「会話の際、相手の言うことがよく理解できない」と回答している。また「訪問者が来たのがわからない」、「話しかけられても気がつかないため、無視したと誤解される」ことをあげる人がそれぞれ 54.8%である。

<視覚障害>



<聴覚障害>



問 36 コミュニケーションや情報取得の際、あるとよいサービスはどのようなものですか。(自由記述)

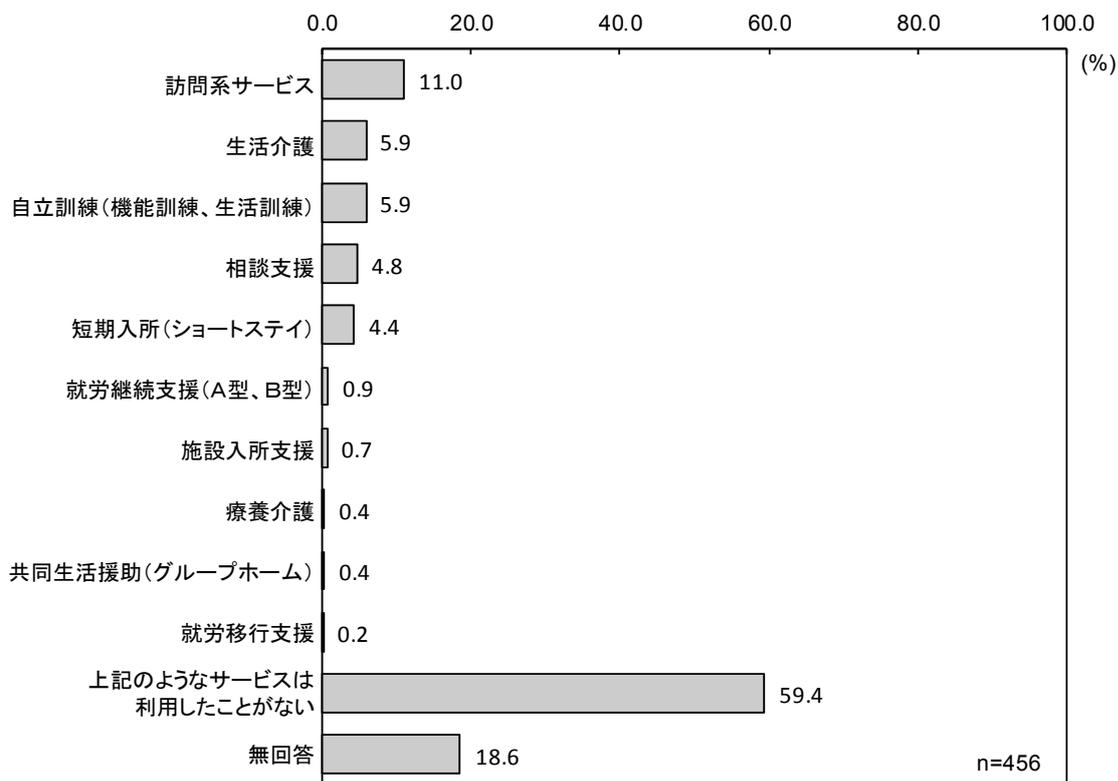
コミュニケーションや情報取得の際、あるとよいサービスを自由回答形式でたずねたところ、16人から以下のような記述があった。

- ・ 市からの情報やアンケート等がメールやインターネットで見られるとよい。市役所、障害福祉課以外の部署からの封書に点字シールの添付をして欲しい。(女性・25歳・視覚)
- ・ 文字情報による情報提供(デジタイザ、呼出番号装置、字幕テロップ装置)を町の中に(店とか)充実させて欲しい。(男性・38歳・聴覚)
- ・ 聴覚障害の人を外からみてわかる様なヘルプカードの様なものがあるとよい。(男性・83歳・聴覚)

### (9) 福祉サービス認知・利用状況

問 37 あなたは、次のような障害福祉サービスを、過去1年の間に利用したことがありますか。利用したことがあるサービスに○をつけてください。(○はいくつでも)

以下の障害福祉サービスのうち、過去1年間での利用経験が最も高いのは、「訪問系サービス(居宅介護、同行援護等)」で11.0%である。次いで、「生活介護」(5.9%)、「自立訓練(機能訓練、生活訓練)」(5.9%)、「相談支援」(4.8%)が続く。



問 38 サービスに対する、感想やご意見があれば自由にご記入ください。(自由記述)

※サービス名、利用の際に困っていること、サービス利用で改善してほしい点など。

<回答対象者：何らかの障害福祉サービス利用経験者>

サービスに対する、感想や意見を自由回答形式でたずねたところ、17人から以下のような記述があった。

サービスに対する、感想やご意見 (性別・年齢・利用したことがあるサービス)
・ 機能訓練を退院後約4ヵ月位受けました。せっかく専門の先生が来てくださるのだから20分ではなく30分位してほしいです。(女性・72歳・自立訓練(機能訓練、生活訓練))
・ 支援員さんが少なく、土・日は帰宅している為、急な用で親が不在になり、帰宅できなくなった場合に、対処ができなかった。母が残って、対応した。(女性・38歳・共同生活援助(グループホーム))
・ 自立した生活が出来るよう希望(男性・65歳・訪問系サービス、生活介護、自立訓練(機能訓練、生活訓練)、相談支援)
・ 短期入所は利用しにくいです。障害の重い方を受け入れる所が少ないです。支援員一人でトイレ支援ができませんので、移動支援と居宅身体介護が利用しにくいです。支援員2人を認めてほしいです。(女性・29歳・訪問系サービス、生活介護、短期入所(ショートステイ)、相談支援)
・ 利用時間や内容の制限が厳しい。(男性・42歳・訪問系サービス)
・ 例えばショートステイなどはかなり早くに申込みしなくてはならず、急に必要になった時等に利用できない。(男性・20歳・訪問系サービス、生活介護、短期入所(ショートステイ))
・ 福祉作業所の利用を希望し、相談支援を利用したが、詳細な情報を収集されていない様子で、車椅子利用者にとって利用しにくい施設などを紹介された。結局、本人の学校時代からの体験や情報を基に選択し入所を決めた。(男性・42歳・訪問系サービス、生活介護、短期入所(ショートステイ)、相談支援)
・ 3時間ほどの間に入浴サービスと機能回復のためのマッサージなどを週2回受けている。身体を清潔に保てて有難く思っている。(男性・87歳・生活介護)

< II 1 身体障害者調査 >

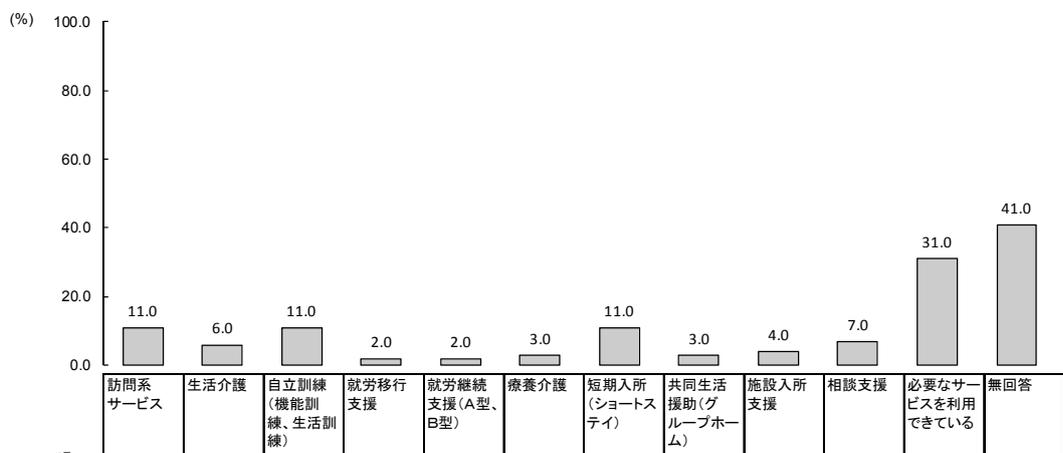
問 39 あなたが、「十分利用できていない」と思う障害福祉サービスはどのサービスですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

<回答対象者：何らかの障害福祉サービス利用経験者>

サービス利用経験者の31.0%が「必要なサービスを利用できている」と回答しているが、「十分利用できていない」と思うサービスでは、「訪問系サービス」、「自立訓練（機能訓練、生活訓練）」、「短期入所（ショートステイ）」をあげる人がそれぞれ11.0%いる。

利用したことがあるサービス別に十分利用できていないサービスをみると、実際に訪問系サービスを利用している人の16.0%は「十分利用できていない」と感じている。また、短期入所（ショートステイ）利用者では、35.0%が「十分利用できていない」と感じている。

<利用したことがあるサービス別・十分利用できていないサービス>



n=		訪問系サービス	生活介護	自立訓練 (機能訓練、生活訓練)	就労移行支援	就労継続支援(A型、B型)	療養介護	短期入所 (ショートステイ)	共同生活援助(グループホーム)	施設入所支援	相談支援	必要なサービスを利用できている	無回答
TOTAL	100	11.0	6.0	11.0	2.0	2.0	3.0	11.0	3.0	4.0	7.0	31.0	41.0
訪問系サービス	50	16.0	10.0	8.0	0.0	0.0	6.0	10.0	6.0	4.0	8.0	36.0	36.0
生活介護	27	18.5	18.5	18.5	3.7	0.0	3.7	18.5	7.4	7.4	22.2	29.6	22.2
自立訓練(機能訓練、生活訓練)	27	25.9	14.8	25.9	3.7	3.7	7.4	7.4	3.7	3.7	11.1	18.5	37.0
就労移行支援	1	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
就労継続支援(A型、B型)	4	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
療養介護	2	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
短期入所(ショートステイ)	20	5.0	5.0	15.0	0.0	0.0	0.0	35.0	10.0	10.0	20.0	40.0	25.0
共同生活援助(グループホーム)	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
施設入所支援	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
相談支援	22	13.6	9.1	9.1	4.5	4.5	0.0	22.7	9.1	4.5	13.6	18.2	50.0

利用したことがあるサービス

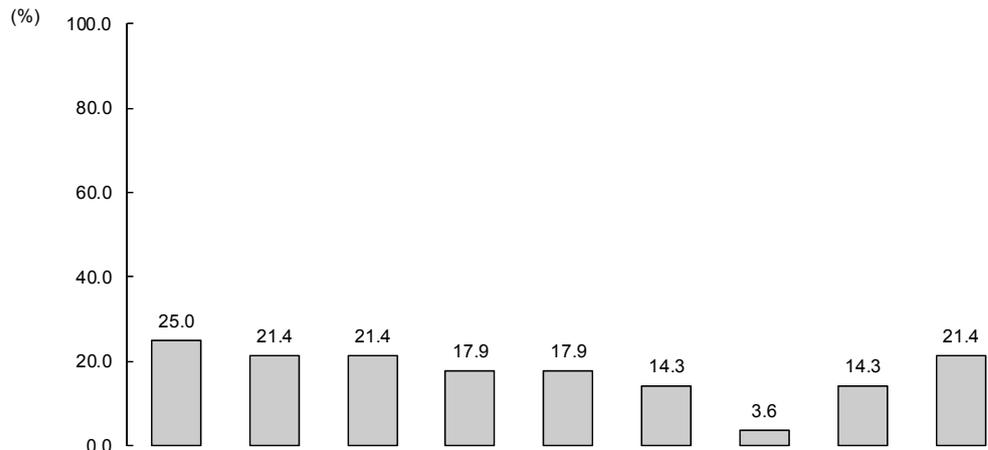
問 40 必要だと思うサービスを、十分、利用できていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

<回答対象者：障害福祉サービスを十分利用できていないと感じている人>

利用サービスを「十分利用できていない」と感じている人に、理由をたずねたところ、「自己負担が大きく、利用できないから」が25.0%で最も高く、次いで、「サービス利用に予約が必要で、いつも予約がいっぱいだから」、「自分が利用したい時間や時期とあわないから」（ともに21.4%）、「支給量が足りないから」、「通うのが大変だから」（ともに17.9%）が続く。

十分利用できていないと思うサービス別にみると、「自己負担が大きく、利用できないから」との回答は訪問系サービスで36.4%、生活介護で50.0%である。

<十分利用できていないと思うサービス別・十分利用できていない理由>



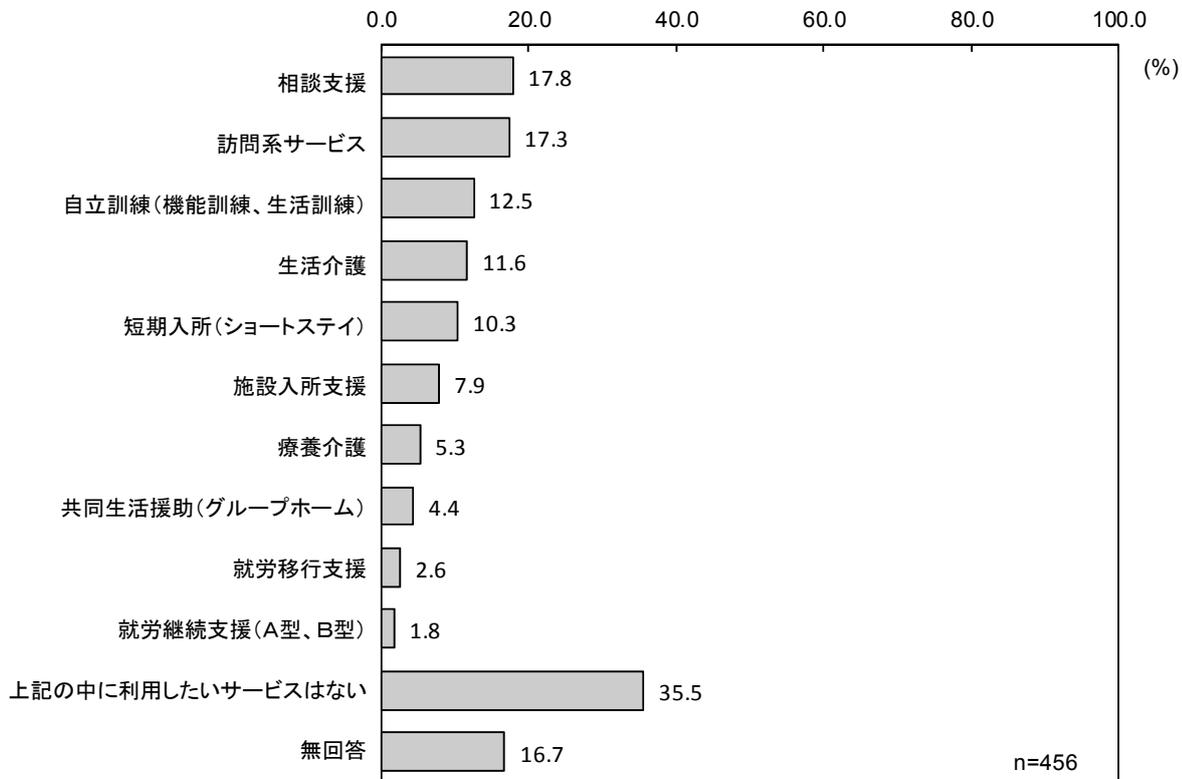
<十分利用できていないと思うサービス>

	n=	自己負担が大きく、利用できないから	サービス利用に予約が必要で、いつも予約がいっぱいだから	自分が利用したい時間や時期とあわないから	支給量が足りないから	通うのが大変だから	使いたいサービスの定員がいっぱいだから	その他	わからない	無回答
TOTAL	28	25.0	21.4	21.4	17.9	17.9	14.3	3.6	14.3	21.4
訪問系サービス	11	36.4	18.2	18.2	36.4	9.1	18.2	9.1	9.1	27.3
生活介護	6	50.0	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7
自立訓練(機能訓練、生活訓練)	11	18.2	27.3	45.5	9.1	27.3	27.3	0.0	0.0	36.4
就労移行支援	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
就労継続支援(A型、B型)	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
療養介護	3	0.0	66.7	33.3	0.0	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0
短期入所(ショートステイ)	11	9.1	45.5	27.3	9.1	27.3	36.4	9.1	18.2	9.1
共同生活援助(グループホーム)	3	0.0	100.0	66.7	0.0	33.3	100.0	33.3	0.0	0.0
施設入所支援	4	25.0	50.0	25.0	0.0	50.0	50.0	25.0	0.0	0.0
相談支援	7	28.6	57.1	42.9	14.3	14.3	42.9	0.0	14.3	14.3

< II 1 身体障害者調査 >

問 41 今後、どのような障害福祉サービスを引き続き、あるいは新たに利用したいと思いますか。(〇はいくつでも)

引き続き、あるいは新たに利用したいサービスは、「相談支援」が 17.8%、「訪問系サービス」が 17.3%、「自立訓練（機能訓練、生活訓練）」が 12.5%である。



問 42 あなたは、次のような介護保険のサービスを、過去 1 年の間に利用したことがありますか。(〇はいくつでも)

<回答対象者：65 歳以上>

65 歳以上の人に、利用したことがある介護保険のサービスをたずねたところ、32.3%の人が介護保険のサービスを利用したことがあり、通所介護（デイサービス）の利用が最も高い。

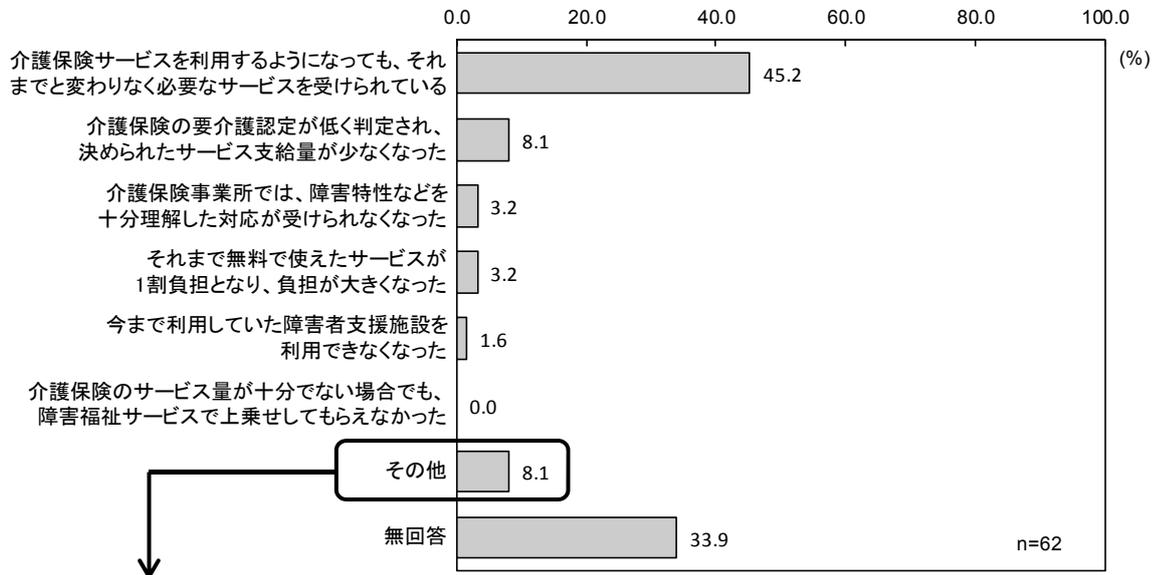
(%)

n=	介護保険のサービスは利用していない	訪問介護 (ホームヘルパー)	通所介護 (デイサービス)	短期入所 (ショートステイ)	その他	無回答
334	38.3	14.1	20.4	5.4	5.1	29.3

問 43 現在、必要なサービス（障害福祉サービス、介護保険サービス）を受けることができますか。（○はいいくつでも）

<回答対象者：障害福祉サービスと介護保険サービス利用経験者>

障害福祉サービスの利用経験があり、介護保険サービスを利用している人に必要なサービスの利用状況をたずねたところ、「介護保険サービスを利用するようになって、それまでと変わりなく必要なサービスを受けられている」が 45.2%で最も高くなっている。



「その他」(8.1%)として、以下のような記述があった。

- ・ 障害が重いため、利用するところがない。
- ・ 本人の希望するサービスがなくて、認定された枠の半分程しか使えていない。
- ・ 負担が2割になり、利用しづらくなった。家族がみている場合、お金で労力、時間を買っているような状況なので（コインランドリーやクリーニングの利用、出来あいの食材の購入など）なかなか、きびしく感じています。
- ・ 自己負担が1割から2割になり、生活が苦しくなった。

問 44 障害福祉サービスをより利用しやすくするためには、どのような情報提供や相談先が必要ですか。また、サービスを利用するためにあるとよい支援はどのようなものですか。（自由記述）

サービスを利用しやすくするために、必要な情報提供や相談先、利用のための支援として、以下のような記述があった。

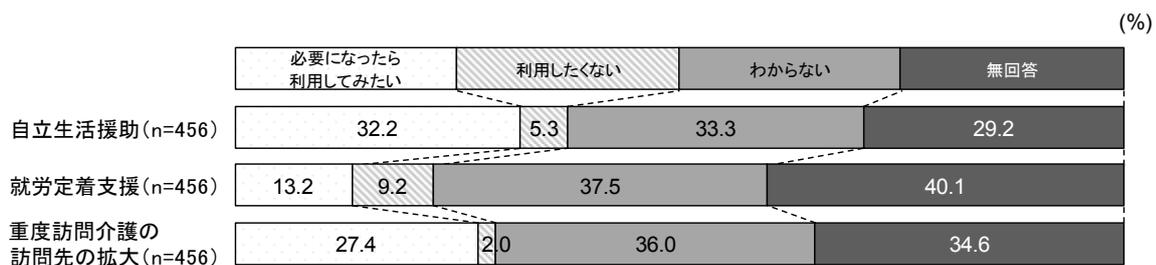
- ・ 障害者手帳を持っている人に障害福祉サービスの案内情報を郵送して頂きたいです。（男性・93歳・聴覚）
- ・ 障害福祉サービスの内容を詳しく広報した方がよい。（男性・70歳・内部）
- ・ 相談できる場所を増やしてほしい。（女性・56歳・肢体不自由）
- ・ 通院している病院で、相談できるとよいと思う。（相談先を知らない人や、ネットを繋いでいない人もいる為）（女性・37歳・肢体不自由）
- ・ 順序立てた申請手続をきれなく行うための指導が病院の施設によって差がある様に感じます。その際に相談し易い窓口があると助かります。（女性・86歳・内部）
- ・ サービス支給には、申請が必要ということを、もっとわかりやすくしおりやホームページに表現してほしい。（男性・54歳・肢体不自由）

< II 1 身体障害者調査 >

- ・ 相談にのっていただける方が訪問してくれるとありがたいです。(女性・40歳・肢体不自由)
- ・ 窓口が明確でないので、相談ルートをはっきり示して欲しい。(男性・43歳・内部)
- ・ 定期的な訪問支援(安否確認だけでもよい。)をお願いしたい。その際、情報提供も併せて、お願いしたい。(女性・86歳・内部)
- ・ 必要な時にすぐ受けられること、年齢を問わないこと。(女性・46歳・内部)
- ・ 事業所のリストは窓口で入手できるが、事業所名の一覧表にすぎない。「身体障害者も受け入れ可能」とされていても、実際に車椅子で利用できるか否かは別。どの程度の身体障害者まで事実上可能なか実態に沿った情報があるべき。(男性・21歳・肢体不自由)

問 45 障害者総合支援法の改正により、新たに導入される次のようなサービスをあなたは利用してみたいと思いますか。  
 ※平成 30 年 4 月から創設される予定の新しいサービスです。サービスの詳細は変更する可能性もあります。

平成 30 年 4 月から導入予定のサービスの利用意向について、「必要になったら利用してみたい」と考えるサービスは、「自立生活援助」が 32.2%、「就労定着支援」が 13.2%、「重度訪問介護の訪問先の拡大」が 27.4%である。



**(10) 災害対策について**

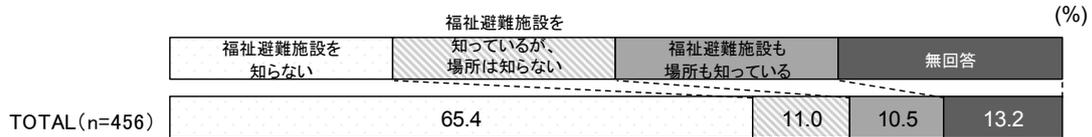
問 46 あなたは、お住まいの地域の避難所を知っていますか。(○は1つ)

地域の避難場所を「知っている」人は 61.8%である。



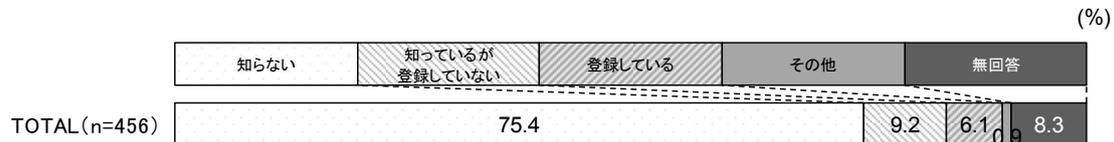
問 47 福祉避難施設とは、自宅や避難施設で生活している高齢者や障害者の方等に対し、状況に応じて介護等の必要なサービスを提供する社会福祉施設等のことです。西東京市には障害者総合支援センター「フレンドリー」をはじめ、約 30 ヶ所の福祉避難施設があります。あなたは、西東京市にある福祉避難施設を知っていますか。(○は1つ)

福祉避難施設については、65.4%が「知らない」と回答している。「福祉避難施設も場所も知っている」人は 10.5%である。



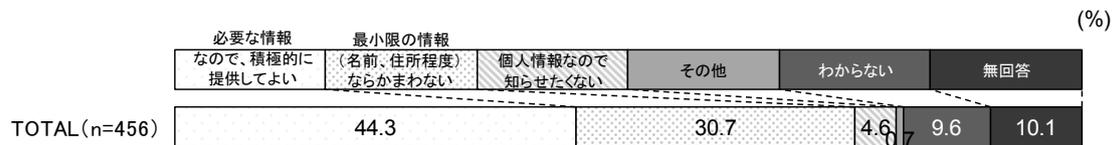
問 48 あなたは、災害時要援護者登録を知っていますか。(○は1つ)

災害時要援護者登録については、75.4%が「知らない」と回答している。「登録している」人は 6.1%である。



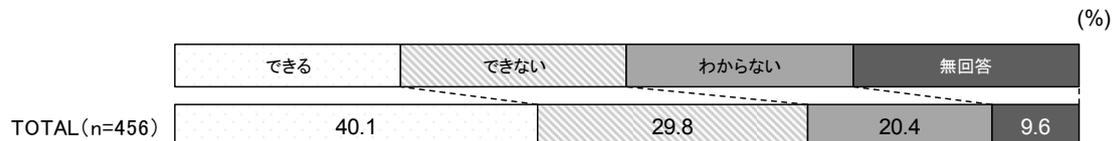
問 49 災害時に行政や地域などから支援を受けるため、あらかじめ個人情報(名前、住所、世帯の状況、障害の状況、緊急連絡先等)を市に提供することについて、どう思いますか。(○は1つ)

災害時の支援を受けるために個人情報を提供することについては、「必要な情報なので、積極的に提供してよい」が 44.3%、「最小限の(名前、住所程度)ならかまわない」が 30.7%である。



問 50 あなたは、地震や台風などの災害時にひとりで避難できますか。(○は1つ)

災害時にひとりで避難が「できる」人は 40.1%、「できない」人は 29.8%である。



< II 1 身体障害者調査 >

問 51 地震や台風などの災害が起こった際の不安は何ですか。(〇はいくつでも)

地震や台風などの災害が起こった際の不安としては、「避難先での不安」が 55.9%で最も高く、次いで「避難する際の不安」(47.4%)、「災害の状況が伝わってこない場合の不安」(45.0%)が続く。

障害の種類別にみると、聴覚障害の 59.5%が「災害の状況が伝わってこない場合の不安」と回答しており、他の障害に比べ高い。

(%)

	n=	災害の状況 が伝わって こない場合 の不安	避難する 際の不安	避難先で の不安	その他	特にない	わからない	無回答
TOTAL	456	45.0	47.4	55.9	6.1	7.2	5.7	9.6
視覚障害	30	33.3	60.0	60.0	0.0	20.0	3.3	6.7
聴覚障害	42	59.5	52.4	61.9	2.4	2.4	11.9	7.1
平衡機能障害	7	42.9	42.9	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0
音声・言語・そしゃく	11	54.5	36.4	36.4	0.0	0.0	18.2	0.0
肢体不自由(上肢・下肢等)	177	52.5	53.1	60.5	9.0	5.6	4.5	4.5
肢体不自由(体幹)	48	39.6	54.2	58.3	6.3	0.0	8.3	14.6
内部障害(心臓、じん臓等)	139	36.7	36.7	48.2	6.5	9.4	6.5	13.7
内部障害(免疫等)	6	33.3	50.0	66.7	0.0	16.7	0.0	16.7
わからない	9	33.3	55.6	66.7	22.2	11.1	11.1	0.0
無回答	24	29.2	45.8	41.7	0.0	8.3	0.0	29.2

問 52 災害に備えて、または災害時に、どのような対策が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

必要な災害対策としては、「避難しやすい避難所を整備する」ことをあげる人が 50.2%で最も高い。次いで、「治療や服薬を継続するための医療を確保する」が 46.3%、「災害時に障害者用設備（トイレ、ベッドなど）を配置する」が 42.1%で続く。

	n=	避難しやすい避難所を整備する	治療や服薬を継続するための医療を確保する	災害時に障害者用設備(トイレ、ベッドなど)を配置する	日頃から避難方法のアドバイスや情報提供を行う	障害に配慮した避難所の設置や福祉避難所を確保する	地域で助け合える体制を整備する	緊急通報システムを整備する	災害時に介助人などを確保する
TOTAL	456	50.2	46.3	42.1	33.1	33.1	30.7	29.4	26.5
視覚障害	30	43.3	20.0	30.0	26.7	26.7	23.3	16.7	40.0
聴覚障害	42	52.4	31.0	28.6	33.3	26.2	33.3	33.3	19.0
平衡機能障害	7	42.9	57.1	71.4	28.6	57.1	14.3	28.6	57.1
音声・言語・そしゃく	11	63.6	27.3	36.4	27.3	36.4	18.2	27.3	9.1
肢体不自由(上肢、下肢等)	177	57.6	53.1	55.9	37.3	44.1	36.7	35.0	35.0
肢体不自由(体幹)	48	50.0	43.8	56.3	33.3	43.8	37.5	18.8	31.3
内部障害(心臓、じん臓等)	139	45.3	50.4	30.2	33.8	19.4	23.7	28.1	17.3
内部障害(免疫、肝臓の機能の障害)	6	33.3	50.0	33.3	33.3	16.7	33.3	50.0	16.7
わからない	9	44.4	44.4	66.7	22.2	33.3	22.2	22.2	44.4
無回答	24	33.3	33.3	29.2	16.7	33.3	25.0	8.3	20.8

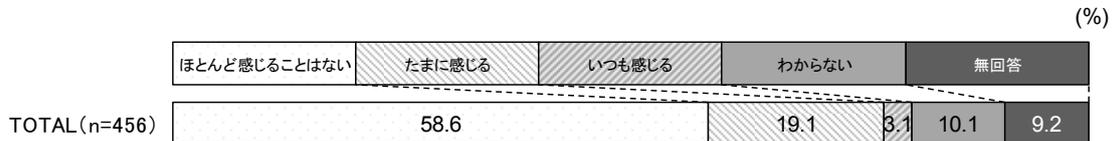
	入院や施設入所者の避難施設を確保する	災害時に視覚障害者や聴覚障害者に配慮した情報提供を行う	災害時に人工透析や在宅酸素など生命安全・維持装置を確保する	避難訓練などに参加できるようにする	災害時に手話通訳者、ガイドヘルパーなどを確保する	その他	特になし	無回答	(%)
TOTAL	26.5	24.3	21.5	16.7	12.3	2.0	3.7	11.6	
視覚障害	23.3	46.7	3.3	10.0	13.3	0.0	10.0	13.3	
聴覚障害	19.0	64.3	16.7	14.3	14.3	0.0	2.4	4.8	
平衡機能障害	28.6	28.6	28.6	28.6	14.3	0.0	0.0	14.3	
音声・言語・そしゃく	9.1	18.2	9.1	9.1	0.0	9.1	18.2	0.0	
肢体不自由(上肢、下肢等)	32.8	23.2	20.9	18.1	14.7	2.3	4.0	6.8	
肢体不自由(体幹)	31.3	22.9	25.0	10.4	12.5	2.1	6.3	12.5	
内部障害(心臓、じん臓等)	23.7	10.1	28.1	17.3	7.2	2.2	1.4	14.4	
内部障害(免疫、肝臓の機能の障害)	33.3	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0	16.7	16.7	
わからない	33.3	55.6	33.3	22.2	44.4	0.0	11.1	11.1	
無回答	8.3	8.3	8.3	16.7	8.3	4.2	4.2	37.5	

< II 1 身体障害者調査 >

**(11) 障害・障害者への理解**

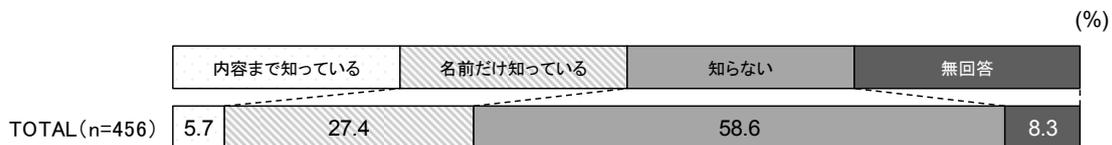
問 57 障害があることで、差別や人権侵害、虐待を受けていると感じることがありますか。(○は1つ)

差別や人権侵害、虐待については、58.6%の人は「ほとんど感じることはない」が、3.1%は「いつも感じる」、19.1%は「たまに感じる」と回答している



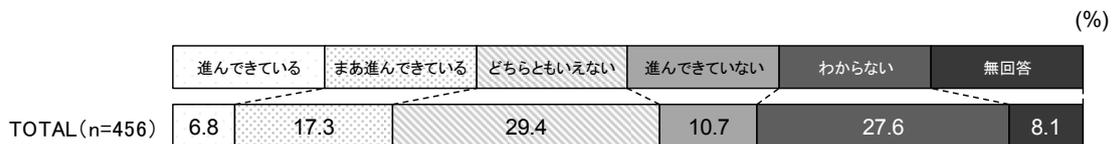
問 58 障害のある方々への差別をなくすことを目的として、平成 28 年 4 月 1 日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、このことを知っていますか。(○は1つ)

障害者差別解消法について、「内容まで知っている」人は 5.7%、「知らない」人は 58.6%である。



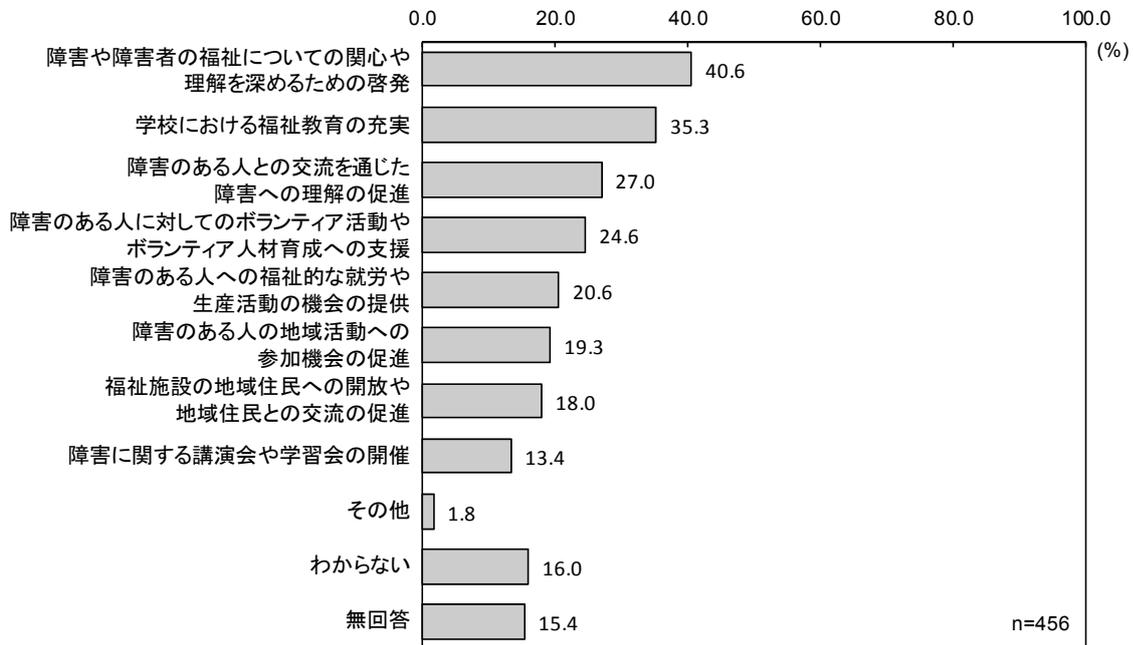
問 59 障害や障害のある方々に対する市民の理解は進んでいると思いますか。(○は1つ)

障害や障害のある人に対する市民の理解が「進んでいる」と考えている人は 6.8%、「まあ進んでいる」(17.3%) をあわせると、24.1%の人は市民の理解が進んでいると感じている。



問 60 障害や障害のある市民への理解を深めるためには、何が重要だと思いますか。(〇はいくつでも)

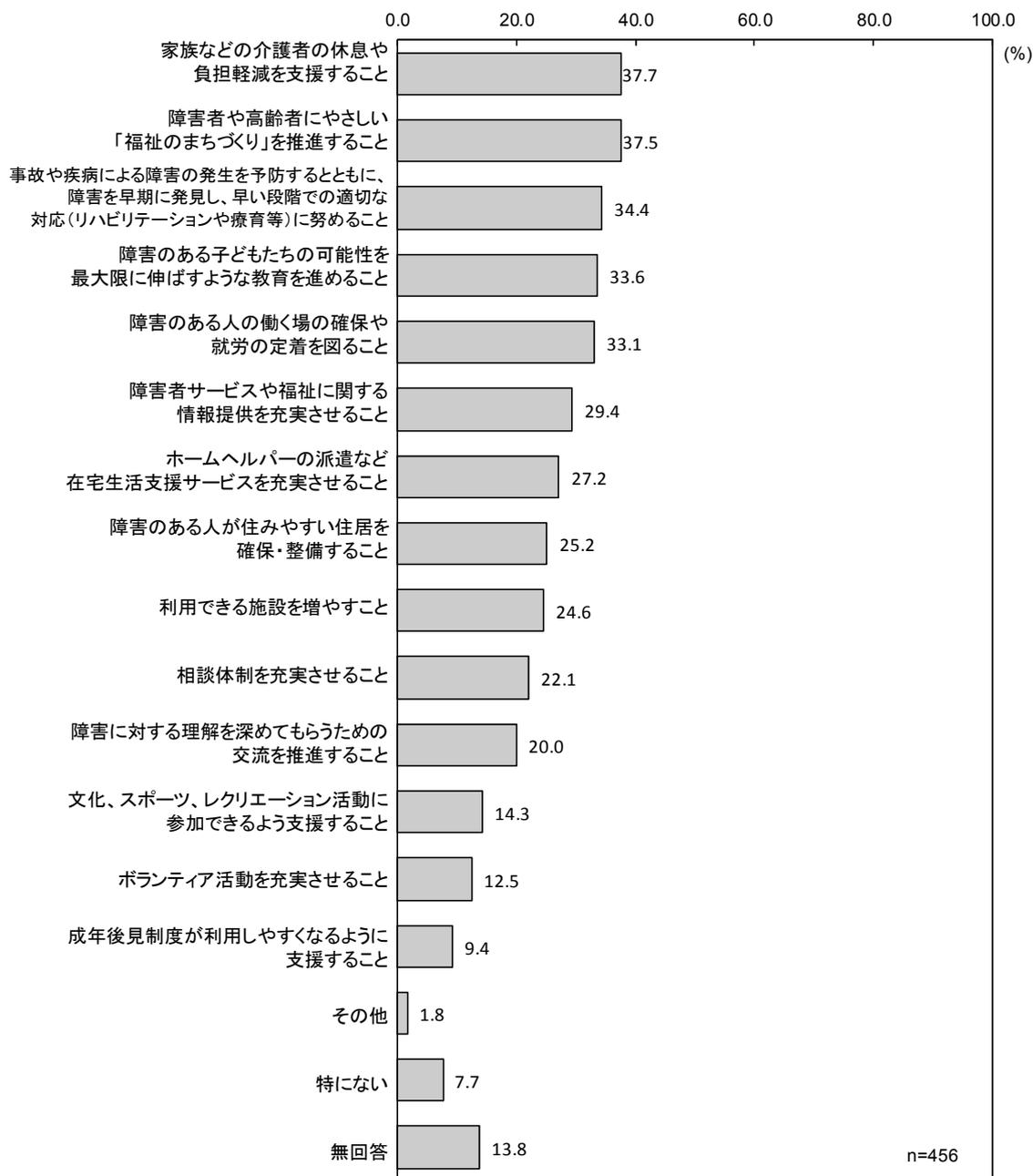
障害や障害のある人への理解に必要なこととして、「障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための啓発」が 40.6%で最も高く、次いで、「学校における福祉教育の充実」(35.3%)、「障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進」(27.0%)が続いている。



**(12) 障害者施策、市への要望等**

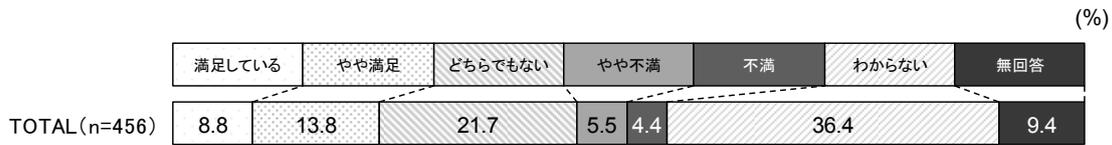
問 61 今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。(〇はいくつでも)

今後、市が充実させていくべき障害者施策としては、「家族などの介護者の休息や負担軽減を支援すること」が 37.7%と最も高く、次いで、「障害者や高齢者にやさしい「福祉のまちづくり」を推進すること」が 37.5%、「事故や疾病による障害の発生を予防するとともに、障害を早期に発見し、早い段階での適切な対応(リハビリテーションや療育等)に努めること」が 34.4%で続いている。



問 62 問 61 のような西東京市の障害者施策全般について、総合的に満足していますか。(○は1つ)

西東京市の障害者施策全般について、「満足している」人は8.8%で、「やや満足」(13.8%)とあわせると、22.6%の人は満足していると感じている。



問 63 約5年前(平成24年)と比べて、障害者のサービスはどのように変わったと思いますか。(○は1つ)

5年前(平成24年)と比べて障害者サービスは「変わらない」(43.6%)と感じている人が多いが、「良くなった」が21.3%で「悪くなった」(4.8%)を上回っている。



問 64 そのようにお答えになったのは、どのような理由からですか。(自由記述)

問 63 で選択した回答の理由は以下の通りである。

**<良くなった>**

- ・ 障害のある方の外へ出る(家以外)範囲が広まってる様な気がする(色々な場所で見かけます)。楽しそうに活動している姿を見る度にホッとしています。(女性・70歳・肢体不自由)
- ・ リハビリテーションなどが充実したかと思います。(女性・72歳・肢体不自由)
- ・ 公的機関の方々(役所・図書館など)は、大変親切に、お声掛けして下さいます。公的機関は、「安心して(不安なく)行かれる場」となりました。(女性・48歳・視覚)
- ・ 年々色々な援助体制が細かくなった様な気がします。(女性・89歳・内部)
- ・ 障害者として長く生きてきて、何の不満もないが、子供達への送迎等支援はいたれりつくせりだと思ひ、身障者の先輩としても行政各位に感謝しております。(男性・74歳・肢体不自由)
- ・ 選択肢が増えた。(女性・59歳・視覚、肢体不自由)
- ・ 車イス利用出来る店が多くなった。買い物がしやすくなった。(女性・68歳・肢体不自由)
- ・ 家族が全く不自由を感じさせません(さりげない援助)。おかげで障害者情報にも疎くなっているかも(市の広報等で、色々な問題に取り組む意欲を感じます。)(女性・96歳・内部)
- ・ 駅前放置自転車がなくなり歩道が歩きやすくなったこと。相談窓口の対応が親切になり、利用しやすくなりました。(女性・69歳・肢体不自由)
- ・ 情報が多くなったように思います。(女性・73歳・肢体不自由)
- ・ 町で障害者の方達の姿をよく見かける様になって来ていると感じる。バスに車椅子で乗降したい方達に対する運転手さんや乗客の態度が協力的になっている。(女性・78歳・肢体不自由)

**<変わらない>**

- ・ まわりの理解や援助がない。街はバリアだらけ助けてほしくても言えない。(女性・42歳・内部)
- ・ 今迄に利用してないので他と比較しようがない。(男性・83歳・肢体不自由)

< II 1 身体障害者調査 >

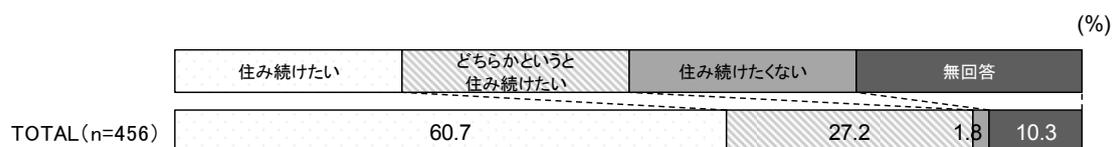
- ・ 以前受けた支援と現在受けているサービスが変わらないため。(女性・84歳・内部)
- ・ 障害者サービス自体がわからないので受けようもないが今は必要ないので。(男性・53歳・肢体不自由)
- ・ サービスを利用したことがないので。障害によって、受けられるサービスが無いから。(女性・63歳・肢体不自由)
- ・ どう変わったのかの具体的な情報発信が乏しい。(男性・54歳・内部)
- ・ 日常生活において特に変化を感じない。(女性・53歳・肢体不自由)
- ・ 障害者手帳を申請・所持するようになったのが、4～5年前で使うサービスは少ない。以前はよく知らない。(男性・54歳・肢体不自由)
- ・ 制度も、こちらから申し込めば使えるが、知らなければ使えない。(女性・46歳・内部)

<悪くなった>

- ・ 色々とサービスを利用しているが経済的負担が多く、1割から2割負担になり先行きが心配です。どれかを減らさなければと考えます。(男性・85歳・内部)
- ・ 補聴器等のような支援機器に対する補助金制度の適用基準が、厳し過ぎる。不可抗力による故障や劣化は仕方ないのに購入してはいけないとは、どういうことか、理解できない。(男性・38歳・聴覚)
- ・ 民間になってから、送迎にもお金がかかるようになったり、旅行(通所施設)も市からの補助もなくなり、なかなか、参加出来なくなっている。民間になってもサービスが下がらない方法はないのか。(男性・27歳・肢体不自由)
- ・ 手続きが多く、視覚障害の人にとっては、大変な事。家族がいなくなったら役所からの各書類が書けなくなり、提出する事が出来ない。(家族代筆)(女性・50歳・視覚)
- ・ 障害者手当と難病手当が併給されなくなった。自己負担が1割から2割になった。(男性・87歳・平衡、音声、肢体不自由)

問 65 あなたは、今後も西東京市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

60.7%の人が今後も西東京市に「住み続けたい」と回答している。



問 66 最後に、この調査を通じて、選択肢や自由記述欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、自由にお書きください。(自由記述)

調査票の最後に、調査質問選択肢だけでは表現しきれなかったことや意見、要望、計画に盛り込みたいことなどを自由に記入できる欄を設けた。本報告書では紙面の都合上すべてを掲載することはできないが、調査票の設問から浮き彫りにされにくい課題・問題点を中心に、より代表性・具体性のある意見・要望の一部を紹介することとする。

### 環境整備など福祉のまちづくりに関すること

- ・ 「点字ブロック」について。田無駅付近（特に交番前辺り）の点字ブロックは、大変わかりにくく、又見にくいため困っています。青梅街道は道幅が広いので、「音声信号」を設置してほしいです。(女性・48歳・視覚)
- ・ 自分が足を悪くしてから感じたこと。外に出かけるようにはしたが出先で休む（座われる）場所がもっとあると、つらくなると座れば出かける勇気がでる。(女性・65歳・肢体不自由)
- ・ 都営住宅の1階に住んでいますが、道路から5段の階段が妻と二人では車椅子から降りてのぼる事が出来ず2人では出掛ける事も出来ず通所だけになっています。(男性・77歳・肢体不自由)
- ・ 道路の段差（歩道との）をなくしてほしい。車イスでもらくに移動出来る様にけやき号の利用枠をふやしてほしい。(女性・68歳・肢体不自由)
- ・ 歩道の幅は広いのですがバス停がある場所が狭いので車椅子で通るときにバスを待っている人がいると困ります。(女性・95歳・内部)
- ・ 西東京市は学校、病院、高齢化対策、特養ホームもなく、災害対策も充分でないと感じている。幹線道路の歩道幅は一人通るのがやっと。障害者に優しい町は私達にも優しい町、やさしい街になってほしい。(女性・73歳)

### 移動・交通機関に関すること

- ・ バスを利用したいのですが、行く先が限られてしまいます。中心に行くバスがもっとほしいです。(女性・72歳・肢体不自由)
- ・ 市も広いので、天候にもより、一人で出かけることができません。(タクシー券もいただいているが、病院通いだけでも足りないくらいです。)(女性・74歳・肢体不自由)

### 手続きに関すること

- ・ 障害がひどくなった時、身体障害の等級や介護度など早く見直してほしい。(男性・76歳・肢体不自由)
- ・ 目が不自由なので書類など字など大きくしてもらいたい。もっとかんたんな書類にしてほしい。(女性・65歳・視覚)
- ・ タクシー券の配布時の障害者の窓口が混みすぎです。相談したかったのに出来なかったことがある。対策を考えて欲しい。(女性・34歳・内部)
- ・ 市役所内担当窓口の方達の対応、福祉の内容をきちんと把握し、もれのないように、その人その人にあつた障害施策を進めていってほしい。障害者手帳の発行に3ヶ月もかかっているのは、一番大変な時に、何も利用できない。(女性・59歳・肢体不自由)
- ・ 窓口に来た方、電話等で問い合わせを受けた際、その方の立場に立って考えて助言等を行って欲しい。各部署との横のつながりを意識して欲しい。申請によって別窓口、別フロア、別の課と移動して

## < II 1 身体障害者調査 >

似たような用紙を何枚も記入する。申請書類をデータ化して情報を共有するなど、工夫して欲しい。

(男性・43歳・内部)

- ・ 医療・介護・福祉等の制度。複雑すぎて、高齢者には難しすぎる(若年者にも)。医療・介護・福祉の3つの制度に精通した人が、簡潔に説明する部署などあったらと思う。(男性・95歳・聴覚)
- ・ 補装具の修理決定に時間かかりすぎ。(男性・55歳・肢体不自由)

### 相談に関すること

- ・ 相談といってもどこまでなのかよくわからない。(男性・58歳・視覚)

### 各種サービスに関すること

- ・ 現在、タクシー割引券をもらっています。地元では使いやすく便利ですが、出先で使うのが不便です(使える会社かがよくわからない)。チケットがかさばり重い。タクシーだけでなく電車やバスでも使用できる券だといいです。(女性・48歳・視覚)
- ・ ショートステイを利用したい時、時間がかかりすぎ、又料金が高くて利用しにくいと考えてしまいます。(男性・83歳・肢体不自由)
- ・ 介護をボランティアに頼るのではなく、待遇を改善し仕事として成り立つ社会になれば良いと思います。(男性・60歳・内部)
- ・ 障害者の人が生活するのにこまらない支援の方法をもっと作ってほしいです(男性・64歳・内部)
- ・ 障害者の立場に立ち、必要不可欠な補助制度を充実して頂きたいです。障害者自身が必要としている物や支援をスムーズに受けられるような制度や仕組みの整備や意識改革して頂きたいです。(男性・38歳・聴覚)
- ・ 市のサービスを使わせていただきながら自分でも、できる限り、できる範囲を狭くしない様、日々を過したいと思います。楽しく、この状態を上手に受け入れながら暮らしていきたいです。(女性・69歳・内部)
- ・ 難病と介護がリンクしてない様を感じる。(男性・84歳・肢体不自由)

### 各種施設等の整備に関すること

- ・ 生活介護を日中してくれる、施設、法人を増やして欲しい。入浴を介助してくれる、場所、システムがあると良い。(男性・20歳・肢体不自由)
- ・ 入所施設を5年間探しています。介護施設はどこも支援員が足りません。外国人の支援員を雇うことが必要だと思います。(女性・29歳・肢体不自由)

### 理解や権利擁護、差別・人権侵害等に関すること

- ・ 車イス、シニアカーを利用しているが、右側通行をしていても自転車(シニアカー)なのに右側を通るんだと言われて切ない。障害者シールやヘルプカード(赤)をつけていても、理解されない。CMで、アピールしてほしい。(女性・54歳・肢体不自由)
- ・ 松葉杖・T字杖をついていても、電車で席を譲ってもらえる事は、ほぼ無いです。見て見ぬふりと感じます。もう少し、関心を持つようになってもらいたいと思いました。(女性・37歳・肢体不自由)
- ・ 障害者に対して、健常者の理解がほしい。バスや電車で優先席ですらゆずってもらえないのが現状。右に障害があり杖をついていても無視されるのはつらいです。(男性・45歳・肢体不自由)
- ・ 障害者用の駐車スペースに健常者が止めている事を無くす為にも、行政からお店等に指導して頂きたい。一般的なモラルの向上を目指してほしい。(男性・61歳・肢体不自由、内部)

- ・ 現在は障害者の理解が一般の人々にも深くあると思う。外に容易に出掛けられるし、オリンピック（2020年）に向かって、より充実すると思っている。差別は少なくなっていると思います。（女性・69歳・肢体不自由）
- ・ 国・市の目指す障害者福祉とは障害者本人家族にとって理想的なものだろうか。本来求める共生社会も地域・働く職員の差別意識が有る為、家族は二の足を踏んでいるのでないだろうか。（女性・70歳・肢体不自由）
- ・ 先日、道路上（歩道）に倒れた方がいらしたが、まわりで見ていた方の意識が手だすけをする方向に変わってくれないかと思いました。（男性・70歳・肢体不自由）
- ・ 福祉、障害者に対してお金をかけ過ぎだと言った声も聞かれてとても残念に思います。人としてモラルの欠けている人が多い。外出も勇気が必要です。市民への理解を得るためにもっともっと考えていただきたいと思います。（女性・69歳・肢体不自由）

### その他

- ・ 市からの大事な連絡をいただく際、担当部署名記載方法のご一考をお願いします。（女性・38歳・肢体不自由）
- ・ 難聴の為病院で名前を呼ばれてもわからない。市として病院等と相談してもらいたい。（女性・78歳・聴覚障害）
- ・ 不自由な足が痛みだし今後の生活及び災害時等、避難が心配になってきている。（女性・56歳・肢体不自由）
- ・ 1人住まいなので高齢のため、何か急に身体がおかしくなった時に自分で何もできないことの心配です。（女性・84歳・障害の種類無回答）
- ・ 私は、娘、孫の3人で暮しています。孫はアスペルガー症候群で、暴言暴力もあり、特に母親（娘）がいない時は大変です。1人暮らしをして何の不安もなく余生を送りたいと思っていますが、見通しもつかず本当に困っています。私は腰痛や、内部障害があって余り家事ができず、週1のヘルパーを思っていますが娘と暮しているとそれも出来ない。（女性・73歳・内部）
- ・ 障害者手帳をもってからこんなに色々補助を受けさせてもらいありがたいと思いました。私はなるべく自立し頑張りたいと思います。（女性・60歳・肢体不自由）
- ・ 西東京市はついのすみかです。とても住みやすいです。医療・介護も整っています。いつまでも元気でここで暮らせたらいいなと思っています。（男性・86歳・内部）
- ・ 体の不自由な方の為にはすべて満足の行く様な設備があれば良い事は解ります。私は自分で生活出来るので困っている方の苦しみや悩みが本当の意味で解らない部分が多い事が申し訳なく思います。精神的に健康で生活が出来る事が一番大切だと思います。（女性・87歳・内部）

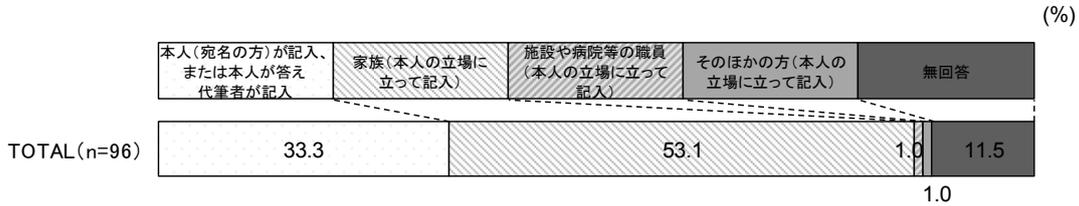
< II 1 身体障害者調査 >

## 2 知的障害者

### (1) 基本的な属性

問1 この用紙（調査票）に記入されるのはどなたですか。（○は1つ）

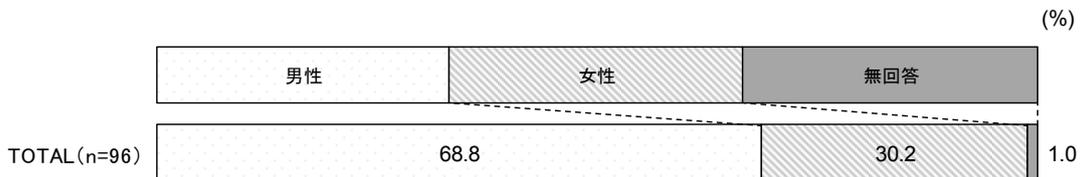
調査票記入者は「本人（宛名の方）が記入、または本人が答え代筆者が記入」が 33.3%、「家族（本人の立場に立って記入）」が 53.1%。



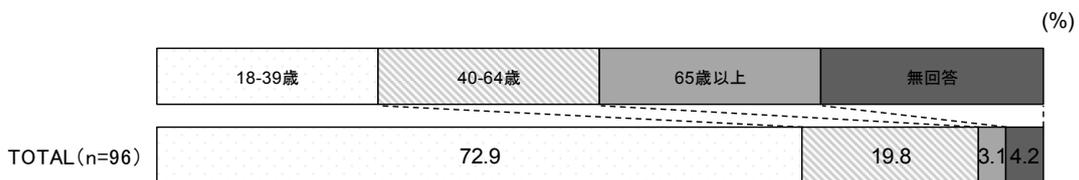
問2 あなたの性別をお答えください。（○は1つ）

問3 年齢（8月1日現在）を記入してください。

性別は、男性が 68.8%、女性が 30.2%。



年齢は、18-39歳が 72.9%で平均年齢は 32.5歳。



(%)

n=	19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答	平均年齢
96	14.6	33.3	25.0	14.6	4.2	3.1	1.0	4.2	32.5歳

< II 2 知的障害者調査 >

問4 現在、あなたはどこで暮らしていますか。(○は1つ)

居住形態は、「持ち家(分譲マンションを含む)」が52.1%で最も多く、次いで、賃貸住宅(アパート、賃貸マンション、借家)が30.2%である。

(%)

n=	持ち家(分譲マンションを含む)	賃貸住宅(アパート、賃貸マンション、借家)	グループホーム、ケアホーム、福祉ホーム	福祉施設(障害者支援施設、高齢者支援施設)	入院している	その他	無回答
96	52.1	30.2	8.3	2.1	2.1	1.0	4.2

問5 どなたと一緒に暮らしていますか。(○はいくつでも)

同居者は、「母親」が80.2%で最も高く、次いで「父親」が64.6%で続いている。

年代別にみると、19歳以下の14.3%が「福祉施設の職員や仲間」と暮らしている。「自分ひとりだけで暮らしている」人は、40代の14.3%のみとなっている。

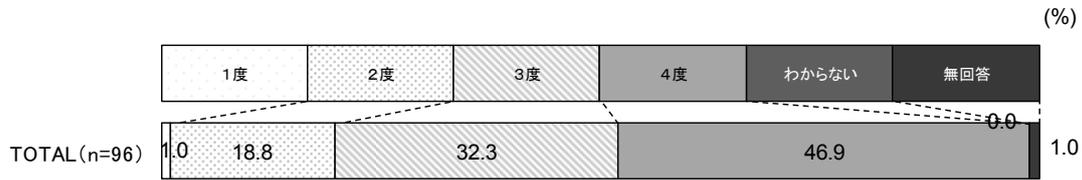
(%)

n=	自分ひとりだけで暮らしている	配偶者(夫または妻)	子ども(子どもも配偶者も含む)	父親	母親	祖父	祖母	兄弟、姉妹	その他の親せき	福祉施設の職員や仲間	その他	無回答
TOTAL	96	2.1	3.1	64.6	80.2	2.1	7.3	37.5	3.1	9.4	0.0	2.1
19歳以下	14	0.0	0.0	71.4	78.6	7.1	7.1	50.0	0.0	14.3	0.0	0.0
20代	32	0.0	0.0	78.1	96.9	0.0	9.4	56.3	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	24	0.0	8.3	70.8	79.2	4.2	12.5	20.8	0.0	8.3	0.0	4.2
40代	14	14.3	0.0	50.0	71.4	0.0	0.0	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0
50代	4	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0
60代	3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
70歳以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	4	0.0	0.0	50.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0

**(2) 障害状況**

問6 愛の手帳に書かれている障害の程度をお答えください。(○は1つ)

愛の手帳(療育手帳)に記載されている障害程度は、1度が1.0%、2度が18.8%、3度が32.3%、4度が46.9%。



問7 次のうち、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

愛の手帳(療育手帳)以外の障害者手帳所持状況・疾病状況をみると、「発達障害と診断されたことがある」人は34.4%。

20代以下では、「発達障害と診断されたことがある」人が、半数を超えている。

(%)

	n=	身体障害者手帳を持っている	精神障害者保健福祉手帳を持っている	国または東京都が指定する難病医療費等助成対象疾病を患っている	高次脳機能障害と診断されたことがある	発達障害と診断されたことがある	訪問看護などの医療的ケアを受けている	あてはまるものはない	無回答
TOTAL	96	17.7	14.6	7.3	1.0	34.4	2.1	26.0	11.5
19歳以下	14	21.4	14.3	7.1	0.0	57.1	0.0	21.4	0.0
20代	32	12.5	9.4	9.4	0.0	50.0	3.1	18.8	6.3
30代	24	16.7	12.5	4.2	0.0	20.8	4.2	33.3	20.8
40代	14	28.6	14.3	14.3	7.1	28.6	0.0	28.6	7.1
50代	4	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0
60代	3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
70歳以上	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	4	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0

< II 2 知的障害者調査 >

問8 あなたは、介護保険の介護認定を受けていますか。受けている場合、あてはまる要介護度に○をつけてください。(○は1つ)

<回答対象者：40歳以上>

介護認定状況は、どの年代も「認定は受けていない」が最も高い。

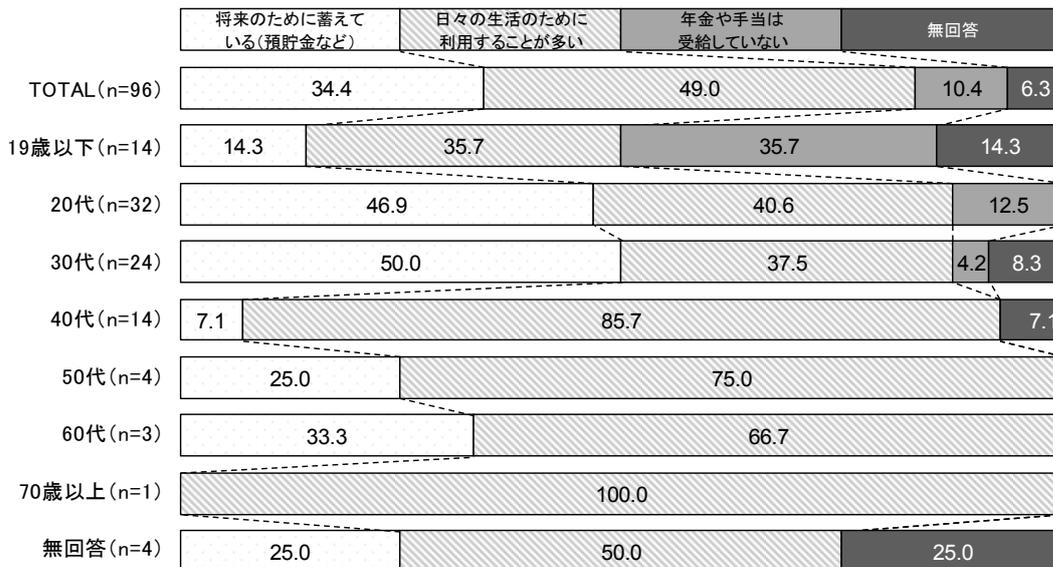
(%)

	n=	認定は受けていない	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	わからない	無回答
TOTAL	22	54.5	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	27.3
40代	14	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	7.1	35.7
50代	4	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
60代	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
70歳以上	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問9 あなたは、障害者支援の手当や年金を主にどのように利用していますか。(○は1つ)

障害者支援の手当や年金の利用状況は、「将来のために蓄えている(預貯金など)」が34.4%、「日々の生活のために利用することが多い」が49.0%、「年金や手当は受給していない」が10.4%である。

(%)

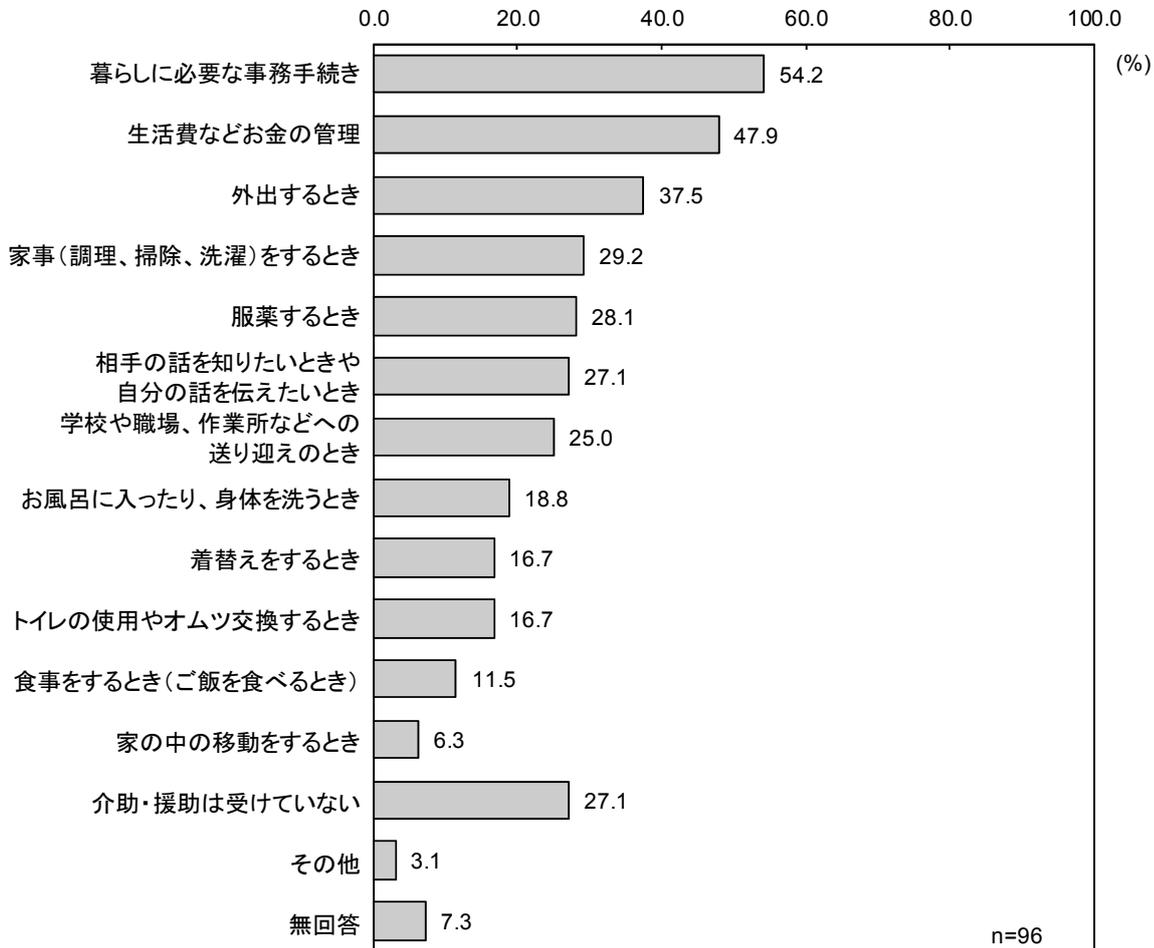


※0.0 は非表示

**(3) 介助・援助の状況**

問 10 あなたは、どのようなときに介助・援助を受けていますか。(○はいくつでも)

介助・援助を受けている場面としては、「暮らしに必要な事務手続き」が 54.2%で最も高く、次いで、「生活費などお金の管理」(47.9%)、「外出するとき」(37.5%) と続く。「介助・援助は受けていない」人は 27.1%である。



< II 2 知的障害者調査 >

問 11 ふだん、あなたを主に介助・援助しているのはどなたですか。(○は1つ)

ふだん、主に介助・援助している人は「母親」が54.0%で最も高く、次いで、「父親」が23.8%である。

30代では「その他」(23.1%)として、「グループホームの職員」との記述が多くあった。

(%)

n=		配偶者(夫、妻)	子ども、子どもの配偶者	父親	母親	祖父	祖母	兄弟、姉妹	その他の親せき	近所の人、友人・知人	ホームヘルパー等の在宅サービス事業者	その他
TOTAL	63	3.2	0.0	23.8	54.0	0.0	0.0	6.3	1.6	0.0	1.6	9.5
19歳以下	10	10.0	0.0	10.0	70.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
20代	22	0.0	0.0	36.4	54.5	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	4.5
30代	13	0.0	0.0	23.1	53.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1
40代	11	0.0	0.0	27.3	63.6	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0
50代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
60代	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0
70歳以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(4) 日中の過ごし方や外出の状況・社会参加状況

問 21 あなたは、平日(月曜日～金曜日)の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つ)

平日の日中の過ごし方として、「福祉施設、作業所などに通っている」が41.7%で最も高く、次いで、「働いている」が35.4%である。

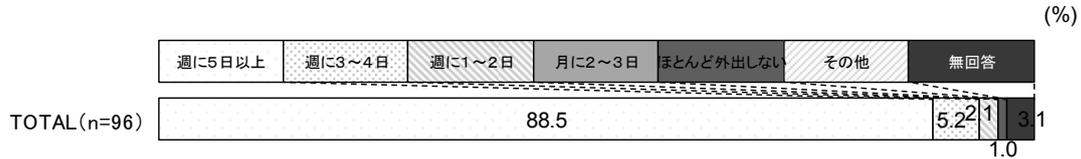
年代別にみると、「福祉施設、作業所などに通っている」割合は、20代では43.8%、30代では33.3%、40代では71.4%である。

(%)

n=		幼稚園や保育園、学校などに通っている	福祉施設、作業所などに通っている	病院などのデイケアに通っている	リハビリテーションを受けている	働いている	入所・入院している施設や病院などで過ごしている	自宅にすることが多い	その他	無回答
TOTAL	96	9.4	41.7	1.0	0.0	35.4	2.1	8.3	1.0	1.0
19歳以下	14	50.0	28.6	0.0	0.0	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	32	0.0	43.8	3.1	0.0	40.6	0.0	12.5	0.0	0.0
30代	24	8.3	33.3	0.0	0.0	50.0	0.0	8.3	0.0	0.0
40代	14	0.0	71.4	0.0	0.0	21.4	0.0	7.1	0.0	0.0
50代	4	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0
60代	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
70歳以上	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	4	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0

問 12 あなたは、どのくらい外出しますか。通所、通学、通勤、買い物、日常の散歩など、すべてを含めてお答(こた)えください。(○は1つ)

外出頻度は、「週に5日以上」が88.5%、「週に3～4日」が5.2%、「週に1～2日」が2.1%である。「ほとんど外出しない」と回答した人は1.0%となっている。

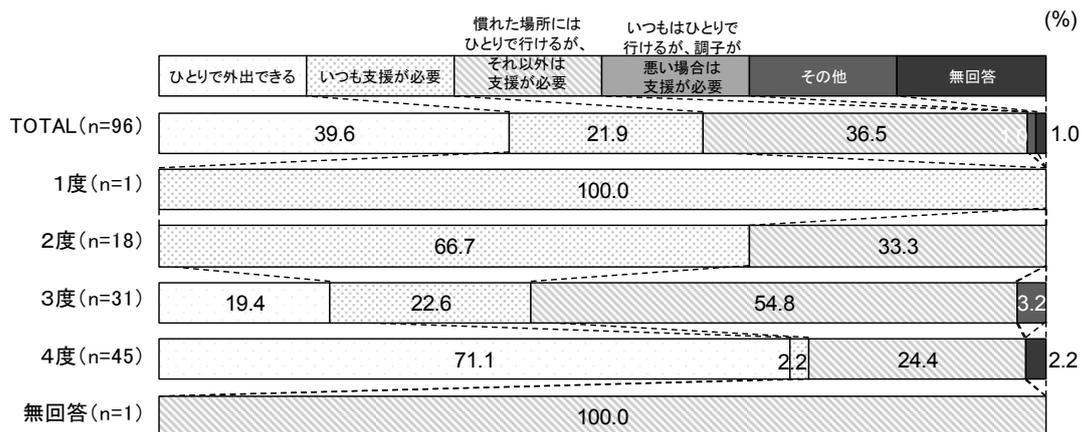


※0.0 は非表示

問 13 あなたは、外出をするときに支援が必要ですか。(○は1つ)

外出時の支援の必要性は、39.6%の人が「ひとりで外出できる」と回答している。「いつも支援が必要」は21.9%、「慣れた場所にはひとりで行けるが、それ以外は支援が必要」は36.5%である。

障害の程度別にみると、障害程度2度と回答した18人のうち12人が「いつも支援が必要」(66.7%)である。

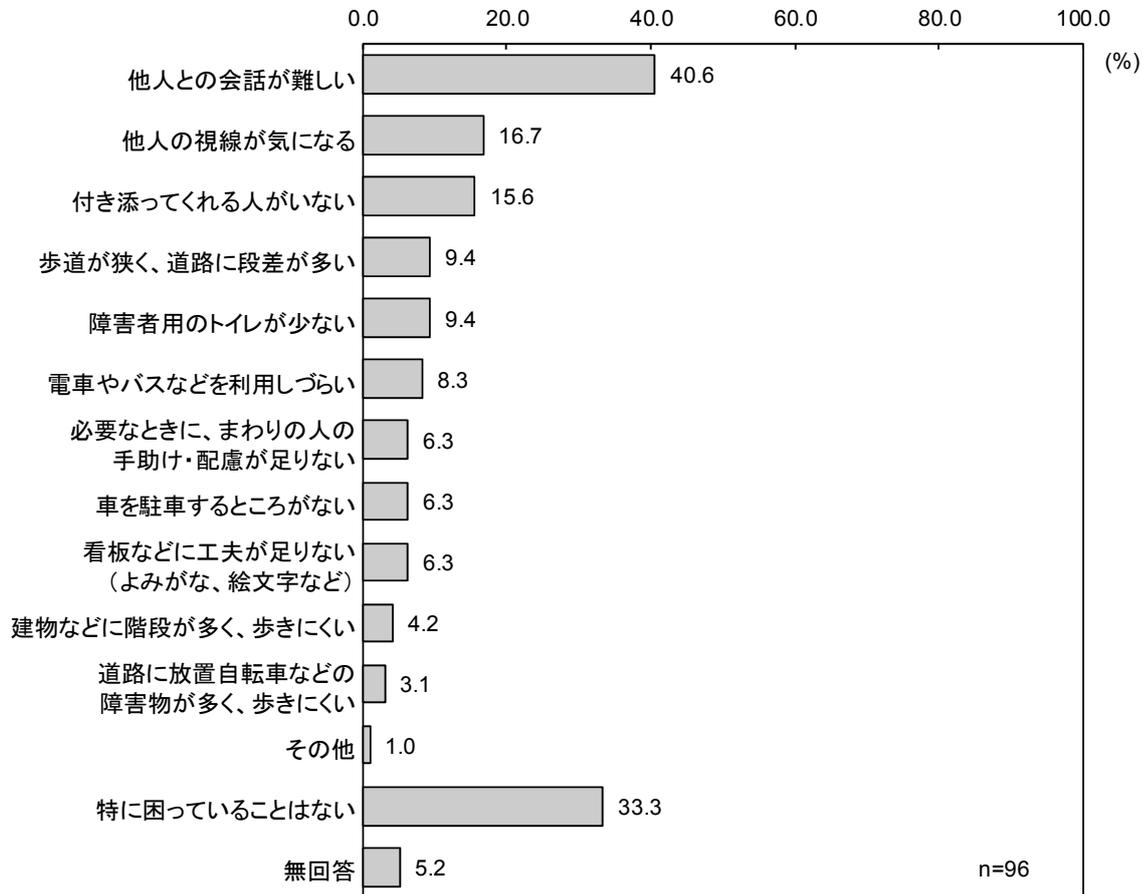


※0.0 は非表示

< II 2 知的障害者調査 >

問 14 外出の際に困っていることはありますか。(○はいくつでも)

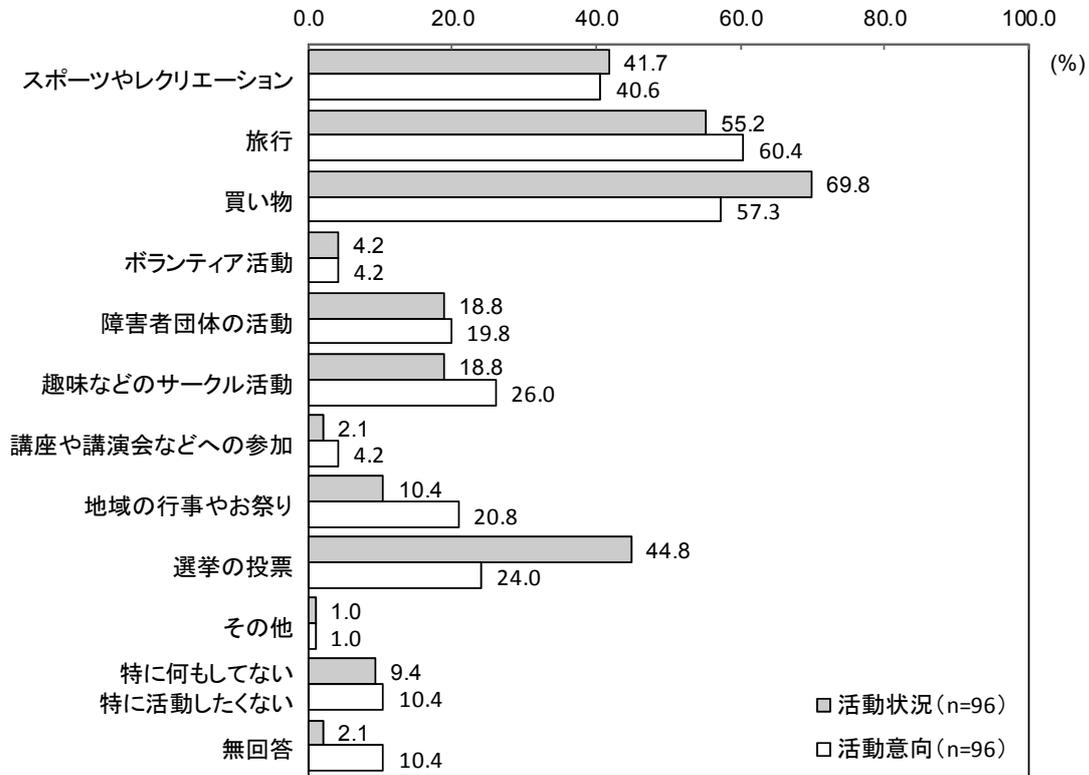
外出の際に困っていることとしては、「他人との会話が難しい」ことをあげる人が40.6%で最も高い。次いで、「他人の視線が気になる」(16.7%)、「付き添ってくれる人がいない」(15.6%) と続く。33.3%の人は「特に困っていることはない」と回答している。



問 15 あなたは、この1年くらいの中に、次のような活動をしましたか。(○はいくつでも)：活動状況  
 問 19 これからどのような活動をしたいと思いますか。(○はいくつでも)：活動意向

活動状況と活動意向を比べると、「地域の行事やお祭り」は実際の活動状況が 10.4%、活動意向は 20.8%となっており、意向が約 10 ポイント高い。

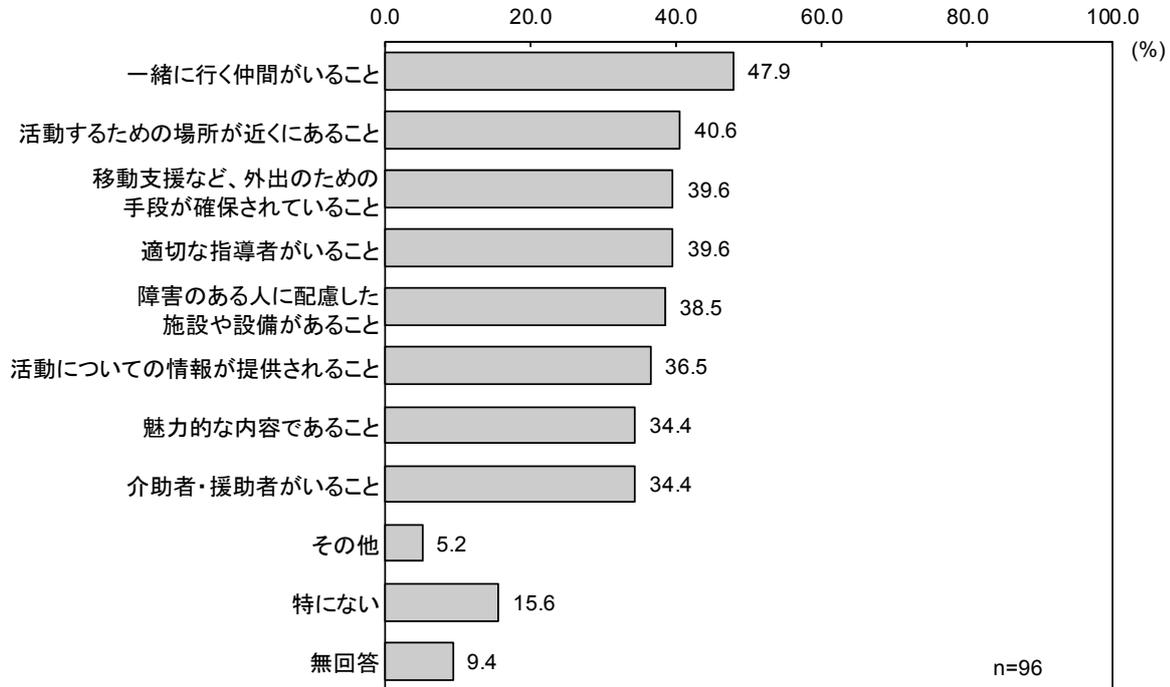
実際の活動状況では、「買い物」(69.8%)、「旅行」(55.2%) が高く、活動意向では、「旅行」(60.4%)、「買い物」(57.3%) が高い。



< II 2 知的障害者調査 >

問 20 問 19 のような活動をするために、どのような支援が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

活動のために必要な支援として、「一緒に行く仲間がいること」が 47.9% で最も高く、次いで、「活動するための場所が近くにあること」(40.6%)、「移動支援など、外出のための手段が確保されていること」、「適切な指導者がいること」(ともに 39.6%) が続いている。



問 16 選挙の投票の際、困ったことや改善してほしいことはありましたか。(自由記述)

<回答対象者：問 15 で「選挙の投票」と回答した人>

選挙の投票の際、困ったことや改善してほしいこととして、以下の記述があった。

- ・ 本人は、投票の意味がよくわからないので、投票用紙が届いても投票に行けません。会場で親の意向で、候補者の名を教えて記入させるわけにはいかないので困ります。(男性・18 歳)
- ・ 名前を全部書くのは苦手です。○×式があると良いのですが。(男性・25 歳)
- ・ 親や本人が日常から信頼できている方に付き添い、介助（書き場所の指示など）をしてもらう事が可能であれば投票に行きたい。(男性・19 歳)

問 17 スポーツ活動をした方は、どのようなスポーツ活動をしましたか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

<回答対象者：問 15 で「スポーツやレクリエーション」選択者>

スポーツ活動の内容は、以下の通りである。

(%)

n=	卓球	バスケットボール	ボッチャ	ダンス	ボウリング	パドミントン	水泳	その他	無回答
40	22.5	7.5	5.0	7.5	20.0	10.0	32.5	52.5	7.5

「その他」(52.5%)として、21人から以下のような具体的な記述があった。

(件)

野球・ソフトボール	テニス・ソフトテニス	サッカー・フットサル	サイクリング	スポーツセンター
5	3	3	2	1
パークゴルフ	ラグビー	体操	トランポリン	その他
1	1	1	1	2

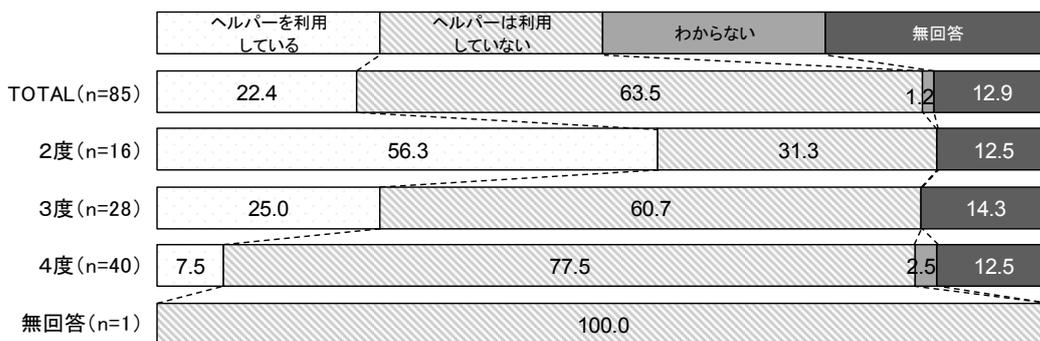
問 18 活動のために外出する際に「同行援護」「行動援護」「移動支援」等のヘルパーを利用していますか。(○は1つ)

<回答対象者：問 15 で何らかの活動をしている人>

活動のためのヘルパー利用状況は、「ヘルパーを利用している」が22.4%、「ヘルパーは利用していない」は63.5%である。

障害の程度別にみると、障害程度2度と回答した16人のうち9人が、障害程度3度と回答した28人のうち7人が「ヘルパーを利用している」。

(%)



※0.0 は非表示

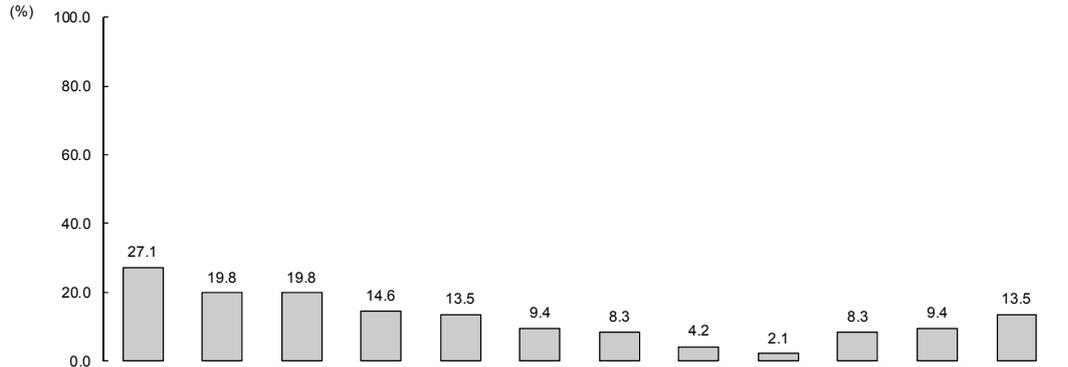
**(5) 将来の希望**

問 51 あなたは、今後、どのように日中を過ごしたいと思いますか。(○はいくつでも)

今後、希望する日中の過ごし方は、「一般企業等での就労は難しいと思うが働きたいと思うので、施設内で就労したり、生産活動をしながら過ごしたい」が 27.1%で最も高く、次いで、「自宅でのんびり過ごしたい」、「一般企業などで働きたい」がそれぞれ 19.8%で続いている。

平日の日中の過ごし方別にみると、福祉施設、作業所などに通っている人の 17.5%が「施設や企業で作業や実習などを行い、職場探しや職場定着のための支援を受けたい」と考えている。

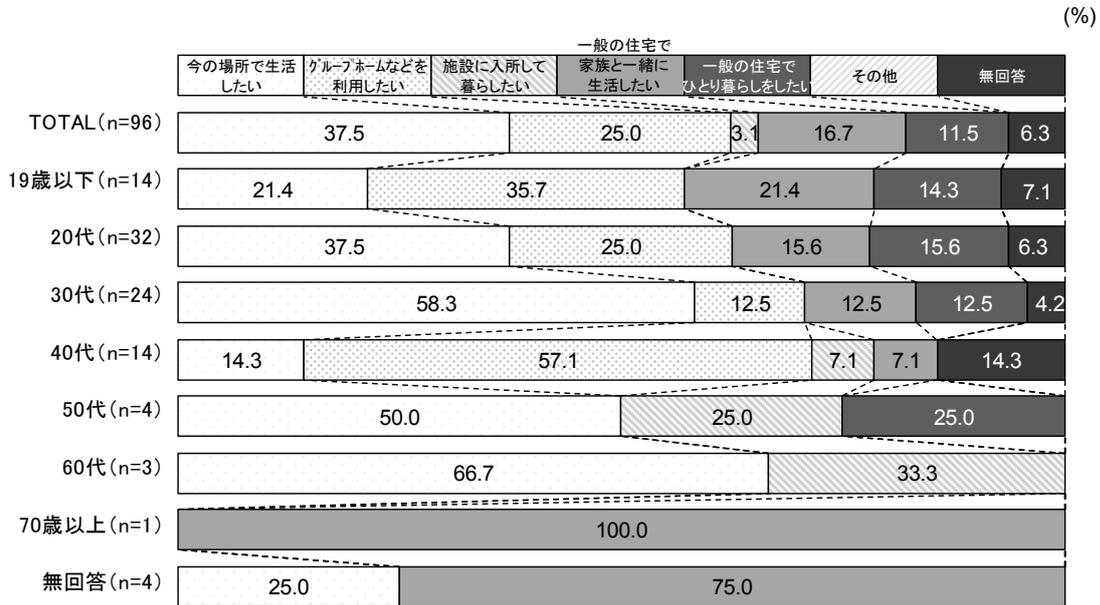
<平日の日中の過ごし方別・今後希望する日中の過ごし方>



	n=	一般企業等での就労は難しいと思うが働きたいと思うので、施設内で就労したり、生産活動をしながら過ごしたい	自宅でのんびり過ごしたい	一般企業などで働きたい	施設や企業で作業や実習などを行い、職場探しや職場定着のための支援を受けたい	自立した日常生活ができるよう、一定期間、身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を受けたい	施設で、入浴、排せつ、食事の介護を受けながら、創作的活動などを行いたい	創作活動や社会との交流などを行ったりするところを過ごしたい	医療機関で、機能訓練、看護、介護、日常生活の世話などを受けながら過ごしたい	学校に通いたい	その他	わからない	無回答
TOTAL	96	27.1	19.8	19.8	14.6	13.5	9.4	8.3	4.2	2.1	8.3	9.4	13.5
幼稚園や保育園、学校などに通っている	9	11.1	11.1	33.3	44.4	11.1	0.0	22.2	11.1	11.1	11.1	0.0	22.2
福祉施設、作業所などに通っている	40	55.0	15.0	5.0	17.5	15.0	22.5	10.0	5.0	0.0	5.0	0.0	10.0
病院などのデイケアに通っている	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
働いている	34	0.0	23.5	35.3	2.9	11.8	0.0	2.9	0.0	2.9	8.8	20.6	20.6
入所・入院している施設や病院などで過ごしている	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
自宅にすることが多い	8	37.5	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0
その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 52 あなたは、将来、どこで生活したいと思いますか。(○は1つ)

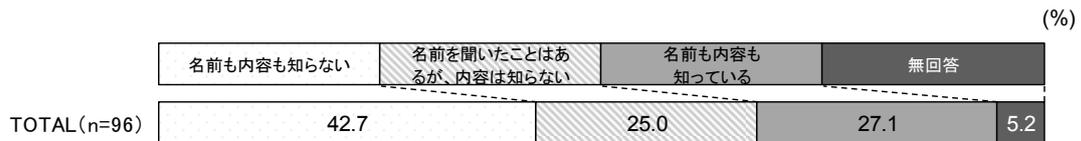
将来、生活したいところは、「今の場所で生活したい」が 37.5%、「グループホームなどを利用したい」が 25.0%、「施設に入所して暮らしたい」が 3.1%、「一般の住宅で家族といっしょに生活したい」が 16.7%、「一般の住宅でひとり暮らしをしたい」が 11.5%である。



※0.0 は非表示

問 53 成年後見制度とは、知的障害や精神障害などの理由により、判断能力が十分でない方の財産などの権利を守る制度です。あなたは、成年後見制度について知っていますか。(○は1つ)

成年後見制度について、「名前も内容も知っている」人は 27.1%、「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」人は 25.0%である。42.7%の人が「名前も内容も知らない」と回答している。

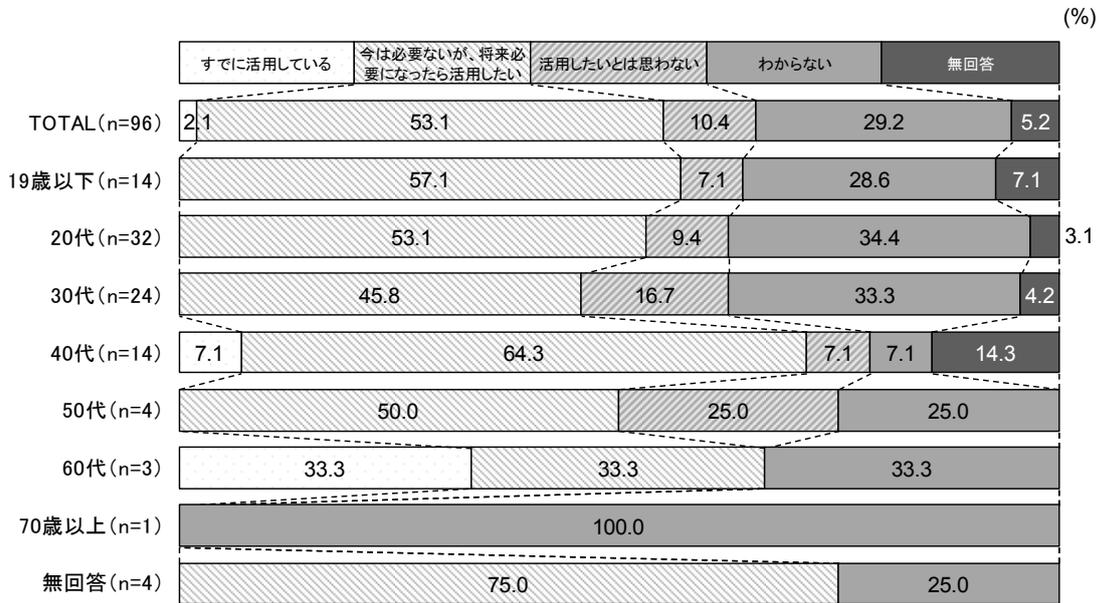


< II 2 知的障害者調査 >

問 54 あなたは、成年後見制度を活用したいと思いますか。(○は1つ)

成年後見制度を「すでに活用している」人は2.1%である。「今は必要ないが、将来必要になったら活用したい」と考える人は53.1%である。

年代別にみると、40代、60代のそれぞれ1人が「すでに活用している」。50代以下では「今は必要ないが、将来必要になったら活用したい」との回答が高い。

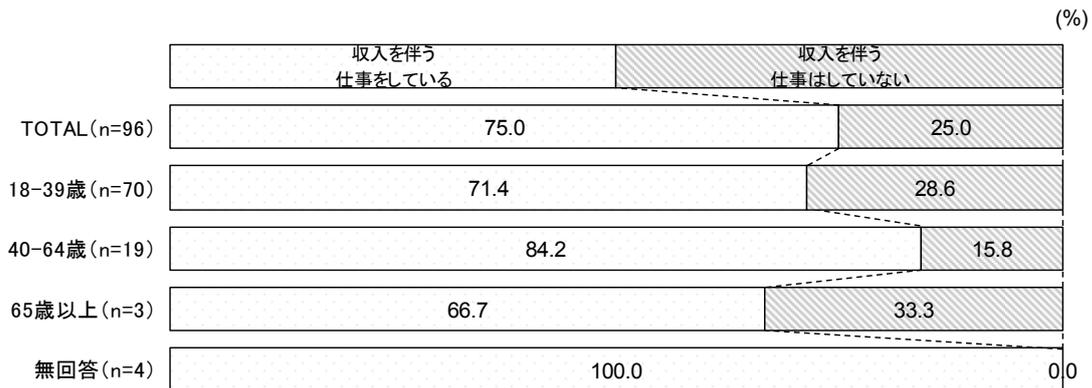


※0.0 は非表示

(6) 雇用・就労について

問 22 現在、あなたはお金をもらう仕事をしていますか。(○は1つ)

収入を伴う仕事している人の割合は、18-39歳で71.4%、40-64歳で84.2%である。



<問 23～問 26 回答対象者：収入を伴う仕事をしている人>

問 23 どなたかの支援を受けて現在の仕事に就きましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

就労の際の支援については、「学校」が41.7%と最も高く、次いで「家族」(25.0%)、「障害者就労支援センター(一歩)」(11.1%)と続く。「支援は受けなかった」人は9.7%である。

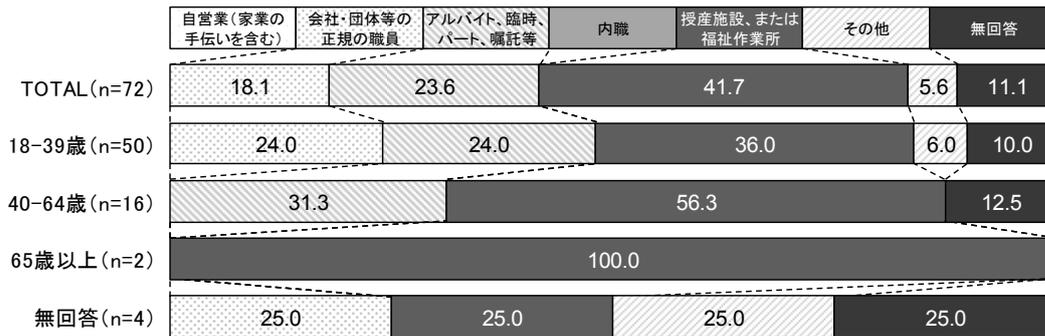
(%)

n=	ハローワーク	障害者就労支援センター(一歩)	就労移行支援事業所(さくらの園)	学校	家族	友人・知人	その他	支援は受けなかった	無回答
72	9.7	11.1	8.3	41.7	25.0	5.6	4.2	9.7	12.5

問 24 仕事の形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

就労形態は、「授産施設、または福祉作業所」が41.7%、「アルバイト、臨時、パート、嘱託等」が23.6%、「会社・団体等の正規職員」が18.1%である。

(%)



※0.0 は非表示

< II 2 知的障害者調査 >

問 25 あなたご自身の1ヶ月当たりの平均的な給与・賃金・工賃はいくらですか。

1ヶ月当たりの平均的な給与・賃金・工賃は、平均 49,175 円である。

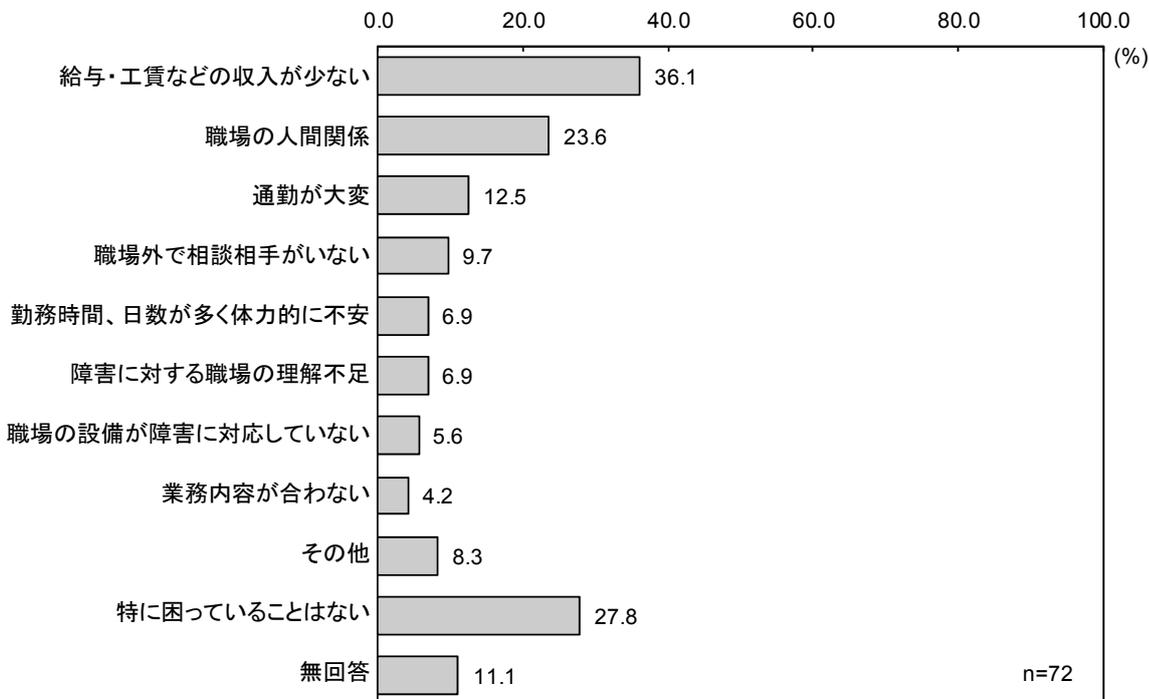
就労形態別にみると、1ヶ月当たりの平均的な給与・賃金・工賃は、「会社・団体等の正規職員」122,155 円、「アルバイト、臨時、パート、嘱託等」83,202 円、「授産施設、または福祉作業所」11,776 円となっている。

(%)

	n=	5,000円 未満	10,000円 未満	15,000円 未満	50,000円 未満	100,000 円未満	150,000 円未満	150,000 円以上	無回答	平均(円)
TOTAL	72	16.7	12.5	13.9	12.5	11.1	16.7	6.9	9.7	49,175
会社・団体等の 正規の職員	13	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	53.8	23.1	7.7	122,155
アルバイト、臨時、 パート、嘱託等	17	11.8	0.0	0.0	11.8	29.4	29.4	11.8	5.9	83,202
授産施設、また は福祉作業所	30	23.3	26.7	26.7	20.0	3.3	0.0	0.0	0.0	11,776
その他	4	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	8,666
無回答	8	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	5,000

問 26 仕事をする上で困っていることは何ですか。(○はいくつでも)

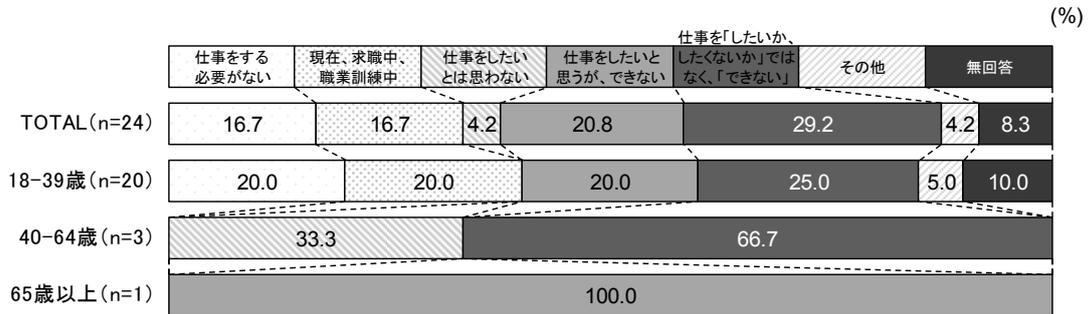
仕事をする上で困っていることとして、「給与・工賃などの収入が少ない」との回答が 36.1%で最も高い。次いで、「職場の人間関係」(23.6%)、「通勤が大変」(12.5%)が続く。「特に困っていることはない」と回答した人は 27.8%である。



問 27 仕事をしていない主な理由は何ですか。(○は1つ)

<回答対象者：収入を伴う仕事をしていない人>

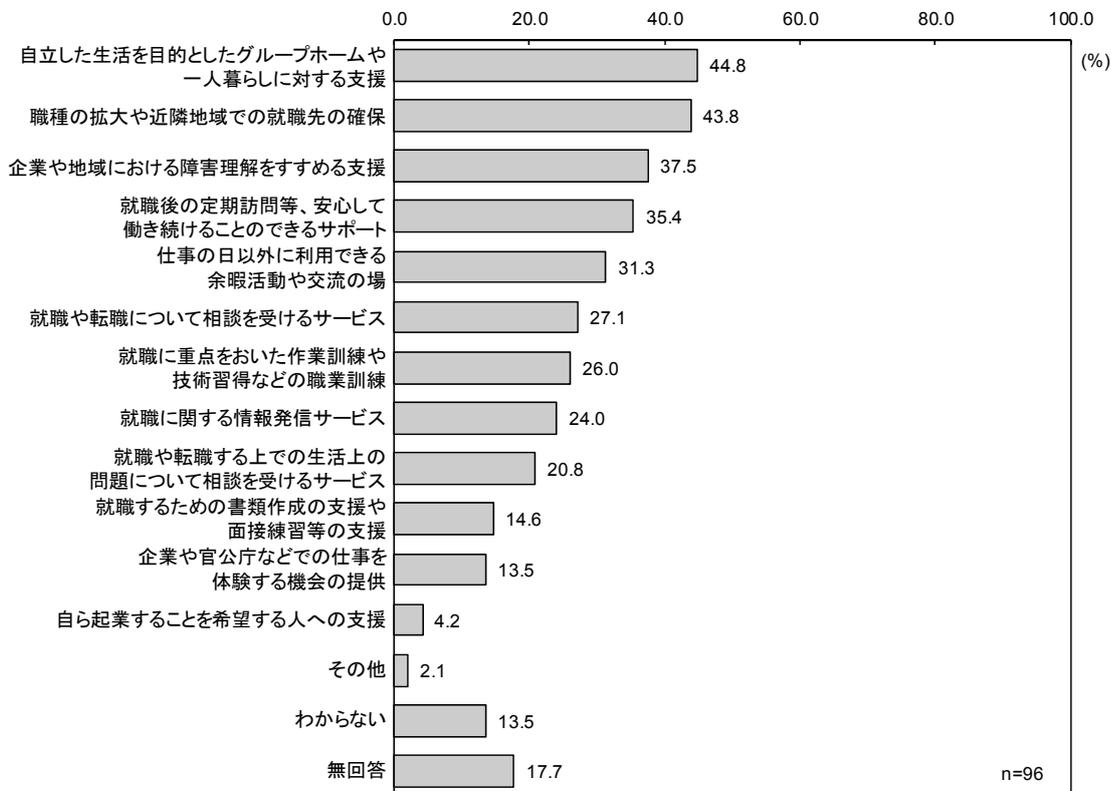
仕事をしていない主な理由として、「仕事を「したいか、したくないか」ではなく、「できない」が29.2%で最も高い。



※0.0 は非表示

問 28 あなたは、障害のある人が仕事につけるようにするために、市内で不足していると思われるサービスや取組みは何だと思えますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

障害のある人の雇用促進のために、不足していると思われるサービスや取組みは、「自立した生活を目的としたグループホームや一人暮らしに対する支援」が44.8%で最も高く、次いで、「職種の拡大や近隣地域での就職先の確保」(43.8%)、「企業や地域における障害理解をすすめる支援」(37.5%)と続く。

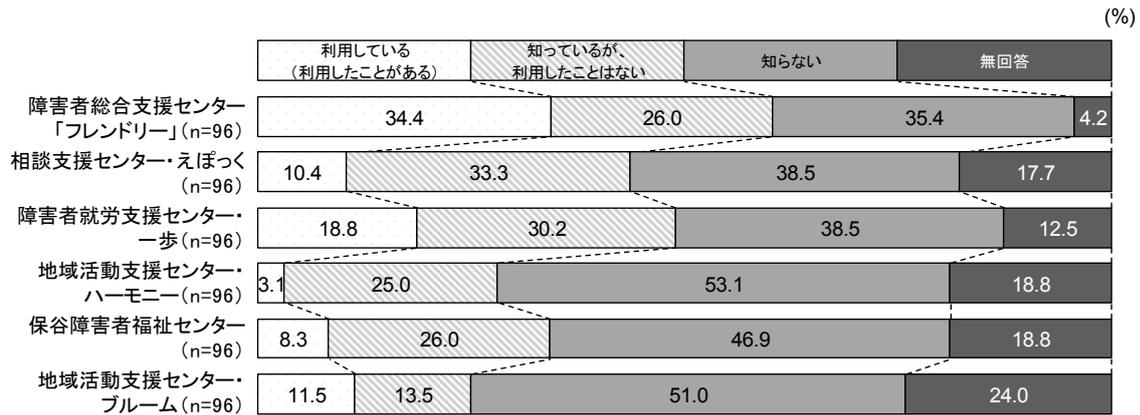


< II 2 知的障害者調査 >

**(7) 障害者施設・施策について**

問 29 あなたは、西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。(○は1つ)  
 問 30 あなたは、西東京市にある次の施設を利用したことがありますか。また、知っていますか。(○は1つ)

市内施設を利用したことがある人は、障害者総合支援センター「フレンドリー」が 34.4%、相談支援センター・えぼっくが 10.4%、障害者就労支援センター・一歩が 18.8%、地域活動支援センター・ハーモニーが 3.1%、保谷障害者福祉センターが 8.3%、地域活動支援センター・ブルームが 11.5%である。



問 31 あなたは、次の講座や事業等を知っていますか。(○はいくつでも)

市開催の講座や事業等の認知状況は、以下の通りである。

(%)

n=	サポーター養成講座	ヘルプカード	スポーツ支援事業	障害者水泳教室	講座や事業等は知らない	無回答
96	15.6	41.7	17.7	14.6	40.6	11.5

**(8) 相談や情報入手方法**

問 32 あなたは、悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親せき以外に、どのようなところに相談していますか。(〇はいくつでも)

家族や親せき以外の相談先としては、「福祉施設や作業所の職員」をあげる人が 33.3%と最も高く、次いで、「知人・友人」(22.9%)、「病院・診療所」(21.9%)と続いている。一方で、15.6%が「相談できる場所は特にない」と回答している。

(%)

n=	福祉施設 や作業所 の職員	友人・ 知人	病院・ 診療所	市役所の 福祉相談 窓口	幼稚園・ 保育園・ 学校の先 生や職場 の仲間	障害者 就労支援 センター ー・一歩	地域活動 支援セン ター・ブ ルーム	相談支援 センタ ー・ えぼっく	児童 相談所	生活保護 の担当 職員
96	33.3	22.9	21.9	15.6	13.5	9.4	5.2	3.1	3.1	3.1
	保谷障害 者福祉セ ンター	地域活動 支援セン ター・ ハーモニ ー	障害者 団体	保健師	民生委員・ 児童委員	社会福祉 協議会の 職員	その他	その他誰 かに相談 することは まれであ る	相談でき るところ は特にな い	無回答
	2.1	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	3.1	9.4	15.6	4.2

問 33 相談できる場所は特にないと回答した理由は何ですか。(〇はいくつでも)

<回答対象者：「相談できる場所は特にない」と回答した人>

66.7%は「どこに相談したらよいかわからないから」と回答している。

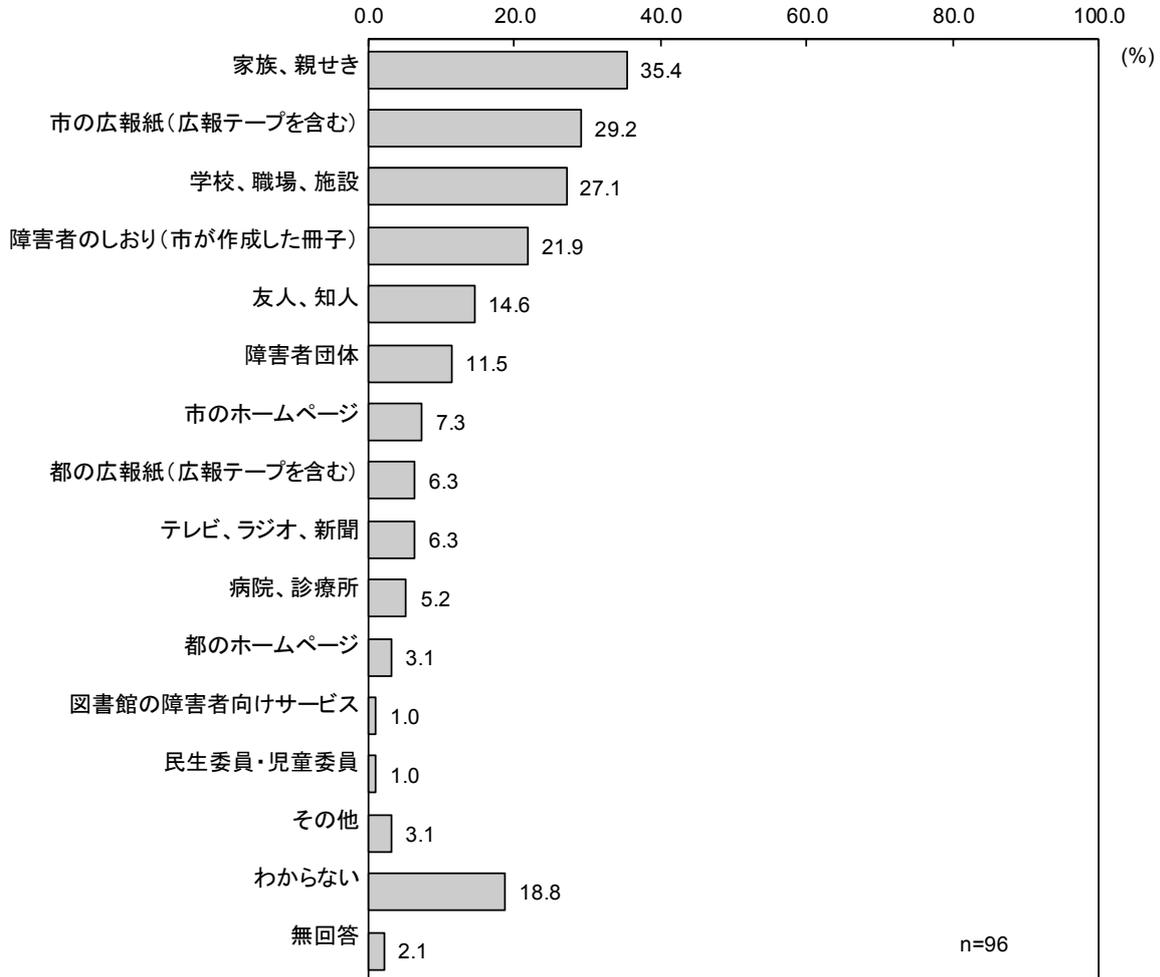
(%)

n=	相談するほどでも ない・必要がない	相談したく ないから	どこに相談 したらよいか わからないから	その他	無回答
15	33.3	6.7	66.7	0.0	6.7

< II 2 知的障害者調査 >

問 34 あなたは、障害福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。(〇はいくつでも)

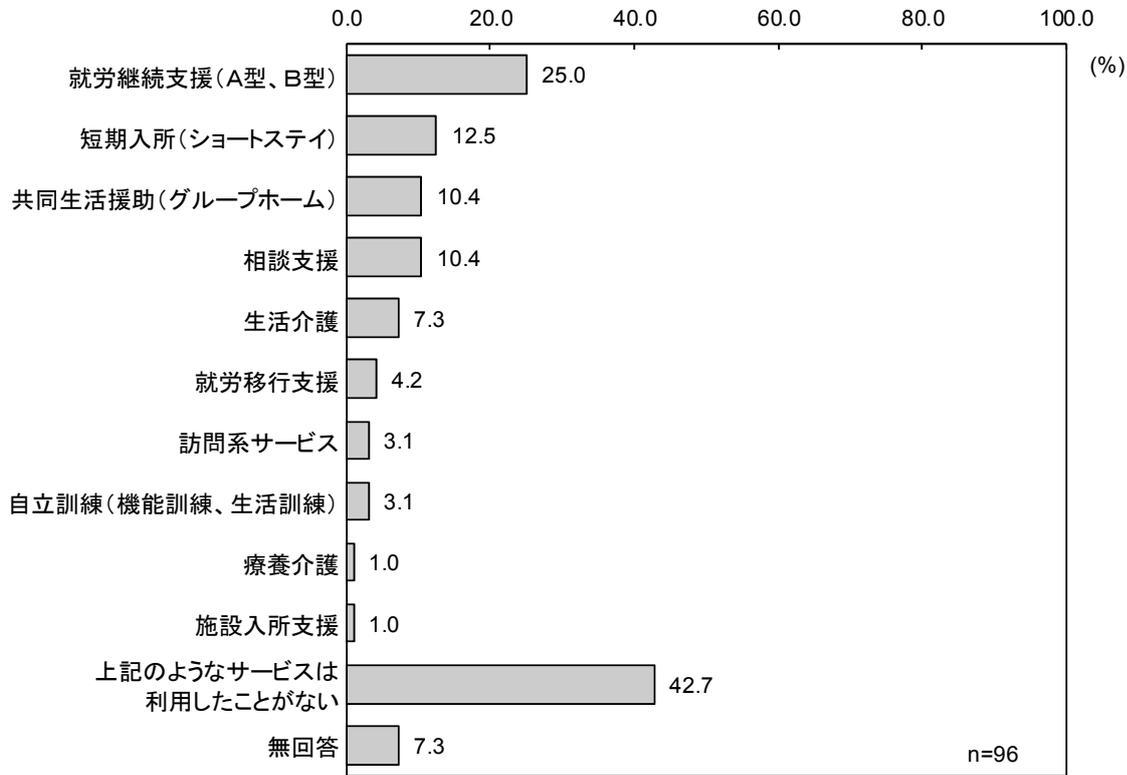
情報の入手先として、「家族、親せき」が 35.4%で最も高く、次いで、「市の広報紙（広報テープを含む）」(29.2%)、「学校、職場、施設」(27.1%)、と続いている。情報入手先が「わからない」と回答した人は 18.8%である。



**(9) 福祉サービス認知・利用状況**

問 35 あなたは、次のような障害福祉サービスを、この1年のあいだに利用したことがありますか。利用したことがあるサービスに○をつけてください。(○はいくつでも)

以下の障害福祉サービスのうち、過去1年間での利用経験が最も高いのは、「就労継続支援(A型、B型)」で25.0%である。次いで、「短期入所(ショートステイ)」(12.5%)、「共同生活援助(グループホーム)」(10.4%)、「相談支援」(10.4%)が続く。



問 36 サービスに対する、感想やご意見があれば自由にご記入ください。(自由記述)

※サービス名、利用の際に困っていること、サービス利用で改善してほしい点など。

<回答対象者：何らかの障害福祉サービス利用経験者>

サービスに対する、感想や意見を自由回答形式でたずねたところ、12人から以下のような記述があった。

**サービスに対する、感想やご意見 (性別・年齢・利用したことがあるサービス)**

- ・ 1回の外出に時間がかかる(特に移動)ため、移動支援の時間数を個々に合わせて増やしてほしい(週末など自宅に帰ってきた時の支援も含めて)。(男性・30歳・訪問系サービス、共同生活援助(グループホーム))
- ・ B型の就労継続支援を利用していますが作業所の方々がとても良く指導して下さるので安心して就労している。(男性・24歳・就労継続支援(A型、B型))
- ・ 本人に合う適切な利用できるサービスなどの存在を知ることができなくて利用するまでにいたってはなく市の相談より友人から聞いて手続きに行くことです。(女性・27歳・就労継続支援(A型、B型))
- ・ 生活介護事業所の職員さんが、辞める人が多く、人手不足で、支援員の方がいつもバタバタしている感じで不安です。(女性・31歳・生活介護、共同生活援助(グループホーム))
- ・ 利用したいと思っても空きがなかったり、対応してもらえないことが多い。利用できないことばかりだった。(男性・22歳・生活介護、就労継続支援(A型、B型))

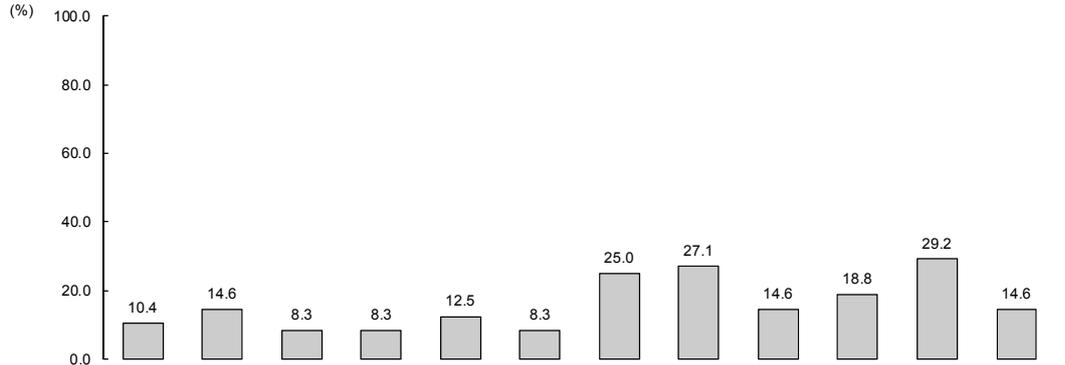
< II 2 知的障害者調査 >

問 37 あなたが、「十分利用できていない」と思う障害福祉サービスはどのサービスですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

<回答対象者：何らかの障害福祉サービス利用経験者>

サービス利用経験者の29.2%が「必要なサービスを利用できている」と回答しているが、「十分利用できていない」と思うサービスでは、「共同生活援助（グループホーム）」(27.1%)、「短期入所（ショートステイ）」(25.0%) をあげる人が多い。

<利用したことがあるサービス別・十分利用できていないサービス>



利用したことがあるサービス

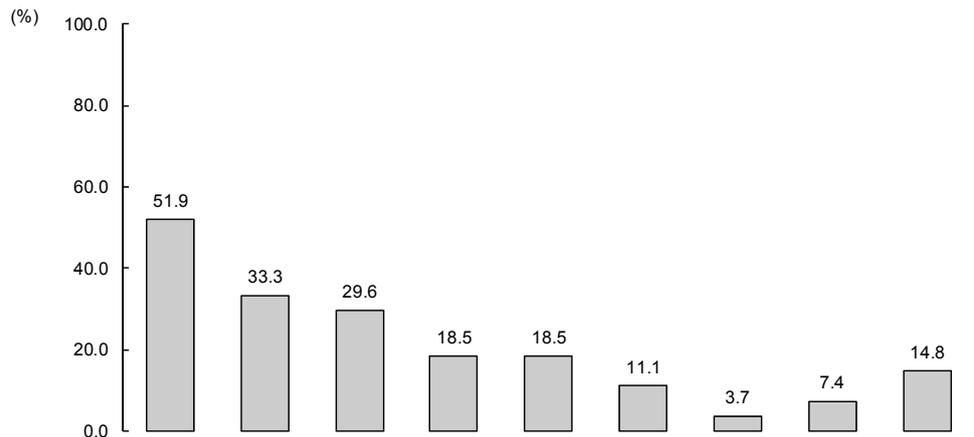
	n=	訪問系サービス	生活介護	自立訓練 (機能訓練、生活訓練)	就労移行支援	就労継続支援 (A型、B型)	療養介護	短期入所 (ショートステイ)	共同生活援助 (グループホーム)	施設入所支援	相談支援	必要なサービスを利用できている	無回答
TOTAL	48	10.4	14.6	8.3	8.3	12.5	8.3	25.0	27.1	14.6	18.8	29.2	14.6
訪問系サービス	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
生活介護	7	0.0	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	28.6	14.3	0.0	14.3	57.1	0.0
自立訓練(機能訓練、生活訓練)	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3
就労移行支援	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0
就労継続支援(A型、B型)	24	16.7	16.7	8.3	16.7	25.0	12.5	37.5	37.5	20.8	29.2	29.2	0.0
療養介護	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
短期入所(ショートステイ)	12	0.0	16.7	8.3	0.0	8.3	8.3	41.7	33.3	33.3	16.7	16.7	8.3
共同生活援助(グループホーム)	10	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	50.0	20.0
施設入所支援	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
相談支援	10	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	20.0	20.0	20.0	40.0	30.0

問 38 必要だと思うサービスを、十分、利用できていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

<回答対象者：障害福祉サービスを十分利用できていないと感じている人>

利用サービスを「十分利用できていない」と感じている人に、理由をたずねたところ、「使いたいサービスの定員がいっぱいだから」が51.9%で最も高く、次いで、「自分が利用したい時間や時期とあわないから」(33.3%)、「サービス利用に予約が必要で、いつも予約がいっぱいだから」(29.6%)が続く。

<十分利用できていないと思うサービス別・十分利用できていない理由>



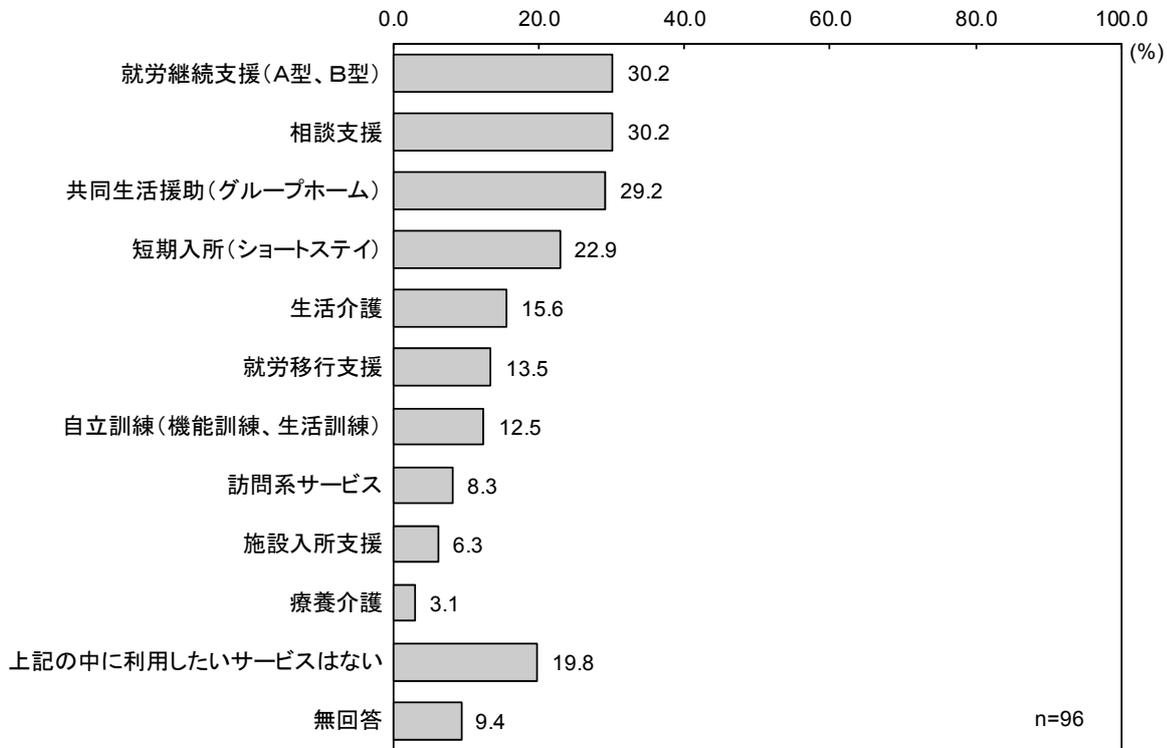
十分利用できていないと思うサービス

	n=	使いたいサービスの定員がいっぱいだから	自分が利用したい時間や時期とあわないから	サービス利用に予約が必要で、いつも予約がいっぱいだから	自己負担が大きく、利用できないから	支給量が足りないから	通うのが大変だから	その他	わからない	無回答
TOTAL	27	51.9	33.3	29.6	18.5	18.5	11.1	3.7	7.4	14.8
訪問系サービス	5	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	0.0	0.0	40.0	0.0
生活介護	7	71.4	57.1	71.4	42.9	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0
自立訓練(機能訓練、生活訓練)	4	75.0	50.0	50.0	50.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0
就労移行支援	4	50.0	50.0	75.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
就労継続支援(A型、B型)	6	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	50.0
療養介護	4	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
短期入所(ショートステイ)	12	58.3	25.0	50.0	16.7	8.3	16.7	8.3	8.3	16.7
共同生活援助(グループホーム)	13	76.9	23.1	30.8	23.1	23.1	15.4	7.7	7.7	7.7
施設入所支援	7	57.1	42.9	42.9	28.6	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0
相談支援	9	44.4	55.6	44.4	22.2	11.1	11.1	0.0	11.1	22.2

< II 2 知的障害者調査 >

問 39 今後、どのような障害福祉サービスを引き続き、あるいは新たに利用したいと思えますか。(〇はいくつでも)

引き続き、あるいは新たに利用したいサービスは、「就労継続支援 (A 型、B 型)」、「相談支援」がそれぞれ 30.2%、「共同生活援助 (グループホーム)」が 29.2%である。



問 40 あなたは、次のような介護保険のサービスを、過去 1 年の間に利用したことがありますか。(〇はいくつでも)

<回答対象者 : 65 歳以上>

利用したことがある介護保険のサービスは以下の通りである。

※サンプル数が少ないため、参考値とされたい。

n=	介護保険のサービスは利用していない	訪問介護 (ホームヘルパー)	通所介護 (デイサービス)	短期入所 (ショートステイ)	その他
3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0

問 41 現在、必要なサービス（障害福祉サービス、介護保険サービス）を受けることができますか。（○はいくつでも）

<回答対象者：障害福祉サービスと介護保険サービス利用経験者>

回答者対象者は1名で、無回答であった。

問 42 障害福祉サービスをより利用しやすくするためには、どのような情報提供や相談先が必要ですか。また、サービス利用するためにあるとよい支援はどのようなものですか。（自由記入）

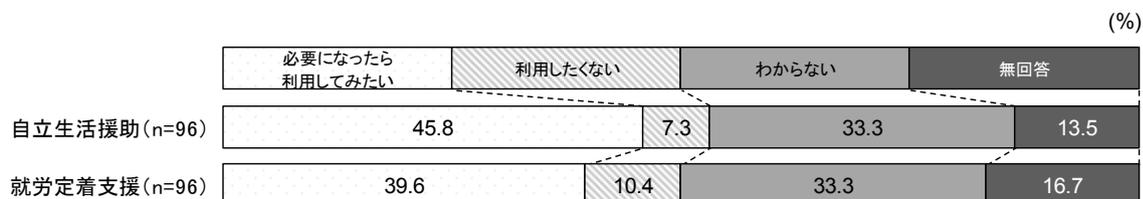
サービスを利用しやすくするために、必要な情報提供や相談先、利用のための支援として、以下のような記述があった。

- ・ 平日仕事をしているので土日に相談出来るサービスをしてほしい。（男性・26歳）
- ・ 障害者の健康診断等、福祉サービスとして受けられるのか知りたい。医療関係の情報提供やサービスを知りたい。（女性・43歳）
- ・ 担当の方を決めていただき、連絡又は訪問して下さる方が欲しい。（女性・23歳）
- ・ サービスを提供する事業所への支援。様々な事業所がサービスを提供できる環境作りや支援を行うことだと思います。（男性・24歳）
- ・ 親亡き後の見通しをどうやって（どこに相談して）立てれば良いのか知りたいです。事例集があっても良いかも知れませんが、老人福祉だと選択肢がよく見えますが、障害福祉ではそれが見えず、常に不安です。（男性・22歳）
- ・ 在学中は保護者同士のつながりが密接で情報が入りやすいが、卒後は、保護者が積極的に情報を探さないと、入ってこないのではと思っています。卒後の成人期になっても、情報が分かりやすいよう入ってくるように今後も市報などで知らせてもらえればと思います。（男性・18歳）
- ・ ひとりひとり必要性あるサービスをコーディネートしてくれる方をつけて欲しい。（男性・22歳）

問 43 障害者総合支援法の改正により、新たに導入される次のようなサービスをあなたは利用してみたいと思いますか。

※平成30年4月から創設される予定の新しいサービスです。サービスの詳細は変更する可能性もあります。

平成30年4月から導入予定のサービスの利用意向について、「必要になったら利用してみたい」と考えるサービスは、「自立生活援助」が45.8%、「就労定着支援」が39.6%である。



**(10) 災害対策について**

問 44 あなたは、お住まいの近くの避難所を知っていますか。(○は1つ)

避難場所を「知っている」人は61.5%である。

		(%)		
		知っている	知らない	無回答
TOTAL (n=96)		61.5	30.2	8.3

問 45 福祉避難施設とは、自宅や避難施設で生活している高齢者や障害者の方等に対し、状況に応じて介護等の必要なサービスを提供する社会福祉施設等のことです。西東京市には障害者総合支援センター「フレンドリー」をはじめ、約30ヶ所の福祉避難施設があります。あなたは、西東京市にある福祉避難施設を知っていますか。(○は1つ)

福祉避難施設については、62.5%が「知らない」と回答している。「福祉避難施設も場所も知っている」人は17.7%である。

		福祉避難施設を (%)			
		福祉避難施設を知らない	知っているが、場所は知らない	福祉避難施設も場所も知っている	無回答
TOTAL (n=96)		62.5	13.5	17.7	6.3

問 46 あなたは、災害時要援護者登録を知っていますか。(○は1つ)

災害時要援護者登録については、65.6%が「知らない」と回答している。「登録している」人は11.5%である。

		(%)				
		知らない	知っているが登録していない	登録している	その他	無回答
TOTAL (n=96)		65.6	13.5	11.5	1.0	8.3

問 47 地震や台風のとときに行政や地域などから支援を受けるため、あらかじめ個人情報(名前、住所、世帯の状況、障害の状況、緊急連絡先等)を市に提供することについて、どう思いますか。(○は1つ)

災害時の支援を受けるために個人情報を提供することについては、「必要な情報なので、積極的に提供してよい」が37.5%、「最小限の(名前、住所程度)ならかまわない」が32.3%である。

		(%)					
		必要な情報 なので、積極的に提供してよい	最小限の情報 (名前、住所程度)ならかまわない	個人情報なので知らせたくない	その他	わからない	無回答
TOTAL (n=96)		37.5	32.3	7.3	3.1	12.5	7.3

問 48 あなたは、地震や台風などの災害時にひとりで避難できますか。(○は1つ)

災害時にひとりで避難が「できる」人は 24.0%、「できない」人は 42.7%である。



問 49 地震や台風などの災害が起こった際の不安は何ですか。(○はいくつでも)

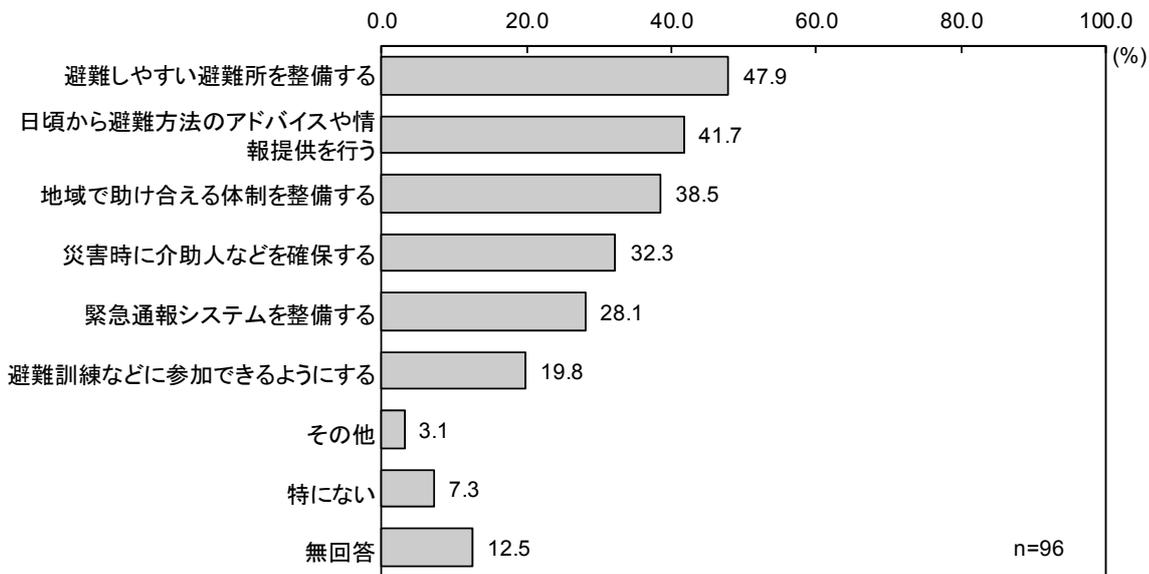
地震や台風などの災害が起こった際の不安としては、「避難先での不安」が 62.5%で最も高く、次いで、「避難する際の不安」(54.2%)、「災害の状況が伝わってこない場合の不安」(42.7%)が続く。

(%)

n=	災害の状況が伝わってこない場合の不安	避難する際の不安	避難先での不安	その他	特にない	わからない	無回答
96	42.7	54.2	62.5	7.3	4.2	9.4	8.3

問 50 地震や台風に備えて、または災害時に、どのような対策が必要だと思えますか。(○はいくつでも)

必要な災害対策としては、「避難しやすい避難所を整備する」ことをあげる人が 47.9%で最も高い。

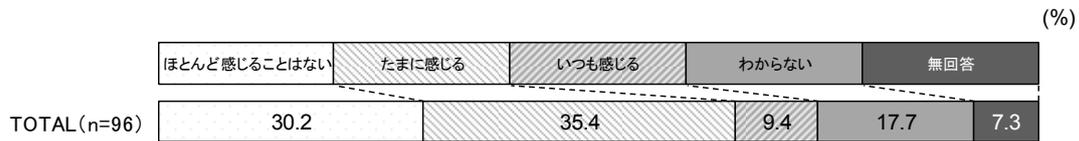


< II 2 知的障害者調査 >

**(11) 障害・障害者への理解**

問 55 障害があることで、差別や人権侵害、虐待を受けていると感じることがありますか。(○は1つ)

差別や人権侵害、虐待については、30.2%の人は「ほとんど感じることはない」が、9.4%は「いつも感じる」、35.4%は「たまに感じる」と回答している。



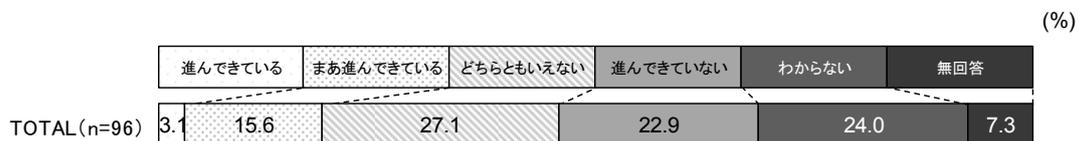
問 56 障害のある方々への差別をなくすことを目的として、平成 28 年 4 月 1 日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、このことを知っていますか。(○は1つ)

障害者差別解消法について、「内容まで知っている」人は 10.4%、「知らない」人は 45.8%である。



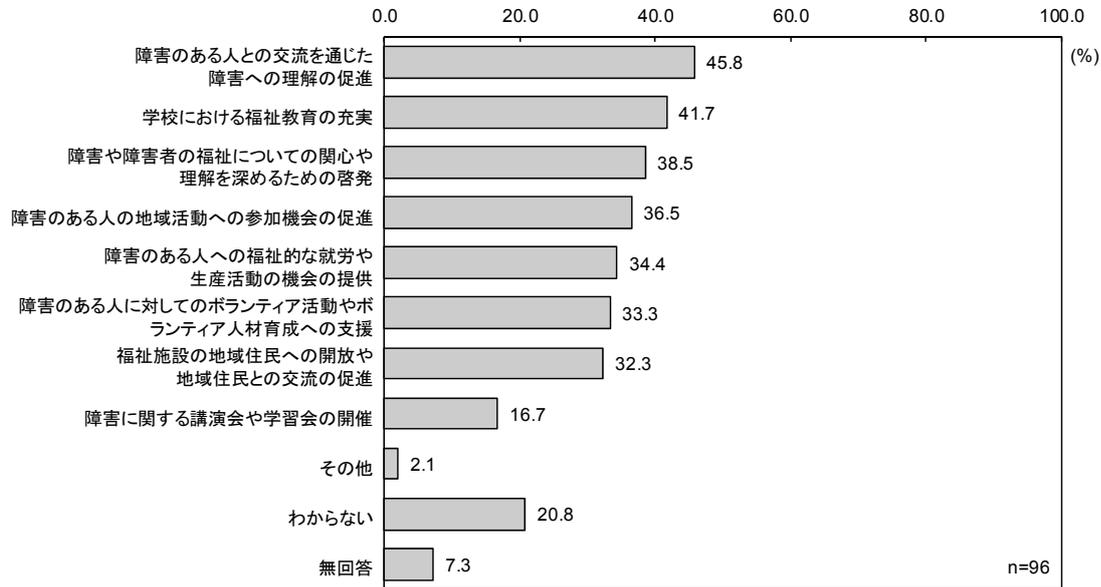
問 57 障害や障害のある方々に対する市民の理解は進んできていると思いますか。(○は1つ)

障害や障害のある人に対する市民の理解が「進んできている」と考えている人は 3.1%、「まあ進んできている」(15.6%) をあわせると、18.7%の人は市民の理解が進んできていると感じている。



問 58 障害や障害のある市民への理解を深めるためには、何が重要だと思いますか。(〇はいくつでも)

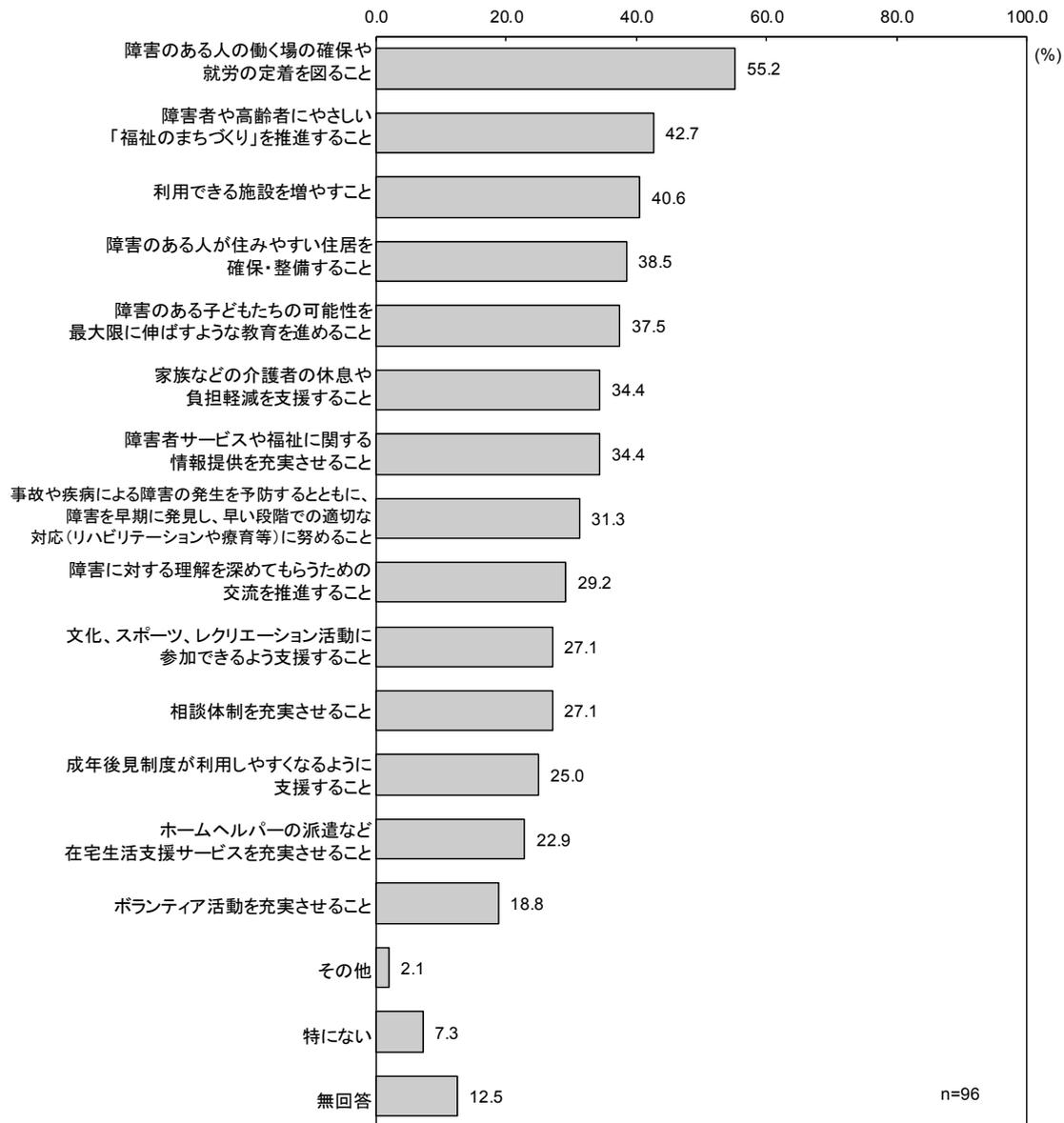
障害や障害のある人への理解に必要なこととして、「障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進」が45.8%で最も高く、次いで、「学校における福祉教育の充実」(41.7%)、「障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための啓発」(38.5%)が続いている。



**(12) 障害者施策、市への要望等**

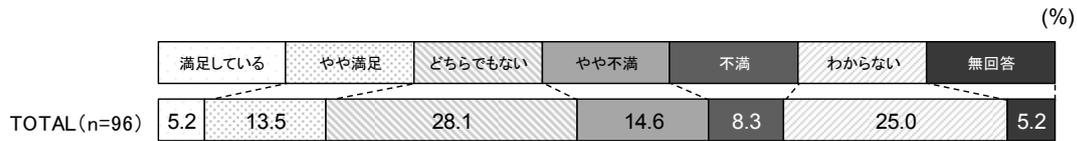
問 59 今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。(〇はいくつでも)

今後、市が充実させていくべき障害者施策としては、「障害のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること」が 55.2%と最も高く、次いで「障害者や高齢者にやさしい「福祉のまちづくり」を推進すること」が 42.7%、「利用施設を増やすこと」が 40.6%で続いている。



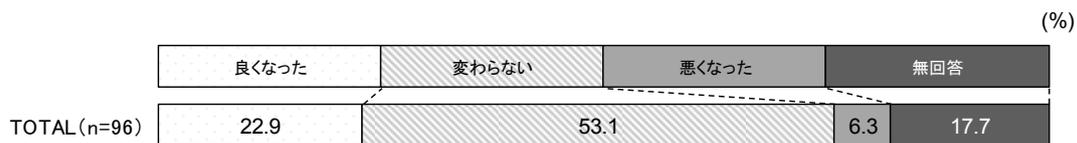
問 60 問 59 のような西東京市の障害者施策全般について、総合的に満足していますか。(○は1つ)

西東京市の障害者施策全般について、「満足している」人は 5.2%で、「やや満足」(13.5%) とあわせると、18.7%の人は満足していると感じている。



問 61 約 5 年前 (平成 24 年) と比べて、障害者のサービスはどのように変わったと思いますか。(○は1つ)

5 年前 (平成 24 年) と比べて障害者サービスは「変わらない」(53.1%) と感じている人が多いが、「良くなった」が 22.9%で「悪くなった」(6.3%) を上回っている。



問 62 そのようにお答えになったのは、どのような理由からですか。(自由記入)

問 61 で選択した回答の理由は以下の通りである。

#### <良くなった>

- ・ 移動支援が登下校や就労の送迎にも利用できるようになったこと。(男性・19 歳)
- ・ 学齢期の放課後等デイサービスの充実はかなりすすみ大変感謝いたしております。(男性・18 歳)
- ・ 法が整備されてきた。(男性・38 歳)
- ・ 児童デイが増えて、就学前のお母さん達が友達づくりや相談できるようになって孤立が防げるようになった事。移動支援が病院の付き添いにも利用できるようになって、利用者本位の状況が増えてきた事。(女性・年齢無回答)
- ・ 市役所の障害福祉課の対応がとても良くなった。(男性・46 歳)

#### <変わらない>

- ・ 作業所、入所施設等が増えている感じがしない。手続きなどが複雑で、もう少し簡単にならないかと思う。(男性・24 歳)
- ・ お世話になっている方々の待遇改善が進んでいない。(女性・36 歳)
- ・ 本人にとっても家族(介護者)にとっても、楽になった暮らしやすくなった。落ち着いたという実感がなく、高齢化と共に不安が増々大きくなってきた。(男性・68 歳)
- ・ サービスを受ける対象が増えてきた分、サービスの提供を行う事業所のヘルパーさんが足りていない状況で、結局利用しづらい。(男性・24 歳)
- ・ 10 年以上住まいは変わっていないが、具体的な情報がないので、変化がわからない。(男性・31 歳)
- ・ 他の市では就労を実現させる機関が充実しているところもある。自立して生活できる支援があるとは感じない。(男性・18 歳)

< II 2 知的障害者調査 >

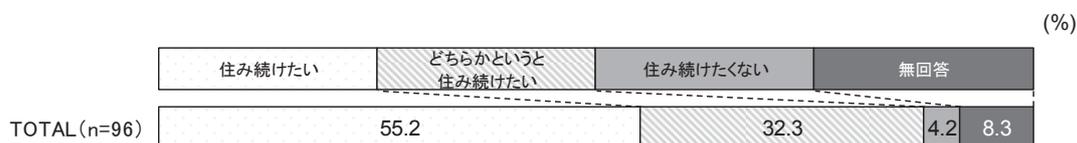
- ・ 作業所、グループホーム等が十分ではない。(男性・25歳)
- ・ 特に変化のない生活を過ごせているので、具体的な違いがみえてこない。(男性・28歳)

<悪くなった>

- ・ 障害者が増えてきていることにより、今まで利用していたサービスが使えない、使いづらくなった。(男性・24歳)
- ・ 通っている福祉作業所が民間になり、ギスギスしてきた。人の移動がはげしく、子供達も落ち着かない。(女性・46歳)
- ・ 仕事が減った(もっと働きたいのに)。(女性・43歳)
- ・ 本人の病状や家族の状態に対するケアがたりない。受けられる制度について知りたい。(女性・27歳)

問 63 あなたは、今後も西東京市に住みつづけたいと思いますか。(○は1つ)

55.2%の人が今後も西東京市に「住み続けたい」と回答している。



問 64 最後に、この調査を通じて、選択肢や自由記入欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、自由にお書きください。(自由記入)

調査票の最後に、調査質問選択肢だけでは表現しきれなかったことや意見、要望、計画に盛り込みたいことなどを自由に記入できる欄を設けた。本報告書では紙面の都合上すべてを掲載することはできないが、調査票の設問から浮き彫りにされにくい課題・問題点を中心に、より代表性・具体性のある意見・要望の一部を紹介することとする。

**情報提供に関すること**

- ・ 障害について市の窓口やインターネットで調べたくともそのワード・ことばがわからない。もっと情報公開を利用しやすくしてほしい。(女性・27歳)

**手続きに関すること**

- ・ 各種申請にあたり、東京都に関する手続きは、状況により判断するなど市のフォローが欲しいです。課税者世帯は申請が通らない事も多く、家族の負担も大きい為、面接等を取り入れるなどして欲しいです。(女性・23歳)
- ・ 毎年提出する各現況届が、複雑すぎる。更新の場合、変更の部分だけ訂正するよう、簡素にほしい。(男性・38歳)
- ・ マイナンバー利用による手続き、申請の簡略化をすすめてほしいのです。障害者が一人になった時の事を基本に障害者が楽に暮らせるようなシステムを早く作ってほしいと考えています。(女性・31歳)

### 各種サービスに関すること

- ・ 重度障害者の共同生活援助は、支援員の定数だけでなく（介護だけでなく）、十分に個々によりそえる時間（趣味など）ができるような支援員の配置ができるようにしてほしい。（制度で）（男性・30歳）
- ・ 両親の健康状態で生活が変化すると思います。その状況に応じた支援が必要。（女性・32歳）
- ・ 一般企業の軽作業をしたいが、相談するところがわからない。（女性・43歳）
- ・ 成人の作業所での活動後に過ごせる余暇活動のサービスを是非とも考えていただけたらと願っております。（男性・18歳）

### 各種施設等の整備に関すること

- ・ 制度や、施設の数など追いついてないと思います。障害の状態に応じて対応してもらえるような、制度や施設の内容であってほしいと思います。（男性・40歳）
- ・ 障害者の入所施設が、地方へ行けば有るとの事。長く住んで、この土地にも、お友達もいる所から離れたくない。小学校、中学校の校地が空くのでそれにあてて下さい。お願いします。（女性・46歳）
- ・ 安心して預けられる短期入所先の拡充、グループホームの拡充をお願いします。（男性・18歳）
- ・ 福祉施設が、田無方面に集中していると思います。市内にもっと均等に施設を設置してほしいです。（男性・24歳）

### 防災・防犯等、緊急時の対策に関すること

- ・ 災害対策についてはまったく知らなかったのでこのアンケートで知る事ができてよかった。これからも推進してほしいと思います。（男性・24歳）

### 理解や権利擁護、差別・人権侵害等に関すること

- ・ 見た目ではわかりにくい障害は、なかなか理解されません。もっと障害を理解してくれる人がふえて、やさしく接してくれるようになると、住みやすい、生活しやすい市になるのではないのでしょうか。（男性・20歳）
- ・ 障害のある人が地域で生活していくためには、就労先や住む所もまだまだ少ないように思います。グループホームや就労施設の建設で地域からNoと言われてしまうことも残念に思います。障害も種類がありますが、まずは理解が必要です。（男性・18歳）
- ・ 障害を理解するというのとはどういうことなのか、家族であっても難しい時がある。人目を気にしたり、避けたりなど、障害があるなしにかかわらず、平和であたりまえの生活ができることが夢です。（男性・24歳）
- ・ 本人の立場に立って記入すると、「わからない」と答えるしかないような質問が多く、本人の立場を理解していないアンケート調査だと思いました。地域の中でひとりでも生活していける社会を目指していくためには、市役所がまず障害理解をより一層すすめてほしいです。（男性・27歳）

### 障害者施策の推進、計画策定等に関すること

- ・ 社会保障が限界である今、地域・市でのサポートが、個々の生活を大きく左右します。国ができないことを市でやっていただきたい。（男性・18歳）
- ・ 障害の範囲は広く個々人で異なります。その支援の為には援助がどうしても必要です。家族も年をとってゆくと尚更であり、金銭的にも今後大変になってゆきます。支援者の待遇をもっと強化して安心してお願いできる政策を強く希望します。（女性・36歳）
- ・ 福祉のサービスや市の対応はまわりの市とくらべても進んでいない。福祉事業に不安を持っている。（男性・22歳）

## < II 2 知的障害者調査 >

### その他

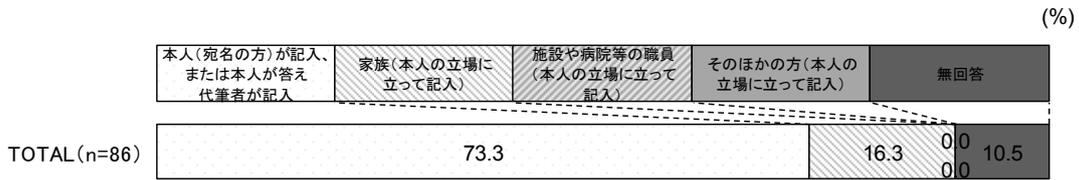
- ・ 親亡き後の生活費の面倒を誰が負担するのかなど、心配はつきない。西東京市は福祉に手厚いまちと聞く。ここに住み続ける。(男性・68歳)
- ・ 現在グループホームで生活し、日中は作業所に通っています。この先、このままの生活ができるのか、不安です。(女性・66歳)
- ・ 手続きによっては保谷庁舎へ出向くことになり不便で困る。田無庁舎→保谷庁舎のバスに乗車させてもらえるようなサービスがほしい。(本人を連れていく場合、とくに助かります。)(男性・18歳)
- ・ 行政がグループホームや通所を抜き打ち的に1年に2回くらいでもいいので、チェックしてほしいと思います。穏やかに暮らしているかを調べてほしいのです。(女性・31歳)

### 3 精神障害者

#### (1) 基本的な属性

問1 この用紙（調査票）に記入されるのはどなたですか。（○は1つ）

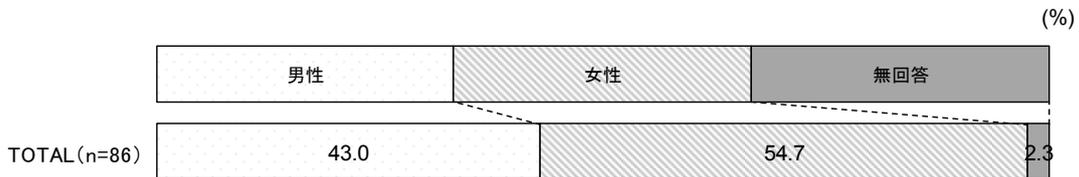
調査票記入者は「本人（宛名の方）が記入、または本人が答え代筆者が記入」が73.3%。



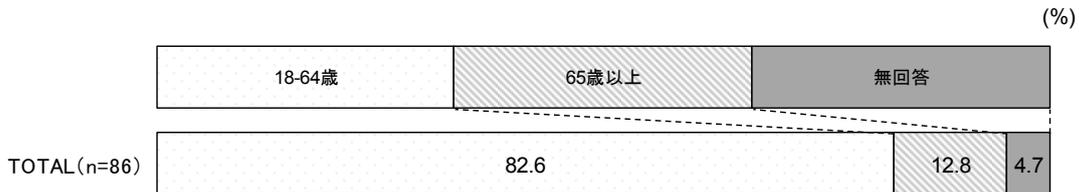
問2 あなたの性別をお答えください。（○は1つ）

問3 年齢（8月1日現在）を記入してください。

性別は、男性が43.0%、女性が54.7%。



年齢は、18-64歳が82.6%、65歳以上が12.8%で平均年齢は47.9歳。



(%)

n=	19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答	平均年齢
86	0.0	7.0	17.4	30.2	23.3	12.8	4.7	4.7	47.9歳

問4 現在、あなたはどこで暮らしていますか。（○は1つ）

居住形態は、「持ち家（分譲マンションを含む）」が51.2%で最も多く、次いで、「賃貸住宅（アパート、賃貸マンション、借家）」が36.0%である。

(%)

n=	持ち家(分譲マ ンションを 含む)	賃貸住宅(ア パート、賃貸 マンション、 借家)	グループホー ム、ケアホー ム、福祉ホー ム	福祉施設(障 害者支援施 設、高齢者支 援施設)	入院している	その他	無回答
86	51.2	36.0	4.7	0.0	3.5	1.2	3.5

< II 3 精神障害者調査 >

問5 どなたと一緒に暮らしていますか。(○はいくつでも)

同居者は、「母親」が40.7%で最も高く、「配偶者（夫または妻）」が27.9%が続いている。

年代別にみると、50代以上では「自分ひとりだけで暮らしている」人が20%を超えている。60代以上では「配偶者（夫または妻）」が半数を超えている。

(%)

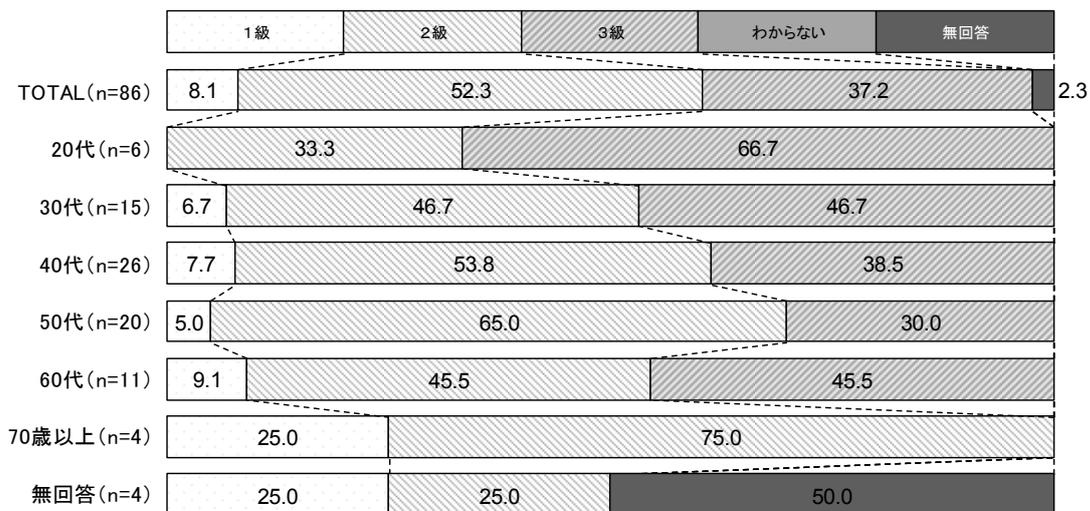
	n=	自分ひとりだけで暮らしている	配偶者 (夫または妻)	子ども (子どもの配偶者も含む)	父親	母親	祖父	祖母	兄弟、 姉妹	その他の親せき	福祉施設の職員や 仲間	その他	無回答
TOTAL	86	16.3	27.9	12.8	23.3	40.7	0.0	0.0	18.6	2.3	2.3	2.3	5.8
20代	6	33.3	0.0	0.0	66.7	66.7	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	15	0.0	26.7	6.7	46.7	73.3	0.0	0.0	46.7	0.0	0.0	0.0	0.0
40代	26	11.5	26.9	15.4	26.9	46.2	0.0	0.0	11.5	7.7	3.8	3.8	0.0
50代	20	25.0	25.0	15.0	10.0	40.0	0.0	0.0	15.0	0.0	0.0	5.0	0.0
60代	11	27.3	54.5	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1
70歳以上	4	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

(2) 障害状況

問6 あなたは、精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。お持ちの場合には、手帳に書かれている障害の程度に○をつけてください。(○は1つ)

精神障害者保健福祉手帳の等級は、1級が8.1%、2級が52.3%、3級が37.2%である。

(%)



※0.0 は非表示

問7 次のうち、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

精神障害者保健福祉手帳以外の障害との重複状況をみると、「身体障害者手帳を持っている」人が15.1%、「愛の手帳(療育手帳)を持っている」人が5.8%である。「発達障害と診断されたことがある」人は11.6%である。

30代以下では、「発達障害と診断されたことがある」との回答が、他の年代に比べ高い。

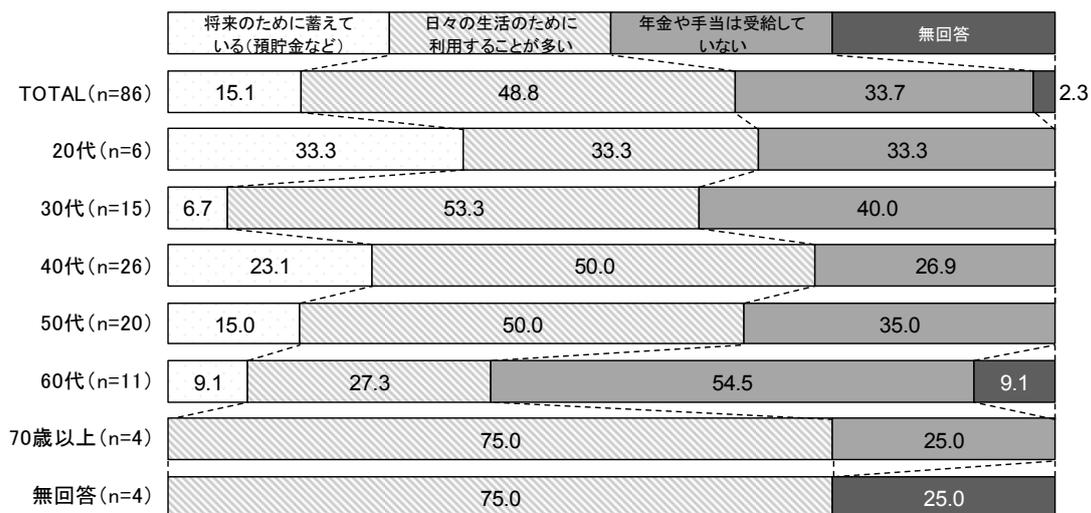
(%)

n=	身体障害者手帳を持っている	愛の手帳(療育手帳)を持っている	国または東京都が指定する難病医療費等助成対象疾病を患っている	高次脳機能障害と診断されたことがある	発達障害と診断されたことがある	訪問看護などの医療的ケアを受けている	あてはまるものはない	無回答	
TOTAL	86	15.1	5.8	2.3	3.5	11.6	4.7	47.7	16.3
20代	6	0.0	16.7	16.7	0.0	50.0	0.0	0.0	16.7
30代	15	0.0	0.0	6.7	0.0	20.0	0.0	60.0	20.0
40代	26	19.2	7.7	0.0	7.7	11.5	3.8	50.0	11.5
50代	20	20.0	5.0	0.0	5.0	5.0	5.0	55.0	10.0
60代	11	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1	45.5	18.2
70歳以上	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0
無回答	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0

問8 あなたは、障害者支援の手当や年金を主にどのように利用していますか。(○は1つ)

障害者支援の手当や年金の利用状況は、「将来のために蓄えている(預貯金など)」が15.1%、「日々の生活のために利用することが多い」が48.8%、「年金や手当は受給していない」が33.7%である。

(%)

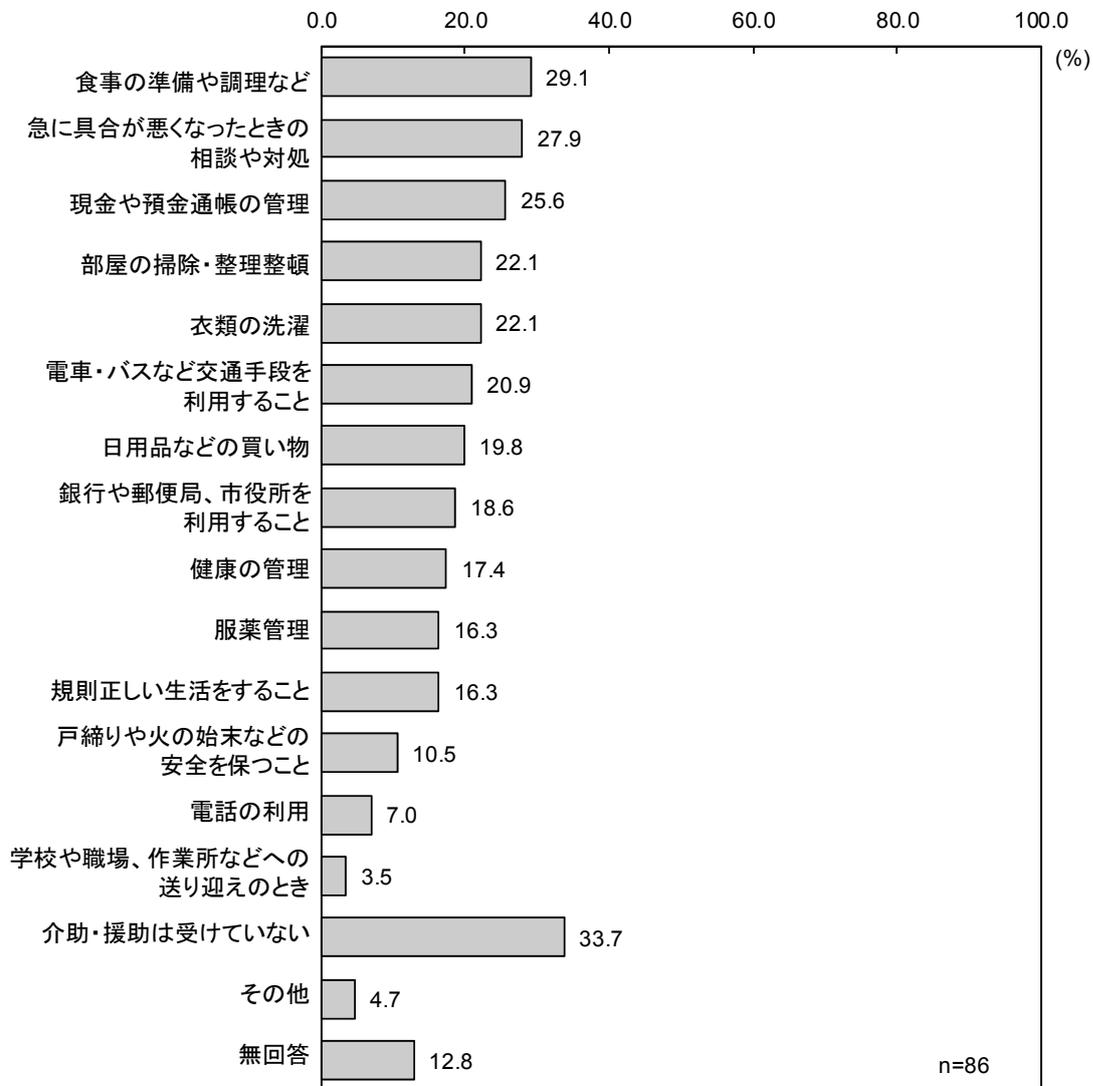


※0.0は非表示

### (3) 介助・援助の状況

問9 あなたは、どのようなときに介助・援助を受けていますか。(○はいくつでも)

介助・援助を受けている場面としては、「食事の準備や調理など」が29.1%で最も高く、次いで、「急に具合が悪くなったときの相談や対処」(27.9%)、「現金や預金通帳の管理」(25.6%)で続く。「介助・援助は受けていない」人は33.7%となっている。



問 10 ふだん、あなたを主に介助・援助しているのはどなたですか。(○は1つ)

ふだん、主に介助・援助している人は「母親」が41.3%で最も高く、次いで、「配偶者（夫、妻）」が26.1%である。「その他」（10.9%）として、「グループホームの職員」、「成年後見人」などの記述があった。

(%)

n=		配偶者（夫、妻）	子ども、子どもの配偶者	父親	母親	祖父	祖母	兄弟、姉妹	その他の親せき	近所の人、友人・知人	ホームヘルパー等の在宅サービス事業者	その他	無回答
TOTAL	46	26.1	4.3	2.2	41.3	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0	6.5	10.9	2.2
20代	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	11	36.4	0.0	0.0	54.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0
40代	13	7.7	7.7	0.0	61.5	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0
50代	11	18.2	0.0	0.0	36.4	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	18.2	9.1
60代	6	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7	0.0
70歳以上	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(4) 日中の過ごし方や外出の状況・社会参加状況

問 20 あなたは、平日（月曜日～金曜日）の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つ)

平日の日中の過ごし方として、「自宅にすることが多い」が44.2%、「働いている」が18.6%である。年代別にみると、30代を除く年代で「自宅にすることが多い」が半数以上となっている。60代の18.2%が「入所・入院している施設や病院などで過ごしている」と回答しており、他の年代に比べ高い。

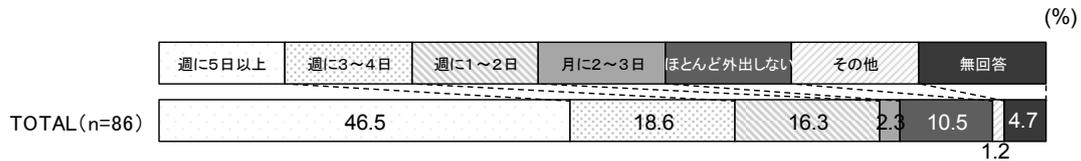
(%)

n=		幼稚園や保育園、学校などに通っている	福祉施設、作業所などに通っている	病院などのデイケアに通っている	リハビリテーションを受けている	働いている	入所・入院している施設や病院などで過ごしている	自宅にすることが多い	その他	無回答
TOTAL	86	1.2	9.3	11.6	0.0	18.6	5.8	44.2	4.7	4.7
20代	6	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	50.0	0.0	0.0
30代	15	0.0	6.7	13.3	0.0	20.0	0.0	53.3	6.7	0.0
40代	26	0.0	15.4	3.8	0.0	38.5	7.7	34.6	0.0	0.0
50代	20	0.0	5.0	15.0	0.0	10.0	5.0	50.0	10.0	5.0
60代	11	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	18.2	54.5	9.1	0.0
70歳以上	4	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
無回答	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0

< II 3 精神障害者調査 >

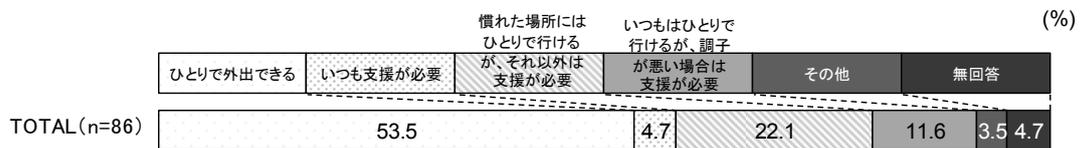
問 11 あなたは、どのくらい外出しますか。通所、通学、通勤、買い物、日常の散歩など、すべてを含めてお答えください。(○は1つ)

外出頻度は、「週に5日以上」が46.5%、「週に3～4日」が18.6%、「週に1～2日」が16.3%である。「ほとんど外出しない」と回答した人は10.5%となっている。



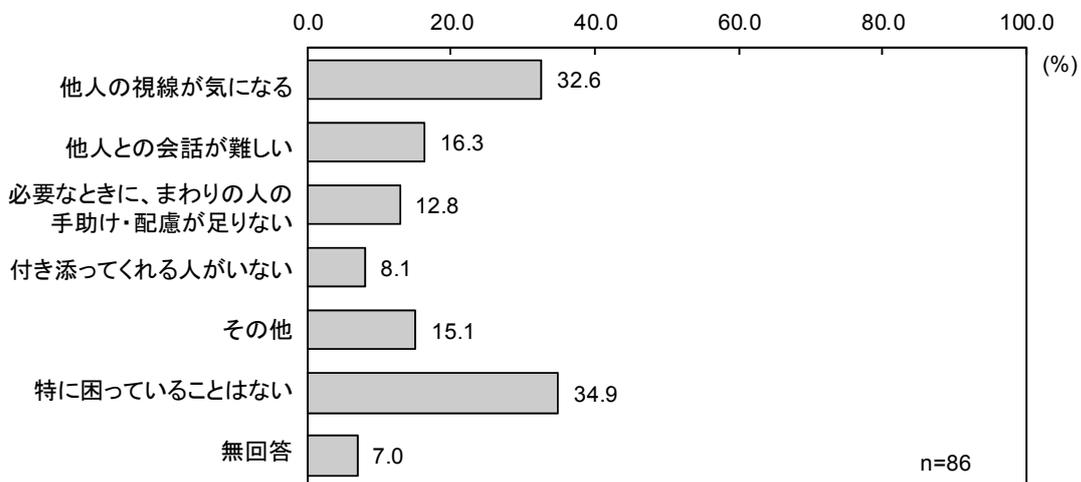
問 12 あなたは、外出をするときに支援が必要ですか。(○は1つ)

外出時の支援の必要性は、53.5%の人が「ひとりで外出できる」と回答している。「いつも支援が必要」は4.7%である。



問 13 外出の際に困っていることはありますか。(○はいくつでも)

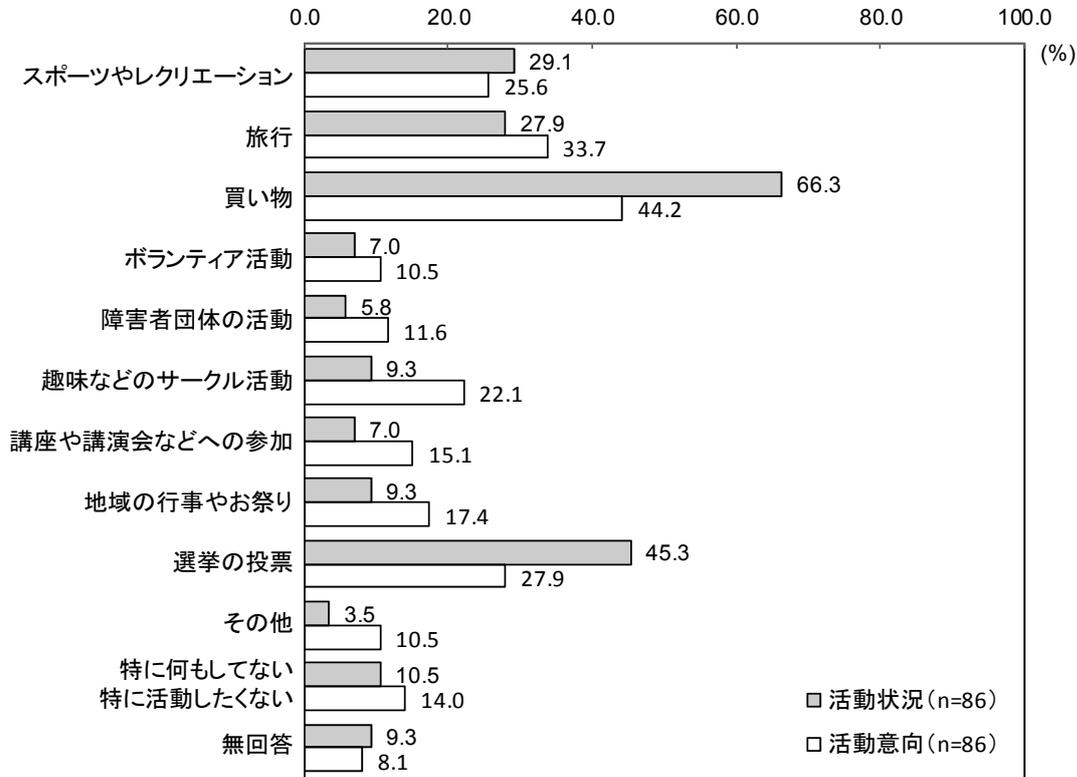
外出の際に「特に困っていることはない」人は34.9%だが、外出の際に困っていることとしては、「他人の視線が気になる」との回答が32.6%で最も高い。次いで、「他人との会話が難しい」(16.3%)、「必要なときに、まわりの人の手助け・配慮が足りない」(12.8%)で続いている。



問 14 あなたは、この1年くらいの中に、次のような活動をしましたか。(○はいくつでも)：活動状況  
 問 18 これからどのような活動をしたいと思いますか。(○はいくつでも)：活動意向

活動状況と活動意向を比べると、「趣味などのサークル活動」は実際の活動状況が9.3%、活動意向は22.1%となっており、意向が約13ポイント高い。

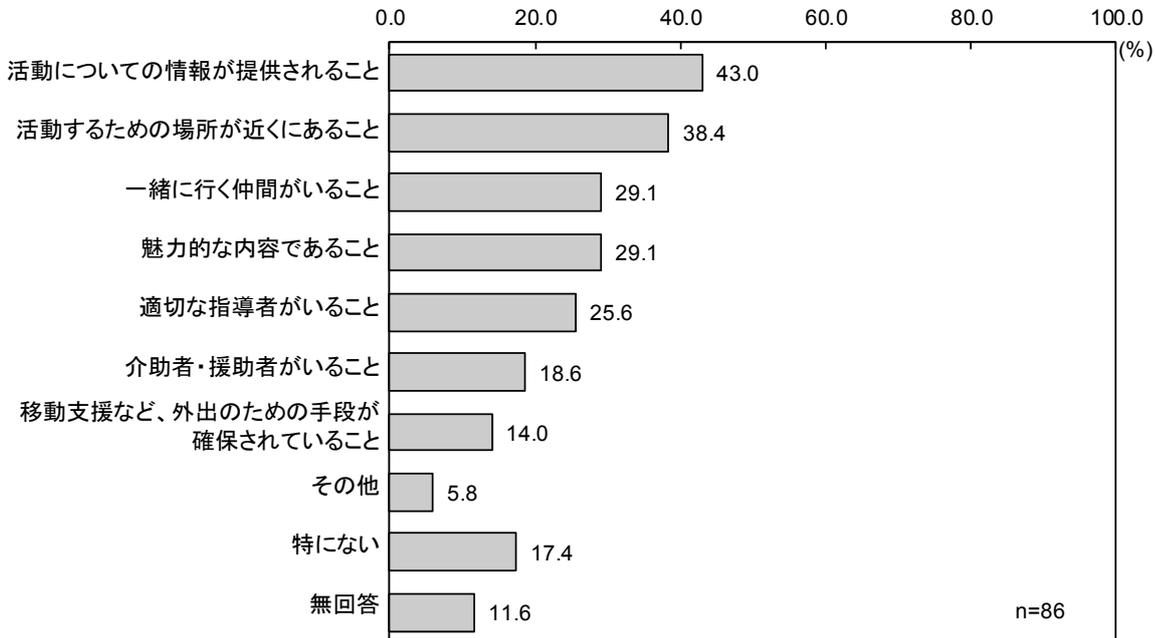
実際の活動状況では、「買い物」(66.3%)、「選挙の投票」(45.3%)が高く、活動意向では、「買い物」(44.2%)、「旅行」(33.7%)が高い。



< II 3 精神障害者調査 >

問 19 問 18 のような活動をするために、どのような支援が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

活動のために必要な支援として、「活動についての情報が提供されること」が 43.0%で最も高く、次いで、「活動するための場所が近くにあること」(38.4%)、「一緒に行く仲間がいること」、「魅力的な内容であること」(ともに 29.1%)が続いている。



問 15 選挙の投票の際、困ったことや改善してほしいことはありましたか。(自由記述)

<回答対象者：問 14 で「選挙の投票」と回答した人>

選挙の投票の際、困ったことや改善してほしいこととして、以下の記述があった。

- ・ (1) 自分の名前を書いてしまった。(2) 候補者の名前を全部ひらがなで書いてしまった。(3) 選挙管理者達が自分をじろじろと見て困った。(女性・39歳)
- ・ 候補者がよくわからない。(女性・43歳)

問 16 スポーツ活動をした方は、どのようなスポーツ活動をしましたか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

<回答対象者：問 14 で「スポーツやレクリエーション」選択者>

スポーツ活動の内容は、以下の通りである。

(%)

n=	卓球	バスケットボール	ポッチャ	ダンス	ボウリング	パドミントン	水泳	その他	無回答
25	8.0	0.0	0.0	8.0	4.0	12.0	16.0	64.0	4.0

「その他」(64.0%)として、15人から以下のような具体的な記述があった。

(件)

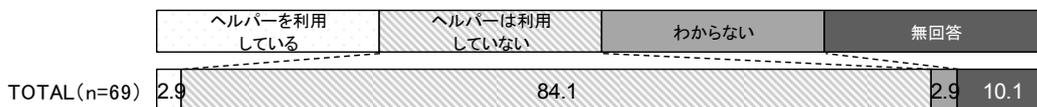
スポーツジム	テニス	ヨガ・ピラティス	ゴルフ
3	2	2	1
ジョギング	体操	散歩	その他
1	1	1	4

問 17 活動のために外出する際に「同行援護」「行動援護」「移動支援」等のヘルパーを利用していますか。(○は1つ)

<回答対象者：問 14 で何らかの活動をしている人>

活動のためのヘルパー利用状況は、「ヘルパーを利用している」が2.9%、「ヘルパーは利用していない」は84.1%である。

(%)



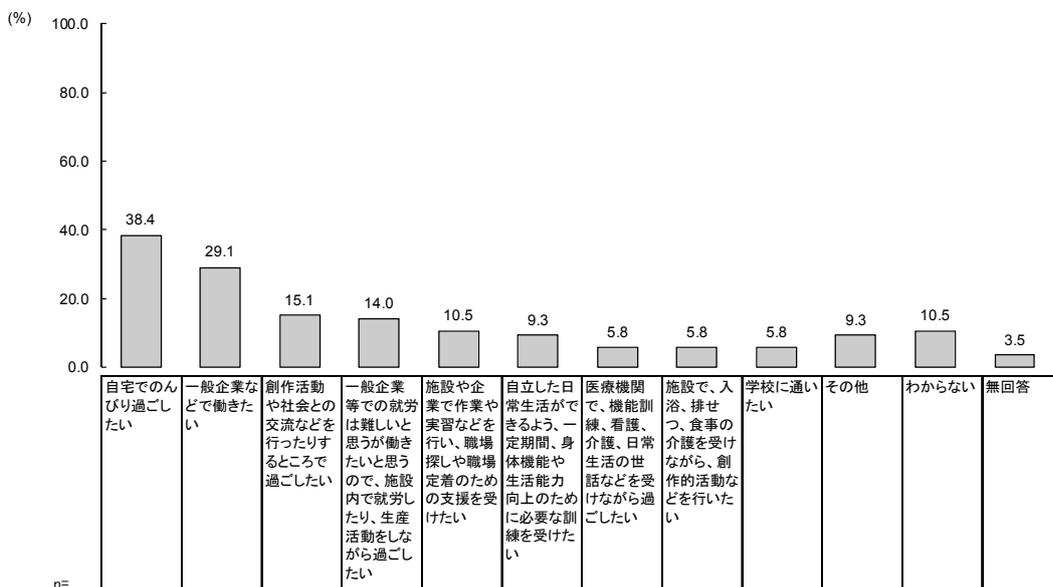
**(5) 将来の希望**

問 49 あなたは、今後、どのように日中を過ごしたいと思いますか。(○はいくつでも)

今後、希望する日中の過ごし方は、「自宅でのんびり過ごしたい」が 38.4%で最も高く、次いで「一般企業などで働きたい」が 29.1%、「創作活動や社会との交流などを行ったりするところで過ごしたい」が 15.1%で続いている。

平日の日中の過ごし方別にみると、福祉施設、作業所などに通っている人の 37.5%が「一般企業などで働きたい」と回答している。自宅にすることが多い人では、今後も「自宅でのんびり過ごしたい」と思う人が 47.4%だが、「一般企業等での就労は難しいと思うが働きたいと思うので、施設内で就労したり、生産活動をしながら過ごしたい」、「一般企業などで働きたい」と考える人がそれぞれ 18.4%である。

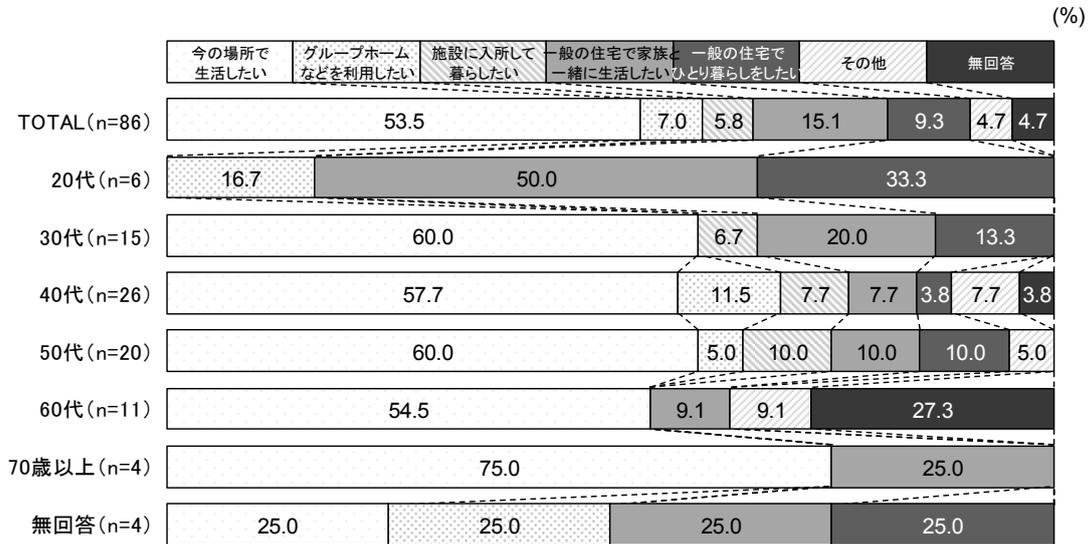
<平日の日中の過ごし方別。今後、希望する過ごし方>



	n=	自宅でのんびり過ごしたい	一般企業などで働きたい	創作活動や社会との交流などを行ったりするところで過ごしたい	一般企業等での就労は難しいと思うが働きたいと思うので、施設内で就労したり、生産活動をしながら過ごしたい	施設や企業で作業や実習などを行い、職場探しや職場定着のための支援を受けたい	自立した日常生活ができるよう、一定期間、身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を受けたい	医療機関で、機能訓練、看護、介護、日常生活の世話などを受けながら過ごしたい	施設で、入浴、排せつ、食事の介護を受けながら、創作的活動などを行いたい	学校に通いたい	その他	わからない	無回答
TOTAL	86	38.4	29.1	15.1	14.0	10.5	9.3	5.8	5.8	5.8	9.3	10.5	3.5
幼稚園や保育園、学校などに通っている	1	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
福祉施設、作業所などに通っている	8	25.0	37.5	12.5	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5
病院などのデイケアに通っている	10	50.0	0.0	40.0	20.0	10.0	0.0	10.0	10.0	10.0	20.0	0.0	0.0
働いている	16	37.5	56.3	12.5	0.0	6.3	0.0	6.3	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0
入所・入院している施設や病院などで過ごしている	5	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0
自宅にすることが多い	38	47.4	18.4	13.2	18.4	5.3	7.9	5.3	5.3	0.0	10.5	15.8	2.6
その他	4	50.0	75.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0
無回答	4	0.0	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0

問 50 あなたは、将来、どこで生活したいと思いますか。(○は1つ)

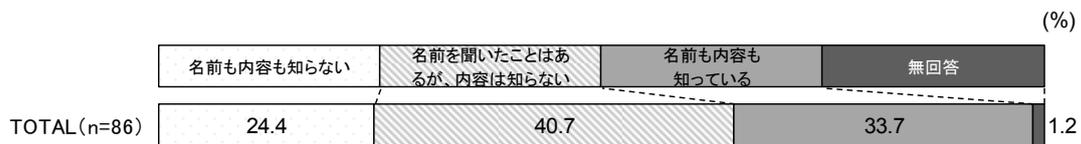
将来、生活したいところは、「今の場所で生活したい」が 53.5%、「グループホームなどを利用したい」が 7.0%、「施設に入所して暮らしたい」が 5.8%、「一般の住宅で家族と一緒に生活したい」が 15.1%、「一般の住宅でひとり暮らしをしたい」が 9.3%である。



※0.0 は非表示

問 51 成年後見制度とは、知的障害や精神障害などの理由により、判断能力が十分でない方の財産などの権利を守る制度です。あなたは、成年後見制度について知っていますか。(○は1つ)

成年後見制度について、「名前も内容も知っている」人は 33.7%、「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」人は 40.7%である。24.4%の人が「名前も内容も知らない」と回答している。

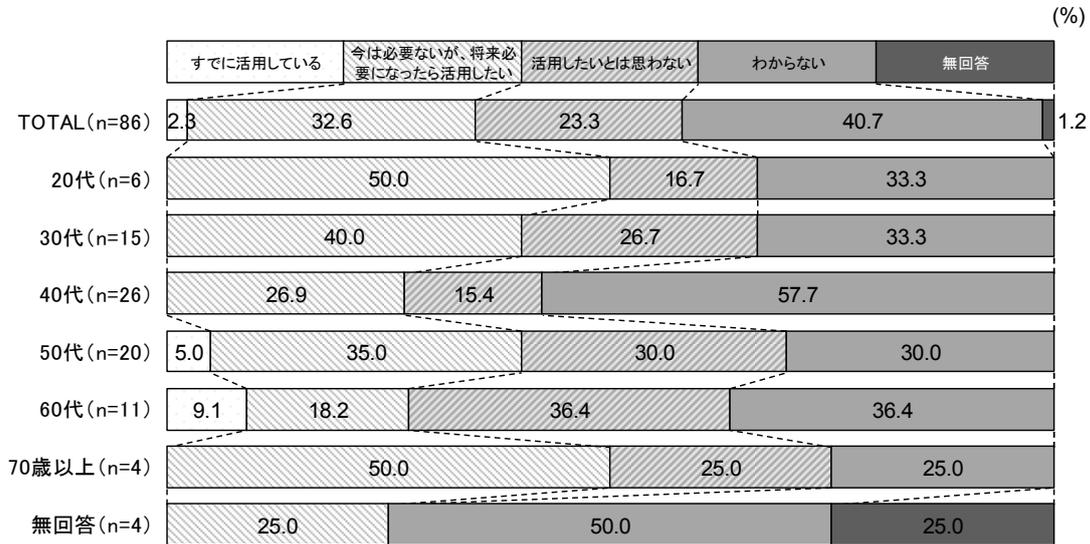


< II 3 精神障害者調査 >

問 52 あなたは、成年後見制度を活用したいと思いますか。(○は1つ)

成年後見制度を「すでに活用している」人は2.3%である。「今は必要ないが、将来必要になったら活用したい」と考える人は32.6%である。

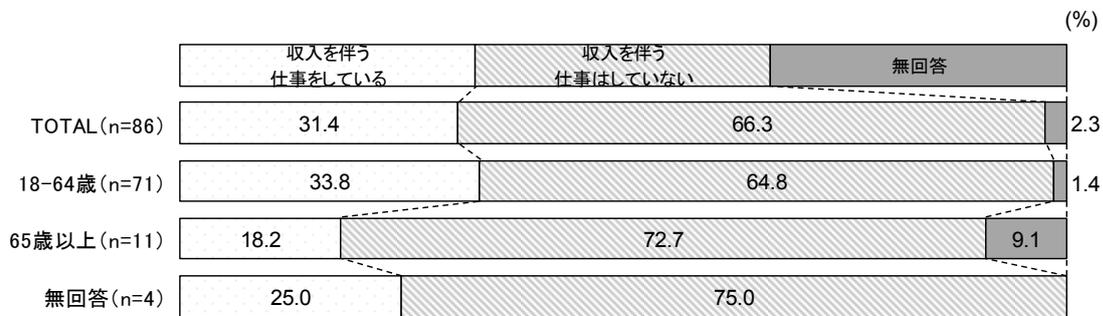
年代別にみると、「すでに活用している」人は、50代、60代である。



**(6) 雇用・就労について**

問 21 現在、あなたは収入を伴う仕事をしてしていますか。(○は1つ)

収入を伴う仕事している人の割合は、18-64歳で33.8%、65歳以上で18.2%である。



※0.0 は非表示

<問 22～問 25 回答対象者：収入を伴う仕事をしている人>

問 22 どなたかの支援を受けて現在の仕事に就きましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

就労の際の支援については、40.7%の人が「支援は受けなかった」と回答しているが、支援とあげられた項目としては、「ハローワーク」が 18.5%である。「その他」(40.7%)として、「派遣会社」、「民間の就労支援」、「他市の障害者就労支援センター」などの記述があった。

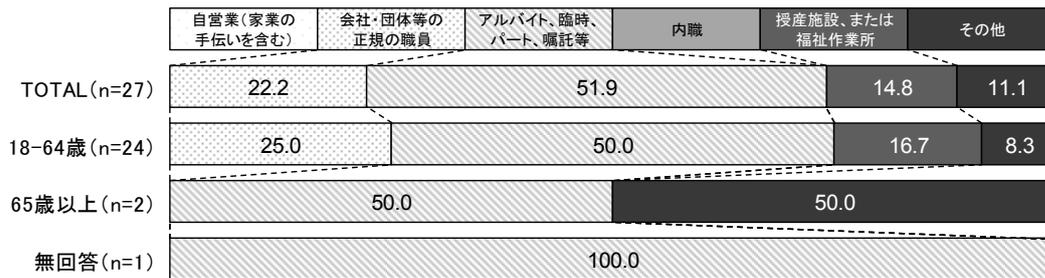
(%)

n=	ハローワーク	障害者就労支援センター(一歩)	就労移行支援事業所(さくらの園)	学校	家族	友人・知人	その他	支援は受けなかった	無回答
27	18.5	0.0	3.7	3.7	0.0	3.7	40.7	40.7	3.7

問 23 仕事の形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

就労形態は、「会社・団体等の正規の職員」が 22.2%、「アルバイト、臨時、パート、嘱託等」が 51.9%、「授産施設、または福祉作業所」が 14.8%である。

(%)



※0.0 は非表示

< II 3 精神障害者調査 >

問 24 あなたご自身の1ヶ月当たりの平均的な給与・賃金・工賃はいくらですか。

1ヶ月当たりの平均的な給与・賃金・工賃は、平均 99,191 円である。

就労形態別にみると、1ヶ月当たりの平均的な給与・賃金・工賃は、「会社・団体等の正規職員」241,000 円、「アルバイト、臨時、パート、嘱託等」71,923 円、「授産施設、または福祉作業所」5,333 円となっている。

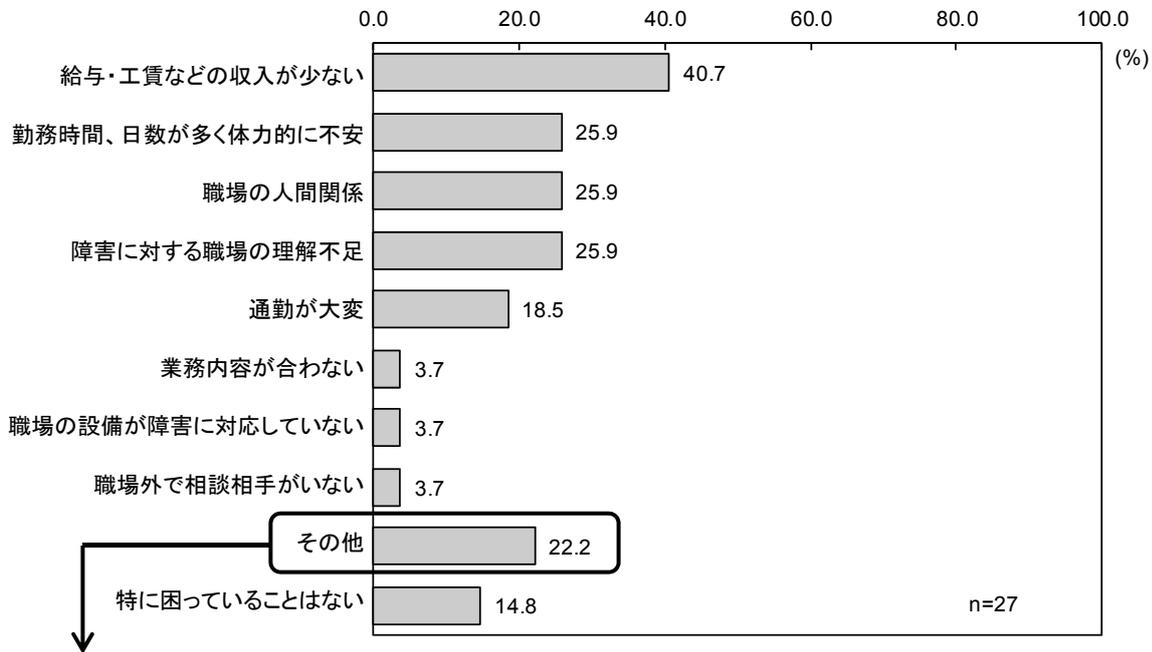
(%)

	n=	5,000円未満	10,000円未満	15,000円未満	20,000円未満	50,000円未満	100,000円未満
TOTAL	27	7.4	7.4	7.4	0.0	14.8	14.8
会社・団体等の正規の職員	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アルバイト、臨時、パート、嘱託等	14	0.0	0.0	7.1	0.0	28.6	28.6
授産施設、または福祉作業所	4	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
その他	3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0

	150,000円未満	200,000円未満	250,000円未満	250,000円以上	無回答	平均(円)
TOTAL	11.1	7.4	11.1	7.4	11.1	99,191
会社・団体等の正規の職員	0.0	16.7	33.3	33.3	16.7	241,000
アルバイト、臨時、パート、嘱託等	21.4	7.1	0.0	0.0	7.1	71,923
授産施設、または福祉作業所	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	5,333
その他	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	74,866

問 25 仕事をする上で困っていることは何ですか。(○はいくつでも)

仕事をする上で困っていることとして、「給与・工賃などの収入が少ない」との回答が 40.7%で最も高い。次いで、「勤務時間、日数が多く体力的に不安」、「職場の人間関係」、「障害に対する職場の理解不足」がそれぞれ 25.9%である。



「その他」(22.2%)として、以下のような記述があった。

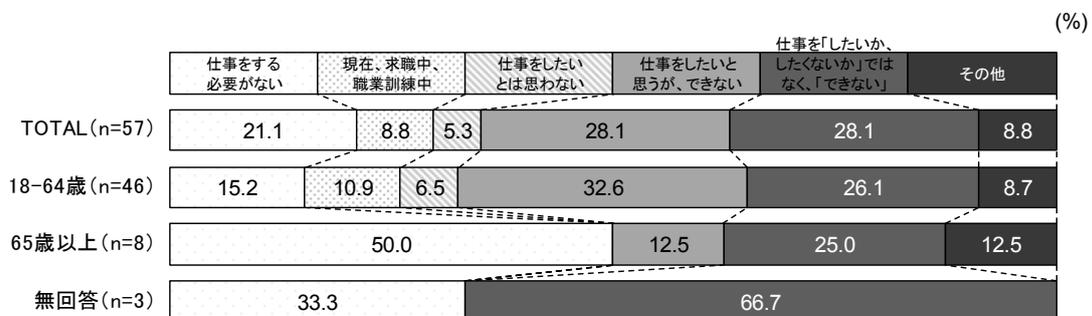
- ・ 季節によって勤務できる日数が少ない。
- ・ 家族の理解が時々欠ける。
- ・ 職場で症状が出た時に、自分が周りに迷惑をかけているのではないかと考えてしまう。
- ・ 仕事を得るため、障害(病名)を失せて、派遣社に申込み、就いている。

問 26 仕事をしていない主な理由は何ですか。(○は1つ)

<回答対象者：収入を伴う仕事をしていない人>

仕事をしていない主な理由として、「仕事をしたいと思うが、できない」、「仕事を「したいか、したくないか」ではなく、「できない」がそれぞれ 28.1%で最も高い。

18-64歳の32.6%が「仕事をしたいと思うが、できない」と回答している。

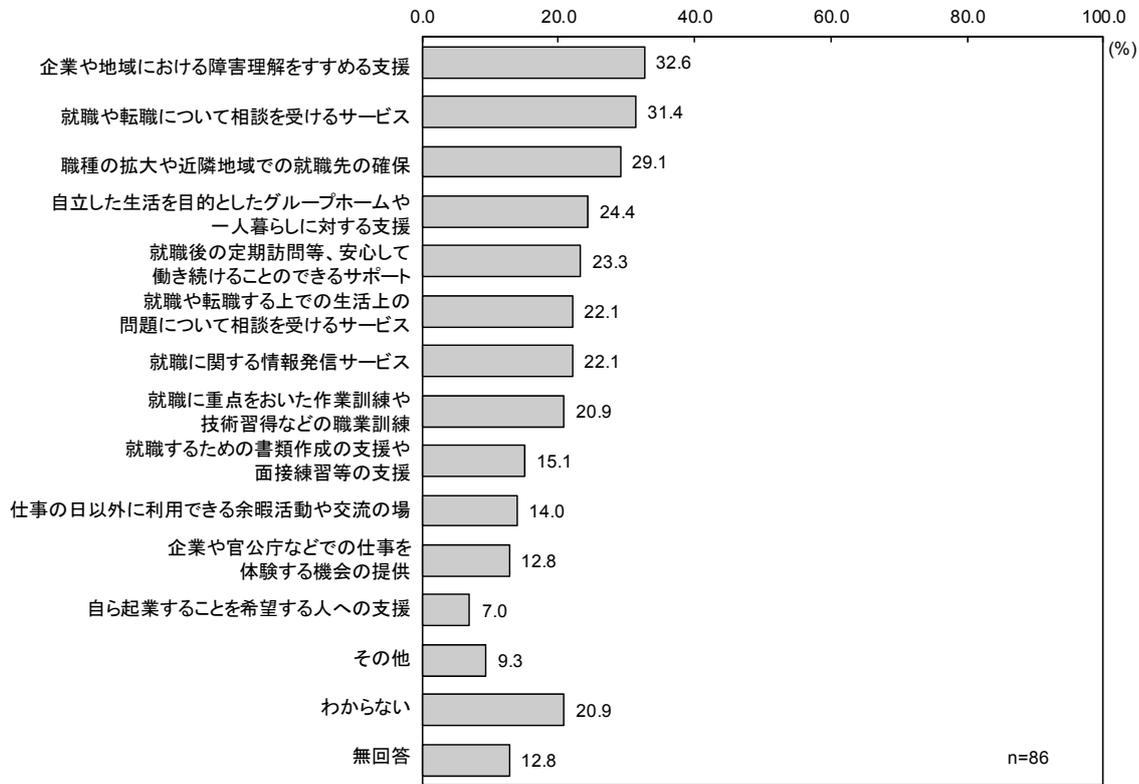


※0.0 は非表示

< II 3 精神障害者調査 >

問 27 あなたは、障害のある方の雇用を促進するために、市内で不足していると思われるサービスや取組みは何だと思えますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

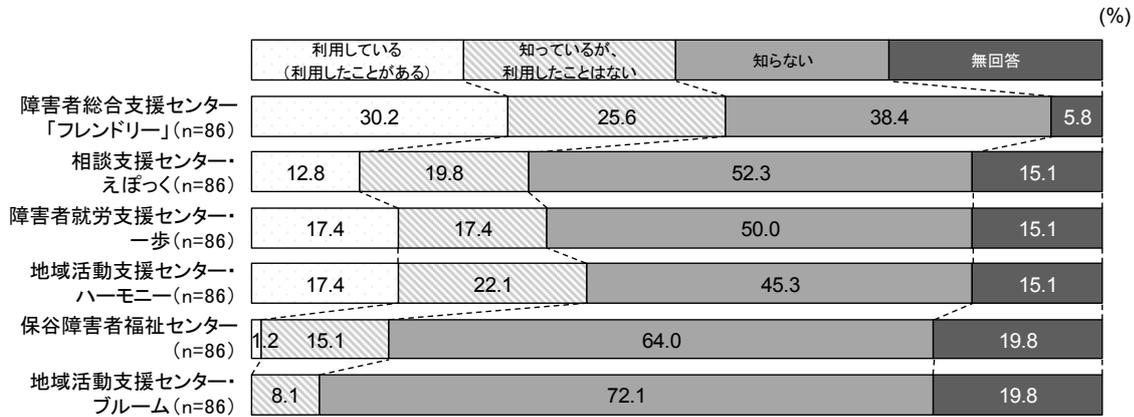
障害のある人の雇用促進のために、不足していると思われるサービスや取組みは、「企業や地域における障害理解をすすめる支援」が 32.6%で最も高く、次いで、「就職や転職について相談を受けるサービス」(31.4%)、「職種の拡大や近隣地域での就職先の確保」(29.1%)が続く。



**(7) 障害者施設・施策について**

問 28 あなたは、西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。(○は1つ)  
 問 29 あなたは、西東京市にある次の施設を利用したことがありますか。また、知っていますか。

市内施設を利用したことがある人は、障害者総合支援センター「フレンドリー」が 30.2%、相談支援センター・えぼっくが 12.8%、障害者就労支援センター・一歩が 17.4%、地域活動支援センター・ハーモニーが 17.4%、保谷障害者福祉センターが 1.2%である。



問 30 あなたは、次の講座や事業等を知っていますか。(○はいくつでも)

市開催の講座や事業等の認知状況は、以下の通りである。

(%)

n=	サポーター 養成講座	ヘルプカード	スポーツ 支援事業	障害者 水泳教室	講座や事業等 は知らない	無回答
86	10.5	45.3	4.7	7.0	46.5	7.0

**(8) 相談や情報入手方法**

問 31 あなたは、悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親せき以外に、どのようなところに相談していますか。(○はいくつでも)

家族や親せき以外の相談先としては、「病院・診療所」をあげる人が 54.7%と最も高く、次いで、「友人・知人」(19.8%)、「市役所の福祉相談窓口」(8.1%)と続いている。一方で、16.3%が「相談できる場所は特にない」と回答している。

(%)

n=	病院・ 診療所	友人・ 知人	市役所の 福祉相談 窓口	障害者 就労支援 センター 一歩	地域活動 支援セン ター・ハ ーモニー	福祉施設 や作業所 の職員	相談支援 センタ ー・ えぼっく	生活保護 の担当職 員	保谷障害 者福祉セ ンター	地域活動 支援セン ター・ブ ルーム
86	54.7	19.8	8.1	7.0	7.0	5.8	2.3	2.3	1.2	1.2
	保健師	幼稚園・ 保育園・ 学校の先 生や職場 の仲間	児童 相談所	民生委員・ 児童委員	社会福祉 協議会の 職員	障害者 団体	その他	誰かに相 談するこ とはまれ である	相談でき るところ は特にな い	無回答
	1.2	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	11.6	10.5	16.3	4.7

< II 3 精神障害者調査 >

問 32 相談できるところは特にはないと回答した理由は何ですか。(〇はいくつでも)

<回答対象者：「相談できるところは特にはない」と回答した人>

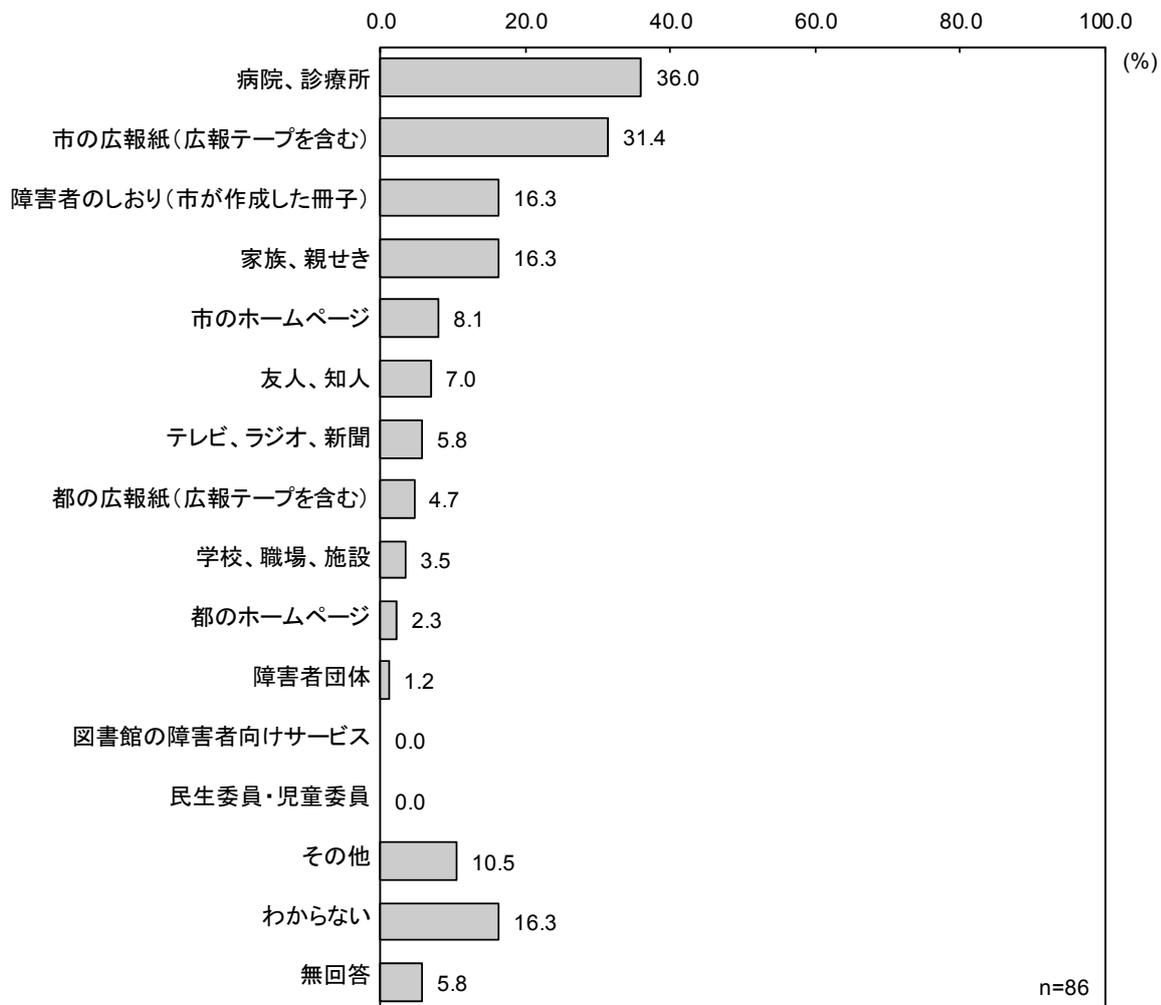
50.0%の人が「どこに相談したらよいかわからないから」と回答している。

(%)

n=	相談するほどでもない・ 必要がない	相談したくないから	どこに相談したらよいか わからないから	その他
14	14.3	7.1	50.0	28.6

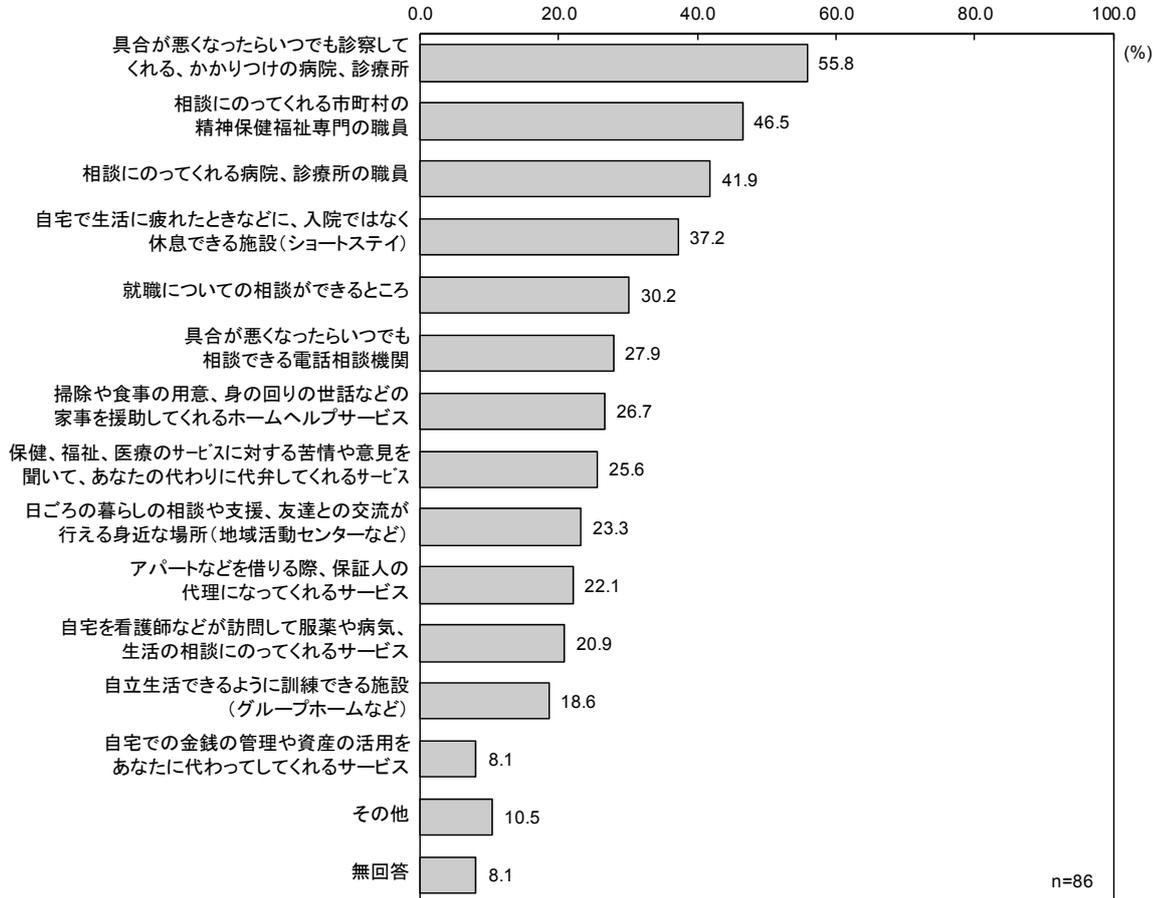
問 33 あなたは、障害福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。(〇はいくつでも)

情報の入手先として、「病院、診療所」が36.0%で最も高く、次いで、「市の広報紙（広報テープを含む）」(31.4%)、「障害者のしおり（市が作成した冊子）」(16.3%)、「家族、親せき」(16.3%)と続いている。情報入手先が「わからない」と回答した人は16.3%である。「その他」(10.5%)として、「新規更新など手続きの代行システム」、「専門カウンセラーに相談しやすく（高額なため）して頂きたいです。」、「金銭等の管理相談をしたい。」などの記述があった。



問 34 あなたが、地域で生活していく上で必要だと思うものはなんですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

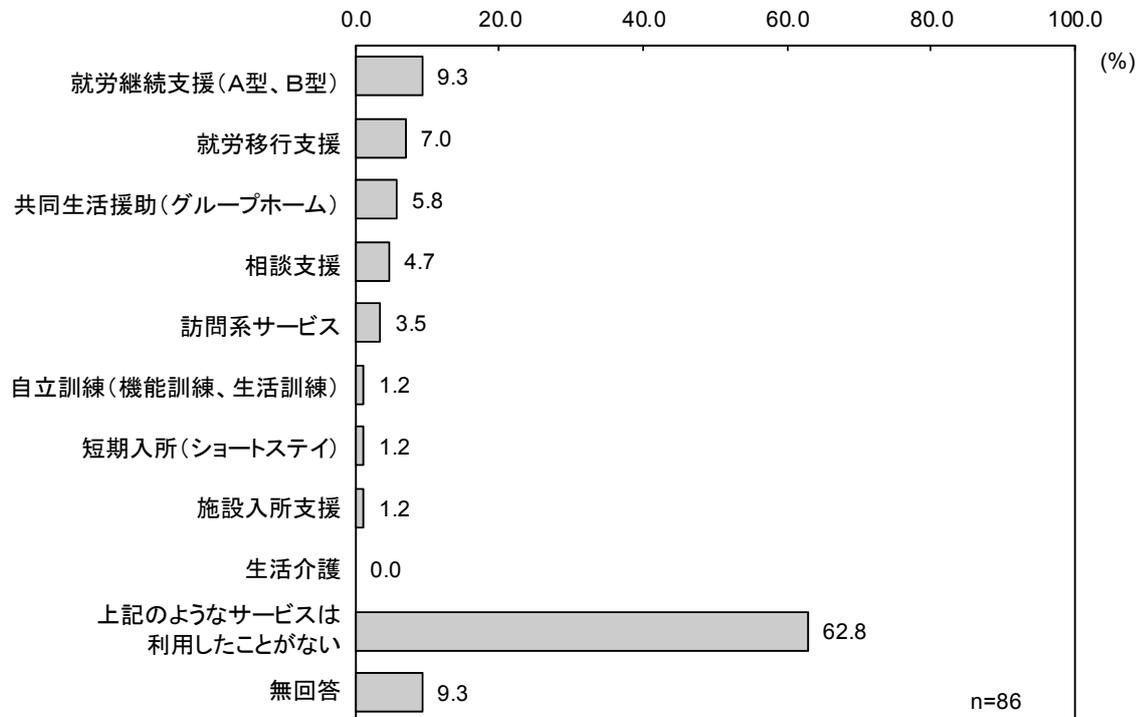
地域で生活していく上で必要なものとして、「具合が悪くなったらいつでも診察してくれる、かかりつけの病院、診療所」が 55.8%で最も高く、次いで、「相談にのってくれる市町村の精神保健福祉専門の職員」(46.5%)、「相談にのってくれる病院、診療所の職員」(41.9%)と続いており、体調等に不安がある際の対応先や、相談先をあげる人が多い。



**(9) 福祉サービス認知・利用状況**

問 35 あなたは、次のような障害福祉サービスを、過去 1 年の間に利用したことがありますか。利用したことがあるサービスに○をつけてください。(○はいくつでも)

以下の障害福祉サービスのうち、過去 1 年間での利用経験が最も高いのは、「就労継続支援 (A 型、B 型)」で 9.3% である。次いで、「就労移行支援」(7.0%)、「共同生活援助 (グループホーム)」(5.8%)、が続く。一方で「障害福祉サービスを利用したことがない」人は 62.8% となっている。



問 36 サービスに対する、感想やご意見があれば自由にご記入ください。(自由記述)

※サービス名、利用の際に困っていること、サービス利用で改善してほしい点など。

<回答対象者：何らかの障害福祉サービス利用経験者>

サービスに対する、感想や意見を自由回答形式でたずねたところ、8人から以下のような記述があった。

**サービスに対する、感想やご意見 (性別・年齢・利用したことがあるサービス)**

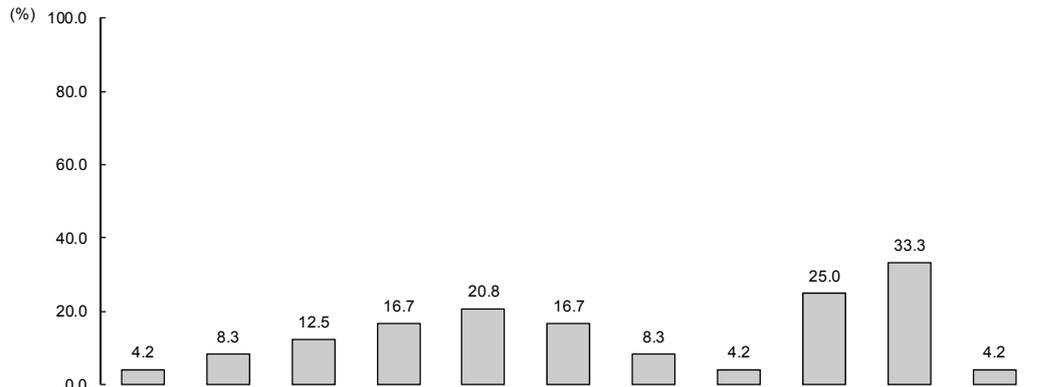
- ・ 精神障害の子が利用できるショートステイが西東京市にはない。近隣で探しているが、なかなかないので、家族が不在の時等不安。グループホームも入居できる所はない。(男性・24歳・就労継続支援 (A 型、B 型))
- ・ 就職してから困らない作業を教えることが必要。(女性・46歳・就労移行支援)
- ・ りょうじかんのかくほようぼうのさくせいこうほうなどの人員のかくほ、よさんのぞうがく。当日にあいているじかんがりょうしゃにわかることできなくなったときにそうだんできることがひつようです。(男性・33歳・相談支援)
- ・ 便利で親切 (女性・59歳・共同生活援助 (グループホーム))
- ・ 地域によって、グループホームから移動支援を利用できないので、ホームでの生活を長続きさせる為には、外出によって楽しみを増やせる事が重要かと思う。(女性・45歳・就労継続支援 (A 型、B 型)、共同生活援助 (グループホーム)、相談支援)

問 37 あなたは、「十分利用できていない」と思うサービスはどのサービスですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

<回答対象者：何らかの障害福祉サービス利用経験者>

サービス利用経験者の33.3%が「必要なサービスを利用できている」と回答しているが、「十分利用できていない」と思うサービスでは、「相談支援」をあげる人が25.0%である。次いで、「就労継続支援（A型、B型）」（20.8%）、「就労移行支援」（16.7%）、「短期入所（ショートステイ）」（16.7%）が続く。

<利用したことがあるサービス別・十分利用できていないサービス>



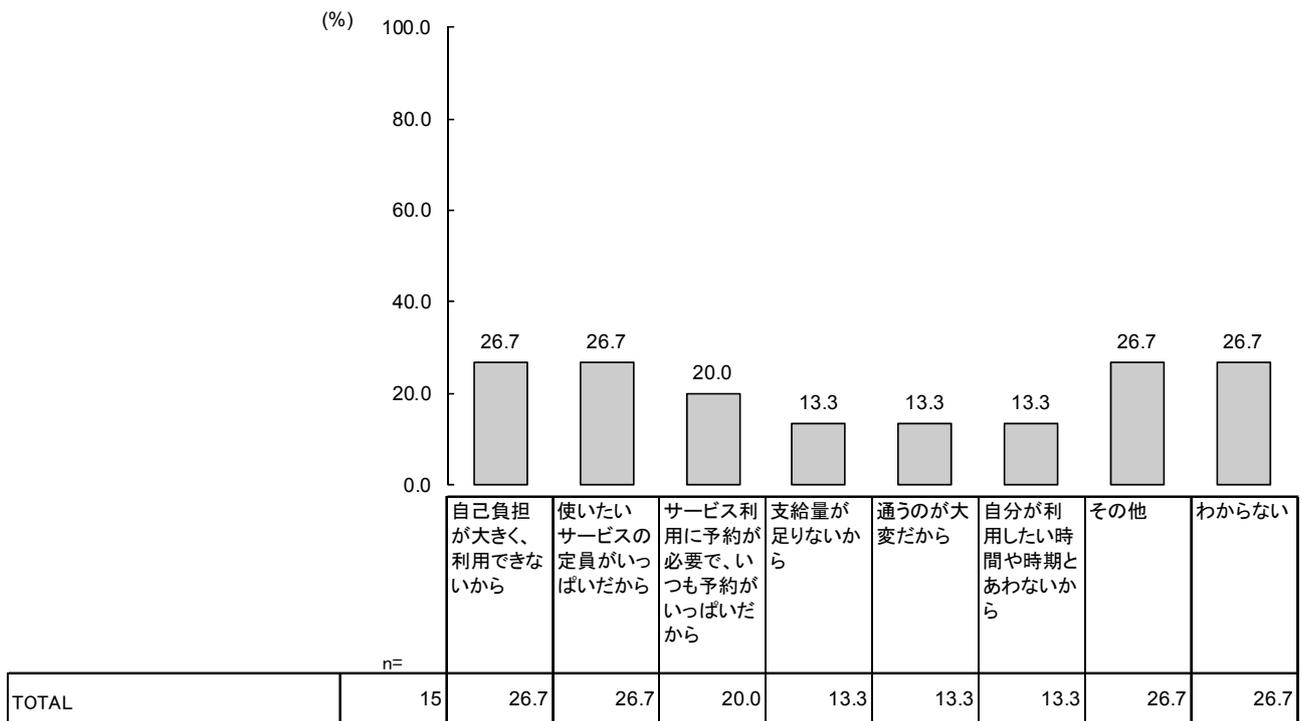
		訪問系サービス	生活介護	自立訓練 (機能訓練、生活訓練)	就労移行支援	就労継続支援(A型、B型)	短期入所 (ショートステイ)	共同生活援助(グループホーム)	施設入所支援	相談支援	必要なサービスを利用できている	無回答	
TOTAL		24	4.2	8.3	12.5	16.7	20.8	16.7	8.3	4.2	25.0	33.3	4.2
利用したことがあるサービス	訪問系サービス	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
	自立訓練(機能訓練、生活訓練)	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	就労移行支援	6	0.0	16.7	16.7	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7	0.0
	就労継続支援(A型、B型)	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	12.5	0.0	0.0	62.5	0.0
	短期入所(ショートステイ)	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	共同生活援助(グループホーム)	5	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0
	施設入所支援	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	相談支援	4	0.0	25.0	25.0	25.0	75.0	25.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0

問 38 必要だと思うサービスを、十分、利用できていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

<回答対象者：障害福祉サービスを十分利用できていないと感じている人>

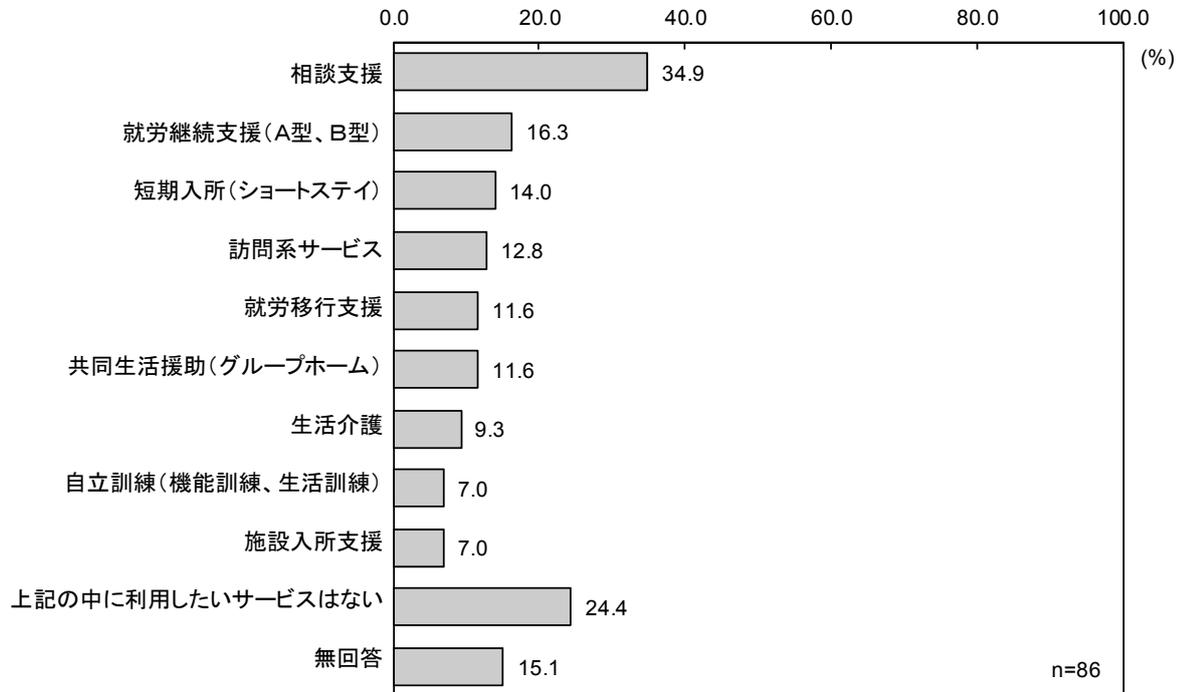
利用サービスを「十分利用できていない」と感じている人に、理由をたずねたところ、「自己負担が大きく、利用できないから」、「使いたいサービスの定員がいっぱいだから」、「その他」がそれぞれ 26.7% である。

「その他」として、「西東京市の中で精神障害の子が利用できる宿泊施設はない、あるいは情報を得られにくい。あっても必要な時に利用できる程足りていない。」、「お金の管理、薬の管理がわりに本人まかせの所でなかなか利用しにくい。」、「そもそも、どこで何をしているか知らない。」などの記述があった。



問 39 あなたは、今後、どのようなサービスを引き続き、あるいは新たに利用したいと思いますか。(〇はいくつでも)

引き続き、あるいは新たに利用したいサービスは、「相談支援」が 34.9%、「就労継続支援（A型、B型）」が 16.3%、「短期入所（ショートステイ）」が 14.0%である。一方で、「上記の中に利用したいサービスはない」と回答した人は 24.4%となっている。



問 40 サービスをより利用しやすくするためには、どのような情報提供や相談先が必要ですか。また、サービスを利用するためがあるとよい支援はどのようなものですか。(自由記述)

サービスを利用しやすくするために、必要な情報提供や相談先、利用のための支援として、以下のような記述があった。

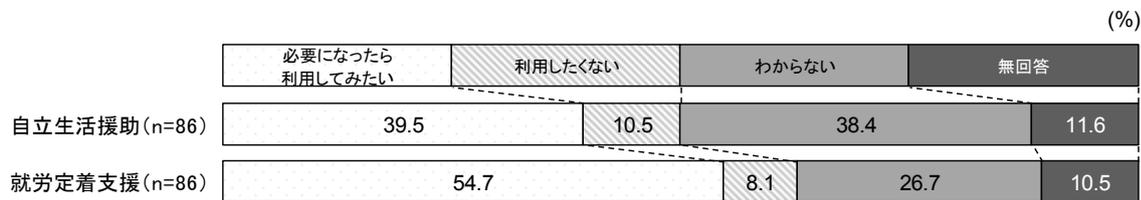
- ・ 情報提供に関しては、市報やサイトをの検索に引っかかりやすくして欲しい。(男性・39歳)
- ・ 支援を行っている方々の情報。自閉的なことが新たにサービスを利用することをほばむため、相手のことが予め多少分かれば行こうという気力が出る。(男性・28歳)
- ・ 母子（乳児を含む）や青少年、壮年の疾病予防や健康の維持管理等に関する指導相談業務が欠落している。センターの地区担当者は不明、地区内の困難家庭の未把握、地区住民が相談をできない。センターは遠くの不便な地域に存在しているので1度も行ったことがない人が多い。(女性・39歳)
- ・ どの様なサービスを自分が受けられるのか分からない。金銭面で不安が大きいので、サービスをうけたとしても、支払いができないと思う。(女性・43歳)
- ・ 生活ヘルパーがいるといい。(女性・44歳)
- ・ 家から近い。(女性・49歳)
- ・ 本当に病気の事を理解し、自分の言っている事を信用してくれる相談員。(女性・52歳)
- ・ 私は仕事に就いていてうつ病にかかりました。職場では障害者雇用となっていますが、それに対するフォローはありません。それらの時短や有休以外の休暇があるといいと思います。(女性・49歳)

< II 3 精神障害者調査 >

問 41 障害者総合支援法の改正により、新たに導入される次のようなサービスをあなたは利用してみたいと思いますか。

※平成 30 年 4 月から創設される予定の新しいサービスです。サービスの詳細は変更する可能性もあります。

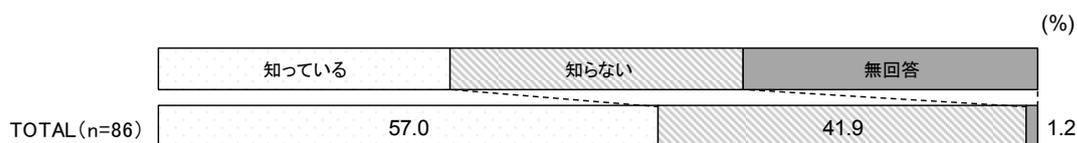
平成 30 年 4 月から導入予定のサービスの利用意向について、「必要になったら利用してみたい」と考えるサービスは、「自立生活援助」が 39.5%、「就労定着支援」が 54.7%である。



**(10) 災害対策について**

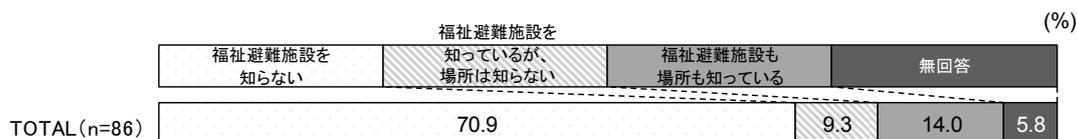
問 42 あなたは、お住まいの地域の避難所を知っていますか。(○は1つ)

地域の避難場所を「知っている」人は 57.0%である。



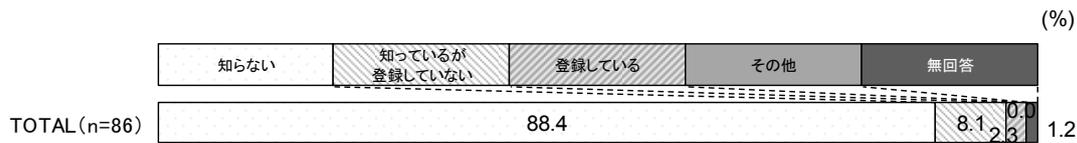
問 43 福祉避難施設とは、自宅や避難施設で生活している高齢者や障害者の方等に対し、状況に応じて介護等の必要なサービスを提供する社会福祉施設等のことです。西東京市には障害者総合支援センター「フレンドリー」をはじめ、約 30 ヶ所の福祉避難施設があります。あなたは、西東京市にある福祉避難施設を知っていますか。(○は1つ)

福祉避難施設については、70.9%が「知らない」と回答している。「福祉避難施設も場所も知っている」人は 14.0%である。



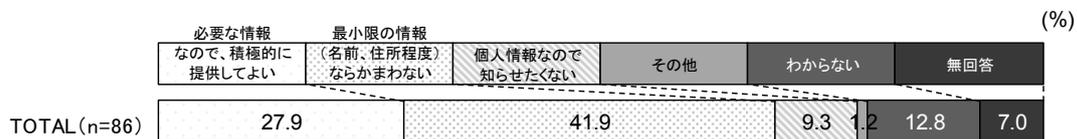
問 44 あなたは、災害時要援護者登録を知っていますか。(○は1つ)

災害時要援護者登録については、88.4%が「知らない」と回答している。「登録している」人は2.3%である。



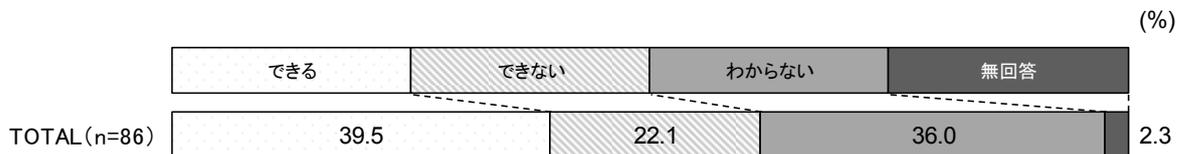
問 45 災害時に行政や地域などから支援を受けるため、あらかじめ個人情報（名前、住所、世帯の状況、障害の状況、緊急連絡先等）を市に提供することについて、どう思いますか。(○は1つ)

災害時の支援を受けるために個人情報を提供することについては、「必要な情報なので、積極的に提供してよい」が27.9%、「最小限の情報（名前、住所程度）ならかまわない」が41.9%である。



問 46 あなたは、地震や台風などの災害時にひとりで避難できますか。(○は1つ)

災害時にひとりで避難が「できる」人は39.5%、「できない」人は22.1%である。



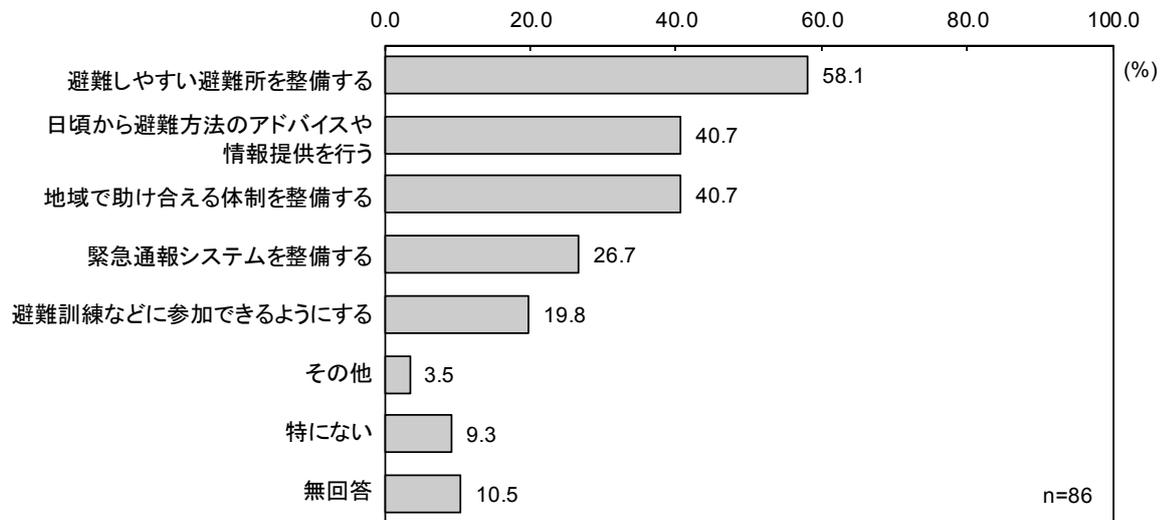
問 47 地震や台風などの災害が起こった際の不安は何ですか。(○はいくつでも)

地震や台風などの災害が起こった際の不安としては、「避難先での不安」が75.6%で最も高く、次いで「避難する際の不安」(58.1%)、「災害の状況が伝わってこない場合の不安」(46.5%)が続く。「その他」(15.1%)として、「薬が不足しないか」、「災害時、避難先の生活で、自分の症状を我慢出来るのかどうか。我慢出来なかった時の周囲の反応。(笑われたり、クレームを言われる事)」、「人の声がイヤなのでたくさんの人と一緒に不安」などの記述があった。

n=	災害の状況が伝わってこない場合の不安	避難する際の不安	避難先での不安	その他	特になし	わからない	無回答
86	46.5	58.1	75.6	15.1	4.7	4.7	3.5

問 48 災害に備えて、または災害時に、どのような対策が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

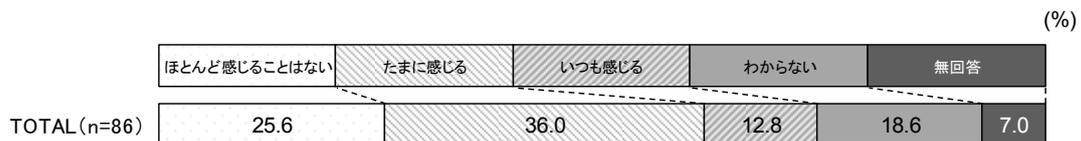
必要な災害対策としては、「避難しやすい避難所を整備する」ことをあげる人が 58.1%で最も高い。



### (11) 障害・障害者への理解

問 53 障害があることで、差別や人権侵害、虐待を受けていると感じることがありますか。(○は1つ)

差別や人権侵害、虐待については、25.6%の人は「ほとんど感じることはない」が、12.8%は「いつも感じる」、36.0%は「たまに感じる」と回答している。



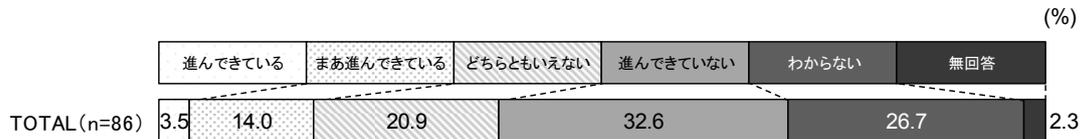
問 54 障害のある方々への差別をなくすことを目的として、平成 28 年 4 月 1 日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、このことを知っていますか。(○は1つ)

障害者差別解消法について、「内容まで知っている」人は 12.8%、「知らない」人は 65.1%である。



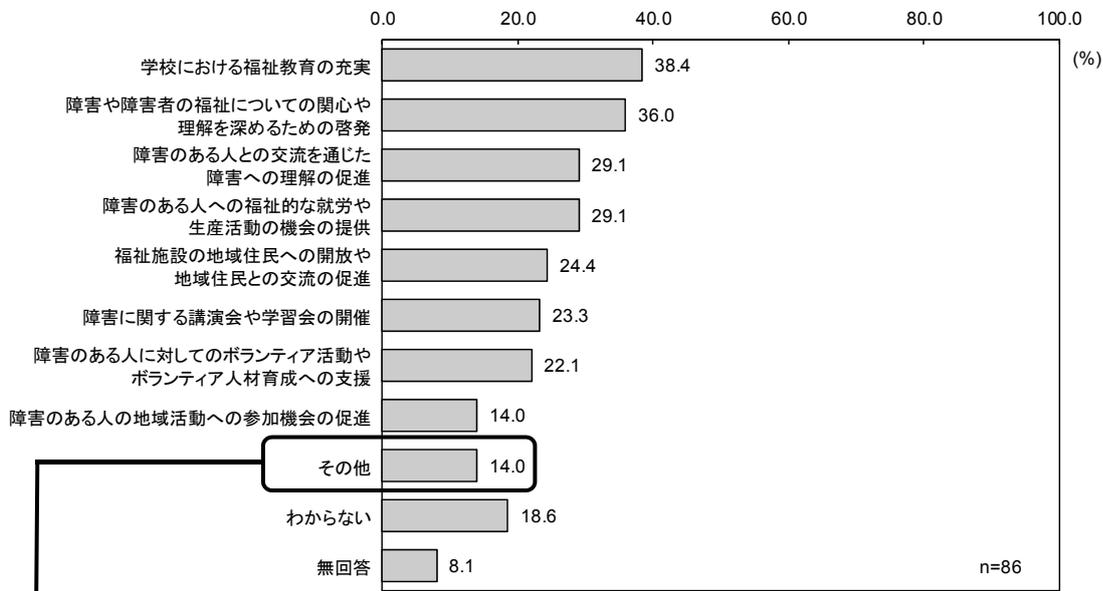
問 55 障害や障害のある方々に対する市民の理解は進んできていると思いますか。(○は1つ)

障害や障害のある人に対する市民の理解が「進んできている」と考えている人は3.5%、「まあ進んできている」(14.0%)をあわせると、17.5%の人は市民の理解が進んできていると感じている。一方で32.6%の人は「進んできていない」と感じている。



問 56 障害や障害のある市民への理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

障害や障害のある人への理解に必要なこととして、「学校における福祉教育の充実」が38.4%で最も高く、次いで、「障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための啓発」(36.0%)、「障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進」、「障害のある人への福祉的な就労や生産活動の機会の提供」(ともに29.1%)が続いている。



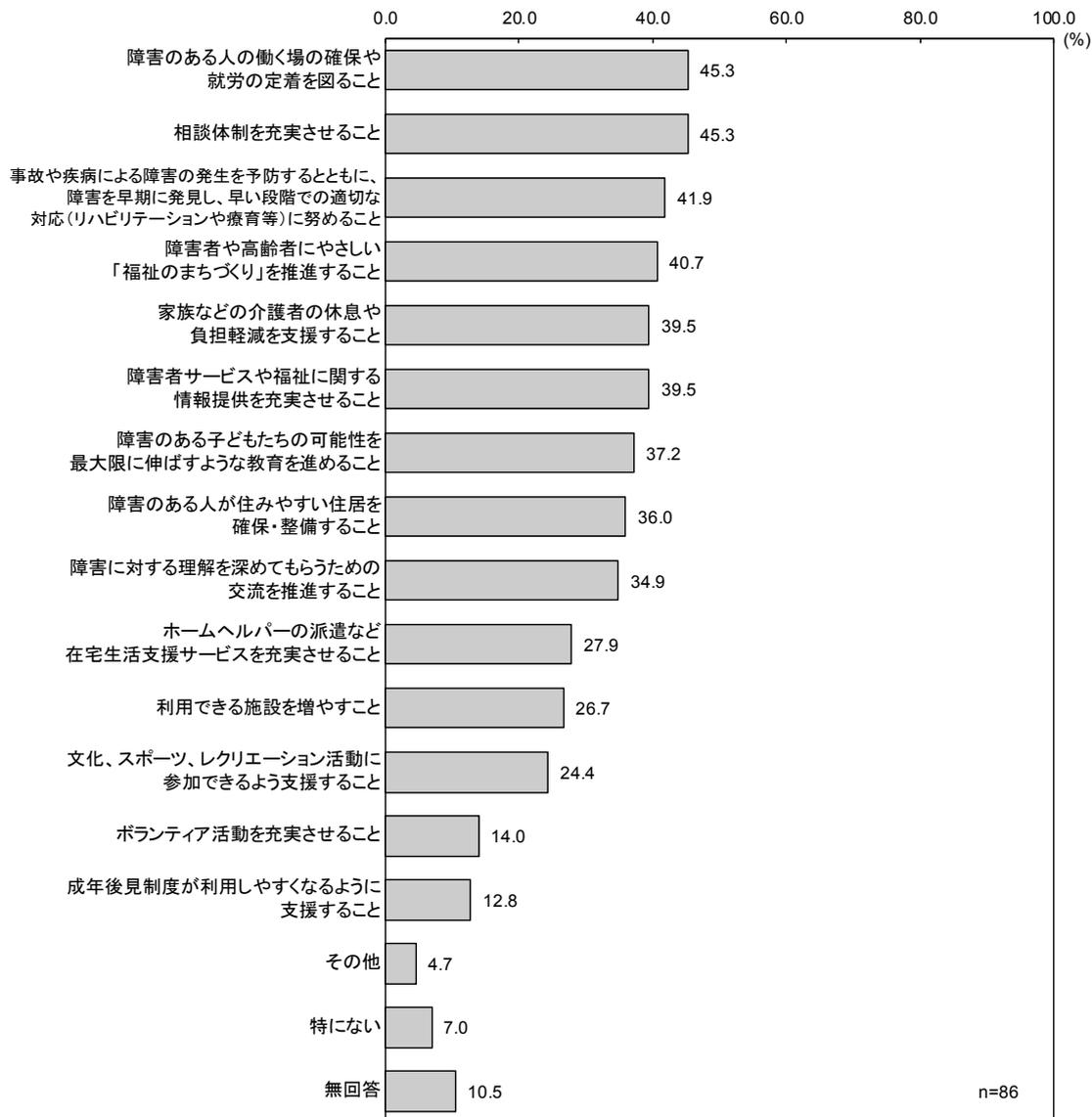
「その他」(14.0%)として、以下のような記述があった。

- ・ 障害の無い人が興味をもつ事が必要だと思う。質問の選択肢は全て障害のある人もしくは、その周りの人がメインである気がする。障害の無い人がメインで行動を起こす社会であれば理解ならぬ、障害自体が無くなるのでは。
- ・ 障害のある家族がいない家庭での、特に子供への教育のための親への講習など。
- ・ 障害への関心がない・低い方に普及・啓発・理解促進しなければ効果は小さい。障害者雇用普及は同僚に強制的に理解促進をしていくことになるため、関心が低い層に確実にアプローチしていける手段になる。
- ・ 理解したいと思っていない人には啓発や、講演会の参加などは、あまり意味がないと思います。さりげないCMや、ネット上の広告など、少しでも目に入る場所、脳のかたすみに残るところなど、時間をかけて、少しずつ知ってもらい、興味を持ってもらう。

**(12) 障害者施策、市への要望等**

問 57 今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。(〇はいくつでも)

今後、市が充実させていくべき障害者施策としては、「障害のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること」、「相談体制を充実させること」がそれぞれ 45.3%で、次いで「事故や疾病による障害の発生を予防するとともに、障害を早期に発見し、早い段階での適切な対応(リハビリテーションや療育等)に努めること」が 41.9%で続いている。



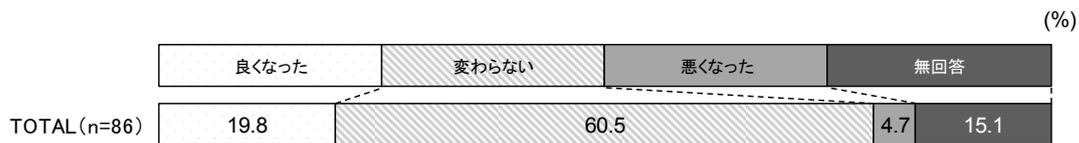
問 58 問 57 のような西東京市の障害者施策全般について、総合的に満足していますか。(○は1つ)

西東京市の障害者施策全般について、「満足している」人は9.3%で、「やや満足」(16.3%)とあわせると、25.6%の人は満足していると感じている。



問 59 約5年前(平成24年)と比べて、障害者のサービスはどのように変わったと思いますか。(○は1つ)

5年前(平成24年)と比べて障害者サービスは「変わらない」(60.5%)と感じている人が多いが、「良くなった」が19.8%で「悪くなった」(4.7%)を上回っている。



問 60 そのようにお答えになったのは、どのような理由からですか。(自由記述)

問 59 で選択した回答の理由は以下の通りである。

**<良くなった>**

- ・ 弱者に対するケア度が全体的に高まっているのでそう思った。(性別・年齢無回答)
- ・ この様なアンケート用紙が届く事が良くなった理由。(女性・42歳)
- ・ 障害者が前(社会)へ出る機会が増えてきたと思う。多様化してきたと思う。(女性・54歳)
- ・ 精神についても、ようやく、来年より、数が決められる様になり、ダイバーシティーに少しずつではありますが、開けてきたと考えます。(男性・36歳)

**<変わらない>**

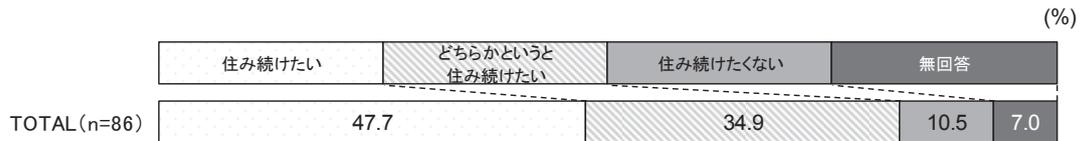
- ・ 自分の生活が5年前と変わらないから。症状自体は悪化していて、5年前より生きている事が辛い。サービス自体は5年前と特に変わっていない。(男性・31歳)
- ・ 全体的に健常人の理解が進んでいない。もっといろんな人に知ってもらう必要がある。(男性・33歳)
- ・ このアンケートを見て初めて知ることが多いです。こちらから働きかけないと、何も知ることがないと実感しました。(女性・65歳)
- ・ 5年前と比べて特に進んでいると思えないから。(男性・54歳)
- ・ 書類の更新、提出などで利用しているのでサービスの变化はわかりません。(男性・31歳)

**<悪くなった>**

- ・ 市のせいではないが、自立支援法により作業所などが有料になったので。(女性・47歳)

問 61 あなたは、今後も西東京市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

47.7%の人が今後も西東京市に「住み続けたい」と回答している。



問 62 最後に、この調査を通じて、選択肢や自由記述欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、自由にお書きください。(自由記述)

調査票の最後に、調査質問選択肢だけでは表現しきれなかったことや意見、要望、計画に盛り込みたいことなどを自由に記入できる欄を設けた。本報告書では紙面の都合上すべてを掲載することはできないが、調査票の設問から浮き彫りにされにくい課題・問題点を中心に、より代表性・具体性のある意見・要望の一部を紹介することとする。

### 情報提供に関すること

- 文章を読んでも頭に入って来なかったり、頭に残らなかったり、支援サービスなどの情報を知ることが難しい。介助や援助者が常にいるわけではないので、分かりやすい文面、文字の大きさにしてくれると助かります。(女性・38歳)
- 発達障害の父母学級を月1とか隔月とかで開催してほしい。医師、パネラーの話を聞き、親同士の交流の場がほしい。どこかつながりが欲しいのですが、どこへ相談していいのか？どこから情報をつかめばいいのか、わかりません。(男性・22歳)

### 手続きや相談に関すること

- しょうがいしゃがせいどをりかいしたりてつづきをしたりできないのでケースワーカーがてつづきやじょうほうつなげるやくめをになってほしい。たんじかんかいごをうけるときにじぎょうしゃにさいていがくをほしょうしてくれるとじんいんのかくほができませんと思います。おなじちいきのたんじかんりょうしゃのじょうほうを市がかんりすればよくなると思います。市のまどぐちでしょうがいのないようとなまえを大きな声でよむのをやめてもらいたい。てつづきをてつだってもらう人がいなくてこまっているのでてだすけをしてもらいたい。(男性・33歳)
- 申請関連が、障害者にとって大変な作業である。かんたんにコピーと書いてあるが、コピーするのにも我々にとっては、大変である。

### 各種サービスに関すること

- 障害者になる事が精神的に大きく、手帳をもらうまで10年間悩んだが、負担になっている通院に対応するサービスもなく、金銭面での負担を減らせるサービスもない。精神障害者も身体障害者と同様に通院する事がとても大変である事を理解してほしい。(女性・43歳)
- 西東京市にはグループホームで精神障害の人を対象にしているところがない、あったとしても既に満員で順番待ちです。親に何かあった時のことを考えると不安が大きいです。精神障害を対象とするグループホームを作ってください。(男性・24歳)
- 気軽に行ける場所が増えたらいいと思う。(障害、高齢、健常者が一緒に過ごせる場所)(女性・54歳)

- ・ 居住地によって受けるサービスに差が出ています（診断書料の助成サービスのある市もあります）。日々の生活が苦しくなっている現在、あれば大変たすかります。（男性・31歳）
- ・ 親の介護、援助で成り立っている生活です。一つでも出来るようにしたいとの親の思いがありますが、現実はなかなか厳しいものがあります。親亡き後の住居、生活支援の対策を切にお願いいたします。（精神障害一級の子を持つ親より）（男性・49歳）

#### **雇用・就労に関すること**

- ・ 障害者認定を受けてからも就労移行支援事業所に通うなどしたが、全く就労につながらない。ハローワークで仕事をさがしているが、障害者求人でも採用人数は少なく、企業はあまり採用する気持ちはないように思う。就労できないと収入面等で生活が苦しい。（男性・54歳）
- ・ 働く場所ももっと増えたら良いと思う。（女性・54歳）
- ・ 就職について、仕事出来るが体力が一般人に比べて無い。例えば、勤務時間を短くする、給料を増やす、終身雇用にするなど、労働環境を働きやすくできるように改善する。（男性・33歳）
- ・ 障害をひた隠しにして生きています。薬を飲んでいるので、体力、精神的にも不安定な為、健康な方と同じ様には働けません。今後は障害を持つ人々に、働く場、生活の場を、安心して暮らせる場をもっと作って欲しいです。（女性・42歳）
- ・ 作業所の数を増やして欲しい。（女性・47歳）

#### **経済的な援助に関すること**

- ・ 税金等の支払いをすると、生活が大変なので手帳を持っていることを伝えずパートに行っています。これからのことを相談出来る、弁護士、税理士さん等を利用して税金支払後の生活を組み立てたい。（女性・65歳）

#### **理解や権利擁護、差別・人権侵害等に関すること**

- ・ 精神病は目で判断できないため、理解が難しいと思います。そこをぜひ、わかってもらいたいです。（男性・47歳）
- ・ 障害者になる可能性は誰にでもあります。精神障害に関して、パニックなどをおこしたときに「こわい」と関わるとめんどうだからと社会から、はずされていく。親が子供にする教育の中で、何か変えられたらと思います。（女性・40歳）
- ・ うつ病などは偏見や差別がないが、統合失調症などはまだまだすすんでいない。（女性・47歳）
- ・ 職場に病気をふせて入社したのですが、限界を感じて会社に打ち明けました。クビを覚悟したのですが、理解してくれて、比較的仕事量の少ない部署に異動させてもらえました。職場の理解はとても大きいと思いました。（女性・43歳）

#### **その他**

- ・ アンケートで何がどうなるか全く不明瞭。具体的に示せば良い。個人的には市の障害福祉サービスを受けていないという実感がある。市独自の政策に（財源上ムダとは知りつつ）期待したい。（男性・39歳）
- ・ このようなアンケートを企画し予算取って出される西東京市役所のみなさまの真摯さを嬉しく思いました。今後ともよろしくお願いいたします。（男性・28歳）
- ・ ページ数、選択肢が多くてアンケートに答えるのが大変でした。（女性・30歳）
- ・ 子供が結婚する時相手に隠しておいた方がよいのか、不安です。（女性・53歳）

< II 3 精神障害者調査 >

## 4 難病患者

### (1) 基本的な属性

問1 この用紙（調査票）に記入されるのはどなたですか。（○は1つ）

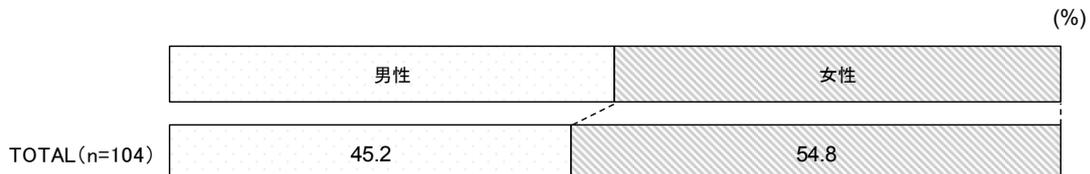
調査票記入者は「本人（宛名の方）が記入、または本人が答え代筆者が記入」が72.1%。



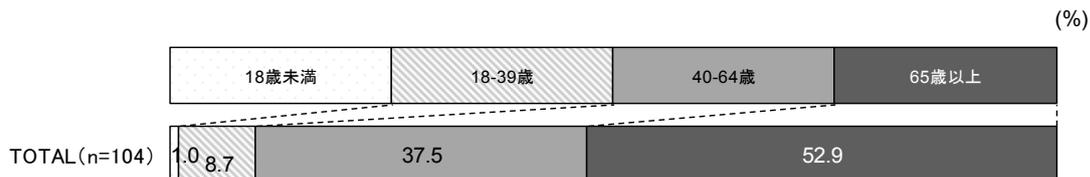
問2 あなたの性別をお答えください。（○は1つ）

問3 年齢（8月1日現在）を記入してください。

性別は、男性が45.2%、女性が54.8%。



年齢は、40-64歳が37.5%、65歳以上が52.9%で平均年齢は62.9歳。



(%)

n=	19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	平均年齢
104	1.0	4.8	3.8	10.6	11.5	28.8	39.4	62.9歳

問4 現在、あなたはどこで暮らしていますか。（○は1つ）

居住形態は、「持ち家（分譲マンションを含む）」が55.8%で最も多く、次いで、賃貸住宅（アパート、賃貸マンション、借家）が40.4%である。

(%)

n=	持ち家(分譲マ ンションを含 む)	賃貸住宅(ア パート、賃貸 マンション、 借家)	グループホー ム、ケアホー ム、福祉ホー ム	福祉施設(障 害者支援施 設、高齢者支 援施設)	入院している	その他
104	55.8	40.4	0.0	0.0	3.8	0.0

問5 どなたと一緒に暮らしていますか。(○はいくつでも)

同居者は、「配偶者(夫または妻)」が56.7%で最も高く、「子ども(子どもの配偶者も含む)」が38.5%で続いている。

年代別にみると、40代以上では、「配偶者(夫または妻)」、「子ども(子どもの配偶者も含む)」の割合が高い。60代の26.7%が「自分ひとりだけで暮らしている」と回答しており、他の年代に比べ高い。

(%)

n=		自分ひとりだけで暮らしている	配偶者 (夫または妻)	子ども (子どもの配偶者も含む)	父親	母親	祖父	祖母	兄弟、 姉妹	その他の親せき	福祉施設の職員や 仲間	その他	無回答
TOTAL	104	15.4	56.7	38.5	5.8	10.6	0.0	0.0	6.7	1.0	1.0	1.9	1.0
19歳以下	1	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	5	0.0	20.0	0.0	60.0	60.0	0.0	0.0	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0
30代	4	0.0	100.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40代	11	9.1	54.5	54.5	18.2	18.2	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0	9.1	0.0
50代	12	8.3	75.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60代	30	26.7	50.0	40.0	0.0	3.3	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	3.3	3.3
70歳以上	41	14.6	58.5	41.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0

(2) 障害状況

問6 次のうち、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

障害者手帳について、「あてはまるものはない」が55.8%だが、41.3%の人は「身体障害者手帳を持っている」。

年代別にみると、60代以上では約半数が「身体障害者手帳を持っている」。

(%)

n=		身体障害者手帳を持っている	愛の手帳 (療育手帳)を持っている	精神障害者保健福祉手帳を持っている	高次脳機能障害と診断されたことがある	発達障害と診断されたことがある	あてはまるものはない	無回答
TOTAL	104	41.3	1.0	0.0	1.0	0.0	55.8	1.0
19歳以下	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
20代	5	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0
30代	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
40代	11	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	72.7	0.0
50代	12	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0
60代	30	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
70歳以上	41	48.8	2.4	0.0	2.4	0.0	43.9	2.4

問7 あなたは、介護保険の介護認定を受けていますか。受けている場合、あてはまる要介護度に○をつけてください。(○は1つ)

<回答対象者：40歳以上>

介護認定状況は、どの年代も「認定は受けていない」が最も高い。年代が高くなるにつれ、要支援・要介護の認定を受けている人の割合が高くなっている。

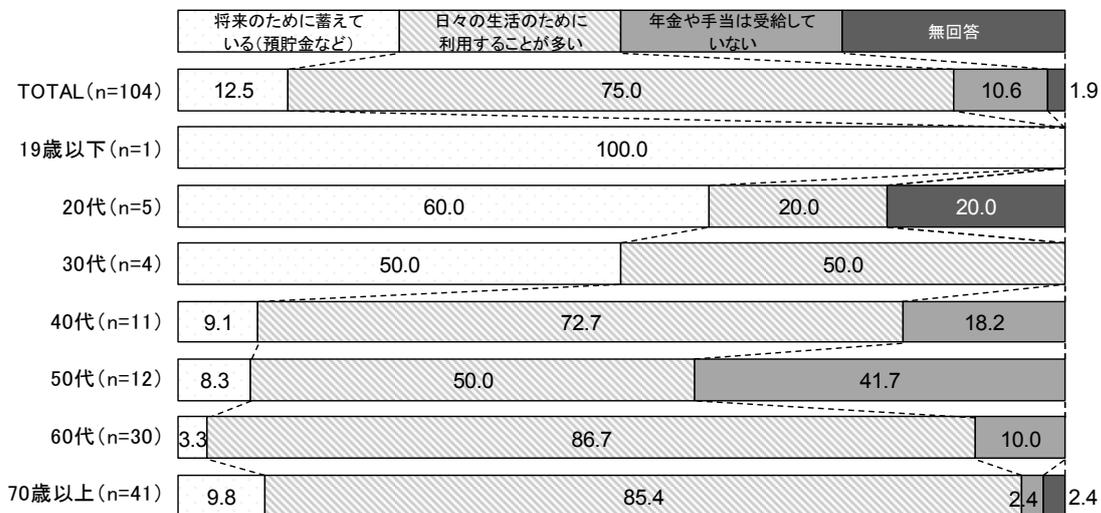
(%)

	n=	認定は受けていない	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	わからない	無回答
TOTAL	94	66.0	4.3	5.3	7.4	8.5	3.2	1.1	2.1	1.1	1.1
40代	11	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50代	12	91.7	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60代	30	83.3	3.3	0.0	3.3	3.3	0.0	0.0	3.3	3.3	0.0
70歳以上	41	36.6	7.3	12.2	14.6	14.6	7.3	2.4	2.4	0.0	2.4

問8 あなたは、難病者福祉手当や障害者支援の手当や年金を主にどのように利用していますか。(○は1つ)

障害者支援の手当てや年金の利用状況は、「将来のために蓄えている(預貯金など)」が12.5%、「日々の生活のために利用することが多い」が75.0%、「年金や手当は受給していない」が10.6%である。

(%)



※0.0は非表示

**(3) 介助・援助の状況**

問9 差支えなければ、特定医療費受給者証に記載されている難病名をご記入ください。

特定医療費受給者証に記載の難病名は以下の通り。(複数記入あり)

慢性腎不全	16人
潰瘍性大腸炎	10人
パーキンソン病	9人
重症筋無力症	4人
原発性胆汁性胆管炎、ベーチェット病	各3人
サルコイドーシス、皮膚筋炎、多発性硬化症、多発性のう胞腎、全身性エリテマトーデス	各2人
網膜色素変性症、肥大型心筋症、特発性大腿骨頭壊死症、特発性拡張型心筋症、天疱瘡、脊髄小脳変性症、自己免疫性肝炎、好酸球性多発血管炎性肉芽腫病、顕微鏡的多発血管炎、結節性多発動脈炎、間質性肺炎、肝内結石症、拡張型心筋症、黄色靱帯骨化症、悪性関節リウマチ、細気管支炎、シェーグレン症候群、IgA腎症、特発性骨頭壊死、気管支ぜんそく	各1人

問10 難病治療のための通院頻度はどのくらいですか。(○は1つ)

通院頻度は、「週に1回以上」が22.1%、「月に2～3回程度」が2.9%、「月に1回程度」が35.6%、「2カ月～6ヶ月に1回程度」が28.8%、「6ヶ月～1年に1回程度」が2.9%である。

(%)

	週に1回以上	月に2～3回程度	月に1回程度	2ヶ月～6ヶ月に1回程度	6ヶ月～1年に1回程度	無回答
TOTAL(n=104)	22.1	2.9	35.6	28.8	2.9	7.7

問11 あなたは、現在、次のような医療ケアを受けていますか。(○はいくつでも)

「医療的ケアは受けていない」人が39.4%だが、受けている医療的ケアとしては、「服薬管理」が27.9%、「透析」が22.1%である。

60代の33.3%、70歳以上の26.8%が「透析」を受けている。

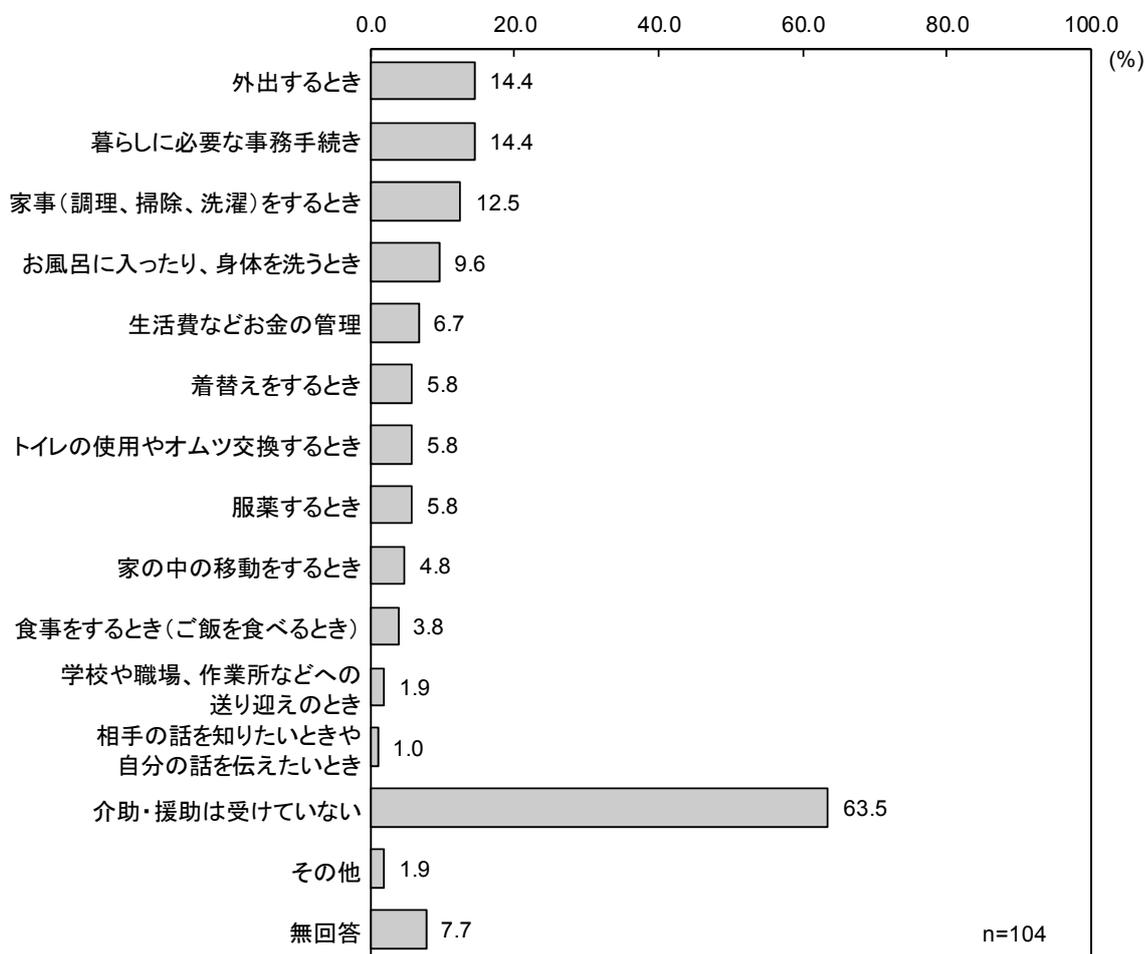
(%)

n=	医療的ケアは受けていない	気管切開	人工呼吸器(レスプレーター)	吸引	鼻腔経管栄養	透析	カテーテル留置	ストマ(人工肛門・人工膀胱)	服薬管理	その他	無回答
TOTAL	104	39.4	1.0	1.0	1.0	22.1	4.8	2.9	27.9	6.7	4.8
19歳以下	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	5	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	60.0	20.0	0.0
30代	4	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
40代	11	45.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	45.5	0.0	0.0
50代	12	58.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	8.3	0.0	8.3	8.3
60代	30	43.3	0.0	0.0	0.0	33.3	10.0	3.3	26.7	3.3	0.0
70歳以上	41	29.3	0.0	0.0	0.0	26.8	4.9	0.0	26.8	9.8	9.8

※吸入、胃ろう・腸ろう、中心静脈栄養(IVH)は0.0のため、非表示

問 12 あなたは、どのようなときに介助・援助を受けていますか。(○はいくつでも)

63.5%が「介助・援助は受けていない」が、介助・援助を受けている場面としては、「外出するとき」、「暮らしに必要な事務手続き」がそれぞれ 14.4%で最も高く、次いで、「家事（調理、掃除、洗濯）をするとき」が 12.5%と続く。



問 13 ふだん、あなたを主に介助・援助しているのはどなたですか。(○は1つ)

ふだん、主に介助・援助している人は「配偶者(夫、妻)」が50.0%で最も高く、次いで、「子ども、子どもの配偶者」が26.7%、「ホームヘルパー等の在宅サービス事業者」が13.3%である。

年代別にみると、70歳以上では「配偶者(夫、妻)」、「子ども、子どもの配偶者」がそれぞれ4割以上である。

(%)

n=		配偶者(夫、妻)	子ども、子どもの配偶者	父親	母親	祖父	祖母	兄弟、姉妹	その他の親せき	近所の人、友人・知人	ホームヘルパー等の在宅サービス事業者	その他
TOTAL	30	50.0	26.7	0.0	3.3	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	13.3	3.3
20代	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40代	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
60代	6	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0
70歳以上	20	45.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	5.0

(4) 日中の過ごし方や外出の状況・社会参加状況

問 23 あなたは、平日(月曜日～金曜日)の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つ)

平日の日中の過ごし方として、「自宅にすることが多い」が42.3%、「働いている」が25.0%である。

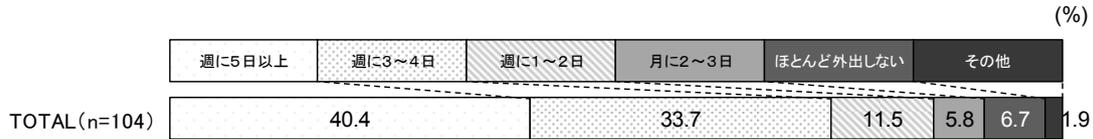
年代別にみると、60代の56.7%が「自宅にすることが多い」と回答しており、他の年代に比べ高い。

(%)

n=		幼稚園や保育園、学校などに通っている	福祉施設、作業所などに通っている	病院などのデイケアに通っている	リハビリテーションを受けている	働いている	入所・入院している施設や病院などで過ごしている	自宅にすることが多い	その他	無回答
TOTAL	104	1.9	1.9	9.6	2.9	25.0	5.8	42.3	9.6	1.0
19歳以下	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
20代	5	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0
30代	4	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40代	11	0.0	0.0	0.0	0.0	45.5	9.1	36.4	9.1	0.0
50代	12	0.0	0.0	8.3	0.0	58.3	0.0	33.3	0.0	0.0
60代	30	0.0	3.3	3.3	0.0	23.3	3.3	56.7	6.7	3.3
70歳以上	41	0.0	2.4	19.5	7.3	2.4	7.3	43.9	17.1	0.0

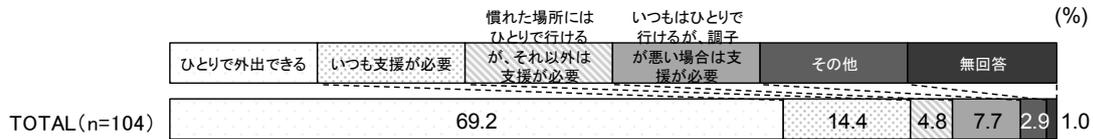
問 14 あなたは、どのくらい外出しますか。通所、通学、通勤、買い物、日常の散歩など、すべてを含めてお答えください。(○は1つ)

外出頻度は、「週に5日以上」が40.4%、「週に3～4日」が33.7%、「週に1～2日」が11.5%、「月に2～3日」が5.8%である。「ほとんど外出しない」と回答した人は6.7%となっている。



問 15 あなたは、外出をするときに支援が必要ですか。(○は1つ)

外出時の支援の必要性は、69.2%の人が「ひとりで外出できる」と回答している。「いつも支援が必要」は14.4%である。

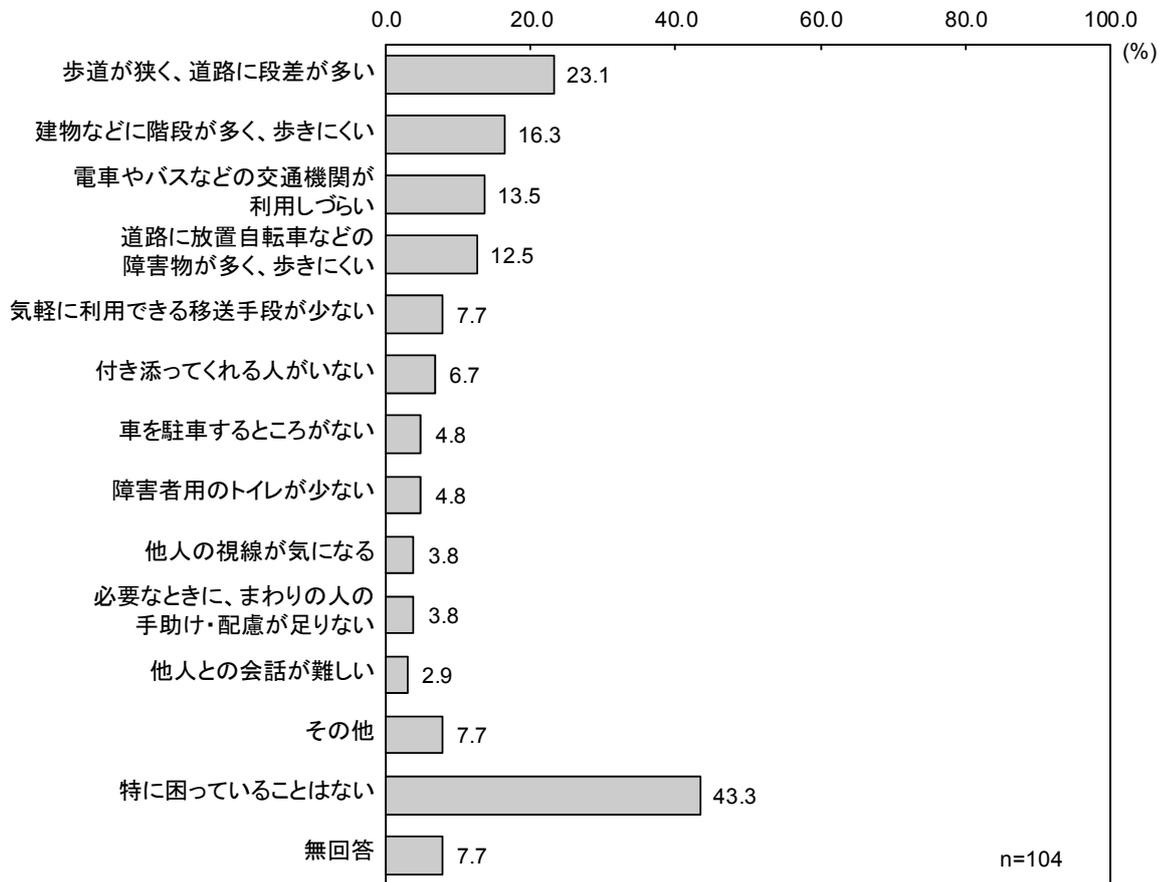


※0.0 は非表示

< II 4 難病患者調査 >

問 16 外出の際に困っていることはありますか。(○はいくつでも)

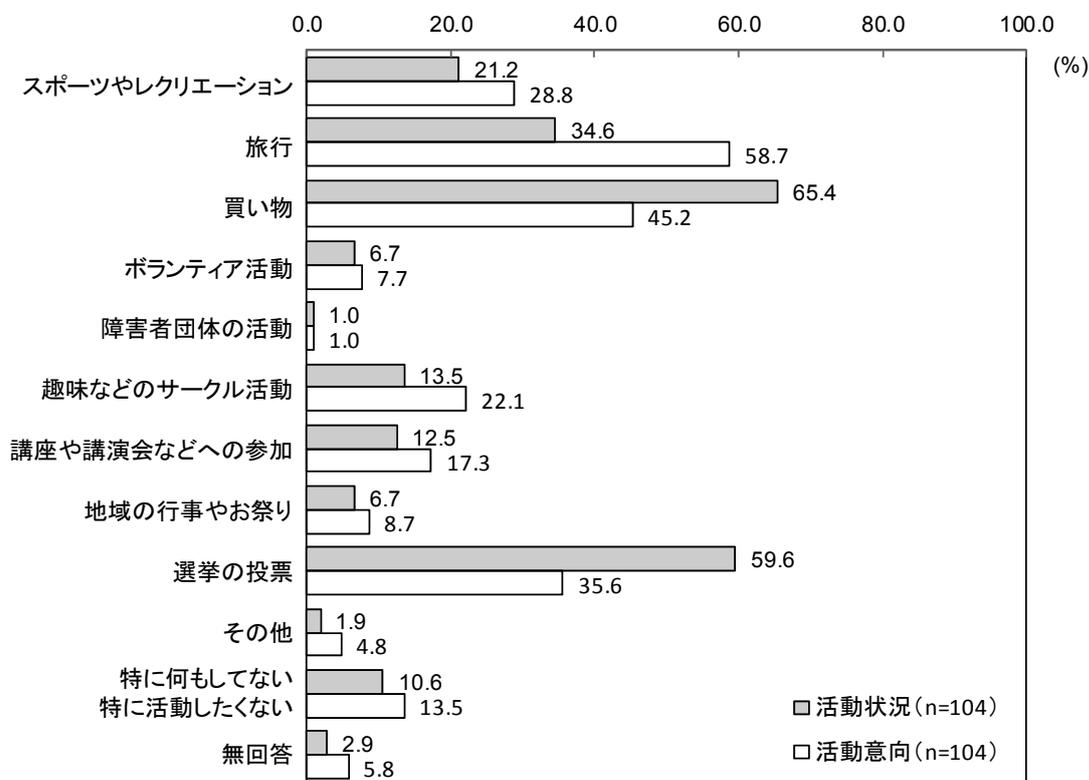
外出の際に困っていることとしては、「歩道が狭く、道路に段差が多い」との回答が 23.1%で最も高い。次いで、「建物などに段差が多く、歩きにくい」(16.3%)、「電車やバスなどの交通機関が利用しづらい」(13.5%)、「道路に放置自転車等の障害物が多く、歩きにくい」(12.5%) となっており、ハード面での困りごとが上位になっている。



問 17 あなたは、この1年くらいの中に、次のような活動をしましたか。(○はいくつでも)：活動状況  
 問 21 これからどのような活動をしたいと思いますか。(○はいくつでも)：活動意向

活動状況と活動意向を比べると、「旅行」は実際の活動状況が 34.6%、活動意向は 58.7%となっており、意向が約 24 ポイント高い。

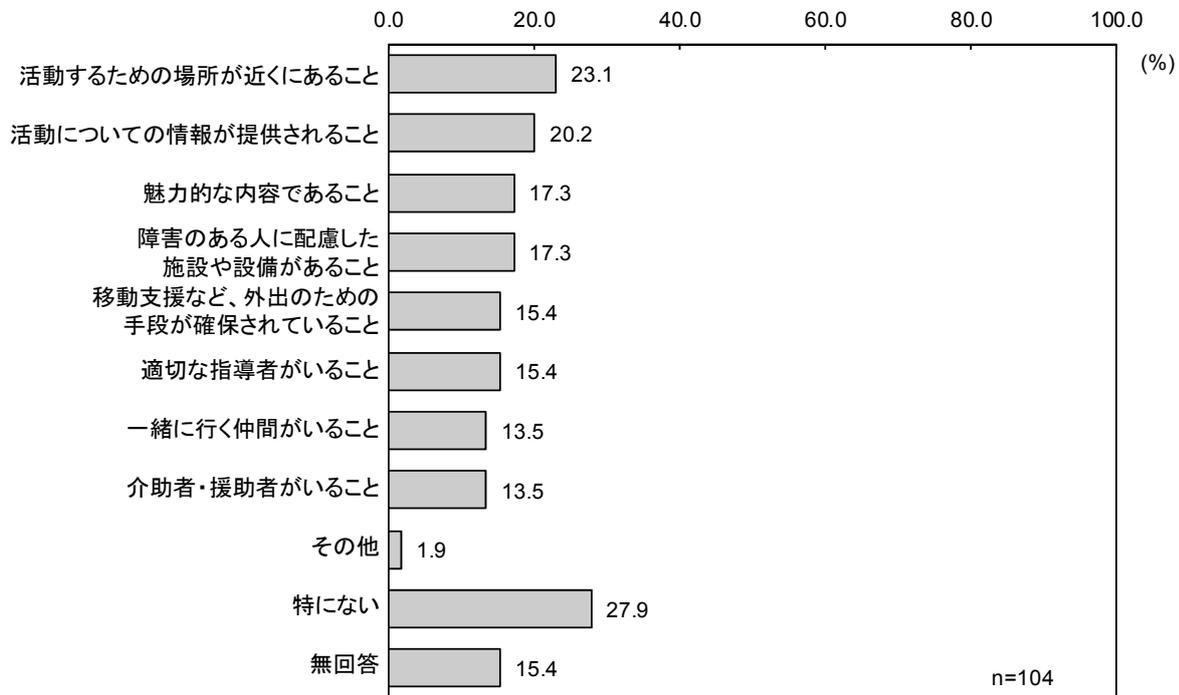
実際の活動状況では、「買い物」(65.4%)、「選挙の投票」(59.6%)が高く、活動意向では、「旅行」(58.7%)、「買い物」(45.2%)が高い。



< II 4 難病患者調査 >

問 22 問 21 のような活動をするために、どのような支援が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

活動のために必要な支援として、「活動するための場所が近くにあること」が 23.1%で最も高く、次いで、「活動についての情報が提供されること」(20.2%)、「魅力的な内容であること」、「障害のある人に配慮した施設や設備があること」(ともに 17.3%)が続いている。



問 18 選挙の投票の際、困ったことや改善してほしいことはありましたか。(自由記述)

<回答対象者：問 17 で「選挙の投票」と回答した人>

選挙の投票の際、困ったことや改善してほしいこととして、以下の記述があった。

- ・ 投票所が遠い。行けない事はないが非常に疲れます。(女性・65歳)
- ・ 介護者がいなくて行けない。(女性・82歳)
- ・ 投票できる場所をもっと増やしてほしい。(男性・64歳)

問 19 スポーツ活動をした方は、どのようなスポーツ活動をしましたか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

<回答対象者：問 17 で「スポーツやレクリエーション」と回答した人>

スポーツ活動の内容は、以下の通りである。

(%)

n=	卓球	バスケットボール	ポッチャ	ダンス	ボウリング	パドミントン	水泳	その他	無回答
22	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	13.6	77.3	4.5

「その他」(77.3%)として、16人から以下のような具体的な記述があった。

(件)

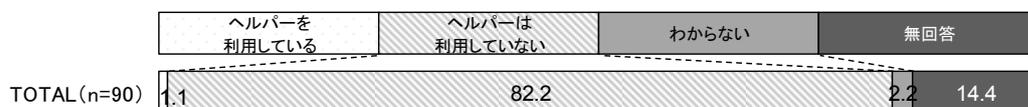
太極拳、気功、 ヨガ、ピラティス	ウォーキング、 散歩	体操、ストレッチ	登山、ハイキング	ゴルフ	その他
5	3	3	2	1	3

問 20 活動のために外出する際に「同行援護」「行動援護」「移動支援」等のヘルパーを利用していますか。(○は1つ)

<回答対象者：問 17 で何らかの活動をしている人>

活動のためのヘルパー利用状況は、「ヘルパーを利用している」が 1.1%、「ヘルパーは利用していない」は 82.2%である。

(%)



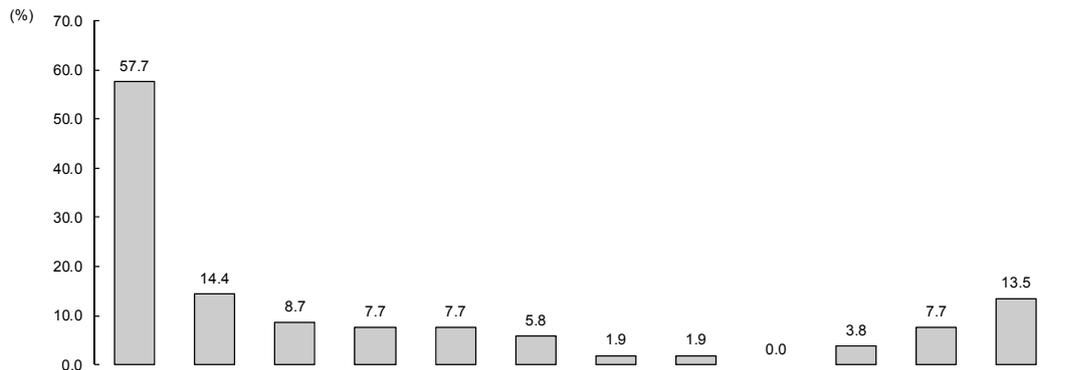
**(5) 将来の希望**

問 53 あなたは、今後、どのように日中を過ごしたいと思いますか。(○はいくつでも)

今後、希望する日中の過ごし方は、「自宅でのんびり過ごしたい」が 57.7%で最も高く、次いで「一般企業などで働きたい」が 14.4%で続いている。

平日の日中の過ごし方別にみると、自宅にすることが多い人のうち、「医療機関で、機能訓練、看護、介護、日常生活の世話を受けながら過ごしたい」人が 9.1%、「一般企業などで働きたい」、「自立した日常生活ができるよう、一定期間、身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を受けたい」、「創作活動や社会との交流などを行ったりするところで過ごしたい」人がそれぞれ 6.8%である。

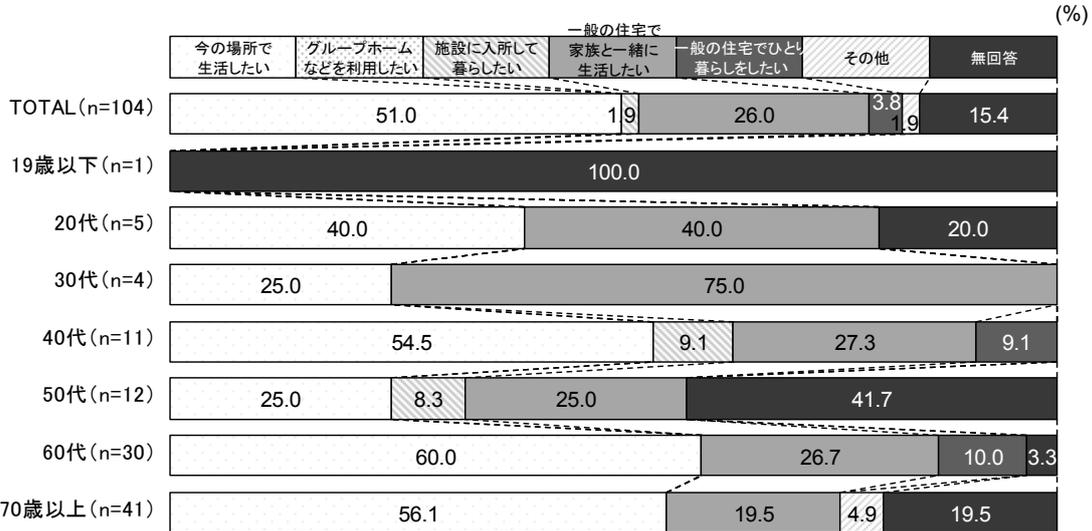
<平日の日中の過ごし方別・今後、希望する過ごし方>



	n=	自宅でのんびり過ごしたい	一般企業などで働きたい	医療機関で、機能訓練、看護、介護、日常生活の世話を受けながら過ごしたい	自立した日常生活ができるよう、一定期間、身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を受けたい	創作活動や社会との交流などを行ったりするところで過ごしたい	学校に通いたい	一般企業等での就労は難しいと思うが働きたいと思うので、施設内で就労したり、生産活動をしながら過ごしたい	施設で、入浴、排せつ、食事の介護を受けながら、創作的活動などを行いたい	施設や企業で作業や実習などを行い、職場探しや職場定着のための支援を受けたい	その他	わからない	無回答
TOTAL	104	57.7	14.4	8.7	7.7	7.7	5.8	1.9	1.9	0.0	3.8	7.7	13.5
幼稚園や保育園、学校などに通っている	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
福祉施設、作業所などに通っている	2	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
病院などのデイケアに通っている	10	70.0	0.0	0.0	20.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
リハビリテーションを受けている	3	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
働いている	26	38.5	38.5	3.8	0.0	7.7	3.8	0.0	3.8	0.0	7.7	15.4	11.5
入所・入院している施設や病院などで過ごしている	6	66.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
自宅にすることが多い	44	70.5	6.8	9.1	6.8	6.8	4.5	2.3	0.0	0.0	2.3	6.8	11.4
その他	10	30.0	0.0	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	30.0
無回答	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 54 あなたは、将来、どこで生活したいと思いますか。(○は1つ)

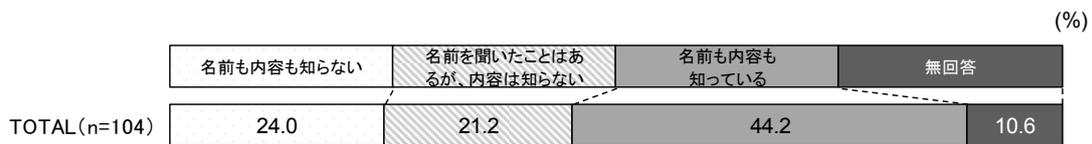
将来、生活したいところは、「今の場所で生活したい」が 51.0%、「施設に入所して暮らしたい」が 1.9%、「一般の住宅で家族といっしょに生活したい」が 26.0%、「一般の住宅でひとり暮らしをしたい」が 3.8%である。



※0.0 は非表示

問 55 成年後見制度とは、知的障害や精神障害などの理由により、判断能力が十分でない方の財産などの権利を守る制度です。あなたは、成年後見制度について知っていますか。(○は1つ)

成年後見制度について、「名前も内容も知っている」人は 44.2%、「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」人は 21.2%である。24.0%の人が「名前も内容も知らない」と回答している。

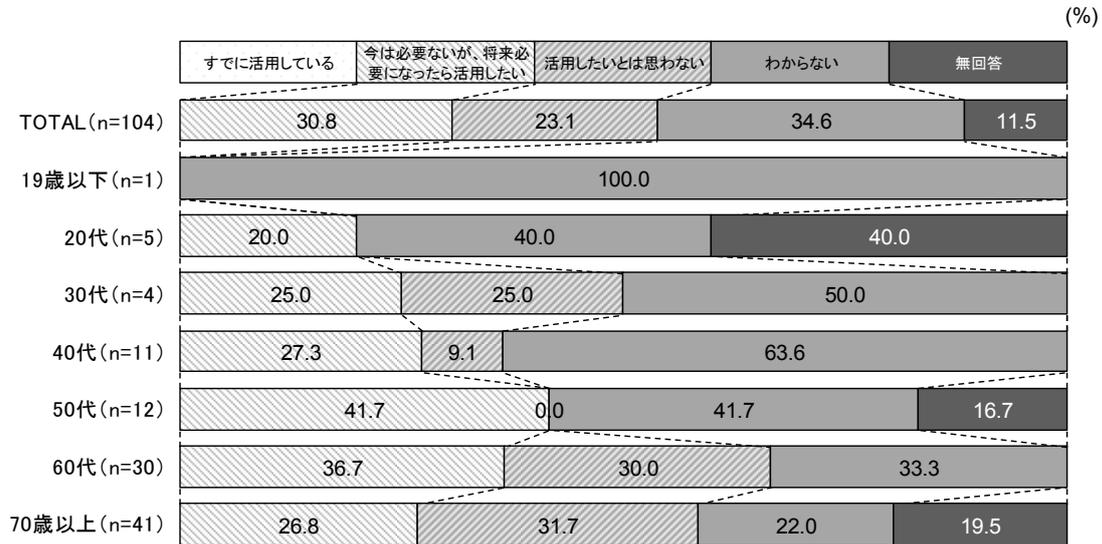


< II 4 難病患者調査 >

問 56 あなたは、成年後見制度を活用したいと思いますか。(○は1つ)

成年後見制度について、「今は必要ないが、将来必要になったら活用したい」と考える人は30.8%である。

年代別にみると、60代以上では、「活用したいと思わない」人が3割で、他の年代に比べ高い。

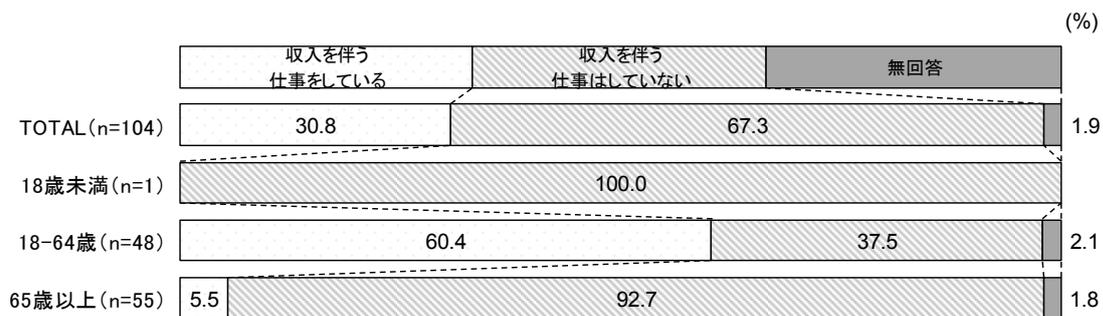


※0.0 は非表示

**(6) 雇用・就労について**

問 24 現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。(○は1つ)

収入を伴う仕事している人の割合は、18-64歳で60.4%、65歳以上で5.5%である。



※0.0 は非表示

<問 25～問 28 回答対象者：収入を伴う仕事をしている人>

問 25 どなたかの支援を受けて現在の仕事に就きましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

就労の際の支援については、81.3%の人が「支援は受けなかった」と回答しているが、支援としてあげられた項目としては、「ハローワーク」が12.5%と最も高くなっている。

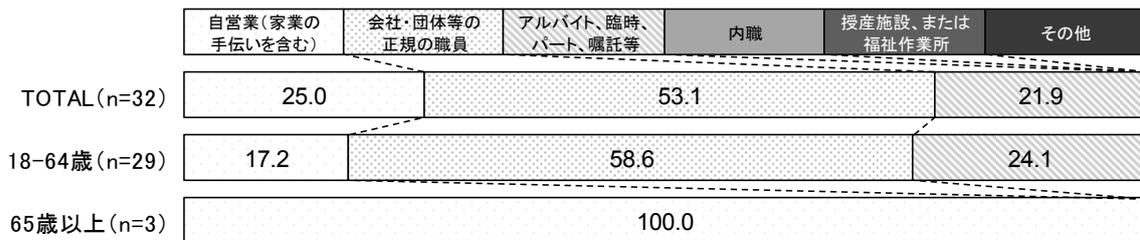
(%)

n=	ハローワーク	障害者就労支援センター(一歩)	就労移行支援事業所(さくらの園)	学校	家族	友人・知人	その他	支援は受けなかった	無回答
32	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	3.1	81.3	3.1

問 26 仕事の形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

就労形態は、「自営業(家業の手伝いを含む)」が25.0%、「会社・団体等の正規の職員」が53.1%、「アルバイト、臨時、パート、嘱託等」が21.9%である。

(%)



※0.0 は非表示

問 27 あなたご自身の1ヶ月当たりの平均的な給与・賃金・工賃はいくらですか。

1ヶ月当たりの平均的な給与・賃金・工賃は、平均199,131円である。

就労形態別にみると、1ヶ月当たりの平均的な給与・賃金・工賃は、「自営業(家業の手伝いを含む)」163,333円、「会社・団体等の正規職員」271,669円、「アルバイト、臨時、パート、嘱託等」68,000円となっている。

(%)

n=	10,000円未満	50,000円未満	100,000円未満	150,000円未満	200,000円未満	
TOTAL	32	3.1	9.4	9.4	12.5	6.3
自営業(家業の手伝いを含む)	8	0.0	12.5	0.0	25.0	12.5
会社・団体等の正規の職員	17	5.9	0.0	5.9	5.9	5.9
アルバイト、臨時、パート、嘱託等	7	0.0	28.6	28.6	14.3	0.0

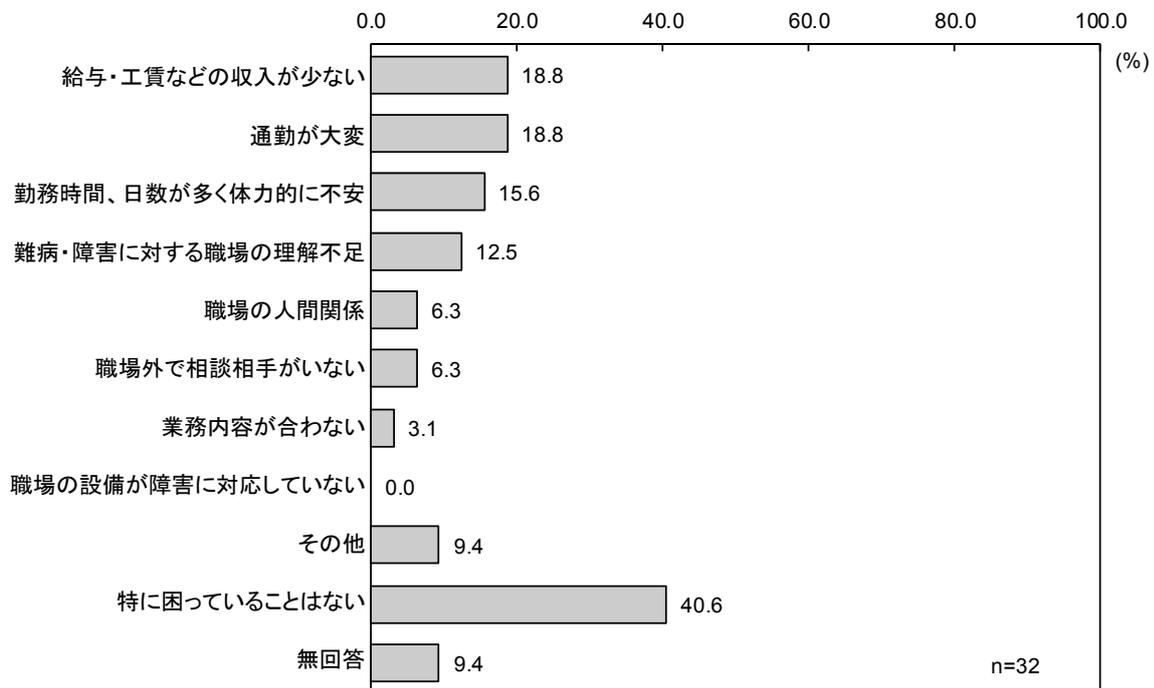
  

	300,000円未満	500,000円未満	500,000円以上	不明	平均(円)
TOTAL	9.4	15.6	6.3	28.1	199,131
自営業(家業の手伝いを含む)	12.5	12.5	0.0	25.0	163,333
会社・団体等の正規の職員	11.8	23.5	11.8	29.4	271,669
アルバイト、臨時、パート、嘱託等	0.0	0.0	0.0	28.6	68,000

< II 4 難病患者調査 >

問 28 仕事をする上で困っていることは何ですか。(○はいくつでも)

仕事をする上で困っていることとして、「給与・工賃などの収入が少ない」、「通勤が大変」との回答がそれぞれ 18.8%で最も高い。次いで、「勤務時間、日数が多く体力的に不安」(15.6%)が続く。

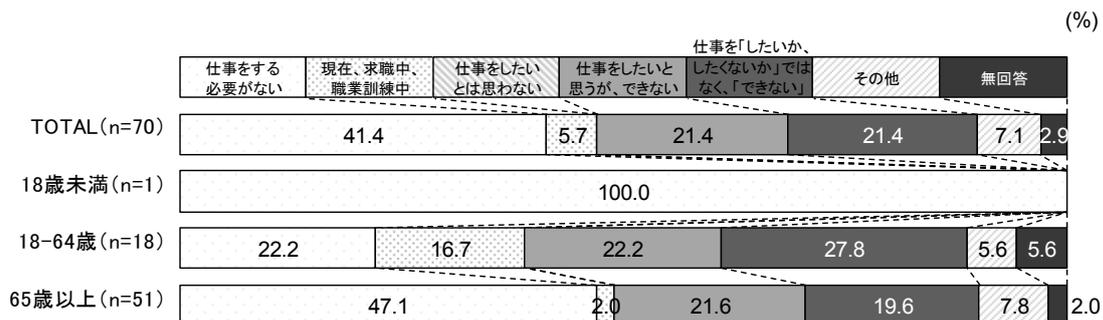


問 29 仕事をしていない主な理由は何ですか。(○は1つ)

<回答対象者：収入を伴う仕事をしていない人>

仕事をしていない主な理由として、「仕事をする必要がない」が 41.4%で最も高い。

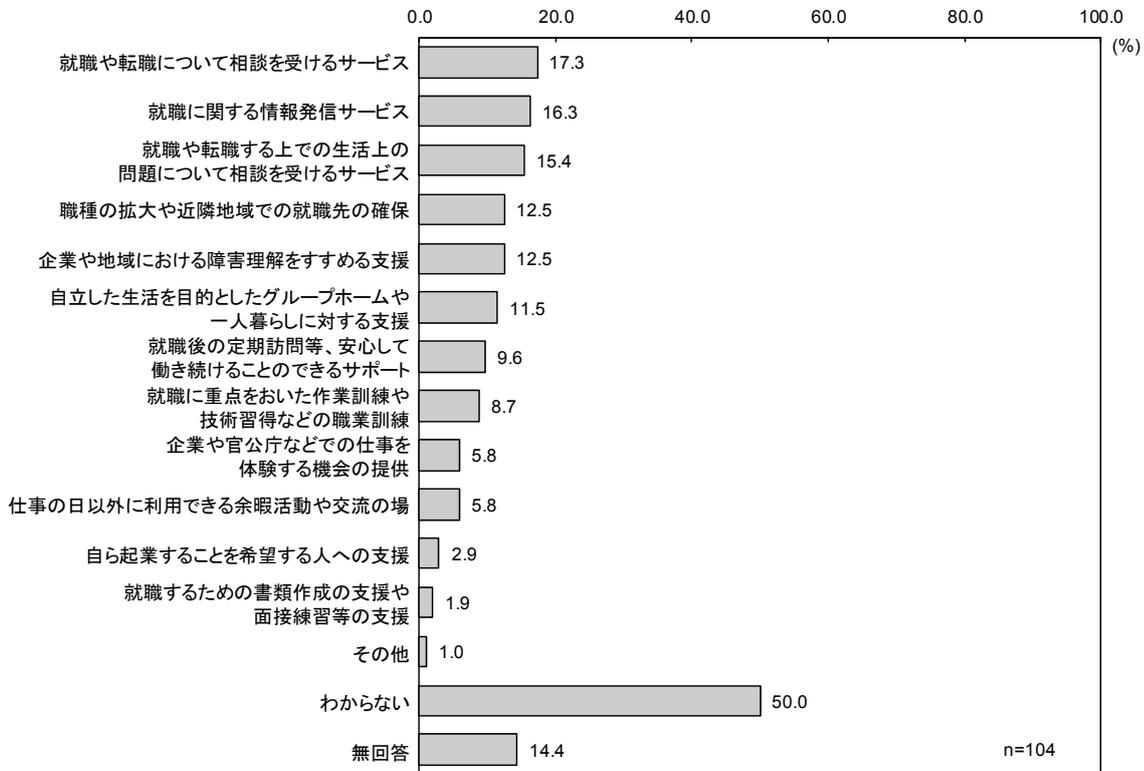
18-64 歳の 27.8%が「仕事が「したいか、したくないか」ではなく、「できない」と回答している。



※0.0 は非表示

問 30 あなたは、障害のある方の雇用を促進するために、市内で不足していると思われるサービスや取組みは何だと思えますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

障害のある人の雇用促進のために、不足していると思われるサービスや取組みは、「就職や転職について相談を受けるサービス」が 17.3%で最も高く、次いで、「就職に関する情報発信サービス」が 16.3%、「就職や転職する上での生活上の問題について相談を受けるサービス」が 15.4%で続く。

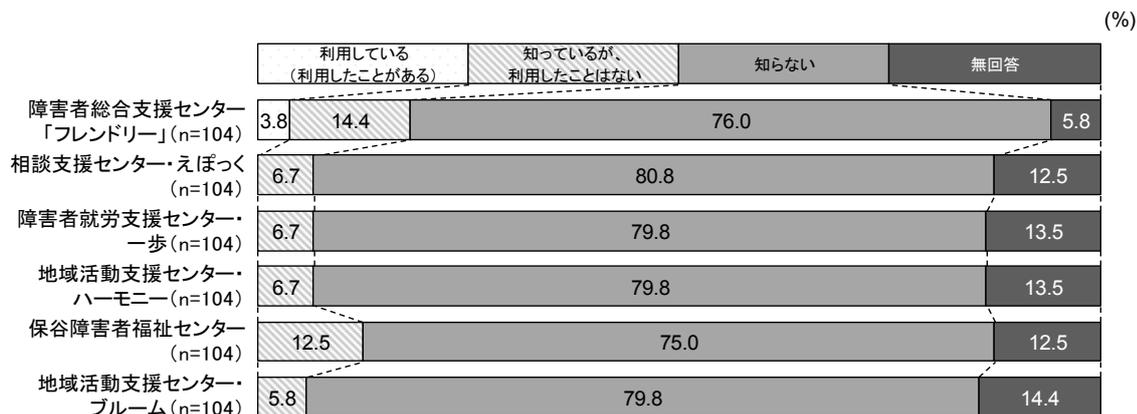


**(7) 障害者施設・施策について**

問 31 あなたは、西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。(○は1つ)

問 32 あなたは、西東京市にある次の施設を利用したことがありますか。また、知っていますか。

市内施設を利用したことがある人は、障害者総合支援センター「フレンドリー」が 3.8%である。知っているが利用したことはない施設として、障害者総合支援センター「フレンドリー」が 14.4%、相談支援センター・えぼっく、障害者就労支援センター・一歩、地域活動支援センター・ハーモニーがそれぞれ 6.7%、保谷障害者福祉センターが 12.5%、地域活動支援センター・ブルームが 5.8%である。



※0.0 は非表示

問 33 あなたは、次の講座や事業等を知っていますか。(○はいくつでも)

市開催の講座や事業等の認知状況は、以下の通りである。

(%)

n=	サポーター 養成講座	ヘルプカード	スポーツ 支援事業	障害者 水泳教室	講座や事業等 は知らない	無回答
104	9.6	26.0	5.8	3.8	54.8	12.5

**(8) 相談や情報入手方法**

問 34 あなたは、悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親せき以外に、どのようなところに相談していますか。(〇はいくつでも)

家族や親せき以外の相談先としては、「知人・友人」をあげる人が 27.9%と最も高く、次いで「病院・診療所」(26.0%)、「市役所の福祉相談窓口」(16.3%)と続いている。一方で、23.1%が「相談できるところは特にない」と回答している。

(%)

n=	友人・知人	病院・診療所	市役所の福祉相談窓口	福祉施設や作業所の職員	社会福祉協議会の職員	幼稚園・保育園・学校の先生や職場の仲間	相談支援センター・えぼっく	障害者就労支援センター・一歩	地域活動支援センター・ハーモニー	保谷障害者福祉センター
104	27.9	26.0	16.3	2.9	1.9	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	地域活動支援センター・ブルーム	児童相談所	保健師	民生委員・児童委員	生活保護の担当職員	障害者団体	その他	誰かに相談することはまれである	相談できるところは特にない	無回答
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.8	18.3	23.1	6.7

問 35 相談できるところは特にないと回答した理由は何ですか。(〇はいくつでも)

<回答対象者：「相談できるところは特にない」と回答した人>

半数の人が「どこに相談したらよいかわからないから」と回答している。

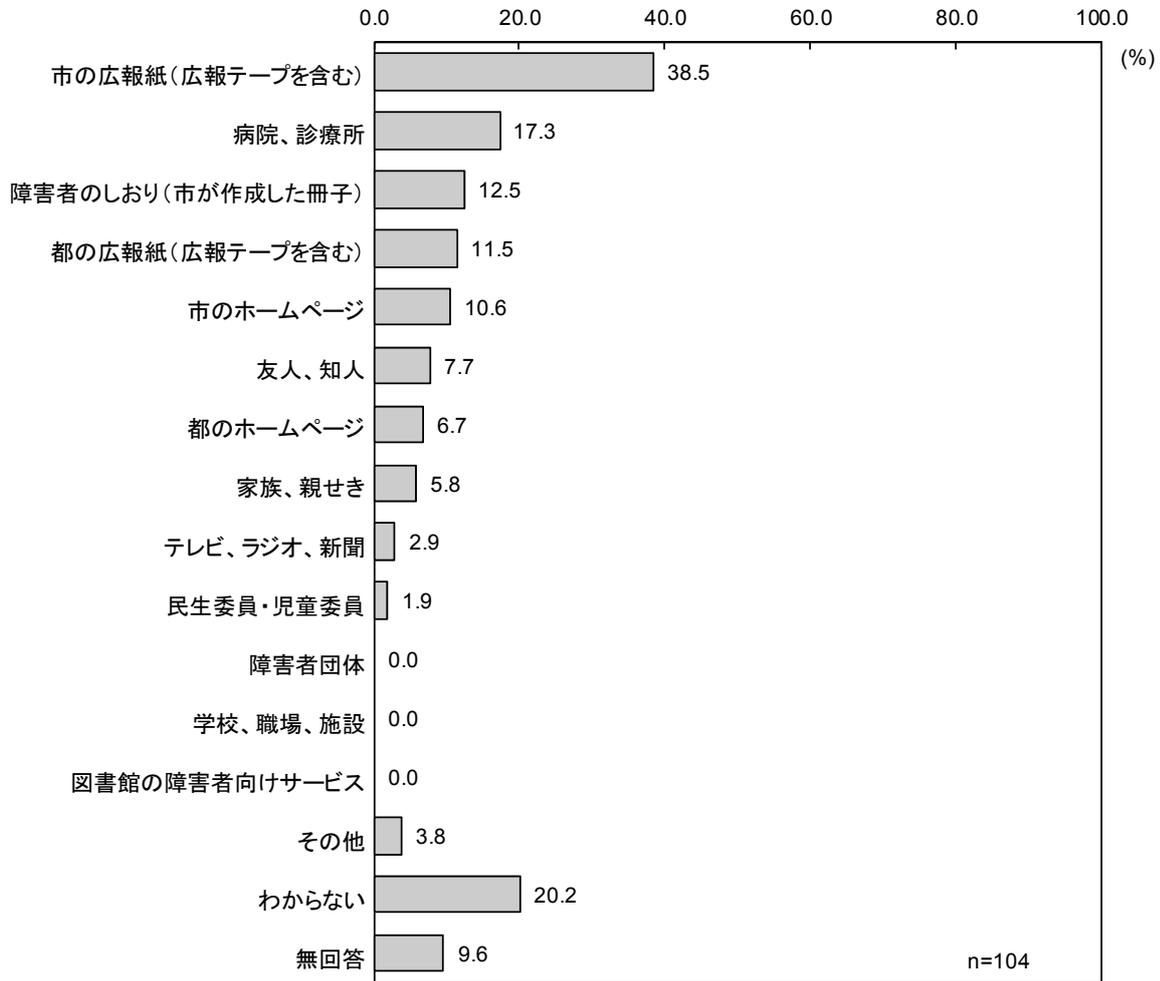
(%)

n=	相談するほどでもない・必要がない	相談したくないから	どこに相談したらよいかわからないから	その他	無回答
24	41.7	12.5	50.0	4.2	4.2

< II 4 難病患者調査 >

問 36 あなたは、障害福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。(〇はいくつでも)

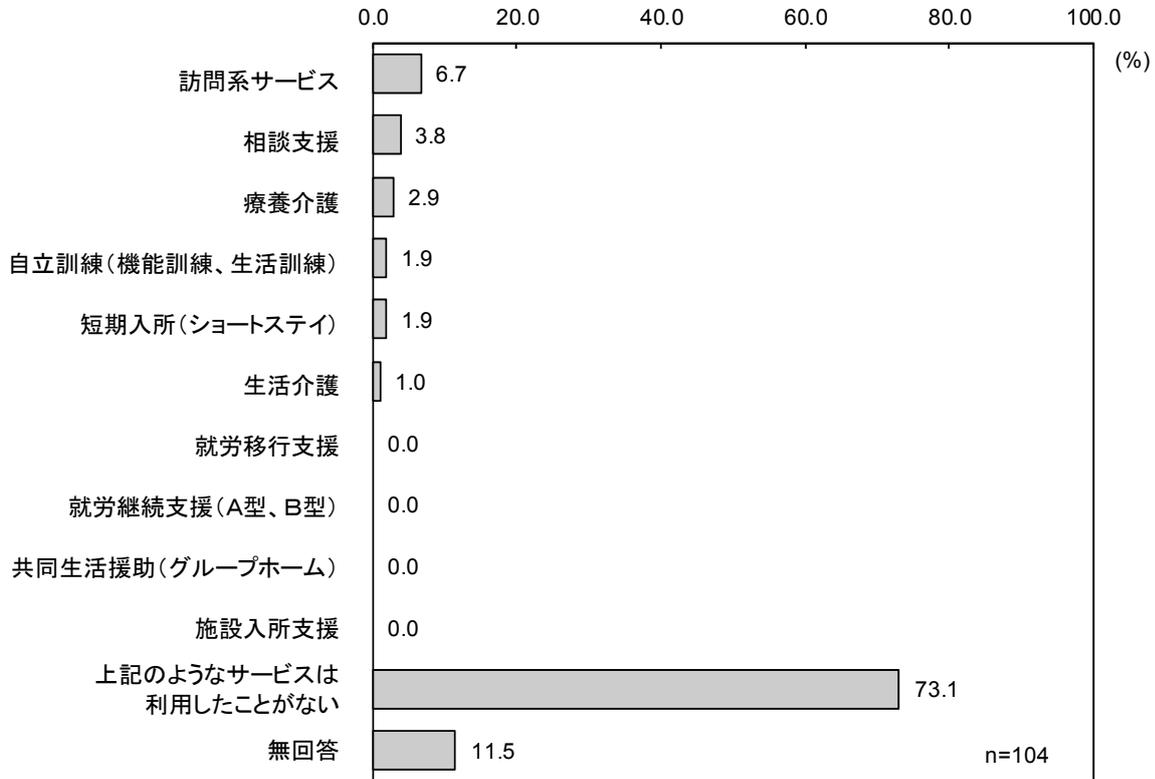
情報の入手先として、「市の広報紙（広報テープを含む）」が 38.5%で最も高く、次いで、「病院・診療所」（17.3%）、「障害者のしおり（市が作成した冊子）」（12.5%）と続いている。情報入手先が「わからない」と回答した人は 20.2%である。



**(9) 福祉サービス認知・利用状況**

問 37 あなたは、次のような障害福祉サービスを、過去 1 年の間に利用したことがありますか。利用したことがあるサービスに○をつけてください。(○はいくつでも)

以下の障害福祉サービスのうち、過去 1 年間での利用経験が最も高いのは、「訪問系サービス」で 6.7% である。次いで、「相談支援」(3.8%)、「療養介護」(2.9%)が続く。「サービスは利用したことがない」人は 73.1% である。



問 38 サービスに対する、感想やご意見があれば自由にご記入ください。(自由記述)

※サービス名、利用の際に困っていること、サービス利用で改善してほしい点など。

<回答対象者：何らかの障害福祉サービス利用経験者>

サービスに対する、感想や意見を自由回答形式でたずねたところ、以下のような記述があった。

サービスに対する、感想やご意見 (性別・年齢・利用したことがあるサービス)

- ・ 福祉用具の資料配布 (男性・69 歳・サービス利用なし)
- ・ 訪問系サービス・療養介護サービスを受けておりますが、大変助かり安心しております。訪問系サービスでは週に 2 日、各 1 時間サービスを受けていますが、1 時間では少ない気がします。(男性・80 歳・訪問系サービス、療養介護)

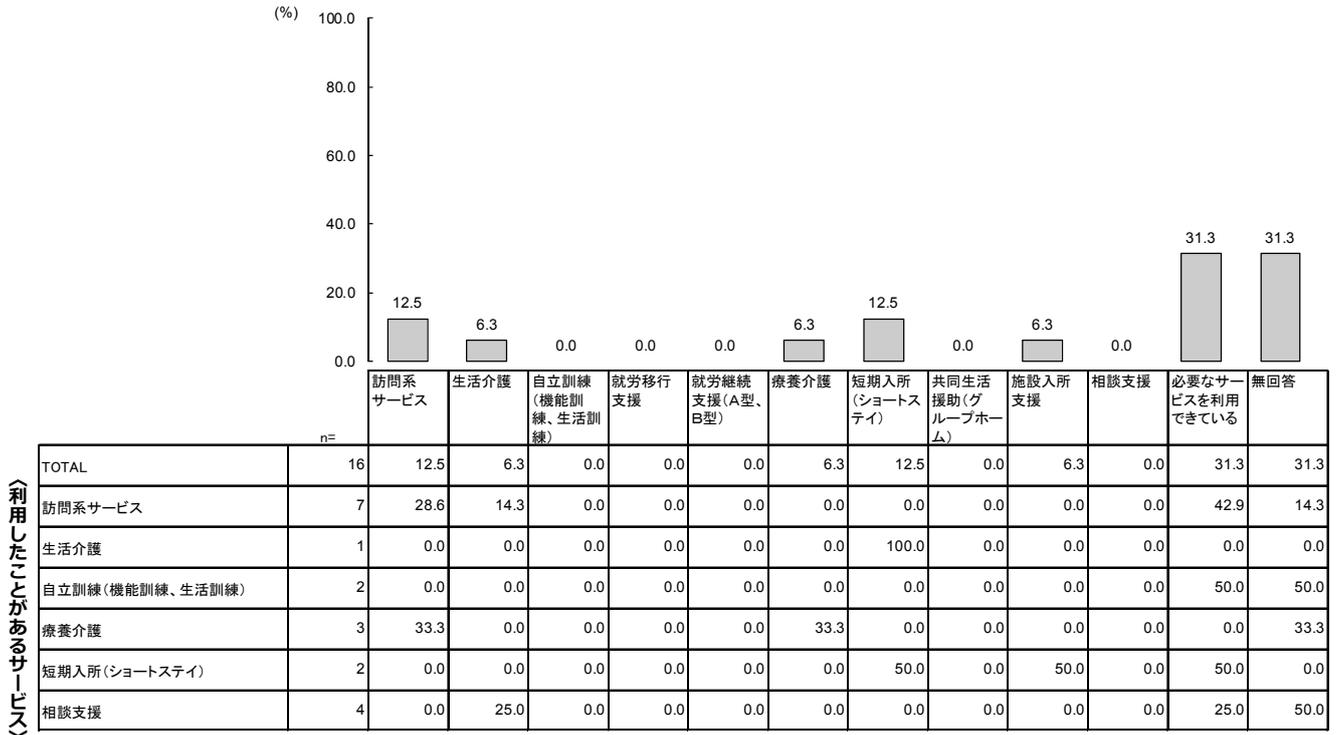
< II 4 難病患者調査 >

問 39 あなたが、「十分利用できていない」と思う障害福祉サービスはどのサービスですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

<回答対象者：何らかの障害福祉サービス利用経験者>

サービス利用経験者の31.3%が「必要なサービスを利用できている」と回答しているが、「十分利用できていない」と思うサービスでは、「訪問系サービス」、「短期入所（ショートステイ）」をあげる人がそれぞれ12.5%いる。

<利用したことがあるサービス別・十分利用できていないサービス>

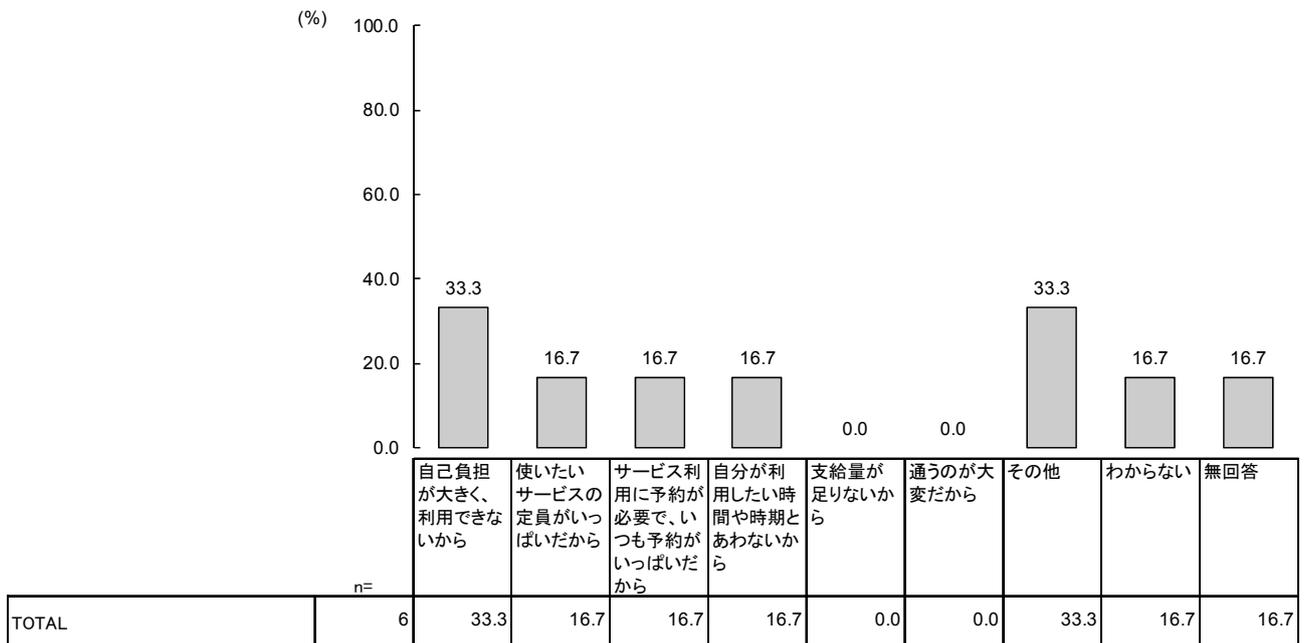


問 40 必要だと思うサービスを、十分、利用できていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

<回答対象者：障害福祉サービスを十分利用できていないと感じている人>

利用サービスを「十分利用できていない」と感じている人に、理由をたずねたところ、「自己負担が大きく、利用できないから」が33.3%で最も高く、次いで、「使いたいサービスの定員がいっぱいだから」、「サービス利用に予約が必要で、いつも予約がいっぱいだから」、「自分が利用したい時間や時期とあわないから」がそれぞれ16.7%で続く。「その他」として、「ふだん使用しているベッドがない為」、「隔日の透析通院のためと家事にこれ以上のことを加えることは許容量を越えてしまいますから。」などの記述があった。

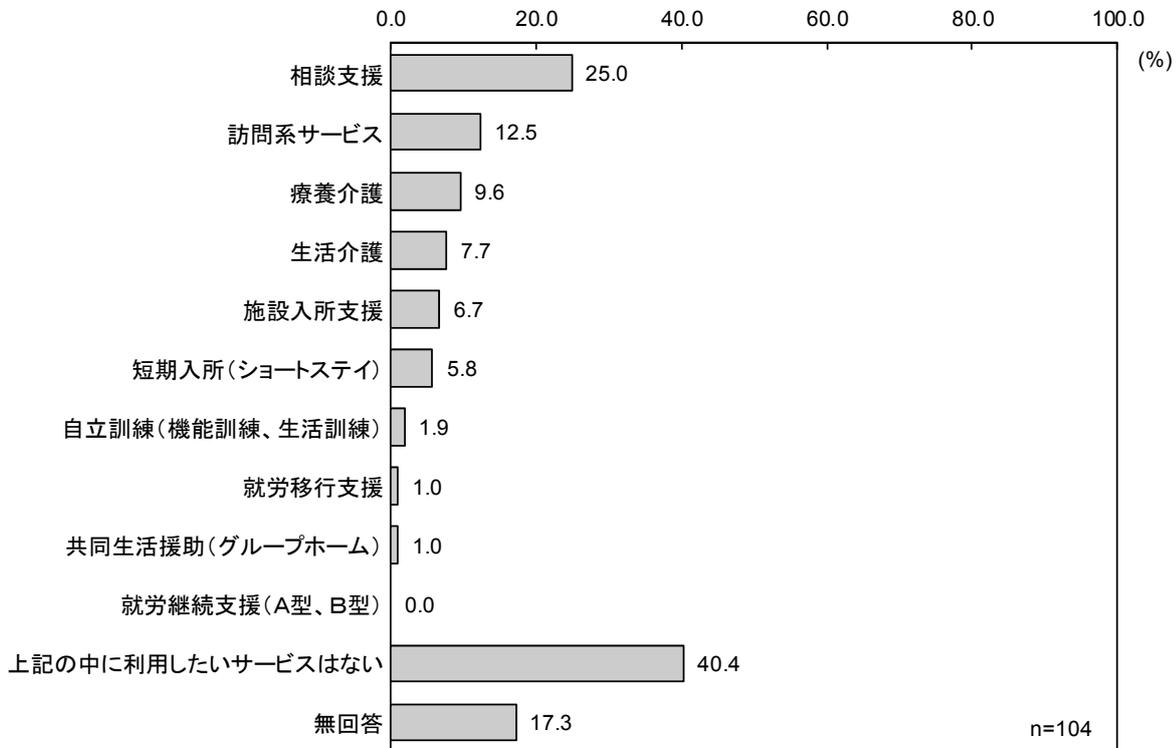
※サンプル数が少ないため参考値とされたい。



< II 4 難病患者調査 >

問 41 今後、どのような障害福祉サービスを引き続き、あるいは新たに利用したいと思いますか。(〇はいくつでも)

引き続き、あるいは新たに利用したいサービスは、「相談支援」が 25.0%、「訪問系サービス」が 12.5%、「療養介護」が 9.6%である。



問 42 あなたは、次のような介護保険のサービスを、過去 1 年の間に利用したことがありますか。(〇はいくつでも)

<回答対象者：65 歳以上>

65 歳以上の人に、利用したことがある介護保険のサービスをたずねたところ、27.3%の人が介護保険のサービスを利用したことがあり、通所介護（デイサービス）の利用が最も高い。

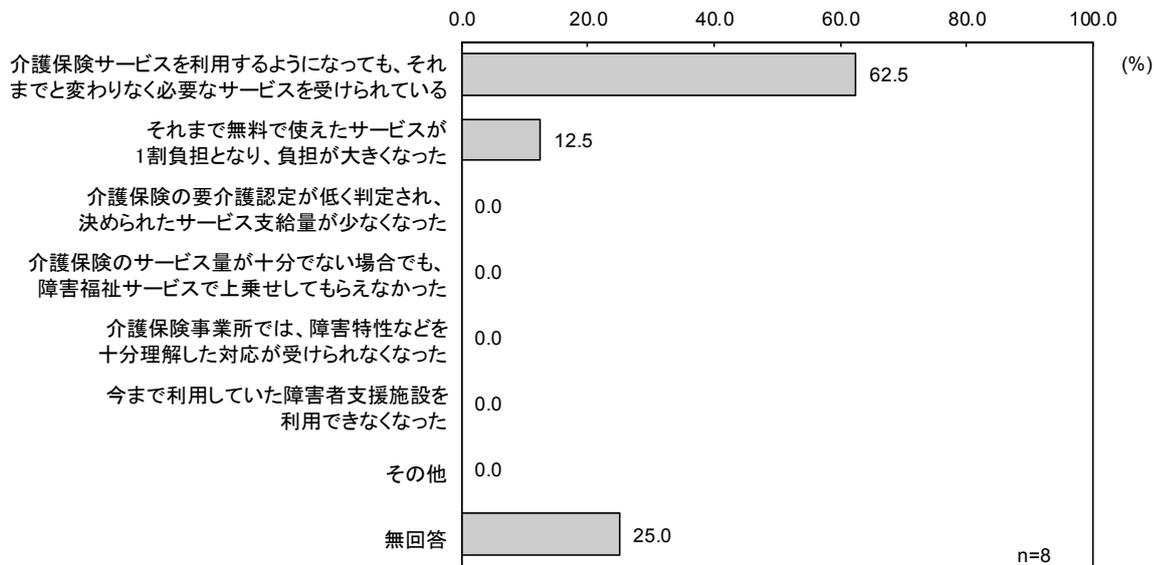
(%)

n=	介護保険のサービスは利用していない	訪問介護 (ホームヘルパー)	通所介護 (デイサービス)	短期入所 (ショートステイ)	その他	無回答
55	41.8	9.1	14.5	5.5	3.6	30.9

問 43 現在、必要なサービス（障害福祉サービス、介護保険サービス）を受けることができますか。（○はいいくつでも）

<回答対象者：障害福祉サービスと介護保険サービス利用経験者>

障害福祉サービスの利用経験があり、介護保険サービスを利用している人に利用状況をたずねたところ、「介護保険サービスを利用するようになって、それまでと変わりなく必要なサービスを受けられている」が 62.5%である。



問 44 障害福祉サービスをより利用しやすくするためには、どのような情報提供や相談先が必要ですか。また、サービスを利用するためにあるとよい支援はどのようなものですか。（自由記述）

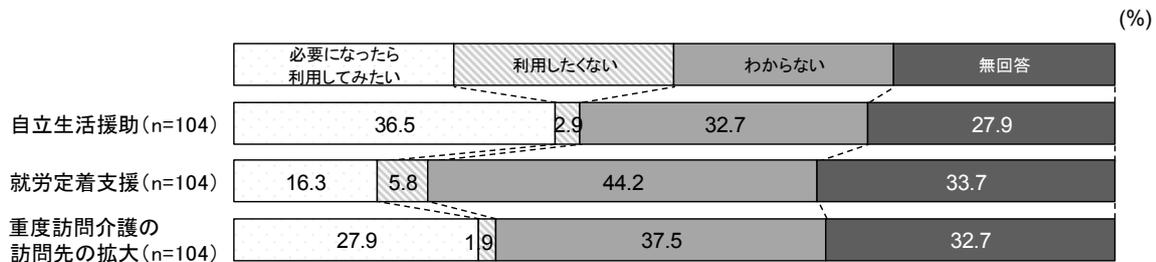
サービスを利用しやすくするために、必要な情報提供や相談先、利用のための支援として、以下のよう記述があった。

- ・ 一般就労している人のための障害福祉サービス（通勤サポートなど）があれば就労をあきらめずにすむ人も多いのでは。生活のために就労・生活動作せざるを得ない状況で、就労すると区分は下がり、病気再発という、負のスパイラルを感じる。区分認定も含め、生活現状、病状をトータル的に判断して実施していくものと思っている。（女性・43歳）
- ・ ヘルプマークをもっと広く周知させて欲しい。（女性・41歳）
- ・ 正確で十分な情報提供が必要であると思います。誰しもネットを利用できるとは限りませんので、紙媒体を複数用意する必要があると思います。（男性・44歳）
- ・ ネット上での案内、メールでの相談（男性・55歳）
- ・ はなバスは民営バスや都バスとほぼ同じルートのため不便に感じます。もっと生活の場で走らせて下さる事も老人・障害者へのサービスの一層拡大と思います。（女性・65歳）
- ・ サービスを利用したり、知っている人は、担当者から、情報などがあるようですが、そうでないと、全く、細かい情報を得ることかできなく差がありすぎる。（女性・59歳）
- ・ スマホ用ホームページの拡充（男性・31歳）
- ・ メールやラインなどで情報をおしえてほしい。（男性・43歳）
- ・ 情報誌をずいじ発行郵送してほしい。（男性・64歳）

< II 4 難病患者調査 >

問 45 障害者総合支援法の改正により、新たに導入される次のようなサービスをあなたは利用してみたいと思いますか。  
 ※平成 30 年 4 月から創設される予定の新しいサービスです。サービスの詳細は変更する可能性もあります。

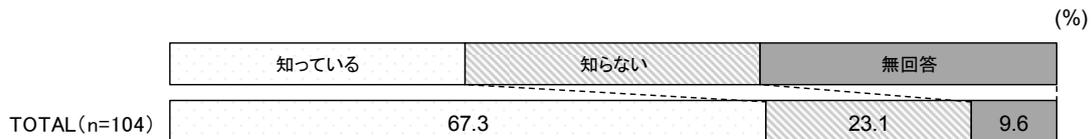
平成 30 年 4 月から導入予定のサービスの利用意向について、「必要になったら利用してみたい」と考えるサービスは、「自立生活援助」が 36.5%、「就労定着支援」が 16.3%、「重度訪問介護の訪問先の拡大」が 27.9%である。



**(10) 災害対策について**

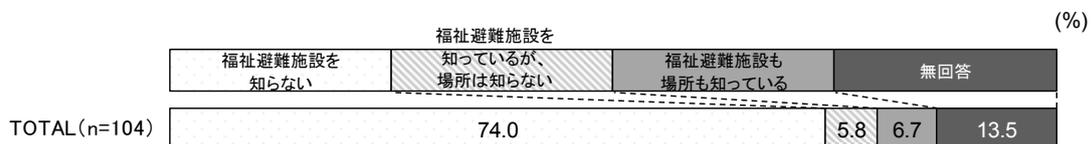
問 46 あなたは、お住まいの地域の避難所を知っていますか。(○は1つ)

地域の避難場所を「知っている」人は 67.3%である。



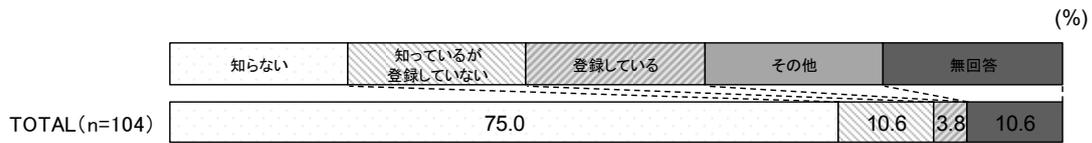
問 47 福祉避難施設とは、自宅や避難施設で生活している高齢者や障害者の方等に対し、状況に応じて介護等の必要なサービスを提供する社会福祉施設等のことです。西東京市には障害者総合支援センター「フレンドリー」をはじめ、約 30 ヶ所の福祉避難施設があります。あなたは、西東京市にある福祉避難施設を知っていますか。(○は1つ)

福祉避難施設については、74.0%が「知らない」と回答している。「福祉避難施設も場所も知っている」人は 6.7%である。



問 48 あなたは、災害時要援護者登録を知っていますか。(○は1つ)

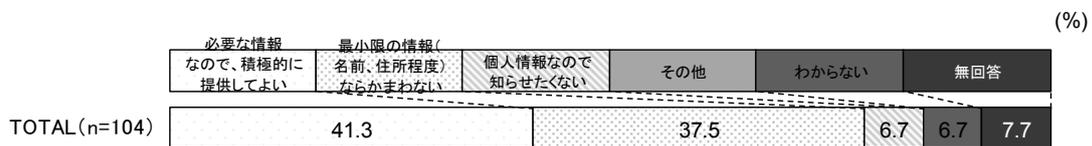
災害時要援護者登録については、75.0%が「知らない」と回答している。「登録している」人は3.8%である。



※0.0 は非表示

問 49 災害時に行政や地域などから支援を受けるため、あらかじめ個人情報（名前、住所、世帯の状況、障害の状況、緊急連絡先等）を市に提供することについて、どう思いますか。(○は1つ)

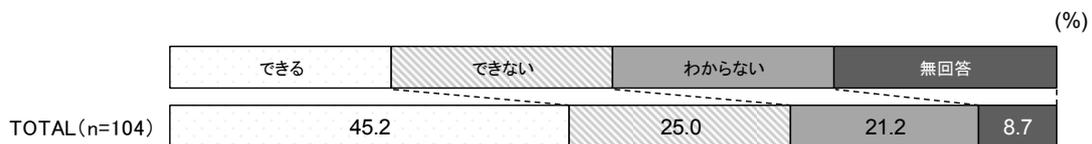
災害時の支援を受けるために個人情報を提供することについては、「必要な情報なので、積極的に提供してよい」が41.3%、「最小限の（名前、住所程度）ならかまわない」が37.5%である。



※0.0 は非表示

問 50 あなたは、地震や台風などの災害時にひとりで避難できますか。(○は1つ)

災害時にひとりで避難が「できる」人は45.2%、「できない」人は25.0%である。



問 51 地震や台風などの災害が起こった際の不安は何ですか。(○はいくつでも)

地震や台風などの災害が起こった際の不安としては、「避難先での不安」が58.7%で最も高く、次いで、「災害の状況が伝わってこない場合の不安」(52.9%)、「避難する際の不安」(48.1%)が続く。「その他」(11.5%)として、「薬など、もたずに、避難してしまったり、状態が悪くなったときの対応」、「薬の確保（日常服用している）」、「避難先での体調維持に関する不安」、「透析」などの記述があった。

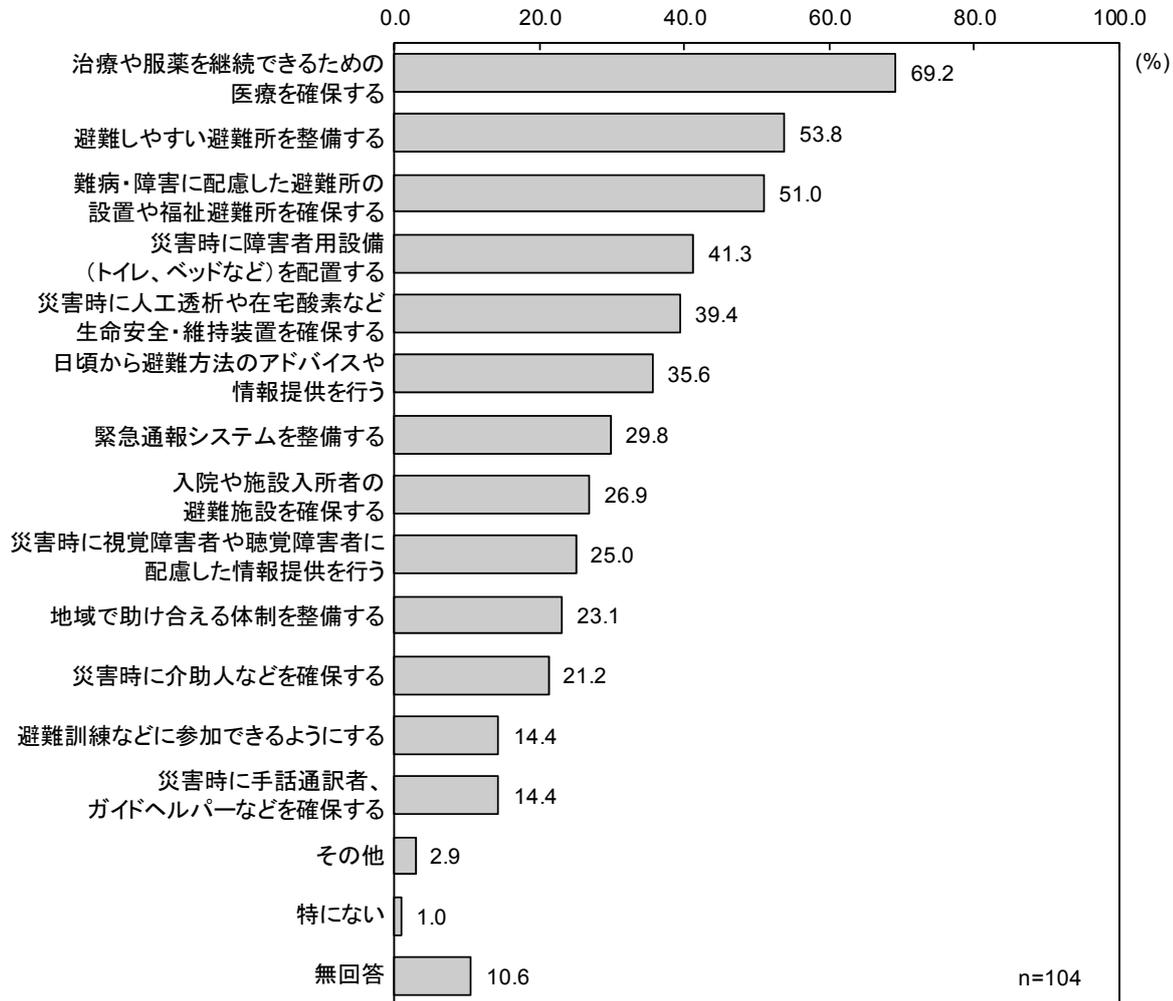
(%)

n=	災害の状況 が伝わって こない場合 の不安	避難する際 の不安	避難先での 不安	その他	特にない	わからない	無回答
104	52.9	48.1	58.7	11.5	4.8	3.8	9.6

< II 4 難病患者調査 >

問 52 災害に備えて、または災害時に、どのような対策が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

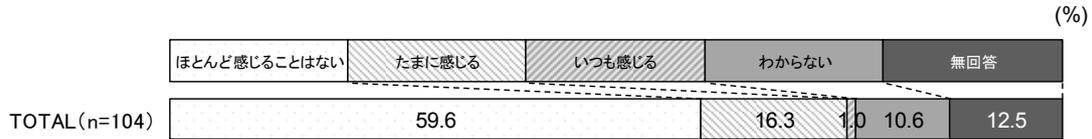
必要な災害対策としては、「治療や服薬を継続できるための医療を確保する」ことをあげる人が69.2%で最も高い。次いで、「避難しやすい避難所を整備する」が53.8%、「難病・障害に配慮した避難所の整備や福祉避難所を確保する」が51.0%が続いている。



**(11) 障害・障害者への理解**

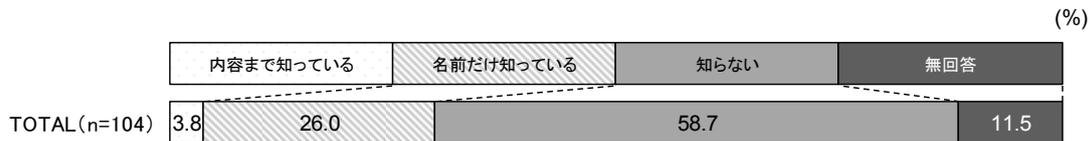
問 57 障害があることで、差別や人権侵害、虐待を受けていると感じることがありますか。(○は1つ)

差別や人権侵害、虐待については、59.6%の人は「ほとんど感じることはない」が、1.0%は「いつも感じる」、16.3%は「たまに感じる」と回答している。



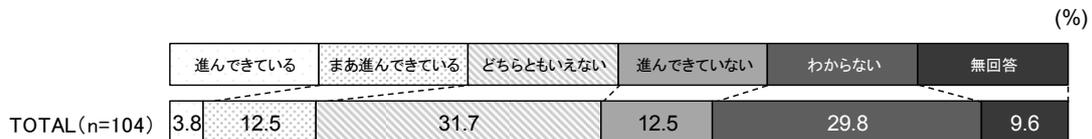
問 58 障害のある方々への差別をなくすことを目的として、平成 28 年 4 月 1 日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、このことを知っていますか。(○は1つ)

障害者差別解消法について、「内容まで知っている」人は 3.8%、「知らない」人は 58.7%である。



問 59 障害や障害のある人に対する市民の理解は進んできていると思いますか。(○は1つ)

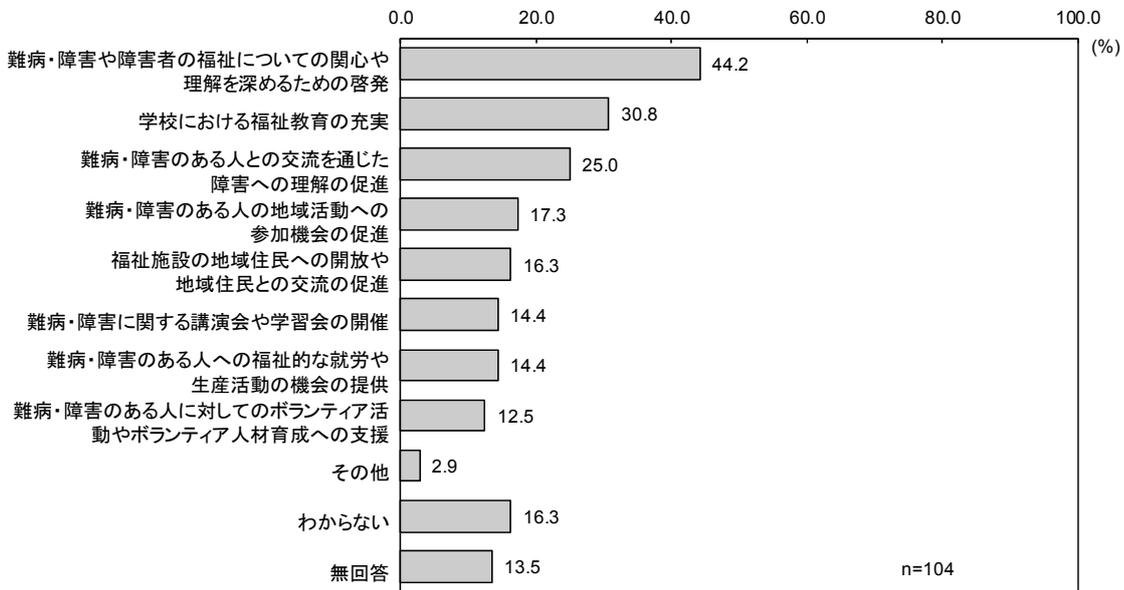
障害や障害のある人に対する市民の理解が「進んできている」と考えている人は 3.8%、「まあ進んできている」(12.5%) をあわせると、16.3%の人は市民の理解が進んできていると感じている。



< II 4 難病患者調査 >

問 60 難病・障害や障害のある市民への理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

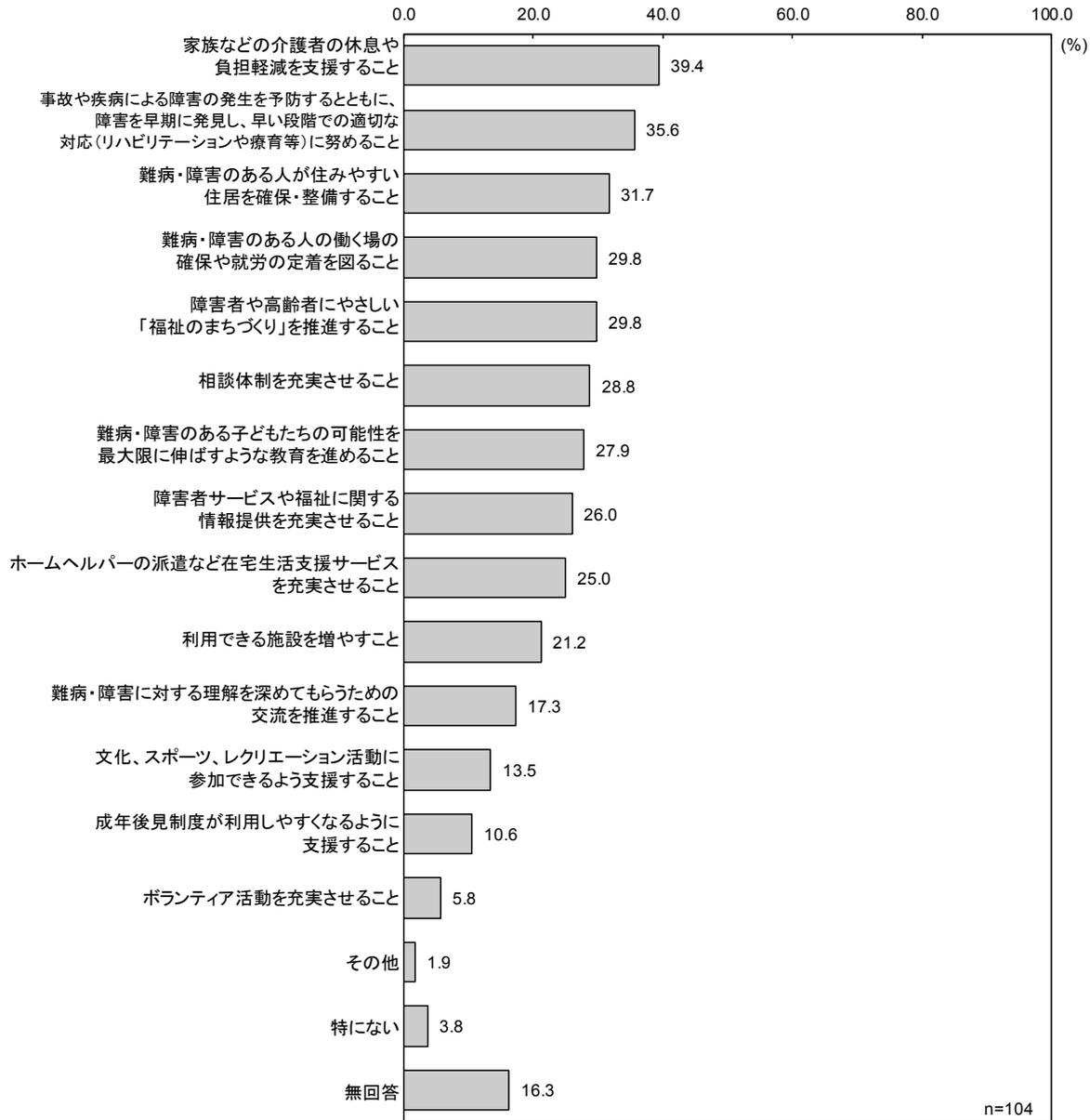
難病・障害や障害のある人への理解に必要なこととして、「難病・障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための啓発」が 44.2%で最も高く、次いで、「学校における福祉教育の充実」(30.8%)、「難病・障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進」(25.0%)が続いている。



**(12) 障害者施策、市への要望等**

問 61 今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。(〇はいくつでも)

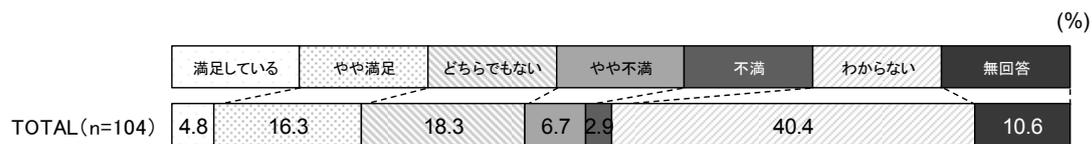
今後、市が充実させていくべき障害者施策としては、「家族などの介護者の休息や負担軽減を支援すること」が 39.4%と最も高く、次いで「事故や疾病による障害の発生を予防するとともに、障害を早期に発見し、早い段階での適切な対応(リハビリテーションや療育等)に努めること」が 35.6%、「難病・障害のある人が住みやすい住居を確保・整備すること」が 31.7%で続いている。



< II 4 難病患者調査 >

問 62 問 61 のような西東京市の障害者施策全般について、総合的に満足していますか。(○は1つ)

西東京市の障害者施策全般について、「満足している」人は4.8%で、「やや満足」(16.3%)とあわせると、21.1%の人は満足していると感じている。



問 63 約5年前(平成24年)と比べて、障害者のサービスはどのように変わったと思いますか。(○は1つ)

5年前(平成24年)と比べて障害者サービスは「変わらない」(50.0%)と感じている人が多いが、「良くなった」が13.5%で「悪くなった」(5.8%)を上回っている。



問 64 そのようにお答えになったのは、どのような理由からですか。(自由記述)

問 63 で選択した回答の理由は以下の通りである。

<良くなった>

- ・ 職員の対応が良くなっている。(男性・82歳)
- ・ 電車、バスの乗り降り等(女性・77歳)
- ・ 当アンケートの設問事項を見るに、障害者施策について細かく考えてくださっているんだなあと感じたので。(女性・48歳)

<変わらない>

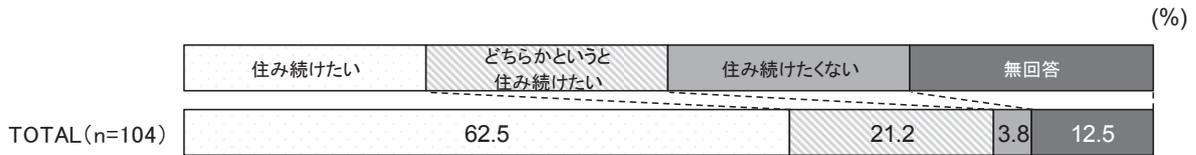
- ・ もしかすると変わっているのかもしれないが、変化が全くみられない。(女性・43歳)
- ・ 町に出る障害者の数はあまり変わらず見かける事が少ない。生活がしやすくなればもっと町に出る機会も増えるはずだと思う。交通の便が悪い事は大きな影響を、与えていると思います。(女性・65歳)
- ・ 5年前から市が障害者施策についてどのようなことを行ってきたか理解していない。(男性・80歳)

<悪くなった>

- ・ 27年1月1日の「難病患者に対する医療等に関する法律」の改正で負担金や審査など複雑になった。福祉に対する(医療)資金不足で仕方がないのかもしれないが、国の政策全体がきびしくなっていると思う。(女性・60歳)
- ・ 難病医療費補助の対象が減少されたためです。(男性・44歳)

問 65 あなたは、今後も西東京市に住みつづけたいと思いますか。(○は1つ)

62.5%の人が今後も西東京市に「住み続けたい」と回答している。



問 66 最後に、この調査を通じて、選択肢や自由記述欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、自由にお書きください。(自由記述)

調査票の最後に、調査質問選択肢だけでは表現しきれなかったことや意見、要望、計画に盛り込みたいことなどを自由に記入できる欄を設けた。本報告書では紙面の都合上すべてを掲載することはできないが、調査票の設問から浮き彫りにされにくい課題・問題点を中心に、より代表性・具体性のある意見・要望の一部を紹介することとする。

**手続きや相談に関すること**

- ・ 難病医療証更新手続等、高齢の独居のため大変でその都度体調悪くなります。何か良い方法があれば助かります。(女性・85歳)

**各種サービスに関すること**

- ・ 市のサービスは充実している。常に課題は山積みだろうが、日本の公共サービス水準は非常に秀れている。(男性・81歳)
- ・ 65才以下で適応するサービスが受けられない事が多い。シルバーパスやタクシー券など使用の対象にならず出費が大きい。やっと年金を受けられる年齢にはなったが生活は変わらないと思う。(女性・60歳)

**雇用・就労に関すること**

- ・ 難病はかくして酷使して働くしかありません。先の事はどうしたら良いのか不安が大きい。(女性・60歳)

**理解や権利擁護、差別・人権侵害等に関すること**

- ・ 障害者に対し暖かい視線ばかりではないことも重々承知しておるつもりです。健常者と障害者がお互い様の精神で助けあって行くのが理想ですが、障害者側も「やってもらって当然」の態度ではなく感謝の念を表していくのは必要と思う。(女性・48歳)

**障害者施策の推進、計画策定等に関すること**

- ・ このアンケートをどう生かして行くか分からない。国・都・市が一体とならない限りむずかしいと思う。難病や障害者が働くには限度が有るし、少なくとも助成金等が減る事はどうなのか？(男性・66歳)
- ・ 他市にくらべ西東京市は、福祉に手厚いと聞いています。必要な人には、しっかり充実した“たすけ”を受けられるようにしてほしいと思っています。(女性・69歳)

## < II 4 難病患者調査 >

### その他

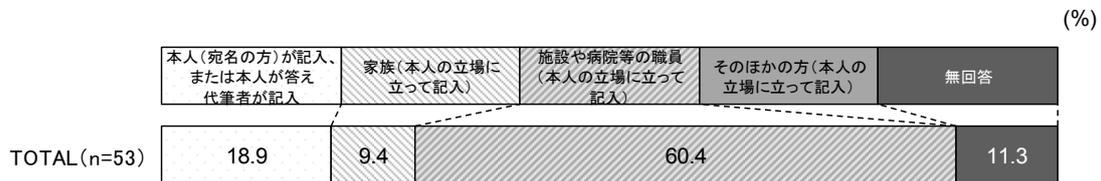
- ・ はなバスは民間バスと同じルートが多いですが、10～20分ほど歩かなければバスに乗れない地域が沢山あります。時間を決めて走ってくればそれに合わせて外出する事も容易になり活動的に生活できます。交通整備も福祉の一つです。(女性・65歳)
- ・ 市役所のトイレの一部を洋式に変え、手すりと緊急時のベルを付けてください。(女性・76歳)
- ・ 障害者ですが今のところ不自由なく自分で何でもできて毎日を過ごせています。5年後、10年後20年後でまた体の不自由さを感じてきたら変わってくると思います。(女性・49歳)

## 5 施設入所者

### (1) 基本的な属性

問1 この用紙（調査票）に記入されるのはどなたですか。（○は1つ）

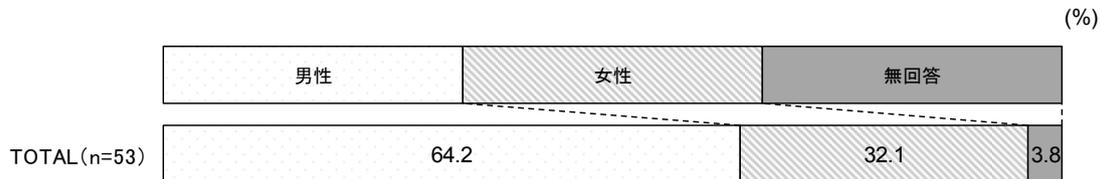
調査票記入者は「本人（宛名の方）が記入、または本人が答え代筆者が記入」が 18.9%、「家族（本人の立場に立って記入）」が 9.4%、「施設や病院等の職員（本人の立場に立って記入）」が 60.4%。



問2 あなたの性別をお答えください。（○は1つ）

問3 年齢（8月1日現在）を記入してください。

性別は、男性が 64.2%、女性が 32.1%。



年齢は、40代、50代がそれぞれ 34.0%で平均年齢は 53.1 歳。

(%)

n=	19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答	平均年齢
53	0.0	1.9	5.7	34.0	34.0	7.5	11.3	5.7	53.1 歳

< II 5 施設入所者調査 >

**(2) 障害・入所状況**

問4 次のうち、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

86.8%が「愛の手帳(療育手帳)を持っている」と回答している。

40代の16.7%、50代の22.2%が「身体障害者手帳を持っている」、「発達障害と診断されたことがある」と回答している。

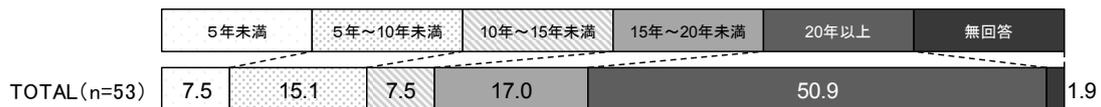
(%)

n=		身体障害者手帳を持っている	愛の手帳(療育手帳)を持っている	精神障害者保健福祉手帳を持っている	国または東京都が指定する難病医療費等助成対象疾病を患っている	高次脳機能障害と診断されたことがある	発達障害と診断されたことがある	あてはまるものはない	無回答
TOTAL	53	18.9	86.8	0.0	1.9	0.0	15.1	0.0	11.3
20代	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	3	66.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40代	18	16.7	83.3	0.0	5.6	0.0	16.7	0.0	16.7
50代	18	22.2	88.9	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	5.6
60代	4	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70歳以上	6	16.7	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
無回答	3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3

問5 あなたが、現在の施設に入所してからの期間をお答えください。(○は1つ)

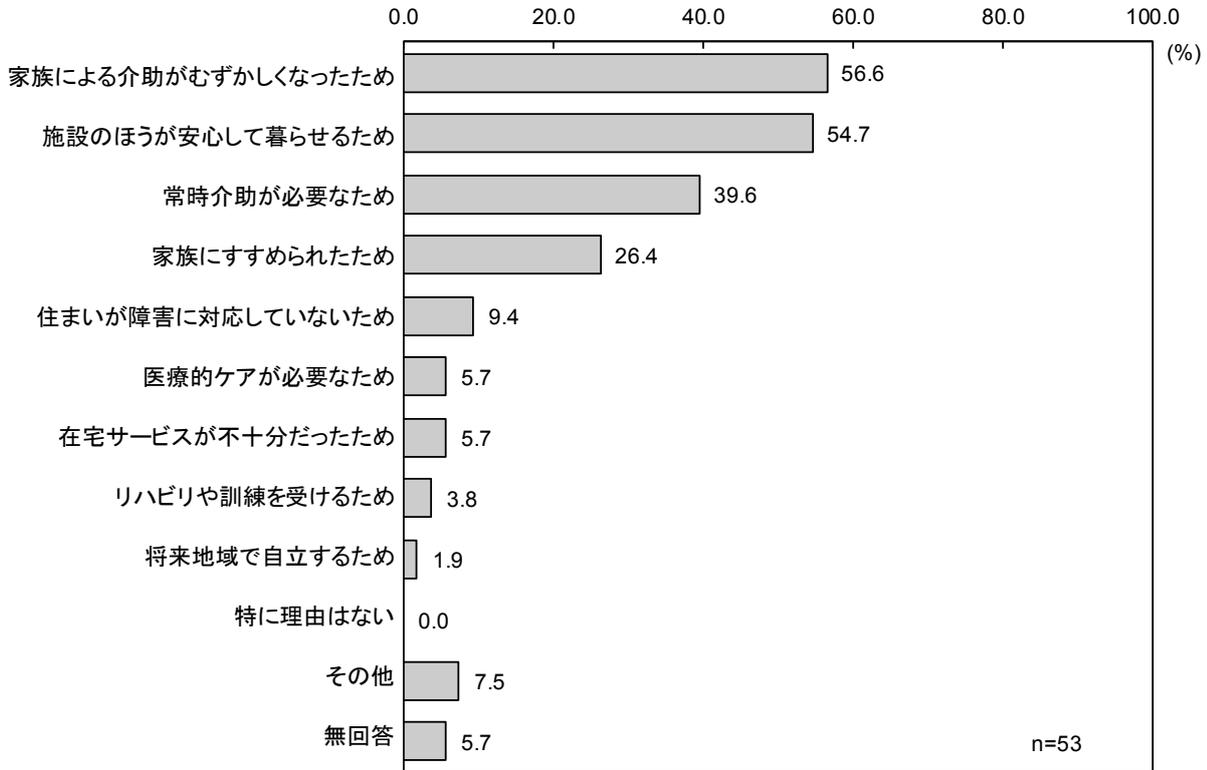
入所者の50.9%が「20年以上」である。

(%)



問6 あなたが、現在の施設へ入所することを決めた理由はなんですか。(○はいくつでも)

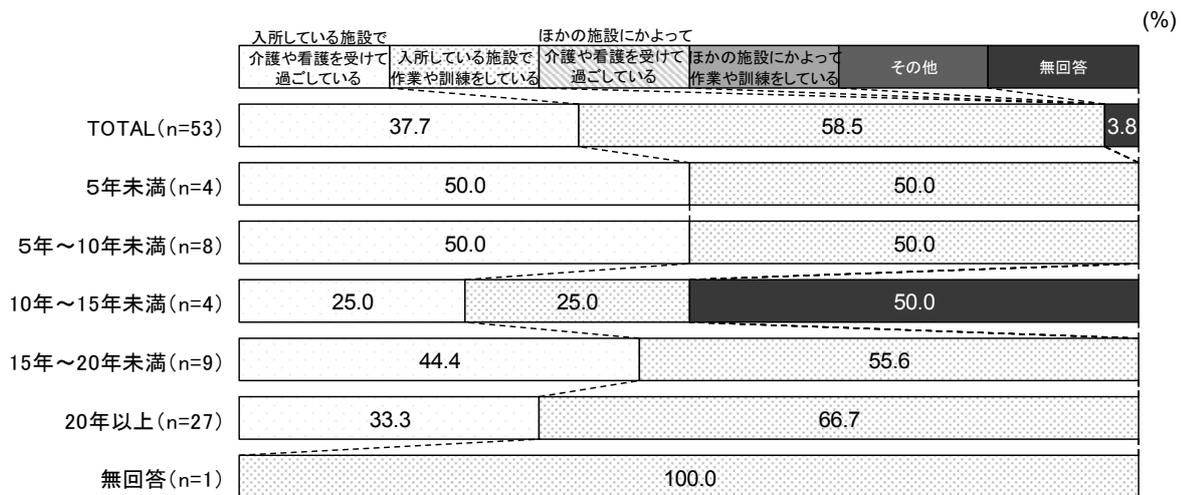
施設への入所理由は、「家族による介助がむずかしくなったため」が56.6%で最も高く、次いで「施設のほうが安心して暮らせるため」(54.7%)、「常時介助が必要なため」(39.6%)が続く。



(3) 日中の過ごし方や外出の状況・社会参加状況

問14 あなたは、日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つ)

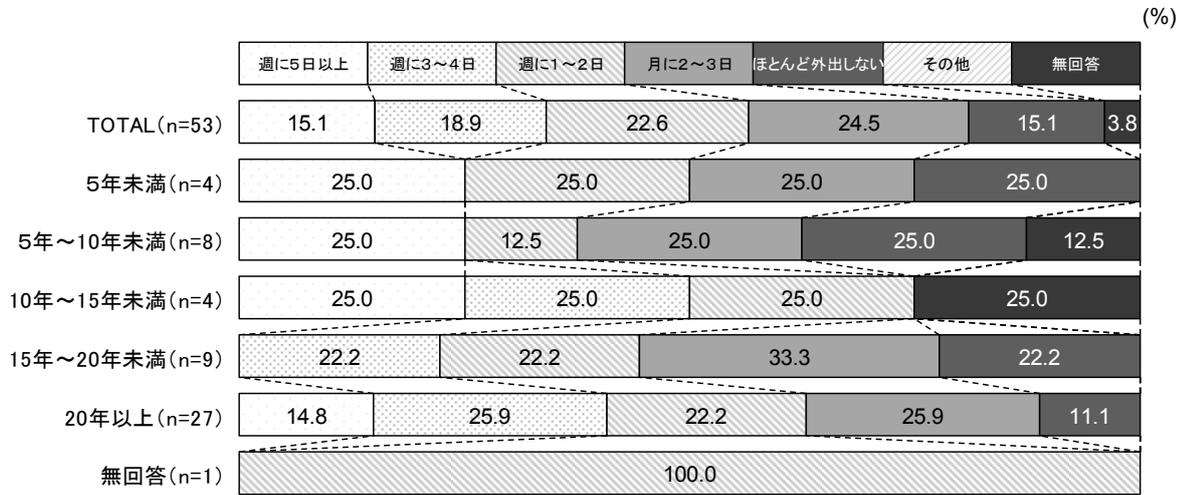
平日の日中の過ごし方として、「入所している施設で介護や看護を受けて過ごしている」37.7%、「入所している施設で作業や訓練をしている」が58.5%である。



< II 5 施設入所者調査 >

問7 あなたは、どのくらい外出しますか。買い物、日常の散歩など、すべてを含めてお答えください。  
(○は1つ)

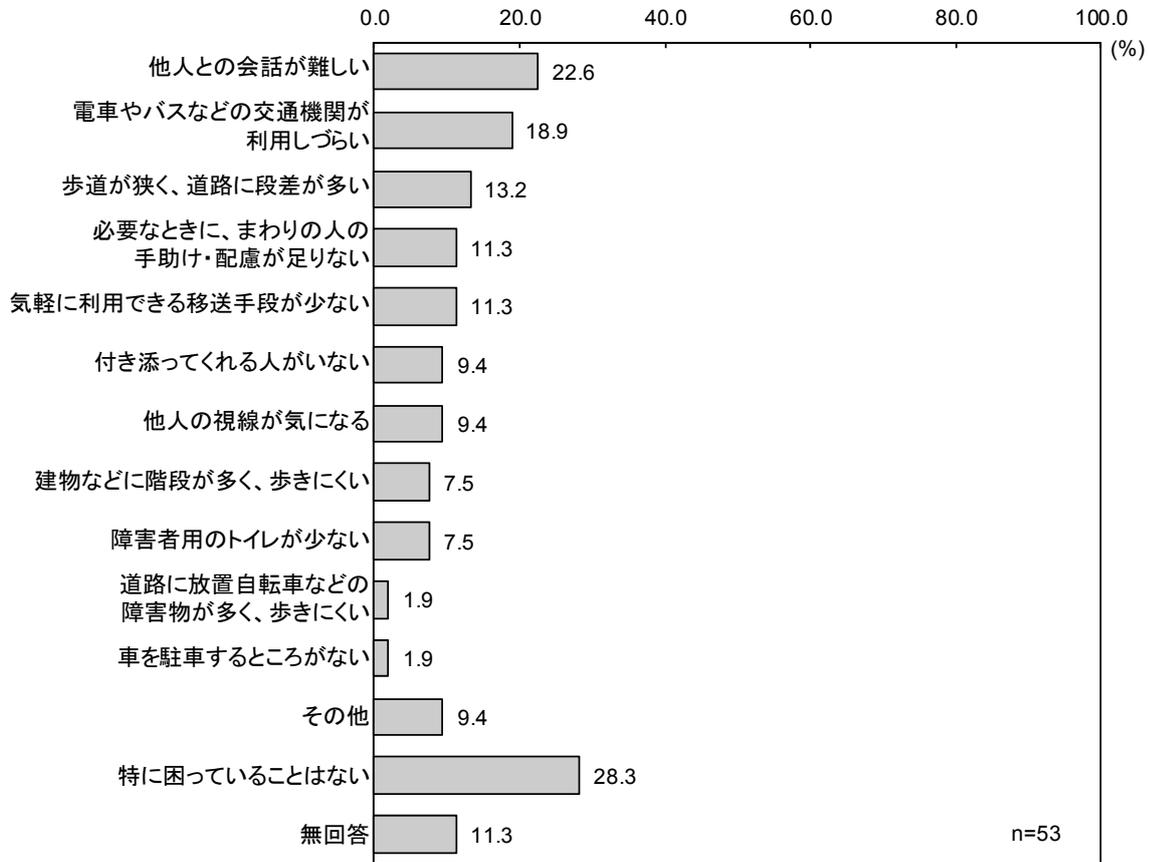
外出頻度は、「週に5日以上」が15.1%、「週に3～4日」が18.9%、「週に1～2日」が22.6%、「月に2～3日」が24.5%である。「ほとんど外出しない」と回答した人は15.1%となっている。



※0.0 は非表示

問8 外出の際に困っていることはありますか。(○はいくつでも)

「特に困っていることはない」が28.3%だが、外出の際に困っていることとして、「他人との会話が難しい」が22.6%で最も高く、次いで、「電車やバスなどの交通機関が利用しづらい」が18.9%、「歩道が狭く、道路に段差が多い」が13.2%と続く。

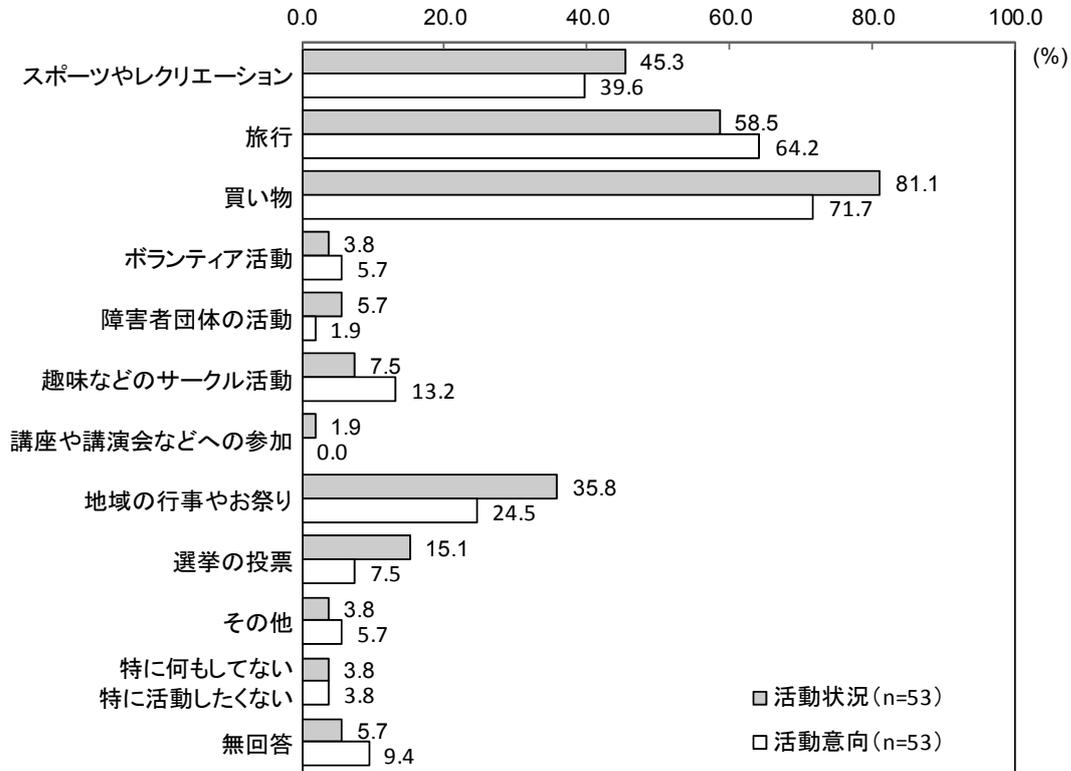


< II 5 施設入所者調査 >

問9 あなたは、この1年くらいの間に、次のような活動をしましたか。(○はいくつでも)：活動状況  
 問12 これからどのような活動をしたいと思いますか。(○はいくつでも)：活動意向

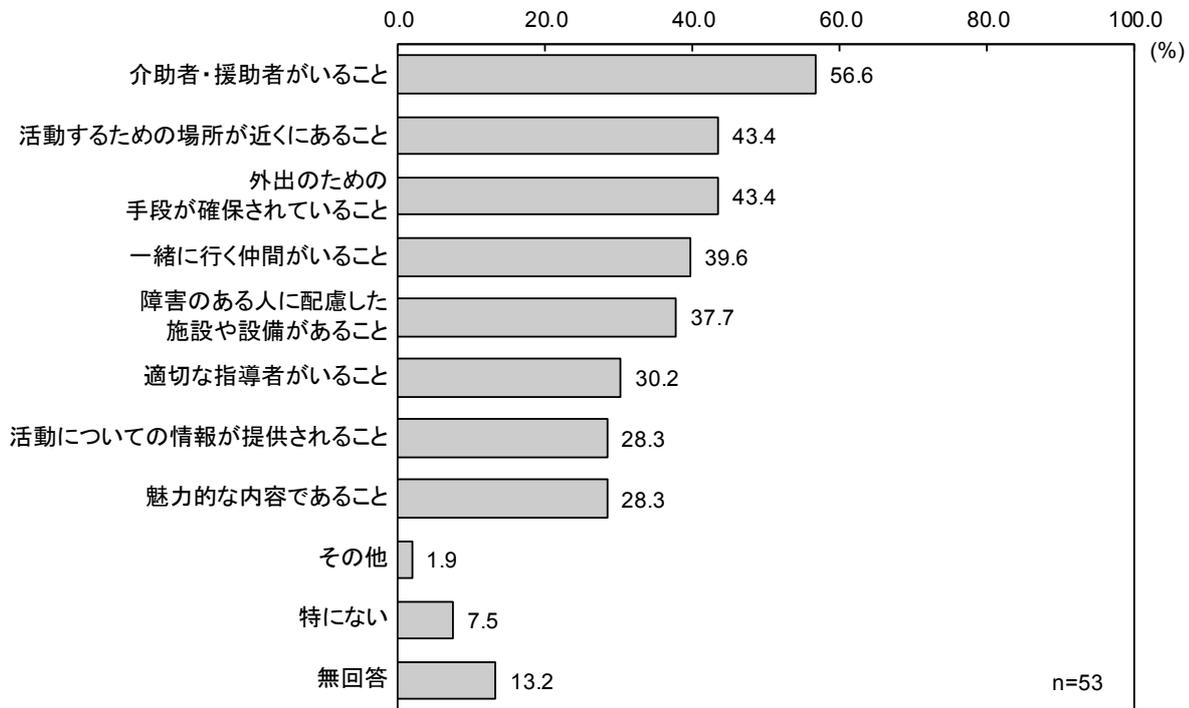
活動状況と活動意向を比べると、「趣味などのサークル活動」は実際の活動状況が7.5%、活動意向は13.2%となっており、意向が約6ポイント高い。

実際の活動状況では、「買い物」(81.1%)、「旅行」(58.5%)が高く、活動意向でも、「買い物」(71.7%)、「旅行」(64.2%)が高い。



問 13 問 12 のような活動をするために、どのような支援が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

活動のために必要な支援として、「介助者・援助者がいること」が 56.6%で最も高く、次いで、「活動するための場所が近くにあること」、「外出のための手段が確保されていること」がそれぞれ 43.4%で続いている。



問 10 選挙の投票の際、困ったことや改善してほしいことはありましたか。(自由記述)

<回答対象者：問 9 で「選挙の投票」と回答した人>

選挙の投票の際、困ったことや改善してほしいこととして、以下の記述があった。

- ・ 事前に知的障害者むけに作られたわかりやすい候補者の主張等のパンフレットがあるとよい。(男性・47歳)
- ・ とうひょうする時の台をひくくしてほしい。(女性・46歳)
- ・ イスをふやしてほしい。(女性・46歳)

< II 5 施設入所者調査 >

問 11 スポーツ活動をした方は、どのようなスポーツ活動をしましたか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

<回答対象者：問9で「スポーツやレクリエーション」と回答した人>

スポーツ活動の内容は、以下の通りである。

(%)

n=	卓球	バスケットボール	ポッチャ	ダンス	ボウリング	パドミントン	水泳	その他	無回答
24	0.0	0.0	8.3	12.5	16.7	4.2	20.8	41.7	12.5

「その他」(41.7%)として、10人から以下のような具体的な記述があった。

(件)

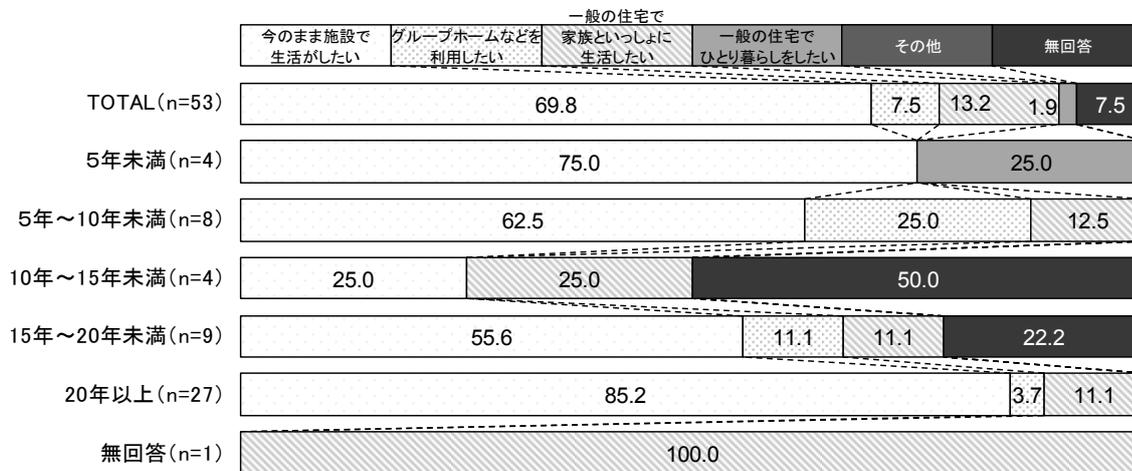
ランニング、マラソン	散歩、ウォーキング	スカットボール	登山、ハイキング	体操	その他
4	3	2	1	1	5

(4) 将来の希望

問 20 あなたは将来、地域で生活したいと思いますか。(○は1つ)

地域での生活について、13.2%が「一般の住宅で家族といっしょに生活したい」、1.9%が「一般の住宅でひとり暮らしをしたい」と回答しているが、69.8%は「今のまま施設で生活したい」と考えている。「グループホームなどを利用したい」と回答した人は7.5%である。

(%)



※0.0は非表示

問 21 退所後の生活を考えたときに、どのような不安がありますか。(○はいくつでも)

<回答対象者：退所意向者>

退所意向がある人に退所後の生活についての不安をたずねたところ、12人中6人が「住まいのこと」と回答している。

n=	生活費のこと	仕事や職場の人間関係	住まいのこと	病気のこと	家族や親せきのこと	(%)
12	33.3	33.3	50.0	41.7	33.3	
	隣近所との関係	毎日の食事のこと	掃除や片づけ、洗濯のこと	日用品などの買い物のこと	現金や貯金通帳の管理のこと	
	33.3	33.3	16.7	41.7	33.3	
	通院や外出のこと	服薬や健康管理のこと	相談相手のこと	自由時間(余暇)の過ごし方	その他	無回答
	41.7	25.0	16.7	16.7	0.0	25.0

問 22 退所後に必要と思う支援がありましたら、自由にお書きください。(自由記述)

<回答対象者：退所意向者>

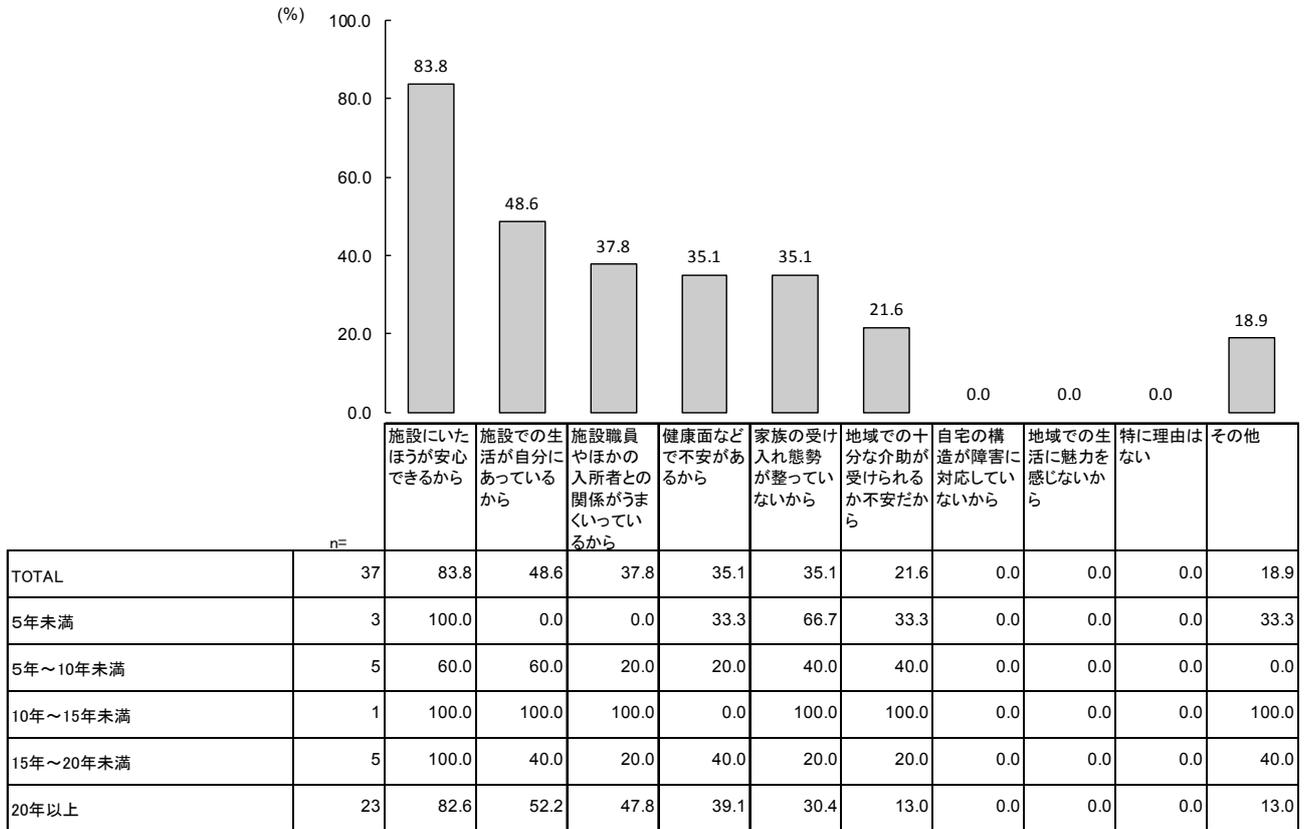
- ・ 支援者からみると、生活全搬について支援が必要の為、施設入所が必要と考えます。(男性・41歳)
- ・ 生活費が必要。(女性・55歳)

< II 5 施設入所者調査 >

問 23 今のまま施設で生活がしたいと思う理由はなんですか。(〇はいくつでも)

<回答対象者：施設生活継続希望者>

施設での生活を継続したい人に、継続理由をたずねたところ、83.8%の人が「施設にいたほうが安心できるから」と回答している。

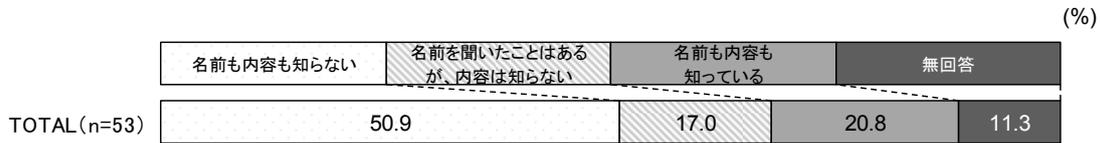


「その他」(18.9%)として、以下のような記述があった。

- ・ 9才の頃から施設(当法人)で生活されていてグループホームや在宅に戻る考えがない。自宅のような感覚のようです。(女性・52歳・20年以上)
- ・ 障害を理解し適切な支援を受けられないと命の危険があるため。(男性・10年～15年未満)
- ・ 将来の事を考えると施設の方が良い(男性・35歳・5年未満)
- ・ 親も高齢になり慣れた施設での生活を望む。(男性・52歳・20年以上)

問 24 成年後見制度とは、知的障害や精神障害などの理由により、判断能力が十分でない方の財産などの権利を守る制度です。あなたは、成年後見制度について知っていますか。(○は1つ)

成年後見制度について、「名前も内容も知っている」人は20.8%、「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」人は17.0%である。50.9%の人が「名前も内容も知らない」と回答している。

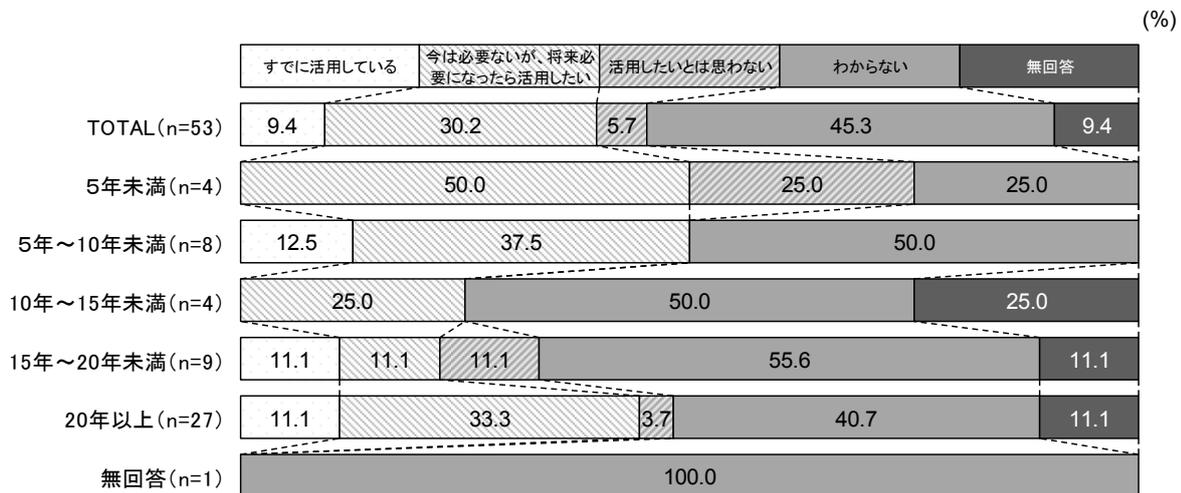


※0.0は非表示

問 25 あなたは、成年後見制度を活用したいと思いますか。(○は1つ)

成年後見制度を「すでに活用している」人は9.4%である。「今は必要ないが、将来必要になったら活用したい」と考える人は30.2%である。

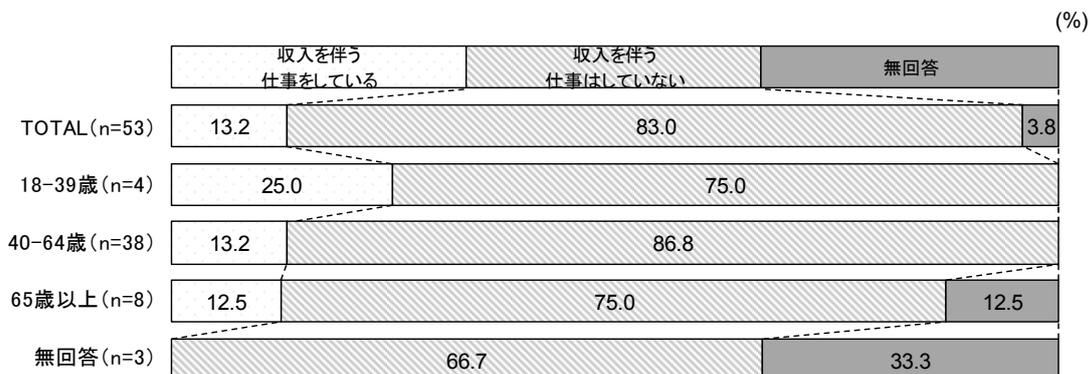
入所期間別にみると、5年～10年未満で1人、15年以上で4人が「すでに活用している」。



### (5) 雇用・就労について

問 15 現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。(○は1つ)

収入を伴う仕事している人は13.2%、収入を伴う仕事はしていない人は83.0%ある。



< II 5 施設入所者調査 >

問 16 今後、お金をもらう仕事をしたいと思いますか。(○は1つ)

今後の就労について、「したいと思う」人は2.3%、「したいとは思わない、できない」人は90.9%である。



※0.0 は非表示

**(6) 障害者施設・施策について**

問 17 あなたは、西東京市にある次の施設を利用したことがありますか。また、知っていますか。

市内施設を利用したことがある人は、保谷障害者福祉センターが1.9%である。「知っているが、利用したことがない」施設として、相談支援センター・えぼっく、障害者就労支援センター・一步、地域活動支援センター・ハーモニー、保谷障害者福祉センターがそれぞれ5.7%、地域活動支援センター・ブルームが3.8%である。



問 18 あなたは、次の講座や事業等を知っていますか。(○はいくつでも)

市開催の講座や事業等の認知状況は、以下の通りである。

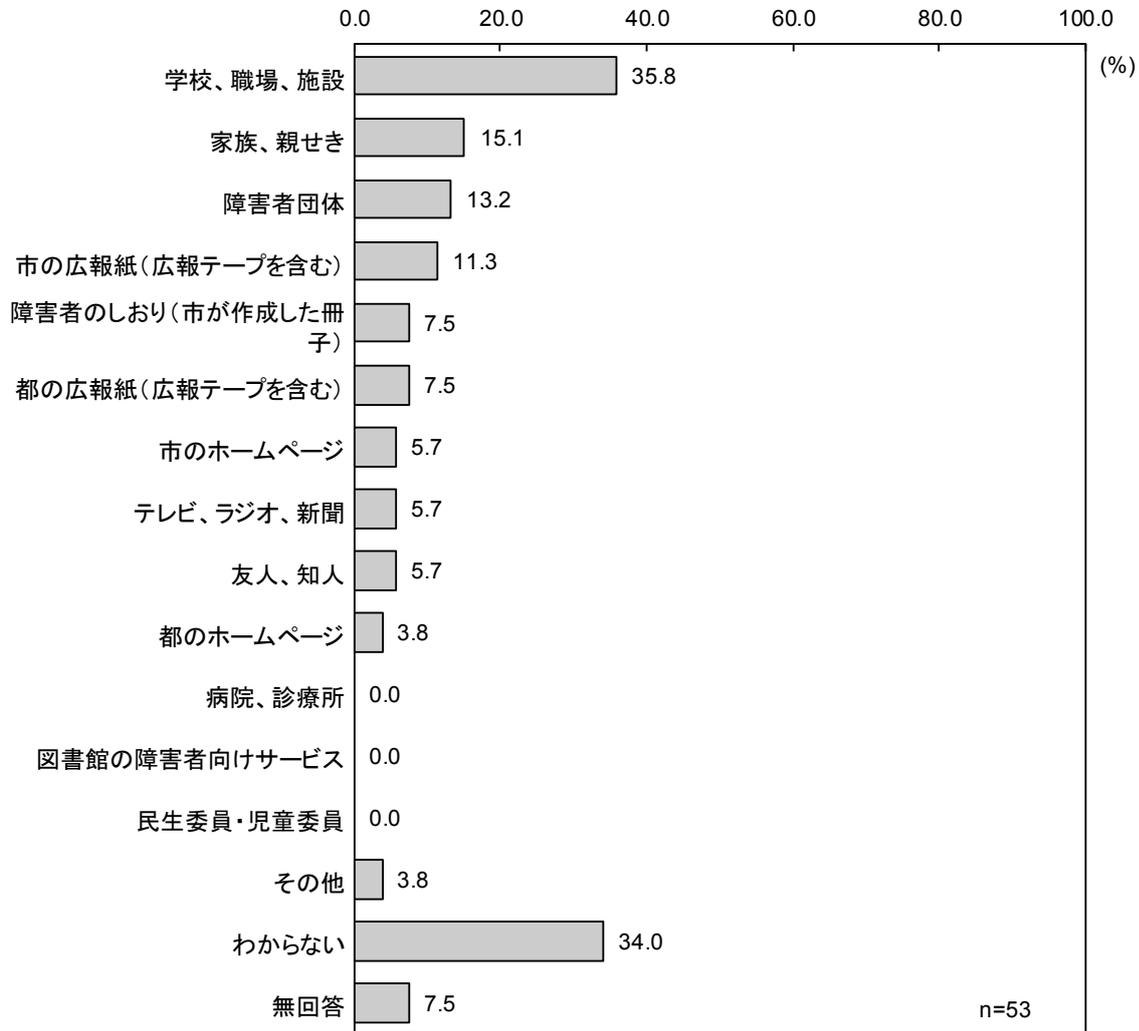
(%)

n=	サポーター 養成講座	ヘルプカード	スポーツ 支援事業	障害者 水泳教室	講座や事業等 は知らない	無回答
53	3.8	9.4	5.7	1.9	54.7	30.2

### (7) 相談や情報入手方法

問 19 あなたは、障害福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。(〇はいくつでも)

情報の入手先として、「学校、職場、施設」が 35.8%で最も高く、次いで、「家族、親せき」(15.1%)、「障害者団体」(13.2%)と続いている。情報入手先が「わからない」と回答した人は 34.0%である。



**(8) 障害・障害者への理解**

問 26 障害があることで、差別や人権侵害、虐待を受けていると感じることがありますか。(○は1つ)

差別や人権侵害、虐待については、22.6%の人は「ほとんど感じることはない」が、3.8%は「いつも感じる」、20.8%は「たまに感じる」と回答している。



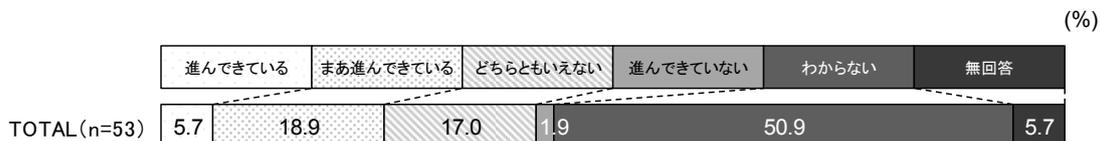
問 27 障害のある方々への差別をなくすことを目的として、平成 28 年 4 月 1 日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、このことを知っていますか。(○は1つ)

障害者差別解消法について、「内容まで知っている」人は7.5%、「知らない」人は69.8%である。



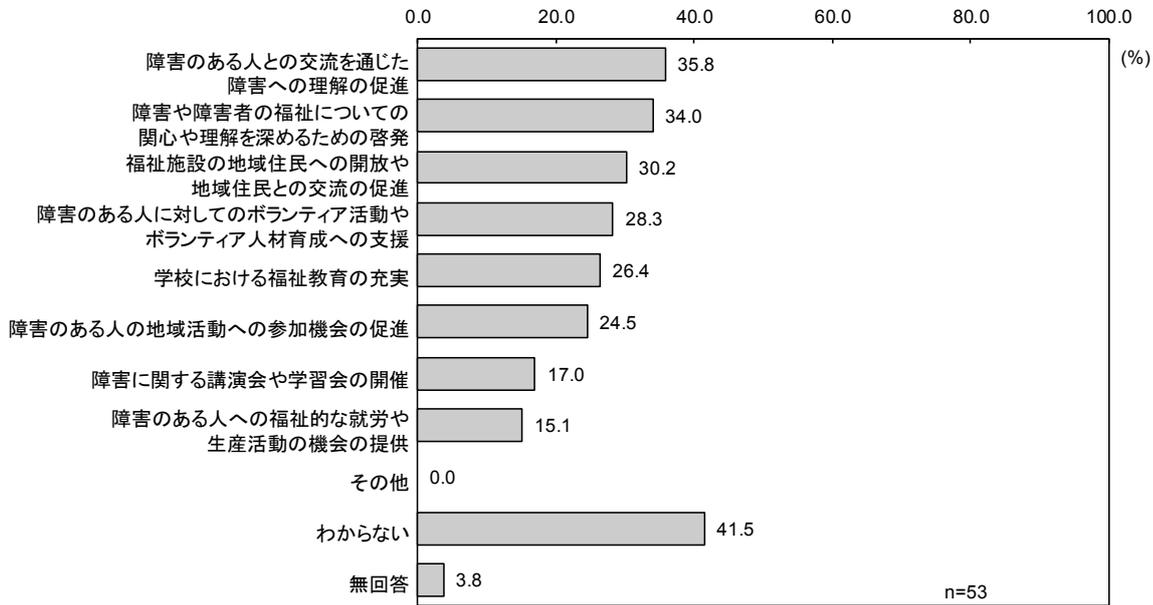
問 28 障害や障害のある方々に対する市民の理解は進んできていると思いますか。(○は1つ)

障害や障害のある人に対する市民の理解が「進んできている」と考えている人は5.7%、「まあ進んできている」(18.9%)をあわせると、24.6%の人は市民の理解が進んできていると感じている。



問 29 障害や障害のある市民への理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

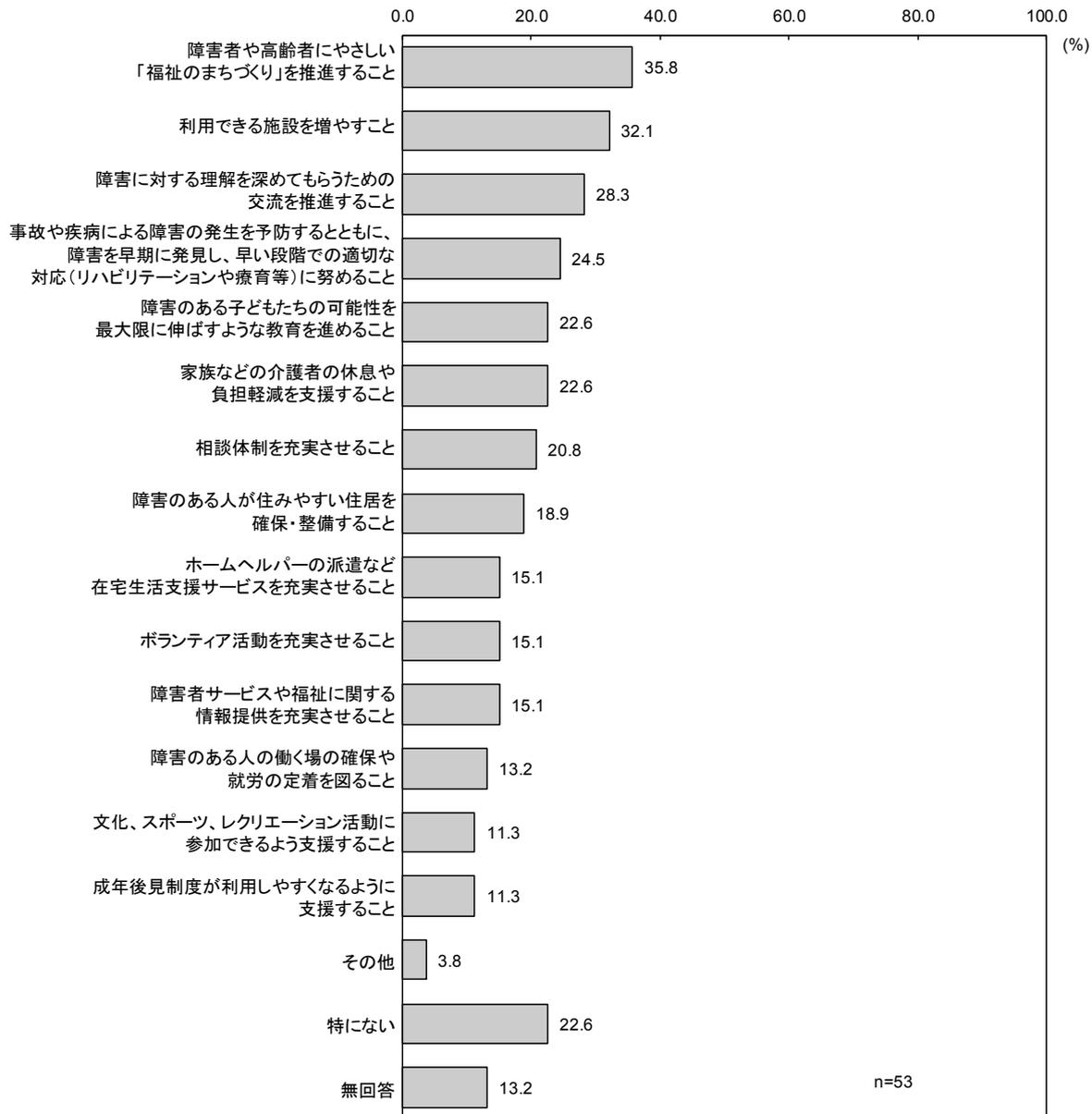
障害や障害のある人への理解に必要なこととして、「障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進」が 35.8%で最も高く、次いで、「障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための啓発」(34.0%)、「福祉施設の地域住民への開放や地域住民との交流の促進」(30.2%)が続いている。



**(9) 障害者施策、市への要望等**

問 30 今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

今後、市が充実させていくべき障害者施策としては、「障害者や高齢者にやさしい「福祉のまちづくり」を推進すること」が 35.8%と最も高く、次いで「利用できる施設を増やすこと」が 32.1%、「障害に対する理解を深めてもらうための交流を推進すること」が 28.3%で続いている。



問 31 あなたは、今後も西東京市に住みつづけたいと思いますか。(○は1つ)

24.5%の人が今後も西東京市に「住み続けたい」と回答している。

※調査対象者に市外施設入所者も含まれるため、無回答が多くなっている。

	住み続けたい	どちらかという 住み続けたい	住み続けたくない	無回答
TOTAL(n=53)	24.5	15.1	7.5	52.8

(%)

問 32 最後に、この調査を通じて、選択肢や自由記述欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、自由にお書きください。(自由記述)

調査票の最後に、調査質問選択肢だけでは表現しきれなかったことや意見、要望、計画に盛り込みたいことなどを自由に記入できる欄を設けた。本報告書では紙面の都合上すべてを掲載することはできないが、調査票の設問から浮き彫りにされにくい課題・問題点を中心に、より代表性・具体性のある意見・要望の一部を紹介することとする。

- ・ 入所されている利用者さんの代わりに記入しました。ご両親がすでに他界されている為、これからも30年以上暮らしている施設にいたいのではないかと予想されます。(女性・54歳)
- ・ 私は、親として田無と保谷が合併してとてもよかったと思います。特に障害福祉課での窓口での対応がとてもいいです。今後もぜひ専門スタッフを障害福祉課には相談窓口として力になっていただきたいと希望します。(性別・年齢無回答)
- ・ 今の都外の施設で生活していきたい。(男性・44歳)
- ・ 西東京市に家はあるが、都外の今の施設で生活を送りたい。(男性・51歳)

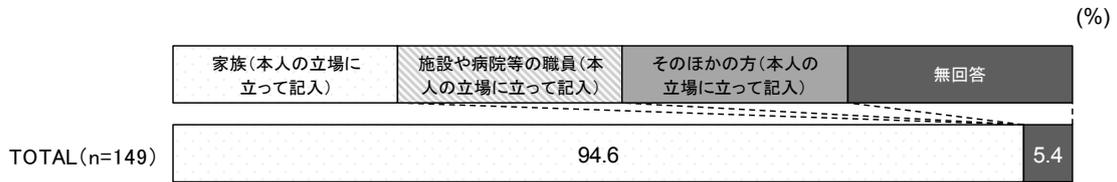
< II 5 施設入所者調査 >

## 6 児童

### (1) 基本的な属性

問1 この用紙（調査票）に記入されるのはどなたですか。（○は1つ）

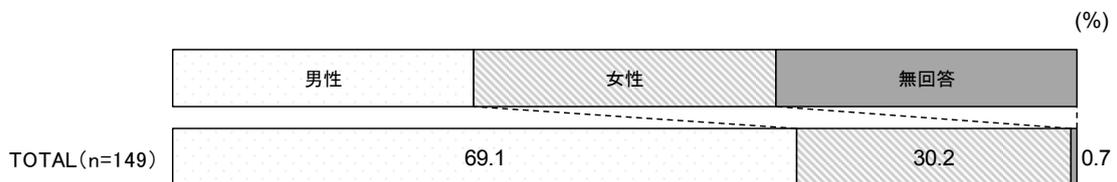
調査票記入者は「家族（本人の立場に立って記入）」が94.6%。



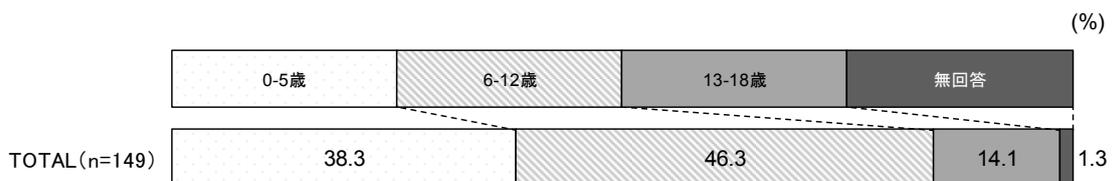
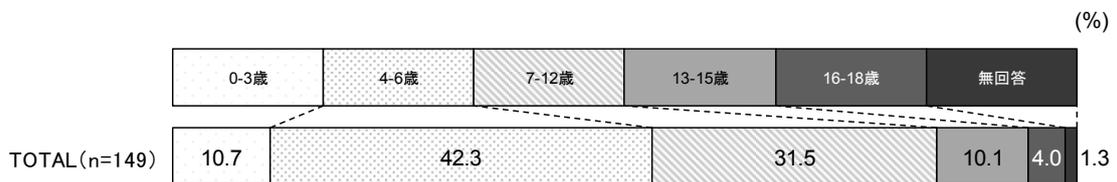
問2 お子さまの性別をお答えください。（○は1つ）

問3 お子さまの年齢（8月1日現在）を記入してください。

性別は、男性が69.1%、女性が30.2%。



平均年齢は7.3歳。



< II 6 児童調査 >

問4 現在、お子さまはどこで暮らしていますか。(○は1つ)

居住形態は、「持ち家(分譲マンションを含む)」が69.8%で最も多く、次いで、賃貸住宅(アパート、賃貸マンション、借家)が28.9%である。

(%)

n=	持ち家(分譲マンションを含む)	賃貸住宅(アパート、賃貸マンション、借家)	グループホーム、ケアホーム、福祉ホーム	福祉施設(障害者支援施設、高齢者支援施設)	入院している	その他	無回答
149	69.8	28.9	0.0	0.0	0.7	0.7	149

問5 お子さまはどなたと一緒に暮らしていますか。お子さまからみた間柄でご回答ください。(○はいくつでも)

同居者は、「父親」が89.9%、「母親」が96.6%、「兄弟、姉妹」が64.4%との回答が高い。

(%)

n=		宛名の方ひとりだけで暮らしている	父親	母親	祖父	祖母	兄弟、姉妹	その他の親せき	福祉施設の職員や仲間	その他	無回答
TOTAL	149	0.0	89.9	96.6	4.7	7.4	64.4	1.3	0.0	0.7	0.7
0-5歳	57	0.0	98.2	100.0	3.5	5.3	64.9	0.0	0.0	0.0	0.0
6-12歳	69	0.0	85.5	97.1	4.3	10.1	62.3	1.4	0.0	1.4	0.0
13-18歳	21	0.0	85.7	90.5	9.5	4.8	76.2	4.8	0.0	0.0	0.0
無回答	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

**(2) 障害状況**

問6 次のうち、お子さまにあてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)  
手帳をお持ちの方は、等級・程度に○をつけてください。

身体障害者手帳を持っている人は27.5%、愛の手帳（療育手帳）を持っている人は42.3%、精神障害者保健福祉手帳を持っている人は3.4%、国または東京都が指定する難病医療費等助成対象疾病を患っている人は8.1%、発達障害と診断されたことがある人は40.3%である。

発達障害と診断されたことがある人のうち、38.3%が「愛の手帳（療育手帳）」を持っている。

(%)

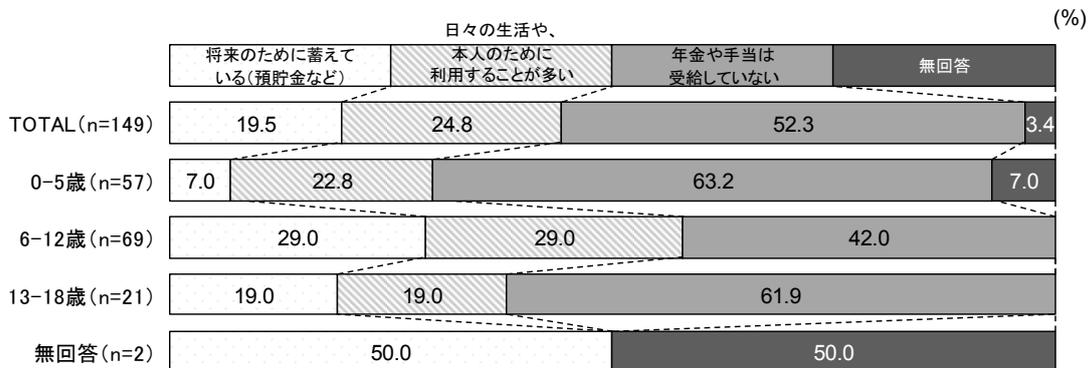
n=	身体障害者手帳を 持っている	愛の手帳（療育手帳）を 持っている	福祉手帳を持っている 精神障害者保健	対象疾病を患っている 難病医療費等助成	診断されたことがある 高次脳機能障害と	診断されたことがある 発達障害と	医療的ケアを受けている 訪問看護などの	あてはまるものはない	無回答	
TOTAL	149	27.5	42.3	3.4	8.1	0.7	40.3	4.7	12.8	0.7
身体障害者手帳を持っている	41	100.0	29.3	0.0	26.8	2.4	9.8	14.6	0.0	0.0
愛の手帳（療育手帳）を持っている	63	19.0	100.0	0.0	7.9	1.6	36.5	1.6	0.0	0.0
精神障害者保健福祉手帳を持っている	5	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
難病医療費等助成対象疾病を患っている	12	91.7	41.7	0.0	100.0	0.0	8.3	25.0	0.0	0.0
高次脳機能障害と診断されたことがある	1	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発達障害と診断されたことがある	60	6.7	38.3	8.3	1.7	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
訪問看護などの医療的ケアを受けている	7	85.7	14.3	0.0	42.9	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
上記に、あてはまるものはない	19	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

(%)

n=	1級 (1度)	2級 (2度)	3級 (3度)	4級 (4度)	5級	6級	等級不明	
身体障害者手帳	41	43.9	26.8	12.2	7.3	4.9	2.4	2.4
愛の手帳（療育手帳）	63	3.2	20.6	33.3	41.3	—	—	1.6
精神障害者保健福祉手帳	5	0.0	40.0	60.0	—	—	—	0.0

問7 お子さまの障害者支援の手当や年金を主にどのように利用していますか。(○は1つ)

障害者支援の手当や年金の利用状況は、「将来のために蓄えている(預貯金など)」が19.5%、「日々の生活や、本人のために利用することが多い」が24.8%、「年金や手当は受給していない」が52.3%である。

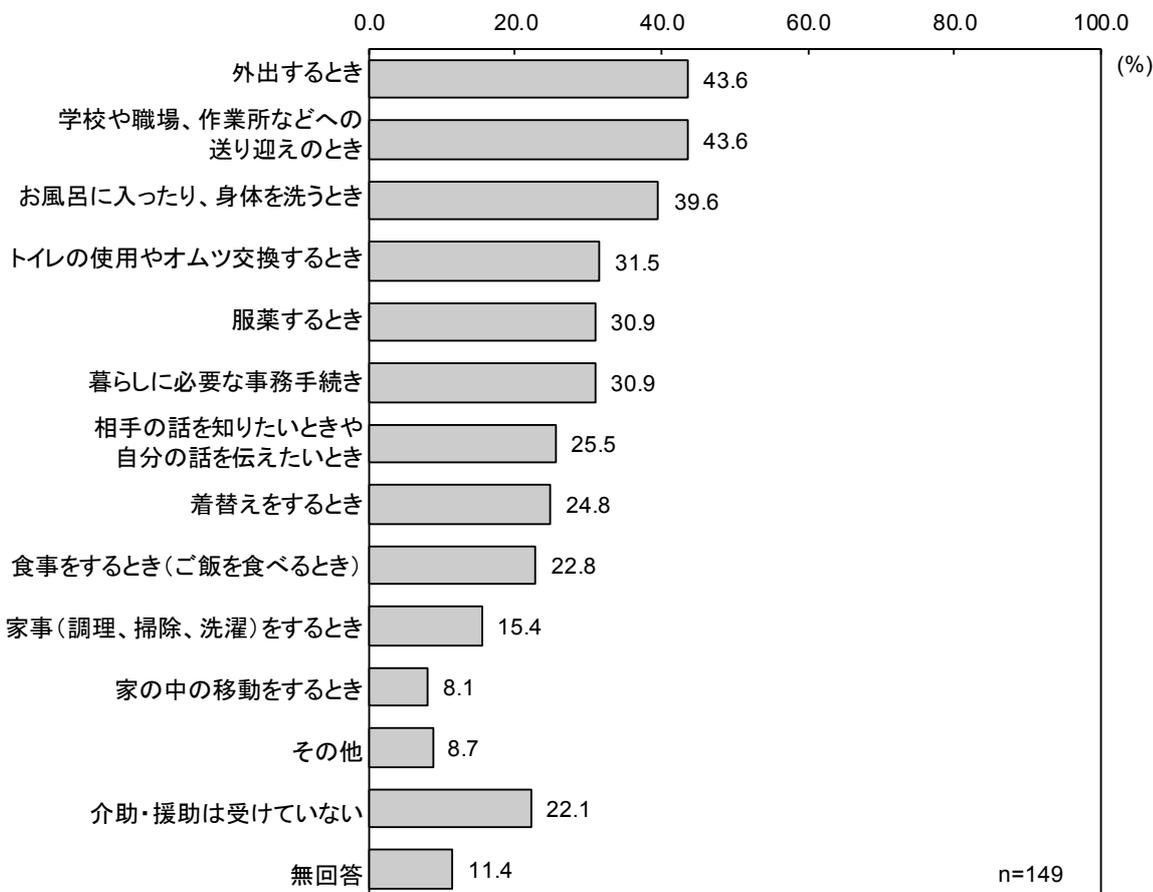


※0.0は非表示

(3) 介助・援助の状況

問8 お子さまは、どのようなときに介助・援助を受けていますか。(○はいくつでも)

介助・援助を受けている場面としては、「外出するとき」、「学校や職場、作業所などへの送り迎えのとき」がそれぞれ43.6%で、次いで、「お風呂に入ったり、身体を洗うとき」が39.6%である。



問9 ふだん、お子さまを主に介助・援助しているのはどなたですか。お子さまからみた続柄でご回答ください。(○は1つ)

ふだん、おもに介助・援助している人は「母親」が92.9%で最も高い。

(%)

n=		父親	母親	祖父	祖母	兄弟、姉妹	その他の親せき	近所の人、友人・知人	ホームヘルパー等の在宅サービス事業者	その他
TOTAL	99	6.1	92.9	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0

**(4) 日中の過ごし方や外出の状況・社会参加状況**

問17 お子さまは、平日(月曜日～金曜日)の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つ)

平日の日中の過ごし方として、「幼稚園や保育園、学校などに通っている」が84.6%、「児童発達支援にかよっている」が8.7%、「自宅にすることが多い」が2.7%である。

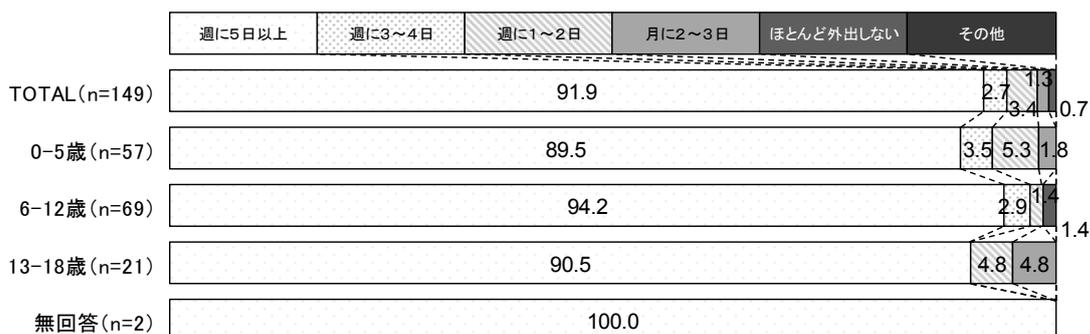
(%)

n=		幼稚園や保育園、学校などに通っている	児童発達支援にかよっている	病院などのデイケアにかよっている	リハビリテーションを受けている	働いている	入所・入院している施設や病院などで過ごしている	自宅にすることが多い	その他	無回答
TOTAL	149	84.6	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	0.7	3.4
0-5歳	57	77.2	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	1.8	0.0
6-12歳	69	87.0	5.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	5.8
13-18歳	21	95.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8
無回答	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問10 お子さまは、どのくらい外出しますか。通所、通学、通勤、買い物、日常の散歩など、すべてを含めてお答えください。(○は1つ)

外出頻度は、「週に5日以上」が91.9%、「週に3～4日」が2.7%、「週に1～2日」3.4%、「月に2～3日」が1.3%である。「ほとんど外出しない」と回答した人は0.7%となっている。

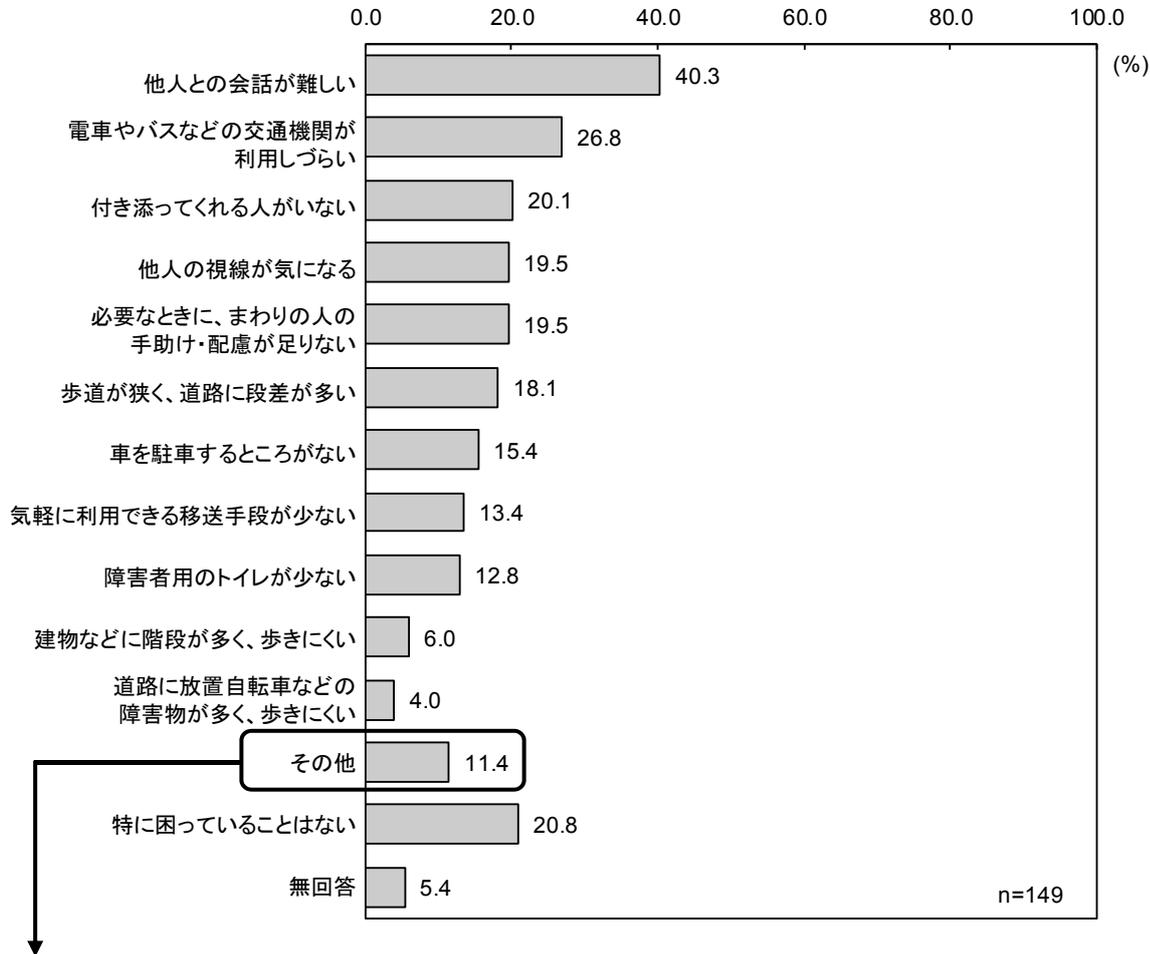
(%)



※0.0 は非表示

問 11 お子さまが、外出の際に困っていると思われることはありますか。(○はいいくつでも)

外出の際に困っていることとしては、「他人との会話が難しい」との回答が 40.3%で最も高い。次いで、「電車やバスなどの交通機関が利用しづらい」(26.8%)、「付き添ってくれる人がいない」(20.1%)が続く。



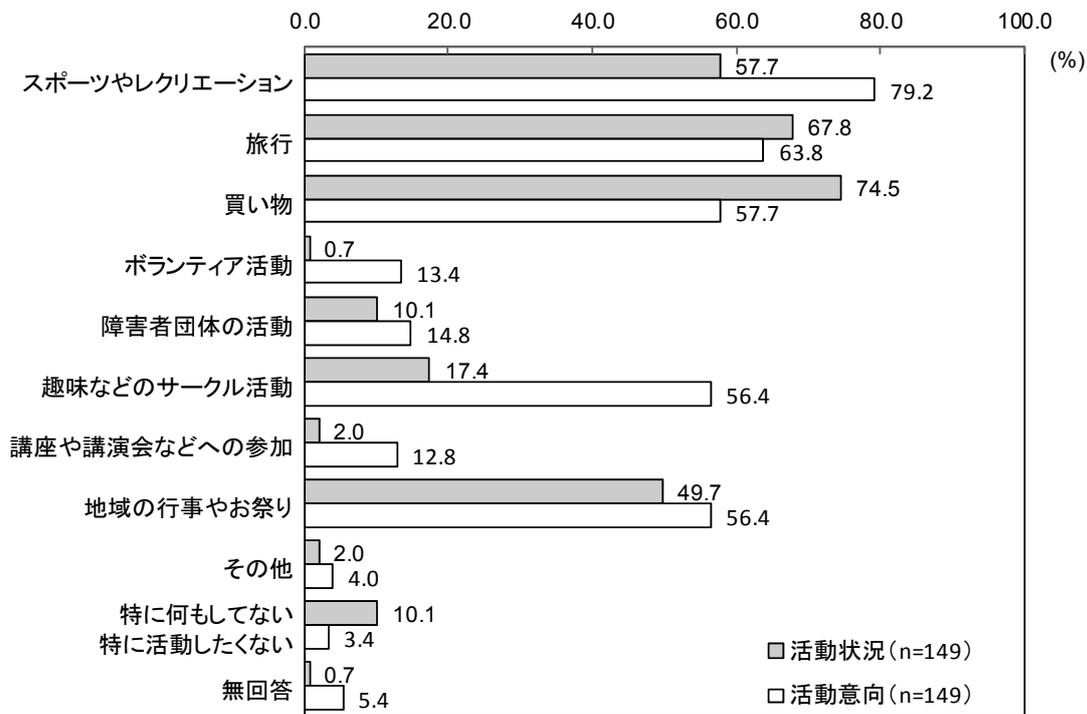
「その他」(11.4%)として、以下のような記述があった。

- ・ エレベーター等が不便な場所にあったり使いづらい。(男性・4歳・身体障害者手帳、医療的ケア有)
- ・ 感覚・聴覚過敏、難聴のため音に関すること。(女性・6歳・発達障害との診断有)
- ・ 医療機器の電源の確保が難しい。(女性・1歳・身体障害者手帳、医療的ケア有)
- ・ 大きい子や大人でも利用出来るオムツ替えのベッドが無い所がほとんどで困っています。(女性・8歳・身体障害者手帳、愛の手帳(療育手帳)、発達障害との診断有)
- ・ とつぜん大声をだしたり、とつぜんたたいりしてしまうけど、一見ふつうの子供なので変な目でみられる。(男性・4歳・発達障害との診断有)
- ・ 動作がゆっくりなので安全の確保が難しい。(男性・9歳・愛の手帳(療育手帳))
- ・ 少しの時間の見守り等が急に必要になった場合に支援をたのめるところがない。(男性・14歳・愛の手帳(療育手帳))
- ・ 交通機関もその周囲も混雑で、人の流れのじゃまになるので、申し訳なく大変で辛い。(女性・7歳・愛の手帳(療育手帳)、発達障害との診断有)
- ・ 落ちつきがない。(男性・5歳・発達障害との診断有)
- ・ 一人では出かけられない。(男性・7歳・愛の手帳(療育手帳))

問 12 お子さまは、この1年くらいの中に、次のような活動をしましたか。(○はいくつでも)：活動状況  
 問 15 お子さまは、これからどのような活動をしたい(してほしい)と思いますか。(○はいくつでも)：活動意向

活動状況と活動意向を比べると、「趣味などのサークル活動」は実際の活動状況が17.4%、活動意向は56.4%となっており、意向が約39ポイント高い。

実際の活動状況では、「買い物」(74.5%)、「旅行」(67.8%)、「スポーツやレクリエーション」(57.7%)が高く、活動意向では、「スポーツやレクリエーション」(79.2%)、「旅行」(63.8%)が高い。

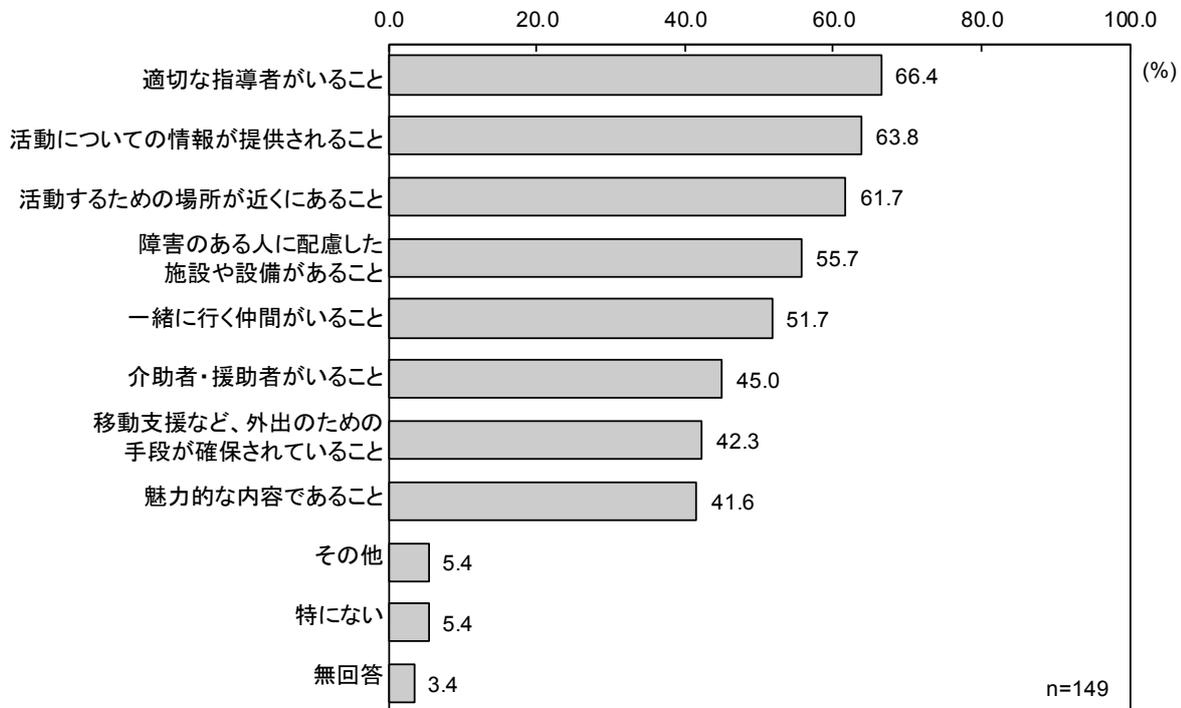


< II 6 児童調査 >

問 16 問 15 のような活動をするために、どのような支援が必要だと思いますか。

(○はいくつでも)

活動のために必要な支援として、「適切な指導者がいること」が 66.4% で最も高く、次いで、「活動についての情報が提供されること」(63.8%)、「活動するための場所が近くにあること」(61.7%) が続いている。



問 13 スポーツ活動をした方は、どのようなスポーツ活動をしましたか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

<回答対象者：問 12 で「スポーツやレクリエーション」選択者>

スポーツ活動の内容は、以下の通りである。

(%)

n=	卓球	バスケットボール	ポッチャ	ダンス	ボウリング	パドミントン	水泳	その他	無回答
86	3.5	3.5	3.5	15.1	4.7	2.3	72.1	31.4	3.5

「その他」(31.4%) として、26 人から以下のような具体的な記述があった。

(件)

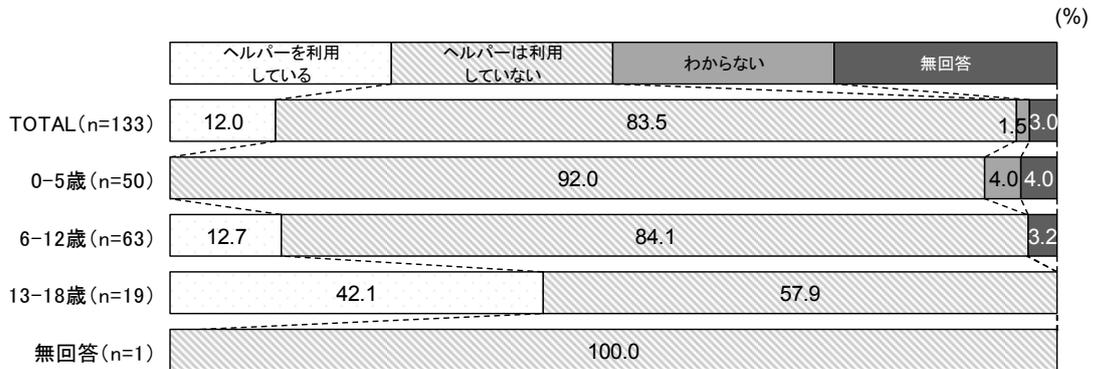
体操	サッカー・フットサル	球技	ランニング・陸上競技
9	5	4	3
空手・合気道	登山	インラインスケート、スケートボード	その他
3	2	1	4

問 14 活動のために外出する際に「同行援護」「行動援護」「移動支援」等のヘルパーを利用していますか。(○は1つ)

<回答対象者：問 12 で何らかの活動をしている人>

活動のためのヘルパー利用状況は、「ヘルパーを利用している」が 12.0%、「ヘルパーは利用していない」83.5%である。

年齢別にみると、13-18 歳では、19 人中 8 人（42.1%）が「ヘルパーを利用している」。



※0.0 は非表示

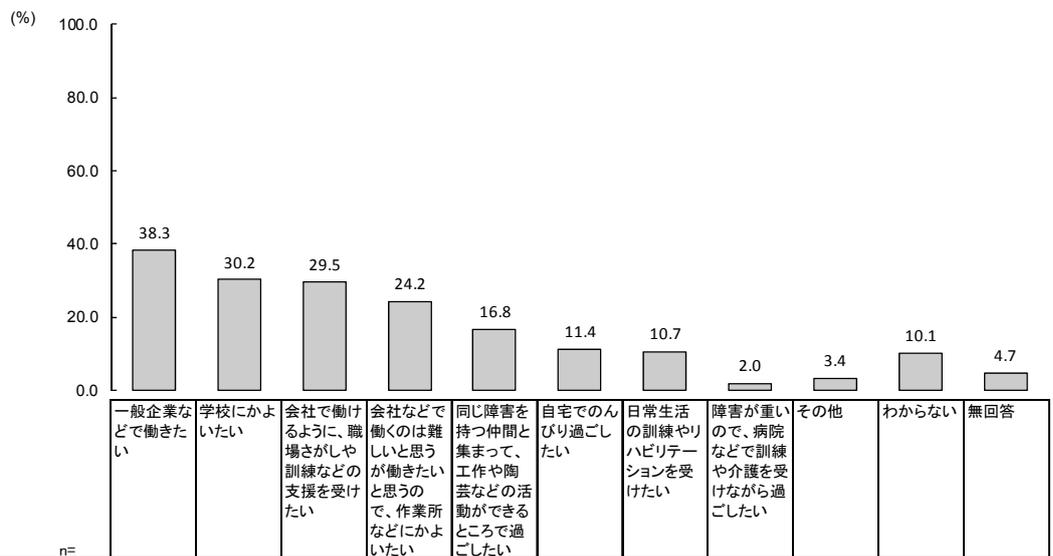
**(5) 将来の希望**

《 次の問 47、問 48 は宛名のお子さまにお聞きします。お子さまが回答できない場合は、ご本人の気持ちを考えてお答えください。》

問 47 あなた（お子さま）は、今後、どのように日中を過ごしたいと思いますか。おおむね、高等学校卒業後のことを考えてお答えください。（○はいくつでも）

今後、希望する日中の過ごし方は、「一般企業などで働きたい」が 38.3%で最も高く、次いで「学校にかよいたい」が 30.2%、「会社などで働けるように、職場さがしや訓練などの支援を受けたい」が 29.5%で続いている。

年齢別にみると、13-18 歳の 21 人のうち 9 人が「一般企業などで働きたい」（42.9%）、8 人が「会社などで働くのは難しいと思うが働きたいと思うので、作業所などにかよいたい」（38.1%）と回答している。



n=	一般企業などで働きたい	学校にかよいたい	会社で働けるように、職場さがしや訓練などの支援を受けたい	会社などで働くのは難しいと思うが働きたいと思うので、作業所などにかよいたい	同じ障害を持つ仲間と集まって、工作や陶芸などの活動ができる場所で過ごしたい	自宅でのんびり過ごしたい	日常生活の訓練やリハビリテーションを受けたい	障害が重いので、病院などで訓練や介護を受けながら過ごしたい	その他	わからない	無回答	
TOTAL	149	38.3	30.2	29.5	24.2	16.8	11.4	10.7	2.0	3.4	10.1	4.7
0-5歳	57	45.6	43.9	26.3	10.5	3.5	7.0	7.0	0.0	1.8	15.8	5.3
6-12歳	69	29.0	23.2	33.3	30.4	23.2	14.5	17.4	4.3	4.3	7.2	4.3
13歳-18歳	21	42.9	14.3	23.8	38.1	33.3	14.3	0.0	0.0	4.8	4.8	4.8
不明	2	100.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 48 あなた（お子さま）は、将来（成人後）、どのように暮らしたいと思いますか。（○は1つ）

将来、生活したいところは、「今の場所で生活したい」が 57.0%、「グループホームなどを利用したい」が 12.8%、「施設に入所して暮らしたい」が 0.7%、「一般の住宅でひとり暮らしをしたい」が 16.1% である。

年齢別にみると、13-18歳では、21人中5人（23.8%）が、「グループホームなどを利用したい」（23.8%）と回答している。

(%)

	今の場所で生活したい	グループホームなどを利用したい	施設に入所して暮らしたい	一般の住宅でひとり暮らしをしたい	その他	無回答
TOTAL (n=149)	57.0	12.8	0.7	16.1	4.7	8.7
0-5歳 (n=57)	57.9	5.3		22.8	1.8	12.3
6-12歳 (n=69)	59.4	15.9	1.4	10.1	7.2	5.8
13-18歳 (n=21)	42.9	23.8		19.0	4.8	9.5
無回答 (n=2)	100.0					

※0.0 は非表示

問 49 成年後見制度とは、知的障害や精神障害などの理由により、判断能力が十分でない方の財産などの権利を守る制度です。お子さまのご家族（介護やお世話をしている方）は、成年後見制度について知っていますか。（○は1つ）

成年後見制度について、「名前も内容も知っている」人は 32.9%、「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」人は 41.6% である。22.1%の人が「名前も内容も知らない」と回答している。

(%)

	名前も内容も知らない	名前を聞いたことはあるが、内容は知らない	名前も内容も知っている	無回答
TOTAL (n=149)	22.1	41.6	32.9	3.4

問 50 お子さまのご家族（介護やお世話をしている方）は、お子さまのために成年後見制度を活用したいと思いますか。（○は1つ）

成年後見制度を「今は必要ないが、将来必要になったら活用したい」と考える人は 64.4% である。

(%)

	すでに活用している	今は必要ないが、将来必要になったら活用したい	活用したいとは思わない	わからない	無回答
TOTAL (n=149)		64.4	8.1	24.2	3.4

※0.0 は非表示

**(6) 通園・通学等について**

《 問 18～問 24 は、幼稚園や保育園、学校などに通っている人にお聞きします。 》

問 18 お子さまが通っているのは次のうちどれですか。(○は1つ)

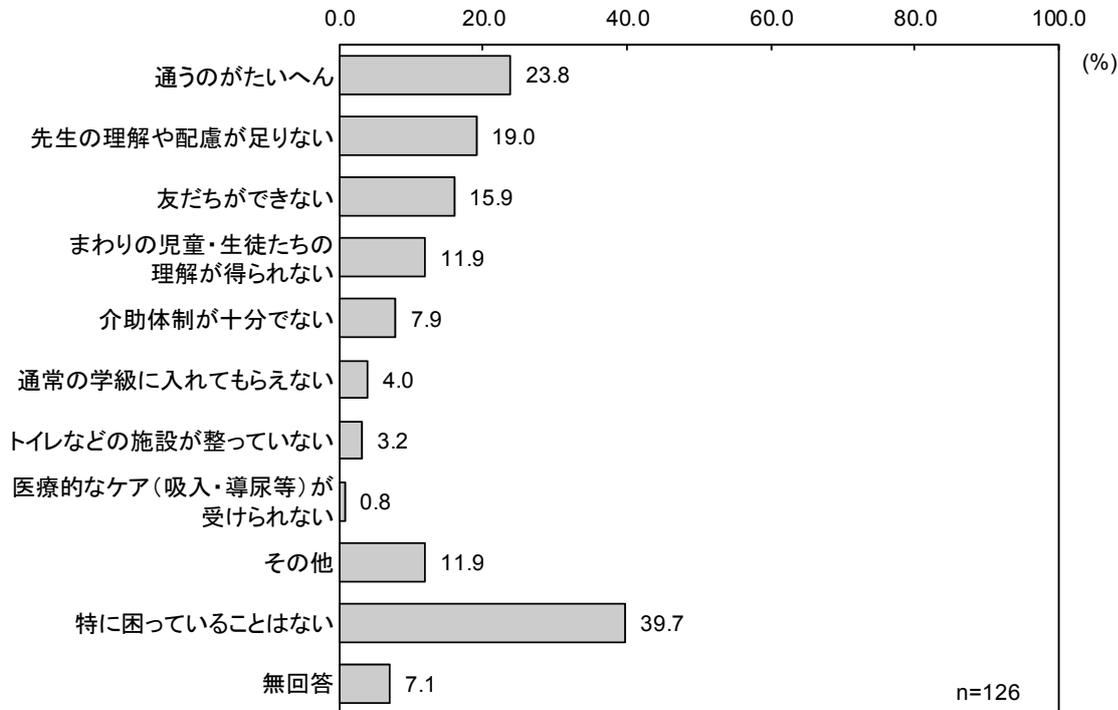
「幼稚園、保育園」が 36.5%、「小学校、中学校、高校（通常の学級）」が 8.7%、「小学校、中学校（通常の学級のほか通級指導学級または特別支援教室を利用）」が 6.3%、「小学校、中学校、高校（固定制の特別支援学級）」が 19.0%、「小学校、中学校、高校（特別支援学校）」が 24.6%である。

(%)

n=		幼稚園、 保育園	小学校、 中学校、 高校(通 常の学 級)	小学校、 中学校 (通常 の学級 のほか 通級指 導学級 または 特別支 援教室 を利用)	小学校、 中学校、 高校(固 定制の 特別支 援学級)	小学校、 中学校、 高校(特 別支援 学校)	大学、専 門学校	その他	無回答
TOTAL	126	36.5	8.7	6.3	19.0	24.6	0.0	1.6	3.2
0-5 歳	44	93.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	2.3
6-12 歳	60	6.7	15.0	10.0	35.0	28.3	0.0	0.0	5.0
13-18 歳	20	0.0	10.0	5.0	15.0	70.0	0.0	0.0	0.0
無回答	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 19 幼稚園・学校などに通っていて困っていることはありますか。(○はいくつでも)

39.7%が「特に困っていることはない」と回答しているが、学校生活で困っていることとして、23.8%が「通うのがたいへん」と回答しており、最も高い。次いで、「先生の理解や配慮が足りない」(19.0%)、「友だちができない」(15.9%)と続いている。「その他」(11.9%)として、「話を理解してスムーズに行動できない」、「本人の生活リズム(安定していない)と学校行事、学校生活がおりあわない日が多い」、「コミュニケーション、動作の遅さ、絵や字を書くこと」などの記述があった。



問 20 お子さま、またご家族(介護やお世話をしている方)は、学童クラブを利用していますか。(○は1つ)

<回答対象者: 6歳以上12歳以下>

学童クラブを「利用している」が20.8%、「利用していない」が75.5%である。



※0.0は非表示

< II 6 児童調査 >

問 21 学童クラブの利用について、困ることはありますか。(○はいくつでも)

<回答対象者：6歳以上12歳以下の学童クラブ利用者>

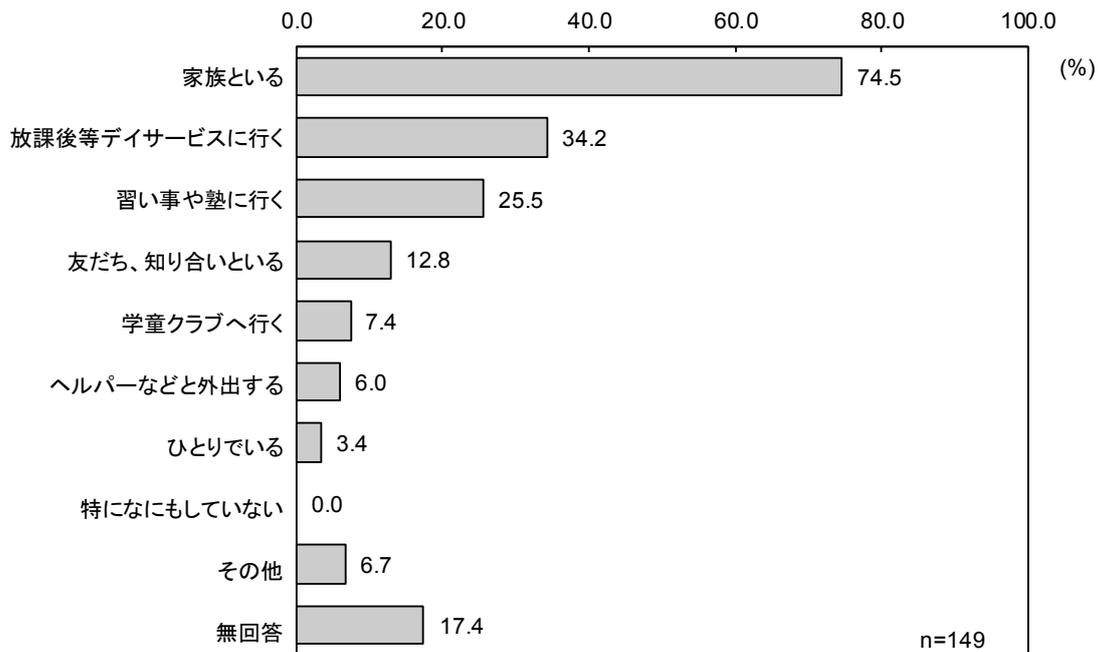
学童クラブの利用で困っていることとしては、「終わりが遅くとも午後6時までと限られる」、「学校休業日は、始まりが午前8時30分からと限られる」がそれぞれ18.2%である。「その他」(36.4%)として、「長期休暇の午前中のみ利用したいが、入れる保証が無い。おやつを食べないのにおやつ代を支払わなければならない。」、「先生達の理解や配慮が足りない。」などの記述があった。

(%)

n=	終わりが遅くとも午後6時までと限られる	学校休業日は、始まりが午前8時30分からと限られる	土曜日の利用には条件がある	費用が高い	その他	無回答
11	18.2	18.2	0.0	0.0	36.4	45.5

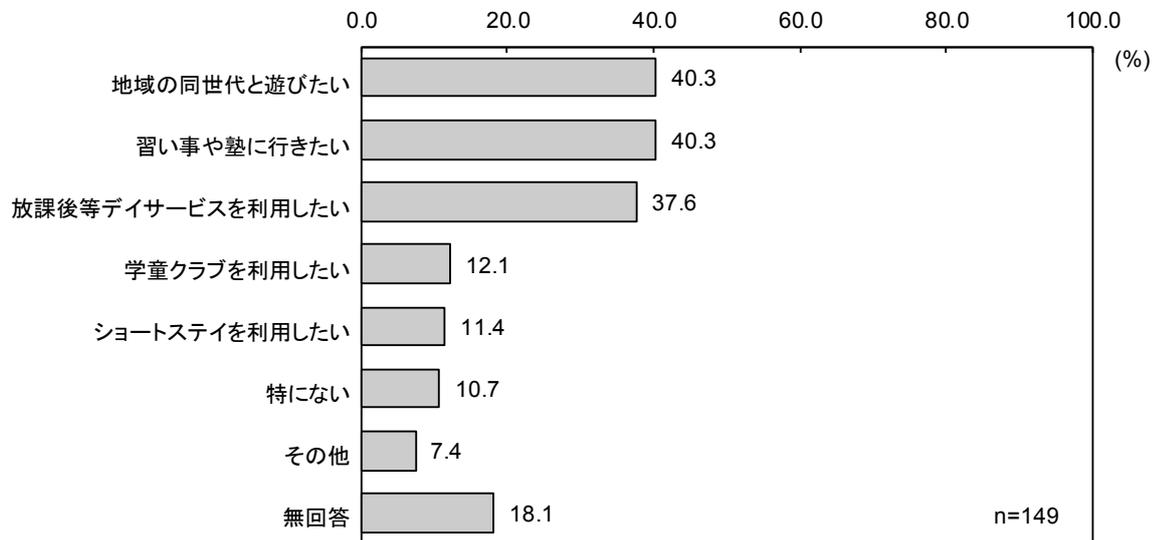
問 22 お子さまは、放課後や長期休暇中（夏休み）など、幼稚園や保育園、学校などにいる以外の時間は、どのように過ごしていますか。(○はいくつでも)

放課後や長期休暇中の過ごし方は、「家族といる」が74.5%で最も高く、次いで「放課後等デイサービスに行く」(34.2%)、「習い事や塾に行く」(25.5%)と続いている。



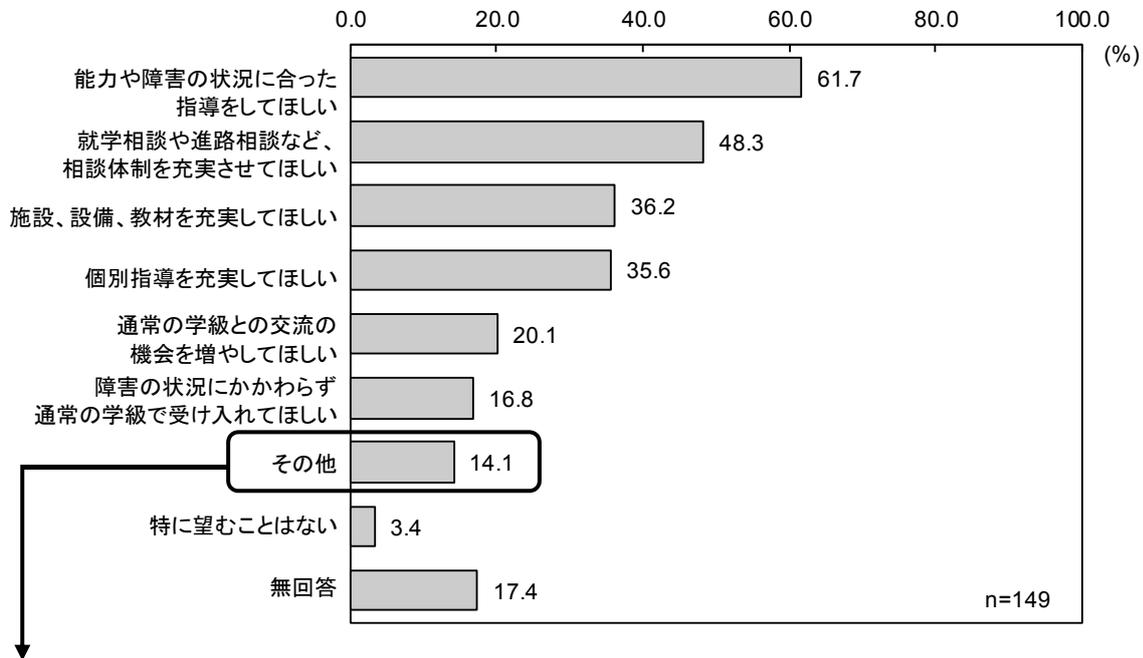
問 23 放課後や長期休暇中（夏休み）など、幼稚園や保育園、学校などにいる以外の時間は、どのように過ごすことを希望していますか。（○はいくつでも）

希望する放課後や長期休暇中の過ごし方としては、「地域の同世代と遊びたい」、「習い事や塾に行きたい」がそれぞれ 40.3%で最も高く、次いで、「放課後等デイサービスを利用したい」が 37.6%で続いている。



問 24 ご家族（介護やお世話をしている方）として、学校教育に望むことはどのようなことですか。（〇はいくつでも）

学校教育に望むこととして、「能力や障害の状況に合った指導をしてほしい」が 61.7%で最も高く、次いで、「就学相談や進路相談など、相談体制を充実させてほしい」（48.3%）、「施設、設備、教材を充実してほしい」が 36.2%で続く。



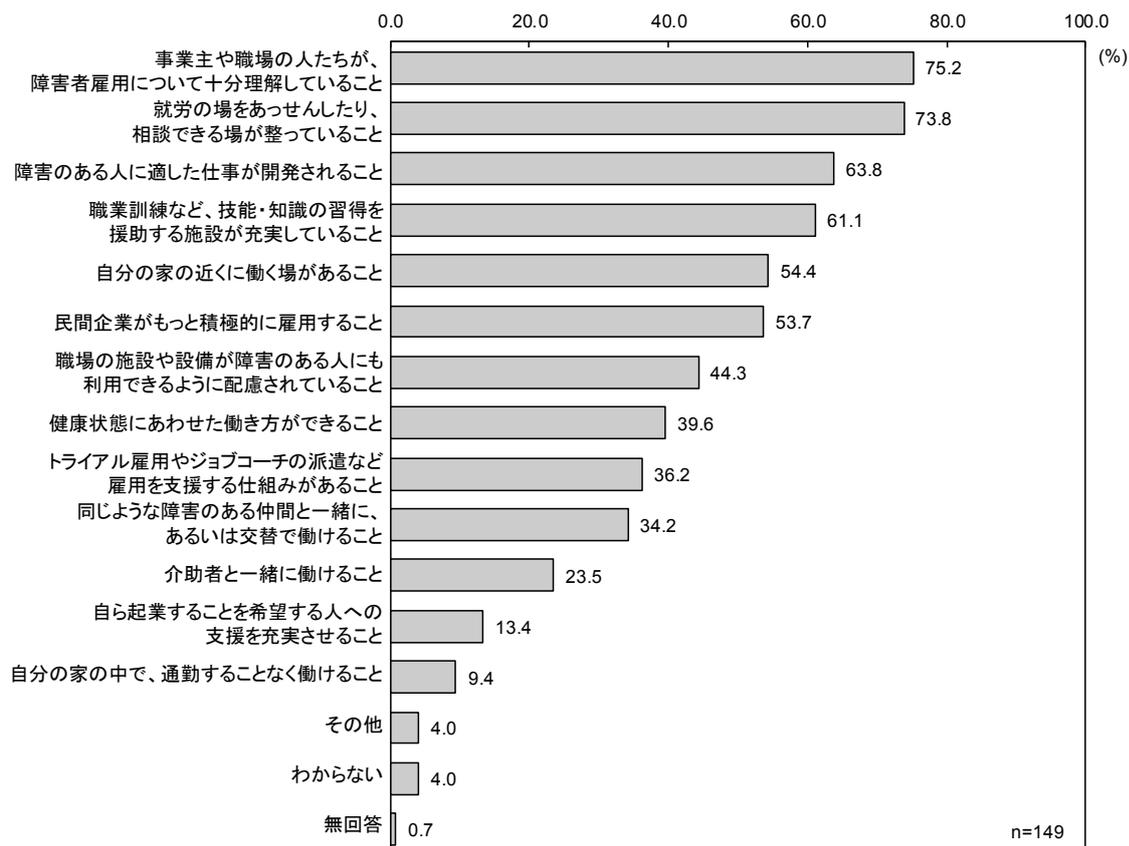
「その他」（14.1%）として、以下のような記述があった。

- ・ カリキュラムを重視するのではなく、個々のレベルにあった学ぶ力を伸ばして欲しい。（女性・6歳・愛の手帳（療育手帳））
- ・ 個々に合わせた指導、柔軟な対応（男性・6歳・発達障害との診断有）
- ・ 先生の支援能力をあげ、障害を勉強してほしい。（男性・14歳・愛の手帳（療育手帳））
- ・ 多様な障害について、健常者の他の生徒に理解してもらおう機会を作ってもらいたい。（男性・3歳・身体障害者手帳）
- ・ 肢体の子も通級に通える設備や支援を整えてほしい、作ってほしい。（男性・6歳・身体障害者手帳）
- ・ 親との連携をもっと取って欲しい。親と一緒に、共通目標を持ってやっていきたい。（個別支援計画の充実）（女性・8歳・愛の手帳（療育手帳）、発達障害との診断有）

**(7) 雇用・就労について**

問 25 ご家族（介護やお世話をしている方）として、お子さまが今後社会に出たときに、働くためにはどのような環境が整っていることが大切だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

障害のある人が働くために整っていることが大切と思うこととして、「事業主や職場の人たちが、障害者雇用について十分理解していること」が 75.2%で最も高く、次いで「就労の場をあっせんしたり、相談できる場が整っていること」が 73.8%、「障害のある人に適した仕事が開発されること」が 63.8%で続く。

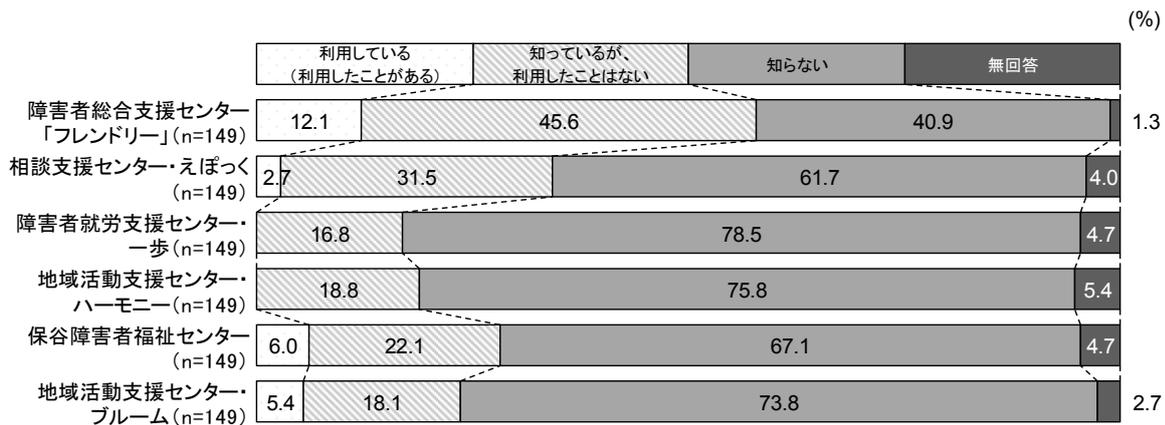


**(8) 障害者施設・施策について**

問 26 お子さま、またはご家族（介護やお世話をしている方）は、西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。（○は1つ）

問 27 お子さま、またはご家族（介護やお世話をしている方）は、西東京市にある次の施設を利用したことがありますか。また、知っていますか。（○は1つ）

市内施設を利用したことがある人は、障害者総合支援センター「フレンドリー」が 12.1%、相談支援センター・えぼっくが 2.7%、保谷障害者福祉センターが 6.0%、地域活動支援センター・ブルームが 5.4%である。「知っているが、利用したことがない」施設として、障害者就労支援センター・一歩が 16.8%、地域活動支援センター・ハーモニーが 18.8%である。



※0.0 は非表示

問 28 お子さま、またはご家族（介護やお世話をしている方）は、次の講座や事業等を知っていますか。（○はいくつでも）

市開催の講座や事業等の認知状況は、以下の通りである。

(%)

n=	サポーター 養成講座	ヘルプカード	スポーツ 支援事業	障害者 水泳教室	講座や事業等 は知らない	無回答
149	28.2	64.4	18.1	33.6	28.2	3.4

**(9) 相談や情報入手方法**

問 29 お子さま、またご家族（介護やお世話をしている方）は、悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親せき以外に、どのようなところに相談していますか。（○はいくつでも）

家族や親せき以外の相談先としては、「幼稚園・保育園・学校の先生や職場の仲間」をあげる人が61.7%と最も高く、次いで「病院・診療所」（48.3%）、「友人・知人」（47.7%）と続いている。一方で、2.7%が「相談できるところは特にない」と回答している。「その他」（26.2%）として、「発達支援センター」、「同じ病気の親の会」、「療育センター」、「訪問看護師」、「放課後デイサービスの職員の方」などの記述があった。

(%)

n=	幼稚園・保育園・学校の先生や職場の仲間	病院・診療所	友人・知人	市役所の福祉相談窓口	福祉施設や作業所の職員	地域活動支援センター・ブルーム	児童相談所	保健師	障害者団体	相談支援センター・えぼっく
149	61.7	48.3	47.7	16.1	8.7	4.0	4.0	3.4	3.4	2.7
	保谷障害者福祉センター	生活保護の担当職員	障害者就労支援センター・一歩	地域活動支援センター・ハートモニー	民生委員・児童委員	社会福祉協議会の職員	その他	誰かに相談することはまれである	相談できるところは特にない	無回答
	1.3	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	26.2	8.1	2.7	1.3

問 30 相談できるところは特にないと回答した理由は何ですか。（○はいくつでも）

<回答対象者：「相談できるところは特にない」と回答した人>

「相談できるところは特にない」と回答した4人のうち2人は、「どこに相談したらよいかわからないから」（50.0%）と回答している。

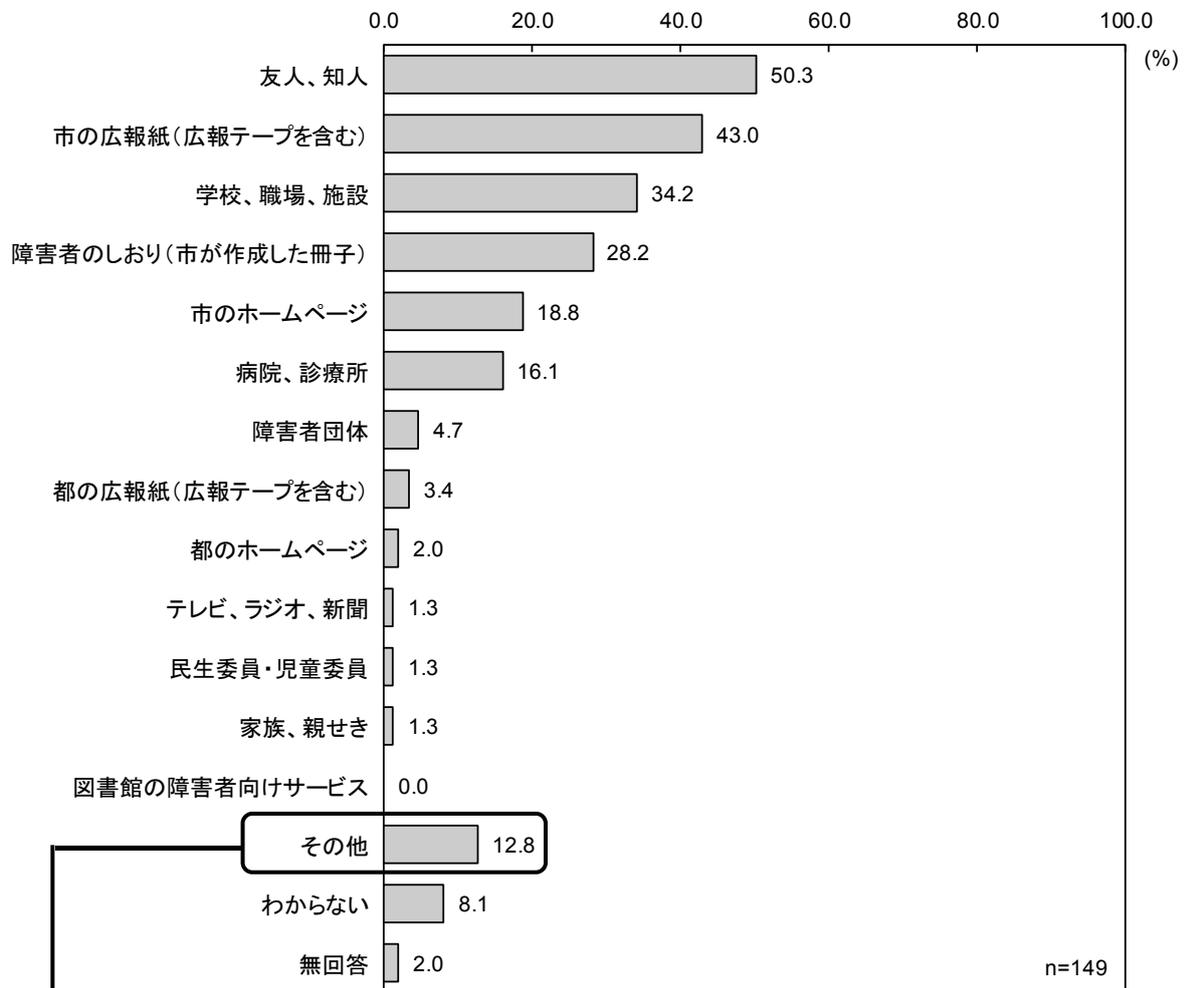
(%)

n=	相談するほどでもない・必要がない	相談したくないから	どこに相談したらよいかわからないから	その他
4	25.0	0.0	50.0	25.0

< II 6 児童調査 >

問 31 お子さま、またご家族（介護やお世話をしている方）は、障害福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。（○はいくつでも）

情報の入手先として、「友人・知人」が50.3%で最も高く、次いで、「市の広報紙（広報テープを含む）」（43.0%）、「学校、職場、施設」（34.2%）と続いている。情報入手先が「わからない」と回答した人は8.1%である。

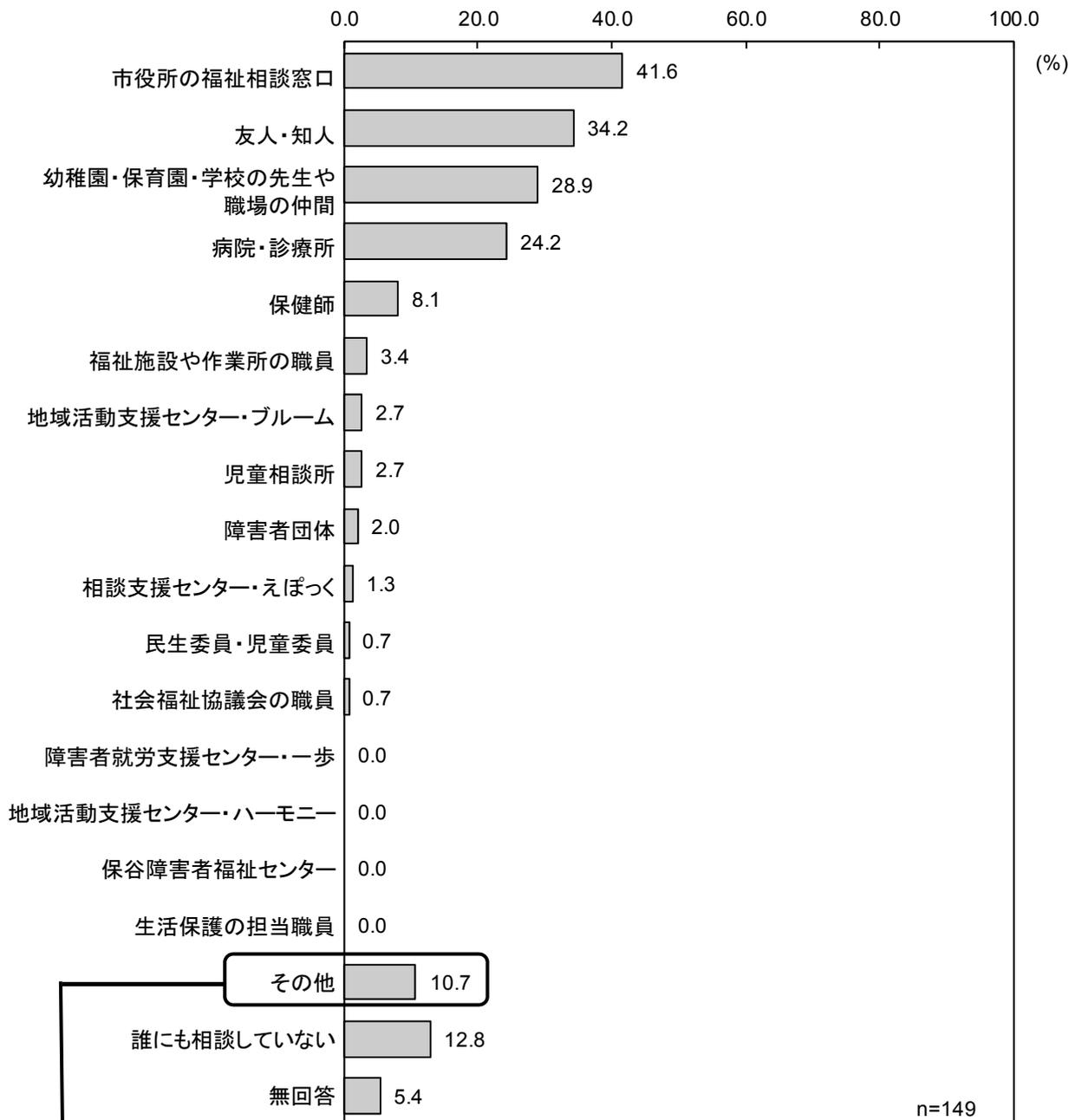


「その他」（12.8%）として、以下のような記述があった。

- ・ 事業所のホームページ
- ・ 相談支援員
- ・ 発達支援センター
- ・ 放課後デイサービス
- ・ 育児相談
- ・ 保健師
- ・ 同じ病気の親

問 32 ご家族（介護やお世話をしている方）は、障害福祉サービスを利用するときにごなたかに相談しましたか。（○はいくつでも）

障害福祉サービスを利用する際の相談先として、「市の福祉相談窓口」が41.6%で最も高く、次いで、「友人・知人」（34.2%）、「幼稚園・保育園・学校の先生や職場の仲間」（28.9%）と続いている。「誰にも相談していない」と回答した人は12.8%である。



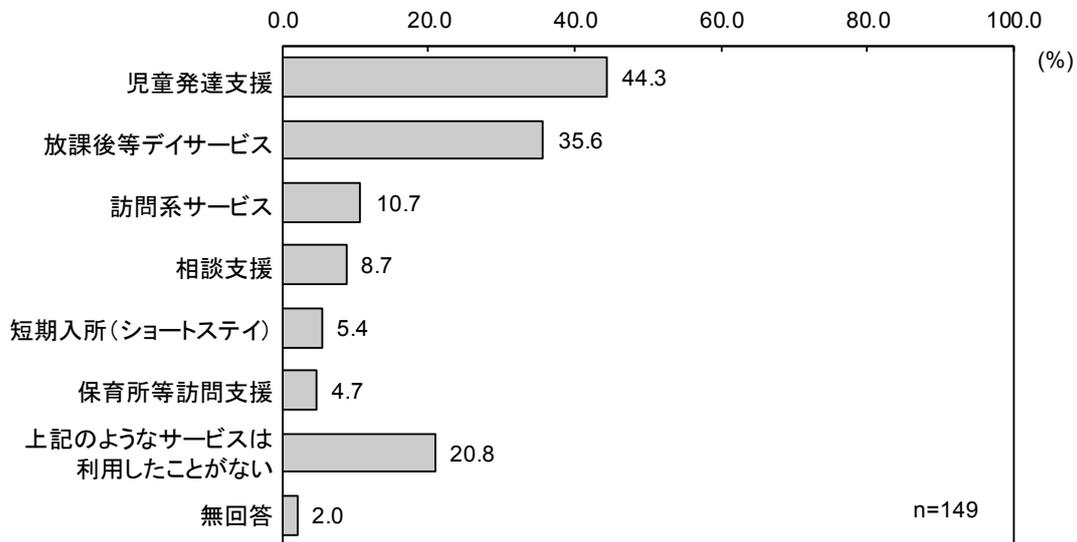
「その他」（12.8%）として、以下のような記述があった。

- ・ ひいらぎ
- ・ 訪問看護師
- ・ 市の子供相談
- ・ みらい
- ・ ヘルパー
- ・ 3才児健診

**(10) 福祉サービス認知・利用状況**

問 33 お子さま、またご家族（介護やお世話をしている方）は、次のような障害福祉サービスを過去 1 年の間に利用したことがありますか。利用したことがあるサービスに○をつけてください。（○はいくつでも）

以下の障害福祉サービスのうち、過去 1 年間の利用経験が最も高いのは、「児童発達支援」で 44.3% である。次いで、「放課後等デイサービス」（35.6%）、「訪問系サービス」（10.7%）が続く。



【児童発達支援を利用した方にお聞きします】

問 33（付問）児童発達支援において作成される「個別支援計画」は、保育園にも共有されていると思いますか。（○は1つ）

<回答対象者：児童発達支援利用経験者>

28.8%が保育園に「共有されている」と思うと回答している。

(%)

n=	共有されている	共有されていない	わからない	保育園は利用していない	無回答
66	28.8	4.5	24.2	37.9	4.5

問 34 サービスに対する、感想やご意見があれば自由にご記入ください。（自由記述）

※サービス名、利用の際に困っていること、サービス利用で改善してほしい点など。

<回答対象者：何らかの障害福祉サービス利用経験者>

**■移動支援**

- ・ 移動支援事業の時間数が足りない感じになるので、もっと増えるといいと思います。（男性・15歳・訪問系サービス、放課後等デイサービス）
- ・ 移動支援の一覧を市役所からもらい、自力で問い合わせをしたけど、半分以上の事業所が様々な理由で断られました。表向きはやっているけど、実はやっていないという所を調べて欲しいです。（女性・6歳・児童発達支援、放課後等デイサービス）

■就学以降の支援

- ・ 就学以降の発達支援が、両親共働きで平日休めなくても受けられるようになる则有難いです。(男性・4歳・児童発達支援、保育所等訪問支援)
- ・ 月に2度ひいらぎで訓練を受け、色々な事ができるようになっているので就学後も通えたらいいのと思います。(男性・5歳・児童発達支援)
- ・ 就学を機に区分が変わりそれまでに利用していたところでの子供の状態や今後の支援がぷつりと切れてしまった。就学後は学校が療育機関であるとされるが十分とは感じられない。(男性・7歳・児童発達支援)

■放課後等デイサービス

- ・ 学校への送迎が、始業終業前後でいつもより早く終ると、他校児の迎えの兼ね合いで対応できないと言われた。送りも、他児ルートの兼ね合いで家から徒歩7～8分もかかる場所まで親に迎えが必要で、時間も遅かった。(女性・7歳・放課後等デイサービス)
- ・ 悩んでいる母を追いつめるような物言いをしないでほしい。もっと専門性を高めてほしい。(女性・7歳・相談支援、放課後等デイサービス)
- ・ 長期休みの間、時間が11:00～17:00なのだが、もっと早くから預りをしてほしい時に困る。(男性・6歳・放課後等デイサービス)
- ・ 放課後デイサービスのスタッフ、内容の質の向上を希望します。障害者をよく理解していないスタッフの対応により子らが不安定になり、家庭に影響を与えます。(男性・15歳・放課後等デイサービス)
- ・ 利用にあたり、事業者ごとの特徴を比べるのが大変だった。各事業者が一同に会して、説明をいただいたり、契約をしたり出来るとありがたい。(女性・6歳・児童発達支援、放課後等デイサービス)

■ヘルパーの不足

- ・ ヘルパーが見つからない。ステーションとつながってもスタッフが足りない。突然、利用せざるを得ない短期入所がむずかしい。(男性・9歳・訪問系サービス、短期入所(ショートステイ))
- ・ ヘルパーの外出援助をいつでも気軽に活用できることを望みます。(男性・15歳・訪問系サービス)
- ・ 医ケアに対応できるヘルパーステーション、ヘルパーが少ない。(男性・8歳・訪問系サービス、短期入所(ショートステイ)、相談支援、放課後等デイサービス)

■情報提供・相談体制

- ・ 児童発達支援のスタッフからもっと積極的に情報を投げかけて欲しいです。(男性・5歳・児童発達支援)
- ・ 発達支援の先生と幼稚園の先生、そこに親も入った意見交換の場があったら、両方の様子や意見などいろいろな話しができて助かると思う。(男性・5歳・児童発達支援)
- ・ 「ひいらぎ」を利用。生活の中のちょっとしたアドバイスを先生に相談したいが、個別の時間は難しい活動見学中に相談できると嬉しい。(女性・4歳・児童発達支援)
- ・ 支援先の指導や保護者の悩みや相談への姿勢が業務的に感じる。親のしつけを問われているような事もあり、常にプレッシャーを感じる事がある。各家庭の生活レベル、親の能力が違うことを理解し、親身になって相談に応じてもらいたい。(男性・5歳・児童発達支援)

## < II 6 児童調査 >

### ■手続きに関すること

- ・ 誰が見てもわかるような書類の形式を作ってください。サービス利用は初めて知るものが多く、知人・友人が利用したという情報からが殆どです。説明会など定期的に行っていただけると有難いです。  
(男性・7歳・児童発達支援、放課後等デイサービス)
- ・ 更新時の手続きを早目に始めたい。(男性・9歳・放課後等デイサービス)

### ■要望・意見

- ・ 個別に学習をみてくれる場所を作ってほしいです。又は家庭教師派遣。民間の発達障害児の塾は(療育機関)授業料が高額すぎます。夏休みなどの長期休みだけでも、学習をみてほしい。(男性・12歳・放課後等デイサービス)
- ・ 並行通園の場合だと、週1回では物足りない(もっと通いたい)気持ちもあります。長期的な休みなど集中的に療育で生活面での再確認を落ちついた時間の中でやって頂けたらうれしいです。(男性・5歳・児童発達支援)
- ・ 手話通訳。待ち合わせるその時迄相手の人が「だれ」なのか分からない時が多い。(女性・15歳・訪問系サービス)
- ・ 家族が安心してお願いできるショートステイがない。(てんかん発作が多く、また生活リズムが不安定だが、しっかり眠らなければ発作は増大する。)(女性・14歳・訪問系サービス、相談支援、放課後等デイサービス)
- ・ 市内に就労訓練を行えるデイサービスが欲しい。(男性・9歳・放課後等デイサービス)
- ・ 長期休業中は事業所によって営業時間が異なる。午後からしか利用出来ない所は、家族の負担が大きい。長期休業は午前から利用できるよう働きかけてほしい。(男性・12歳・放課後等デイサービス)
- ・ 児童発達支援の先生方もとても親身に優しく、子供だけではなく親の方もフォローして下さっている様に感じています。感謝しかありません。(男性・4歳・児童発達支援)
- ・ 現在週1回ひらぎに通っていますが、本当にこのような場があってよかったと思っています。私(母)も子どもも心のよりどころにしています。もう少し利用時間が長かったらいいな、と思います。(男性・3歳・児童発達支援)

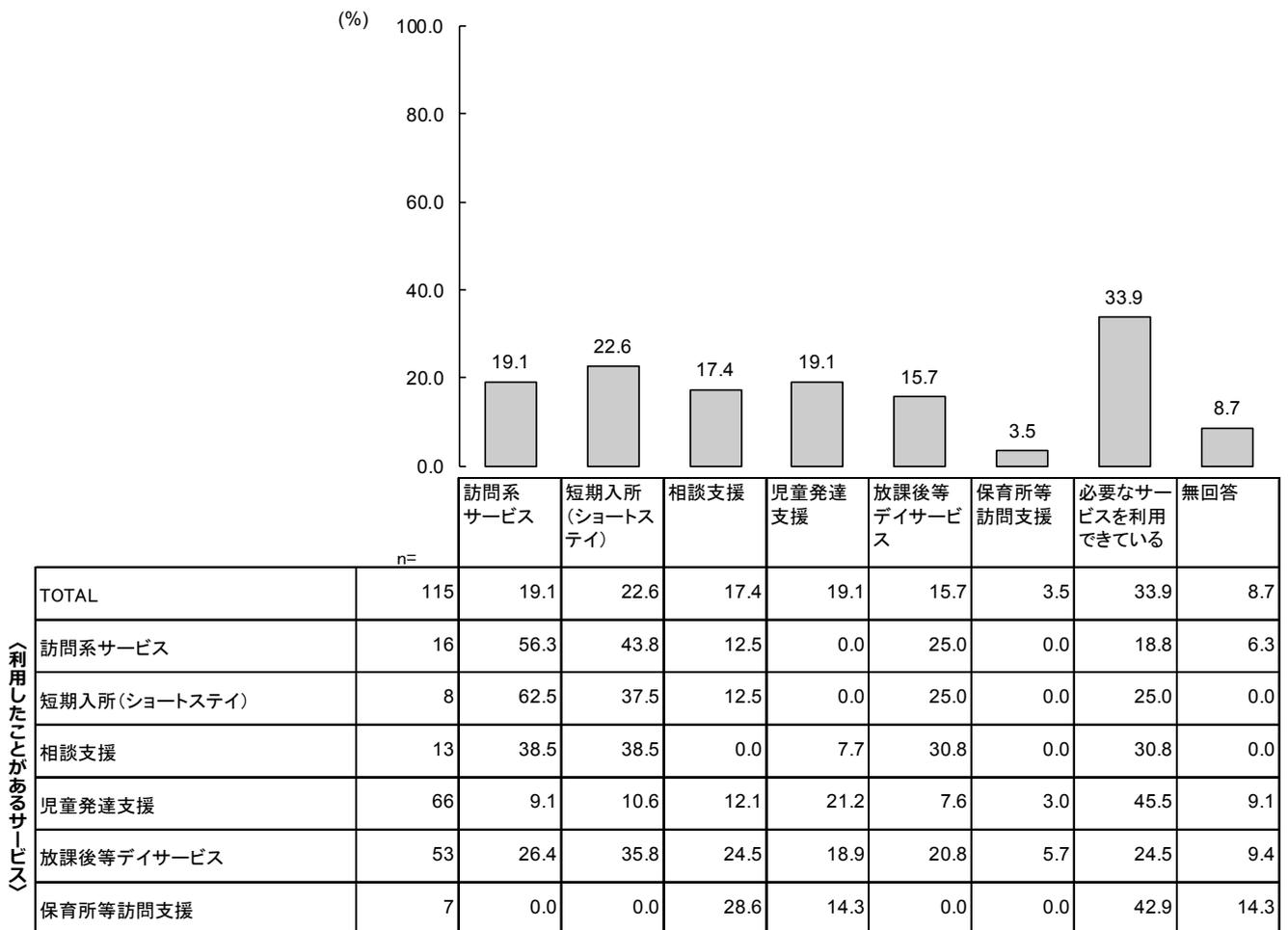
問 35 お子さま、またご家族（介護やお世話をしている方）が、「十分利用できていない」と思うサービスはどのサービスですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

<回答対象者：何らかの障害福祉サービス利用経験者>

サービス利用経験者の 33.9%が「必要なサービスを利用できている」と回答しているが、「十分利用できていない」と思うサービスでは、「短期入所（ショートステイ）」が 22.6%で最も高く、次いで、「訪問系サービス」、「児童発達支援」をあげる人がそれぞれ 19.1%いる。

利用したことがあるサービス別に十分利用できていないサービスをみると、訪問系サービス利用者の 43.8%、放課後等デイサービス利用者の 35.8%の人が「短期入所（ショートステイ）」をあげている。

<利用したことがあるサービス別・十分利用できていないサービス>



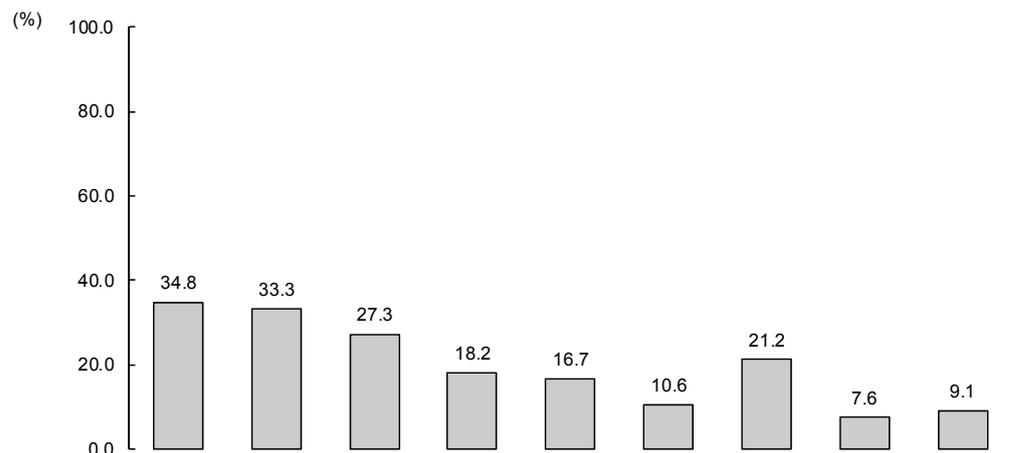
問 36 必要だと思うサービスを、十分、利用できていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

<回答対象者：障害福祉サービスを十分利用できていないと感じている人>

利用サービスを「十分利用できていない」と感じている人に、理由をたずねたところ、「自分が利用したい時間や時期とあわないから」が 34.8%で最も高く、次いで、「サービス利用に予約が必要で、いつも予約がいっぱいだから」(33.3%)、「使いたいサービスの定員がいっぱいだから」(27.3%)が続く。「その他」(21.2%)として、「どのように利用できるのか、システムがよく分からないから」、「障害の程度が低いから利用できない、と断られたから。」、「事業所を探して契約して、申し込みという流れに時間がかかるのと、事前の申し込みが必要なので、急な用事で使いたい時に使えない為」、「適した場(事業所)がない。」などの記述があった。

十分利用できていないと思うサービス別にみると、「自分が利用したい時間や時期とあわないから」との回答は、短期入所(ショートステイ)で 42.3%、相談支援で 45.0%、放課後等デイサービスで 55.6%である。「サービス利用に予約が必要で、いつも予約がいっぱいだから」との回答は、短期入所(ショートステイ)で 57.7%、相談支援で 50.0%である。

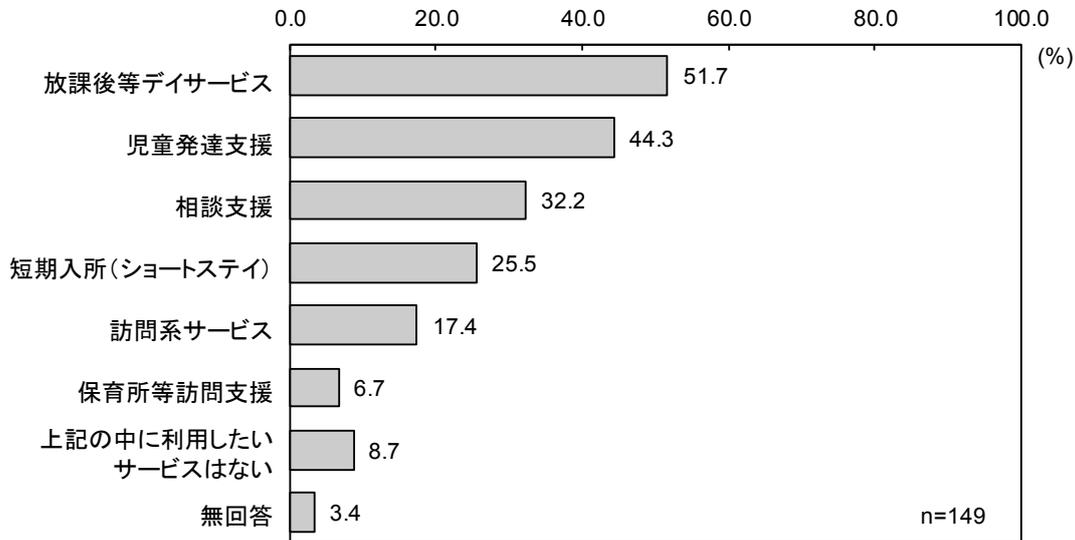
<十分利用できていないと思うサービス別・十分利用できていない理由>



十分利用できていないと思うサービス	n=	理由 (%)								
		自分が利用したい時間や時期とあわないから	サービス利用に予約が必要で、いつも予約がいっぱいだから	使いたいサービスの定員がいっぱいだから	通うのが大変だから	支給量が足りないから	自己負担が大きく、利用できないから	その他	わからない	無回答
TOTAL	66	34.8	33.3	27.3	18.2	16.7	10.6	21.2	7.6	9.1
訪問系サービス	22	31.8	36.4	27.3	9.1	22.7	9.1	31.8	9.1	0.0
短期入所(ショートステイ)	26	42.3	57.7	42.3	11.5	19.2	11.5	26.9	3.8	3.8
相談支援	20	45.0	50.0	30.0	15.0	5.0	25.0	25.0	10.0	5.0
児童発達支援	22	22.7	18.2	31.8	31.8	18.2	13.6	22.7	4.5	13.6
放課後等デイサービス	18	55.6	38.9	44.4	27.8	27.8	16.7	22.2	5.6	5.6
保育所等訪問支援	4	25.0	25.0	50.0	25.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0

問 37 お子さま、またご家族（介護やお世話をしている方）は、今後、どのようなサービスを引き続き、あるいは新たに利用したいと思いますか。（○はいいくつでも）

引き続き、あるいは新たに利用したいサービスは、「放課後等デイサービス」が 51.7%、「児童発達支援」が 44.3%、「相談支援」が 32.2%である。



問 38 お子さま、またご家族（介護やお世話をしている方）は、どのような情報提供や相談先が必要ですか。また、サービスを利用するためにあるとよい支援はどのようなものですか。（自由記述）

サービスを利用しやすくするために、必要な情報提供や相談先、利用のための支援として、以下のような記述があった。

**<相談先>**

- ・ 相談窓口を一本化していただきたい。（男性・5歳）
- ・ 総合窓口及び以降のサービスに熟知している方が常駐している場所が必要です。様々なサービスや障害のある人の通っている場所などをつなぎ、円滑なサービスが継続され、その人の幸せにつながるよう方向づける支援が必要です。（女性・6歳）
- ・ 相談支援先の一覧を用意して欲しいです。（男性・13歳）
- ・ 子供の成長にともない、相談内容も変わりやすく、その都度こまめに相談できると良い。（男性・4歳）
- ・ サービスを利用して困った時に相談できる窓口があると良い。（女性・14歳）
- ・ 個性や障害の状況、状態に合った支援、相談の場が欲しいです。どうしても、障害の状態的に、ごく少数なので、ふさわしい場がなかなかみつからず、相談できる方もいません。（女性・14歳）
- ・ 就学してからの相談は学校以外の相談窓口が現状わかりません。（男性・7歳）
- ・ 発達支援センターが欲しいです。ワンストップで、何でも相談できる所です。（男性・7歳）

**<専門知識のある相談員など>**

- ・ 困り事を自分の事として考えてくれる相談員、サービス内容をよく理解している相談員であること。（男性・15歳）
- ・ さまざまなケースに対しての説明ができる相談員。市役所に伺った際、本人の担当者がほしい。（男性・9歳）

## < II 6 児童調査 >

- ・ 個別での支援も大切ですが、家族単位で考えてくれる人が欲しい。相談支援員さんはそれぞれについているものの別の事業所で、兄弟の時間の兼ね合いや大変さなど、伝わりにくい。(男性・8歳)

### <情報について>

- ・ 自閉症の対応などの方法を専門家から聞きたい。(男性・4歳)
- ・ 今は、欲しい情報は自分で探さないと見つかりません。手帳を持っている人に、どんなサービスが受けられるのかを市から発信して欲しい。(男性・4歳)
- ・ どこからも情報が入ってこない。手帳を持っていないため、対象なのかどうか分からない。相談しても具体的な方法やアドバイスがない。本当に困っているところに手が届かない。母子家庭で金銭的にも苦しく協力者がまわりにいない家庭で仕事をしながら子育てする時に必要な支援は充実していない。(女性・6歳)
- ・ 年齢に応じたサービスや事業所を詳しく教えてくれる窓口があると助かります。(男性・8歳)
- ・ どの事業所に頼んだらよいのか、分からない。ヘルパーの数が少なく頼めない。ヘルパーとの相性がよくない時に相談相手がいない。(男性・9歳)
- ・ どんな事業所があるのかわからない。リストを頂いたが住所と電話番号のみで何をしてもらえるのか利用できるのか一軒ずつ電話するしかなく労力が大きい。どこに何を話せば良いのか分からない。(男性・7歳)

### <交流の場>

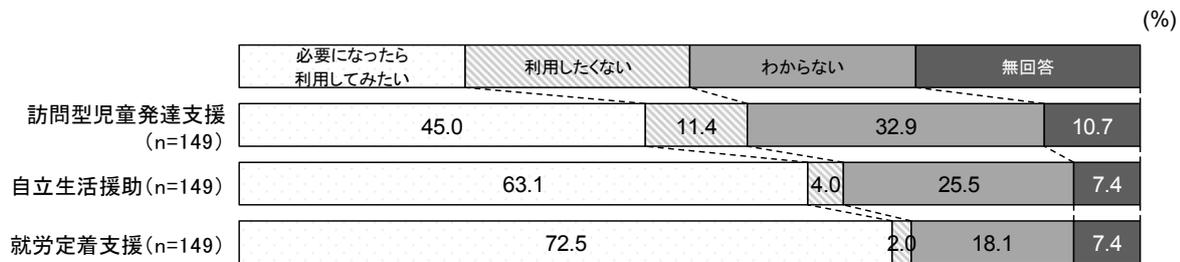
- ・ 保護者も介助で精一杯なため、同じような親同士のつながりをもとう、というところまでなかなか行動できずにいる。情報を共有できる場がほしい。(男性・3歳)
- ・ 特別支援級在籍で放課後等デイサービスを利用しています。特別支援級と放課後等デイサービスとの連絡会のようなものがないように思います。情報共有できればなお良いと思います。(男性・9歳)

### <サービスなど>

- ・ 年長になるので、就学相談やかかりつけ医を探してくれるのを支援して頂けると助かります。(男性・4歳)
- ・ 施設短期入所が少なく予約も何カ月待ちな為、必要な時に利用できるのか不安に感じています。短期入所施設はもう少しあると助かります。(男性・7歳)
- ・ お母さんが外国人なのでこまめなアドバイス。(男性・4歳)
- ・ プール教室や農業体験など健常児向けのもの同様に知的障害者向けのものも設けてほしいです。(男性・5歳)
- ・ 療育を受ける場所が他市などと比べてほとんどないと思う。(男性・6歳)
- ・ 学校の付添い(授業中)にも、福祉サービスとしての介助員制度が使えると良い。(女性・6歳)
- ・ 発達障害児のいわゆるグレーゾーンにいる子供たちに特化したサービスがあるとよいと思います。(スポーツ(団体競技など)の活動や就労をみすえた訓練支援など)(男性・9歳)
- ・ 毎週末の余暇活動として、スポーツ活動できる場所と(障害者スポーツ指導員と、サポートしてくれる方々がいる)、適したクラスがあってほしい。(男性・16歳)
- ・ 個々の状態に合った支給量を頂きたいのが希望です。(男性・15歳)

問 39 障害者総合支援法の改正により、新たに導入される次のようなサービスをお子さま、またご家族（介護やお世話をしている方）は、利用してみたいと思いますか。  
 ※平成 30 年 4 月から創設される予定の新しいサービスです。サービスの詳細は変更する可能性もあります。

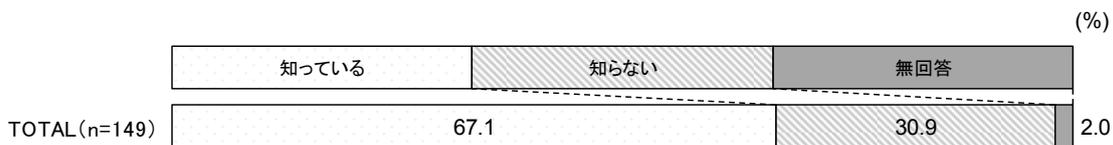
平成 30 年 4 月から導入予定のサービスの利用意向について、「必要になったら利用してみたい」と考えるサービスは、「訪問型児童発達支援」が 45.0%、「自立生活援助」が 63.1%、「就労定着支援」が 72.5%である。



**(11) 災害対策について**

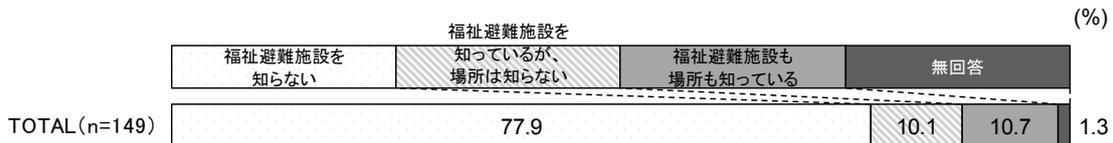
問 40 お子さま、またご家族（介護やお世話をしている方）は、お住まいの地域の避難所を知っていますか。（○は1つ）

地域の避難場所を「知っている」人は 67.1%である。



問 41 福祉避難施設とは、自宅や避難施設で生活している高齢者や障害者の方等に対し、状況に応じて介護等の必要なサービスを提供する社会福祉施設等のことです。西東京市には障害者総合支援センター「フレンドリー」をはじめ、約 30 ヶ所の福祉避難施設があります。あなたは、西東京市にある福祉避難施設を知っていますか。（○は1つ）

福祉避難施設については、77.9%が「知らない」と回答している。「福祉避難施設も場所も知っている」人は 10.7%である。



< II 6 児童調査 >

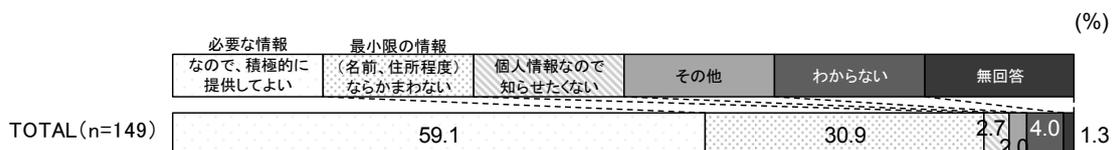
問 42 お子さま、またご家族（介護やお世話をしている方）は、災害時要援護者登録を知っていますか。（○は1つ）

災害時要援護者登録については、89.3%が「知らない」と回答している。



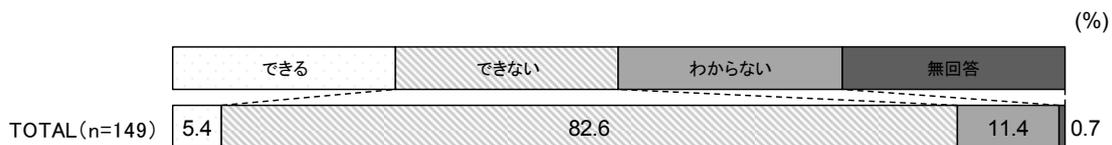
問 43 災害時に行政や地域などから支援を受けるため、あらかじめ個人情報（名前、住所、世帯の状況、障害の状況、緊急連絡先等）を市に提供することについて、どう思いますか。（○は1つ）

災害時の支援を受けるために個人情報を提供することについては、「必要な情報なので、積極的に提供してよい」が 59.1%、「最小限の（名前、住所程度）ならかまわない」が 30.9%である。



問 44 お子さまは、地震や台風などの災害時にひとりで避難できますか。（○は1つ）

災害時にひとりで避難が「できる」人は 5.4%、「できない」人は 82.6%である。



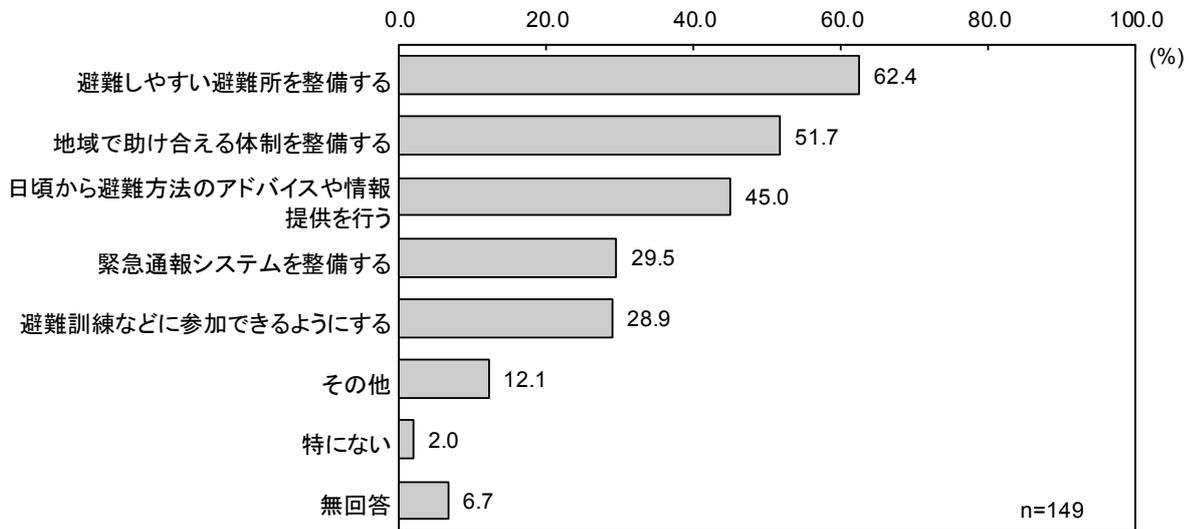
問 45 地震や台風などの災害が起こった際に、お子さま、またご家族（介護やお世話をしている方）の不安は何ですか。（○はいくつでも）

地震や台風などの災害が起こった際の不安としては、「避難先での不安」が 79.9%で最も高く、次いで「避難する際の不安」(64.4%)、「災害の状況が伝わってこない場合の不安」(43.6%)が続く。「その他」(18.1%)として、「パニックになると予想されること」、「医療機器の対応」、「保護者が不在の時に避難できるか」などの記述があった。

n=	災害の状況が伝わってこない場合の不安	避難する際の不安	避難先での不安	その他	特になし	わからない	無回答
149	43.6	64.4	79.9	18.1	2.7	1.3	4.0

問 46 災害に備えて、または災害時に、どのような対策が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

必要な災害対策としては、「避難しやすい避難所を整備する」ことをあげる人が62.4%で最も高い。「その他」(12.1%)として、「災害時や、避難先での聴覚障害者への情報提供」、「絵カードなどで分かりやすく説明する」、「医療関係者を避難先にもうける」などの記述があった。



**(12) 障害・障害者への理解**

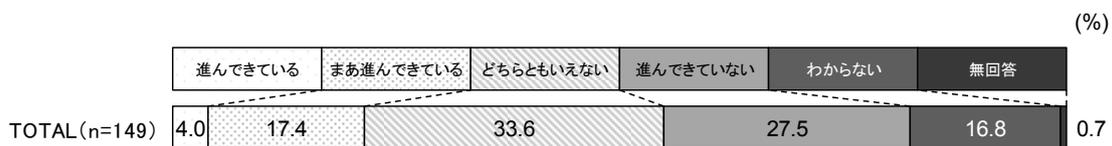
問 51 お子さまやご家族（介護やお世話をしている方）は、お子さまに障害があることで、差別や人権侵害、虐待を受けていると感じることがありますか。（○は1つ）

差別や人権侵害、虐待については、43.0%の人は「ほとんど感じることはない」が、5.4%は「いつも感じる」、39.6%は「たまに感じる」と回答している。



問 52 お子さまやご家族（介護やお世話をしている方）は、障害や障害のある方々に対する市民の理解は進んできていると思いますか。（○は1つ）

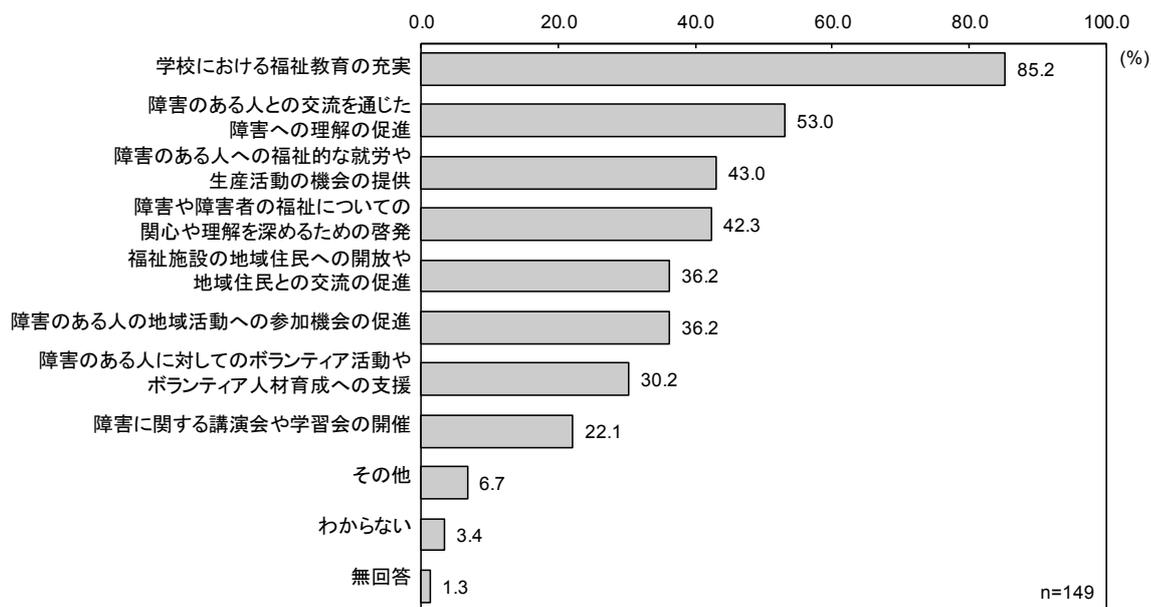
障害や障害のある人に対する市民の理解が「進んできている」と考えている人は4.0%、「まあ進んできている」（17.4%）をあわせると、21.4%の人は市民の理解が進んできていると感じている。一方で、「進んできていない」と考えている人は27.5%である。



《 問 53 から問 59 はご家族（介護やお世話をしている方）の立場でお答えください。》

問 53 障害や障害のある市民への理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

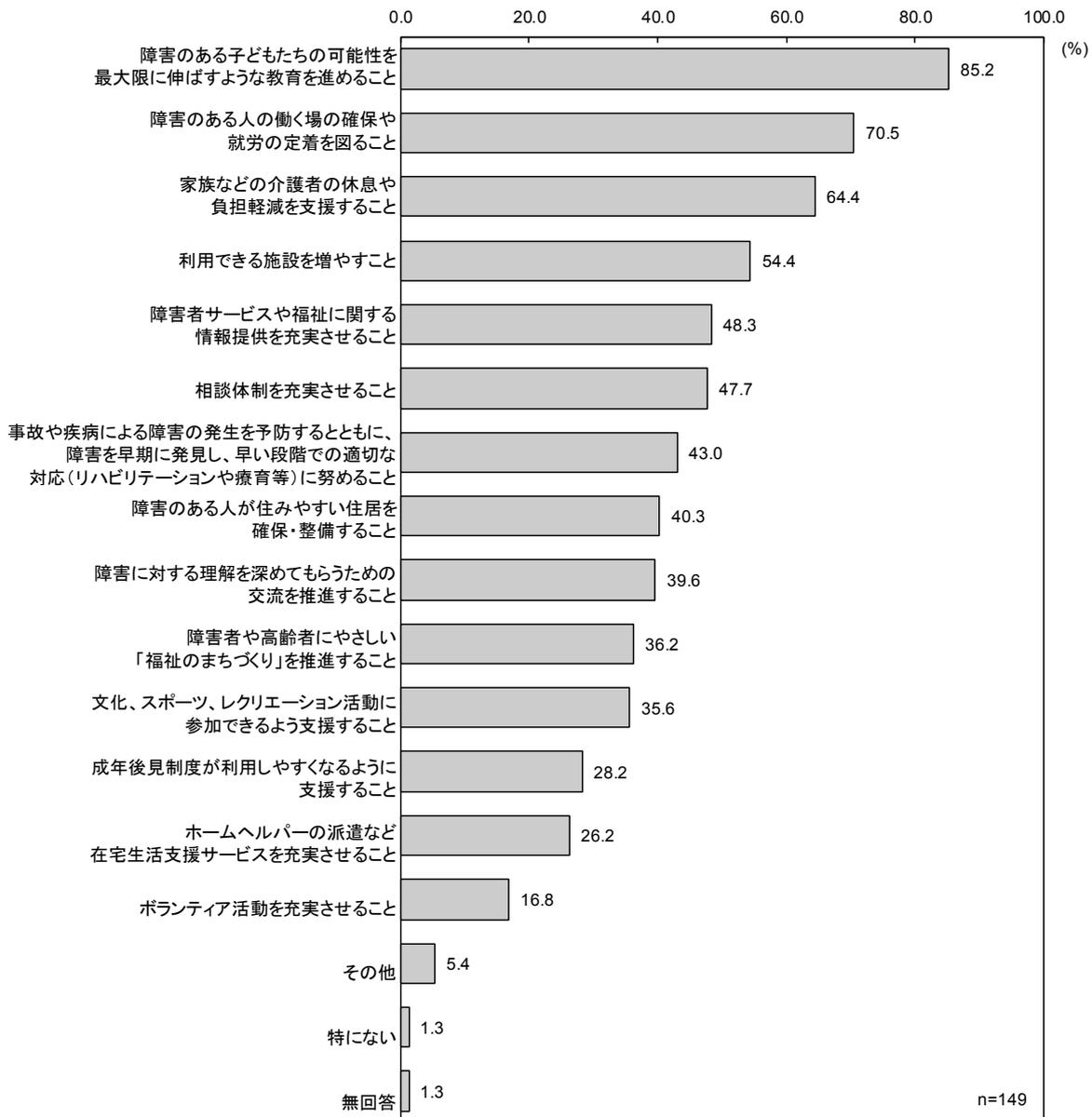
障害や障害のある人への理解に必要なこととして、「学校における福祉教育の充実」が85.2%で最も高く、次いで「障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進」（53.0%）、「障害のある人への福祉的な就労や生産活動の機会の提供」（43.0%）が続いている。



**(13) 障害者施策、市への要望等**

問 54 今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。(〇はいくつでも)

今後、市が充実させていくべき障害者施策としては、「障害のある子どもたちの可能性を最大限に伸ばすような教育を進めること」が 85.2%と最も高く、次いで「障害のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること」が 70.5%、「家族などの介護者の休息や負担軽減を支援すること」が 64.4%で続いている。

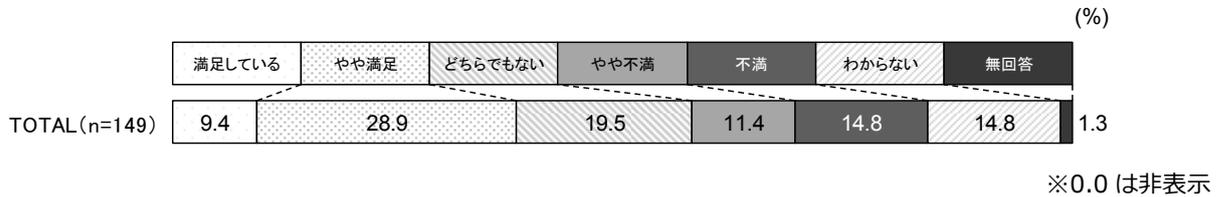


< II 6 児童調査 >

問 55 問 54 のような西東京市の障害者施策全般について、総合的に満足していますか。

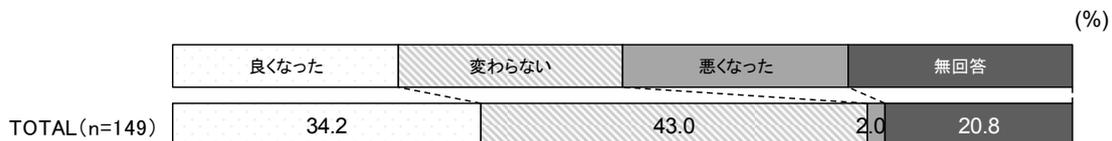
(○は1つ)

西東京市の障害者施策全般について、「満足している」人は9.4%で、「やや満足」(28.9%)とあわせると、38.3%の人は満足していると感じている。



問 56 約5年前(平成24年)と比べて、障害者のサービスはどのように変わったと思いますか。(○は1つ)

5年前(平成24年)と比べて障害者サービスは「変わらない」(43.0%)と感じている人が多いが、「良くなった」が34.2%で「悪くなった」(2.0%)を上回っている。



問 57 そのようにお答えになったのは、どのような理由からですか。(自由記述)

<良くなった>

- ・ 学校にS教室やL教室が設置されたから。(男性・4歳)
- ・ 放課後等デイサービスが利用出来るようになり、家以外での活動の場が増えた。(女性・7歳)
- ・ 息子が生まれた頃には仕事復帰のことを考え、保育園後の進路を悩んでいる時に放課後等デイサービスはほとんどなく、保育園終了に合わせて仕事を辞めなければいけないと考えていましたが、今は沢山の事業所ができ、仕事も続けることができています。(男性・8歳)
- ・ 学校の通学で移動支援が使用できるようになったから。(女性・8歳)
- ・ ファミリーサポートの事業の中でも、障害のある子供たちの事例を取り上げられるようになった。(男性・3歳)

<変わらない>

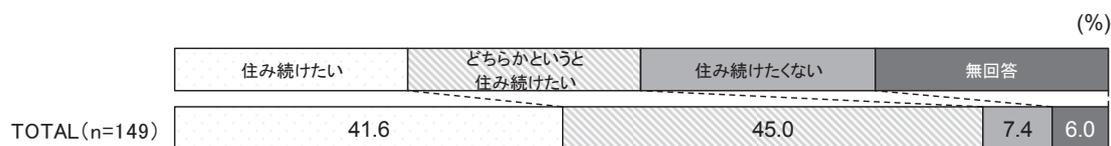
- ・ 不便な所は相変わらずだから。(女性・15歳)
- ・ 良くなったとも悪くなったとも感じない。なにか変化があったのか、不明。(男性・4歳)
- ・ 介護者の疲労度があまり変わっていないと思う。(男性・12歳)
- ・ 障害が軽度だと利用できるサービスが殆んどない。状況はあまり変わっていない。(男性・9歳)

<悪くなった>

- ・ 介助員の支援(配属)が少ない。重度の障害が優先されすぎてしまっている。(女性・6歳)
- ・ 子供の通級が1日でなく放課後だけになってしまうから。(男性・12歳)
- ・ 「知的」も「情緒」の区別もつけられないような人が、教育相談、就学相談にいること自体がおかしいこと。(男性・6歳)

問 58 お子さま、またはご家族（介護やお世話をしている方）は、今後も西東京市に住み続けたいと思いますか。（○は1つ）

41.6%の人が今後も西東京市に「住み続けたい」と回答している。



問 59 最後に、この調査を通じて、選択肢や自由記述欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、自由にお書きください。（自由記述）

調査票の最後に、調査質問選択肢だけでは表現しきれなかったことや意見、要望、計画に盛り込みたいことなどを自由に記入できる欄を設けた。本報告書では紙面の都合上すべてを掲載することはできないが、調査票の設問から浮き彫りにされにくい課題・問題点を中心に、より代表性・具体性のある意見・要望の一部を紹介することとする。

### 情報提供に関すること

- ・ アンケートを通して、市内に利用できそうな福祉施設があることを感じましたが、普通に生活しているだけだと、あまり情報は入って来ないと感じています。（男性・4歳）
- ・ 障害や家族の形、状況によって必要としている支援は違ってくると思います。障害を責められ二次障害になっている娘もいます。教育相談でもきちんと支援を受けられず、進学どころではありません。現在何の支援も受けず私だけの対応で毎日を過ごしています。どこから情報を得るのかわかりません。（女性・6歳）
- ・ 知っているとは非常に助かる制度はこちらからたずねた際、わかりやすく説明できるような部署というサービスがほしい。（男性・9歳）

### 手続きに関すること

- ・ 手続きが複雑で時間も手間もかかりすぎる。施設を使いたいと思っても、仕事をしている親にしてみると、なかなか難しいものがある。（男性・5歳）
- ・ 課・係が分かれているのは仕方ないですが、個人の情報を共有できていないのが困ります。同じ話を何度もしていて、進まない。（男性・6歳）

### 相談に関すること

- ・ 今は幼稚園で、この後小学校に入るときに相談する所が不安。（女性・4歳）
- ・ 相談員の方は、ほんの少し見ただけで本人の進路を決めないで欲しい。偏差値で判断しないで欲しい。障害をお持ちのお子さんをかかえた事がおありの方に相談にのって欲しい。（女性・6歳）

### 各種サービスに関すること

- ・ 他の地域に比べても、大人の通所の施設、支援事業所、ショートステイの事業所などにも偏りがあり、全ての障害のある人が利用しやすい状況とはかけ離れていると思っています。（女性・14歳）
- ・ けやき号を利用していますが、なかなか予約できなかったり、急な対応が難しいのが残念です。また、利用しきれなかった回数を翌月に繰りこせると助かります。（男性・9歳）
- ・ 我が子は知的な遅れはあるがグレーゾーンである為、各サービスの利用にとまどいを感じている。グレーゾーンの子の対応も考えて頂けると助かります。（女性・7歳）

## < II 6 児童調査 >

- ・ 発達障害ではあるのですが、知能が高いので手帳がもらえなかったり、発達障害に対するサポートが不十分です。施設、学習、療育環境を、もっと充実してほしいです。
- ・ デイサービスやショートステイを利用しやすくしてほしい（空きがない）。（男性・12歳）
- ・ 長期休暇中の放デイは、8：00～17：00までやって欲しい。働いている私は朝学童に送ってから通勤。放デイが学童に迎えに来る。当然学童代が掛かり、食べてないおやつ代も支払い、2箇所分ノートの記事、契約、面談、連絡、道具の準備が新たな負担となっている。（女性・7歳）
- ・ 放課後等デイサービスを平日1時間程しか利用しなくても利用料が1万円以上かかる。職員の考えや支援の仕方を押しつけてくる人もいる。良いデイサービス、子供に合うデイサービスを見極めることがむずかしい。（男性・8歳）
- ・ 通っている放課後等デイサービスは、毎月、前日に予約した日に通所するシステムで、直前までどの日どの曜日に通所するか分からず、予定を立てづらい。せめて通所する曜日が固定になると通いやすい。（女性・14歳）
- ・ 短期入所サービスと移動支援を利用しているが、夜間のみのため翌朝迎えが必要になる。発着地のどちらかが自宅でなければならないため、2泊3日の時は中日に早朝迎えに行き、一度自宅に戻るなどしてからまた夕方まで送っていかなくてはならず、非常に不便を感じる。（女性・14歳）
- ・ 今一番困っているのは、移動支援です。西東京市内にない学校（盲学校）に通っているため、送り迎えが大変です。もう少し充実させてもらえるとありがたいです。（男性・6歳）
- ・ 遠くの特別支援学校（通級）へ通うのは大変苦勞があり、移動の負担が軽減されるととても住みやすくなると思います。車のない家庭は障害児のサポートに苦悩、憔悴していることをしてほしいです。（手帳がもらえないラインなので補助がほとんどなく厳しいです。）（男性・5歳）
- ・ 生活の支援等はもう少し自由度があるとよい。利用したいときに利用できるとうい。事業所は営利な部分があると、もうけがないとなると撤退してしまうが、それがないとうい。（男性・7歳）
- ・ 働けない障害者でも居場所を確保してほしい。今でも平日はまだしも、土日だけでも行ける所がない。（男性・7歳）

### **住まい（グループホーム等）に関すること**

- ・ 西東京市で暮らし続けられるようにグループホームを作っていてほしいです。（男性・17歳）

### **各種施設等の整備に関すること**

- ・ 小、中学校の障害者用エレベーター、トイレ等の設備の充実を図っていただきたいです。（男性・5歳）
- ・ 市内に医療ケアを必要とする子どもでも、あずかってもらえる緊急時一時保育の施設もあるとありがたいです。（たとえば家族の急病や冠婚葬祭などの際）（女性・11歳）

### **乳幼児期の対応、療育に関すること**

- ・ 小さいうちからの療育が重要と聞いていますし、もっと1、2歳などの健診で発達障害に気づいてもらえると良かったと思います。発達障害の説明の場などあってもいいと思います。（男性・4歳）

### **教育に関すること**

- ・ 肢体不自由の子も地域の学校に通えるようにしてほしい。車イス使用の子も地域の学校に通わせたいです。（男性・6歳）
- ・ 支援級でも、もっと普通級レベルの勉強をやって欲しい。せめて、同じ教科書を使って欲しい。（難しい方は別として、将来のためです）（女性・6歳）

- ・ 学習面で遅れない情緒支援級の子供に対して、得意なことへの向上機会が作られればと思います。教員もこまかな準備、ご指導をしてくださいますが、個人差もあり、情緒の不安定なクラスの子供達の生活をみながらは大変そうです。学科や、体力のある子に対して特化して、専門的な指導の情報をもち、教員をサポートするようなコーディネーターを配置して下さるといいのと思います。(男性・9歳)
- ・ 高校・大学まで進める様な環境を作ってほしいです。小・中学校は特別支援学級などあるが、高校などはないので。(女性・4歳)
- ・ 支援級を増やし、もっと近くの学校に設置して欲しいです。手帳を取得できないボーダーの子が通常級でもうまくやっていると落ち着いて過ごせるような環境作りをお願いしたいです。(男性・5歳)
- ・ 小学校の通級、支援級に関しては他区、他市よりも充実しているように思えます。(男性・6歳)
- ・ 現在、年中で小学校のことを考えているが、特支級に通わせて良いのか心配。(男性・5歳)

#### **放課後の活動や余暇活動等に関すること**

- ・ 高校卒業後の障害者の居場所、余暇活動の場がないのが現実です。休日に楽しめる場所やイベントなどが近くにあると良いと思います。(男性・15歳)
- ・ 障害児が参加できる市のスポーツ教室は小学生対象のクラスしかなく、一般市民と同様に、中、高、大人になってもスポーツやレクリエーションなどに参加する機会を与えてほしい。(男性・9歳)
- ・ 小学生が通える障害者水泳教室をやってほしい。保谷スポーツセンターは遠いので田無駅周辺で。(男性・8歳)

#### **雇用・就労に関すること**

- ・ 市内で、障害者雇用をする職場(会社)を増やして欲しいです。ジョブコーチの育成・配置などもぜひ考えてください。(男性・15歳)
- ・ 障害があることで就労に制限、就職に不利にならないか不安。子供の病気が悪化してしまう不安。将来が不安です。一人でも生きていけるのか不安。(男性・7歳)

#### **防災・防犯等、緊急時の対策に関すること**

- ・ 避難所は、他の方にも迷惑になってしまったりする事があります。東日本大震災の時も障がい者の方が大変だったとききました。そんな事にならないように障がい者のみで避難できる場所を作ってほしいです。(男性・12歳)

#### **理解や権利擁護、差別・人権侵害等に関すること**

- ・ 西東京市の市民には障害者がどれくらいいるのか、どんなサービス、支援、生活をしているのか、市民も認識不足。小学校の頃からそれらについて勉強させてほしい。あたたかい市民を増やしてほしい。(男性・5歳)
- ・ もっと心ある理解者が増えてくれるように、情報や障害者に対して優しい人間が増えてくれる事を願います。全く感じないので、外出する際も困惑しています。心ない言葉や視線を感じています。(女性・11歳)
- ・ 学校の先生方にも、障がいのある子供への理解が増えたらと思います。市の支援が充実していても、学校での出来事、誰かの一言でも、子供が一気に自信を無くしてしまう事があると思います。親との面談なども、積極的にしていいと思います。(男性・5歳)
- ・ 比較的軽度とされるゆえ、一人では出来ない事や、生活上で難しい作業があっても障害を見落とされてしまい、必要な援助を受けられない心配があります。「障害」と言っても、身体、アスペルガー、

## < II 6 児童調査 >

重、軽度、一人一人抱える問題もちがいます。小さいうちから、障害の多様を理解し助け合える環境作りを学べる様になったら、すてきな世の中になると信じています。(男性・3歳)

- ・ 障害のある人に接する機会がなかった子供や大人は接し方が分からないのかもしれませんが、奇異な目で見る方が多いと思います。地域でよりよく住めるよう、もっと交流を深めて欲しいです。(女性・6歳)
- ・ 障害への理解を深めるために、小中校での教育をしてほしい。それによって、特別支援教室へ通うことや支援学級へ通う子供たちへの差別が減ってほしい。また、保護者への理解も、高めてほしい。(男性・9歳)

### 医療に関すること

- ・ 障害のある子でも安心して通える病院（クリニック）など教えて欲しいと思いました。初めに障害がある旨お伝えしているのに、出来もしない視力検査をされるのは、親にとっても辛いものでした。(男性・4歳)
- ・ 医療ケア児の為、療育を紹介されたが、看護師が居ない理由で断られた。将来、保育園などにも入れるか不安が多い。(女性・1歳)
- ・ 全園で障害児受け入れ可とホームページにありながら、幼稚園、保育園の受け入れが不可に疑問を感じます。一步ずつでよいので、西東京市の医療的ケア児への対応を進めてほしいです。他区へ引っ越せば叶う願いもありますが、現在の地域のつながりの中で実現できたらと希望と期待をもっています。(男性・3歳)

### 障害者施策の推進、計画策定等に関すること

- ・ 西東京市やその住人が、障害を持つ人々を理解し、今よりも更に市の取組が発展することを願うばかりです！！(男性・5歳)

### その他

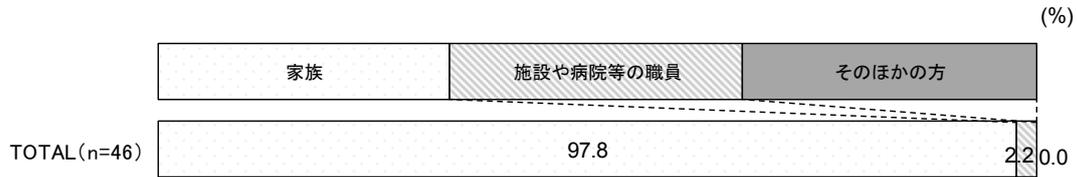
- ・ 成年後見制度が、現実的に使えるように、費用の負担がないようなしくみを作って欲しいです。親せきがない場合、介護士さんなどに頼むことになると思いますが、月に3～5万円など、とても払えません。(男性・17歳)
- ・ お母さんが外国人で本当に大変。父は仕事が忙しい。とにかく言語をレッスンしてほしい。(男性・4歳)
- ・ 道路事情の悪さ、信号、横断歩道の未整備に困っています。障害者が1人で通学、通勤できるとは到底思えません。安心して判断し、道路を横断できるよう整えていただきたいです。(男性・15歳)
- ・ 我が家の場合は、装具の上から履くオーバーシューズが通学するだけで1カ月に1足、穴が開いてしまう。上履も必要なのでオーバーシューズだけで家計をかなり圧迫している。その子に応じて、柔軟な支援をお願いしたい。(女性・6歳)
- ・ 障害はありますが、将来、家で引きこもる生活ではなく、社会に出て、少しでもお世話になった分、税金を納めて返していける子に育ててほしいと思っています。そして次に困っている障害をもつ方につなげていければよいと思っています。(女性・2歳)
- ・ 医療、福祉、教育、保健、司法などの垣根のないことが必要。障害と健常に分けることなく、全ての人に支援するための人材育成と常勤職の設置が必要。また、福祉と教育の間に入ることができる心理職やワーカーが中学校区に1人以上いないと、うまく機能することはない。(女性・6歳)

## 7 特別支援教室・通級指導学級

### (1) 基本的な属性

問1 この用紙(調査票)に記入されるはどなたですか。(○は1つ)

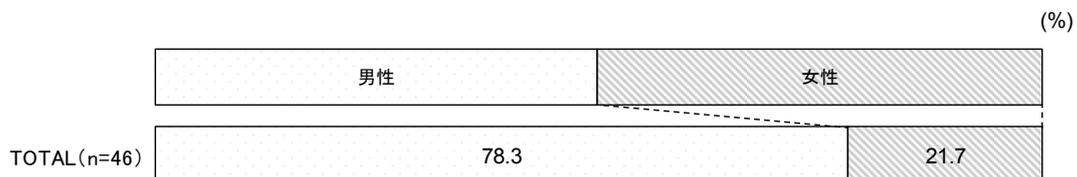
調査票記入者は「家族」が97.8%。



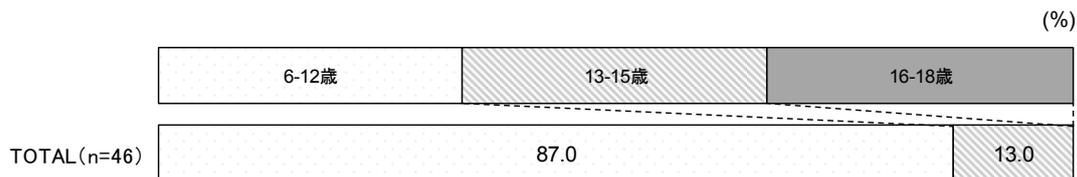
問2 お子さまの性別を教えてください。(○は1つ)

問3 お子さまの年齢(8月1日現在)を記入してください。

性別は、男性が78.3%、女性が21.7%。

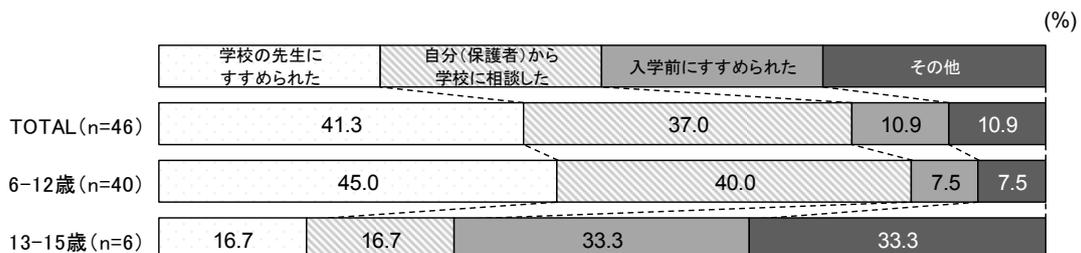


年齢は、6-12歳が87.0%で平均年齢は9.7歳。



問4 お子さまが特別支援教室(L教室・S教室)、通級指導学に通うようになった主なきっかけをお答えください。(○は1つ)

特別支援教室(L教室・教室・S教室)、通級指導学に通うようになった主なきっかけは、「学校の先生にすすめられた」が41.3%、「自分(保護者)から学校に相談した」が37.0%、「入学前にすすめられた」が10.9%である。



**(2) 障害状況**

問5 次のうち、お子さまにあてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

障害状況について、「あてはまるものはない」が58.7%だが、41.3%が「発達障害と診断されたことがある」と回答している。

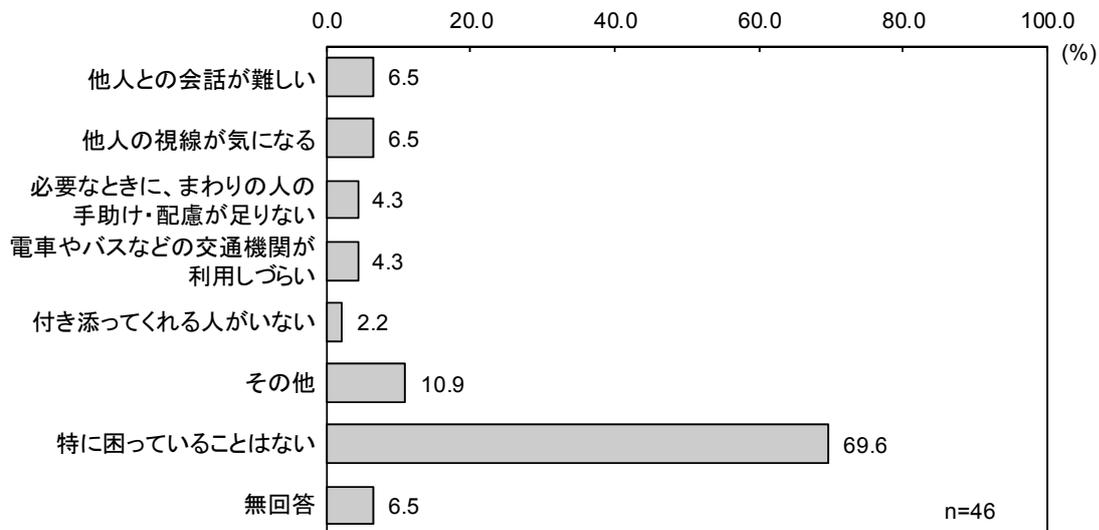
(%)

	n=	身体障害者 手帳を持つ ている	愛の手帳 (療育手帳) を持つてい る	精神障害者 保健福祉手 帳を持つて いる	国または東 京都が指定 する難病医 療費等助成 対象疾病を 患っている	高次脳機能 障害と診断 されたこと がある	発達障害と 診断され たことが ある	あてはまる ものはない
TOTAL	46	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	41.3	58.7
6-12 歳	40	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	60.0
13-15 歳	6	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	50.0	50.0

**(3) 外出の状況・社会参加状況**

問6 お子さまが、外出の際に困っていると思われることはありますか。(○はいくつでも)

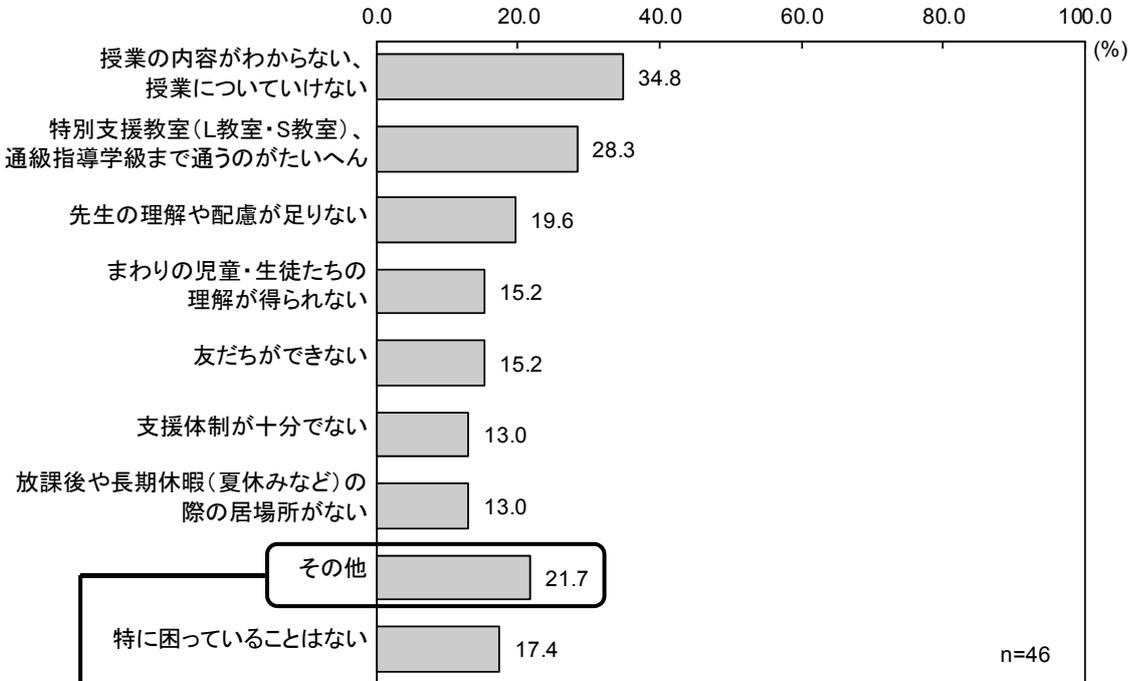
「特に困っていることはない」が69.6%だが、外出の際困っていることとしては、「他人との会話が難しい」、「他人の視線が気になる」がそれぞれ6.5%である。



**(4) 通園・通学等について**

問7 学校生活の中で、お子さんが困っていると思われることはありますか。(○はいくつでも)

学校生活で困っていることは、「授業の内容がわからない、授業についていけない」との回答が 34.8% で最も高い。次いで、「特別支援教室 (L 教室・S 教室)、通級指導学級まで通うのが大変」(28.3%)、「先生の理解や配慮が足りない」(19.6%) が続く。「特に困っていることはない」との回答は 17.4% である。

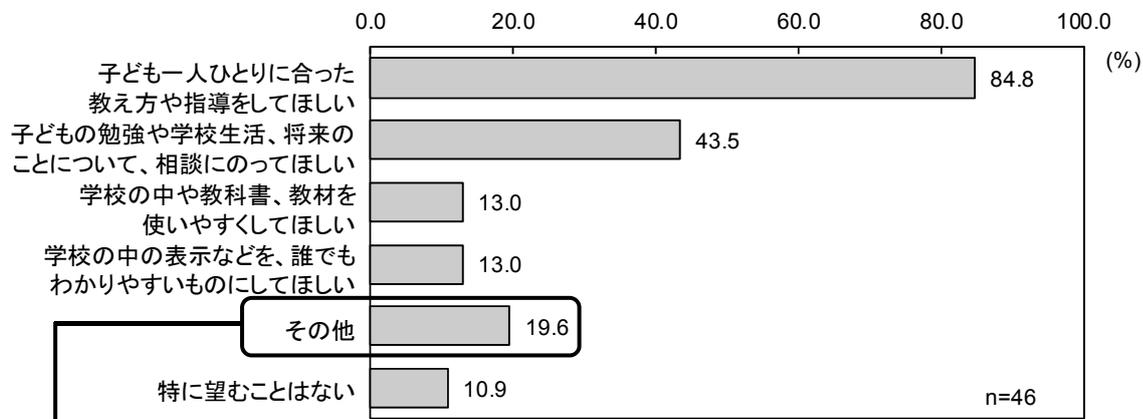


「その他」(21.7%) として、以下のような記述があった。

- ・ コミュニケーション能力が低く困っているが、知能が普通より高くなければ、L・S学級の利用は出来ない。判定は普通級ではないが普通級に通う場合、専門職のアドバイスや関わりはまったくなく、担任のできる範囲にのみまかすしかないことに、困っている。(男性・8歳)
- ・ 気持ちのコントロールが難しい時、状況処理が上手くいかない時の周りとの気持ちのいきちがいでのトラブル。(男性・11歳)
- ・ 家族のアドバイスをきかない。先生に対しても約束や返事だけする。(男性・13歳)
- ・ 通級にからむ学校への遅刻や早退をととても気にして、通級後に在籍校へ戻るのを拒否している。(男性・12歳)
- ・ 情緒が不安定になりやすく、友だちに対して被害妄想をいだき(いじめられている、悪口を言われているなど)、誤解して友達に暴力をふるってしまったことがある。よく腹痛、頭痛をおこす。(男性・9歳)
- ・ S教室でも(L)的な時間を増やしてほしい。LD向けの教室が欲しい。(男性・7歳)
- ・ 登下校が不安。先生などの目のない所だと他のお友達にからまれやすい。(男性・6歳)
- ・ 授業内容の理解が少し遅い。(男性・8歳)

問8 ご家族等（お世話等をしている方）として、学校教育に望むことはどのようなことですか。（〇はいくつでも）

学校教育に望むこととしては、「子ども一人ひとりに合った教え方や指導をしてほしい」との回答が84.8%で最も高い。次いで、「子どもの勉強や学校生活、将来のことについて、相談にのってほしい」が43.5%である。



「その他」(19.6%)として、以下のような記述があった。

- ・ 病名やL・S教室などの枠をつけていくことが子供にとって良いことなのかわからない。授業中に行わず、放課後に行ってほしい。(男性・9歳)
- ・ 相談や指導はクラス担任と行うのみではなく、義務教育の9年間、継続的に指導や相談できる仕組みを望む。(男性・8歳)
- ・ 教科書等、持ち物が多すぎます。その日使う持ち物(教科書等)を入れて、バッグが10kgほどあるのは重すぎます。(男性・12歳)
- ・ 補習授業の説明やテスト前勉強会(希望者だけでなく必ず残る、出席すると個別で約束させてほしい。本人希望しないので利用せず。)(男性・13歳)
- ・ 学校での様子を密に伝えてほしい。(男性・8歳)
- ・ 先生方に、発達障害の最低限の特性を理解してほしい。例えば、話を聞くとき、姿勢を正すように注意を受けるが、姿勢を正すことに集中してしまうと、話の内容を理解する余裕がなくなるなどの特性。(女性・10歳)
- ・ 苦手な事をもう少し把握して対応してほしい。(男性・14歳)
- ・ タブレットなどの導入ありか、知りたい。(男性・7歳)

問9 お子さまは、学童クラブを利用していますか。(〇は1つ)

<回答対象者：6歳以上12歳以下>

学童クラブを「利用している」が15.0%、「利用していない」が85.0%である。

	利用している	利用していない
TOTAL (n=40)	15.0	85.0

問10 学童クラブの利用について、困ることはありますか。(〇はいくつでも)

<回答対象者：6歳以上12歳以下の学童クラブ利用者>

学童クラブの利用で困っていることとしては、「学校休業日は、始まりが午前8時30分からと限られる」との回答が50.0%で最も高い。6人中2人は「終わりが遅くとも午後6時までと限られる」(33.3%)と回答しており、時間に関する困りごとが上位になっている。

n=	終わりが遅くとも午後6時までと限られる	学校休業日は、始まりが午前8時30分からと限られる	土曜日の利用には条件がある	費用が高い	その他	無回答
6	33.3	50.0	0.0	16.7	0.0	33.3

### (5) 障害者施設・施策について

問11 ご家族等(お世話等をしている方)は、西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。(〇は1つ)

問12 お子さま、またはご家族等(お世話等をしている方)は、西東京市にある次の施設を知っていますか。また、利用したことがありますか。(〇は1つ)

市内施設を利用したことがある人は、障害者総合支援センター「フレンドリー」が4.3%、相談支援センター・えぼっくが2.2%である。「知っているが利用したことがない」施設として、障害者就労支援センター・一歩が13.0%、地域活動支援センター・ハーモニーが10.9%、保谷障害者福祉センターが21.7%、地域活動支援センター・ブルームが8.7%である。

	利用している (利用したことがある)	知っているが、 利用したことはない	知らない
障害者総合支援センター「フレンドリー」(n=46)	4.3	26.1	69.6
相談支援センター・えぼっく(n=46)	2.2	15.2	82.6
障害者就労支援センター・一歩(n=46)	13.0		87.0
地域活動支援センター・ハーモニー(n=46)	10.9		89.1
保谷障害者福祉センター(n=46)	21.7		78.3
地域活動支援センター・ブルーム(n=46)	8.7		91.3

問 13 お子さま、またはご家族等（お世話等をしている方）は、次の講座や事業等を知っていますか。（〇はいくつでも）

市開催の講座や事業等の認知状況は、以下の通りである。

(%)

n=	サポーター 養成講座	ヘルプカード	スポーツ 支援事業	障害者 水泳教室	講座や事業等は 知らない
46	19.6	39.1	19.6	28.3	56.5

### （6）相談や情報入手方法

問 14 ご家族等（お世話等をしている方）は、お子さまの子育て等の悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親せき以外に、どのようなところへ相談していますか。（〇はいくつでも）

家族や親せき以外の相談先としては、「学校の先生」をあげる人が 58.7%と最も高く、次いで「知人・友人」（50.0%）、「教育相談」（41.3%）と続いている。一方で、8.7%が「相談できるところは特にない」と回答している。「その他」（15.2%）として、「スクールカウンセラー」などの記述があった。

(%)

n=	学校の先生	友人・知人	教育相談	病院・診療所	こどもの発達センター・ひいらぎ	子ども家庭支援センター・のどか	児童相談所	相談支援センター・えぼっく
46	58.7	50.0	41.3	26.1	10.9	6.5	4.3	2.2
	家族会や障害者団体	市役所の福祉相談窓口	保健センター（保健師など）	民生委員・児童委員	社会福祉協議会の職員	その他	誰かに相談することはまれである	相談できるところは特にない
	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	15.2	4.3	8.7

問 15 ご家族等（お世話等をしている方）は、お子さまの子育て等の悩みごとや心配ごとを、家族や親せき以外に、どのようなところへ相談したいですか。また、相談するためには、どのような体制が整っているとよいと思いますか。（自由記述）

子育て等の悩みや心配事を相談したいところ、相談するために整っているとよい体制について自由回答形式でたずねたところ、21人から以下のような記述があった。

#### <相談先について>

- ・ 学校が窓口になっている機関は相談しやすいと思う。（男性・9歳）
- ・ 担任の学校の先生への相談が気軽に出来る環境を望んでいます。相談可能な時間や電話可能な雰囲気があるとありがたいです。（男性・9歳）
- ・ 家族会の方や、カウンセラーなど。（男性・12歳）
- ・ いつも本人を見ている方に相談したいので、習い事のように週1回放課後に通える施設があればいいと思う。本人もその施設の人になら悩みごとを言えるようになればいいと思う。（放課後等デイサービスは診断書が必要なのが難点）（男性・11歳）
- ・ 私自身が精神障害手帳を持っており、全く起き上がれない日があります。そういった時に、子どもだけで背おわず、誰かと、話がいつでもできるようにさせて頂きたいです。（男性・9歳）

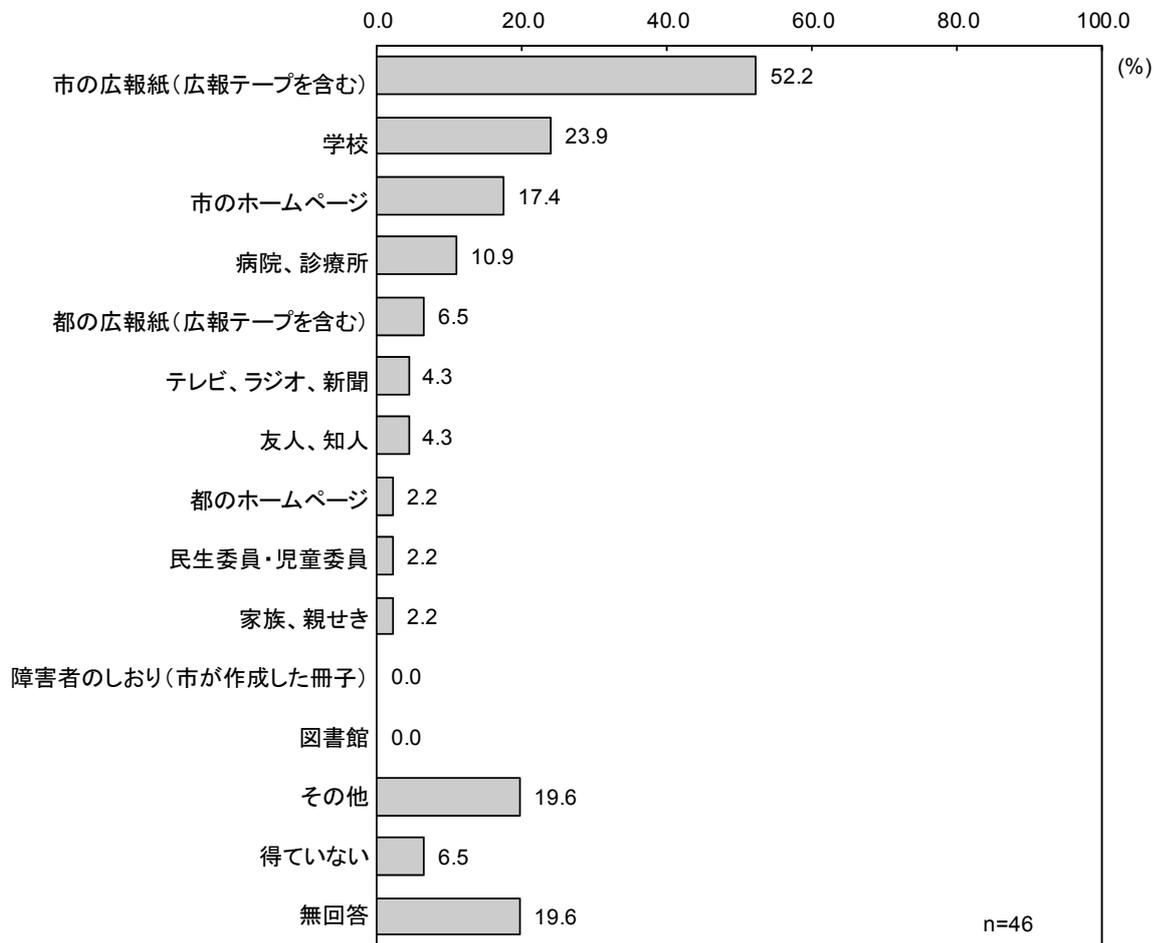
<相談体制>

- ・ 土・日・祝日に相談できること。20 時くらいまで対応して欲しい。(男性・11 歳)
- ・ 発達障害について詳しく知っている先生（医師又は何か資格を持ってる方）に相談できる場所があり、発達障害児が通える通常級の様な学校施設があると良い。(男性・8 歳)
- ・ 相談先ごとに判断が違う時に、本人や家族の意見よりも、教育相談の決定が見直される事もなく行われ、悩みごとや心配ごとを担任やスクールカウンセラーに話しても、教育相談がそういつているから何も出来ないと言われてしまう。体制を改善してほしい。(男性・8 歳)
- ・ 自分から発信するのは、時間も余裕もないので難しいです。そんな時に声をかけてもらえるとありがたいです（休憩時間などの自分に時間のあいまに）。(男性・8 歳)
- ・ 発達障害に特化した支援センター。1 才半健診や 3 才児健診時のスクリーニングによる抽出段階から、社会人までを一貫して支える支援センターが理想です。(女性・10 歳)
- ・ 市のホームページで相談先をわかりやすくしてもらえるとありがたいです。とくに、未就学児と小学生などの切りかわりのときは年齢によって担当部署がちがうので、相談対象の年齢層なども記載されているといいなと思います。(男性・6 歳)
- ・ どのように相談にいったら、いいのかわからない。又、たいしたことではないような相談にも乗ってくれるのかわからない。もっと簡単に、相談できればよいと思う。(男性・10 歳)
- ・ 全ての機関がつながっているとよい。同じ内容を、何回も話す事になる。(男性・7 歳)
- ・ 相談出来る所は知っているが、相談しても、そこだけで、終わってしまって、何の為にもならない。学校を中心として話を聞いてほしい。(男性・9 歳)
- ・ 悩みごとをうちあけると“病氣”にされてしまうので相談しにくい。人に話をしても“他人ごと”だと感じる。(女性・8 歳)

< II 7 特別支援教室・通級指導学級調査 >

問 16 ご家族等（お世話等をしている方）は、福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。  
（○はいくつでも）

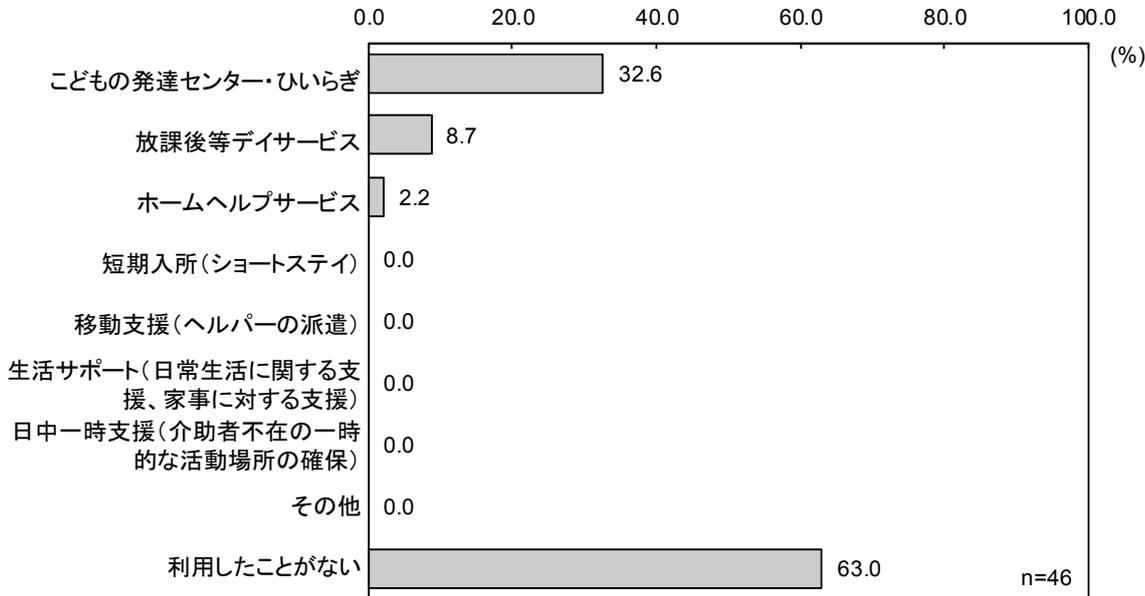
情報の入手先として、「市の広報紙（広報テープを含む）」が 52.2%で最も高く、次いで、「学校」（23.9%）、「その他」（19.6%）と続いている。「その他」として、「福祉施設」、「インターネット」との記述があった。情報を「得ていない」と回答した人は 6.5%である。



**(7) 福祉サービス認知・利用状況**

問 17 お子さま、またはご家族等（お世話等をしている方）は、今までに次のサービス等を利用したことがありますか。利用したことがあるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

以下の障害福祉サービスのうち、利用経験が最も高いのは、「こどもの発達センター・ひいらぎ」で 32.6%である。次いで、「放課後等デイサービス」が 8.7%である。「利用したことがない」人は 63.0%である。



問 18 サービスに対する、感想やご意見があればご自由にご記入ください。（自由記述）

<回答対象者：何らかの障害福祉サービス利用経験者>

サービスに対する、感想や意見を自由回答形式でたずねたところ、以下のような記述があった。

**<こどもの発達センター・ひいらぎ利用経験者>**

- ・ 入学前に退所になるが、入学後のサービスが教育相談以外なくなってしまうことは残念。（男性・8歳）
- ・ 利用してとてもよかったと思っている。悩み事も気軽に聞いてくれた。（男性・11歳）
- ・ 就学前2度相談に行きましたが、アドバイスのみで継続的にみてもらえませんでした。その後、交友関係の行きづまり、2年生の時に発達障害と診断されました。もっと早く療育できていたらと残念な思いです。少しでも疑いがあれば、継続的にフォローすべきかと思います。（女性・10歳）
- ・ 仕事をしているので送迎に困りました。（男性・9歳）
- ・ ひいらぎにたどりつくまでにずいぶん時間がかかり、通級の通う手続きが直前になってしまったため、もっと早く相談できていたらと思いました。もっと幼稚園などで積極的に紹介するほか、サービスや相談場所の情報だけでも知っていたら、もっと早く相談できていたと思います。（男性・6歳）

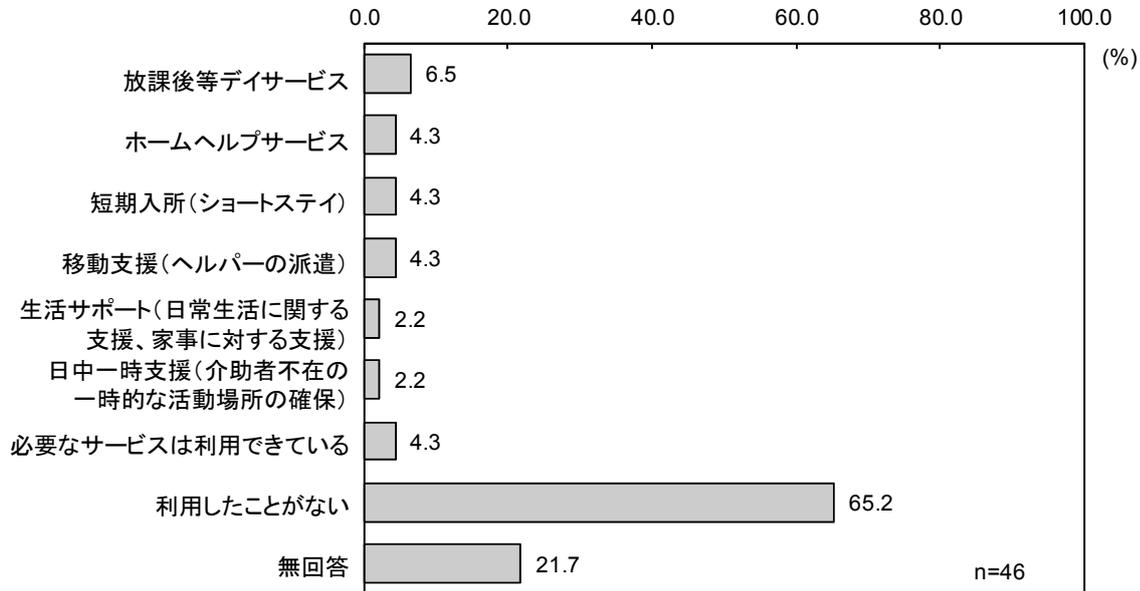
**<放課後等デイサービス利用経験者>**

- ・ 放課後等デイサービスは、ひいらぎとは違う。小学校入学後、ひいらぎの続きがあるとよい。（男性・8歳）
- ・ 手帳認定されないグレーゾーンの子供対象のサービスがない。勉強や社会活動をサポートするサービスがほしい。（男性・9歳）

< II 7 特別支援教室・通級指導学級調査 >

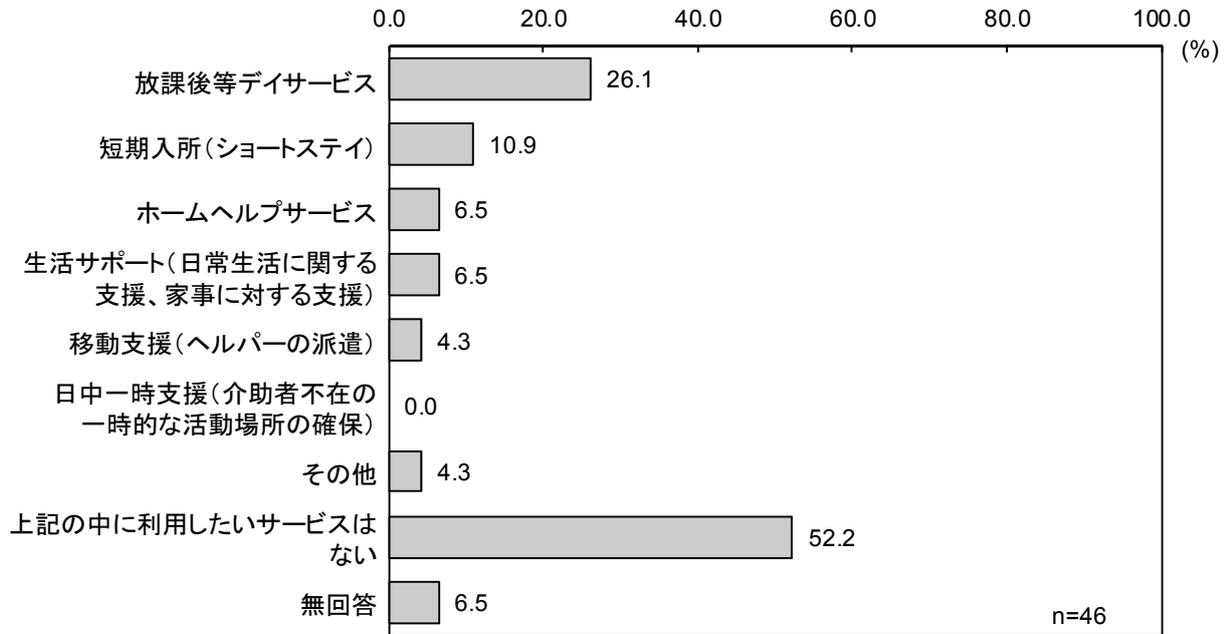
問 19 お子さま、またはご家族等（お世話等をしている方）が、「十分利用できていない」と思うサービスはどのサービスですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

65.2%が「利用したことがない」と回答しているが、「十分利用できていない」と思うサービスでは、「放課後等デイサービス」が6.5%、「ホームヘルプサービス」、「短期入所（ショートステイ）」、「移動支援（ヘルパーの派遣）」がそれぞれ4.3%である。



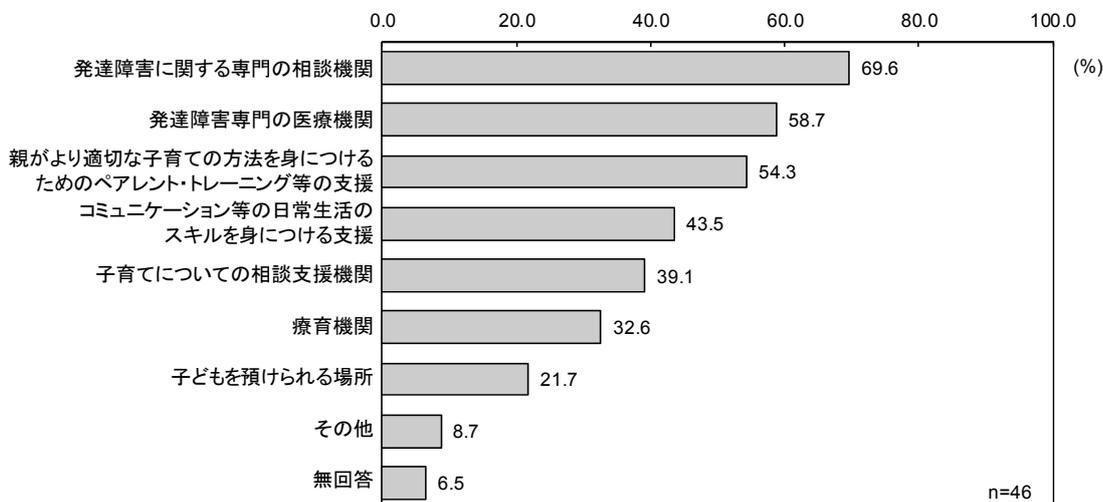
問 20 お子さま、またはご家族等（お世話等をしている方）は、次のサービス等の中で、今後も引き続き利用したい、あるいは今後利用したいと思うサービスはありますか。利用したいものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

今後、利用したいサービスは「放課後等デイサービス」が 26.1%で最も高く、次いで、「短期入所（ショートステイ）」（10.9%）、「ホームヘルプサービス」（6.5%）、「生活サポート（日常生活に関する支援、家事に対する支援）」（6.5%）が続く。一方で、「利用したいサービスはない」は 52.2%である。



問 21 お子さま、またはご家族等（お世話等をしている方）は、今後どのようなサービスを充実させてほしいと思いますか。（○はいくつでも）

今後、充実させてほしいサービスとして、「発達障害に関する専門の相談機関」が 69.6%で最も高く、次いで、「発達障害専門の医療機関」（58.7%）、「親がより適切な子育ての方法を身につけるためのペアレント・トレーニング等の支援」（54.3%）、「コミュニケーション等の日常生活のスキルを身につける支援」（43.5%）が続く。



問 22 お子さま、またはご家族等（お世話等をしている方）が、サービスをより利用しやすくするためには、どのような情報提供や相談先が必要ですか。また、サービスを利用するためにあるとよい支援はどのようなものですか。（自由記述）

サービスを利用しやすくするために、必要な情報提供や相談先、利用のための支援として、以下のよう記述があった。

**<情報提供>**

- ・ どういう支援があるのか、どの行政で何をしてもらえるのかがよくわからない。自分で調べて動けないと、誰も助けてはくれない。（男性・13歳）
- ・ L・S教室に通っていますので、先生方から色々なサービスや施設についての紹介があると、一番気軽な気がします。（男性・9歳）

**<相談先・相談体制>**

- ・ 気軽に利用できる出入り自由な雰囲気（有料でも）。（男性・9歳）
- ・ 相談や診断が必要と思われる児童に対しては、学校や通級などと医療機関が連携をとって受診などできるようにしてもらえると大変ありがたいと思います。（男性・6歳）
- ・ 定期的に様子や状況を見に来てくれると行った時も相談もしやすくなると思います。（男性・10歳）
- ・ 相談の予約は電話だけでなく、ネット予約ができれば気軽に利用しやすいのではないかと思います。（男性・8歳）

**<サービス・施設・資源等>**

- ・ 発達障害児の手帳があっても良いのでは。レベルにはIQや生活レベルの差があるため重度・中等度には手帳があり、社会支援を受けられる様にしてほしい。今後支援学級に行った場合、その後の支援（学習・職業・生活）を受けられる施設が欲しい。（男性・8歳）
- ・ 機関があっても遠ければ、行かせられない。（女性・8歳）
- ・ 平日は仕事、朝、晩もやる事におわれ、1日が終わっていきます。親としてのプライド・責任もありやるしかない、あずけたらかわいそうと思います。でも土・日、半日でいいから自分の時間をうしろめたい気持ちなく利用できる機関があったらとも思います。（男性・8歳）
- ・ 医療機関も半年待ちがあたり前のように予約も大変。しかも西東京で病院がない。（男性・9歳）

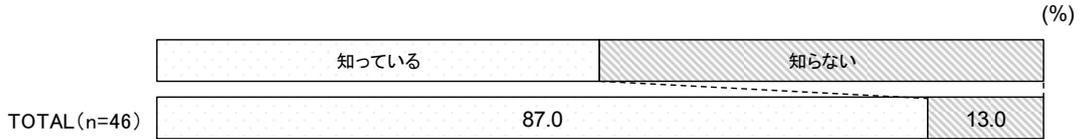
**<学校生活・教育における支援>**

- ・ 学校へ行けない子供のための家庭教師。（男性・11歳）
- ・ 通級の送迎がとても苦痛。仕事も休まなければいけないのに毎年曜日が変わるため通級をやめたい。そうになると支援機関等もないしと何も前に進まない。（男性・9歳）
- ・ 通常クラスでの様子をもっと知りたいので面談の機会を増やして欲しい。（女性・7歳）
- ・ 学校の先生はサービスや支援について知らないと感じました。スクールカウンセラーや市の教育相談まかせ、かつ、学校の業務に追われ大変そうです。学校の先生達を助けてあげてほしいです。その結果子供達へ本来の先生らしい指導をしてもらえたらと思います。（男性・10歳）
- ・ 通っている小学校は将来は中学校生活に影響なく、放課後、土、日や長期休みに利用、学べる場がないと、使用は出来ない。（男性・11歳）

**(8) 災害対策について**

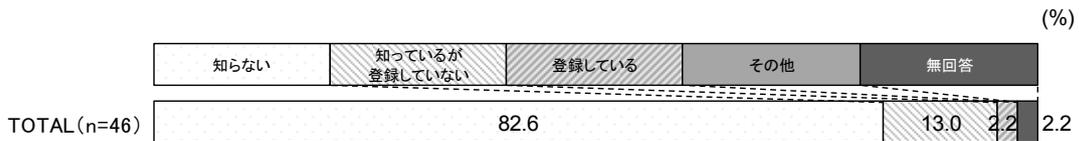
問 23 お子さま、またはご家族等（お世話等をしている方）は、お住まいの地域の避難所を知っていますか。（○は1つ）

地域の避難場所を「知っている」人は87.0%である。



問 24 ご家族等（お世話等をしている方）は、災害時要援護者登録を知っていますか。（○は1つ）

災害時要援護者登録については、82.6%が「知らない」と回答している。



問 25 お子さまは、地震や台風などの災害時にひとりで避難できますか。（○は1つ）

災害時にひとりで避難が「できる」人は37.0%、「できない」人は13.0%である。50.0%が「わからない」と回答している。



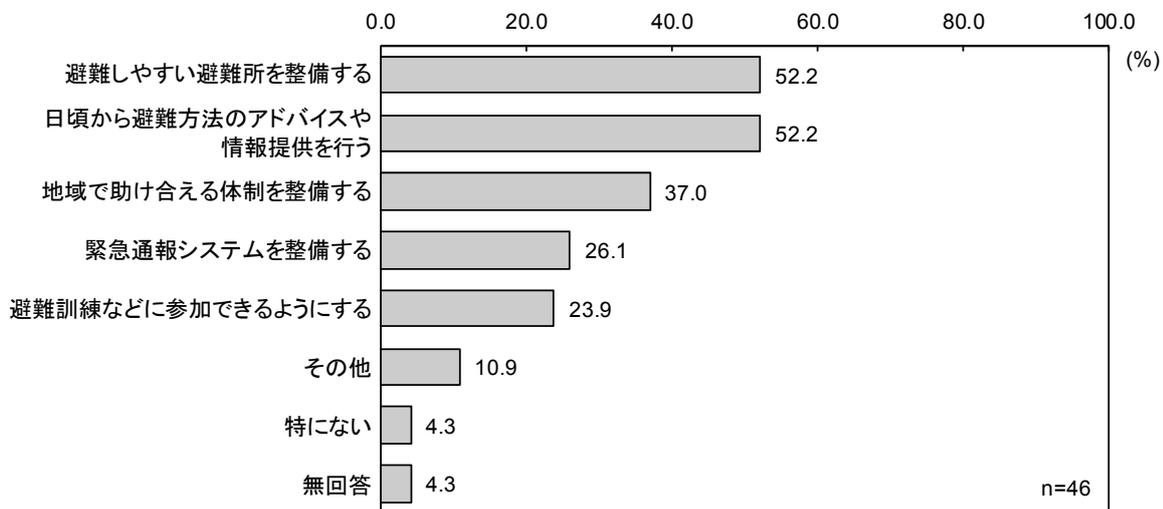
問 26 地震や台風などの災害が起こった際に、お子さまやご家族等（お世話等をしている方）が不安に感じていることは何ですか。（○はいくつでも）

地震や台風などの災害が起こった際の不安としては、「避難先での不安」が58.7%で最も高く、次いで「災害の状況が伝わってこない場合の不安」、「避難する際の不安」がそれぞれ56.5%と続く。

n=	災害の状況が伝わってこない場合の不安	避難する際の不安	避難先での不安	その他	特にない	わからない	無回答
46	56.5	56.5	58.7	6.5	6.5	13.0	2.2

問 27 災害に備えて、または災害時に、どのような対策が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

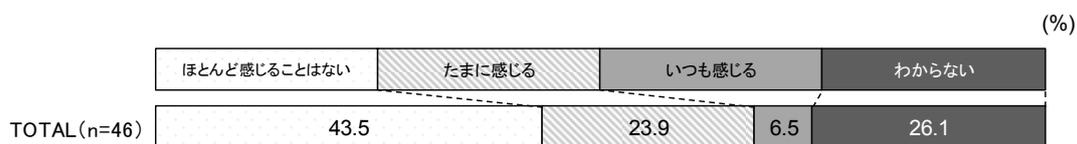
必要な災害対策としては、「避難しやすい避難所を整備する」、「日頃から避難方法のアドバイスや情報提供を行う」ことをあげる人がそれぞれ52.2%で最も高い。「その他」(10.9%)として、「慣れるために、1泊2日の避難先体験ツアー」、「健常者と、障害者や認知症高齢者等、スペースの区分け」などの記述があった。



### (9) 障害・障害者への理解

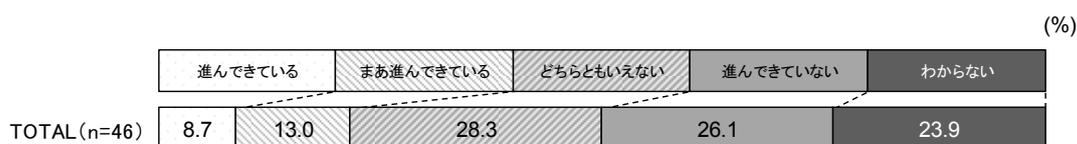
問 28 お子さま、またはご家族等（お世話等をしている方）は、お子さまの状態や言動で差別や人権侵害を受けていると感じることがありますか。(○は1つ)

差別や人権侵害、虐待については、43.5%の人は「ほとんど感じることはない」が、6.5%は「いつも感じる」、23.9%は「たまに感じる」と回答している。



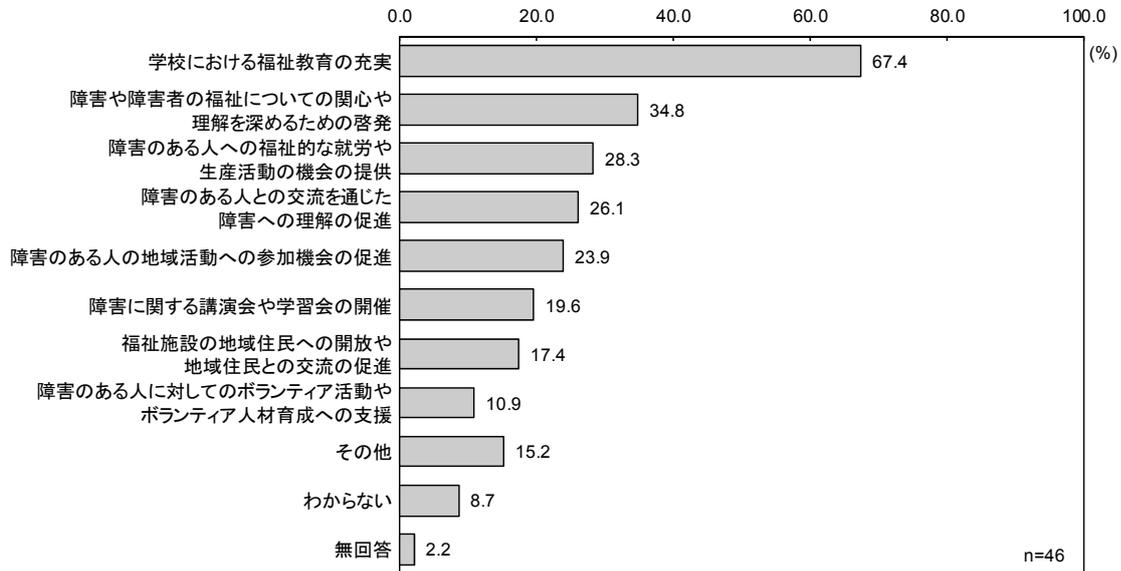
問 29 お子さま、またはご家族等（お世話等をしている方）は、障害や障害のある方々に対する市民の理解は進んできていると思いますか。(○は1つ)

障害や障害のある人に対する市民の理解が「進んできている」と考えている人は8.7%、「まあ進んできている」(13.0%)をあわせると、21.7%の人は市民の理解が進んできていると感じている。一方で、「進んできていない」と考える人は26.1%である。



問 30 障害や障害のある市民への理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

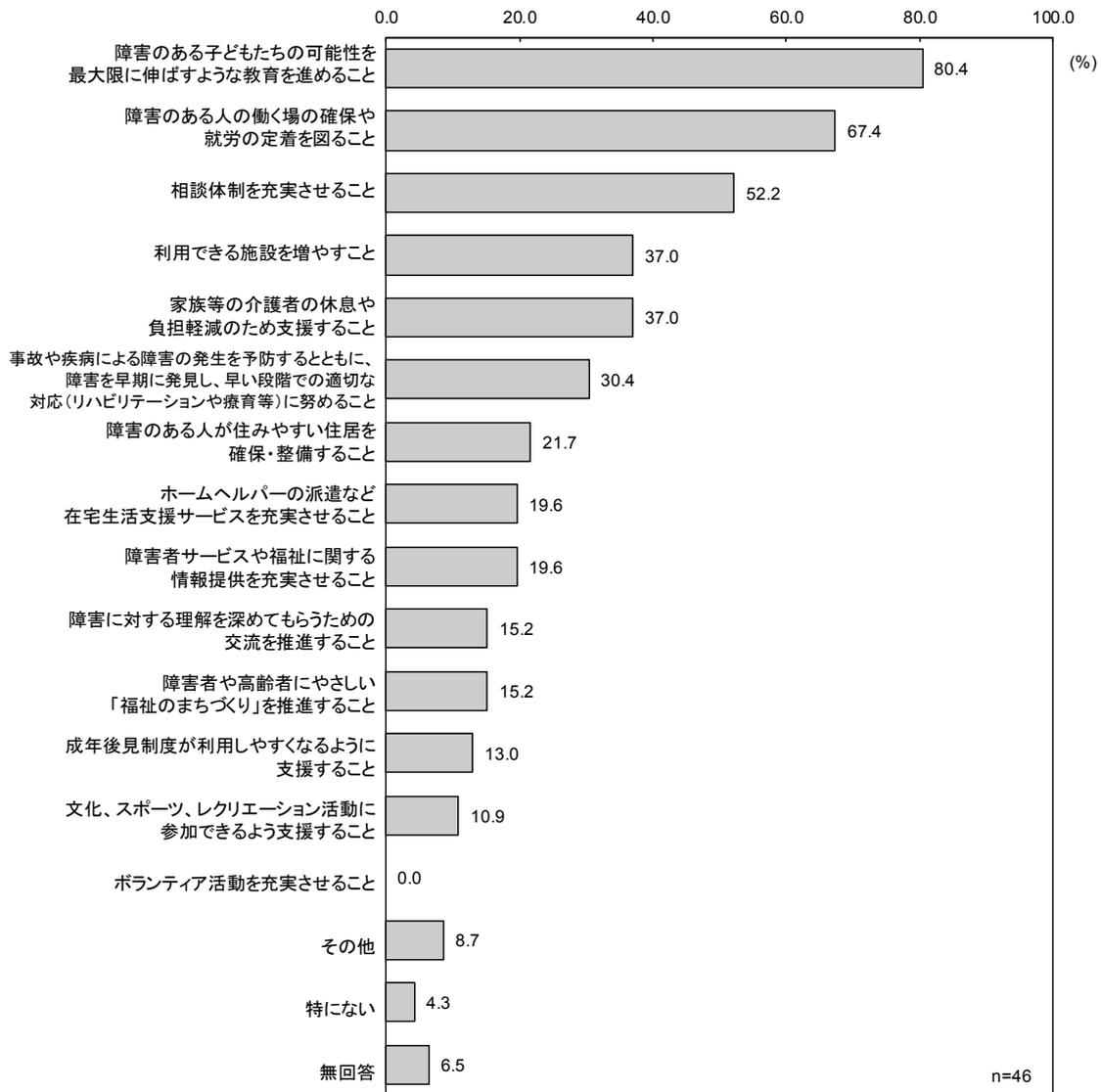
障害や障害のある人への理解に必要なこととして、「学校における福祉教育の充実」が67.4%で最も高く、次いで「障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための啓発」(34.8%)、「障害のある人への福祉的な就労や生産活動の機会の提供」(28.3%)が続いている。



**(10) 障害者施策、市への要望等**

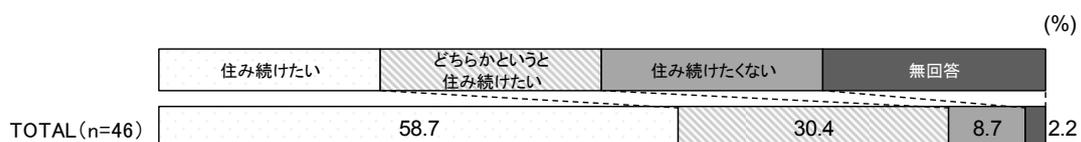
問 31 今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特どのようなこと充実させていけばよいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

今後、市が充実させていくべき障害者施策としては、「障害のある子どもたちに可能性を最大限に伸ばすような教育を進めること」が 80.4%と最も高く、次いで、「障害のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること」が 67.4%、「相談体制を充実させること」が 52.2%で続いている。



問 32 お子さま、または家族等（お世話等をしている方）は、今後も西東京市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

58.7%の人が今後も西東京市に「住み続けたい」と回答している。



問 33 最後に、この調査を通じて、選択肢や自由記述欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・要望、計画に盛り込みたいことなどがありましたら、自由お書きください。(自由記述)

調査票の最後に、調査質問選択肢だけでは表現しきれなかったことや意見、要望、計画に盛り込みたいことなどを自由に記入できる欄を設けた。本報告書では紙面の都合上すべてを掲載することはできないが、調査票の設問から浮き彫りにされにくい課題・問題点を中心に、より代表性・具体性のある意見・要望の一部を紹介することとする。

#### 相談に関すること

- ・ 相談機関や支援を充実させて欲しい。(男性・13歳)
- ・ 発達障害があると、中学、高校、大学、就職と様々な段階で問題が起こってくるが多々あります。子どもから社会人までを一貫して支援してくれる相談機関を切望します。(女性・10歳)

#### 各種施設等の整備に関すること

- ・ 子ども達が遊べる公園が少ない。子どもは、もっとたくさん友達や公園で遊ぶべきだと思うが、場所がないし自由がないように思います。(女性・8歳)
- ・ ひいらぎルピナス2Fの室内遊び場が、週1回だけでも、未就学の発達の子供たちだけの遊べる場となるよう切に願います。多動系の発達をもっていると、赤ちゃんを踏まないかビクビクしてしまい、結局利用せず、お昼時の人気のない公園で遊ばせるしかできません。(男性・13歳)

#### 特別支援教室・通級指導学級について

- ・ 通級の5限目が無くなり、送迎がさらに大変になりました。5限目に在籍校へ戻すのは、本当に親子共に体力的にも時間的にも厳しいです。先生方も短時間で拠点校を周る等ご苦労が多い様に感じます。現状の体制についてぜひ見直して頂きたいと考えております。(男性・9歳)
- ・ 通常級に通っている時に、授業についていけず本人はとり残されることが多く困っている。そんな児童に今はココだよと説明してくれる人が居ると助かります。各学校内にS教室があればいいと思います。支援員の充実が大切だと思われまます。(男性・8歳)
- ・ 通級は半日利用の為、親の送り迎えが毎週必要です。仕事を抱えており、通級日は仕事を休まならず、経済的に苦しく負担に思っています。ファミリーサポートなど検討しましたが、事前面談や子供との相性等あり利用できません。通級を一日利用出来る様にして頂きたいです。(男性・9歳)
- ・ 週に1回の送迎は、働いている親にとっては大変負担です。子供が普通の子だったらこんなことしなくてすむのに、と思ってしまうこともある。そう思わなくてすむよう、この負担を減らしてほしい。(男性・11歳)
- ・ 徒歩や公共交通機関以外での通学を原則みとめていないにもかかわらず、終了後に在籍校への移動時間が15分以下など、徒歩では不可能な設定になっています。無理のないよう再考していただきたい。児童の自転車もありだとたすかる人は多いと思います。(男性・6歳)
- ・ そもそもL教室が何なのか。自分の子に障害があるということなのか。今まで自分では子供に問題があると思っていなかったし、保育園健診やでも問題がなかったのにどうしてL教室に通うのか。もっと個別に説明してほしいと思います。(男性・8歳)
- ・ 発達障害ゆえに学校へ行けません。無料の家庭教師などのサービスがあると大変うれしいです。食べてもいない給食費を払い、使ってもいない教材費を払い、診療代や薬代もかかり大変です。(男性・11歳)

## < II 7 特別支援教室・通級指導学級調査 >

- ・ S 教室も今年から 1 時間減り、給食後 5 時限目を受けに通常学校に送り届けなければならないのも大変だし、子は困惑している。(男性・8 歳)

### 特別支援教室・通級指導学級以外の居場所について

- ・ 今年度から通級が午前のみとなり、学習時間が少なくなったと感じます。放課後に学童や塾に近い様な形で通える場所があればと思います。本人が在籍校の授業を抜ける事に抵抗を感じていて迷っています。(男性・11 歳)

### 理解や権利擁護、差別・人権侵害等に関すること

- ・ 通級後に在籍校に戻ることは、子供にとって負担です。途中からクラスに入らないといけない気持ちを考えて下さい。途中から戻ると目立ち、通級に通っているだけで、イジメにあうのです。子供や親がどんな気持ちで毎日学校に通わせているのかを市は真剣に考え、きちんと受け止めて下さい。(男性・9 歳)
- ・ 1 人 1 人成長は違って当たり前なのに、個性がつぶされる環境になるのは良くないと思います。早期対処にて伸びる事、自信をつける事、困る事が減るのは大切ですが、モデルケースとして、見つけてひっぱりこむ様な場合もある様に感じます。(男性・10 歳)
- ・ 発達障害は目に見えない障害なので理解が得られにくい。先生だけが理解していて苦手な事をほめてくれたりしても、生徒からは非難されます。生徒達に発達障害についての知識と理解を深める授業等をもっと増やしてもらいたいと思います。(男性・14 歳)

### 家族等への支援に関すること

- ・ 申請や子供の日中の対応のほとんどを母親ひとりでこなしており、精神的に追いつめられます。健常児より手がかかる分、子育て時間も長くなり、親も病んでしまいます。ひいらぎに入ること、似た悩みや理解があるので、親同士もつながりができ、ストレス発散の場にもなるとと思います。(男性・13 歳)
- ・ いつも辛いのは“今”です。誰でも参加できる意見交換会のようなものがあれば、不安な気持ちを市民のマンパワーで乗り越えられることが増えるのではないかなと思います。(男性・9 歳)
- ・ 子供の特徴やその子の個性に対する支援の方法についての講演の機会をもっと増やしていただけると嬉しいです。(女性・7 歳)

### その他

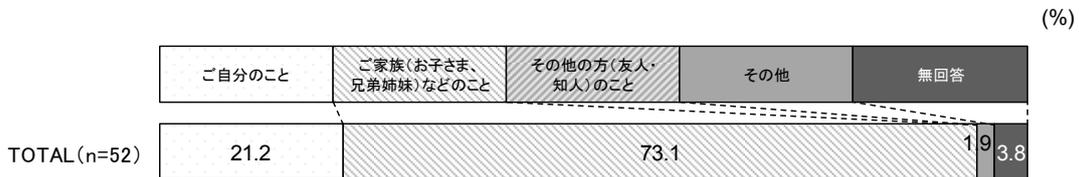
- ・ 発達障害のように一見分からない障害もある。支援の必要な発達障害者に手帳の交付をしてほしい。(男性・8 歳)
- ・ 病名はつかずグレーゾーンでも、苦手な事はある、放課後や休日は、こだわりが強く、生活のしづらさは感じます。グレーゾーンの子の事も考えて頂きたいです。(女性・8 歳)
- ・ 集団健診の際、多動系の子も、2 時間位待たされています。個別問診表に配慮が必要か聞いてくれたり、特別時間枠を設けてくれたりできないでしょうか？(男性・13 歳)
- ・ 通っている学校の生活や授業に影響なく、専門的知識の深い先生に、子供と係わってもらいたいです。(男性・11 歳)

## 8 相談支援機関利用者

### (1) 基本的な属性

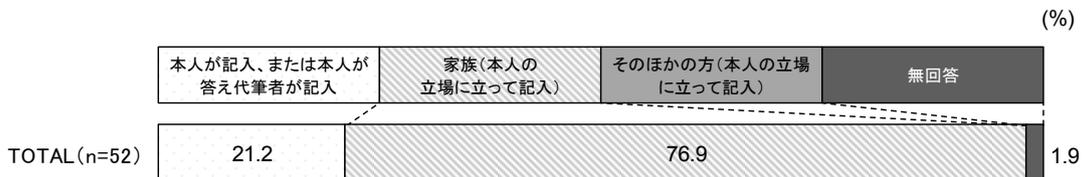
問1 どなたのことでご相談にいらっしゃいましたか。(○は1つ)

相談支援機関での、相談対象者は「ご自分のこと」が21.2%、「ご家族（お子さま、兄弟姉妹）などのこと」が73.1%、「その他」が1.9%。



問2 この用紙（調査票）に記入されるのはどなたですか。(○は1つ)

調査票記入者は「本人（宛名の方）が記入、または本人が答え代筆者が記入」が21.2%、「ご家族（本人の立場に立って記入）」が76.9%。

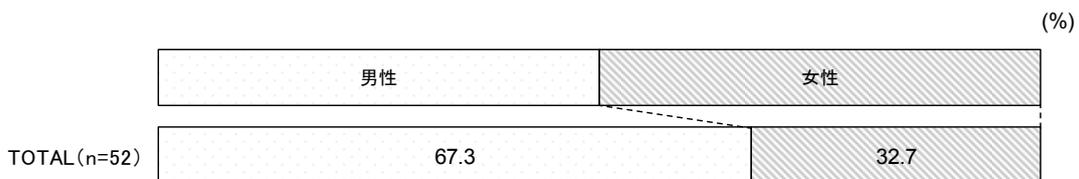


※0.0 は非表示

問3 対象の方の性別をお答えください。(○は1つ)

問4 対象の方の年齢（8月1日現在）を記入してください。

相談対象者の性別は、男性が67.3%、女性が32.7%。



年齢は、10代が23.1%、20代が30.8%で平均年齢は27.2歳。

(%)

TOTAL	9歳以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答	平均年齢
52	11.5	23.1	30.8	5.8	17.3	5.8	3.8	0.0	1.9	27.2歳

**(2) 障害状況**

問5 次のうち、対象の方にあてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

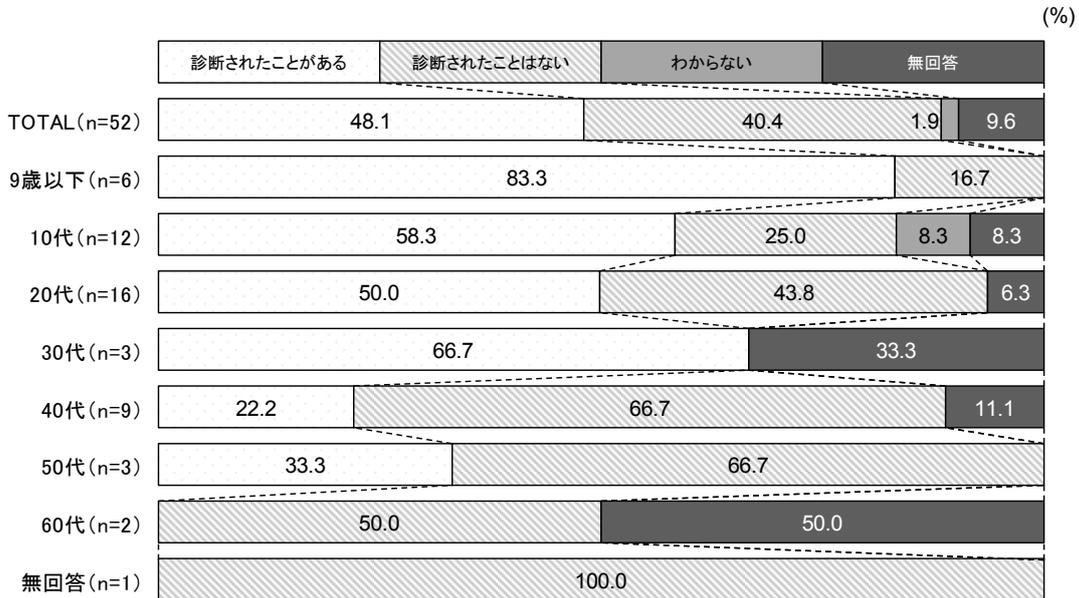
相談対象者の67.3%が「愛の手帳(療育手帳)を持っている」で最も高く、次いで「身体障害者手帳を持っている」が32.7%、「精神障害者保健福祉手帳を持っている」が13.5%と続く。

(%)

	n=	身体障害者手帳を持っている	愛の手帳(療育手帳)を持っている	精神障害者保健福祉手帳を持っている	国または東京都が指定する難病医療費等助成対象疾病を患っている	高次脳機能障害と診断されたことがある	訪問看護などの医療的ケアを受けている	あてはまるものはない	わからない・知らない	無回答
TOTAL	52	32.7	67.3	13.5	9.6	1.9	5.8	5.8	1.9	3.8
9歳以下	6	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	16.7
10代	12	25.0	83.3	8.3	8.3	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0
20代	16	37.5	87.5	6.3	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	3	0.0	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40代	9	33.3	66.7	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1
50代	3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
60代	2	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	1	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問6 対象の方は、これまでに「発達障害（自閉症、アスペルガー症候群、学習障害、注意欠陥多動性障害等）」と診断されたことがありますか。（○は1つ）

48.1%の人が発達障害と診断されたことが「ある」と回答している。  
年代別にみると、30代以下で診断されたことがある人の割合が高い。



※0.0 は非表示

問7 日常生活を送る上でどのような支障がありますか。（自由記述）

<回答対象者：発達障害と診断されたことがある人>

**コミュニケーションに関すること**

- ・ コミュニケーションが取りにくい。（男性・26歳・愛の手帳（療育手帳））
- ・ 言葉が話せない。言葉の理解ができない（何を言われているかわからない）。自分の思いを伝えることが難しい。（男性・16歳・愛の手帳（療育手帳））
- ・ 会話のキャッチボールなど言語に関するコミュニケーションが取りにくい。気持ちや思いを言葉で伝えられない。（男性・22歳・愛の手帳（療育手帳））
- ・ 人とのコミュニケーションがうまくいかず、トラブルが絶えない。（男性・18歳・愛の手帳（療育手帳）、精神障害者保健福祉手帳）
- ・ 対人関係(女性・38歳・精神障害者保健福祉手帳、難病医療費等助成対象疾病)

**こだわり、情緒や行動の不安定さ**

- ・ こだわりが強いので、物事がうまくはかどらない。（男性・46歳・愛の手帳（療育手帳））
- ・ こだわりが強く、生活の妨げとなる。（男性・18歳・愛の手帳（療育手帳）、精神障害者保健福祉手帳）
- ・ 過集中、自分の世界に入る、おちつきがない。（男性・4歳）
- ・ 理解力が他と比べると低いので、話を聞いていても、あまりわかっていない時がある。集中力が短い。（女性・8歳・手帳等なし）
- ・ 思い通りにならない、自分にとって良い結果が得られない時に多少荒れてしまうことがある。（男性・11歳・手帳等なし）

## < II 8 相談支援機関利用者調査 >

- ・ 大声でさわいでもしまったりする事が多い。不安定になりやすく、物をこわしたりしてしまう。(男性・22歳・愛の手帳(療育手帳))

### 自己判断・臨機応変な対応が難しい

- ・ 自分で判断ができないことがある。(女性・23歳・愛の手帳(療育手帳))
- ・ 公共交通機関には一人で乗ることが出来るが、乗り物が急に運転見合せになったりした時には次への判断等は出来ない。(男性・13歳・愛の手帳(療育手帳))
- ・ 予定外の事などにかなり驚いてしまう。(女性・11歳・愛の手帳(療育手帳))
- ・ 理解、対応可能なことに幅があり、何事もスムーズにいかない。(女性・19歳・愛の手帳(療育手帳))

### 他の障害や疾患

- ・ 知的障害もあるため、あらゆる場面で手助けが必要。(男性・8歳・愛の手帳(療育手帳))
- ・ 介助がなければ日常生活が送れない。(男性・16歳・愛の手帳(療育手帳))

### 社会生活上で必要な、ある特定のことができない

- ・ 金銭的な事がわからないので困る。(男性・51歳・身体障害者手帳、愛の手帳(療育手帳))
- ・ 電話がかけられない。(男性・47歳・愛の手帳(療育手帳))
- ・ 公共のルール(順番を待つなど)を守ることが困難。(男性・22歳・愛の手帳(療育手帳))

### 周囲の理解に欠ける

- ・ 公共の乗り物で障害があることが理解されにくい。おかしな行動をしてしまった時に周りの目が冷たい。(女性・11歳・愛の手帳(療育手帳))

問8 上記のようなときに、どのような支援があるとよいと思いますか。(自由記述)

<回答対象者：発達障害と診断されたことがある人>

### 社会全般・周囲の理解や啓発

- ・ 人の意識の問題なので、大人には理解啓発を、子供には共生社会を目指せるよう小さい時から教育して欲しい。(男性・22歳・愛の手帳(療育手帳))
- ・ ヘルプマークの周知がまだ低い。少し「変わった子(大人)」がいてもあたたかい目で見守ってほしいです。(女性・11歳・愛の手帳(療育手帳))
- ・ 小～中学校の教育の中に「そういう障害なんだな」とわかってくれる人が育つような授業があると良いなと思います。(男性・22歳・愛の手帳(療育手帳))

### 本人の特性に合った適切な対応・支援

- ・ 親と同じように本人の立場になって、本人のわかる範囲で説明し、本人に判断させてくれるような支援。(女性・23歳・愛の手帳(療育手帳))
- ・ 困った様子が分かった時には声をかける等、手を差しのべる行為があると有難いです。(男性・13歳・愛の手帳(療育手帳))
- ・ 教育機関、児童デイサービス等に、適切に支援して下さる方がいらしていただけたらよいと思います。(男性・11歳)
- ・ 言葉だけでは理解しにくいので視覚支援が必要(絵カード、マカトンサインなど)。(男性・16歳・愛の手帳(療育手帳))

### サービスの充実

- ・ 高校卒業後の過ごし方。全く運動する機会がなくなった。(男性・19歳・愛の手帳(療育手帳))

- ・ 作業所に通っているが、17:00頃まで延長してほしい。又は放課後のクラブ活動のようなシステムがほしい。イライラに早く気付ける人の目がほしい。(男性・22歳・愛の手帳(療育手帳))
- ・ 外出、日常生活。(女性・19歳・愛の手帳(療育手帳))
- ・ 介助がなければ日常生活を送ることが難しいので状態に合わせた細やかな介助支援が必要です。(男性・16歳・愛の手帳(療育手帳))

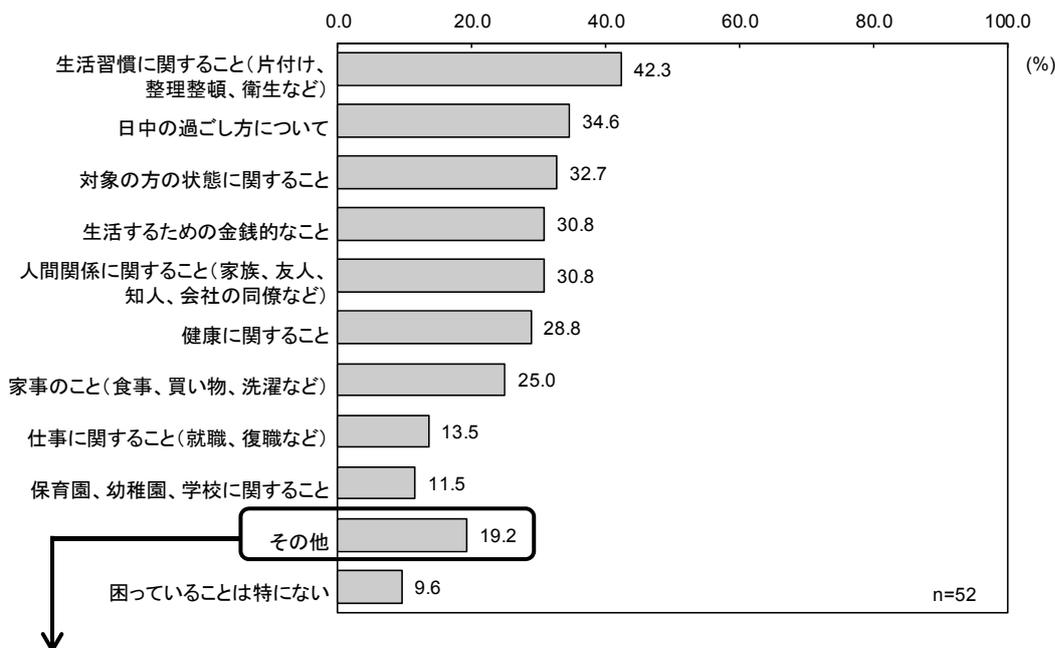
**その他**

- ・ AIで代わりに表現してくれる。(男性・26歳・愛の手帳(療育手帳))
- ・ 医師や心理士の専門的なアドバイスがほしいので、アクセスしやすい環境がほしい。(男性・18歳・愛の手帳(療育手帳)、精神障害者保健福祉手帳)

**(3) 介助・援助の状況**

問9 対象の方が日常生活で困っていることはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

日常生活で困っていることとしては、「生活習慣に関すること(片付け、整理整頓、衛生など)」との回答が42.3%で最も高い。次いで、「日中の過ごし方について」(34.6%)、「対象の方の状態に関すること」(32.7%)と続いている。



「その他」(19.2%)として、以下のような記述があった。

- ・ 本人が本当にどうしたいのかわからないことがある。(女性・23歳・愛の手帳(療育手帳))
- ・ 言葉のおくれ(女性・3歳)
- ・ 生活が変化して色々大変(男性・19歳・愛の手帳(療育手帳))
- ・ 親亡き後の生活全般について、先がみえないこと。(男性・22歳・愛の手帳(療育手帳))
- ・ 生活リズム(女性・19歳・愛の手帳(療育手帳))
- ・ 集中中のなさ(男性・8歳・精神障害者保健福祉手帳)
- ・ ガイドヘルパーの不足、時間数も足りず困っています。(男性・28歳・身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、高次脳機能障害診断)
- ・ 親亡き後に、虐待などに遭わずに暮らせる環境の確保。相応の金銭的なものはかかってもかまわないので老人の方たちのような整った施設が欲しいです。(男性・22歳・愛の手帳(療育手帳))

**(4) 日中の過ごし方や外出の状況・社会参加状況**

問 14 対象の方は、平日（月曜日～金曜日）の日中を主にどのように過ごしていますか。（○は1つ）

平日の日中の過ごし方として、「福祉施設、作業所などに通っている」が 57.7%、「幼稚園や保育園、学校などに通っている」が 19.2%、「働いている」が 11.5%である。

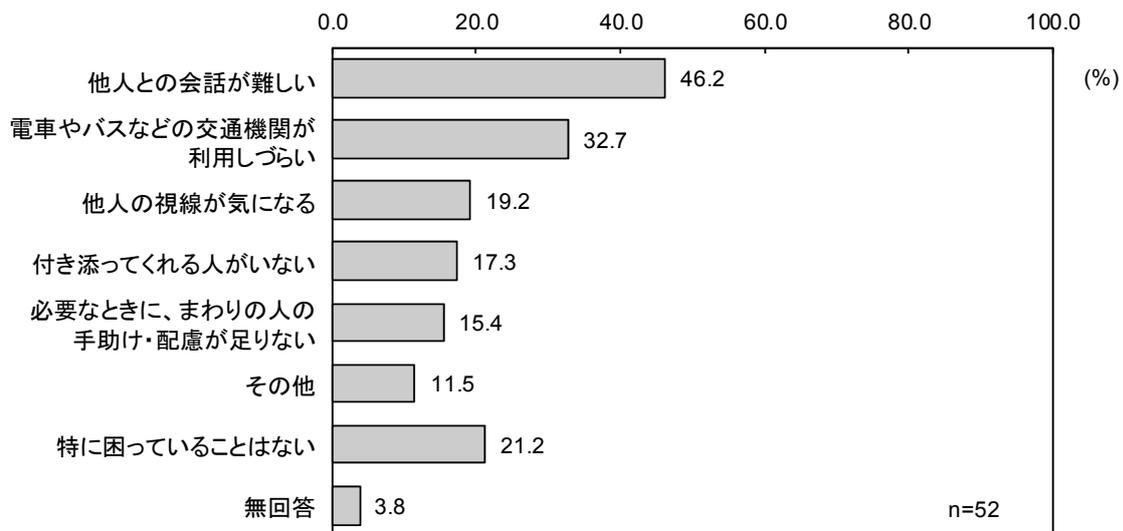
年代別にみると、20代の81.3%が「福祉施設、作業所などに通っている」と回答している。

(%)

n=		幼稚園や保育園、学校などに通っている	福祉施設、作業所などに通っている	病院などのデイケアに通っている	リハビリテーションを受けている	働いている	入所・入院している施設や病院などで過ごしている	自宅にすることが多い
TOTAL	52	19.2	57.7	0.0	1.9	11.5	1.9	5.8
9歳以下	6	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10代	12	58.3	25.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0
20代	16	0.0	81.3	0.0	0.0	18.8	0.0	0.0
30代	3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40代	9	0.0	77.8	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1
50代	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3
60代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
無回答	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問 10 対象の方は、外出の際に困っていることはありますか。（○はいくつでも）

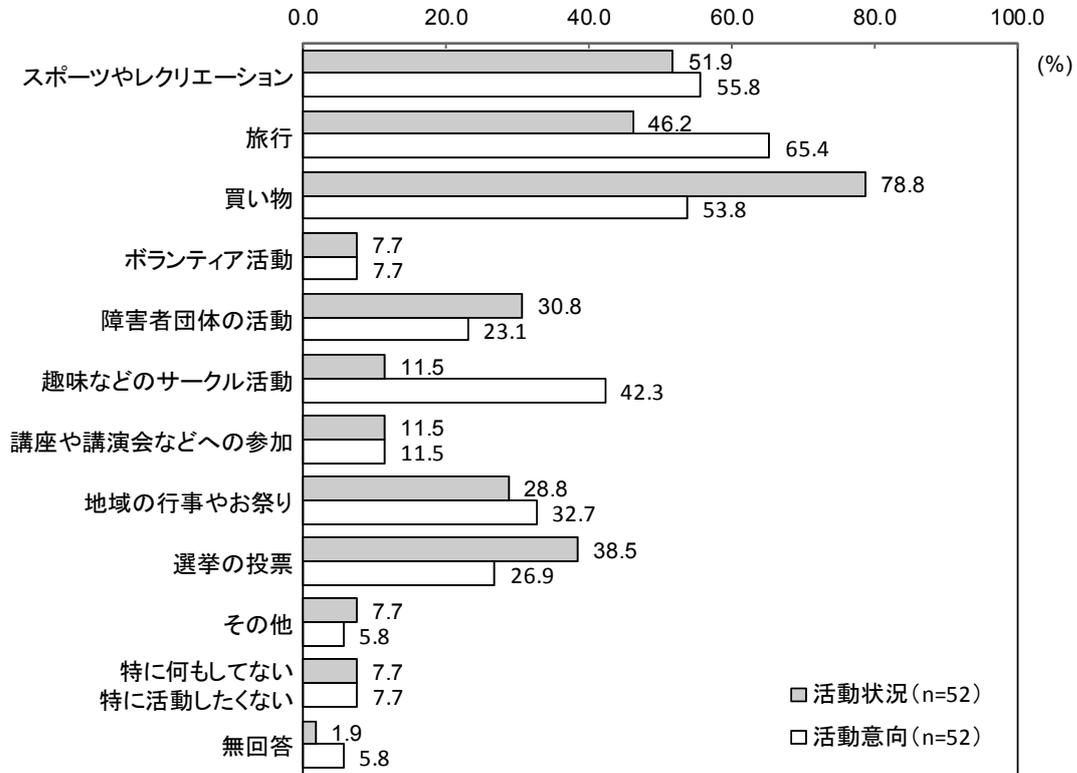
「特に困っていることはない」が 21.2%だが、外出の際困っていることとしては、「他人との会話が難しい」との回答が 46.2%で最も高い。次いで、「電車やバスなどの交通機関が利用しづらい」(32.7%)、「他人の視線が気になる」(19.2%)、「付き添ってくれる人がいない」(17.3%)と続く。



問 11 対象の方は、この1年くらいの間に、次のような活動をしましたか。(○はいくつでも)：活動状況  
 問 12 対象の方は、これからどのような活動をしたいと思いますか。(○はいくつでも)：活動意向

活動状況と活動意向を比べると、「旅行」は実際の活動状況が46.2%、活動意向は65.4%となっており、意向が約19ポイント高い。

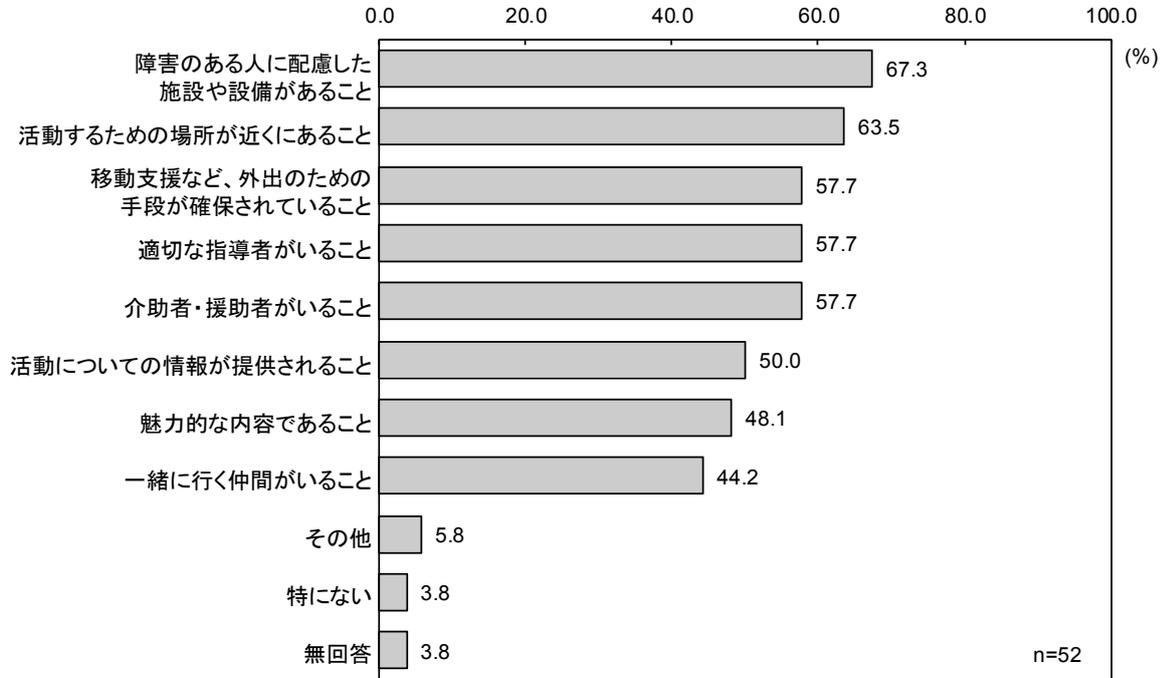
実際の活動状況では、「買い物」(78.8%)、「スポーツやレクリエーション」(51.9%)が高く、活動意向では、「旅行」(65.4%)が高い。



< II 8 相談支援機関利用者調査 >

問 13 対象の方が、問 12 のような活動をするために、どのような支援が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

活動のために必要な支援として、「障害のある人に配慮した施設や設備があること」が 67.3% で最も高く、次いで、「活動するための場所が近くにあること」(63.5%)、「移動支援など、外出のための手段が確保されていること」、「適切な指導者がいること」、「介助者・援助者がいること」(ともに 57.7%) が続いている。



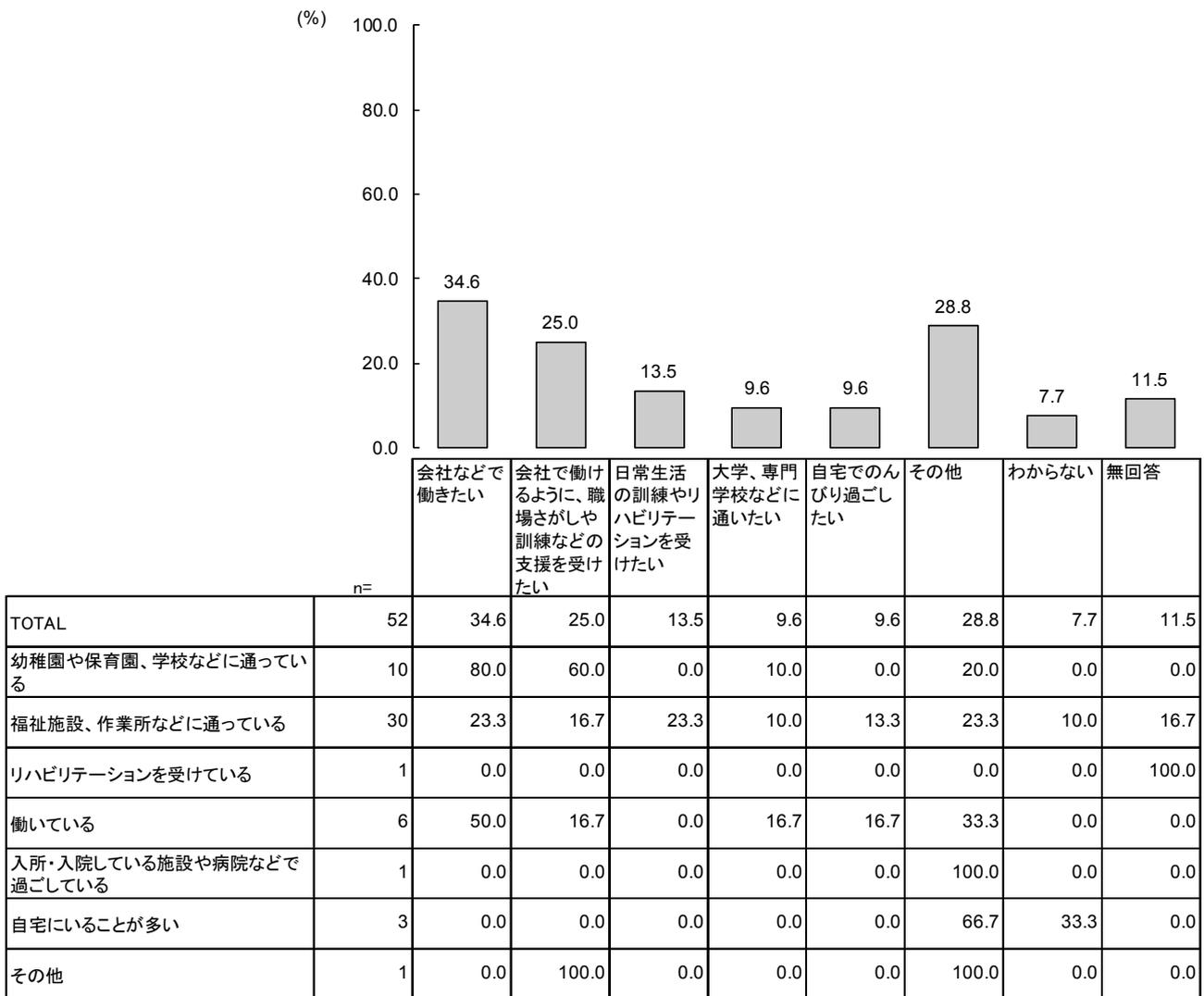
**(5) 将来の希望**

問 34 対象の方は、今後、どのように日中を過ごしたいと思いますか。※対象の方が未成年のお子さまの場合おおむね、高等学校卒業後のことを考えてお答えください。(〇はいくつでも)

今後、希望する日中の過ごし方は、「会社などで働きたい」が 34.6%、「会社で働けるように、職場探しや訓練などの支援を受けたい」が 25.0%となっている。「その他」(28.8%)として、「福祉就労」、「生活介護施設を利用したい」、「今の通所だけではつまらないので、外出したり自分のしたい事が出来る所に通いたい」、「公園のゴミ拾いや、駅などの花壇の水やりなど何でも良いので少しでも社会や他人様の役に立つことをレギュラーでやりたい。」などの記述があった。

平日の日中の過ごし方別にみると、福祉施設、作業所などに通っている人では「会社などで働きたい」、「その他」がそれぞれ 23.3%である。

<平日の日中の過ごし方別・今後、希望する過ごし方>

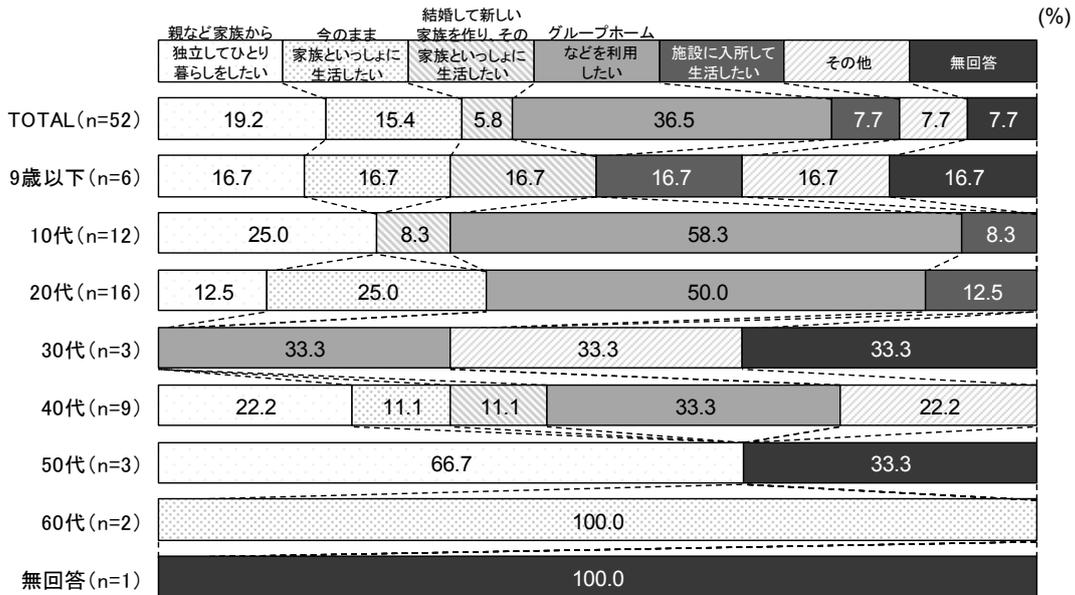


< II 8 相談支援機関利用者調査 >

問 35 対象の方は、将来、どのように暮らしたいと思いますか。※対象の方が未成年のお子さまの場合、成人後とお考えください。(○は1つ)

将来の暮らし方として、「親など家族から独立してひとり暮らしをしたい」が19.2%、「今のまま家族といっしょに暮らしたい」が15.4%、「結婚して新しい家族を作り、その家族といっしょに暮らしたい」が5.8%、「グループホームなどを利用したい」が36.5%、「施設に入所して生活したい」が7.7%である。

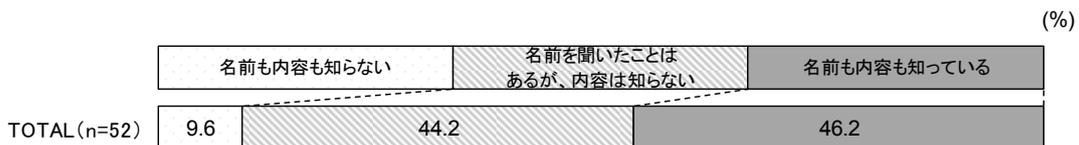
10代から40代では47.5%が将来は「グループホームなどを利用したい」との意向がある。



※0.0 は非表示

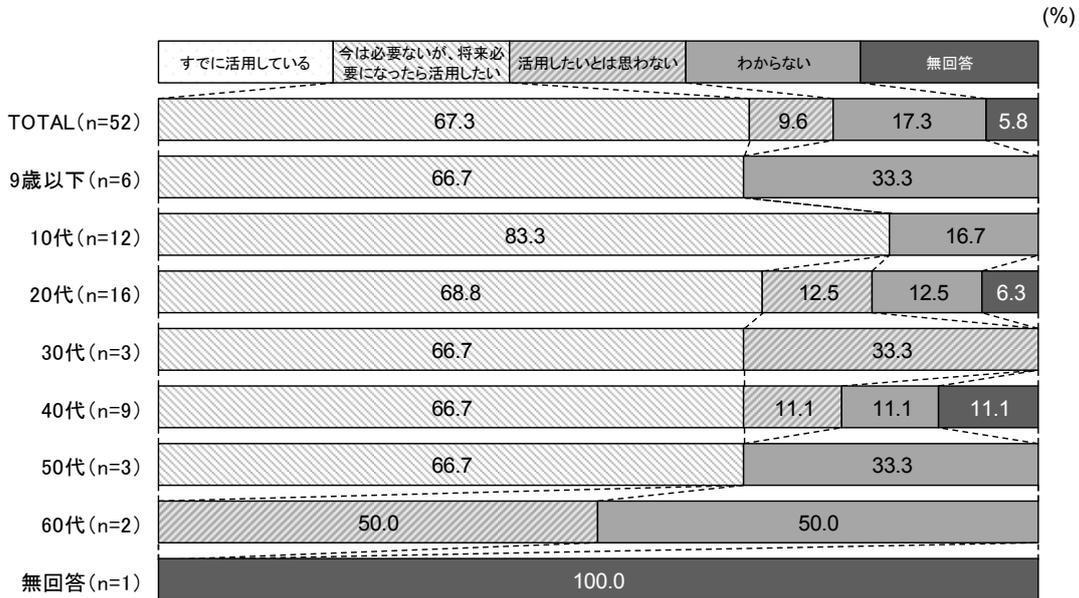
問 40 成年後見制度とは、知的障害や精神障害などの理由により、判断能力が十分でない方の財産などの権利を守る制度です。対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、成年後見制度について知っていますか。(○は1つ)

成年後見制度について、「名前も内容も知っている」人は46.2%、「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」人は44.2%である。9.6%の人が「名前も内容も知らない」と回答している。



問 41 対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、対象の方のために成年後見制度を活用したいと思いますか。（○は1つ）

成年後見制度について、「今は必要ないが、将来必要になったら活用したい」と考える人は67.3%である。



※0.0 は非表示

### (6) 通園・通学等について

問 15 対象の方が、通っているのは次のうちどれですか。（○は1つ）

<回答対象者：幼稚園や保育園、学校などに通っている人>

50.0%が「小学校、中学校（固定制の特別支援学級）」と回答している。「小学校、中学校（通常の学級）」、「小学校、中学校（特別支援学校）」がそれぞれ20.0%、「小学校、中学校（通常の学級のほか通級指導学級または特別支援教室を利用）」が10.0%である。

(%)

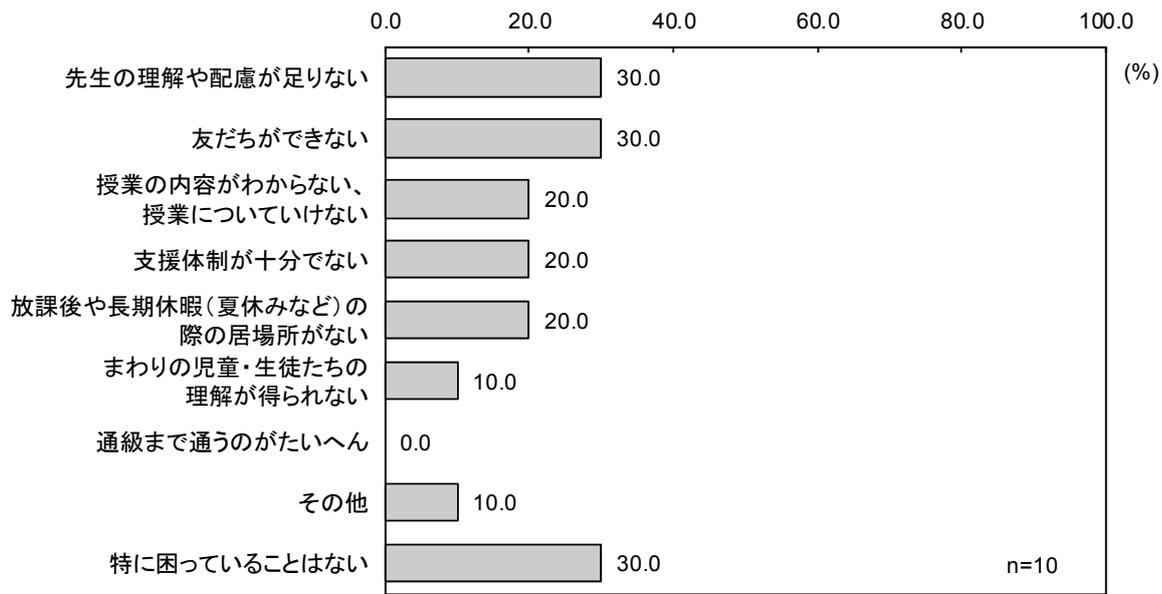
n=		幼稚園、 保育園	小学校、中 学校、高校(通 常の学級)	小学校、中 学校(通常の学 級のほか通 級指導学級 または特別 支援教室を 利用)	小学校、中 学校、高校(固 定制の特別 支援学級)	小学校、中 学校、高校(特 別支援学校)	大学、 専門学校	その他
TOTAL	10	0.0	20.0	10.0	50.0	20.0	0.0	0.0
9歳以下	3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
10代	7	0.0	14.3	0.0	57.1	28.6	0.0	0.0

< II 8 相談支援機関利用者調査 >

問 16 対象の方は、幼稚園・保育園、学校などに通っていて困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

<回答対象者：幼稚園や保育園、学校などに通っている人>

学校生活で困っていることとしては、「先生の理解や配慮が足りない」、「友だちができない」ことをあげる人がそれぞれ 10 人中 3 人 (30.0%) である。次いで「授業の内容がわからない、授業についていけない」、「支援体制が十分でない」、「放課後や長期休暇(夏休みなど)の際の居場所がない」の 3 項目がそれぞれ 10 人中 2 人 (20.0%) となっている。



問 17 対象の方やそのご家族(援助・支援をしている人など)が、学校教育に望むことはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

<回答対象者：幼稚園や保育園、学校などに通っている人>

学校に望むことについては、10 人中 9 人 (90.0%) の人が「子ども一人ひとりに合った教え方や指導をしてほしい」と回答している。「その他」(40.0%) として、「多くの知識や生活に必要なことをどんどん取り入れていってほしい。」、「将来、やくに立つことを教えてほしい」、「先生に障害のことを学んでほしい。などの記述があった。

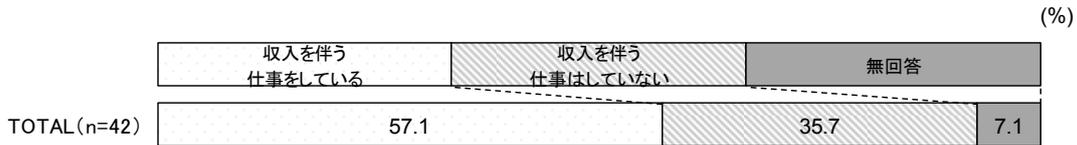
(%)

n=	子どもの勉強や学校生活、将来のことについて、相談にのってほしい	子ども一人ひとりに合った教え方や指導をしてほしい	学校の設備や教科書、教材を使いやすくしてほしい	学校の中の表示などを、誰でもわかりやすいものにしてほしい	その他	特に望むことはない
10	80.0	90.0	40.0	40.0	40.0	10.0

**(7) 雇用・就労について**

問 18 現在、対象の方は収入を伴う仕事をしていますか。(○は1つ)

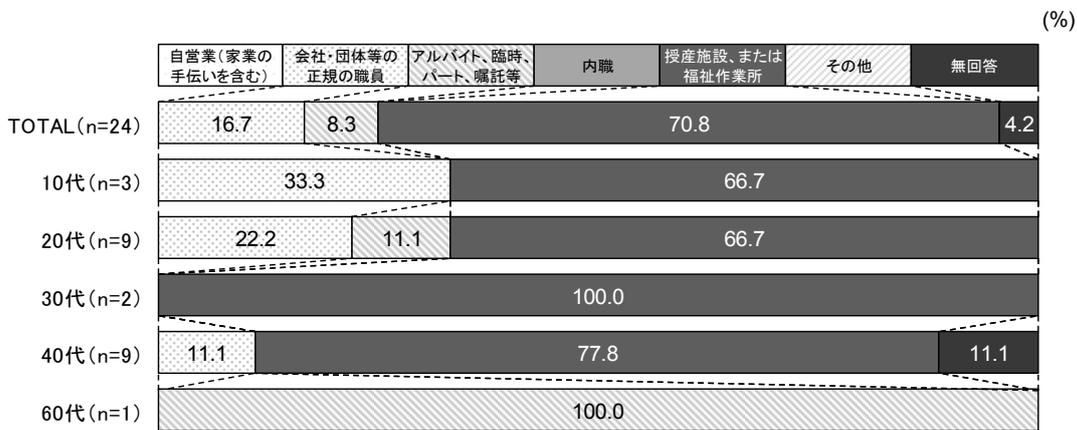
<回答対象者：問 14 で「幼稚園や保育園、学校などに通っている」と回答した人以外>  
 収入を伴う仕事している人は 57.1%、収入を伴う仕事をしていない人は 35.7%である。



<問 19~問 21 回答対象者：収入を伴う仕事をしている人>

問 19 対象の方の仕事の形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

就労形態は、「授産施設、または福祉作業所」が 70.8%、「会社・団体等の正規の職員」が 16.7%、「アルバイト、臨時、パート、嘱託等」が 8.3%である。



※0.0 は非表示

問 20 対象の方の1ヶ月当たりの平均的な給与・賃金・工賃はいくらですか。

1ヶ月当たりの平均的な給与・賃金・工賃は、平均 38,257 円である。

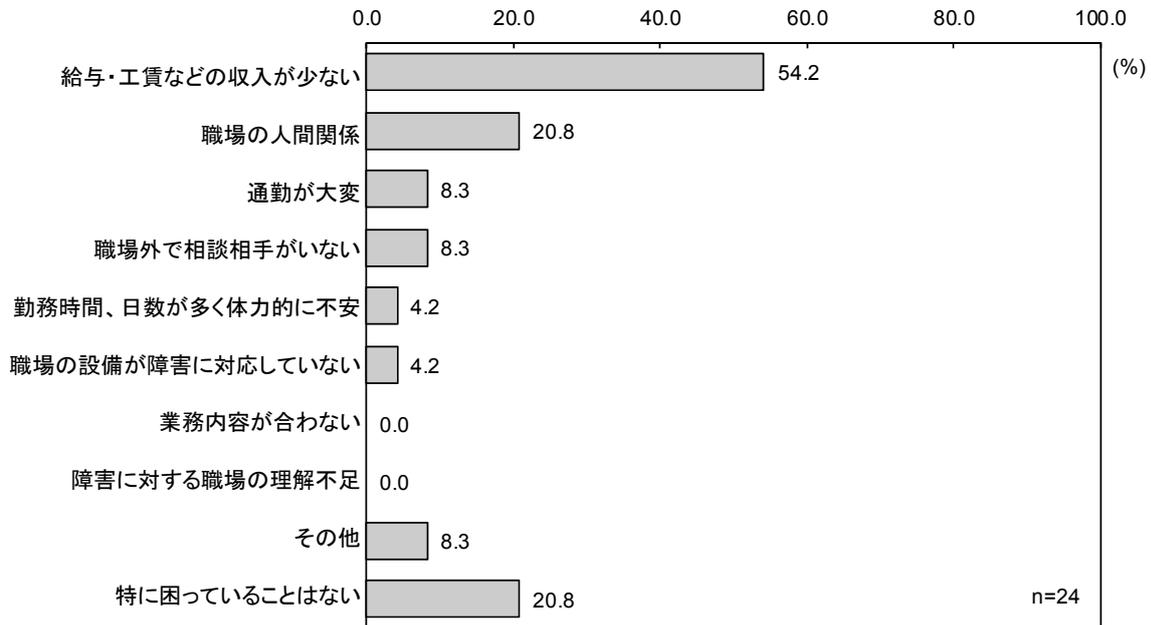
就労形態別にみると、1ヶ月当たりの平均的な給与・賃金・工賃は、「会社・団体等の正規職員」112,666 円、「アルバイト、臨時、パート、嘱託等」165,000 円、「授産施設、または福祉作業所」6,510 円となっている。

	n=	給与・賃金・工賃の範囲							無回答	平均 (円)
		5,000 円未満	10,000 円未満	15,000 円未満	50,000 円未満	100,000 円未満	150,000 円未満	150,000 円以上		
TOTAL	24	25.0	20.8	12.5	4.2	4.2	12.5	4.2	16.7	38,257
会社・団体等の正規の職員	4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	25.0	112,666
アルバイト、臨時、パート、嘱託等	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	165,000
授産施設、または福祉作業所	17	35.3	23.5	17.6	5.9	0.0	0.0	0.0	17.6	6,510
無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6,000

< II 8 相談支援機関利用者調査 >

問 21 対象の方が、仕事をする上で困っていることは何ですか。(○はいくつでも)

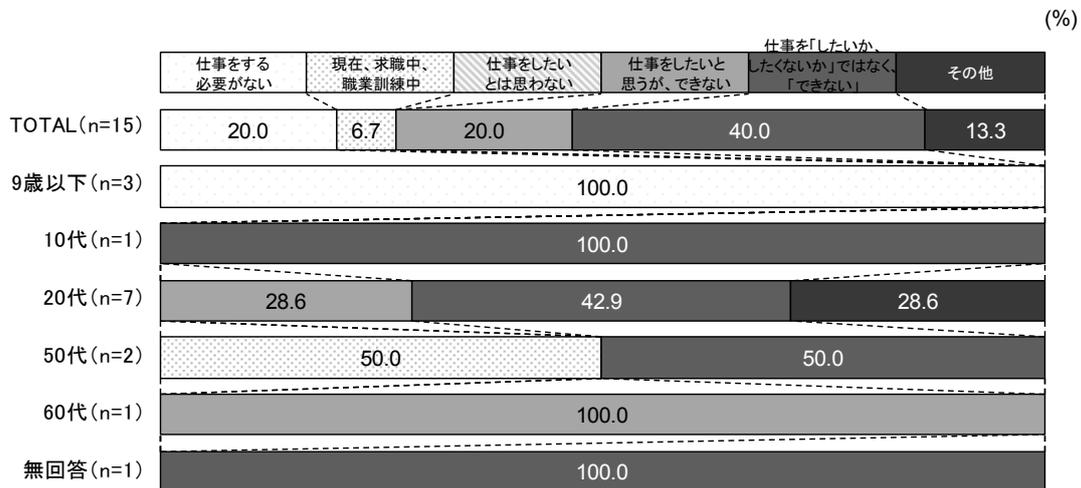
「特に困っていることはない」が20.8%だが、仕事をする上で困っていることとは、「給与・工賃などの収入が少ない」との回答が54.2%と最も高い。次いで、「職場の人間関係」が20.8%と続く。



問 22 対象の方が、仕事をしていない主な理由は何ですか。(○は1つ)

<回答対象者：収入を伴う仕事をしていない人>

仕事をしていない主な理由として、「仕事を「したいか、したくないか」ではなく、「できない」が40.0%で最も高い。



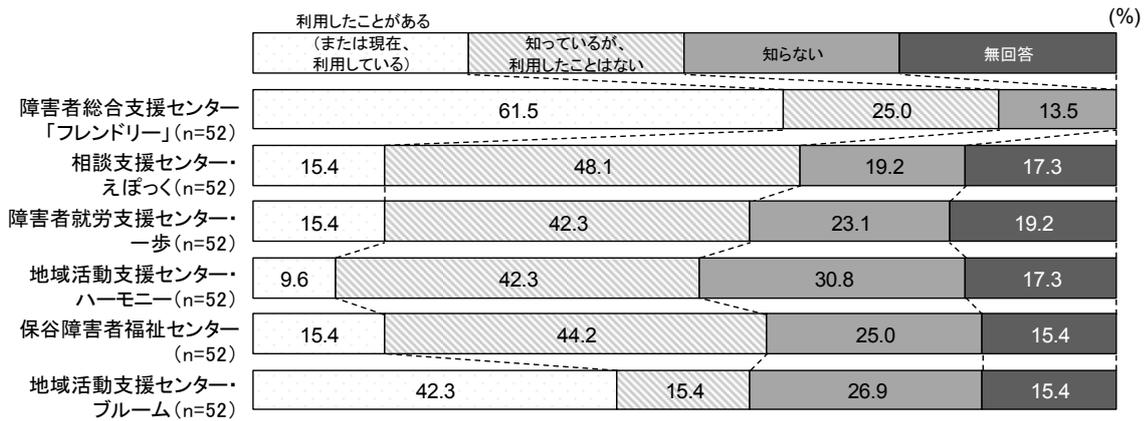
※0.0 は非表示

**(8) 障害者施設・施策について**

問 23 対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。（○は1つ）

問 24 対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、西東京市にある次の施設を利用したことがありますか。また、知っていますか。（○は1つ）

市内施設を利用したことがある人は、障害者総合支援センター「フレンドリー」が 61.5%、相談支援センター・えぼっく、障害者就労支援センター・一歩がそれぞれ 15.4%、地域活動支援センター・ハーモニーが 9.6%、保谷障害者福祉センターが 15.4%、地域活動支援センター・ブルームが 42.3% である。



※0.0 は非表示

問 25 対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、次の講座や事業等を知っていますか。（○はいくつでも）

市開催の講座や事業等の認知状況は、以下の通りである。

n=	認知状況 (%)					
	サポーター養成講座	ヘルプカード	スポーツ支援事業	障害者水泳教室	講座や事業等は知らない	無回答
52	38.5	73.1	36.5	34.6	15.4	7.7

**(9) 相談や情報入手方法**

問 26 対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親せき以外に、どのようなところに相談していますか。（○はいくつでも）

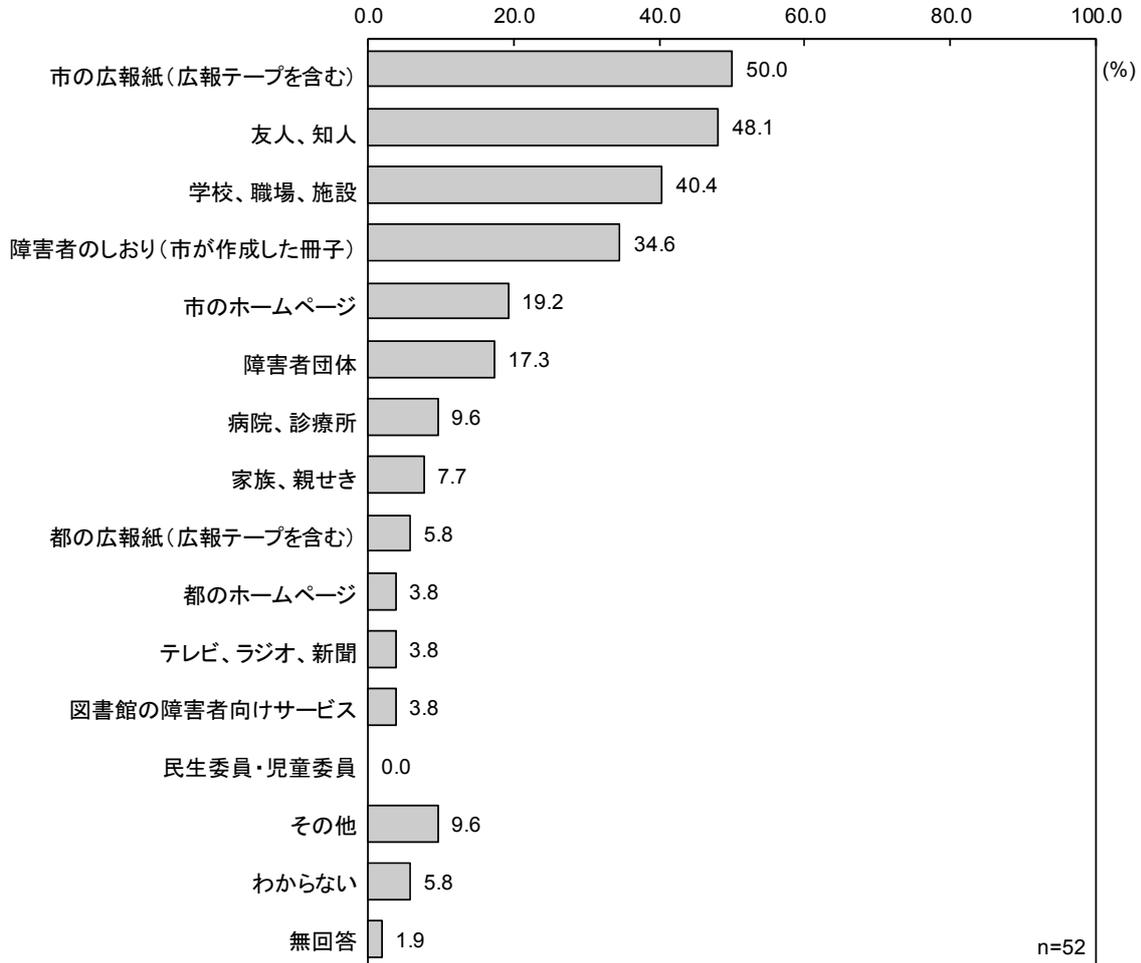
家族や親せき以外の相談先としては、「福祉施設や作業所の職員」をあげる人が 59.6%と最も高く、次いで「友人・知人」（42.3%）、「市役所の福祉相談窓口」（36.5%）と続いている。「相談できるところは特にない」と回答した人は 1.9%である。

(%)

n=	福祉施設 や作業所 の職員	友人・ 知人	市役所の 福祉相談 窓口	病院・ 診療所	地域活動 支援セン ター・ブ ルーム	幼稚園・ 保育園・ 学校の先 生や職場 の仲間	障害者 団体	相談支援 センタ ー・ えぼっく	障害者就 労支援セ ンター・ 一歩	保谷障害 者福祉セ ンター
52	59.6	42.3	36.5	34.6	26.9	19.2	15.4	11.5	11.5	7.7
	地域活動 支援セン ター・ハ ーモニ-	生活保護 の担当 職員	児童 相談所	保健師	民生委員・ 児童委員	社会福祉 協議会の 職員	その他	誰かに相 談するこ とはまれ である	相談でき るところ は特にな い	
	3.8	3.8	1.9	1.9	0.0	0.0	7.7	1.9	1.9	

問 27 対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。（○はいくつでも）

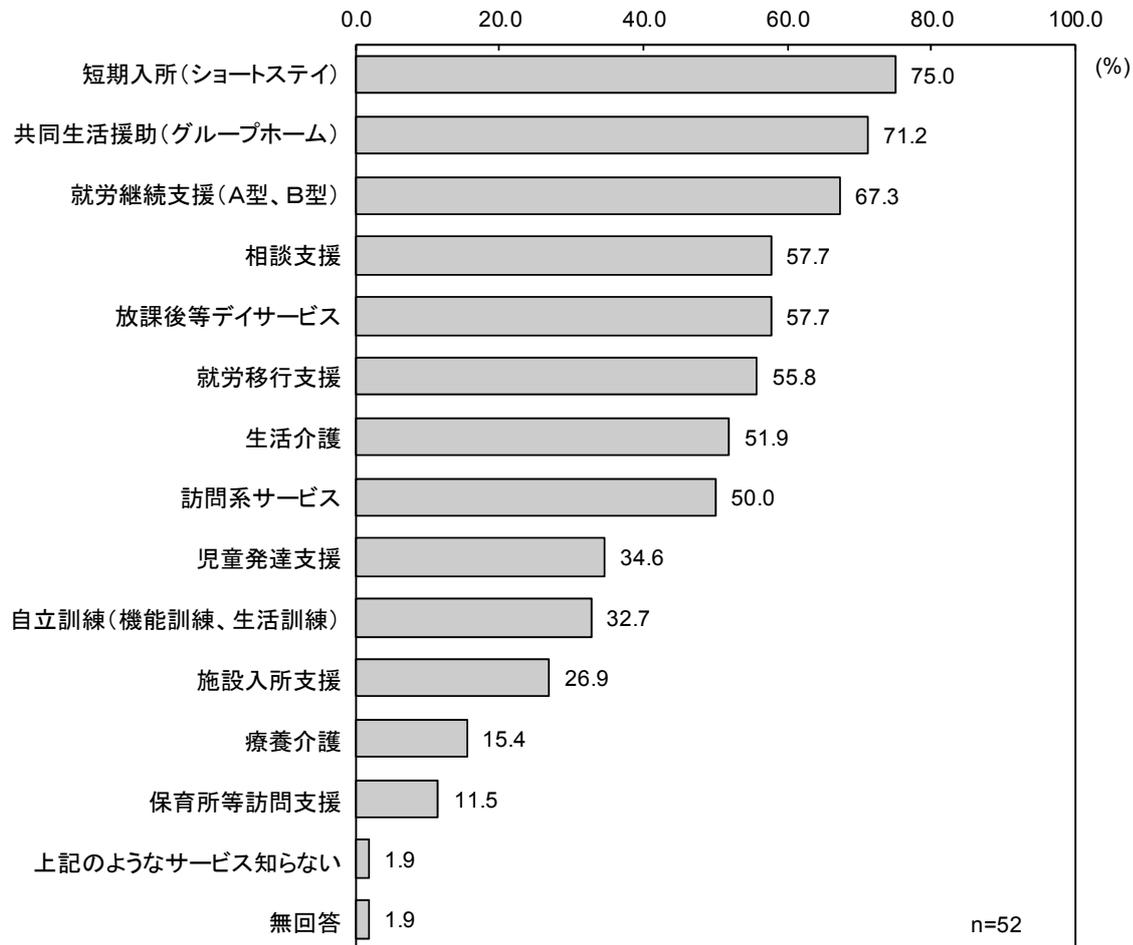
情報の入手先として、「市の広報紙（広報テープを含む）」が 50.0%で最も高く、次いで、「友人・知人」（48.1%）、「学校、職場、施設」（40.4%）と続いている。情報入手先が「わからない」と回答した人は 5.8%である。



### (10) 福祉サービス認知・利用状況

問 28 対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、次のような障害福祉サービスがあることを知っていますか。（○はいくつでも）

以下の障害福祉サービスのうち、知っている福祉障害サービスは、「短期入所（ショートステイ）」が75.0%で最も高く、次いで、「共同生活援助（グループホーム）」（71.2%）、「就労継続支援（A型、B型）」（67.3%）、「相談支援」、「放課後等デイサービス」（ともに57.7%）が続く。



**(11) 災害対策について**

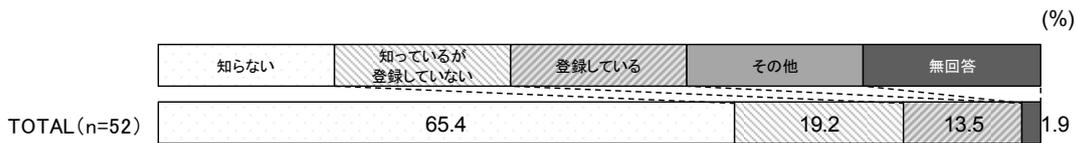
問 29 対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人）は、お住まいの地域の避難所を知っていますか。（○は1つ）

地域の避難場所を「知っている」人は73.1%である。



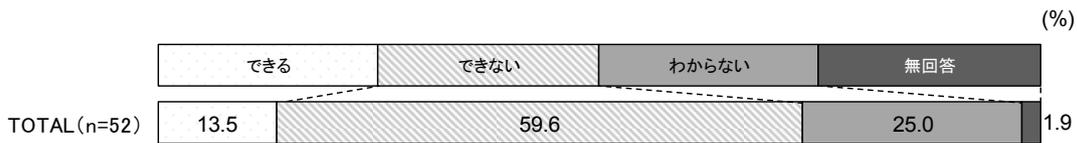
問 30 対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、災害時要援護者登録を知っていますか。（○は1つ）

災害時要援護者登録については、65.4%が「知らない」と回答している。



問 31 対象の方は、地震や大風などの災害時にひとりで避難できますか。（○は1つ）

災害時にひとりで避難が「できる」人は13.5%、「できない」人は59.6%である。



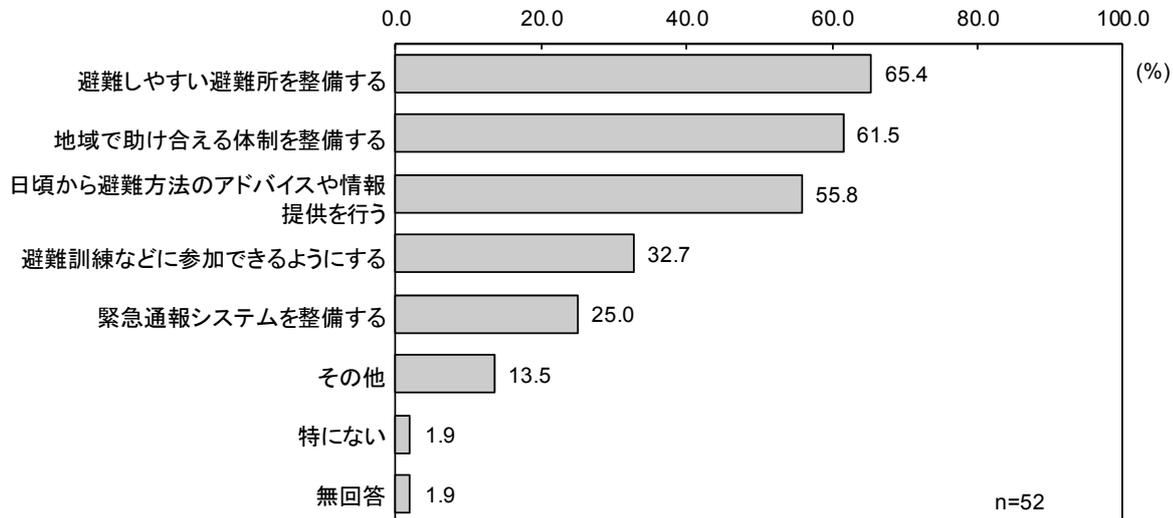
問 32 地震や台風などの災害が起こった際に、対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）の不安は何ですか。（○はいくつでも）

地震や台風などの災害が起こった際の不安としては、「避難先での不安」が78.8%で最も高く、次いで「避難する際の不安」(67.3%)、「災害の状況が伝わってこない場合の不安」(61.5%)が続く。「その他」(11.5%)として、「本人が通勤、帰路途中で災害にあった場合」、「障害者とその家族専用の避難所がないことが不安。(声を出すので一般の方と一緒に避難所に居られないから)」などの記述があった。

n=	災害の状況が伝わってこない場合の不安	避難する際の不安	避難先での不安	その他	特にない	わからない	無回答
52	61.5	67.3	78.8	11.5	3.8	3.8	5.8

問 33 対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）として、災害に備えて、または災害時に、どのような対策が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

必要な災害対策としては、「避難しやすい避難所を整備する」ことをあげる人が 65.4%で最も高い。「その他」（13.5%）として、「障害者と家族が安心して避難できる避難所の確保」、「避難訓練時に障害のある人が名乗りやすくしてほしい。自分から言えないこともある。」、「自閉症の様にパニック等をおこしてしまう人への理解のある避難場所の確保」などの記述があった。



## (12) 障害・障害者への理解

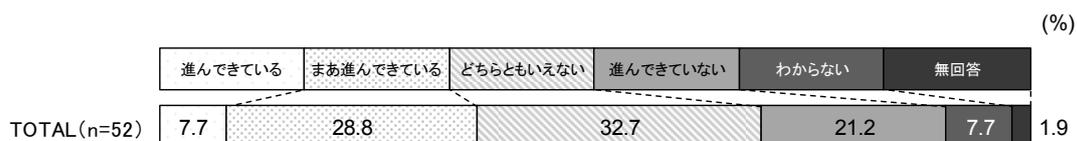
問 36 対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、対象の方の症状や言動などで、差別や人権侵害、虐待を受けていると感じることがありますか。（○は1つ）

差別や人権侵害、虐待については、44.2%の人は「ほとんど感じることはない」が、7.7%は「いつも感じる」、34.6%は「たまに感じる」と回答している。



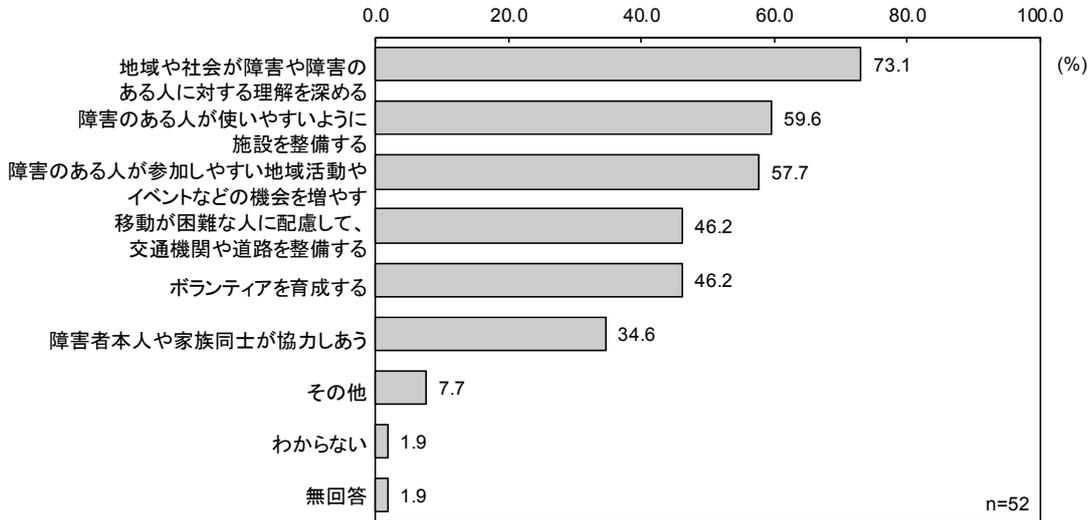
問 37 対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、障害や障害のある方々に対する市民の理解は進んできていると思いますか。（○は1つ）

障害や障害のある人に対する市民の理解が「進んできている」と考えている人は 7.7%、「まあ進んできている」（28.8%）をあわせると、36.5%の人は市民の理解が進んできていると感じている。



問 38 対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、障害のある方々が地域や社会に積極的に参加するために、特に大切なことは何だと思えますか。（○はいくつでも）

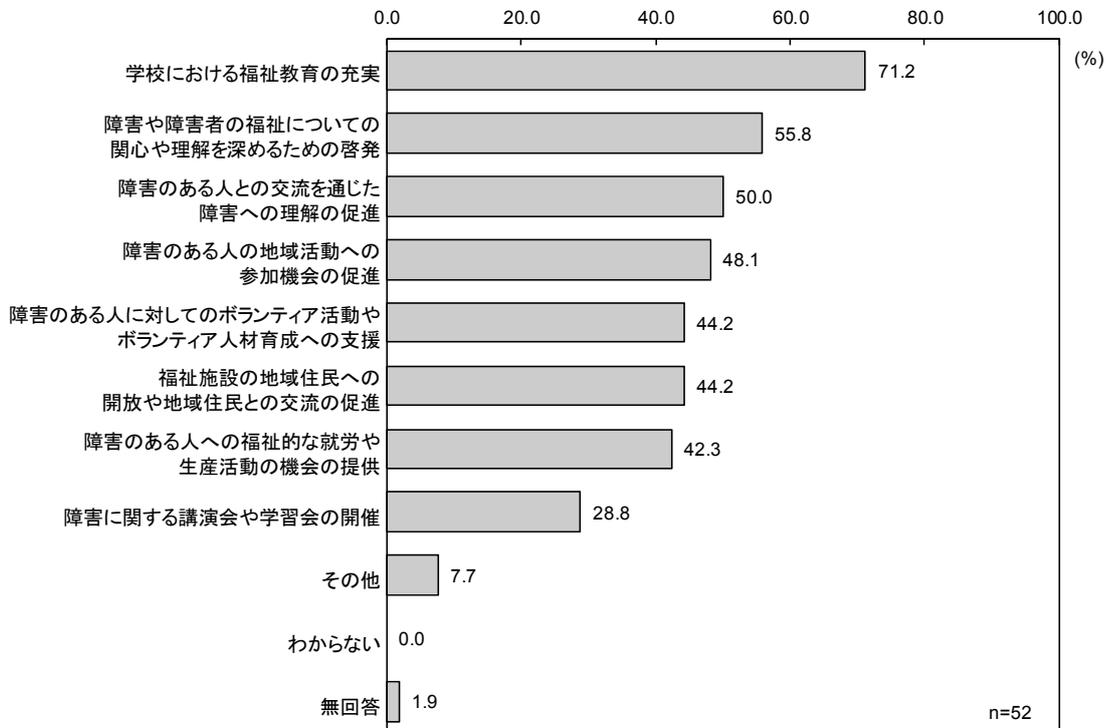
障害のある方々が地域や社会に積極的に参加するために大切なこととして、「地域や社会が障害や障害のある人に対する理解を深める」が 73.1%で最も高く、次いで、「障害のある人が使いやすいように施設を整備する」（59.6%）、「障害のある人が参加しやすい地域活動やイベントなどの機会を増やす」（57.7%）が続いている。



< II 8 相談支援機関利用者調査 >

問 39 対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、障害や障害のある市民への理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

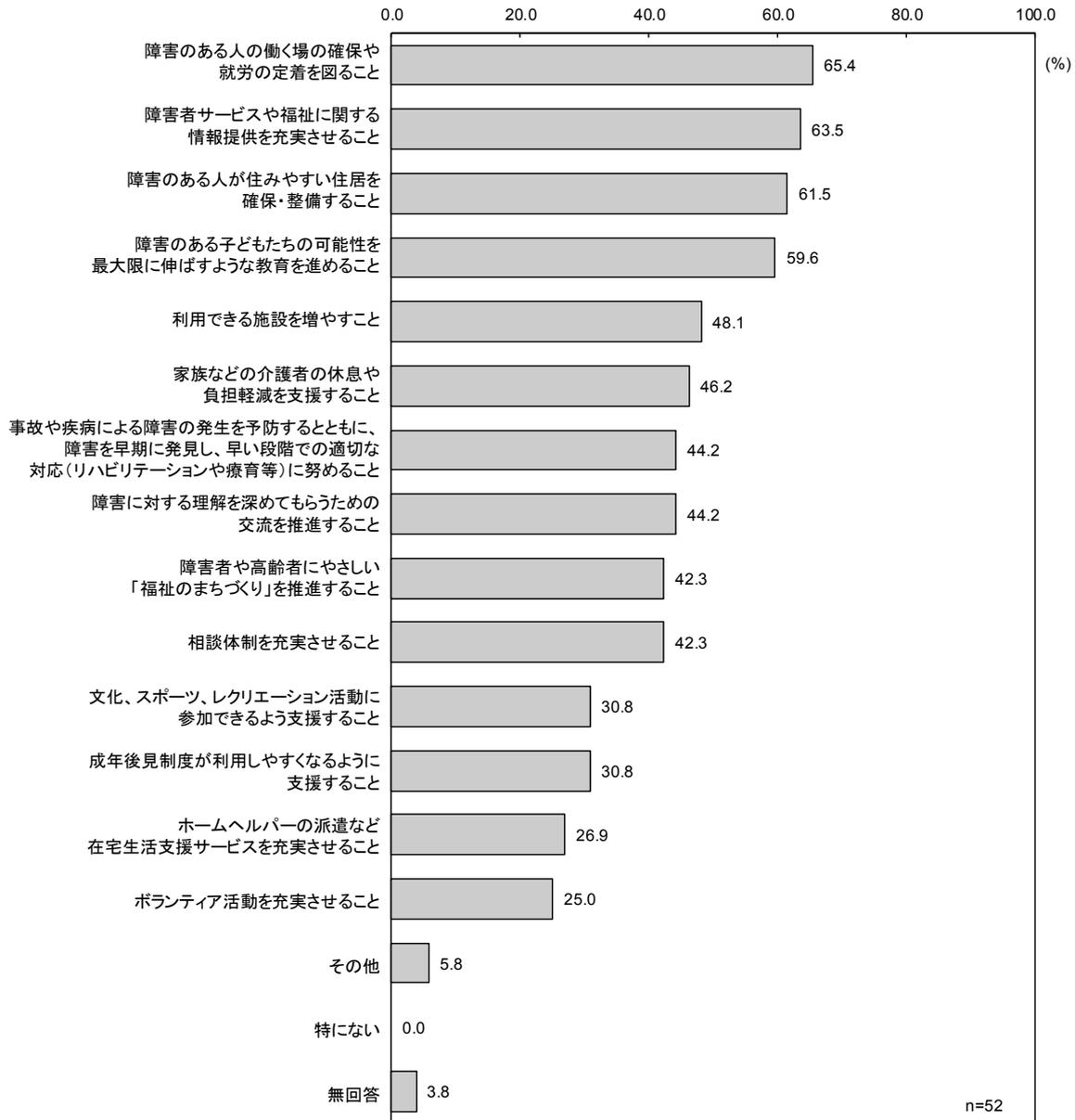
障害や障害のある人への理解に必要なこととして、「学校における福祉教育の充実」が71.2%で最も高く、次いで「障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための啓発」（55.8%）、「障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進」（50.0%）が続いている。



**(13) 障害者施策、市への要望等**

問 42 対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。（○はいくつでも）

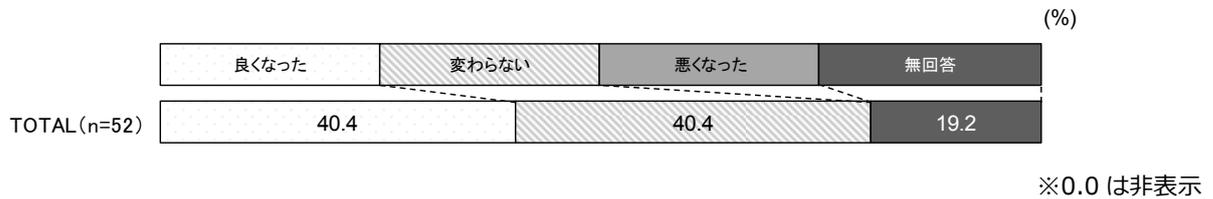
今後、市が充実させていくべき障害者施策としては、「障害のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること」が 65.4%と最も高く、次いで「障害サービスや福祉に関する情報提供を充実させること」が 63.5%、「障害のある人が住みやすい住居を確保・整備すること」が 61.5%で続いている。



< II 8 相談支援機関利用者調査 >

問 43 対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、約5年前（平成24年）と比べて、障害者のサービスはどのように変わったと思いますか。（○は1つ）

5年前（平成24年）と比べて障害者サービスは「良くなった」、「変わらない」と感じている人がそれぞれ40.4%である。



問 44 そのようにお答えになったのは、どのような理由からですか。（自由記述）

問 43 で選択した回答の理由は以下の通りである。

<良くなった>

- ・ ネットで情報が得やすくなった。事業所が増え選択肢が増えた。（男性・42歳・身体障害者手帳）
- ・ 児童デイサービスと市内の福祉作業所の受入枠が増えた。相談支援の事業所が増えている。（男性・19歳・身体障害者手帳、愛の手帳（療育手帳））
- ・ スポーツに関して参加できるイベントが増えた。（男性・24歳・愛の手帳（療育手帳））
- ・ 就労移行支援や作業所（働く場）が増えている。（男性・22歳・愛の手帳（療育手帳））
- ・ 障害の事を理解してくれる人が多くなってきてくれた感じがする。（男性・41歳・精神障害者保健福祉手帳）
- ・ 放課後等デイサービスが出来た。（女性・11歳・愛の手帳（療育手帳））
- ・ 利用できるサービスが増え、さらに内容も充実していると思う。（女性・20歳・身体障害者手帳、愛の手帳（療育手帳））

<変わらない>

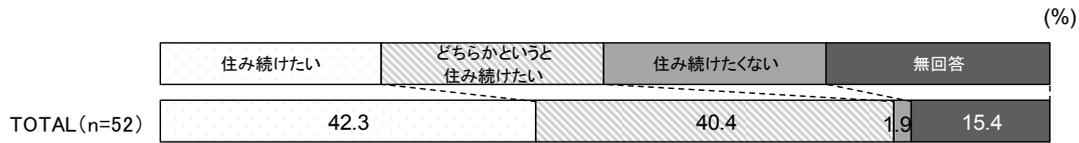
- ・ 障害者施策を評価するにあたり、「施設・窓口やサービスの種類、利用者が増加」などはひとつのステップに過ぎません。施設やサービスを利用したとしても、障がい者の希望に沿ったものであるか否かはまた別の段階となります。また受けたいサービスであっても、事実上条件が合わない為に利用できないという場合もあります。少数派であっても障がい者各々の本当の希望をしっかりと聞き取り、施策に反映させて下さい。（男性・21歳・身体障害者手帳、愛の手帳（療育手帳））
- ・ 卒業後は通う場所が少なく、人数も定員をオーバーしていて、学校の時とは比べものにならないくらい悪くなる。日中一時も7日しかないのもそれ以上使えば自己負担も増え、親が働けなくなり悪循環。重度の肢体不自由だと移動支援もなかなか使いづらい。（女性・19歳・身体障害者手帳、愛の手帳（療育手帳））
- ・ 児童に対するショートステイがあまり確立されていない為。（男性・13歳・愛の手帳（療育手帳））

<悪くなった>

（記述なし）

問 45 対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、今後も西東京市に住み続けたいと思いますか。（○は1つ）

42.3%の人が今後も西東京市に「住み続けたい」と回答している。



問 46 最後に、この調査を通じて、選択肢や自由記述欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、自由にお書きください。（自由記述）

調査票の最後に、調査質問選択肢だけでは表現しきれなかったことや意見、要望、計画に盛り込みたいことなどを自由に記入できる欄を設けた。本報告書では紙面の都合上すべてを掲載することはできないが、調査票の設問から浮き彫りにされにくい課題・問題点を中心に、より代表性・具体性のある意見・要望の一部を紹介することとする。

#### 障害認定に関すること

- ・ いわゆるボーダーラインですが、ふつうの方と同じように動く（学ぶ）ことは難しい場合、どのようにしていったら良いのでしょうか。その整備は、どうなっているのでしょうか。（男性・11歳）

#### 手続きに関すること

- ・ 医療に関する資料を出すのに、保谷か田無かわからないときがあるのが困る。（男性・10歳）

#### 相談に関すること

- ・ 相談窓口での相談をもっと行きやすいようになっていたら、ありがたい。（男性・10歳）

#### 各種サービスに関すること

- ・ 放課後等デイサービスも行っている療育センターに通っていますが、午後は放課後等デイサービスの利用者が来る為、預かり時間が短くなるのでもう少し長く預かってほしいです。（男性・3歳）
- ・ ヘルパーには時間制限がある。移動支援と生活サポートの時間単位も予め申告しているため、本人の状態に合った利用が難しい。複数の事業所と契約し、複数のサービスで利用しても、どこの事業所を利用しても制限時間内であれば良いというサービスを望む。（男性・21歳）
- ・ 市で運営する施設などがなくなり、本当にこの先不安です。このまま住み続けても税金は高くサービスは低いので困ります。卒業後は月々の支出も増え、手当だけではきびしくなります。（女性・19歳）
- ・ タクシー利用券を全国で使えるとありがたいです。民営のバス乗車割引証のルールがわかりにくいです。（男性・10歳）
- ・ もっと子どもに合っているものが見つかればそちらに行きます。（女性・8歳）

#### 将来の生活に関すること

- ・ 将来の不安（住宅）、生活、経済的、不安。一般的な知識、常識。悩みごとや心配ごととはつきない。（男性・29歳）

#### 教育に関すること

- ・ もっとグレーの障害に対して、学校も協力してほしい。（勉強面など）（男性・8歳）

< II 8 相談支援機関利用者調査 >

**余暇活動等に関すること**

- ・ 障害が中途半端な子供の行き場がない。職場以外で。(男性・19歳)
- ・ 支援校に通う中学生は部活もないことが多いので運動不足になりそうです。ぜひ、小中学生～18歳までを対象の障害児スポーツ教室を開設して下さい。(女性・11歳)
- ・ 障害者水泳教室は知的障害者を対象としている。肢体不自由者の望む水泳教室とは異なる。肢体不自由者も安心・安全に活動できる教室がほしい。(男性・21歳)

**理解や権利擁護、差別・人権侵害等に関すること**

- ・ 外見ではわからない障害の場合、周囲の理解が得られず本当に大変です。偏見がなくなるような啓発活動をお願いいたします。(女性・19歳)
- ・ 弱者が幸福な日々が過ごせる事をいつも願っています。(女性・年齢無回答)

**障害者施策の推進、計画策定等に関すること**

- ・ 障害者福祉は二側面から考える必要がある。ひとつは「障がい者本人の希望に徹底的に沿うこと」。そしてもうひとつは「障がい者を抱える家族に寄り添い、不安を取り除くこと」(男性・21歳)

**その他**

- ・ アンケートの幅が広すぎる。(障害の種類や年齢、状況により異なる) このアンケートの回答から具体的かつ道筋になる結果が得られると思えない。時間短縮と労力をかけずにすむアンケート内容に思え、意図が見えません。(女性・29歳)
- ・ 漢字が多いのと、難しい文言が多いので、本人に説明、理解させるのが困難で、時間が大変かかり、はたして、きちんとわかって、回答しているのか。(男性・22歳)

### Ⅲ 事業所・団体ヒアリング結果

8月～9月に、事業所や障害者団体等に対して、面接形式によるヒアリング調査を実施した（一部は回答票の提出による）。

#### 1 事業所ヒアリング結果

事前調査および面接形式によるヒアリング調査を実施した事業所は以下の通り。

<p>&lt;就労継続支援 B 型・就労移行支援&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークステーション ウーノ</li> <li>コミュニティルーム 友訪</li> <li>パッソ西東京</li> <li>富士町作業所</li> <li>さくらの園</li> <li>就労移行支援事業所 カノン</li> </ul>	<p>&lt;相談支援&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域活動支援センター・ブルーム</li> <li>就労支援センター 一歩</li> <li>相談支援センター えぼっく</li> </ul>
<p>&lt;居宅介護・生活介護・短期入所 他&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>夢スユア</li> <li>ケアワーク 北多摩</li> <li>どろんこ作業所</li> <li>生活介護事業所 くらーばー</li> </ul>	<p>&lt;児童発達支援・地域活動支援センター&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>こどもの発達センター ひいらぎ</li> <li>児童発達支援事業 みらい</li> <li>保谷障害者福祉センター</li> <li>地域活動支援センター ハーモニー</li> </ul>
<p>&lt;共同生活援助・生活訓練等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループホーム 住まいる</li> <li>ケアホーム西東京</li> <li>ミモザハウス</li> <li>yourlifestyle 研究所</li> </ul>	<p>&lt;放課後等デイサービス&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Par aile ひばりが丘</li> <li>療養型児童デイサービス さざんか</li> <li>放課後等デイサービス くらーばー</li> </ul>

#### (1) 事業展開における課題、困っている点

##### ①事業継続、事業展開全般について

###### <放課後等デイサービス事業所>

- 在籍児童の通学校は広範囲にわたり、送迎の必要な学校は6～7校ある。通常は送迎車3台で対応しているが、火曜日は送迎の必要な学校数が多く、4台で対応している。下校時刻がほぼ同じなので、4台でも対応しきれないこともある。

###### <地域活動支援センター>

- 精神障害者のサービス等利用計画の作成依頼が多く、丁寧に対応したいがマンパワーを要するため、対応判断に迷う（対応範囲、質を落としてでも多くの依頼に応えるべきか、数を絞って丁寧に対応すべきか等）。

###### <短期入所（ショートステイ）事業所・居宅介護事業所>

- 短期入所や外出支援等の利用希望は、夏休みや週末に集中する。受け入れ可能人数に限度があるため、他事業所を紹介しているが、空きがない場合が多い。基本的に空きがなければ利用を断らざるを得ない。

### <Ⅲ 事業所・団体ヒアリング結果>

#### ②事業所の経営・利用者の確保について

##### <生活介護事業所・就労移行支援事業所>

- ・ 利用率の低下により、収益が悪化した。1日利用は最大20名だが、昨年度は平均13名程度に利用率が低下した。
- ・ 利用者の就職を促し、就労が実現すると、利用者が少なくなる。安定的な利用者確保が難しい。

#### ③施設・ハード面について

##### <就労継続支援B型事業所>

- ・ 利用人数増加に伴い、事業所が手狭になってきている。元々は24人程度の登録、18人利用（9人×2フロア）を想定しており、スペースは十分のはずだが、麻痺のある人が多く、通常想定よりも広くスペースを確保する必要がある。
- ・ 利用者への個別支援の重要性が高まりつつある。現在は大きな部屋で約50名がひしめきあっており、騒音等の問題のほか、聴覚過敏の人やパニックなど、ある程度、個人や障害特性に合わせた対応が必要になってくる。本来はひとり一人にあった環境を整えるのが望ましいが、建物が賃貸物件なので、大がかりな工事等はできない。
- ・ 建物の老朽化が深刻で雨漏りがする。トイレも古く1ヶ所のため、休憩時間に20人ほどが利用する状況は収容能力の限界に近い。今の家賃水準で同等の広さの物件を確保することは他では難しく、また近隣地域の理解も必要なので、簡単に移転できない。

##### <相談支援・地域活動支援センター>

- ・ 利用人数も多く施設の部屋数が不足している。また利用者の障害種類が多彩であり、利用者間の相互理解・人間関係の調査が困難。

#### ④サービスの質について

##### <放課後等デイサービス事業所>

- ・ 利用者数の増加にともない、活動場所を施設外に求めているが、娯楽がない。

#### ⑤人材確保について

##### <共同生活援助（グループホーム）事業所>

- ・ 通所の時間帯は職員も集まりやすいが、グループホームの場合、早朝対応などもあり、職員の確保が難しい。正規職員7名と嘱託非常勤23名体制で対応しており、シフトで週1回だけの人もいる。また、重度の利用者が多いが、軽度の人が多いグループホームで働いていた職員は続かない。
- ・ 職員数が少ないため、急な休みやトラブルが重なった時の対応に困る。

##### <生活介護事業所>

- ・ 支援員募集の求人を出しているが、適した人材の応募はきわめて少ない。都内の福祉系大学、学科、専門学校に全てに求人募集を送付したが、反応はほとんどなかった。学校で障害福祉を学んでいても、生活介護のイメージを持ちにくいようである。

##### <地域活動支援センター>

- ・ 精神障害者の場合、サービス等利用計画の作成中に障害が再発すると、本人を説得して病院に連れて行くことや、遠方の入院先に定期的に訪問するなど、対応しているが、マンパワーが必要となる。

#### ⑥他事業所や他サービスとの連携等について

##### <共同生活援助（グループホーム）事業所>

- ・ 精神障害者では、見学体験から本利用までに時間がかかる。精神障害者にとって煩雑な手続きを伴うため、その間に就労意欲が削がれてしまう。

<相談支援事業所>

- ・ 他事業所との連携に困惑することがある。各事業所とも繁忙状況の中、事業展開をしているため、困難事例の押し付け合いになってしまうことがある。余裕をもって困難事例に対処する関係性を構築したい。

⑦その他

<居宅介護事業所・重度訪問介護事業所>

- ・ 一家族に介護保険サービスと障害福祉サービスの利用者がある場合、65歳になった時に、障害福祉サービスから介護保険サービスへとスムーズに移行しないことが多々ある。介護保険サービスや地域包括支援センターのケアマネジャーにおいても、障害福祉サービスや制度の理解が不十分な場合もあり、まず制度の説明から行わなくてはならず、非常に労力がかかる。

<相談支援・地域活動支援センター>

- ・ 生活支援は施設営業時間外にサービスを提供することが多く、また地域活動支援センターの通常業務にも影響するため、職員の負担が大きい。利用者数が少ない時期でも、困難ケースが多いと業務量は減らず、利用者への対応が間に合わない。

## (2) サービス利用者からの要望等

### ①サービスの質や利用の仕方について

<就労継続支援 B 型事業所>

- ・ 作業種目が「就労の役に立たない」と言われることがある。これは、パソコン操作等を必要とする求人が多いことを意識した意見でもある。

<相談支援事業所>

- ・ サービスの利用開始手順がわかりにくい。利用希望者にとっては、事業所の見学や体験利用が先なのか、支援区分調査が先なのかといったこともわからない。

<相談支援事業所・地域活動支援センター>

- ・ 職員が忙しそうに動いているので、相談だけでなく、雑談もできない。また話をしたい職員が外出していることが多い。

### ②事業所のハード・施設面について

<就労継続支援 B 型事業所>

- ・ 建物が古く狭いので、静かな環境がほしい。静かな環境を希望する利用者には別室に行ってもらいが、根本的な解決にはならない。

<相談支援事業所・地域活動支援センター>

- ・ 場所が狭く、居場所がないと感じる。また相談室も少ないため、プライベートな話ができない。個別対応してほしいが、人（相談者）もスペースも足りていない。

### ③市内の障害福祉サービス全般について

<相談支援事業所>

- ・ 移動支援サービス、短期入所サービスは逼迫状態にあり、利用したい時に利用できないとの相談をよく受ける。

### <Ⅲ 事業所・団体ヒアリング結果>

#### <放課後等デイサービス事業所>

- ・ 利用者の保護者より、放課後等デイサービスの事業所数が足りない、各事業所とも満員状態にあると聞いている。当事業所も満員で新規受付ができず、問い合わせは毎週のようにあるが、全てお断りしている。

### **(3) サービスの質の維持・向上のための取り組み**

#### **① サービスやプログラムの充実**

##### <就労移行支援事業所・就労継続支援 B 型事業所>

- ・ 近隣企業と連携し、職場実習の体験を依頼したり、すでに就職した人の働いている状況を見学したり、「ステップアップ雇用」などの取り組みを行っている。
- ・ 利用者のスキルアップのため、作業プログラムの充実・増加を図っている。単純作業や同じ作業の繰り返しよりも、新しい作業にチャレンジし、自信がつけば能力が高まる。
- ・ 利用者との会話時間を多く持つことや、支援員同士の意見交換によって、支援員と利用者の信頼関係を感じられるように努力している。

#### **② 職員のスキルアップ、新規採用**

##### <相談支援事業所・地域活動支援センター>

- ・ 事業所内での研修やケース共有、外部研修への参加、近隣企業との連携、企業等を対象とした就労支援セミナーの開催、医療機関や近隣福祉施設への出張就労講座の実施。
- ・ 多くの研修に参加し、職員のスキルアップを図っている。
- ・ 日々のミーティングのほか、施設内勉強会、職員の各種研修会などを通じ、権利擁護、利用者対応について意識改革を促し、支援技術の習得を図っている。

##### <就労継続支援 B 型>

- ・ 常勤職員の採用は難しいが、非常勤職員を増やす。外に出ていく作業も多いので、常に相談できるように（施設に残っている）職員を増やすことが重要である。

#### **③ 事業所の安全管理、防災対策等**

##### <就労継続支援 B 型事業所・生活介護事業所>

- ・ 防災訓練の実施や、地震への備え（棚の転倒防止器具の設置、台車のロック機能等）に力を入れており、二次災害の防止に努めている。有事の際は、メール一斉送信で保護者と連絡がとれるようにしている。

#### **④ 利用者の意見・要望等の把握**

##### <就労移行支援 B 型事業所>

- ・ 「苦情解決委員会」を設置し、利用者の意見を把握している。
- ・ 法人全体で実施する利用者へのアンケート調査。

#### **⑤ 職員間の情報共有、コミュニケーション促進等**

##### <就労移行支援事業所>

- ・ 就労継続支援 B 型事業と連携し、B 型利用者の情報を共有する会議を月 1 回行っている。就労移行支援サービスでの就労が困難な人では、就労継続支援 B 型事業に戻ることもある。

<相談支援事業所>

- ・ チーム担当制とし、利用者 1 名に対し、少なくとも 2 名のスタッフで対応している。ミーティングによる情報共有や、相談できる体制づくり、一人で抱え込まない体制、職場の雰囲気づくりを心掛けている。

<児童発達支援事業所>

- ・ 担当職員 1 名のみで児童の対応をするのではなく、チーム制（複数の児童に対し、複数の職員で担当する形式）とし、担当職員が休みの際にもスムーズに対応できるようにしている。

⑥その他

<放課後等デイサービス>

- ・ 保護者向けにセミナーの開催。障害児の資産形成や、親が高齢になった後の暮らし等の啓発活動を行っている。

<相談支援事業所・地域活動支援センター>

- ・ 高次脳機能障害について、関連機関（病院、ケアマネジャー、就労継続支援施設 他）と勉強会を開催し、連携強化に努めている。

## （４）今後の事業継続の考え

### ①拡大・拡充を予定

<就労移行支援事業所>

- ・ 定員を 20 名まで増やしたい。魅力的な事業所にして、さらに利用者を増やしたい。

<就労移行支援 B 型事業所>

- ・ 現状維持からやや拡大を見込む。田無特別支援学校の生徒などを今後、受け入れられるとよい。

<児童発達支援事業所>

- ・ 相談支援、保育所等訪問支援を含めた他機関支援を拡充していく予定。保育所への巡回訪問、相談対応は需要がさらに高まっており、拡大しつつある。

<共同生活援助（グループホーム）事業所>

- ・ 今後も拡大の方向で考えているが、グループホームの中には老朽化しているものもあり、建物の整理や整備の検討が必要である。

### ②現状維持

<放課後等デイサービス事業所>

- ・ 保護者からは放課後等デイサービスが足りていないと聞かすが、近年事業者数が増加しており、最終的には事業所間の競争が激しくなると予想している。

<相談支援事業所・地域活動支援センター>

- ・ 事業拡大できる人員配置ではなく、「創意工夫で負担なく新しいサービスを生み出す」方向性で活動している。

### ③移行検討

<児童発達支援事業所>

- ・ 児童発達支援センターへの移行を検討しているが、現行施設に調理室、医務室の設置が求められ、ハード面が課題となっている。

### <Ⅲ 事業所・団体ヒアリング結果>

#### ④経営の安定化

##### <生活介護事業所・放課後等デイサービス事業所>

- ・ 定員超過利用減算状態の解消、および常勤換算を 1.7 とし、安定した収入基盤を確保したい。

#### ⑤切れ目のない支援を継続

##### <相談支援事業所>

- ・ 地域全体の対応力向上を意識し、事業展開していく。指定管理者のため、事業を引き継ぐ可能性や職員の異動も念頭に置いた上で、利用者への切れ目のない支援を継続できる体制を構築する。

### (5) 事業を継続していく上で、行政に期待する支援

#### ①他法人、他事業所との連携促進

##### <放課後等デイサービス事業所・児童発達支援事業所>

- ・ 他法人や事業所との関わりがなく、地域全体に目を配りながらの事業展開ができていない。行政の主導で、連絡会等を開催すると連携がとりやすくなる。定員割れ事業所や、長時間営業の事業所もあり、地域全体では「点」での対応で、面的整備ができていない。連携体制を構築できれば、情報交換、困った時に協力する等、突発的な事態に対してもスムーズに連携できると思われる。

##### <共同生活援助（グループホーム）事業所>

- ・ 事業所同士で連携した取り組みを行うため、繋がる機会や顔が見える関係づくりを支援してほしい。

#### ②サービス提供場所としての公的施設の提供

##### <放課後等デイサービス事業所・児童発達支援事業所>

- ・ 新規事業所を開設する際の物件探しに苦労している。更なる公的施設、物件の有効活用に期待している。

#### ③障害への理解促進・各種情報提供

##### <就労継続支援 B 型事業所>

- ・ 長年事業展開しており、理解は得られつつあるが、玄関ドアに貼り紙（椅子の音がうるさい等）があったり、利用者を不審な人と通報されたこともある。障害者への理解促進に係る取り組みは、自分でやるよりも、市に手伝っていただけると助かる。

##### <児童発達支援事業所>

- ・ 法改正や制度改正等の情報を、随時、提供いただけるとありがたい。

#### ④その他

##### <重度訪問介護事業所・相談支援事業所>

- ・ 困難ケースについては、相談対応に加え、ともに現場に入ってもらえる体制が望ましい。
- ・ 行政には、ケースワーカーとしての役割を担ってほしい。例えば、緊急を要するグループホームの入居希望などは、行政が連絡調整役を担うとスムーズに対応できることがある。障害者福祉担当部署に、ケースワーカーの役割を担う職員が配されている自治体もある。

##### <地域活動支援センター>

- ・ 災害時の事業継続に不安がある。福祉避難所としての機能をどこまで求められているのか、通常の機能回復までのプロセス想定が知りたい。
- ・ 実績報告の業務量が非常に大きいため、実質的な様式変更を求める。
- ・ 地域活動支援センター以外でも代替可能なサービス（入浴サービスなど）は、業務の特殊性を鑑みて削減を検討してほしい。

**(6) 西東京市において不足していると感じるサービス、具体化するとよいサービス**

**①共同生活援助（グループホーム）**

<放課後等デイサービス事業所・児童発達支援事業所>

- ・ 保護者が亡くなった後の生活の場として、グループホームが不足している。

<就労継続支援 B 型事業所>

- ・ 成人後のグループホームが足りなくなる。もっと増やしていかないといけない。

<生活介護事業所・地域活動支援センター>

- ・ 重度身体障害者のグループホーム誘致。親の高齢化による、グループホームの確保は課題である。
- ・ 身体障害者の居住支援施策が不足している。独居の身体障害者が転居先探しに困るケースがある。

**②日中一時支援、短期入所（ショートステイ）**

<児童発達支援事業所・放課後等デイサービス事業所>

- ・ 保護者が疲れている時や悩んでいる時、就労を希望する場合等、ショートステイサービスのニーズが高い。市内にショートステイ施設が不足しており、多くの保護者が市外の受入先を探している。
- ・ 幼児のショートステイの受け入れ先や、一時保育等が不足している。幼児のショートステイは、連続利用ニーズは少ないが、保護者が疲れているときに一時的に預ける等のニーズはあると考えられる。

<就労継続支援 B 型、生活介護等>

- ・ 短期入所の拡充が必要。利用者、保護者とも高齢化しているおり、短期入所の利用者が増えている。

**③精神障害者のための日中活動先**

<地域活動支援センター>

- ・ 保谷方面には、精神障害者のための施設（作業所などの日中活動先）が不足している。

**④就労に向けた訓練が受けられる事業所**

<相談支援事業所>

- ・ 事務系、オフィスワークの就労を意識し、西東京市内にも 1 ヶ所、パソコン系のプログラムを行う事業所があるとよい。
- ・ 生活介護、就労継続支援 B 型の利用者は高齢化が進んでいる。就労継続支援 B 型の利用者は、年齢を重ねると、作業の量や質が低下するため、能力や特性に合った別の事業所に移れるとよい。障害者の年代等によって、棲み分けができる程度に施設が充実すると良い。

**⑤生活介護**

<相談支援>

- ・ 保護者から学校を卒業後の利用施設の有無を心配する声がある。生活介護のニーズは強いと考えられる。

**⑥放課後等デイサービス**

<放課後等デイサービス事業所>

- ・ 放課後等デイサービスを利用希望しても、空きがすぐ埋まってしまい、不足状況にある。

**⑦移動支援**

<就労継続支援 B 型事業所・生活介護事業所>

- ・ 知的障害者では、外出や通所の際の移動支援ニーズが高い。

### <Ⅲ 事業所・団体ヒアリング結果>

#### ⑧余暇活動支援

##### <就労移行支援事業所・就労継続支援 B 型事業所>

- ・ 休日に 1 日中、駅に座っているような人もいるので、余暇支援に係る取り組みをさらに拡大すべき。
- ・ 社会人となった障害者が、仕事帰りや休日に気軽に立ち寄り、お茶を飲んだり、普段触れ合う機会の少ない方々とおしゃべりできる場ができるとよい。

#### ⑨その他

##### <地域活動支援センター>

- ・ 利用者が突発的に必要とするサービスを弾力的に提供できる仕組み。(緊急時の動向支援など)
- ・ 権利擁護に関する支援制度は使い勝手がよくなく、現状の資源を補完できるサービスや制度の改正が必要。

### (7)「第 5 期障害福祉計画・第 1 期障害児福祉計画」等に盛り込んでほしい事項

#### ①障害に対する認知、理解の促進、啓発、地域で支える(見守る)体制

##### <放課後等デイサービス事業所・児童発達支援事業所 他>

- ・ 強度行動障害について、認知度を高める取り組みが求められる。
- ・ グループホームや居住の場を作る際など、周辺地域の人に理解を得にくいケースもある。一人でも多くの人に、障害を理解してもらう必要がある。

##### <居宅介護事業所・短期入所事業所 他>

- ・ 軽度知的障害は一人暮らしをできる能力はあるが、実際に一人暮らしを実現するには地域の支えも必要になる。些細な手助けで良いので、地域の理解があると障害者の一人暮らしのハードルが下がる。
- ・ 利用者が安心して生活できるように、施設やサービスの質の向上を図るだけでなく、地域の力も充実させていく必要がある。近隣事業所等も含めて、地域と連携した上で事業展開をしていきたい。

#### ②医療的ケアが必要な児童への対応

##### <生活介護事業所・放課後等デイサービス事業所>

- ・ 医療的ケアが必要な児童の支援として、居場所の確保、送迎の実施、家族への支援や負担軽減等を盛り込んでほしい。また保護者は子の障害を理由に就労が難しくなっている。生活介護サービスを拡充した上で、保護者に対する就労支援も求められる。

##### <児童発達支援事業所>

- ・ 民間事業者では、医療的ケアの必要な児童の受け入れは、難しい。受け入れ促進に向けては、看護師等の人件費補助等の支援がなければ厳しい。

#### ③就労や雇用の拡充に向けた制度面等の充実

##### <相談支援事業所・就労移行支援事業所>

- ・ 障害者に対する求人の多くが非正規雇用であり、正社員で働いている人はごくわずかである。収入や雇用の安定も重要だが、障害者のキャリアも考えていく必要がある。
- ・ 「1 日 7 時間、週 5 日」以外の、働きやすい雇用が増加するとよい。現状は、ほとんどの求人が非正規雇用である。正社員枠の増加や、正社員登用制度が進むとよい。特例子会社(時給制だが、正社員扱い)などもよい。有期雇用だと、契約の切れ目となる 3 月に更新されるかが常に不安であり、無期雇用がありがたい。

④介護保険制度との連携体制

<居宅介護事業所・地域活動支援センター 他>

- ・ 介護保険制度に移行される方が不安なく、円滑に移行できる連携体制を望む。
- ・ 自立生活援助の導入を機会に、独居の障害者支援事業を高年齢分野とつなげた市独自の支援の展開。

⑤その他

<地域活動支援センター>

- ・ 高次脳機能障害者への支援のさらなる推進。
- ・ 第4期計画で掲げた「地域で安心して暮らせるまちづくり」として、市内不動産屋などを巻き込んだまちづくり計画や居住支援協議会の充実。
- ・ 障害者の健康維持や運動不足解消の具体的施策。
- ・ 障害者のIT利用を促進し、社会参加の入口とする。

## 2 団体ヒアリング結果

面接形式によるヒアリング調査を実施した団体は以下の通り（一部は回答票の提出による）。

- ・ ぶーけ
- ・ サークル縁
- ・ おもちゃの図書館
- ・ 保谷手をつなぐ親の会
- ・ 田無手をつなぐ親の会
- ・ 西東京市精神障害者家族会 小鳩会
- ・ 西東京市障害者福祉をすすめる会
- ・ 西東京市聴覚障害者協会
- ・ 田無身体障害者福祉協会
- ・ 保谷身体障害者福祉協会
- ・ 小平特別支援学校 PTA
- ・ 東京都立石神井特別支援学校 PTA
- ・ 大泉特別支援学校 PTA
- ・ 田無特別支援学校 PTA

### （1）活動をしていて困っていること

#### ①会員数の伸び悩み、高齢化

- ・ インターネット等で情報を入手しやすくなったため、学齢期の方の入会意欲低下を感じる。
- ・ 会員の減少、高齢化。
- ・ 保護者への周知不足。全戸配布の情報誌に掲載される機会もなく、必要な人に情報が届いていない。学校経由で周知活動を行っているが、一部の学校では会報の配布等の協力を得られていない。
- ・ 新たな役員、事務局員の入会がない。

#### ②団体の後継者確保、スタッフ不足

- ・ 新規スタッフの育成をはじめ、全体的に人手不足。既存スタッフも子育てや仕事と両立しながらの活動なので忙しく、新規スタッフの育成までは手が回らない。
- ・ ボランティアスタッフの都合が合わないと、活動を中止することもある。重度障害者の保護者の場合、介助等のため、スタッフとして活動することは難しい。
- ・ 主に学齢期の子どもがいる保護者が活動に参加しており、子どもの成長とともにメンバーや活動内容が変化する。高校卒業後の保護者の受け皿や、メンバーが入れ替わった後の団体の運営を担う保護者の確保が必要。

#### ③活動場所等の確保

- ・ 理事会の会場確保に困っている。公民館の部屋予約は抽選制のため、確実な確保が困難。
- ・ 役員会の会場（公民館の会議室）の予約がなかなかとれず、活動場所の確保に苦労している。

#### ④その他

- ・ 入院や体調不良による活動の中止。

### （2）活動に関して行政に期待する支援、行政に望むこと

- ・ 活動に理解があり、ボランティアとして協力してくれる人の確保を支援してほしい。子育てにも障害にも理解がある人が望ましい。
- ・ 市民ボランティアの推進。
- ・ 市と協働のイベント開催。
- ・ サークルや団体等の活動の相談窓口

### (3) 活動に関して市民や地域に期待する支援、要望等

- ・ イベント時に荷物運びや誘導等を行うスタッフとしての参加できる人がいるとよい。できれば、障害児を持つ保護者の気持ちに共感してくれる人がよい。
- ・ 活動の運営協力。
- ・ ボランティア等で活動に協力してくれること。
- ・ 聴覚障害者の活動への理解。

### (4) 日常生活・社会生活を営むにあたり、不都合や不便を感じること

- ・ 兄弟が別々の特別支援学級・学校に通っている場合、高額で負担が大きい。公立学校への通学に、毎日これだけの負担を強いられるのは疑問を感じる。
- ・ 交通量の多い通りなのに歩道がなく歩きにくい地域がある。
- ・ 災害時の対応に関する情報が少なく不安である。
- ・ 病院の待ち時間に騒いでしまい、迷惑をかけてしまう。病院の診察・診療に障害者の枠を作ることや、「障害者 OK」などの表示があるとよい。
- ・ ヘルプマークの認知度は上がっているが、ヘルプマークをつけている人に、どのような対応をしたらよいか等の周知も必要。
- ・ 相談窓口がワンストップ化されていない。また対応者の力量差に戸惑う。

### (5) 「第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画」等に盛り込んでほしい事項

#### ①住まいに関すること

- ・ グループホームの更なる増設。
- ・ 障害者年金でも生活ができる永住型施設の整備。

#### ②障害者の働く場や、利用可能施設の充実に関すること

- ・ 障害者の働く場となる施設の更なる整備。
- ・ 成人が利用できる施設や、余暇活動に係るサービス、施設を充実させてほしい。
- ・ 生活介護、就労継続支援施設の拡充。
- ・ 中小規模の法人の事業展開支援。
- ・ 障害者が寄り集まれるような場所ができるとよい。

#### ③学校教育等による障害者への理解深化

- ・ 学校で障害者について理解を深める機会を作してほしい。
- ・ 教育現場（通常学級）での理解啓発をすすめてほしい。

#### ④その他

- ・ 精神障害者も心身障害者医療助成制度とすること。
- ・ 精神障害者向けの福祉手当。
- ・ 障害のある人が、社会で幸せに生きていくために、選択肢を増やす方向で議論してほしい。

### (6) その他（意見・要望）

#### ①障害福祉課と他の福祉関係部署の連携

- ・ 障害受容をできない保護者への情報提供等は、障害福祉課以外の部署（健康課、保育課、教育委員会等）の協力が不可欠であり、連携を強化してほしい。

### <Ⅲ 事業所・団体ヒアリング結果>

- ・ 西東京市独自で、障害者、保護者の高齢化対応を考え、組織として相互理解や連携、一体感を持った支援を行ってほしい。

#### ②窓口や各種書類による手続き等の簡素化、利便性向上

- ・ 障害の有無に関係なく、行政の手続き等を休日に行えるとよい。
- ・ 手話通訳者の配置回数増加、福祉関係施設の窓口到手話で意思疎通が可能な職員の配置。
- ・ 担当者によって異なる対応や事務的な対応の改善。

#### ③相談先やサービス等の周知

- ・ 就学にあたり、様々な手続きが必要になるが、手続きで困った時の相談先がわからない。相談先等の情報が周知されるとよい。
- ・ 知識がない状態では、サービス選択・利用の際に、サービスの特徴や適したサービスがわからない。知識がない人に対しても適切なナビゲーションをしてほしい。
- ・ 福祉施設や障害者が利用できる施設等の存在を知らない人も多いため、周知に力を入れてほしい。

#### ④障害福祉サービスの拡充、充実

- ・ 通学のための移動支援は使いやすいように条件等を見直してほしい。
- ・ 放課後等デイサービスの運営状況、実態把握に努め、適正な運営のための監視機能を作してほしい。
- ・ 障害者と社会との関わりを広げるために、余暇活動の充実に取り組んでほしい。
- ・ 就労期の余暇支援が増えるとよい。
- ・ 放課後等デイサービスは入所待ちが多く、質の高い事業所の開設が望まれている。また、学校から放課後等デイサービスの送迎があると、保護者の負担軽減につながる。
- ・ 障害児の移動支援ニーズは登下校時に集中するため、利用できないことがある。また、児童の移動支援サービスに対応ができない事業所もあるので、利用可能な情報がオープンになるとよい。(使いやすい、条件の見直し等)

#### ②市民の障害者への理解促進に関すること

- ・ 障害のある人と触れ合う場をつくること。学校の授業で、障害者理解につながる体験プログラムの導入等。
- ・ 健常児と障害児が関わることのできる、開かれた場所があるとよい。放課後等デイサービスが充実し、障害児の居場所は増えているが、地域との関わりが薄くなりつつある。

#### ⑥その他

- ・ 身体障害者は移動にハンディがあるため、タクシー券の増額があるとよい。
- ・ 家庭、地域、施設に出向き、現場を見てほしい。
- ・ 障害児の親子サークルや団体などの活動の相談窓口の設置。
- ・ ピアカウンセリングへの注力。
- ・ 卒業後に過ごせる施設、18歳からの手当。

## IV 資料

### 1 身体障害者調査票

問 1 この用紙（調査票）に記入されるのはあなたですか。（○は1つ）

1	本人（この調査票が郵送された宛名の方）が記入、または本人が答え代筆者が記入
2	家族（本人の立場に立って記入）
3	施設や病院等の職員（本人の立場に立って記入）
4	そのほかの方（本人の立場に立って記入）

※ これ以降、この調査票が郵送された宛名の方を「あなた」とお呼びしますので、ご本人以外の方がご記入される場合は、ご本人の状況などについて、お答えください。

**あなた（宛名の方）の性別・年齢・ご家族などについてお聞きします。**

問 2 あなたの性別をお答えください。（○は1つ）

1	男性	2	女性
---	----	---	----

問 3 年齢（8月1日現在）を記入してください。

\_\_\_\_\_ 歳

問 4 現在、あなたはどこで暮らしていますか。（○は1つ）

1	持ち家（分譲マンションを含む）
2	賃貸住宅（アパート、賃貸マンション、借家）
3	グループホーム、ケアホーム、福祉ホーム
4	福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）
5	入院している
6	その他（ _____ ）

問 5 どなたと一緒に暮らしていますか。（○はいくつでも）

1	自分ひとりだけで暮らしている	6	祖父
2	配偶者（夫または妻）	7	祖母
3	子ども（子どもの配偶者も含む）	8	兄弟、姉妹
4	父親	9	その他の親せき
5	母親	10	福祉施設の職員や仲間
		11	その他（ _____ ）

 **あなたの声をお聞かせください** — 西東京市の障害者福祉に関する調査へのご協力をお願い —

日頃より、西東京市の健康福祉行政の推進に対しご理解ご協力をいただきまして、厚くお礼申し上げます。

現在、本市では平成 30 年度から始まる第 5 期障害福祉計画の策定を進めております。（現行の計画書は西東京市障害福祉課および情報公開コーナーで閲覧できます。また、西東京市ホームページでも公開しています。）

計画の策定にあたっては、障害のある方々の日常生活の状況やサービスの利用状況をきちんと把握し、ご意見、ご要望などをお伺いしながら策定を進めていくことが重要であると考え、このたびアンケート調査を実施することといたしました。

この調査票は、市内にお住まいの身体障害者手帳をお持ちの方々を対象としています。なお、調査は無記名であり、お答えいただいた内容につきましては、個人情報保護の保護に万全を期すとともに、アンケート集計以外には使用いたしませんので、アンケートへのご協力をお願いいたします。

西東京市長 丸山 浩一

《 ご 記 入 に あ た っ て 》

1 ご記入について

- アンケート及び返信用封筒には、お名前を書く必要はありません。
- お答えは、「1つだけ」選んでいただくものと、「いくつでも」選んでいただくもの、また、自由にご記入いただくものがあります。
- 答えたくない質問については、無理に答える必要はありません。
- 平成 29 年 8 月 1 日現在の状況を記入してください。

2 アンケートの返信について

- ご記入いただきましたアンケートは、**8月21日（月）までに**、同封の返信用封筒に入れ、西東京市役所障害福祉課へご返送いただきますようお願いいたします。

3 アンケートについてのお問い合わせ

西東京市役所 健康福祉部 障害福祉課（保谷庁舎）  
担 当：飯島（いゐじま）  
電 話：042-464-1311（代表） 内線2341  
042-438-4033（直通）

**障害の状況などについてお聞きします。**

問6 身体障害者手帳に記載されている障害は次のどれですか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)  
また記載されている障害の程度(等級)をお答えください。

- 1 視覚障害 → ( 1級・2級・3級・4級・5級・6級 )
- 2 聴覚障害 → ( 2級・3級・4級・6級 )
- 3 平衡機能障害 → ( 3級・5級 )
- 4 音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害 → ( 3級・4級 )
- 5 肢体不自由(上肢、下肢、乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害) → ( 1級・2級・3級・4級・5級・6級 )
- 6 肢体不自由(体幹) → ( 1級・2級・3級・5級 )
- 7 内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の機能の障害) → ( 1級・3級・4級 )
- 8 内部障害(免疫、肝臓の機能の障害) → ( 1級・2級・3級・4級 )
- 9 わからない

問7 次のうち、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 愛の手帳(療育手帳)を持っている
- 2 精神障害者保健福祉手帳を持っている
- 3 国または東京都が指定する難病医療費等助成対象疾病を患っている
- 4 高次脳機能障害と診断されたことがある
- 5 発達障害(自閉症、アスペルガー症候群、学習障害、注意欠陥多動性障害等)と診断されたことがある
- 6 訪問看護などの医療的ケアを受けている
- 7 1～6に、あてはまるものはない

問8 あなたは、介護保険の介護認定を受けていますか。受けている場合、あてはまる要介護度に○をつけてください。(○は1つ)

- |             |        |         |
|-------------|--------|---------|
| 1 認定は受けていない | 4 要介護1 | 7 要介護4  |
| 2 要支援1      | 5 要介護2 | 8 要介護5  |
| 3 要支援2      | 6 要介護3 | 9 わからない |

問9 あなたは、障害者支援の手当や年金を主にどのように利用していますか。(○は1つ)

- 1 将来のために蓄えている(預貯金など)
- 2 日々の生活のために利用することが多い
- 3 年金や手当は受給していない

**介助・援助の状況についてお聞きします。**

問10 あなたは、どのようなときに介助・援助を受けていますか。(○はいくつでも)

- |                     |                            |
|---------------------|----------------------------|
| 1 介助・援助は受けていない      | 9 学校や職場、作業所などの送り迎えのとき      |
| 2 食事をするとき(ご飯を食べるとき) | 10 服薬するとき                  |
| 3 家事(調理、掃除、洗濯)をするとき | 11 生活費などお金の管理              |
| 4 お風呂に入ったとき、身体を洗うとき | 12 暮らしに必要な事務手続き            |
| 5 着替えをするとき          | 13 相手の話を知りたいときや自分の話を伝えたいとき |
| 6 トイレの使用やオムツ交換するとき  | 14 その他                     |
| 7 家の中の移動をするとき       | ( )                        |
| 8 外出するとき            | ( )                        |

問11 ぶだん、あなたを主に介助・援助しているのはどなたですか。(○は1つ)

- |               |                       |
|---------------|-----------------------|
| 1 配偶者(夫、妻)    | 7 兄弟、姉妹               |
| 2 子ども、子どもの配偶者 | 8 その他の親せき             |
| 3 父親          | 9 近所の人、友人・知人          |
| 4 母親          | 10 ホームヘルパー等の在宅サービス事業者 |
| 5 祖父          | 11 その他                |
| 6 祖母          | ( )                   |

**外出や社会参加状況についてお聞きします。**

問12 あなたは、どのくらい外出しますか。通所、通学、通勤、買い物、日常の散歩など、すべてを含めてお答えください。(○は1つ)

- |          |          |             |
|----------|----------|-------------|
| 1 週に5日以上 | 3 週に1～2日 | 5 ほとんど外出しない |
| 2 週に3～4日 | 4 月に2～3日 | 6 その他( )    |

問13 あなたは、外出をするとき支障が必要ですか。(○は1つ)

- |                              |
|------------------------------|
| 1 ひとりで外出できる                  |
| 2 いつも支援が必要                   |
| 3 慣れた場所にはひとりで行けるが、それ以外は支援が必要 |
| 4 いつもはひとりで行けるが、調子が悪い場合は支援が必要 |
| 5 その他( )                     |

《 問 15 で 1 ～10 のいずれかの活動をした人にお聞きします。 》

問 18 活動のために外出する際に「同行援護」「行動援護」「移動支援」等のヘルパーを利用していますか。(○は1つ)

1 ヘルパーを利用している	2 ヘルパーは利用していない	3 わからない
---------------	----------------	---------

《 全員にお聞きします。 》

問 19 これからどのような活動をしたいと思えますか。(○はいくつでも)

1 スポーツやレクリエーション	7 講座や講演会などへの参加
2 旅行	8 地域の行事やお祭り
3 買い物	9 選挙の投票
4 ボランティア活動	10 その他( )
5 障害者団体の活動	11 特に活動したくない
6 趣味などのサークル活動	

問 20 問 19 のような活動をするために、どのような支援が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1 活動についての情報が提供されること
2 一緒に行く仲間がいること
3 活動するための場所が近くにあること
4 移動支援など、外出のための手段が確保されていること
5 魅力的な内容であること
6 適切な指導者がいること
7 障害のある人に配慮した施設や設備があること
8 介助者・援助者がいること
9 その他( )
10 特にない

問 14 外出の際に困っていることはありますか。(○はいくつでも)

1 付き添ってくれる人がいない
2 他人との会話が難しい
3 他人の視線が気になる
4 必要なときに、まわりの人の手助け・配慮が足りない
5 歩道が狭く、道路に段差が多い
6 道路に放置自転車などの障害物が多く、歩きにくい
7 建物などに階段が多く、歩きにくい
8 車を駐車するところがない
9 気軽に利用できる移送手段が少ない(ハンディキャブ、福祉タクシー等)
10 電車やバスなどの交通機関が利用しづらい
11 障害者用のトイレが少ない
12 その他( )
13 特に困っていることはない

問 15 あなたは、この1年くらいの間に、次のような活動をしましたか。(○はいくつでも)

1 スポーツやレクリエーション
2 旅行
3 買い物
4 ボランティア活動
5 障害者団体の活動
6 趣味などのサークル活動
7 講座や講演会などへの参加
8 地域の行事やお祭り
9 選挙の投票
10 その他( )
11 特に何もしてない → 問 19へおすすみください。

→ 問 16 選挙の投票の際、困ったことや改善してほしいことはありましたか。(自由記述)

→ 問 17 スポーツ活動をした方は、どのようなスポーツ活動をしましたか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 卓球	5 ボウリング
2 バスケットボール	6 バドミントン
3 ポッチャ	7 水泳
4 ダンス	8 その他( )

**日中の過ごし方についてお聞きします。**

問 21 あなたは、平日（月曜日～金曜日）の日中を主にどのようなように過ごしていますか。  
 (○は1つ)

- 1 幼稚園や保育園、学校などに通っている
- 2 福祉施設、作業所などに通っている
- 3 病院などのデイケアに通っている
- 4 リハビリテーションを受けている
- 5 働いている
- 6 入所・入院している施設や病院などで過ごしている
- 7 自宅にすることが多い
- 8 その他 ( )

**雇用・就労などの状況についてお聞きします。**

問 22 現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。(○は1つ)

- 1 収入を伴う仕事をしている
- 2 収入を伴う仕事はしていない → 問 27へおすすみください。

**《 次の問 23～問 26 は、収入を伴う仕事をしている方にお聞きします。》**

→ 問 23 どなたかの支援を受けて現在の仕事に就きましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 支援は受けなかった
- 2 ハローワーク
- 3 障害者就労支援センター（一歩）
- 4 就労移行支援事業所（さくら園）
- 5 学校
- 6 家族
- 7 友人・知人
- 8 その他 ( )

問 24 仕事の形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

- 1 自営業（家業の手伝いを含む）
- 2 会社・団体等の正規の職員
- 3 アルバイト、臨時、パート、嘱託等
- 4 内職
- 5 授産施設、または福祉作業所
- 6 その他 ( )

問 25 あなたご自身の1ヶ月当たりの平均的な給与・賃金・工賃はいくらですか。

1ヶ月当たりの給与・賃金・工賃 → 約  円

問 26 仕事をす上で困っていることは何ですか。(○はいくつでも)

- 1 給与・工賃などの収入が少ない
- 2 勤務時間、日数が多く体力的に不安
- 3 通勤が大変
- 4 業務内容が合わない
- 5 職場の人間関係
- 6 職場の設備が障害に対応していない
- 7 障害に対する職場の理解不足
- 8 職場外で相談相手がいない
- 9 その他 ( )
- 10 特に困っていることはない

**《 次の問 27 は、収入を伴う仕事をしていない方にお聞きします。》**

問 27 仕事をしていない主な理由は何か。(○は1つ)

- 1 仕事をする必要がない（高齢だから、学生だから、専業主婦だから、などを含む）
- 2 現在、求職中である、または職業訓練中である
- 3 仕事をしたいとは思わない
- 4 仕事をしたいと思うが、できない
- 5 仕事を「したいか、したくないか」ではなく、「できない」
- 6 その他 ( )

**《 全員にお聞きします。 》**

問 28 あなたは、障害のある方の雇用を促進するために、市内で不足していると思われるサービスや取組みは何かと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 就職や転職について相談を受けるサービス
- 2 就職や転職する上での生活上の問題について相談を受けるサービス
- 3 就職に関する情報発信サービス
- 4 就職に重点をおいた作業訓練や技術習得などの職業訓練
- 5 企業や官公庁などでの仕事を体験する機会の提供
- 6 就職するための書類作成の支援や面接練習等の支援
- 7 職種の拡大や近隣地域での就職先の確保
- 8 就職後の定期訪問等、安心して働き続けることのできるサポート
- 9 企業や地域における障害理解をすすめる支援
- 10 自立した生活を目的としたグループホームや一人暮らしに対する支援
- 11 仕事の日以外に利用できる余暇活動や交流の場
- 12 自ら起業することを希望する人への支援
- 13 その他 ( )
- 14 わからない

**障害者施設、施策についてお聞きします。**

問 29 あなたは、西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。  
(○は1つ)

1	利用している (利用したことがある)
2	知っているが、利用したことはない
3	知らない

問 30 あなたは、西東京市にある次の施設を利用したことがありますか。また、知っていますか。

利用したことかある (または現在、利用している)	知っているが、利用したことはない	知らない
1	2	3
1	2	3
1	2	3
1	2	3
1	2	3

問 31 あなたは、次の講座や事業等を知っていますか。(○はいくつでも)

1	サポーター養成講座 障害のある人へのちょっとしたお手伝いができるよう、市民サポーターを養成しています。障害者サポーターであることを示す「バンダナ」や「キーホルダー」を携帯しています。
2	ヘルプカード 障害のある人が携帯して、手助けが必要なときに周囲の人に示すカードです。
3	スポーツ支援事業 市スポーツセンターで、障害者スポーツ指導員や補助員がついて、スポーツレクリエーション活動を行っています。
4	障害者水泳教室 水慣れから始め、水中での感覚などの体感を目指す水泳教室を、市スポーツセンターで行っています。
5	1～4の講座や事業等は知らない

**相談や情報入手についてお聞きします。**

問 32 あなたは、悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親せき以外に、どのようなところに相談していますか。(○はいくつでも)

1	市役所の福祉相談窓口	10	民生委員・児童委員
2	相談支援センター・えぼっく	11	生活保護の担当職員
3	障害者就労支援センター・一歩	12	福祉施設や作業所の職員
4	地域活動支援センター・ハーモニー	13	幼稚園・保育園・学校の先生や職場の仲間
5	保谷障害者福祉センター	14	社会福祉協議会の職員
6	地域活動支援センター・ブルーム	15	障害者団体
7	病院・診療所	16	友人・知人
8	児童相談所	17	その他 ( )
9	保健師		
18	誰かに相談することはまれである		
19	相談できることは特にはない		

→ 問 33 相談できるところは特にはないと回答した理由は何ですか。(○はいくつでも)

1	相談するほどでもない・必要がない	3	どこに相談したらよいかわからないから
2	相談したくないから	4	その他 ( )

問 34 あなたは、障害福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。  
(○はいくつでも)

1	障害者のしおり (市が作成した冊子)	9	病院、診療所
2	市の広報紙 (広報テープを含む)	10	図書館の障害者向けサービス
3	都の広報紙 (広報テープを含む)	11	民生委員・児童委員
4	市のホームページ	12	家族、親せき
5	都のホームページ	13	友人、知人
6	テレビ、ラジオ、新聞	14	その他 ( )
7	障害者団体	15	わからない
8	学校、職場、施設		

《 次の問 35、問 36 は、視覚障害または聴覚障害のある人にお聞きします。 》

問 35 コミュニケーションや情報取得をする上で困ることはどのようなことですか。  
(○はいくつでも)

【視覚障害の人】	
1	点字の出版物が少くない
2	公共施設の案内等がわかりにくい
3	初めて行くところなどでは、どのように行けばよいかわからない
4	郵便物の重要度がわからない
5	音声による情報が少ない
6	インターネットが利用しにくい
7	その他 ( )
8	特に困ることはない
【聴覚障害の人】	
1	会話の際、相手の言うことがよく理解できない
2	字幕付きのテレビ番組が少ない
3	訪問者が来たのがわからない
4	話しかけられても気がつかないため、無視したと誤解される
5	車などの警笛が聞こえず、危険な思いをした
6	緊急・非常時の情報が入りにくい
7	電車・バスなど交通手段の情報が入りにくい
8	手話による情報提供が少ない
9	手話・要約筆記の予約がとりづらい
10	その他 ( )
11	特に困ることはない

問 36 コミュニケーションや情報取得の際、あるとよいサービスはどのようなものですか。  
(自由記述)

福祉サービスのことについてお聞きします。

問 37 あなたは、次のような障害福祉サービスを、過去 1 年の間に利用したことがありますか。利用したことがあるサービスに○をつけてください。(○はいくつでも)

1	訪問系サービス ヘルパーがホームヘルプや外出時の援助を行うサービスで、居介護(ホームヘルプ)、重度訪問介護、同行援護、行動援護、重度障害者等包括支援があります。
2	生活介護 常に介護が必要な方に、施設で入浴や排せつ、食事の介助や創作活動などの機会を提供するサービスです。
3	自立訓練 (機能訓練、生活訓練) 自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定期間における身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を行うサービスです。
4	就労移行支援 通常の事業所で働きたい方に、一定の期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために訓練を行うサービスです。
5	就労継続支援 (A 型、B 型) 通常の事業所で働くことが困難な方に、就労の機会の提供や生活活動その他の活動の機会の提供、知識や能力の向上のための訓練を行うサービスです。
6	療養介護 医療が必要な方で、常に介護を必要とする方に、主に昼間病院等において機能訓練、療養上の管理、看護などを提供するサービスです。
7	短期入所 (ショートステイ) 在宅の障害者(児)を介護する方が病気の場合などに、障害者(児)が施設に短期間入所し入浴、排せつ、食事などの介助を行うサービスです。
8	共同生活援助 (グループホーム) 夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行うサービスです。
9	施設入所支援 主として夜間、施設に入所する障害者(児)に対し、入浴、排せつ、食事の介護などの支援を行うサービスです。
10	相談支援 福祉に関する問題や介護者からの相談に応じて、必要な情報の提供や助言などを行うサービスです。
11	1 ～ 10 のようなサービスは利用したことはない

→ 11 に○をつけた方は問 41 へおすすみください。

《 次の問 38 は、問 37 で 1 ～ 10 のいずれかの障害福祉サービスを利用したことがある人にお聞きします。 》

問 38 サービスに対する、感想やご意見があれば自由にご記入ください。(自由記述)

※サービス名、利用の際に困っていること、サービス利用で改善してほしい点など。

問 39 あなたが、「十分利用できていない」と思う障害福祉サービスはどのサービスですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 必要なサービスを利用できている	→ 問 41へおすすみください。
2 訪問系サービス	7 療養介護
3 生活介護	8 短期入所 (ショートステイ)
4 自立訓練 (機能訓練、生活訓練)	9 共同生活援助 (グループホーム)
5 就労移行支援	10 施設入所支援
6 就労継続支援 (A型、B型)	11 相談支援

《 次の問 40 は、障害福祉サービスを十分利用できていない人にお聞きします。 》

問 40 必要だと思うサービスを、十分、利用できていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 自己負担が大きく、利用できないから
- 2 支給量が足りないから
- 3 通うのが大変だから
- 4 使いたいサービスの定員がいっぱいだから
- 5 サービス利用に予約が必要で、いつも予約がいっぱいだから
- 6 自分が利用したい時間や時期とあわないから
- 7 その他 ( )
- 8 わからない

《 全員にお聞きします。 》

問 41 今後、どのような障害福祉サービスを引き続き、あるいは新たに利用したいと思いませんか。(○はいくつでも)

- 1 訪問系サービス
- 2 生活介護
- 3 自立訓練 (機能訓練、生活訓練)
- 4 就労移行支援
- 5 就労継続支援 (A型、B型)
- 6 療養介護
- 7 短期入所 (ショートステイ)
- 8 共同生活援助 (グループホーム)
- 9 施設入所支援
- 10 相談支援
- 11 1～10の中に利用したいサービスはない

《 次の問 42 は、65歳以上の方にお聞きします。65歳未満の方は問 43へおすすみください。 》

問 42 あなたは、次のような介護保険のサービスを、過去1年の間に利用したことがありますか。(○はいくつでも)

1 介護保険のサービスは利用していない	4 短期入所 (ショートステイ)
2 訪問介護 (ホームヘルパー)	5 その他 ( )
3 通所介護 (デイサービス)	

《 問 43 は、障害福祉サービス (問 37の「1」～「10」のいずれか、

または介護保険サービス (問 42の「2」～「5」のいずれかを

過去1年の間に利用した方にお聞きします。 》

問 43 現在、必要なサービス (障害福祉サービス、介護保険サービス) を受けることができているか。(○はいくつでも)

- 1 介護保険サービスを利用するようになって、それまでと変わりなく必要なサービスを受けられている
- 2 介護保険の要介護認定が低く判定され、決められたサービス支給量が少なくなった
- 3 介護保険のサービス量が十分でない場合でも、障害福祉サービスで上乗せしてもらえなかった
- 4 介護保険事業所では、障害特性などを十分理解した対応が受けられなくなった
- 5 今まで利用していた障害支援施設を利用できなくなった
- 6 それまで無料で使えたサービスが1割負担となり、負担が大きくなった
- 7 その他 ( )

《 全員にお聞きします。 》

問 44 障害福祉サービスをより利用しやすくするためには、どのような情報提供や相談先が必要ですか。また、サービスを利用するためにあるとよい支援はどのようなものですか。(自由記述)

問 45 障害者総合支援法の改正により、新たに導入される次のようなサービスをおあなたは利用してみたいと思いますか。 ※平成 30 年 4 月から創設される予定の新しいサービスです。サービスの詳細は変更する可能性があります。

	必要になったら利用してみたい	利用したくない	わからない
①～③のサービスそれぞれについて、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。			
① <b>地域生活を支援する新たなサービス (自立生活援助)</b> グループホームなどを利用していた方が、ひとり暮らしを始めたときに、そのお宅を定期的に訪問し、ふだんの生活に何か問題が起きていないかなどを確認し、必要に応じて助言や医療機関などの連絡調整を行います。	1	2	3
② <b>就労定着に向けた支援を行う新たなサービス (就労定着支援)</b> 一時的な障害のある方で、環境の変化などにより心身に問題が起きていて、相談を受け必要に応じて、会社や関係機関などとの連絡調整を行います。	1	2	3
③ <b>重度訪問介護の訪問先の拡大</b> 重度の障害によりホームヘルプを利用している方が、病院に入院したときも、状態をよく知っているヘルパーに引き続き入院先へ支援に入ってもらい、ニーズを病院の人に伝えるなどの支援を行います。	1	2	3

**災害対策についてお聞きします。**

問 46 あなたは、お住まいの地域の避難所を知っていますか。(○は1つ)

1 知っている	2 知らない
---------	--------

問 47 福祉避難施設とは、自宅や避難施設で生活している高齢者や障害者の方等に対し、状況に応じて介護等の必要なサービスを提供する社会福祉施設等のことです。西東京市には障害者総合支援センター「フレンドリー」をはじめ、約 30 ヶ所の福祉避難施設があります。あなたは、西東京市にある福祉避難施設を知っていますか。(○は1つ)

1 福祉避難施設を知らない	
2 福祉避難施設を知っているが、場所は知らない	
3 福祉避難施設も場所も知っている	

問 48 あなたは、災害時要援護者登録を知っていますか。(○は1つ)

1 知らない	3 登録している
2 知っているが登録していない	4 その他 ( )

問 49 災害時に行政や地域などから支援を受けるため、あらかじめ個人情報(名前、住所、世帯の状況、障害の状況、障害の状況、緊急連絡先等)を市に提供することについて、どう思いますか。(○は1つ)

1 必要な情報なので、積極的に提供してよい	
2 最小限の情報(名前、住所程度)ならかまわない	
3 個人情報なので知らせたくない	
4 その他 ( )	
5 わからない	

問 50 あなたは、地震や台風などの災害時にひとりで避難できますか。(○は1つ)

1 できる	2 できない	3 わからない
-------	--------	---------

問 51 地震や台風などの災害が起こった際の不安は何ですか。(○はいくつでも)

1 災害の状況が伝わってこない場合の不安	
2 避難する際の不安	
3 避難先での不安	
4 その他 ( )	
5 特にない	
6 わからない	

問 52 災害に備えて、または災害時に、どのような対策が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1 避難しやすい避難所を整備する	
2 避難訓練などに参加できるようにする	
3 日頃から避難方法のアドバイスや情報提供を行う	
4 緊急通報システムを整備する	
5 地域で助け合える体制を整備する	
6 災害時に障害者用設備(トイレ、ベッドなど)を配置する	
7 災害時に人工透析や在宅酸素など生命安全・維持装置を確保する	
8 災害時に視覚障害者や聴覚障害者に配慮した情報提供を行う	
9 災害時に介助人などを確保する	
10 災害時に手話通訳者、ガイドヘルパーなどを確保する	
11 障害に配慮した避難所の設置や福祉避難所を確保する	
12 治療や服薬を継続できるための医療を確保する	
13 入院や施設入所者の避難施設を確保する	
14 その他 ( )	
15 特にない	

**将来の希望などについてお聞きします。**

問 53 あなたは、今後、どのように日中を過ごしたいと思いますか。(○はいくつでも)

- |    |   |
|----|---|
| 1  | 自宅でのんびり過ごしたい  |
| 2  | 一般企業などで働きたい   |
| 3  | 一般企業等での就労は難しいと思うが働きたいと思うので、施設内で就労したり、生産活動をしながら過ごしたい |
| 4  | 施設や企業で作業や実習などを行い、職場探しや職場定着のための支援を受けたい               |
| 5  | 自立した日常生活ができるよう、一定期間、身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を受けたい       |
| 6  | 医療機関で、機能訓練、看護、介護、日常生活の世話などを受けながら過ごしたい               |
| 7  | 施設で、入浴、排せつ、食事の介護を受けながら、創作的活動などを行いたい                 |
| 8  | 創作活動や社会との交流などを行ったりするところを過ごしたい                       |
| 9  | 学校に通いたい   |
| 10 | その他 ( )   |
| 11 | わからない   |

問 54 あなたは、将来、どこで生活したいと思いますか。(○は1つ)

- |   |                   |
|---|-------------------|
| 1 | 今の場所で生活したい        |
| 2 | グループホームなどを利用したい   |
| 3 | 施設に入所して暮らしたい      |
| 4 | 一般の住宅で家族と一緒に生活したい |
| 5 | 一般の住宅でひとり暮らしをしたい  |
| 6 | その他 ( )           |

問 55 成年後見制度とは、知的障害や精神障害などの理由により、判断能力が十分でない方の財産などの権利を守る制度です。あなたは、成年後見制度について知っていますか。(○は1つ)

- |   |                      |
|---|----------------------|
| 1 | 名前も内容も知らない           |
| 2 | 名前を聞いたことはあるが、内容は知らない |
| 3 | 名前も内容も知っている          |

問 56 あなたは、成年後見制度を活用したいと思いますか。(○は1つ)

- |   |                        |
|---|------------------------|
| 1 | すでに活用している              |
| 2 | 今は必要ないが、将来必要になったら活用したい |
| 3 | 活用したいとは思わない            |
| 4 | わからない                  |

**差別や人権侵害についてお聞きします。**

問 57 障害があることで、差別や人権侵害、虐待を受けていると感じることがありますか。(○は1つ)

- |   |              |   |        |
|---|--------------|---|--------|
| 1 | ほとんど感じることはない | 3 | いつも感じる |
| 2 | たまに感じる       | 4 | わからない  |

問 58 障害のある方々への差別をなくすことを目的として、平成28年4月1日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、このことを知っていますか。(○は1つ)

- |   |           |   |           |   |      |
|---|-----------|---|-----------|---|------|
| 1 | 内容まで知っている | 2 | 名前だけ知っている | 3 | 知らない |
|---|-----------|---|-----------|---|------|

問 59 障害や障害のある方々に対する市民の理解は進んできていると思いますか。(○は1つ)

- |   |           |   |           |   |       |
|---|-----------|---|-----------|---|-------|
| 1 | 進んできている   | 3 | どちらともいえない | 5 | わからない |
| 2 | まあ進んできている | 4 | 進んできていない  |   |       |

問 60 障害や障害のある市民への理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- |    |                                    |
|----|------------------------------------|
| 1  | 障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための啓発       |
| 2  | 障害のある人に対してのボランティア活動やボランティア人材育成への支援 |
| 3  | 障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進            |
| 4  | 学校における福祉教育の充実                      |
| 5  | 障害に関する講演会や学習会の開催                   |
| 6  | 障害のある人への福祉的な就労や生産活動の機会の提供          |
| 7  | 福祉施設の地域住民への開放や地域住民との交流の促進          |
| 8  | 障害のある人の地域活動への参加機会の促進               |
| 9  | その他 ( )                            |
| 10 | わからない                              |

**最後に市の取組などについてお聞きします。**

問 61 今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特になどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。(〇はいくつでも)

- |    |   |
|----|---|
| 1  | 事故や疾病による障害の発生を予防するとともに、障害を早期に発見し、早い段階での適切な対応（リハビリテーションや療育等）に努めること |
| 2  | 障害に対する理解を深めてもらうための交流を推進すること                                       |
| 3  | 障害のある子どもたちの可能性を最大限に伸ばすような教育を進めること                                 |
| 4  | 障害のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること  |
| 5  | ホームヘルパーの派遣など在宅生活支援サービスを充実させること                                    |
| 6  | 利用できる施設を増やすこと   |
| 7  | 障害者や高齢者にやさしい「福祉のまちづくり」を推進すること                                     |
| 8  | 障害のある人が住みやすい住居を確保・整備すること  |
| 9  | 文化、スポーツ、レクリエーション活動に参加できるような支援すること                                 |
| 10 | 家族などの介護者の休息や負担軽減を支援すること   |
| 11 | ボランティア活動を充実させること  |
| 12 | 障害者サービスや福祉に関する情報提供を充実させること  |
| 13 | 相談体制を充実させること  |
| 14 | 成年後見制度が利用しやすくなるように支援すること  |
| 15 | その他（<br>）   |
| 16 | 特になし  |

問 62 問 61 のような西東京市の障害者施策全般について、総合的に満足していますか。(〇は1つ)

- |   |        |   |         |   |      |
|---|--------|---|---------|---|------|
| 1 | 満足している | 3 | どちらでもない | 5 | 不満   |
| 2 | やや満足   | 4 | やや不満    | 6 | わからぬ |

問 63 約5年前（平成24年）と比べて、障害者のサービスはどのように変わったと思いますか。(〇は1つ)

- |   |       |   |       |   |       |
|---|-------|---|-------|---|-------|
| 1 | 良くなった | 2 | 変わらない | 3 | 悪くなった |
|---|-------|---|-------|---|-------|

問 64 そのようにお答えになったのは、どのような理由からですか。(自由記述)

次ページへ続きます。

問 65 あなたは、今後も西東京市に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

- |   |                |   |                |
|---|----------------|---|----------------|
| 1 | 住み続けたい         | 3 | どちらかというに住み続けたい |
| 2 | どちらかというに住み続けたい | 4 | 住み続けたくない       |

問 66 最後に、この調査を通じて、選択肢や自由記述欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、自由にお書きください。(自由記述)

ご協力ありがとうございました。  
同封の返信用封筒に入れて8月21日（月）までにご投函ください。

2 知的障害者調査票

あなたのお声を聞かせください  
— 西東京市の障害者福祉に関する調査へのご協力をお願いします —

白旗より、西東京市の健康福祉行政の推進に対しご理解ご協力をいただきましたこと、厚くお礼申し上げます。  
現在、本市では平成30年度から始まる第5期障害者福祉計画の策定を進めております。(現行の計画書は西東京市障害者福祉課および情報公開コーナーで閲覧できます。また、西東京市ホームページでも公開しています。)

計画の策定にあたっては、障害のある方々の日常生活の状況やサービスの利用状況をきくと把握し、ご意見・ご要望などをお伺いしながら策定を進めていくことが重要であると考へ、このたびはアンケート調査を実施することいたしました。

この調査票は、市内にお住まいの養育手帳(療育手帳)をお持ちの方を対象としています。なお、調査は無記名であり、お答えいただいた内容につきましては、個人情報保護の観点に万全を期すとともに、アンケート集計以外には使用いたしませんので、アンケートへのご協力をお願いいたします。

西東京市長 丸山 浩一

《 ご記入にあたって 》

- ご記入について
  - アンケートおよび返信用封筒には、お名前を書く必要はありません。
  - お答えは、「1つだけ」選んでいただくものと、「いくつでも」選んでいただくもの、また、自由に記入いただくものがあります。
  - 答えたくない質問については、無理に答える必要はありません。
  - 平成29年8月1日現在の状況を記入してください。
- アンケートの返信について
  - ご記入いただきましたアンケートは、8月21日(月)までに、同封の返信用封筒に入れ、西東京市役所障害者福祉課へご返送いただきますようお願いいたします。
- アンケートについてのお問い合わせ
 

西東京市役所 健康福祉部 障害福祉課 (株谷庁舎)  
担当：飯島

電話：042-464-1311 (代表) 内線2341  
042-438-4033 (直通)

- 問1 この用紙(調査票)に記入されるのはどなたですか。(○は1つ)
- 1 本人 (この調査票が郵送された宛名の方)が記入、または本人が答え代筆者が記入
  - 2 家族 (本人の立場に立って記入)
  - 3 施設や病院等の職員 (本人の立場に立って記入)
  - 4 そのほかの方 (本人の立場に立って記入)

※ これ以降、この調査票が郵送された宛名の方を「あなた」と呼びしますので、ご本人以外の方がご記入される場合は、ご本人の状況などについて、お答えください。

あなた(宛名の方)の性別・年齢・年齢・ご家族などについてお聞かせください。

- 問2 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)
- 1 男性
  - 2 女性

- 問3 年齢(8月1日現在)を記入してください。
- 歳

問4 現住、あなたはどこで暮らしていますか。(○は1つ)

- 1 持ち家(分譲マンションを含む)
- 2 賃貸住宅(アパート、賃貸マンション、借家)
- 3 グループホーム、ケアホーム、福祉ホーム
- 4 福祉施設(障害者支援施設、高齢者支援施設)
- 5 入院している
- 6 その他( )

問5 どなたと一緒に暮らしていますか。(○はいくつでも)

- 1 自分ひとりだけで暮らしている
- 2 配偶者(夫または妻)
- 3 子ども(子どもの配偶者も含む)
- 4 お父さん
- 5 お母さん
- 6 おじいさん
- 7 おばあさん
- 8 さようだい、しまい
- 9 そのほかの親せき
- 10 福祉施設の職員や仲間
- 11 その他( )

<b>障害の状況などについてお聞きします。</b>				
問6 愛の手帳に書かれている障害の程度をお答えください。(○は1つ)				
1 1度	3 3度	5 わからぬ		
2 2度	4 4度			
問7 次のうち、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)				
1 身体障害者手帳を持っている	2 精神障害者保健福祉手帳を持っている	3 国または東京都が指定する難病医療費等助成対象疾病を患っている	4 高次脳機能障害と診断されたことがある	5 発達障害(自閉症、アスペルガー症候群、学習障害、注意欠陥多動性障害等)と診断されたことがある
6 訪問看護などの医療的ケアを受けている	7 1～6に、あてはまるものはない			
問8 あなたは、介護保険の介護認定を受けていますか。受けています。受けていない場合は、あてはまる要介護度に○をつけてください。(○は1つ)				
1 認定は受けていない	4 要介護1	7 要介護4		
2 要支援1	5 要介護2	8 要介護5		
3 要支援2	6 要介護3	9 わからぬ		
問9 あなたは、障害者支援の手当や年金を主にどのように利用していますか。(○は1つ)				
1 将来のために蓄えている(預貯金など)	2 日々の生活のために利用することが多い	3 年金や手当は受給していない		
<b>介助・援助の状況についてお聞きします。</b>				
問10 あなたは、どのようなときに介助・援助を受けていますか。(○はいくつでも)				
1 介助・援助は受けていない	9 学校や職場、作業所などへの送り迎えのとき	10 車を飲むとき	11 生活費などお金の管理をするとき	12 暮らしに必要な事務手続き
2 食事をするとき(ご飯を食べるとき)	3 家事(調理、掃除、洗濯)をするとき	4 お風呂に入った時、からだを洗うとき	5 着替えをするとき	6 トイレのとき
7 家の移動をするとき	8 外出するとき	13 相手の話を聞きたいとき	14 その他( )	

問11 ふだん、あなたを主に介助・援助しているのは誰ですか。(○は1つ)				
1 夫、妻	7 きょうだい、しまい			
2 子ども(むすこ、むすめ)	8 そのほかの親せき			
3 お父さん	9 近所の人、友だち・知りあい			
4 お母さん	10 ホームヘルパーなどの在宅サービス事業者			
5 おじいさん	11 その他( )			
6 おばあさん				
<b>外出や社会参加状況についてお聞きします。</b>				
問12 あなたは、どのくらい外出しますか。通所、通学、通勤、買い物、日常の散歩など、すべてを含めてお答えください。(○は1つ)				
1 週に5日以上	3 週に1～2日	5 ほとんど外出しない		
2 週に3～4日	4 月に2～3日	6 その他( )		
問13 あなたは、外出をするときに支援が必要ですか。(○は1つ)				
1 ひとりで外出できる	2 いつも支援が必要	3 慣れた場所にはひとりで行けるが、それ以外は支援が必要	4 いつもはひとりで行けるが、調子が悪い場合は支援が必要	5 その他( )
問14 外出の際に困っていることはありませんか。(○はいくつでも)				
1 つきそってくれる人がいない	2 まわりの人と話すのが難しい	3 まわりの人の目が気になる	4 まわりの人の手助け・配慮が足りない	5 歩道が狭く、道路にでこぼこが多い
6 道路に直いたままの自転車などが多く、歩みにくい	7 建物などに階段が多く、歩みにくい	8 車を停めるところがない	9 電車やバスなどを利用しづらい	10 まちの着衣などに工夫が足りない(よみがな、絵文字など)
11 障害者用のトイレが少ない	12 その他( )	13 とくに困っていることはない		

問15 あなたは、この1年くらいの間に、次のような活動をしましたか。(〇はいくつでも)

- |    |                            |
|----|----------------------------|
| 1  | スポーツやレクリエーション              |
| 2  | 旅行                         |
| 3  | 買い物                        |
| 4  | ボランティア活動                   |
| 5  | 障害者団体の活動                   |
| 6  | 趣味などのサークル活動                |
| 7  | 講座や講演会などへの参加               |
| 8  | 地域の行事やお祭り                  |
| 9  | 選挙の投票                      |
| 10 | その他 ( )                    |
| 11 | とくに何もしていない → 問19へおすすみください。 |

→問16 選挙の投票の際、困ったことや改善してほしいことはありましたか。  
(自由記述)

→問17 スポーツ活動をした方は、どのようなスポーツ活動をしましたか。あてはまるものに〇をつけてください。(〇はいくつでも)

- |   |          |   |         |
|---|----------|---|---------|
| 1 | 卓球       | 5 | ボウリング   |
| 2 | バスケットボール | 6 | バドミントン  |
| 3 | ポッチャ     | 7 | 水泳      |
| 4 | ダンス      | 8 | その他 ( ) |

《 問15で1～10のいずれかの活動をした人にお聞きします。 》

問18 活動のために外出する際に「同行支援」「行動支援」「移動支援」等のヘルパーを利用していますか。(〇は1つ)

- |   |              |
|---|--------------|
| 1 | ヘルパーを利用している  |
| 2 | ヘルパーは利用していない |
| 3 | わからない        |

《 全員にお聞きします。 》

問19 これからどのような活動をしたいと意思ですか。(〇はいくつでも)

- |    |               |
|----|---------------|
| 1  | スポーツやレクリエーション |
| 2  | 旅行            |
| 3  | 買い物           |
| 4  | ボランティア活動      |
| 5  | 障害者団体の活動      |
| 6  | 趣味などのサークル活動   |
| 7  | 講座や講演会などへの参加  |
| 8  | 地域の行事やお祭り     |
| 9  | 選挙の投票         |
| 10 | その他 ( )       |
| 11 | とくに活動したくない    |

問20 問19のような活動をするために、どのような支援が必要だと思いますか。  
(〇はいくつでも)

- |    |                           |
|----|---------------------------|
| 1  | 活動についての情報が提供されること         |
| 2  | いっしょに行く仲間がいること            |
| 3  | 活動するための場所が近くにあること         |
| 4  | 移動支援など、外出のための手段が確保されていること |
| 5  | 魅力的な内容であること               |
| 6  | 適切な指導者がいること               |
| 7  | 障害のある人に配慮した施設や設備があること     |
| 8  | 介助者・援助者がいること              |
| 9  | その他 ( )                   |
| 10 | 特になし                      |

**日中の過ごし方についてお聞きします。**

問21 あなたは、平日（月曜日～金曜日）の日中を主にどのようなように過ごしていますか。

（○は1つ）

- 1 幼稚園や保育園、学校などに通っている
- 2 福祉施設、作業所などに通っている
- 3 病院などのデイケアに通っている
- 4 リハビリテーションを受けている
- 5 働いている
- 6 入所・入院している施設や病院などで過ごしている
- 7 自宅にすることが多い
- 8 その他（ ）

**雇用・就労などの状況についてお聞きします。**

問22 現在、あなたはお金をもらって仕事をしていますか。（○は1つ）

- 1 お金をもらって仕事をしている
- 2 お金をもらって仕事をしていない → 問27へおすみください。

**《 次の問23～問26は、お金をもらって仕事をしている方にお聞きします。》**

問23 どなたかの支援を受けて現在の仕事に就きましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- |                   |          |
|-------------------|----------|
| 1 支援は受けなかった       | 5 学校     |
| 2 ハローワーク          | 6 家族     |
| 3 障害者就労支援センター（一歩） | 7 友人・知人  |
| 4 就労移行支援事業所（さくら園） | 8 その他（ ） |

問24 仕事の形態は次のうちどれですか。（○は1つ）

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 1 自営業（家業の手伝いを答む）   | 4 内職            |
| 2 会社・団体等の正規の職員     | 5 授産施設、または福祉作業所 |
| 3 アルバイト、臨時、パート、嘱託等 | 6 その他（ ）        |

問25 あなたご自身の1ヶ月当たりの平均的な給与・賃金・工賃はいくらですか。

1ヶ月当たりの給与・賃金・工賃 → 約  円

問26 仕事をすることで困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

- 1 給与・工賃などの収入が少ない
- 2 働く時間、日数が多く体力的に不安
- 3 通勤がたいへん
- 4 業務内容が合わない
- 5 職場の人間関係
- 6 職場の設備が障害に対応していない
- 7 障害に対する職場の理解不足
- 8 職場外で相談相手がいない
- 9 その他（ ）
- 10 特に困っていることはない

**《 次の問27は、お金をもらって仕事をしていない方にお聞きします。》**

問27 仕事をしていない主な理由は何か。（○は1つ）

- 1 仕事をする必要がない（高齢だから、学生だから、専業主婦だから、などを答む）
- 2 現在、求職中である、または職業訓練中である
- 3 仕事をしたいとは思わない
- 4 仕事をしたいと思うが、できない
- 5 仕事を「したいか、したくないか」ではなく、「できない」
- 6 その他（ ）

《 全員にお聞きします。 》

問28 あなたは、障害のある人が仕事につけるようにするために、市内で不足していると思われるサービスや取組みは何かと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 仕事につくことや、仕事をかわることに伴って相談を受けるサービス
- 2 仕事について、仕事をかわることによる生活工の問題について相談できるサービス
- 3 仕事につくことに関する情報発信サービス
- 4 仕事につくことに重点をおいた作業訓練や技術習得などの職業訓練
- 5 会社や市役所などでの仕事を体験する機会の提供
- 6 仕事につくための訓練をつくる支援や面接練習等の支援
- 7 仕事の難易度を増やしたり、住んでいるところと近い地域での仕事先がちゃんとあること
- 8 仕事について後に定期的に相談できるなど、安心して働き続けることのできるサポート
- 9 会社や地域における障害理解をすすめる支援
- 10 自分で生活できることを自励としたグループホームやひとり暮らしに対する支援
- 11 仕事の白以外に利用できるしゆみの活動や交流の場
- 12 自分で会社を作りたいと思っている人をもちと支援すること
- 13 その他( )
- 14 わからない

障害者施設、施策についてお聞きします。

問29 あなたは、西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。(○はい)

- 1 利用している(利用したことがある)
- 2 知っているが、利用したことはない
- 3 知らない

問30 あなたは、西東京市にある次の施設を利用したことがありますか。また、知っていますか。

利用したことがあるが、利用したことはない(または現在、利用している)	利用している	知らない	
相談支援センター・えぼつく	1	2	3
障害者就労支援センター・一歩	1	2	3
地域活動支援センター・ハーモニー	1	2	3
保谷障害者福祉センター	1	2	3
地域活動支援センター・ブルーム	1	2	3

問31 あなたは、次の講座や事業等を知っていますか。(○はいくつでも)

1 サポーター養成講座	障害のある人へのちょっとしたお手伝いができるよう、市民サポーターを養成しています。障害者サポーターであることを示す「バンダナ」や「キーホルダー」を携帯しています。
2 ヘルプカード	障害のある人が携帯して、手助けが必要なときに周囲の人に示すカードです。
3 スポーツ支援事業	市スポーツセンターで、障害者スポーツ指導員や補助員がついて、スポーツレクリエーション活動を行っています。
4 障害者水泳教室	水慣れから始め、水中での感覚などの体感を自指す水泳教室を、市スポーツセンターで行っています。
5 1～4の講座や事業等は知らない	

相談や情報入手についてお聞きします。

問32 あなたは、悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親せき以外に、どのようなところに相談していますか。(〇はいくつでも)

1 市役所の福祉相談窓口	10 民生委員・児童委員
2 相談支援センター・えぼくく	11 生活保護の担当職員
3 障害者就業支援センター・一歩	12 福祉施設や作業所の職員
4 地域活動支援センター・ハートニー	13 幼稚園・保育園・学校の先生や職場の仲間
5 県谷障害者福祉センター	14 社会福祉協議会の職員
6 地域活動支援センター・ブルーム	15 障害者団体
7 病院・診療所	16 友だち・知り合い
8 児童相談所	17 その他( )
9 保健師	
18 誰かに相談することはまれである	
19 相談できるところは特にない	

問33 相談できるところは特にないと回答した理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1 相談するほどでもない・必要がない	3 どこに相談したらよいか
2 相談したくないから	4 その他( )

問34 あなたは、障害福祉サービスなどの情報をどこから得ていますか。(〇はいくつでも)

1 障害者のしおり(市が作成した冊子)	9 病院、診療所
2 市の広報紙(広報テープを含む)	10 図書館の障害者向けサービス
3 都の広報紙(広報テープを含む)	11 民生委員・児童委員
4 市のホームページ	12 家族、親せき
5 都のホームページ	13 友だち・知り合い
6 テレビ、ラジオ、新聞	14 その他( )
7 障害者団体	15 わからない
8 学校、職場、施設	

福祉サービスのことについてお聞きします。

問35 あなたは、次のような障害福祉サービスを、この1年のあいだに利用したことがありますか。利用したことがあるサービスに〇をつけてください。(〇はいくつでも)

1 訪問ケアサービス	ヘルパーがホームヘルプや外出時の補助を行うサービスで、居宅介護(ホームヘルプ)、量産訪問介護、同行介護、行動介護、量産障害者等居宅支援があります。
2 生活介護	常に介護が必要な方に、施設で入浴や排せつ、食事の介助や創作的活動などの機会を提供するサービスです。
3 自立訓練(機能訓練、生活訓練)	自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定期間における身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を行うサービスです。
4 就労移行支援	通常の事業所で働きたい方に、一定の期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために訓練を行うサービスです。
5 就労継続支援(A型、B型)	通常の事業所で働くことが困難な方に、就労の機会の提供や生活活動その他の活動の機会の提供、知識や能力の向上のための訓練を行うサービスです。
6 療養介護	医療が必要な方で、常に介護を必要とする方に、主に精神病院等において機能訓練、療養上の管理、看護などを提供するサービスです。
7 短期入所(シヨーストステイ)	在宅の障害者(児)を介護する方が病気の場合などに、障害者(児)が施設に短期間入所し入浴、排せつ、食事などの介助を行うサービスです。
8 共同生活援助(グループホーム)	夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行うサービスです。
9 施設入所支援	主として夜間、施設に入所する障害者(児)に対し、入浴、排せつ、食事の介護などの支援を行うサービスです。
10 相談支援	福祉に関する相談や介護者からの相談に応じて、必要な情報の提供や助言などを提供するサービスです。
11 1～10のようなサービスは利用したことはない	

→11に〇をつけた方は問39へおすすみください。

《 次の問36は、問35で1～10のいずれかのサービスを利用したことがある人にお聞きします。》

問36 サービスに対する感想やご意見があれば自由にご記入ください。(自由記述)

※サービス名、利用の際に困っていること、サービス利用で改善してほしい点など。

問37 あなたが、「十分利用できていない」と思う障害福祉サービスはどのサービスですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1	必要はサービスを利用できている	→ 問39へおすすみください。
2	訪問系サービス	7 療養介護
3	生活介護	8 短期入所 (ショートステイ)
4	自立訓練 (機能訓練、生活訓練)	9 共同生活援助 (グループホーム)
5	就労移行支援	10 施設入所支援
6	就労継続支援 (A型、B型)	11 相談支援

問38 必要だと感じるサービスを十分利用できていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1	自己負担が大きい、利用できないから
2	支給量が足りないから
3	通うのが大変だから
4	使いたいサービスの定員がいっぱいだから
5	サービス利用に予約が必要で、いつも予約がいっぱいだから
6	自分が利用したい時間や時期とあわないから
7	その他 ( )
8	わからない

問39 今後、どのような障害福祉サービスを引き続き、あるいは新たに利用したいと願いますか。(○はいくつでも)

1	訪問系サービス
2	生活介護
3	自立訓練 (機能訓練、生活訓練)
4	就労移行支援
5	就労継続支援 (A型、B型)
6	療養介護
7	短期入所 (ショートステイ)
8	共同生活援助 (グループホーム)
9	施設入所支援
10	相談支援
11	1～10の単に利用したいサービスはない

問40 次の問40は、65歳以上の方にお聞きします。65歳未満の方は問41へおすすみください。》

問40 あなたは、次のような介護保険のサービスを、過去1年の間に利用したことがありますか。(○はいくつでも)

1	介護保険のサービスは利用していない	4	短期入所 (ショートステイ)
2	訪問介護 (ホームヘルパー)	5	その他 ( )
3	通所介護 (デイサービス)		

問41 問41は、障害福祉サービス (問35の「1」～「10」)のいずれか、または介護保険サービス (問40の「2」～「5」)のいずれかを過去1年の間に利用した方にお聞きします。》

問41 現在、必要なサービス (障害福祉サービス、介護保険サービス) を受けることができますか。(○はいくつでも)

1	介護保険サービスを利用するようになって、それまでと変わりなく必要なサービスを受けられている
2	介護保険の要介護認定が低く判定され、決められたサービス支給量が少なくなった
3	介護保険のサービス量が十分でない場合でも、障害福祉サービスで上乗せしてもらえなかった
4	介護保険事業所では、障害特性などを十分理解した対応が受けられなくなった
5	今まで利用していた障害者支援施設を利用できなくなった
6	それまで無料で使えたサービスが1割負担となり、負担が大きくなった
7	その他 ( )

問42 《 全員にお聞きします。 》

問42 障害福祉サービスをより利用しやすくするためには、どのような情報提供や相談が必要ですか。また、サービス利用するためにあるとよい支援はどのようなのですか。(自由記入)

問43 障害者総合支援法の改正により、新たに導入される次のようなサービスをあなたは利用してみたいと思いますか。 ※平成30年4月から創設される予定の新しいサービスです。サービスの詳細は変更する可能性があります。

必要になったら利用してみたい	利用したくない	わからない
①②のサービスそれぞれについて、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。		
①地域生活を支援する新たなサービス (自立生活援助) グループホームなどを利用していた方が、ひとり暮らしを始めたときに、そのお宅を訪問して訪問し、ふたんの生活に向か前向きな変化が起きていないかなどを確認し、必要な助言や連絡調整などの連絡調整を行います。	1	2
②就労定着に向けた支援を行う新たなサービス (就労定着支援) 一時的に就労した障害のある方で、環境の変化などにより心身に問題が起きていたり、相談を求めなければならない助言をしたり、会社や障害福祉などの連絡調整を行います。	1	2

災害対策についてお聞きします。

問44 あなたは、お住まいの近くの避難所を知っていますか。(○は1つ)

- 1 知っている …… 2 知らない

問45 福祉避難施設とは、自宅や避難施設で生活している高齢者や障害者の芳等に対し、状況に応じて介護等の必要なサービスを提供する社会福祉施設等のことです。西東京市には障害者総合支援センター「フレンドリー」をはじめ、約30ヶ所の福祉避難施設があります。あなたは、西東京市にある福祉避難施設を知っていますか。(○は1つ)

1 福祉避難施設を知らない
2 福祉避難施設を知っているが、場所は知らない
3 福祉避難施設も場所も知っている

問46 あなたは、災害時要援護者登録を知っていますか。(○は1つ)

1 知らない
2 知っているが登録していない
3 登録している
4 その他 ( )

問47 地震や台風などのときに行政や地域などから支援を受けるため、あらかじめ個人情報(名前、住所、世帯の状況、障害の状況、障害の状況、緊急連絡先等)を市に提供することについて、どう思いますか。(○は1つ)

1 必要な情報なので、積極的に提供してよい
2 最小限の情報(名前、住所程度)ならかまわない
3 個人情報なので知らせたくない
4 その他 ( )
5 わからない

問48 あなたは、地震や台風などの災害時にひとりで避難できますか。(○は1つ)

1 できる …… 2 できない …… 3 わからない
----------------------------

問49 地震や台風などの災害が起こった際の不安は何ですか。(○はいくつでも)

1 災害の状況が伝わってこない場合の不安
2 避難する際の不安
3 避難先での不安
4 その他 ( )
5 持たない
6 わからない

問50 地震や台風に備えて、または災害時に、どのような対策が必要だと感じますか。(○はいくつでも)

1 避難しやすい避難所をつくる
2 避難訓練などに参加できるようにする
3 白ごころから避難方法をいかに教えてくれたり、情報提供を行う
4 緊急通報システムを整備する
5 地域で助けあえる体制を整備する
6 避難するときに手助けしてくれる人などを決めておく
7 その他 ( )
8 持たない

**将来の希望などについてお聞きします。**

- 問51 あなたは、今後、どのように日々を過ごしたいと思いますか。(〇はいくつでも)
- 1 自宅でのんびり過ごしたい
  - 2 一般企業などで働きたい
  - 3 一般企業等での就労は難しいと思うが働きたいと願うので、施設内で就労したり、生産活動をしながら過ごしたい
  - 4 施設や企業で作業や実習などを行い、職場探しや職場定着のための支援を受けたい
  - 5 自立した日常生活ができるよう、一定期間、身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を受けたい
  - 6 医療機関で、機能訓練、看護、介護、日常生活の世話などを受けながら過ごしたい
  - 7 施設で、入浴、排せつ、食事の介護を受けながら、創作的活動などを行いたい
  - 8 創作活動や社会との交流などを行ったりするところを過ごしたい
  - 9 学校に通いたい
  - 10 その他 ( )
  - 11 わからない

問52 あなたは、将来、どこで生活したいと思いますか。(〇は1つ)

- 1 今の場所で生活したい
- 2 グループホームなどを利用したい
- 3 施設に入所して暮らしたい
- 4 一般の住宅で家族といっしょに生活したい
- 5 一般の住宅でひとり暮らしをしたい
- 6 その他 ( )

問53 成年後見制度とは、知的障害や精神障害などの理由により、判断能力が十分でない方の財産などの権利を守る制度です。あなたは、成年後見制度について知っていますか。(〇は1つ)

- 1 名前も内容も知らない
- 2 名前を聞いたことはあるが、内容は知らない
- 3 名前も内容も知っている

問54 あなたは、成年後見制度を活用したいと思いますか。(〇は1つ)

- 1 すでに活用している
- 2 必要はないが、将来必要になったら活用したい
- 3 活用したいとは思わない
- 4 わからない

**差別や人権侵害についてお聞きします。**

問55 障害があることで、差別や人権侵害、虐待を受けていると感じることがありますか。(〇は1つ)

- 1 ほとんど感じることはない
- 2 たまに感じる
- 3 いつも感じる
- 4 わからない

問56 障害のある方々への差別をなくすことを目的として、平成28年4月1日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、このことを知っていますか。(〇は1つ)

- 1 内容まで知っている
- 2 名前だけ知っている
- 3 知らない

問57 障害や障害のある方々に対する市民の理解は進んできていると思いますか。(〇は1つ)

- 1 進んできている
- 2 まあ進んできている
- 3 どちらともいえない
- 4 進んできていない
- 5 わからない

問58 障害や障害のある市民への理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための啓発
- 2 障害のある人に対してのボランティア活動やボランティア人材育成への支援
- 3 障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進
- 4 学校における福祉教育の充実
- 5 障害に関する講演会や学習会の開催
- 6 障害のある人への福祉的な就労や生産活動の機会の提供
- 7 福祉施設の地域住民への開放や地域住民との交流の促進
- 8 障害のある人の地域活動への参加機会の促進
- 9 その他 ( )
- 10 わからない

**最後に市の取組などについてお聞きします。**

問59 今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。(〇は1つでも)

- 1 事故や災害による障害の発生を予防するとともに、障害を早期に発見し、早い段階での適切な対応（リハビリテーションや療育等）を進めること
- 2 障害に対する理解を深めてもらうための交流を推進すること
- 3 障害のある子どもたちの可能性を最大限に伸ばすような教育を進めること
- 4 障害のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること
- 5 ホームヘルパーの派遣など在宅生活支援サービスを充実させること
- 6 利用できる施設を増やすこと
- 7 障害者や高齢者にやさしい「福祉のまちづくり」を推進すること
- 8 障害のある人が住みやすい住居を確保・整備すること
- 9 文化、スポーツ、レクリエーション活動に参加できるような支援すること
- 10 家族などの介護者の休息や負担軽減を支援すること
- 11 ボランティア活動を充実させること
- 12 障害者サービスや福祉に関する情報提供を充実させること
- 13 相談体制を充実させること
- 14 成年後見制度が利用しやすくなるように支援すること
- 15 その他（ )
- 16 特になし

問60 問59のような西東京市の障害者施策全般について、総合的に満足していますか。(〇は1つ)

- 1 満足している
- 2 やや満足
- 3 どちらでもない
- 4 やや不満足
- 5 不満足
- 6 わからない

次のページへ続きます。

問61 約5年前（平成24年）と比べて、障害者のサービスはどのように変わったと思いますか。(〇は1つ)

- 1 良くなった
- 2 変わらない
- 3 悪くなった

問62 そのようにお答えになったのは、どのような理由からですか。(自由記入)

問63 あなたは、今後も西東京市に住みつづけたいと思いますか。(〇は1つ)

- 1 住み続けたい
- 2 どちらかというに住み続けたい
- 3 どちらかというに住み続けたい
- 4 住み続けたくない

問64 最後に、この調査を通して、選抜肢や自由記入欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、自由にお書きください。(自由記入)

ご協力ありがとうございました。  
同封の返信用封筒に入れて8月21日（月）までにご返函ください。

3 精神障害者調査票

## あなたの声をお聞かせください

— 西東京市の障害福祉に関する調査へのご協力をお願い —

日頃より、西東京市の健康福祉行政の推進に対しご理解ご協力をいただきまして、厚くお礼申し上げます。

現在、本市では平成 30 年度から始まる第 5 期障害福祉計画の策定を進めております。(現行の計画書は西東京市障害福祉課および情報公開コーナーで閲覧できます。また、西東京市ホームページでも公開しています。)

計画の策定にあたっては、障害のある方々の日常生活の状況やサービスの利用状況をきちんと把握し、ご意見、ご要望などをお伺いしながら策定を進めていくことが重要であると考え、このたびアンケート調査を実施することといたしました。

この調査票は、市内にお住まいの精神障害者福祉手帳をお持ちの方々を対象としています。なお、調査は無記名であり、お答えいただいた内容につきましては、個人情報保護に万全を期すとともに、アンケート集計以外には使用いたしませんので、アンケートへのご協力をお願いいたします。

西東京市長 丸山 浩一

《ご記入にあたって》

- ご記入について
  - アンケート及び返信用封筒には、お名前を書く必要はありません。
  - お答えは、「1つだけ」選んでいただくものと、「いくつでも」選んでいただくもの、また、自由にご記入いただくものがあります。
  - 答えたくない質問については、無理に答える必要はありません。
  - 平成 29 年 8 月 1 日現在の状況を記入してください。
- アンケートの返信について
  - ご記入いただきましたアンケートは、**8 月 21 日(月)までに**、同封の返信用封筒に入れ、西東京市役所障害福祉課へご返送いただきますようお願いいたします。
- アンケートについてのお問い合わせ
 

西東京市役所 健康福祉部 障害福祉課 (保谷庁舎)  
担当：飯島 (いいじま)  
電話：042-464-1311 (代表) 内線 2341  
042-438-4033 (直通)

問 1 この用紙(調査票)に記入されるのはあなたですか。(○は1つ)

- |   |                                       |
|---|---------------------------------------|
| 1 | 本人(この調査票が郵送された宛名の方)が記入、または本人が答え代筆者が記入 |
| 2 | 家族(本人の立場に立って記入)                       |
| 3 | 施設や病院等の職員(本人の立場に立って記入)                |
| 4 | そのほかの方(本人の立場に立って記入)                   |

※ これ以降、この調査票が郵送された宛名の方を「あなた」とお呼びしますので、ご本人以外の方がご記入される場合は、ご本人の状況などについて、お答えください。

### あなた(宛名の方)の性別・年齢・ご家族などについてお聞きします。

問 2 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

- |   |    |   |    |
|---|----|---|----|
| 1 | 男性 | 2 | 女性 |
|---|----|---|----|

問 3 年齢(8月1日現在)を記入してください。

	歳
--	---

問 4 現在、あなたはどこで暮らしていますか。(○は1つ)

- |   |                       |
|---|-----------------------|
| 1 | 持ち家(分譲マンションを含む)       |
| 2 | 賃貸住宅(アパート、賃貸マンション、借家) |
| 3 | グループホーム、ケアホーム、福祉ホーム   |
| 4 | 福祉施設(障害者支援施設、高齢者支援施設) |
| 5 | 入院している                |
| 6 | その他( )                |

問 5 どなたと一緒に暮らしていますか。(○はいくつでも)

- |   |                 |    |            |
|---|-----------------|----|------------|
| 1 | 自分ひとりだけで暮らしている  | 6  | 祖父         |
| 2 | 配偶者(夫または妻)      | 7  | 祖母         |
| 3 | 子ども(子どもの配偶者も含む) | 8  | 兄弟、姉妹      |
| 4 | 父親              | 9  | その他の親せき    |
| 5 | 母親              | 10 | 福祉施設の職員や仲間 |
|   |                 | 11 | その他( )     |

**障害の状況などについてお聞きします。**

問6 あなたは、精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。お持ちの場合は、手帳に書かれている障害の程度に○をつけてください。(○は1つ)

1 1級	.....	4 わからない
2 2級		
3 3級		

問7 次のうち、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 身体障害者手帳を持っている
2 愛の手帳(療育手帳)を持っている
3 国または東京都が指定する難病医療費助成対象疾病を患っている
4 高次脳機能障害と診断されたことがある
5 発達障害(自閉症、アスペルガー症候群、学習障害、注意欠陥多動性障害等)と診断されたことがある
6 訪問看護などの医療的ケアを受けている
7 1～6に、あてはまるものはない

問8 あなたは、障害者支援の手当や年金を主にどのように利用していますか。(○は1つ)

1 将来のために蓄えている(預貯金など)
2 日々の生活のために利用することが多い
3 年金や手当は受給していない

**介助・援助の状況についてお聞きします。**

問9 あなたは、どのようなときに介助・援助を受けていますか。(○はいくつでも)

1 介助・援助は受けていない	9 学校や職場、作業所などへの送り迎え
2 食事の準備や調理など	10 現金や預金通帳の管理
3 部屋の掃除・整理整頓	11 急に具合が悪くなったときの相談や対処
4 衣類の洗濯	12 戸締りや火の始末などの安全を保つこと
5 日用品などの買い物	13 銀行や郵便局、市役所を利用すること
6 服薬管理	14 規則正しい生活をする
7 健康の管理	15 電話の利用
8 電車・バスなど交通機関を利用すること	16 その他( )

問10 ふだん、あなたを主に介助・援助しているのは誰ですか。(○は1つ)

1 配偶者(夫、妻)	7 兄弟、姉妹
2 子ども、子どもの配偶者	8 その他の親せき
3 父親	9 近所の人、友人・知人
4 母親	10 ホームヘルパー等の在宅サービス事業者
5 祖父	11 その他( )
6 祖母	

**外出や社会参加状況についてお聞きします。**

問11 あなたは、どのくらい外出しますか。通所、通学、通勤、買い物、日常の散歩など、すべてを含めてお答えください。(○は1つ)

1 週に5日以上	3 週に1～2日	5 ほとんど外出しない
2 週に3～4日	4 月に2～3日	6 その他( )

問12 あなたは、外出をするときに支援が必要ですか。(○は1つ)

1 ひとりで外出できる
2 いつも支援が必要
3 慣れた場所にはひとりで行けるが、それ以外は支援が必要
4 いつもはひとりで行けるが、調子が悪い場合は支援が必要
5 その他( )

問 13 外出の際に困っていることはありませんか。(○はいくつでも)

- |   |                         |
|---|-------------------------|
| 1 | 付き添ってくれる人がいない           |
| 2 | 他人との会話が難しい              |
| 3 | 他人の視線が気になる              |
| 4 | 必要ときに、まわりの人の手助け・配慮が足りない |
| 5 | その他 ( )                 |
| 6 | 特に困っていることはない            |

問 14 あなたは、この1年くらいの間に、次のような活動をしましたか。(○はいくつでも)

- |   |               |    |              |
|---|---------------|----|--------------|
| 1 | スポーツやレクリエーション | 7  | 講座や講演会などへの参加 |
| 2 | 旅行            | 8  | 地域の行事やお祭り    |
| 3 | 買い物           | 9  | 選挙の投票        |
| 4 | ボランティア活動      | 10 | その他 ( )      |
| 5 | 障害者団体の活動      | 11 | 特に何もしてない     |
| 6 | 趣味などのサークル活動   |    |              |

↓ 問 15 選挙の投票の際、困ったことや改善してほしいことはありましたか。(自由記述)

問 16 スポーツ活動をした方は、どのようなスポーツ活動をしましたか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |   |          |   |         |
|---|----------|---|---------|
| 1 | 卓球       | 5 | ボウリング   |
| 2 | バスケットボール | 6 | バドミントン  |
| 3 | ボッチャ     | 7 | 水泳      |
| 4 | ダンス      | 8 | その他 ( ) |

《 問 14 で 1～10 のいずれかの活動をした人にお聞きします。 》

問 17 活動のために外出する際に「同行援護」「行動支援」「移動支援」等のヘルパーを利用していますか。(○は1つ)

- |   |             |   |              |   |       |
|---|-------------|---|--------------|---|-------|
| 1 | ヘルパーを利用している | 2 | ヘルパーは利用していない | 3 | わからない |
|---|-------------|---|--------------|---|-------|

《 全員にお聞きします。 》

問 18 これからのような活動をしたいと思いますか。(○はいくつでも)

- |   |               |    |              |
|---|---------------|----|--------------|
| 1 | スポーツやレクリエーション | 7  | 講座や講演会などへの参加 |
| 2 | 旅行            | 8  | 地域の行事やお祭り    |
| 3 | 買い物           | 9  | 選挙の投票        |
| 4 | ボランティア活動      | 10 | その他 ( )      |
| 5 | 障害者団体の活動      | 11 | 特に活動したくない    |
| 6 | 趣味などのサークル活動   |    |              |

問 19 問 18 のような活動をするために、どのような支援が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- |   |                           |
|---|---------------------------|
| 1 | 活動についての情報が提供されること         |
| 2 | 一緒に行く仲間がいること              |
| 3 | 活動するための場所が近くにあること         |
| 4 | 移動支援など、外出のための手段が確保されていること |
| 5 | 魅力的な内容であること               |
| 6 | 適切な指導者がいること               |
| 7 | 介助者・援助者がいること              |
| 8 | その他 ( )                   |
| 9 | 特にない                      |

日中の過ごし方についてお聞きします。

問 20 あなたは、平日(月曜日～金曜日)の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つ)

- |   |                         |
|---|-------------------------|
| 1 | 幼稚園や保育園、学校などに通っている      |
| 2 | 福祉施設、作業所などに通っている        |
| 3 | 病院などのデイケアに通っている         |
| 4 | リハビリテーションを受けている         |
| 5 | 働いている                   |
| 6 | 入所・入院している施設や病院などで過ごしている |
| 7 | 自宅に多くのことが多い             |
| 8 | その他 ( )                 |

**雇用・就労などの状況についてお聞きします。**

- 問 21 現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。(○は1つ)
- 1 収入を伴う仕事をしている
- 2 収入を伴う仕事はしていない → 問 26へおすすみください。

**《 次の問 22～問 25 は、収入を伴う仕事をしている方にお聞きします。》**

→ 問 22 どなたかの支援を受けて現在の仕事に就きましたか。  
あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |                    |          |
|--------------------|----------|
| 1 支援は受けなかった        | 5 学校     |
| 2 ハローワーク           | 6 家族     |
| 3 障害者就労支援センター(一歩)  | 7 友人・知人  |
| 4 就労移行支援事業所(さくらの園) | 8 その他( ) |

問 23 仕事の形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 1 自営業(家業の手伝いを含む)   | 4 内職            |
| 2 会社・団体の正規の職員      | 5 授産施設、または福祉作業所 |
| 3 アルバイト、臨時、パート、嘱託等 | 6 その他( )        |

問 24 あなたご自身の1ヶ月当たりの平均的な給与・賃金・工賃はいくらですか。

1ヶ月当たりの給与・賃金・工賃 → 約  円

問 25 仕事をすす上で困っていることは何ですか。(○はいくつでも)

- |                    |
|--------------------|
| 1 給与・工賃などの収入が少ない   |
| 2 勤務時間、日数が多く体力的に不安 |
| 3 通勤が大変            |
| 4 業務内容が合わない        |
| 5 職場の人間関係          |
| 6 職場の設備が障害に对应していない |
| 7 障害に対する職場の理解不足    |
| 8 職場外で相談相手がいない     |
| 9 その他( )           |
| 10 特に困っていることはない    |

**《 次の問 26 は、収入を伴う仕事をしていない方にお聞きします。》**

問 26 仕事をしていない主な理由は何ですか。(○は1つ)

- |   |
|---|
| 1 仕事をする必要がない(高齢だから、学生だから、専業主婦だから、などを含む) |
| 2 現在、求職中である、または職業訓練中である                 |
| 3 仕事をしたいとは思わない                          |
| 4 仕事をしたいと思うが、できない                       |
| 5 仕事を「したいか、したくないか」ではなく、「できない」           |
| 6 その他( )                                |

**《 全員にお聞きします。》**

問 27 あなたは、障害のある方の雇用を促進するために、市内で不足していると思われるサービスや取組みは何かと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1 就職や転職について相談を受けるサービス              |
| 2 就職や転職する上での生活上の問題について相談を受けるサービス   |
| 3 就職に関する情報発信サービス                   |
| 4 就職に重点をおいた作業訓練や技術習得などの職業訓練        |
| 5 企業や官公庁などでの仕事を体験する機会の提供           |
| 6 就職するための書類作成の支援や面接練習等の支援          |
| 7 職種の拡大や近隣地域での就職先の確保               |
| 8 就職後の定期訪問等、安心して働き続けることのできるサポート    |
| 9 企業や地域における障害理解をすすめる支援             |
| 10 自立した生活を目的としたグループホームや一人暮らしに対する支援 |
| 11 仕事の日以外に利用できる余暇活動や交流の場           |
| 12 自ら起業することを希望する人への支援              |
| 13 その他( )                          |
| 14 わからない                           |

**障害者施設、施策についてお聞きします。**

問 28 あなたは、西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。  
(○は1つ)

1	利用している (利用したことがある)
2	知っているが、利用したことはない
3	知らない

問 29 あなたは、西東京市にある次の施設を利用したことがありますか。また、知っていますか。

	利用したことがある (または現在、 利用している)	知っているが、利 用したことはない	知らない
(それぞれの施設についてあてはまる番号に1つずつ○をつけてください)			
相談支援センター・えぼつく	1	2	3
障害者就労支援センター・一歩	1	2	3
地域活動支援センター・ハーモニ-	1	2	3
保谷障害者福祉センター	1	2	3
地域活動支援センター・ブルーム	1	2	3

問 30 あなたは、次の講座や事業等を知っていますか。(○はいくつでも)

1	サポーター養成講座 障害のある人へのちよっとしたお手伝いができるよう、市民サポーターを養成しています。障害者サポーターであることを示す「ハンタナ」や「キーホルダー」を携帯しています。
2	ヘルプカード 障害のある人が携帯して、手助けが必要なときに周囲の人に示すカードです。
3	スポーツ支援事業 市スポーツセンターで、障害者スポーツ指導員や補助員がついて、スポーツレクリエーション活動を行っています。
4	障害者水泳教室 水慣れから始め、水中での感覚などの体感を目指す水泳教室を、市スポーツセンターで行っています。
5	1～4の講座や事業等は知らない

**相談や情報入手についてお聞きします。**

問 31 あなたは、悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親せき以外に、どのようなところに相談していますか。(○はいくつでも)

1	市役所の福祉相談窓口	10	民生委員・児童委員
2	相談支援センター・えぼつく	11	生活保護の担当職員
3	障害者就労支援センター・一歩	12	福祉施設や作業所の職員
4	地域活動支援センター・ハーモニ-	13	幼稚園・保育園・学校の先生や職場の仲間
5	保谷障害者福祉センター	14	社会福祉協議会の職員
6	地域活動支援センター・ブルーム	15	障害者団体
7	病院・診療所	16	友人・知人
8	児童相談所	17	その他 ( )
9	保健師		
18	誰かに相談することはまれである		
19	相談できることは特にない		

問 32 相談できる場所は特にないと回答した理由は何ですか。(○はいくつでも)

1	相談するほどでもない・必要がない	3	どこに相談したらよいか わからないから
2	相談したくないから	4	その他 ( )

問 33 あなたは、障害福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。  
(○はいくつでも)

1	障害者のしおり (市が作成した冊子)	9	病院、診療所
2	市の広報紙 (広報テープを含む)	10	図書館の障害者向けサービス
3	都の広報紙 (広報テープを含む)	11	民生委員・児童委員
4	市のホームページ	12	家族、親せき
5	都のホームページ	13	友人、知人
6	テレビ、ラジオ、新聞	14	その他 ( )
7	障害者団体	15	わからない
8	学校、職場、施設		

**福祉サービスのことについてお聞きします。**

問 34 あなたが、地域で生活していく上で必要だと思うものはないですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |    |   |
|----|---|
| 1  | 相談のつてくれる市町村の精神保健福祉専門の職員                               |
| 2  | 相談のつてくれる病院、診療所の職員                                     |
| 3  | 具合が悪くなつたらいつでも診察してくれる、かかりつけの病院、診療所                     |
| 4  | 具合が悪くなつたらいつでも相談できる電話相談機関                              |
| 5  | 自宅で生活に疲れたときなどに、入院ではなく休息できる施設(シヨーステイ)                  |
| 6  | 自立生活できるように訓練できる施設(グループホームなど)                          |
| 7  | 日ごろの暮らしの相談や支援、友達との交流が行える身近な場所(地域活動センターなど)             |
| 8  | 自宅を看護師などが訪問して服薬や病氣、生活の相談にのつてくれるサービス(訪問看護など)           |
| 9  | 掃除や食事の用意、身の回りの世話などの家事を援助してくれるホームヘルプサービス               |
| 10 | 保健、福祉、医療のサービスに対する苦情や意見を聞いて、あなたの代わりに代弁してくれるサービス(権利の擁護) |
| 11 | 自宅での金銭の管理や資産の活用をあなたに代わつてしてくれるサービス                     |
| 12 | アパートなどを借りる際、保証人の代理になつてくれるサービス                         |
| 13 | 就職についての相談ができること                                       |
| 14 | その他( )  |

問 35 あなたは、次のような障害福祉サービスを、過去1年の間に利用したことがありますか。利用したことがあるサービスに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |    |   |
|----|---|
| 1  | 訪問系サービス<br>ヘルパーがホームヘルプや外出時の援助を行うサービスで、居宅介護(ホームヘルプ)、重度訪問介護、行動援護があります。<br>常に介護が必要な方に、施設で入浴や排せつ、食事の介助や創作的活動などの機会を提供するサービスです。 |
| 2  | 生活介護  |
| 3  | 自立訓練<br>(機能訓練、生活訓練)<br>自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定期間における身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を行うサービスです。   |
| 4  | 就労移行支援<br>通常の事業所で働きたい方に、一定の期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために訓練を行うサービスです。   |
| 5  | 就労継続支援<br>(A型、B型)<br>通常の事業所で働くことが困難な方に、就労の機会の提供や生活活動その他の活動の機会の提供、知識や能力の向上のための訓練を行うサービスです。                                 |
| 6  | 短期入所<br>(シヨーステイ)<br>在宅の障害者(児)を介護する方が病氣の場合などに、障害者(児)が施設に短期間入所し入浴、排せつ、食事などの介助を行うサービスです。                                     |
| 7  | 共同生活援助<br>(グループホーム)<br>夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行うサービスです。   |
| 8  | 施設入所支援<br>主として夜間、施設に入所する障害者(児)に対し、入浴、排せつ、食事の介護などの支援を行うサービスです。   |
| 9  | 相談支援<br>福祉に関する問題や介護者からの相談に応じて、必要な情報の提供や助言などを行うサービスです。   |
| 10 | 1～9のようないサービスは利用したことではない   |

→ 10に○をつけた方は問 39へおすすみください。

《 次の問 36は、問 35で1～9のいずれかのサービスを利用したことがある人にお聞きします。》

問 36 サービスに対する、感想やご意見があれば自由にご記入ください。(自由記述)

※ サービス名、利用の際に困っていること、サービス利用で改善してほしい点など。

問 37 あなたは、「十分利用できていない」と思うサービスはどのサービスですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 必要なサービスを利用できている	→ 問 39へおすすみください。
2 訪問系サービス	7 短期入所 (ショートステイ)
3 生活介護	8 共同生活援助 (グループホーム)
4 自立訓練 (機能訓練、生活訓練)	9 施設入所支援
5 就労移行支援	10 相談支援
6 就労継続支援 (A型、B型)	

《 次の問 38 は、サービスを十分利用できていない人にお聞きします。 》

問 38 必要だと思ふサービスを、十分、利用できていない理由は何ですか。  
(○はいくつでも)

1 自己負担が大きく、利用できないから
2 支給量が足りないから
3 通うのが大変だから
4 使いたいサービスの定員がいっぱいだから
5 サービス利用に予約が必要で、いつも予約がいっぱいだから
6 自分が利用したい時間や時期とあわないから
7 その他 ( )
8 わからない

《 全員にお聞きします。 》

問 39 あなたは、今後、どのようなサービスを引き続き、あるいは新たに利用したいと思えますか。(○はいくつでも)

1 訪問系サービス	6 短期入所 (ショートステイ)
2 生活介護	7 共同生活援助 (グループホーム)
3 自立訓練 (機能訓練、生活訓練)	8 施設入所支援
4 就労移行支援	9 相談支援
5 就労継続支援 (A型、B型)	10 1～9の中に利用したいサービスはない

問 40 サービスをより利用しやすくするために、どのような情報提供や相談先が必要ですか。また、サービスを利用するためには、どのような支援はどのようなものですか。  
(自由記述)

問 41 障害者総合支援法の改正により、新たに導入される次のようなサービスをあなたは利用してみたいと思いますか。 ※平成 30 年 4 月から創設される予定の新しいサービスです。サービスの詳細は変更する可能性もあります。

	必要にならなければ利用したくない	利用したくない	わからない
①～②のサービスそれぞれについて、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。			
①地域生活を支援する新たなサービス (自立生活援助) グループホームなどを利用していただき、ひとり暮らしを始めるときに、そのお宅を定期的に訪問し、ふだんの生活に何か問題が起きていないかなどを確認し、必要な助言や医療機関などとの連絡調整を行います。	1	2	3
②就労定着に向けた支援を行う新たなサービス (就労定着支援) 一般就労した障害のある方で、環境の変化などにより心身に問題が起きていない方に対して、相談を受け必要な助言をしたり、会社や関係機関などとの連絡調整を行います。	1	2	3

**災害対策についてお聞きします。**

問 42 あなたは、お住まいの地域の避難所を知っていますか。(○は1つ)

- 1 知っている …… 2 知らない

問 43 福祉避難施設とは、自宅や避難施設で生活している高齢者や障害者の方等に対し、状況に応じて介護等の必要なサービスを提供する社会福祉施設等のことです。西東京市には障害者総合支援センター「フレンドリー」をはじめ、約 30 ヶ所の福祉避難施設があります。あなたは、西東京市にある福祉避難施設を知っていますか。(○は1つ)

- 1 福祉避難施設を知らない  
 2 福祉避難施設を知っているが、場所は知らない  
 3 福祉避難施設も場所も知っている

問 44 あなたは、災害時要援護者登録を知っていますか。(○は1つ)

- 1 知らない …… 3 登録している  
 2 知っているが登録していない …… 4 その他 ( )

問 45 災害時に行政や地域などから支援を受けるため、あらかじめ個人情報(名前、住所、世帯の状況、障害の状況、緊急連絡先等)を市に提供することについて、どう思いますか。(○は1つ)

- 1 必要な情報なので、積極的に提供してよい  
 2 最小限の情報(名前、住所程度)ならかまわない  
 3 個人情報なので知らせたくない  
 4 その他 ( )  
 5 わからない

問 46 あなたは、地震や台風などの災害時にひとりで避難できますか。(○は1つ)

- 1 できる …… 2 できない …… 3 わからない

問 47 地震や台風などの災害が起こった際の不安は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 災害の状況が伝わってこない場合の不安  
 2 避難する際の不安  
 3 避難先での不安  
 4 その他 ( )  
 5 特にない  
 6 わからない

問 48 災害に備えて、または災害時に、どのような対策が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 避難しやすい避難所を整備する  
 2 避難訓練などに参加できるようにする  
 3 日頃から避難方法のアドバイスや情報提供を行う  
 4 緊急通報システムを整備する  
 5 地域で助け合える体制を整備する  
 6 その他 ( )  
 7 特にない

**将来の希望などについてお聞きします。**

問 49 あなたは、今後、どのように日中を過ごしたいと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 自宅でのんびり過ごしたい
- 2 一般企業などで働きたい
- 3 一般企業等での就労は難しいと思うが働きたいと思うので、施設内で就労したり、生産活動をしながら過ごしたい
- 4 施設や企業で作業や実習などを行い、職場探しや職場定着のための支援を受けたい
- 5 自立した日常生活ができるよう、一定期間、身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を受けたい
- 6 医療機関で、機能訓練、看護、介護、日常生活の世話などを受けながら過ごしたい
- 7 施設で、入浴、排せつ、食事の介護を受けながら、創作的活動などを行いたい
- 8 創作活動や社会との交流などを行ったりするところを過ごしたい
- 9 学校に通いたい
- 10 その他 ( )
- 11 わからない

問 50 あなたは、将来、どこで生活したいと思いますか。(○は1つ)

- 1 今の場所で生活したい
- 2 グループホームなどを利用したい
- 3 施設に入所して暮らしたい
- 4 一般の住宅で家族と一緒に生活したい
- 5 一般の住宅でひとり暮らしをしたい
- 6 その他 ( )

問 51 成年後見制度とは、知的障害や精神障害などの理由により、判断能力が十分でない方の財産などの権利を守る制度です。あなたは、成年後見制度について知っていますか。(○は1つ)

- 1 名前も内容も知らない
- 2 名前を聞いたことはあるが、内容は知らない
- 3 名前も内容も知っている

問 52 あなたは、成年後見制度を活用したいと思いますか。(○は1つ)

- 1 すでに活用している
- 2 今は必要ないが、将来必要になったら活用したい
- 3 活用したいとは思わない
- 4 わからない

**差別や人権侵害についてお聞きします。**

問 53 障害があることで、差別や人権侵害、虐待を受けていると感じることがありますか。(○は1つ)

- 1 ほとんど感じることはない
- 2 たまに感じる
- 3 いつも感じる
- 4 わからない

問 54 障害のある方々への差別をなくすることを目的として、平成28年4月1日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、このことを知っていますか。(○は1つ)

- 1 内容まで知っている
- 2 名前だけ知っている
- 3 知らない

問 55 障害や障害のある方々に対する市民の理解は進んできていると思いますか。(○は1つ)

- 1 進んできている
- 2 まあ進んできている
- 3 どちらともいえない
- 4 進んできていない
- 5 わからない

問 56 障害や障害のある市民への理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための啓発
- 2 障害のある人に対してのボランティア活動やボランティア人材育成への支援
- 3 障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進
- 4 学校における福祉教育の充実
- 5 障害に関する講演会や学習会の開催
- 6 障害のある人への福祉的な就労や生産活動の機会の提供
- 7 福祉施設の地域住民への開放や地域住民との交流の促進
- 8 障害のある人の地域活動への参加機会の促進
- 9 その他 ( )
- 10 わからない

**最後に市の取組などについてお聞きします。**

問 57 今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特になどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。(〇はいくつでも)

- |    |   |
|----|---|
| 1  | 事故や疾病による障害の発生を予防するとともに、障害を早期に発見し、早い段階での適切な対応（リハビリテーションや療育等）に努めること |
| 2  | 障害に対する理解を深めてもらうための交流を推進すること                                       |
| 3  | 障害のある子どもたちの可能性を最大限に伸ばすような教育を進めること                                 |
| 4  | 障害のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること  |
| 5  | ホームヘルパーの派遣など在宅生活支援サービスを充実させること                                    |
| 6  | 利用できる施設を増やすこと   |
| 7  | 障害者や高齢者にやさしい「福祉のまちづくり」を推進すること                                     |
| 8  | 障害のある人が住みやすい住居を確保・整備すること  |
| 9  | 文化、スポーツ、レクリエーション活動に参加できるような支援すること                                 |
| 10 | 家族などの介護者の休息や負担軽減を支援すること   |
| 11 | ボランティア活動を充実させること  |
| 12 | 障害者サービスや福祉に関する情報提供を充実させること  |
| 13 | 相談体制を充実させること  |
| 14 | 成年後見制度が利用しやすくなるように支援すること  |
| 15 | その他（ ）  |
| 16 | 特になし  |

問 58 問 57 のような西東京市の障害者施策全般について、総合的に満足していますか。(〇は1つ)

- |   |        |   |         |   |      |
|---|--------|---|---------|---|------|
| 1 | 満足している | 3 | どちらでもない | 5 | 不満   |
| 2 | やや満足   | 4 | やや不満    | 6 | わからぬ |

問 59 約5年前（平成24年）と比べて、障害者のサービスはどのように変わったと思いますか。(〇は1つ)

- |   |       |   |       |   |       |
|---|-------|---|-------|---|-------|
| 1 | 良くなった | 2 | 変わらない | 3 | 悪くなった |
|---|-------|---|-------|---|-------|

問 60 そのようにお答えになったのは、どのような理由からですか。(自由記述)

次ページへ続きます。

問 61 あなたは、今後も西東京市に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

- |   |                |   |                |
|---|----------------|---|----------------|
| 1 | 住み続けたい         | 3 | どちらかというに住み続けたい |
| 2 | どちらかというに住み続けたい | 4 | 住み続けたくない       |

問 62 最後に、この調査を通じて、選択肢や自由記述欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、自由にお書きください。(自由記述)

ご協力ありがとうございました。  
同封の返信用封筒に入れて8月21日（月）までにご投函ください。

4 難病患者調査票

**あなたの声をお聞かせください**  
 — 西東京市の障害福祉に関する調査へのご協力をお願い —

日頃より、西東京市の健康福祉行政の推進に対しご理解ご協力をいただきまして、厚くお礼申し上げます。

現在、本市では平成 30 年度から始まる第 5 期障害福祉計画の策定を進めております。(現行の計画書は西東京市障害福祉課および情報公開コーナーで閲覧できます。また、西東京市ホームページでも公開しています。)

計画の策定にあたっては、障害のある方々の日常生活の状況やサービスの利用状況をきちんと把握し、ご意見、ご要望などをお伺いしながら策定を進めていくことが重要であると考え、このたびアンケート調査を実施することといたしました。

この調査票は、市内にお住まいの難病患者の方々を対象としています。なお、調査は無記名であり、お答えいただいた内容につきましては、秘密の保護に万全を期すとともに、アンケート集計以外には使用しませんので、アンケートへのご協力をお願いいたします。

西東京市長 丸山 浩一

《ご記入にあたって》

- ご記入について
  - アンケート及び返信用封筒には、お名前を書く必要はありません。
  - お答えは、「1 つだけ」選んでいただくものと、「いくつでも」選んでいただくもの、また、自由にご記入いただくものがあります。
  - 答えたくない質問については、無理に答える必要はありません。
  - 平成 29 年 8 月 1 日現在の状況を記入してください。
- アンケートの返信について
  - ご記入いただきましたアンケートは、**8 月 21 日(月)までに**、同封の返信用封筒に入れ、市役所障害福祉課へご返送いただきますようお願いいたします。
- アンケートについてのお問い合わせ
  - 西東京市役所 健康福祉部 障害福祉課 (保谷庁舎)
  - 担当：飯島 (いいじま)
  - 電話：042-464-1311 (代表) 内線 2341
  - 042-438-4033 (直通)

問 1 この用紙(調査票)に記入されるのはなですか。(○は1つ)

- |   |                                       |
|---|---------------------------------------|
| 1 | 本人(この調査票が郵送された宛名の方)が記入、または本人が答え代筆者が記入 |
| 2 | 家族(本人の立場に立って記入)                       |
| 3 | 施設や病院等の職員(本人の立場に立って記入)                |
| 4 | そのほかの方(本人の立場に立って記入)                   |

※ これ以降、この調査票が郵送された宛名の方を「あなた」とお呼びしますので、ご本人以外の方をご記入される場合は、ご本人の状況などについて、お答えください。

**あなた(宛名の方)の性別・年齢・ご家族などについてお聞きします。**

問 2 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1	男性	2	女性
---	----	---	----

問 3 年齢(8月1日現在)を記入してください。

\_\_\_\_\_ 歳

問 4 現在、あなたはどこで暮らしていますか。(○は1つ)

- |   |                       |
|---|-----------------------|
| 1 | 持ち家(分譲マンションを含む)       |
| 2 | 賃貸住宅(アパート、賃貸マンション、借家) |
| 3 | グループホーム、ケアホーム、福祉ホーム   |
| 4 | 福祉施設(障害者支援施設、高齢者支援施設) |
| 5 | 入院している                |
| 6 | その他( )                |

問 5 どなたと一緒に暮らしていますか。(○はいくつでも)

- |   |                 |    |            |
|---|-----------------|----|------------|
| 1 | 自分ひとりだけで暮らしている  | 6  | 祖父         |
| 2 | 配偶者(夫または妻)      | 7  | 祖母         |
| 3 | 子ども(子どもの配偶者も含む) | 8  | 兄弟、姉妹      |
| 4 | 父親              | 9  | その他の親せき    |
| 5 | 母親              | 10 | 福祉施設の職員や仲間 |
|   |                 | 11 | その他( )     |

**障害の状況などについてお聞きします。**

問6 次のうち、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 身体障害者手帳を持っている
- 2 愛の手帳(療育手帳)を持っている
- 3 精神障害者保健福祉手帳を持っている
- 4 高次脳機能障害と診断されたことがある
- 5 発達障害(自閉症、アスペルガー症候群、学習障害、注意欠陥多動性障害等)と診断されたことがある
- 6 1～5に、あてはまるものはない

問7 あなたは、介護保険の介護認定を受けていますか。受けている場合、あてはまる要介護度に○をつけてください。(○は1つ)

- 1 認定は受けていない
- 2 要支援1
- 3 要支援2
- 4 要介護1
- 5 要介護2
- 6 要介護3
- 7 要介護4
- 8 要介護5
- 9 わからない

問8 あなたは、難病者福祉手当や障害者支援の手当や年金を主にどのように利用していますか。(○は1つ)

- 1 将来のために蓄えている。(預貯金など)
- 2 日々の生活のために利用することが多い
- 3 年金や手当は受給していない

**介助・援助の状況についてお聞きします。**

問9 差支えなければ、特定医療費受給者証に記載されている難病名をご記入ください。

問10 難病治療のための通院頻度はどのくらいですか。(○は1つ)

- 1 週に1回以上
- 2 月に2～3回程度
- 3 月に1回程度
- 4 2ヶ月～6ヶ月に1回程度
- 5 6ヶ月～1年に1回程度

問11 あなたは、現在、次のような医療ケアを受けていますか。(○はいくつでも)

- 1 医療ケアは受けていない
- 2 気管切開
- 3 人工呼吸器(レスプレーター)
- 4 吸入
- 5 吸引
- 6 胃ろう・腸ろう
- 7 鼻腔経管栄養
- 8 中心静脈栄養(IVH)
- 9 透析
- 10 カテーテル留置
- 11 ストマ(人工肛門・人工膀胱)
- 12 服薬管理
- 13 その他( )

問12 あなたは、どのようなときに介助・援助を受けていますか。(○はいくつでも)

- 1 介助・援助は受けていない
- 2 食事をするとき(ご飯を食べるとき)
- 3 家事(調理、掃除、洗濯)をするとき
- 4 お風呂に入った時、身体を洗うとき
- 5 着替えをするとき
- 6 トイレの使用やオムツ交換するとき
- 7 家の中の移動をするとき
- 8 外出するとき
- 9 学校や職場、作業所などへの送り迎えのとき
- 10 服薬するとき
- 11 生活費などお金の管理
- 12 暮らしに必要な事務手続き
- 13 相手の話を知りたいときや自分の話を伝えたいとき
- 14 その他( )

問13 ふだん、あなたを主に介助・援助しているのはおなただですか。(○は1つ)

- 1 配偶者(夫、妻)
- 2 子ども、子どもの配偶者
- 3 父親
- 4 母親
- 5 祖父
- 6 祖母
- 7 兄弟、姉妹
- 8 その他の親せき
- 9 近所の人、友人・知人
- 10 ホームヘルパー等の在宅サービス事業者
- 11 その他( )

**外出や社会参加状況についてお聞きします。**

問 14 あなたは、どのくらい外出しますか。通所、通学、通勤、買い物、日常の散歩など、すべてを含めてお答えください。(○は1つ)

1 週に5日以上	3 週に1～2日	5 ほとんど外出しない
2 週に3～4日	4 月に2～3日	6 その他( )

問 15 あなたは、外出をするときに支援が必要ですか。(○は1つ)

1 ひとりで外出できる
2 いつも支援が必要
3 慣れた場所にはひとりで行けるが、それ以外は支援が必要
4 いつもはひとりで行けるが、調子が悪い場合は支援が必要
5 その他( )

問 16 外出の際に困っていることはありませんか。(○はいくつでも)

1 付き添ってくれる人がいない
2 他人との会話が難しい
3 他人の視線が気になる
4 必要ときに、まわりの人の手助け・配慮が足りない
5 歩道が狭く、道路に段差が多い
6 道路に放置自転車などの障害物が多く、歩きにくい
7 建物などに階段が多く、歩きにくい
8 車を駐車するところがない
9 気軽に利用できる移送手段が少ない(ハンディキャブ、福祉タクシー等)
10 電車やバスなどの交通機関が利用しづらい
11 障害者のトイレが少ない
12 その他( )
13 特に困っていることはない

問 17 あなたは、この1年くらいの間に、次のような活動をしましたか。(○はいくつでも)

1 スポーツやレクリエーション	7 講座や講演会などへの参加
2 旅行	8 地域の行事やお祭り
3 買い物	9 選挙の投票
4 ボランティア活動	10 その他( )
5 障害者団体の活動	11 特に何もしていない
6 趣味などのサークル活動	

問 18 選挙の投票の際、困ったことや改善してほしいことはありましたか。(自由記述)

問 19 スポーツ活動をした方は、どのようなスポーツ活動をしましたか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 卓球	5 ボウリング
2 バスケットボール	6 バドミントン
3 ポッチャ	7 水泳
4 ダンス	8 その他( )

**《問 17 で 1～10 のいずれかの活動をした人にお聞きします。》**

問 20 活動のために外出する際に「同行援護」「行動援護」「移動支援」等のヘルパーを利用していますか。(○は1つ)

1 ヘルパーを利用している	2 ヘルパーは利用していない	3 わかからない
---------------	----------------	----------

**《全員にお聞きします。》**

問 21 これからどのような活動をしたいと思えますか。(○はいくつでも)

1 スポーツやレクリエーション	7 講座や講演会などへの参加
2 旅行	8 地域の行事やお祭り
3 買い物	9 選挙の投票
4 ボランティア活動	10 その他( )
5 障害者団体の活動	11 特に活動したくない
6 趣味などのサークル活動	

問 22 問 21 のような活動をするために、どのような支援が必要だと思いますか。

(○はいくつでも)

- 1 活動についての情報が提供されること
- 2 一緒に行く仲間がいること
- 3 活動するための場所が近くにあること
- 4 移動支援など、外出のための手段が確保されていること
- 5 魅力的な内容であること
- 6 適切な指導者がいること
- 7 障害のある人に配慮した施設や設備があること
- 8 介助者・援助者がいること
- 9 その他 ( )
- 10 特にない

**日中の過ごし方についてお聞きします。**

問 23 あなたは、平日（月曜日～金曜日）の日を主にどのように過ごしていますか。

(○は1つ)

- 1 幼稚園や保育園、学校などに通っている
- 2 福祉施設、作業所などに通っている
- 3 病院などのデイケアに通っている
- 4 リハビリテーションを受けている
- 5 働いている
- 6 入所・入院している施設や病院などで過ごしている
- 7 自宅に多くのことが多い
- 8 その他 ( )

**雇用・就労などの状況についてお聞きします。**

問 24 現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。(○は1つ)

- 1 収入を伴う仕事をしている
- 2 収入を伴う仕事はしていない →問 29へおすすみください。

**《 次の問 25～問 28 は、収入を伴う仕事をしている方にお聞きします。》**

→問 25 どの程度の支援を受けて現在の仕事に就きましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |                    |           |
|--------------------|-----------|
| 1 支援は受けなかった        | 5 学校      |
| 2 ハローワーク           | 6 家族      |
| 3 障害者就労支援センター（一歩）  | 7 友人・知人   |
| 4 就労移行支援事業所（さくらの園） | 8 その他 ( ) |

問 26 仕事の形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 1 自営業（家業の手伝いを含む）   | 4 内職            |
| 2 会社・団体等の正期の職員     | 5 授産施設、または福祉作業所 |
| 3 アルバイト、臨時、パート、嘱託等 | 6 その他 ( )       |

問 27 あなたご自身の1ヶ月当たりの平均的な給与・賃金・工賃はいくらですか。

1ヶ月当たりの給与・賃金・工賃 → 約  円

問 28 仕事をすすんで困っていることは何ですか。(○はいくつでも)

- 1 給与・工賃などの収入が少くない
- 2 勤務時間、日数が多く体力的に不安
- 3 通勤が大変
- 4 業務内容が合わない
- 5 職場の人間関係
- 6 職場の設備が障害に対応してない
- 7 雑音・障害に対する職場の理解不足
- 8 職場外で相談相手がいない
- 9 その他 ( )
- 10 特に困っていることはない

《 次の問 29 は、収入を伴う仕事をしていない方にお聞きします。》

問 29 仕事をしていない主な理由は何ですか。(○は1つ)  
 1 仕事を必要がない(高齢だから、学生だから、専業主婦だから、などを含む)  
 2 現在、求職中である、または職業訓練中である  
 3 仕事をしたいとは思わない  
 4 仕事をしたいと思うが、できない  
 5 仕事を「したいか、したくないか」ではなく、「できない」  
 6 その他( )

《 全員にお聞きします。 》

問 30 あなたは、障害のある方の雇用を促進するために、市内で不足していると思われるサービスや取組みは何だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 就職や転職について相談を受けるサービス
- 2 就職や転職する上での生活上の問題について相談を受けるサービス
- 3 就職に関する情報発信サービス
- 4 就職に重点をおいた作業訓練や技術習得などの職業訓練
- 5 企業や官公庁などでの仕事を体験する機会の提供
- 6 就職するための書類作成の支援や面接練習等の支援
- 7 職種の拡大や近隣地域での就職先の確保
- 8 就職後の定期訪問等、安心して働き続けることのできるサポート
- 9 企業や地域における障害理解をすすめる支援
- 10 自立した生活を目的としたグループホームや一人暮らしに対する支援
- 11 仕事の日以外に利用できる余暇活動や交流の場
- 12 自ら起業することを希望する人への支援
- 13 その他( )
- 14 わからない

障害者施設、施策についてお聞きします。

問 31 あなたは、西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。(○は1つ)

- 1 利用している(利用したことがある)
- 2 知っているが、利用したことはない
- 3 知らない

問 32 あなたは、西東京市にある次の施設を利用したことがありますか。また、知っていますか。

利用したことがあ る(または現在、 利用している)	知っているが、利 用したことはない	知らない	
(それぞれの施設についてあてはまる番号に 1つずつ○をつけてください。)			
相談支援センター・えぼつく	1	2	3
障害者就労支援センター・一歩	1	2	3
地域活動支援センター・ハーモニー	1	2	3
保谷障害者福祉センター	1	2	3
地域活動支援センター・ブルーム	1	2	3

問 33 あなたは、次の講座や事業を知っていますか。(○はいくつでも)

1 サポーター養成講座	障害のある人へのちよっとしたお手伝いができるよう、市民サポーターを養成しています。障害者サポーターであることを示す「バンドナ」や「キーホルダー」を携帯しています。
2 ヘルプカード	障害のある人が携帯して、手助けが必要なときに周囲の人に示すカードです。
3 スポーツ支援事業	市スポーツセンターで、障害者スポーツ指導員や補助員がついて、スポーツレクリエーション活動を行っています。
4 障害者水泳教室	水慣れから始め、水中での感覚などの体験を旨指す水泳教室を、市スポーツセンターで行っています。
5 1～4の講座や事業等は知らない	

**相談や情報入手についてお聞きします。**

問 34 あなたは、悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親せき以外に、どのようなところに相談していますか。(〇はいくつでも)

1 市役所の福祉相談窓口	10 民生委員・児童委員
2 相談支援センター・えほつく	11 生活保護の担当職員
3 障害者就労支援センター・一歩	12 福祉施設や作業所の職員
4 地域活動支援センター・ハートモーター	13 幼稚園・保育園・学校の先生や職場の仲間
5 保谷障害者福祉センター	14 社会福祉協議会の職員
6 地域活動支援センター・ブルーム	15 障害者団体
7 病院、診療所	16 友人・知人
8 児童相談所	17 その他 ( )
9 保健師	
18 誰かに相談することはまれである	
19 相談できるところは特にない	

→問 35 相談できるところは特にないと回答した理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1 相談するほどでもない・必要がない	3 どこに相談したらよいか
2 相談したくないから	わからないから
4 その他 ( )	

問 36 あなたは、障害福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。(〇はいくつでも)

1 障害者のしおり (市が作成した冊子)	9 病院、診療所
2 市の広報紙 (広報テープを含む)	10 図書館の障害者向けサービス
3 都の広報紙 (広報テープを含む)	11 民生委員・児童委員
4 市のホームページ	12 家族、親せき
5 都のホームページ	13 友人、知人
6 テレビ、ラジオ、新聞	14 その他 ( )
7 障害者団体	15 わからない
8 学校、職場、施設	

**福祉サービスのことについてお聞きします。**

問 37 あなたは、次のような障害福祉サービスを、過去 1 年の間に利用したことがありますか。利用したことがあるサービスに〇をつけてください。(〇はいくつでも)

1 訪問系サービス	ヘルパーがホームヘルプや外出時の援助を行うサービスで、居宅介護(ホームヘルプ)、重度訪問介護、同行援護、行動援護、重度障害者等包括支援があります。
2 生活介護	常に介護が必要な方に、施設で入浴や排せつ、食事の介助や創作的活動などの機会を提供するサービスです。
3 自立訓練 (機能訓練、生活訓練)	自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定期間における身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を行うサービスです。
4 就労移行支援	通常の事業所で働きたい方に、一定の期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために訓練を行うサービスです。
5 就労継続支援 (A型、B型)	通常の事業所で働くことが困難な方に、就労の機会の提供や生活活動その他の活動の機会の提供、知識や能力の向上のための訓練を行うサービスです。
6 療養介護	医療が必要な方で、常に介護を必要とする方に、主に昼間病院等において機能訓練、養護上の管理、看護などを提供するサービスです。
7 短期入所 (ショートステイ)	在宅の障害者(児)を介護する方が病気の場合などに、障害者(児)が施設に短期入所し入浴、排せつ、食事などの介助を行うサービスです。
8 共同生活援助 (グループホーム)	夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行うサービスです。
9 施設入所支援	主として夜間、施設に入所する障害者(児)に対し、入浴、排せつ、食事の介護などの支援を行うサービスです。
10 相談支援	福祉に関する問題や介護者からの相談に応じて、必要な情報の提供や助言などを行うサービスです。
11 1～10のようなサービスは利用したことはない	

→ 11に〇をつけた方は問 41へおすすみください。

《 次の問 38 は、問 37 で 1～10 のいずれかの障害福祉サービスを利用したことがある人にお聞きします。 》

問 38 サービスに対する、感想やご意見があれば自由に記入ください。(自由記述)

※サービス名、利用の際に困っていること、サービス利用で改善してほしい点など。

問 39 あなたが、「十分利用できていない」と思う障害福祉サービスはどのサービスですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 必要なサービスを利用できている。 → 問 41へおすすみください。	
2 訪問系サービス	7 療養介護
3 生活介護	8 短期入所 (シヨートステイ)
4 自立訓練 (機能訓練、生活訓練)	9 共同生活援助 (グループホーム)
5 就労移行支援	10 施設入所支援
6 就労継続支援 (A型、B型)	11 相談支援

《 次の問 40 は、障害福祉サービスを十分利用できていない人にお聞きします。 》

問 40 必要だと思うサービスを、十分、利用できていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 自己負担が大きく、利用できないから
2 支給量が足りないから
3 通うのが大変だから
4 使いたいサービスの定員がいっぱいだから
5 サービス利用に予約が必要で、いつも予約がいっぱいだから
6 自分が利用したい時間や時期とあわないから
7 その他 ( )
8 わからない

《 全員にお聞きします。 》

問 41 今後、どのような障害福祉サービスを引き続き、あるいは新たに利用したいと思いませんか。(○はいくつでも)

1 訪問系サービス	7 短期入所 (シヨートステイ)
2 生活介護	8 共同生活援助 (グループホーム)
3 自立訓練 (機能訓練、生活訓練)	9 施設入所支援
4 就労移行支援	10 相談支援
5 就労継続支援 (A型、B型)	11 1～10の中に利用したいサービスはない
6 療養介護	

《 次の問 42 は、65歳以上の方にお聞きします。65歳未満の方は問 42へおすすみください。 》

問 42 あなたは、次のような介護保険のサービスを、過去1年の間に利用したことがありますか。(○はいくつでも)

1 介護保険のサービスは利用していない	4 短期入所 (シヨートステイ)
2 訪問介護 (ホームヘルパー)	5 その他 ( )
3 通所介護 (デイサービス)	

《 問 43 は、障害福祉サービス (問 37の「1」～「10」)のいずれか、

または介護保険サービス (問 42の「2」～「5」)のいずれかを

過去1年の間に利用した方にお聞きします。 》

問 43 現在、必要なサービス (障害福祉サービス、介護保険サービス) を受けることができますか。(○はいくつでも)

1 介護保険サービスを利用するようになって、それまでと変わりなく必要なサービスを受けられている
2 介護保険の要介護認定が低く判定され、決められたサービス支給量が少なくなった
3 介護保険のサービス量が十分でない場合でも、障害福祉サービスで上乗せしてもらえなかった
4 介護保険事業所では、障害特性などを十分理解した対応が受けられなくなった
5 今まで利用していた障害者支援施設を利用できなくなった
6 それまで無料で使えたサービスが1割負担となり、負担が大きくなった
7 その他 ( )

《 全員にお聞きします。 》

問 44 障害福祉サービスをより利用しやすくするためには、どのような情報提供や相談先が必要ですか。また、サービスを利用するためにあるとよい支援はどのようなものですか。(自由記述)

問 45 障害者総合支援法の改正により、新たに導入される次のようなサービスをおあなたは利用してみたいと思いますか。 ※平成 30 年 4 月から創設される予定の新しいサービスです。サービスの詳細は変更する可能性があります。

	必要になったら利用してみたい	利用したくない	わからない
①～③のサービスそれぞれについて、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。			
① 地域生活を支援する新たなサービス (自立生活援助)	1	2	3
② 就労定着に向けた支援を行う新たなサービス (就労定着支援)	1	2	3
③ 重度訪問介護の訪問先の拡大	1	2	3

**災害対策についてお聞きします。**

問 46 あなたは、お住まいの地域の避難所を知っていますか。(○は1つ)

1 知っている	2 知らない
---------	--------

問 47 福祉避難施設とは、自宅や避難施設で生活している高齢者や障害者の方等に対し、状況に応じて介護等の必要なサービスを提供する社会福祉施設等のことです。西東京市には障害者総合支援センター「フレンドリー」をはじめ、約 30 ヶ所の福祉避難施設があります。あなたは、西東京市にある福祉避難施設を知っていますか。(○は1つ)

1 福祉避難施設を知らない	2 福祉避難施設を知っているが、場所は知らない	3 福祉避難施設も場所も知っている
---------------	-------------------------	-------------------

問 48 あなたは、災害時要援護者登録を知っていますか。(○は1つ)

1 知らない	2 知っているが登録していない	3 登録している	4 その他( )
--------	-----------------	----------	----------

問 49 災害時に行政や地域などから支援を受けるため、あらかじめ個人情報(名前、住所、世帯の状況、障害の状況、障害の状況、緊急連絡先等)を市に提供することについて、どう思いますか。(○は1つ)

1 必要な情報なので、積極的に提供してよい	2 最小限の情報(名前、住所程度)ならかまわない	3 個人情報なので知らせたくない	4 その他( )	5 わからない
-----------------------	--------------------------	------------------	----------	---------

問 50 あなたは、地震や台風などの災害時にひとりで避難できますか。(○は1つ)

1 できる	2 できない	3 わからない
-------	--------	---------

問 51 地震や台風などの災害が起こった際の不安は何ですか。(○はいくつでも)

1 災害の状況が伝わってこない場合の不安	2 避難する際の不安	3 避難先での不安	4 その他( )	5 特になし	6 わからない
----------------------	------------	-----------	----------	--------	---------

問 52 災害に備えて、または災害時に、どのような対策が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1 避難しやすい避難所を整備する	2 避難訓練などに参加できるようにする	3 日頃から避難方法のアドバイスや情報提供を行う	4 緊急通報システムを整備する	5 地域で助け合える体制を整備する	6 災害時に障害者用設備(トイレ、ベッドなど)を配置する	7 災害時に人工透析や在宅酸素など生命安全・維持装置を確保する	8 災害時に視覚障害者や聴覚障害者に配慮した情報提供を行う	9 災害時に介助人などを確保する	10 災害時に手話通訳者、ガイドヘルパーなどを確保する	11 難病・障害に配慮した避難所の設置や福祉避難所を確保する	12 治療や服薬を継続できるための医療を確保する	13 入院や施設入所者の避難施設を確保する	14 その他( )	15 特になし
------------------	---------------------	--------------------------	-----------------	-------------------	------------------------------	---------------------------------	-------------------------------	------------------	-----------------------------	--------------------------------	--------------------------	-----------------------	-----------	---------

**将来の希望などについてお聞きします。**

問 53 あなたは、今後、どのように日中を過ごしたいと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 自宅でのんびり過ごしたい
- 2 一般企業などで働きたい
- 3 一般企業等での就労は難しいと思うが働きたいと思うので、施設内で就労したり、生産活動をしながら過ごしたい
- 4 施設や企業で作業や実習などを行い、職場探しや職場定着のための支援を受けたい
- 5 自立した日常生活ができるよう、一定期間、身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を受けたい
- 6 医療機関で、機能訓練、看護、介護、日常生活の世話などを受けながら過ごしたい
- 7 施設で、入浴、排せつ、食事の介護を受けながら、創作的活動などを行いたい
- 8 創作活動や社会との交流などを行ったりするところを過ごしたい
- 9 学校に通いたい
- 10 その他 ( )
- 11 わからない

問 54 あなたは、将来、どこで生活したいと思いますか。(○は1つ)

- 1 今の場所で生活したい
- 2 グループホームなどを利用したい
- 3 施設に入所して暮らしたい
- 4 一般の住宅で家族と一緒に生活したい
- 5 一般の住宅でひとり暮らしをしたい
- 6 その他 ( )

問 55 成年後見制度とは、知的障害や精神障害などの理由により、判断能力が十分でない方の財産などの権利を守る制度です。あなたは、成年後見制度について知っていますか。(○は1つ)

- 1 名前も内容も知らない
- 2 名前を聞いたことはあるが、内容は知らない
- 3 名前も内容も知っている

問 56 あなたは、成年後見制度を活用したいと思いますか。(○は1つ)

- 1 すでに活用している
- 2 今は必要ないが、将来必要になったら活用したい
- 3 活用したいとは思わない
- 4 わからない

**差別や人権侵害についてお聞きします。**

問 57 障害があることで、差別や人権侵害、虐待を受けていると感じることがありますか。(○は1つ)

- 1 ほとんど感じることはない
- 2 たまに感じる
- 3 いつも感じる
- 4 わからない

問 58 障害のある方々への差別をなくすることを目的として、平成28年4月1日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、このことを知っていますか。(○は1つ)

- 1 内容まで知っている
- 2 名前だけ知っている
- 3 知らない

問 59 障害や障害のある人に対する市民の理解は進んできていると思いますか。(○は1つ)

- 1 進んできている
- 2 まあ進んできている
- 3 どちらともいえない
- 4 進んできていない
- 5 わからない

問 60 難病・障害や障害のある市民への理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 難病・障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための啓発
- 2 難病・障害のある人に対してのボランティア活動やボランティア人材育成への支援
- 3 難病・障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進
- 4 学校における福祉教育の充実
- 5 難病・障害に関する講演会や学習会の開催
- 6 難病・障害のある人への福祉的な就労や生産活動の機会の提供
- 7 福祉施設の地域住民への開放や地域住民との交流の促進
- 8 難病・障害のある人の地域活動への参加機会の促進
- 9 その他 ( )
- 10 わからない

**最後に市の取組などについてお聞きします。**

問 61 今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 事故や疾病による障害の発生を予防するとともに、難病・障害を早期に発見し、早い段階での適切な対応（リハビリテーションや療育等）に努めること
- 2 難病・障害に対する理解を深めてもらうための交流を推進すること
- 3 難病・障害のある子どもたちの可能性を最大限に伸ばすような教育を進めること
- 4 難病・障害のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること
- 5 ホームヘルパーの派遣など在宅生活支援サービスを充実させること
- 6 利用できる施設を増やすこと
- 7 難病患者・障害者や高齢者にやさしい「福祉のまちづくり」を推進すること
- 8 難病・障害のある人が住みやすい住居を確保・整備すること
- 9 文化、スポーツ、レクリエーション活動に参加できるような支援すること
- 10 家族などの介護者の休息や負担軽減を支援すること
- 11 ボランティア活動を充実させること
- 12 障害者サービスや福祉に関する情報提供を充実させること
- 13 相談体制を充実させること
- 14 成年後見制度が利用しやすくなるように支援すること
- 15 その他（ ）
- 16 特になし

問 62 問 61 のような西東京市の障害者施策全般について、総合的に満足していますか。(〇は1つ)

- 1 満足している
- 2 やや満足
- 3 どちらでもない
- 4 やや不満
- 5 不満
- 6 わからない

問 63 約5年前（平成24年）と比べて、障害者のサービスはどのように変わったと思いますか。(〇は1つ)

- 1 良くなった
- 2 変わらな
- 3 悪くなった

問 64 そのようにお答えになったのは、どのような理由からですか。(自由記述)

次ページへ続きます

問 65 あなたは、今後も西東京市に住みつづけたいと思いますか。(〇は1つ)

- 1 住み続けたい
- 2 どちらかというに住み続けたい
- 3 どちらかというに住み続けたい
- 4 住み続けたくない

問 66 最後に、この調査を通じて、選択肢や自由記述欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、自由にお書きください。(自由記述)

ご協力ありがとうございました。  
同封の返信用封筒に入れて8月21日（月）までにご投函ください。

5 施設入所者調査票

# あなたの声をお聞かせください

## — 西東京市の障害福祉に関する調査へのご協力をお願い —

日頃より、西東京市の健康福祉行政の推進につきまして、ご理解ご協力をいただきまして、厚くお礼申し上げます。

現在、本市では平成 30 年度から始まる第 5 期障害福祉計画の策定を進めております。(現行の計画書は西東京市障害福祉課および情報公開コーナーでご閲覧できます。また、西東京市ホームページでも公開しています。)

計画の策定にあたっては、障害のある方々の日常生活の状況やサービスの利用状況をきちんと把握し、ご意見、ご要望などをお伺いしながら策定を進めていくことが重要であると考え、このたびアンケート調査を実施することとしました。

この調査票は、西東京市から施設入所支援の決定を受け、障害者支援施設に入所している方を対象としています。なお、調査は無記名であり、お答えいただいた内容につきましては、個人情報保護に万全を期すとともに、アンケート集計以外には使用しませんので、アンケートへのご協力を願います。

西東京市長 丸山 浩一

《 ご 記 入 に あ た っ て 》

- ご記入について
  - アンケート及び返信用封筒には、お名前を書く必要はありません。
  - お答えは、「1つだけ」選んでいただくものと、「いくつでも」選んでいただくもの、また、自由に記入いただくものがあります。
  - 答えたくない質問については、無理に答える必要はありません。
  - 平成 29 年 8 月 1 日現在の状況を記入してください。
- アンケートの返信について
  - ご記入いただきましたアンケートは、**8 月 21 日 (月) までに**、同封の返信用封筒に入れ、西東京市役所障害福祉課へご返送いただきますようお願いいたします。
- アンケートについてのお問い合わせ
 

西東京市役所 健康福祉部 障害福祉課 (保谷庁舎)  
担 当 : 飯島 (いいじま)  
電 話 : 042-464-1311 (代表) 内線 2341  
042-438-4033 (直通)

問 1 この用紙(調査票)に記入されるのはあなたですか。(○は1つ)

- 本人(この調査票が郵送された宛名の方)が記入、または本人が答え代筆者が記入
- 家族(本人の立場に立って記入)
- 施設や病院等の職員(本人の立場に立って記入)
- そのほかの方(本人の立場に立って記入)

※ これ以降、この調査票が郵送された宛名の方を「あなた」とお呼びしますので、ご本人以外の方がご記入される場合は、ご本人の状況などについて、お答えください。

### あなた(宛名の方)の性別・年齢・ご家族などについてお聞きます。

問 2 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1 男性  2 女性

問 3 年齢(8月1日現在)を記入してください。

歳

### 障害の状況などについてお聞きます。

問 4 次のうち、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 身体障害者手帳を持っている
- 要の手帳(療育手帳)を持っている
- 精神障害者保健福祉手帳を持っている
- 国または東京都が指定する難病医療費等助成対象疾病を患っている
- 高次脳機能障害と診断されたことがある
- 発達障害(自閉症、アスペルガー症候群、学習障害、注意欠陥多動性障害等)と診断されたことがある
- 1～6に、あてはまるものはない

**施設への入所についてお聞きします。**

問5 あなたが、現在の施設に入所してからの期間をお答えください。(○は1つ)

- 1 5年未満
- 2 5年～10年未満
- 3 10年～15年未満
- 4 15年～20年未満
- 5 20年以上

問6 あなたが、現在の施設へ入所することを決めた理由はなんですか。  
(○はいくつでも)

- 1 常時介助が必要のため
- 2 医療的ケアが必要のため
- 3 家族による介助がむずかしくなったため
- 4 在宅サービスが不十分だったため
- 5 住まいが障害に対応していないため
- 6 リハビリや訓練を受けるため
- 7 将来地域で自立するため
- 8 家族にすすめられたため
- 9 施設のほうが安心して暮らせるため
- 10 特に理由は無い
- 11 その他 ( )

**外出の状況についてお聞きします。**

問7 あなたは、どのくらい外出しますか。買い物、日常の散歩など、すべてを含めてお答えください。(○は1つ)

- 1 週に5日以上
- 2 週に3～4日
- 3 週に1～2日
- 4 月に2～3日
- 5 ほとんど外出しない
- 6 その他 ( )

問8 外出の際に困っていることはありますか。(○はいくつでも)

- 1 付き添ってくれる人がいない
- 2 他人との会話が難しい
- 3 他人の視線が気になる
- 4 必要ときに、まわりの人の手助け・配慮が足りない
- 5 歩道が狭く、道路に段差が多い
- 6 道路に放置自転車などの障害物が多く、歩みにくい
- 7 建物などに階段が多く、歩みにくい
- 8 車を駐車するところがない
- 9 気軽に利用できる移送手段が少ない(ハンディキャブ、福祉タクシー等)
- 10 電車やバスなどの交通機関が利用しづらい
- 11 障害者用のトイレが少ない
- 12 その他 ( )
- 13 特に困っていることはない

問9 あなたは、この1年くらいの間に、次のような活動をしましたか。(○はいくつでも)

1 スポーツやレクリエーション	7 講座や講演会などへの参加
2 旅行	8 地域の行事やお祭り
3 買い物	9 選挙の投票
4 ボランティア活動	10 その他 ( )
5 障害者団体の活動	11 特に何もしていない
6 趣味などのサークル活動	

↓ 問10 選挙の投票の際、困ったことや改善してほしいことはありましたか。(自由記述)

→ 問11 スポーツ活動をした方は、どのようなスポーツ活動をしましたか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 卓球	5 ボウリング
2 バスケットボール	6 バドミントン
3 ボッチャ	7 水泳
4 ダンス	8 その他 ( )

問12 これからどのような活動をしたいと思いますか。(○はいくつでも)

1 スポーツやレクリエーション	7 講座や講演会などへの参加
2 旅行	8 地域の行事やお祭り
3 買い物	9 選挙の投票
4 ボランティア活動	10 その他 ( )
5 障害者団体の活動	11 特に何もしていない
6 趣味などのサークル活動	

問13 問12のような活動をするために、どのような支援が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1 活動についての情報が提供されること
2 一緒に行く仲間がいること
3 活動するための場所が近くにあること
4 外出のための手段が確保されていること
5 魅力的な内容であること
6 適切な指導者がいること
7 障害のある人に配慮した施設や設備があること
8 介助者・援助者がいること
9 その他 ( )
10 特になし

**日中の過ごし方についてお聞きします。**

問14 あなたは、日中を主にどのようなように過ごしていますか。(○は1つ)

1 入所している施設で介護や看護を受けて過ごしている
2 入所している施設で作業や訓練をしている
3 ほかの施設にかよって介護や看護を受けて過ごしている
4 ほかの施設にかよって作業や訓練をしている
5 その他 ( )

**雇用・就労などの状況についてお聞きします。**

問15 現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。(○は1つ)

1 収入を伴う仕事をしている
2 収入を伴う仕事はしていない

→ 問16 今後、お金をもらう仕事をしたいと思いませんか。(○は1つ)

1 したいと思う
2 したいとは思わない、できない

**障害者施設、施策についてお聞きします。**

問 17 あなたは、西東京市にある次の施設を利用したことがありますか。また、知っていますか。

利用したことかある(または現在、利用している)	知っているが、利用したことはない	知らない	
相談支援センター・えぼっく	1	2	3
障害者就労支援センター・一歩	1	2	3
地域活動支援センター・ハーモニー	1	2	3
保谷障害者福祉センター	1	2	3
地域活動支援センター・ブルーム	1	2	3

問 18 あなたは、次の講座や事業等を知っていますか。(○はいくつでも)

1 サポーター養成講座 障害のある人へのちよっとしてお手伝いができるよう、市民サポーターを養成しています。障害者サポーターであることを示す「バンドナ」や「キーホルダー」を携帯しています。	
2 ヘルプカード 障害のある人が携帯して、手助けが必要ときに周囲の人に示すカードです。	
3 スポーツ支援事業 市スポーツセンターで、障害者スポーツ指導員や補助員がついて、スポーツレクリエーション活動を行っています。	
4 障害者水泳教室 水曜日から始め、水中での感覚などの体験を旨とする水泳教室を、市スポーツセンターで行っています。	
5 1～4の講座や事業等は知らない	

**情報入手についてお聞きします。**

問 19 あなたは、障害福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。(○はいくつでも)

1 障害者のしおり(市が作成した冊子)	9 病院、診療所
2 市の広報紙(広報テープを含む)	10 図書館の障害者向けサービス
3 都の広報紙(広報テープを含む)	11 民生委員・児童委員
4 市のホームページ	12 家族、親せき
5 都のホームページ	13 友人、知人
6 テレビ、ラジオ、新聞	14 その他( )
7 障害者団体	15 わからない
8 学校、職場、施設	

**将来の希望などについてお聞きします。**

問 20 あなたは将来、地域で生活したいと思いますか。(○は1つ)

1 今のまま施設で生活がしたい → 問 23へおすみください。
2 グループホームなどを利用したい
3 一般の住宅で家族といっしょに生活したい
4 一般の住宅でひとり暮らしをしたい
5 その他( )

問 21 退所後の生活を考えたときに、どのような不安がありますか。(○はいくつでも)

1 生活費のこと	9 日用品などの買い物のこと
2 仕事や職場の人間関係	10 現金や貯金通帳の管理のこと
3 住まいのこと	11 通院や外出のこと
4 病気のこと	12 服薬や健康管理のこと
5 家族や親せきのこと	13 相談相手のこと
6 隣近所との関係	14 自由時間(余暇)の過ごし方
7 毎日の食事のこと	15 その他( )
8 掃除や片づけ、洗濯のこと	

問 22 退所後に必要と思う支援がありましたら、自由にお書きください。(自由記述)

**《問 20で「今のまま施設で生活がしたい」と回答した方にお聞きします。》**

問 23 今のまま施設で生活がしたいと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 施設にいたほうが安心できるから
2 施設での生活が自分にあっているから
3 施設職員やほかの入所者との関係がうまくいっているから
4 健康面などで不安があるから
5 家族の受け入れ態勢が整っていないから
6 自宅の構造が障害に対応していないから
7 地域での十分な介助が受けられるか不安だから
8 地域での生活に魅力を感じないから
9 特に理由はない
10 その他( )

《 全員にお聞きします。 》

問 24 成年後見制度とは、知的障害や精神障害などの理由により、判断能力が十分でない方の財産などの権利を守る制度です。あなたは、成年後見制度について知っていますか。(○は1つ)

- 1 名前も内容も知らない
- 2 名前を聞いたことはあるが、内容は知らない
- 3 名前も内容も知っている

問 25 あなたは、成年後見制度を活用したいと思いますか。(○は1つ)

- 1 すでに活用している
- 2 今は必要ないが、将来必要になったら活用したい
- 3 活用したいとは思わない
- 4 わからない

差別や人権侵害についてお聞きします。

問 26 障害があることで、差別や人権侵害、虐待を受けていると感じることがありますか。(○は1つ)

- 1 ほとんど感じることはない
- 2 たまに感じる
- 3 いつも感じる
- 4 わからない

問 27 障害のある方々への差別をなくすことを目的として、平成28年4月1日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、このことを知っていますか。(○は1つ)

- 1 内容まで知っている
- 2 名前だけ知っている
- 3 知らない

問 28 障害や障害のある方々に対する市民の理解は進んできていると思いますか。(○は1つ)

- 1 進んできている
- 2 まあ進んできている
- 3 どちらともいえない
- 4 進んできていない
- 5 わからない

問 29 障害や障害のある市民への理解を深めるためには、何か必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための啓発
- 2 障害のある人に対してのボランティア活動やボランティア人材育成への支援
- 3 障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進
- 4 学校における福祉教育の充実
- 5 障害に関する講演会や学習会の開催
- 6 障害のある人への福祉的な就労や生産活動の機会の提供
- 7 福祉施設の地域住民への開放や地域住民との交流の促進
- 8 障害のある人の地域活動への参加機会の促進
- 9 その他 ( )
- 10 わからない

**最後に市の取組などについてお聞きします。**

問 30 今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

- |    |   |
|----|---|
| 1  | 事故や疾病による障害の発生を予防するとともに、障害を早期に発見し、早い段階での適切な対応（リハビリテーションや療育等）に努めること |
| 2  | 障害に対する理解を深めてもらうための交流を推進すること                                       |
| 3  | 障害のある子どもたちの可能性を最大限に伸ばすような教育を進めること                                 |
| 4  | 障害のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること  |
| 5  | ホームヘルパーの派遣など在宅生活支援サービスの充実させること                                    |
| 6  | 利用できる施設を増やすこと   |
| 7  | 障害者や高齢者にやさしい「福祉のまちづくり」を推進すること                                     |
| 8  | 障害のある人が住みやすい住居を確保・整備すること  |
| 9  | 文化、スポーツ、レクリエーション活動に参加できるよう支援すること                                  |
| 10 | 家族などの介護者の休息や負担軽減を支援すること   |
| 11 | ボランティア活動を充実させること  |
| 12 | 障害者サービスや福祉に関する情報提供を充実させること  |
| 13 | 相談体制を充実させること  |
| 14 | 成年後見制度が利用しやすくなるように支援すること  |
| 15 | その他（  |
| 16 | 特になし  |

次ページへ続きます。

問 31 あなたは、今後も西東京市に住みつづけたいと思いますか。(○は1つ)

- |   |                  |   |                |
|---|------------------|---|----------------|
| 1 | 住み続けたい           | 3 | どちらかというに住み続けたい |
| 2 | どちらかというに住み続けたくない | 4 | 住み続けたくない       |

問 32 最後に、この調査を通じて、選択肢や自由記述欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、自由にお書きください。(自由記述)

ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて8月21日(月)までにご投函ください。



**障害の状況などについてお聞きします。**

問6 次のうち、お子さまにあてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも) 手帳をお持ちの方は、等級・程度に○をつけてください。

- 1 身体障害者手帳を持っている → ( 1級・2級・3級・4級・5級・6級 )
- 2 愛の手帳(療育手帳)を持っている → ( 1度・2度・3度・4度 )
- 3 精神障害者保健福祉手帳を持っている → ( 1級・2級・3級 )
- 4 国または東京都が指定する難病医療費助成対象疾病を患っている
- 5 高次脳機能障害と診断されたことがある
- 6 発達障害(自閉症、アスペルガー症候群、学習障害、注意欠陥多動性障害等)と診断されたことがある
- 7 訪問看護などの医療的ケアを受けている
- 8 1～7に、あてはまるものはない

問7 お子さまの障害者支援の手当や年金を主にどのように利用していますか。(○は1つ)

- 1 将来のために蓄えている(預貯金など)
- 2 日々の生活や、本人のために利用することが多い
- 3 年金や手当は受給していない

**子育て等の状況についてお聞きします。**

問8 お子さまは、どのようなときに介助・援助を受けていますか。(○はいくつでも)

- 1 介助・援助は受けていない
- 2 食事をするとき(ご飯を食べるとき)
- 3 家事(調理、掃除、洗濯)をするとき
- 4 お風呂に入った時、身体を洗うとき
- 5 着替えをするとき
- 6 トイレの使用やオムツ交換するとき
- 7 家の中の移動をするとき
- 8 外出するとき
- 9 学校や職場、作業所などへの送り迎えのとき
- 10 服薬するとき
- 11 暮らしに必要な事務手続き
- 12 相手の話を知りたいときや自分の話を伝えたいとき
- 13 その他( )

問9 ふだん、お子さまを主に介助・援助しているのはどなたですか。お子さまからみた続柄でご回答ください。(○は1つ)

- 1 お父さん
- 2 お母さん
- 3 おじいさん
- 4 おばあさん
- 5 きょうだい、しまい
- 6 そのほかの親せき
- 7 近所の人、友だち・知り合い
- 8 ホームヘルパーなどの在宅サービス事業者
- 9 その他( )

**外出の状況についてお聞きします。**

問10 お子さまは、どのくらい外出しますか。通所、通学、通勤、買い物、日常の散歩など、すべてを含めてお答えください。(○は1つ)

- 1 週に5日以上
- 2 週に3～4日
- 3 週に1～2日
- 4 月に2～3日
- 5 ほとんど外出しない
- 6 その他( )

問11 お子さまが、外出の際に困っていると思われることはありますか。(○はいくつでも)

- 1 付き添ってくれる人がいない
- 2 他人との会話が難しい
- 3 他人の視線が気になる
- 4 必要ときに、まわりの人の手助け・配慮が足りない
- 5 歩道が狭く、道路に段差が多い
- 6 道路に放置自転車などの障害物が多く、歩みにくい
- 7 建物などに階段が多く、歩みにくい
- 8 車を駐車するところがない
- 9 気軽に利用できる移送手段が少ない(ハンディキャブ、福祉タクシー等)
- 10 電車やバスなどの交通機関が利用しづらい
- 11 障害者用のトイレが少ない
- 12 その他( )
- 13 特に困っていることはない

問12 お子さまは、この1年くらいの間に、次のような活動をしましたか。(○はいくつでも)

- 1 スポーツやレクリエーション
- 2 旅行
- 3 買い物
- 4 ボランティア活動
- 5 障害者団体の活動
- 6 趣味などのサークル活動
- 7 講座や講演会などへの参加
- 8 地域の行事やお祭り
- 9 その他( )
- 10 特に何もしてない

問13 スポーツ活動をした方は、どのようなスポーツ活動をしましたか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 卓球
- 2 バスケットボール
- 3 ボッチャ
- 4 ダンス
- 5 ボウリング
- 6 ハドミントン
- 7 水泳
- 8 その他( )

**《問12で1～9のいずれかの活動をした人にお聞きします。》**

問14 活動のために外出する際に「同行援護」「行動支援」「移動支援」等のヘルパーを利用していますか。(○は1つ)

- 1 ヘルパーを利用している
- 2 ヘルパーは利用していない
- 3 わからない

《 全員にお聞きします。 》

問 15 お子さまは、これからどのような活動をしたい（してほしい）と思いますか。  
 (〇はいくつでも)

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1 スポーツやレクリエーション | 6 趣味などのサークル活動  |
| 2 旅行            | 7 講座や講演会などへの参加 |
| 3 買い物           | 8 地域の行事やお祭り    |
| 4 ボランティア活動      | 9 その他 ( )      |
| 5 障害者団体の活動      | 10 特に活動したくない   |

問 16 問 15 のような活動をするために、どのような支援が必要だと思いますか。  
 (〇はいくつでも)

- |                             |
|-----------------------------|
| 1 活動についての情報が提供されること         |
| 2 一緒に行く仲間がいること              |
| 3 活動するための場所が近くにあること         |
| 4 移動支援など、外出のための手段が確保されていること |
| 5 魅力的な内容であること               |
| 6 適切な指導者がいること               |
| 7 障害のある人に配慮した施設や設備があること     |
| 8 介助者・援助者がいること              |
| 9 その他 ( )                   |
| 10 特にない                     |

日中の過ごし方についてお聞きします。

問 17 お子さまは、平日（月曜日～金曜日）の日中を主にどのように過ごしていますか。  
 (〇は1つ)

- |   |
|---|
| 1 幼稚園や保育園、学校などにかよっている ⇒ 問 18 へおすすみください。 |
| 2 児童発達支援にかよっている                         |
| 3 病院などのデイケアにかよっている                      |
| 4 リハビリテーションを受けている                       |
| 5 働いている                                 |
| 6 入所・入院している施設や病院などで過ごしている               |
| 7 自宅にすることが多い                            |
| 8 その他 ( )                               |

幼稚園や保育園、学校のことなどについてお聞きします。

《 問 18～問 24 は、幼稚園や保育園、学校などに通っている人にお聞きします。 》

問 18 お子さまが通っているのは次のうちどれですか。(〇は1つ)

- |  |
|--|
| 1 幼稚園、保育園                              |
| 2 小学校、中学校、高校 (通常の学級)                   |
| 3 小学校、中学校 (通常の学級のほか通級指導学級または特別支援教室を利用) |
| 4 小学校、中学校、高校 (固定制の特別支援学級)              |
| 5 小学校、中学校、高校 (特別支援学校)                  |
| 6 大学、専門学校                              |
| 7 その他 ( )                              |

問 19 幼稚園・学校などに通っていて困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

- |                        |                           |
|------------------------|---------------------------|
| 1 通うのがたいへん             | 6 友だちができない                |
| 2 トイレなどの施設が整っていない      | 7 通常の学級に入れてもらえない          |
| 3 介助体制が十分でない           | 8 医療的なケア (吸入・導尿等) が受けられない |
| 4 先生の理解や配慮が足りない        | 9 その他 ( )                 |
| 5 まわりの児童・生徒たちの理解が得られない | 10 特に困っていることはない           |

《 次の問 20 は、お子さまが小学生の方にお聞きします。 》

それ以外の方は、問 22 へおすすみください。 》

問 20 お子さま、またご家族 (介護やお世話をしている方) は、学童クラブを利用していますか。(〇は1つ)

- |          |                            |
|----------|----------------------------|
| 1 利用している | 2 利用していない → 問 22 へおすすみください |
|----------|----------------------------|
- 問 21 学童クラブの利用について、困ることはありますか。(〇はいくつでも)
- |                                 |
|---------------------------------|
| 1 終わりが遅くとも午後 6 時までと限られる         |
| 2 学校休業日は、始まりが午前 8 時 30 分からと限られる |
| 3 土曜日の利用には条件がある                 |
| 4 費用が高い                         |
| 5 その他 ( )                       |

問 22 お子さまは、放課後や長期休暇中（夏休み）など、幼稚園や保育園、学校などに行ける以外の時間は、どのように過ごしていますか。(○はいくつでも)

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| 1 家族といる       | 6 放課後等デイサービスに行く |
| 2 友だち、知り合いといる | 7 習い事や塾に行く      |
| 3 ひとりである      | 8 特になにもしてない     |
| 4 ヘルパーなどと外出する | 9 その他 ( )       |
| 5 学童クラブへ行く    |                 |

問 23 放課後や長期休暇中（夏休み）など、幼稚園や保育園、学校などに行ける以外の時間は、どのように過ごすことを希望していますか。(○はいくつでも)

- |                    |
|--------------------|
| 1 地域の同世代と遊びたい      |
| 2 学童クラブを利用したい      |
| 3 放課後等デイサービスを利用したい |
| 4 ショートステイを利用したい    |
| 5 習い事や塾に行きたい       |
| 6 特にない             |
| 7 その他 ( )          |

問 24 ご家族（介護やお世話をしている方）として、学校教育に望むことはどのようなことですか。(○はいくつでも)

- |                             |
|-----------------------------|
| 1 就学相談や進路相談など、相談体制を充実させてほしい |
| 2 能力や障害の状況に合った指導をしてほしい      |
| 3 施設、設備、教材を充実してほしい          |
| 4 個別指導を充実してほしい              |
| 5 通常の学級との交流の機会を増やしてほしい      |
| 6 障害の状況にかかわらず通常の学級で受け入れてほしい |
| 7 その他 ( )                   |
| 8 特に望むことはない                 |

**雇用・就労などの状況についてお聞きします。**

《 全員にお聞きします。 》

問 25 ご家族（介護やお世話をしている方）として、お子さまが今後社会に出たときに、働くためにはどのような環境が整っていることが大切だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1 自分の家の近くに働く場があること                    |
| 2 自分の家の中で、通勤することなく働けること               |
| 3 健康状態にあわせた働き方ができること                  |
| 4 障害のある人に適した仕事が開発されること                |
| 5 就労の場をあっせんしたり、相談できる場が整っていること         |
| 6 職業訓練など、技能・知識の習得を援助する施設が充実していること     |
| 7 民間企業がもっと積極的に雇用すること                  |
| 8 自ら起業することを希望する人への支援を充実させること          |
| 9 事業主や職場の人たちが、障害者雇用について十分理解していること     |
| 10 職場の施設や設備が障害のある人にも利用できるように配慮されていること |
| 11 介助者と一緒に働けること                       |
| 12 同じような障害のある仲間と一緒に、あるいは交替で働けること      |
| 13 トライアル雇用やジョブコーチの派遣など雇用を支援する仕組みがあること |
| 14 その他 ( )                            |
| 15 わからない                              |

**障害者施設、施策についてお聞きします。**

問 26 お子さま、またはご家族（介護やお世話をしている方）は、西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。（○は1つ）

1	利用している（利用したことがある）
2	知っているが、利用したことはない
3	知らない

問 27 お子さま、またはご家族（介護やお世話をしている方）は、西東京市にある次の施設を利用したことがありますか。また、知っていますか。

（それぞれの施設についてあてはまる番号に1つずつ○をつけてください）	利用したことある （または現在、 利用している）	知っているが、利 用したことはない	知らない
相談支援センター・えぼつく	1	2	3
障害者就労支援センター・一歩	1	2	3
地域活動支援センター・ハーモニー	1	2	3
保谷障害者福祉センター	1	2	3
地域活動支援センター・ブルーム	1	2	3

問 28 お子さま、またはご家族（介護やお世話をしている方）は、次の講座や事業等を知っていますか。（○はいくつでも）

1	サポーター養成講座	障害のある人へのちよっとしたお手伝いができるよう、市民サポーターを養成しています。障害サポーターであることを示す「バンダナ」や「キーホルダー」を携帯しています。
2	ヘルプカード	障害のある人が携帯して、手助けが必要なときに周囲の人に示すカードです。
3	スポーツ支援事業	市スポーツセンターで、障害者スポーツ指導員や補助員がついて、スポーツレクリエーション活動を行っています。
4	障害者水泳教室	水慣れから始め、水中での感覚などの体験を目指す水泳教室を、市スポーツセンターで行っています。
5	1～4の講座や事業等は知らない	

**相談や情報入手についてお聞きします。**

問 29 お子さま、またはご家族（介護やお世話をしている方）は、悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親せき以外に、どのようなところに相談していますか。（○はいくつでも）

1	市役所の福祉相談窓口	10	民生委員・児童委員
2	相談支援センター・えぼつく	11	生活保護の担当職員
3	障害者就労支援センター・一歩	12	福祉施設や作業所の職員
4	地域活動支援センター・ハーモニー	13	幼稚園・保育園・学校の先生や職場の仲間
5	保谷障害者福祉センター	14	社会福祉協議会の職員
6	地域活動支援センター・ブルーム	15	障害者団体
7	病院・診療所	16	友人・知人
8	児童相談所	17	その他（ ）
9	保健師		
18	誰かに相談することはまれである		
19	相談できるところは特にはない		

問 30 相談できるところは特にはないと回答した理由は何ですか。（○はいくつでも）

1	相談するほどでもない・必要がない	3	どこに相談したらよいか
2	相談したくないから	4	わからないから
			その他（ ）

問 31 お子さま、またはご家族（介護やお世話をしている方）は、障害福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。（○はいくつでも）

1	障害者のしおり（市が作成した冊子）	9	病院、診療所
2	市の広報紙（広報テープを含む）	10	図書館の障害者向けサービス
3	都の広報紙（広報テープを含む）	11	民生委員・児童委員
4	市のホームページ	12	家族、親せき
5	都のホームページ	13	友だち、知り合い
6	テレビ、ラジオ、新聞	14	その他（ ）
7	障害者団体	15	わからない
8	学校、職場、施設		

問 32 ご家族（介護やお世話をしている方）は、障害福祉サービスを利用するときになかたに相談しましたか。（○はいくつでも）

- |    |                     |
|----|---------------------|
| 1  | 市役所の福祉相談窓口          |
| 2  | 相談支援センター・えぼっく       |
| 3  | 障害者就労支援センター・一歩      |
| 4  | 地域活動支援センター・ハーモニー    |
| 5  | 保谷障害者福祉センター         |
| 6  | 地域活動支援センター・ブルーム     |
| 7  | 病院・診療所              |
| 8  | 児童相談所               |
| 9  | 保健師                 |
| 10 | 民生委員・児童委員           |
| 11 | 生活保護の担当職員           |
| 12 | 福祉施設や作業所の職員         |
| 13 | 幼稚園・保育園・学校の先生や職場の仲間 |
| 14 | 社会福祉協議会の職員          |
| 15 | 障害者団体               |
| 16 | 友人・知人               |
| 17 | その他（ ）              |
| 18 | 誰にも相談していない          |

**福祉サービスのことについてお聞きします。**

問 33 お子さま、またご家族（介護やお世話をしている方）は、次のような障害福祉サービスを過去1年の間に利用したことがありますか。利用したことがあるサービスに○をつけてください。（○はいくつでも）

1	訪問系サービス ヘルパーがホームヘルプや外出時の援助を行うサービスで、居宅介護（ホームヘルプ）、重度訪問介護、同行援護、行動援護、重度障害者等包括支援があります。
2	短期入所（ショートステイ） 在宅の障害者（児）を介護する方が病気の場合などに、障害者（児）が施設に短期間入所し入浴、排せつ、食事などの介助を行うサービスです。
3	相談支援 福祉に関する問題や介護者からの相談に応じて、必要な情報の提供や助言などを行うサービスです。
4	児童発達支援 日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援を行うサービスです。医療を伴う医療型児童発達支援もあります。
<b>【児童発達支援を利用した方にお聞きします】</b>	
児童発達支援において作成される「個別支援計画」は、保育園にも共有されていると思いますか。（○は1つ）	
1	共有されている
2	共有されていない
3	わからない
4	保育園は利用していない
5	放課後等デイサービス 学校の授業終了後や学校の休校日に、児童発達支援センター等の施設に通い生活能力向上のために必要な訓練や、社会との交流の促進などの支援を行うサービスです。
6	保育所等訪問支援 保育所等を訪問し、障害児に対して、障害児以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援などを行うサービスです。
7	1～6のようないずれかのサービスは利用したことはない

→ 7に○をつけた方は問 37へおすすみください。

《 次の問 34 は、問 33 で 1～6のいずれかのサービスを利用したことがある人にお聞きします。》

問 34 サービスに対する、感想やご意見があれば自由にご記入ください。（自由記述）

※サービス名、利用の際に困っていること、サービス利用で改善してほしい点など。

問 35 お子さま、またご家族（介護やお世話をしている方）が、「十分利用できていない」と思うサービスはどのサービスですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

1 必要なサービスを利用できている	→ 問 37へおすすみください。
2 訪問系サービス	5 児童発達支援
3 短期入所（ショートステイ）	6 放課後等デイサービス
4 相談支援	7 保育所等訪問支援

《 次の問 36 は、サービスを十分利用できていない人にお聞きします。 》

問 36 必要だと思うサービスを、十分、利用できていない理由は何ですか。（○はいくつでも）

1 自己負担が大きく、利用できないから
2 支給量が足りないから
3 通うのが大変だから
4 使いたいサービスの定員がいっぱいだから
5 サービス利用に予約が必要で、いつも予約がいっぱいだから
6 お子さまが利用したい時間や時期とあわないから
7 その他（ ）
8 わからない

《 全員にお聞きします。 》

問 37 お子さま、またご家族（介護やお世話をしている方）は、今後、どのようなサービスを引き続き、あるいは新たに利用したいと思いますか。（○はいくつでも）

1 訪問系サービス	5 放課後等デイサービス
2 短期入所（ショートステイ）	6 保育所等訪問支援
3 相談支援	7 1～6の中に利用したいサービスはない
4 児童発達支援	

問 38 お子さま、またご家族（介護やお世話をしている方）は、どのような情報提供や相談が必要ですか。また、サービスを利用するためにあるとよい支援はどのようなのですか。（自由記述）

問 39 障害者総合支援法の改正により、新たに導入される次のようなサービスをお子さま、またご家族（介護やお世話をしている方）は、利用してみたいと思いますか。 ※平成30年4月から創設される予定の新しいサービスです。サービスの詳細は変更する可能性があります。

①～③のサービスそれぞれについて、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。	必要になつたら利用してみたい	利用したくない	わからない
①居宅訪問により児童発達支援を提供するサービス（訪問型児童発達支援） 重度の障害などがあり、障害児通所支援を利用するために外出することがとても難しい障害児に対して、そのお宅を訪問して発達支援を行います。	1	2	3
②地域生活を支援する新たなサービス（自立生活援助） グループホームなどを利用していた方が、ひとり暮らしを始めるときに、そのお宅を定期的に訪問し、ふだんの生活に何が問題が起きていないかなどを確認し、必要な助言や医療機関などの連絡調整を行います。	1	2	3
③就労定着に向けた支援を行う新たなサービス（就労定着支援） 一般就労した障害のある方で、環境の変化などにより心身の問題が起きている方に対して、相談を受け必要な助言をしたり、会社や関係機関などとの連絡調整を行います。	1	2	3

**災害対策についてお聞きします。**

問 40 お子さま、またご家族（介護やお世話をしている方）は、お住まいの地域の避難所を知っていますか。（○は1つ）

- 1 知っている ..... 2 知らない

問 41 福祉避難施設とは、自宅や避難施設で生活している高齢者や障害者の方等に対し、状況に応じて介護等の必要なサービスを提供する社会福祉施設等のことです。西東京市には障害者総合支援センター「フレンドリー」をはじめ、約 30 ケ所の福祉避難施設があります。あなたは、西東京市にある福祉避難施設を知っていますか。（○は1つ）

- 1 福祉避難施設を知らない  
2 福祉避難施設を知っているが、場所は知らない  
3 福祉避難施設も場所も知っている

問 42 お子さま、またご家族（介護やお世話をしている方）は、災害時要援護者登録を知っていますか。（○は1つ）

- 1 知らない ..... 3 登録している  
2 知っているが登録していない ..... 4 その他（ ）

問 43 災害時に行政や地域などから支援を受けるため、あらかじめ個人情報（名前、住所、世帯の状況、障害の状況、緊急連絡先等）を市に提供することについて、どう思いますか。（○は1つ）

- 1 必要な情報なので、積極的に提供してよい  
2 最小限の情報（名前、住所程度）ならかまわない  
3 個人情報なので知らせたくない  
4 その他（ ）  
5 わからない

問 44 お子さまは、地震や台風などの災害時にひとりで避難できますか。（○は1つ）

- 1 できる ..... 2 できない ..... 3 わからない

問 45 地震や台風などの災害が起こった際に、お子さま、またご家族（介護やお世話をしている方）の不安は何ですか。（○はいくつでも）

- 1 災害の状況が伝わってこない場合の不安  
2 避難する際の不安  
3 避難先での不安  
4 その他（ ）  
5 特にない  
6 わからない

問 46 災害に備えて、または災害時に、どのような対策が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

- 1 避難しやすい避難所を整備する  
2 避難訓練などに参加できるようにする  
3 日頃から避難方法のアドバイスや情報提供を行う  
4 緊急通報システムを整備する  
5 地域で助け合える体制を整備する  
6 その他（ ）  
7 特にない



**最後に市の取組などについてお聞きします。**

問 54 今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。(〇はいくつでも)

- |    |   |
|----|---|
| 1  | 事故や疾病による障害の発生を予防するとともに、障害を早期に発見し、早い段階での適切な対応（リハビリテーションや療育等）に努めること |
| 2  | 障害に対する理解を深めてもらうための交流を推進すること                                       |
| 3  | 障害のある子どもたちの可能性を最大限に伸ばすような教育を進めること                                 |
| 4  | 障害のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること  |
| 5  | ホームヘルパーの派遣など在宅生活支援サービスを充実させること                                    |
| 6  | 利用できる施設を増やすこと   |
| 7  | 障害者や高齢者にやさしい「福祉のまちづくり」を推進すること                                     |
| 8  | 障害のある人が住みやすい住居を確保・整備すること  |
| 9  | 文化、スポーツ、レクリエーション活動に参加できるような支援すること                                 |
| 10 | 家族などの介護者の休息や負担軽減を支援すること   |
| 11 | ボランティア活動を充実させること  |
| 12 | 障害者サービスや福祉に関する情報提供を充実させること  |
| 13 | 相談体制を充実させること  |
| 14 | 成年後見制度が利用しやすくなるように支援すること  |
| 15 | その他（  |
| 16 | 特になし  |

問 55 問 54 のような西東京市の障害者施策全般について、総合的に満足していますか。(〇は1つ)

- |   |        |   |         |   |       |
|---|--------|---|---------|---|-------|
| 1 | 満足している | 3 | どちらでもない | 5 | 不満    |
| 2 | やや満足   | 4 | やや不満    | 6 | わからない |

問 56 約5年前（平成24年）と比べて、障害者のサービスはどのように変わったと思いますか。(〇は1つ)

- |   |       |   |       |   |       |
|---|-------|---|-------|---|-------|
| 1 | 良くなった | 2 | 変わらない | 3 | 悪くなった |
|---|-------|---|-------|---|-------|

問 57 そのようにお答えになったのは、どのような理由からですか。(自由記述)

次ページへ続きます。

問 58 お子さま、またはご家族（介護やお世話をしている方）は、今後も西東京市に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

- |   |                  |   |                |
|---|------------------|---|----------------|
| 1 | 住み続けたい           | 3 | どちらかというに住み続けたい |
| 2 | どちらかというに住み続けたくない | 4 | 住み続けたくない       |

問 59 最後に、この調査を通じて、選択肢や自由記述欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、自由にお書きください。(自由記述)

ご協力ありがとうございました。  
同封の返信用封筒に入れて8月21日（月）までにご投函ください。

7 特別支援教室・通級指導学級調査票

※ この調査票は、お子さまのご家族等（お世話等をしている方）が、ご本人の状況などについてお考えをお答えください。

一部、お子さま自身の考えをお聞きする質問があります。

問1 この用紙（調査票）に記入されるのはどなたですか。（○は1つ）

- 1 家族
- 2 施設や病院等の職員
- 3 そのほかの方

**お子さまの性別・年齢などについてお聞きします。**

問2 お子さまの性別をお答えください。（○は1つ）

- 1 男性
- 2 女性

問3 お子さまの年齢（8月1日現在）を記入してください。

\_\_\_\_\_  
歳

問4 お子さまが特別支援教室（L教室・S教室）、通級指導学級に通うようになった主なきっかけをお答えください。（○は1つ）

- 1 学校の先生にすすめられた
- 2 自分（保護者等）から学校に相談した
- 3 入学前にすすめられた（相談機関・保育園、幼稚園等・その他）
- 4 その他（ ）

問5 次のうち、お子さまにあてはまるものに○をつけてください。（○はいくつでも）

- 1 身体障害者手帳を持っている
- 2 愛の手帳（療育手帳）を持っている
- 3 精神障害者保健福祉手帳を持っている
- 4 国または東京都が指定する難病医療費等助成対象疾病を患っている
- 5 高次脳機能障害と診断されたことがある
- 6 発達障害（自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害等）と診断されたことがある
- 7 1～6にあてはまるものはない

**あなたの声をお聞かせください**

— 西東京市の障害者福祉に関する調査へのご協力をお願い —

日頃より西東京市の健康福祉行政の推進に対しご理解ご協力をいただきまして、厚くお礼申し上げます。

現在、本市では平成30年度から始まる、児童福祉法が定める第1期障害児福祉計画について、第5期障害福祉計画と一体的な策定を進めております。（第4期障害福祉計画は西東京市障害福祉課および情報公開コーナーで閲覧できます。）

計画の策定にあたっては、支援を必要とされる方々や特別な配慮が必要な方々の日常生活の状況やサービスの利用状況をきちんと把握し、ご意見・ご要望などをお伺いしながら策定を進めていくことが重要であると考え、このたびアンケート調査を実施することといたしました。

この調査は、**障害の有無にかかわらず、特別支援教育を受けているお子様の保護者の方々を対象**としています。なお、調査は無記名であり、お答えいただいた内容につきましては、秘密の保護に万全を期すとともに、アンケート集計以外には使用しませんので、アンケートへのご協力をお願いいたします。

西東京市長 丸山 浩一

《ご記入にあたって》

- 1 ご記入について
  - ・ アンケート及び返信用封筒には、お名前を書く必要はありません。
  - ・ お答えは、「1つだけ」選んでいただくものと、「いくつでも」選んでいただくもの、また、自由にご記入いただくものがあります。
  - ・ 答えたくない質問については、無理に答える必要はありません。
  - ・ 平成29年8月1日現在の状況を記入してください。
- 2 アンケートの返信について
  - ・ ご記入いただきましたアンケートは、**9月30日（土）までに、同封の返信用封筒（切手不要）**に入れ、西東京市役所障害福祉課へご返送いただきますようお願いいたします。
- 3 アンケートについてのお問い合わせ
  - 西東京市役所 健康福祉部 障害福祉課（保谷庁舎）
  - 担当：飯島（いいじま）
  - 電話：042-464-1311(代表) 内線2341 または 042-438-4033(直通)
  - FAX：042-423-4321

**外出の状況についてお聞きします。**

問6 お子さまが、外出の際に困っていると思われることはありませんか。(○はいくつでも)

1	付き添ってくれる人がいない
2	他人との会話が難しい
3	他人の視線が気になる
4	必要なときに、まわりの人の手助け・配慮が足りない
5	電車やバスなどの交通機関が利用しづらい
6	その他 ( )
7	特に困っていることはない

**学校のことなどについてお聞きします。**

問7 学校生活の中で、お子さんが困っていると思われることはありませんか。(○はいくつでも)

1	特別支援教室(L教室・S教室)、通級指導学級まで通うのがたいへん
2	授業の内容がわからない、授業についていけない
3	支援体制が十分でない
4	先生の理解や配慮が足りない
5	まわりの児童・生徒たちの理解が得られない
6	友だちができない
7	放課後や長期休暇(夏休みなど)の際の居場所がない
8	その他 ( )
9	特に困っていることはない

問8 ご家族等(お世話をしている方)として、学校教育に望むこととはどのようなことですか。(○はいくつでも)

1	子どもの勉強や学校生活、将来のことについて、相談のってほしい
2	子ども一人ひとりに合った教え方や指導をしてほしい
3	学校の中や教科書、教材を使いやすくしてほしい
4	学校中の表示などを、誰でもわかりやすいものにしてほしい
5	その他 ( )
6	特に望むことはない

問9 お子さまは、学童クラブを利用していますか。(○はい1つ)

1	利用している
2	利用していない → 問11へおすすみください

問10 学童クラブの利用について、困ることはありますか。(○はいくつでも)

1	終わりが遅くとも午後6時までと限られる
2	学校休業日は、始まりが午前8時30分前から限られる
3	土曜日の利用には条件がある
4	費用が高い
5	その他 ( )

**障害者施設、施策についてお聞きします。**

問 11 ご家族等（お世話等をしている方）は、西東京市の障害者総合支援センター「フレンジー」を知っていますか。(○は1つ)

1	利用している（利用したことがある）
2	知っているが、利用したことはない
3	知らない

問 12 お子さま、またはご家族等（お世話等をしている方）は、西東京市にある次の施設を知っていますか。また、利用したことがありますか。

（それぞれの施設についてあてはまる番号に1つずつ○をつけてください）	利用したことがある（または現在、利用している）	知っているが、利用したことはない	知らない
相談支援センター・えぼつく	1	2	3
障害者就労支援センター・一歩	1	2	3
地域活動支援センター・ハーモニー	1	2	3
保谷障害者福祉センター	1	2	3
地域活動支援センター・ブルーム	1	2	3

問 13 お子さま、またはご家族等（お世話等をしている方）は、次の講座や事業等を知っていますか。(○はいくつでも)

1	サポーター養成講座 障害のある人へのちよっとしてお手伝いができるよう、市民サポーターを養成しています。障害者サポーターであることを示す「バンダナ」や「キーホルダー」を携帯しています。
2	ヘルプカード 障害のある人が携帯して、手助けが必要なときに周囲の人に示すカードです。
3	スポーツ支援事業 市スポーツセンターで、障害者スポーツ指導員や補助員がついて、スポーツレクリエーション活動を行っています。
4	障害者水泳教室 水慣れから始め、水中での感覚などの体感を目指す水泳教室を、市スポーツセンターで行っています。
5	1～4の講座や事業等は知らない

**相談や情報入手についてお聞きします。**

問 14 ご家族等（お世話等をしている方）は、お子さまの子育て等の悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親せき以外に、どのようなところへ相談していますか。(○はいくつでも)

1	学校の先生	9	保健センター（保健師など）
2	教育相談	10	民生委員・児童委員
3	こどもの発達センター・ひいらぎ	11	社会福祉協議会の職員
4	子ども家庭支援センター・のどか	12	家族会や障害者団体
5	市役所の福祉相談窓口	13	友人・知人
6	相談支援センター・えぼつく	14	その他（ ）
7	病院・診療所	15	相談できるところは持たない
8	児童相談所	16	誰かに相談することはまれである

問 15 ご家族等（お世話等をしている方）は、お子さまの子育て等の悩みごとや心配ごとを、家族や親せき以外に、どのようなところへ相談したいですか。また、相談するために、どのような体制が整っているとよいと思いますか。(自由記述)

問 16 ご家族等（お世話等をしている方）は、福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。(○はいくつでも)

1	市の広報紙（広報テープを含む）	9	図書館
2	都の広報紙（広報テープを含む）	10	民生委員・児童委員
3	市のホームページ	11	家族会や障害者団体
4	都のホームページ	12	家族、親せき
5	障害者のしおり（市が作成した冊子）	13	友人、知人
6	テレビ、ラジオ、新聞	14	その他（ ）
7	学校	15	得ていない
8	病院、診療所		

**福祉サービスについてお聞きします。**

問17 お子さま、またはご家族等（お世話等をしている方）は、今までに次のサービス等を利用したことがありますか。利用したことがあるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- |   |                             |
|---|-----------------------------|
| 1 | こどもの発達センター・ひいらぎ             |
| 2 | 放課後等デイサービス                  |
| 3 | ホームヘルプサービス                  |
| 4 | 短期入所（ショートステイ）               |
| 5 | 移動支援（ヘルパーの派遣）               |
| 6 | 生活サポート（日常生活に関する支援、家事に対する支援） |
| 7 | 日中一時支援（介助者不在時の一時的な活動場所の確保）  |
| 8 | その他（                        |
| 9 | 利用したことがない                   |

**《問18、問19は、問17で1～8のいずれかのサービスを利用したことがある人にお聞きします。》**

問18 サービスに対する、感想やご意見があれば自由にご記入ください。（自由記述）  
※サービス名、利用の際に困っていること、サービス利用で改善してほしい点など。

問19 お子さま、またはご家族等（お世話等をしている方）が、「十分利用できていない」と思うサービスはどのサービスですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- |   |                             |
|---|-----------------------------|
| 1 | 放課後等デイサービス                  |
| 2 | ホームヘルプサービス                  |
| 3 | 短期入所（ショートステイ）               |
| 4 | 移動支援（ヘルパーの派遣）               |
| 5 | 生活サポート（日常生活に関する支援、家事に対する支援） |
| 6 | 日中一時支援（介助者不在時の一時的な活動場所の確保）  |
| 7 | 必要なサービスは利用できている             |
| 8 | 利用したことがない                   |

**《全員にお聞きします。》**

問20 お子さま、またはご家族等（お世話等をしている方）は、次のサービス等の中で、今後引き続き利用したい、あるいは今後利用したいと思うサービスはありますか。利用したいものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- |   |                             |
|---|-----------------------------|
| 1 | 放課後等デイサービス                  |
| 2 | ホームヘルプサービス                  |
| 3 | 短期入所（ショートステイ）               |
| 4 | 移動支援（ヘルパーの派遣）               |
| 5 | 生活サポート（日常生活に関する支援、家事に対する支援） |
| 6 | 日中一時支援（介助者不在時の一時的な活動場所の確保）  |
| 7 | その他（                        |
| 8 | 1～6の中に利用したいサービスははい          |

問21 お子さま、またはご家族等（お世話等をしている方）は、今後どのようなサービスを実施させてほしいと思いますか。（○はいくつでも）

- |   |  |
|---|--|
| 1 | 子育てについての相談支援機関                               |
| 2 | 子どもを預けられる場所                                  |
| 3 | 療育機関   |
| 4 | 発達障害専門の医療機関                                  |
| 5 | 発達障害に関する専門の相談機関                              |
| 6 | コミュニケーション等の日常生活のスキルを身につけるためのペアレント・トレーニング等の支援 |
| 7 | 親がより適切な子育ての方法を身につけるためのペアレント・トレーニング等の支援       |
| 8 | その他（   |

問22 お子さま、またはご家族等（お世話等をしている方）が、サービスをより利用しやすくするためには、どのような情報提供や相談先が必要ですか。また、サービスを利用するためにあるとよい支援はどのようなものですか。（自由記述）

**災害対策についてお聞きします。**

問 23 お子さま、またはご家族等（お世話をしている方）は、お住まいの地域の避難所を知っていますか。（○は1つ）

1 知っている	2 知らない
---------	--------

問 24 ご家族等（お世話をしている方）は、災害時要援護者登録を知っていますか。（○は1つ）

1 知らない	3 登録している
2 知っているが登録していない	4 その他（ ）

問 25 お子さまは、地震や台風などの災害時にひとりで避難できますか。（○は1つ）

1 できる	2 できない	3 わからない
-------	--------	---------

問 26 地震や台風などの災害が起こった際に、お子さまやご家族等（お世話をしている方）が不安に感じていることは何ですか。（○はいくつでも）

1 災害の状況が伝わってこない場合の不安
2 避難する際の不安
3 避難先での不安
4 その他（ ）
5 特になし
6 わからない

問 27 災害に備えて、または災害時に、どのような対策が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

1 避難しやすい避難所を整備する
2 避難訓練などに参加できるようにする
3 日頃から避難方法のアドバイスや情報提供を行う
4 緊急通報システムを整備する
5 地域で助け合える体制を整備する
6 その他（ ）
7 特になし

**差別や人権侵害についてお聞きします。**

問 28 お子さま、またはご家族等（お世話をしている方）は、お子さまの状態や言動で差別や人権侵害を受けていると感じることがありますか。（○は1つ）

1 ほとんど感じることはない	3 いつも感じる
2 たまに感じる	4 わからない

問 29 お子さま、またはご家族等（お世話をしている方）は、障害や障害のある方々に対する市民の理解は進んできていると思いますか。（○は1つ）

1 進んできている	4 進んできていない
2 まあ進んできている	5 わからない
3 どちらともいえない	

**《 問 30 から問 33 はご家族等（お世話をしている方）の立場でお答えください 》**

問 30 障害や障害のある市民への理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

1 障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための啓発
2 障害のある人に対してのボランティア活動やボランティア人材育成への支援
3 障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進
4 学校における福祉教育の充実
5 障害に関する講演会や学習会の開催
6 障害のある人への福祉的な就労や生産活動の機会の提供
7 福祉施設の地域住民への開放や地域住民との交流会の促進
8 障害のある人の地域活動への参加機会の促進
9 その他（ ）
10 わからない

**最後に市の取組などについてお聞きします。**

問31 今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

- 1 事故や疾病による障害の発生を予防するとともに、障害を早期に発見し、早い段階での適切な対応（リハビリテーションや療育等）に努めること
- 2 障害に対する理解を深めてもらうための交流を推進すること
- 3 障害のある子どもたちの可能性を最大限に伸ばすような教育を進めること
- 4 障害のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること
- 5 ホームヘルパーの派遣など在宅生活支援サービスを充実させること
- 6 利用できる施設を増やすこと
- 7 障害者や高齢者にやさしい「福祉のまちづくり」を推進すること
- 8 障害のある人が住みやすい住居を確保・整備すること
- 9 文化、スポーツ、レクリエーション活動に参加できるよう支援すること
- 10 ボランティア活動を充実させること
- 11 障害者サービスや福祉に関する情報提供を充実させること
- 12 相談体制を充実させること
- 13 成年後見制度が利用しやすくなるように支援すること
- 14 家族等（お世話をしている方）の休息や負担軽減のため支援すること
- 15 その他（ ）
- 16 特になし

問32 お子さま、または家族等（お世話をしている方）は、今後も西東京市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

- |                 |            |
|-----------------|------------|
| 1 住み続けたい        | 3 住み続けたくない |
| 2 どちらかという住み続けたい |            |

次のページに続きます。

問33 最後に、この調査を通じて、選択肢や自由記述欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望、計画に盛り込みたいことなどがありませんでしたら、自由にお書きください。(自由記述)

ご協力ありがとうございました。  
同封の返信用封筒(切手不要)に入れて9月30日(土)までにご投函ください。

8 相談支援機関利用者調査票

★★★ あなたの声をお聞かせください ★★★

— 西東京市の障害者福祉に関する調査へのご協力をお願い —

日頃より、西東京市の健康福祉行政の推進に対しご理解ご協力をいただきまして、厚くお礼申し上げます。

現在、本市では平成 30 年度から始まる第 5 期障害福祉計画の策定を進めております。(現行の計画書は西東京市障害福祉課および情報公開コーナーで閲覧できます。また、西東京市ホームページでも公開しています。)

計画の策定にあたっては、障害のある方々の日常生活の状況やサービスの利用状況をきちんと把握し、ご意見、ご要望などをお伺いしながら策定を進めていくことが重要であると考え、このたびアンケート調査を実施することといたしました。

この調査は、市内の相談支援機関をご利用された方を対象としています。なお、調査は無記名であり、お答えいただいた内容につきましては、秘密の保護に万全を期すとともに、アンケート集計以外には使用しませんので、アンケートへのご協力をお願いいたします。

西東京市長 丸山 浩一

《ご記入にあたって》

- 1 ご記入について
  - ・ アンケートおよび返信用封筒には、お名前を書く必要はありません。
  - ・ お答えは、「1 つだけ」選んでいただくものと、「いくつでも」選んでいただくもの、また、自由にご記入いただくものがあります。
  - ・ 答えたくない質問については、無理に答える必要はありません。
  - ・ 平成 29 年 8 月 1 日現在の状況を記入してください。
- 2 アンケートの返信について
  - ・ ご記入いただきましたアンケートは、**8 月 21 日 (月) まで**に、同封の返信用封筒に入れ、西東京市役所障害福祉課へご返送いただきますようお願いいたします。
- 3 アンケートについてのお問い合わせ
 

西東京市役所 健康福祉部 障害福祉課 (保谷庁舎)

担当：飯島 (いいじま)

電話：042-464-1311 (代表) 内線 2341

042-438-4033 (直通)

※ この調査票は市内の相談支援機関をご利用された方にご協力をお願いしています。

問 1 どなたのご相談にいらっしやいましたか。(○は1つ)

- 1 ご自分のこと
- 2 ご家族 (お子さま、兄弟姉妹) などのこと
- 3 その他の方 (友人・知人) のこと
- 4 その他 ( )

問 2 この用紙 (調査票) に記入されるのはどなたですか。(○は1つ)

- 1 本人が記入、または、本人が答え代筆者が記入
- 2 家族 (本人の立場に立って記入)
- 3 その他の方 (本人の立場に立って記入)

質問は「対象の方」と記していますが、

ご本人がご相談にいらした場合は、ご自分のことについてお答えください。

ご家族やその他の方 (補助や支援をしている方) が、ご自分以外のご相談にいらした場合は、その方の状況などについてお答えください。

性別・年齢などについてお聞きします。

問 3 対象の方の性別をお答えください。(○は1つ)

- 1 男性
- 2 女性

問 4 対象の方の年齢 (8 月 1 日現在) を記入してください。

歳

問 5 次のうち、対象の方にあてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 身体障害者手帳を持っている
- 2 愛の手帳 (療育手帳) を持っている
- 3 精神障害者保健福祉手帳を持っている
- 4 国または東京都が指定する難病医療費等助成対象疾病を患っている
- 5 高次脳機能障害と診断されたことがある
- 6 訪問看護などの医療的ケアを受けている
- 7 1～6 に、あてはまるものはない
- 8 わからない・知らない

問6 対象の方は、これまでに「発達障害（自閉症、アスペルガー症候群、学習障害、注意欠陥多動性障害等）」と診断されたことがありますか。（○は1つ）

1 ある	2 ない	3 わからない
------	------	---------

→ 問9へおすすみください。

《 次の問7、問8は、発達障害と診断されたことがある場合にお聞きします。 》

→ 問7 日常生活を送る上でどのような支障がありますか。（自由記述）

→ 問8 上記のようなときに、どのような支援があるとよいと思えますか。（自由記述）

《 全員にお聞きします。 》

**日常生活で困っていることについてお聞きします。**

問9 対象の方が日常生活で困っていることはどのようなことですか。（○はいくつでも）

1 対象の方の状態に関すること	2 生活習慣に関すること（片付け、整理整頓、衛生など）
3 健康に関すること	4 生活するための金銭的なこと
5 保育園、幼稚園、学校に関すること	6 仕事に関すること（就職、復職など）
7 人間関係に関すること（家族、友人、知人、会社の同僚など）	8 日中の過ごし方について
9 家事のこと（食事、買い物、洗濯など）	10 その他（
11 困っていることは特にない	）

**外出や社会参加の状況についてお聞きします。**

問10 対象の方は、外出の際に困っていることはありますか。（○はいくつでも）

1 付き添ってくれる人がいない	2 他人との会話が難しい
3 他人の視線が気になる	4 必要ときに、まわりの人の手助け・配慮が足りない
5 電車やバスなどの交通機関が利用しづらい	6 その他（
7 特に困っていることはない	）

問11 対象の方は、この1年くらいの間に、次のような活動をしましたか。（○はいくつでも）

1 スポーツやレクリエーション
2 旅行
3 買い物
4 ボランティア活動
5 障害者団体の活動
6 趣味などのサークル活動
7 講座や講演会などへの参加
8 地域の行事やお祭り
9 選挙の投票
10 その他（
11 特に何もしてない

問12 対象の方は、これからのどのような活動をしたいと思えますか。（○はいくつでも）

1 スポーツやレクリエーション
2 旅行
3 買い物
4 ボランティア活動
5 障害者団体の活動
6 趣味などのサークル活動
7 講座や講演会などへの参加
8 地域の行事やお祭り
9 選挙の投票
10 その他（
11 特に活動したくない

問 13 対象の方が、問 12 のような活動をするために、どのような支援が必要だと思いま  
すか。(○はいくつでも)

- 1 活動についての情報が提供されること
- 2 一緒に行く仲間がいること
- 3 活動するための場所が近くにあること
- 4 移動支援など、外出のための手段が確保されていること
- 5 魅力的な内容であること
- 6 適切な指導者がいること
- 7 障害のある人に配慮した施設や設備があること
- 8 介助者・援助者がいること
- 9 その他 ( )
- 10 特にない

**日中の過ごし方についてお聞きします。**

問 14 対象の方は、平日(月曜日～金曜日)の日中を主にどのよう<sup>に</sup>過ごしていますか。  
(○は1つ)

- 1 幼稚園や保育園、学校などに通っている → 問 15 へおすすみください。
- 2 福祉施設、作業所などに通っている
- 3 病院などのデイケアに通っている
- 4 リハビリテーションを受けている
- 5 働いている
- 6 入所・入院している施設や病院などで過ごしている
- 7 自宅にすることが多い
- 8 その他 ( )

→ 2～8に○をつけた方は  
問 18 へおすすみ  
ください。

**幼稚園や保育園、学校のことなどについてお聞きします。**

《 次の問 15～問 17 は、対象の方が幼稚園や保育園、学校などに通っている人にお聞きします。》

問 15 対象の方が、通っているのは次のうちどれですか。(○は1つ)

- 1 幼稚園、保育園
- 2 小学校、中学校、高校 (通常の学級)
- 3 小学校、中学校 (通常の学級のほか通級指導学級または特別支援教室を利用)
- 4 小学校、中学校、高校 (固定制の特別支援学級)
- 5 小学校、中学校、高校 (特別支援学校)
- 6 大学、専門学校
- 7 その他 ( )

問 16 対象の方は、幼稚園・保育園、学校などに通っていて困っていることはありますか。  
(○はいくつでも)

- 1 通級まで通うのがたいへん
- 2 授業の内容がわからない、授業についていけない
- 3 支援体制が十分でない
- 4 先生の理解や配慮が足りない
- 5 まわりの児童・生徒たちの理解が得られない
- 6 友だちができない
- 7 放課後や長期休暇(夏休みなど)の際の居場所がない
- 8 その他 ( )
- 9 特に困っていることはない

問 17 対象の方やそのご家族(援助・支援をしている人など)が、学校教育に望むことは  
どのようなことですか。(○はいくつでも)

- 1 子どもの勉強や学校生活、将来のことについて、相談のつてほしい
- 2 子ども一人ひとりに合った教え方や指導をしてほしい
- 3 学校の設備や教科書、教材を使いやすくしてほしい
- 4 学校中の表示などを、誰でもわかりやすいものにしてほしい
- 5 その他 ( )
- 6 特に望むことはない

問 23 へおすすみください。

**雇用・就労などの状況についてお聞きします。**

問 18 現在、対象の方は収入を伴う仕事をしていますか。(○は1つ)  
 1 収入を伴う仕事をしている  
 2 収入を伴う仕事はしていない → 問 22へおすすみください。

**《 次の問 19～問 21 は、収入を伴う仕事をしている方にお聞きします。》**

問 19 対象の方の仕事の形態は次のうちどれですか。(○は1つ)  
 1 自営業 (家業の手伝いを含む)      4 内職  
 2 会社・団体等の正規の職員      5 授産施設、または福祉作業所  
 3 アルバイト、臨時、パート、嘱託等      6 その他 ( )

問 20 対象の方の1ヶ月当たりの平均的な給与・賃金・工賃はいくらですか。  
 1ヶ月当たりの給与・賃金・工賃 → 約  円

問 21 対象の方が、仕事をすることで困っていることは何ですか。(○はいくつでも)  
 1 給与・工賃などの収入が少くない  
 2 勤務時間、日数が多く体力的に不安  
 3 通勤が大変  
 4 業務内容が合わない  
 5 職場の人間関係  
 6 職場の設備が障害に対応していない  
 7 障害に対する職場の理解不足  
 8 職場外で相談相手がいない  
 9 その他 ( )  
 10 特に困っていることはない

**問 23へおすすみください。**

**《 次の問 22 は、収入を伴う仕事をしていない方にお聞きします。》**

問 22 対象の方が、仕事をしていない主な理由は何か。(○は1つ)  
 1 仕事をする必要がない (高齢だから、学生だから、専業主婦だから、などを含む)  
 2 現在、求職中である、または職業訓練中である  
 3 仕事をしたいとは思わない  
 4 仕事をしたいと思うが、できない  
 5 仕事を「したいか、したくないか」ではなく、「できない」  
 6 その他 ( )

**障害者施設、施策についてお聞きします。**

**《 全員にお聞きします。 》**

問 23 対象の方やそのご家族 (援助・支援をしている人など) は、西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。(○は1つ)  
 1 利用している (利用したことがある)  
 2 知っているが、利用したことはない  
 3 知らない

問 24 対象の方やそのご家族 (援助・支援をしている人など) は、西東京市にある次の施設を利用したことがありますか。また、知っていますか。

利用したことがあ る (または現在、 利用している)	利用している	知っているが、利 用したことはない	知らない
相談支援センター・えぼつく	1	2	3
障害者就労支援センター・一歩	1	2	3
地域活動支援センター・ハーモニー	1	2	3
保谷障害者福祉センター	1	2	3
地域活動支援センター・ブルーム	1	2	3

問 25 対象の方やそのご家族 (援助・支援をしている人など) は、次の講座や事業等を知っていますか。(○はいくつでも)

1 サポーター養成講座	障害のある人へのちよっとしたお手伝いができるよ う、市民サポーターを養成しています。障害者サポー ターであることを示す「バンダナ」や「キーホルダー」 を携帯しています。
2 ヘルプカード	障害のある人が携帯して、手助けが必要なときに周囲 の人に示すカードです。
3 スポーツ支援事業	市スポーツセンターで、障害者スポーツ指導員や補助 員がついて、スポーツレクリエーション活動を行って います。
4 障害者水泳教室	水慣れから始め、水中での感覚などの体感を指す水 泳教室を、市スポーツセンターで行っています。
5 1～4の講座や事業等は知らない	

**相談や情報入手についてお聞きします。**

問 26 対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親せき以外に、どのようなところに相談していますか。（〇はいくつでも）

1 市役所の福祉相談窓口	11 生活保護の担当職員
2 相談支援センター・えぼっく	12 福祉施設や作業所の職員
3 障害者就労支援センター・一歩	13 幼稚園・保育園・学校の先生や 職場の仲間
4 地域活動支援センター・ハーモニー	14 社会福祉協議会の職員
5 保谷障害者福祉センター	15 障害者団体
6 地域活動支援センター・ブルーム	16 友人・知人
7 病院・診療所	17 その他（ ）
8 児童相談所	18 誰かに相談することはまれである
9 保健師	19 相談できるところは特になし
10 民生委員・児童委員	

問 27 対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。（〇はいくつでも）

1 障害者のしおり（市が作成した冊子）
2 市の広報紙（広報テープを含む）
3 都の広報紙（広報テープを含む）
4 市のホームページ
5 都のホームページ
6 テレビ、ラジオ、新聞
7 障害者団体
8 学校、職場、施設
9 病院、診療所
10 図書館の障害者向けサービス
11 民生委員・児童委員
12 家族、親せき
13 友だち、知り合い
14 その他（ ）
15 わからず

**福祉サービスのことについてお聞きします。**

問 28 対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、次のような障害福祉サービスがあることを知っていますか。（〇はいくつでも）

1 訪問系サービス	ヘルパーがホームヘルプや外出時の援助を行うサービスで、居宅介護（ホームヘルプ）、重度訪問介護、同行援護、行動援護、重度障害者等包括支援があります。 常に介護が必要な方に、施設で入浴や排せつ、食事の介助や創作的活動などの機会を提供するサービスです。
2 生活介護	
3 自立訓練（機能訓練、生活訓練）	自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定期間における身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を行うサービスです。
4 就労移行支援	通常の事業所で働きたい方に、一定の期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために訓練を行うサービスです。
5 就労継続支援（A型、B型）	通常の事業所で働くことが困難な方に、就労の機会の提供や生活活動その他の活動の機会の提供、知識や能力の向上のための訓練を行うサービスです。
6 療養介護	医療が必要な方で、常に介護を必要とする方に、主に昼間病院等において機能訓練、療養上の管理、看護などを提供するサービスです。
7 短期入所（ショートステイ）	在宅の障害者（児）を介護する方が病気の場合などに、障害者（児）が施設に短期間入所し入浴、排せつ、食事などの介助を行うサービスです。
8 共同生活援助（グループホーム）	夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行うサービスです。
9 施設入所支援	主として夜間、施設に入所する障害者（児）に対し、入浴、排せつ、食事の介護などの支援を行うサービスです。
10 相談支援	福祉に関する問題や介護者からの相談に応じて、必要な情報の提供や助言などを行うサービスです。
11 児童発達支援	日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援を行うサービスです。医療を伴う医療型児童発達支援もあります。
12 放課後等デイサービス	学校の授業終了後や学校の休校日に、児童発達支援センター等の施設に通い生活能力向上のために必要な訓練や、社会との交流の促進などの支援を行うサービスです。
13 保育所等訪問支援	保育所等を訪問し、障害児に対して、障害児以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援などを行うサービスです。
14 1～13のようなサービスは知らない	

**災害対策についてお聞きします。**

問 29 対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人）は、お住まいの地域の避難所を知っていますか。（○は1つ）

- 1 知っている …… 2 知らない

問 30 対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、災害時要援護者登録を知っていますか。（○は1つ）

- 1 知らない  
2 知っているが登録していない  
3 登録している  
4 その他（ ）

問 31 対象の方は、地震や台風などの災害時にひとりで避難できますか。（○は1つ）

- 1 できる …… 2 できない …… 3 わからない

問 32 地震や台風などの災害が起こった際に、対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）の不安は何ですか。（○はいくつでも）

- 1 災害の状況が伝わってこない場合の不安  
2 避難する際の不安  
3 避難先の不安  
4 その他（ ）  
5 特にない  
6 わからない

問 33 対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）として、災害に備えて、または災害時に、どのような対策が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

- 1 避難しやすい避難所を整備する  
2 避難訓練などに参加できるようにする  
3 日頃から避難方法のアドバイスや情報提供を行う  
4 緊急通報システムを整備する  
5 地域で助け合える体制を整備する  
6 その他（ ）  
7 特にない

**将来の希望などについてお聞きします。**

問 34 対象の方は、今後、どのように日中を過ごしたいと思いますか。※対象の方が未成年のお子さまの場合おおむね、高等学校卒業後のことを考えてお答えください。（○はいくつでも）

- 1 大学、専門学校などに通いたい  
2 会社などで働きたい  
3 会社で働けるように、職場さがしや訓練などの支援を受けたい  
4 日常生活の訓練やリハビリテーションを受けたい  
5 お家でんびり過ごしたい  
6 その他（ ）  
7 わからない

問 35 対象の方は、将来、どのように暮らしたいと思いますか。※対象の方が未成年のお子さまの場合、成人後とお考えください。（○は1つ）

- 1 親など家族から独立してひとり暮らしをしたい  
2 今のまま家族と一緒によしよし生活したい  
3 結婚して新しい家族を作り、その家族と一緒によしよし生活したい  
4 グループホームなどを利用したい  
5 施設に入所して生活したい  
6 その他（ ）



**最後に市の取組などについてお聞きします。**

問 42 対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。（〇はいくつでも）

- |    |   |
|----|---|
| 1  | 事故や疾病による障害の発生を予防するとともに、障害を早期に発見し、早い段階での適切な対応（リハビリテーションや療育等）に努めること |
| 2  | 障害に対する理解を深めてもらうための交流を推進すること                                       |
| 3  | 障害のある子どもたちの可能性を最大限に伸ばすような教育を進めること                                 |
| 4  | 障害のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること  |
| 5  | ホームヘルパーの派遣など在宅生活支援サービスの充実させること                                    |
| 6  | 利用できる施設を増やすこと   |
| 7  | 障害者や高齢者にやさしい「福祉のまちづくり」を推進すること                                     |
| 8  | 障害のある人が住みやすい住居を確保・整備すること  |
| 9  | 文化、スポーツ、レクリエーション活動に参加できるよう支援すること                                  |
| 10 | 家族などの介護者の休息や負担軽減を支援すること   |
| 11 | ボランティア活動を充実させること  |
| 12 | 障害者サービスや福祉に関する情報提供を充実させること  |
| 13 | 相談体制を充実させること  |
| 14 | 成年後見制度が利用しやすくなるように支援すること  |
| 15 | その他（  |
| 16 | 特になし  |

問 43 対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、約5年前（平成24年）と比べて、障害者のサービスはどのようなように変わりましたか。（〇は1つ）

- |   |       |   |       |   |       |
|---|-------|---|-------|---|-------|
| 1 | 良くなった | 2 | 変わらない | 3 | 悪くなった |
|---|-------|---|-------|---|-------|

問 44 そのようにお答えになったのは、どのような理由からですか。（自由記述）

次ページへ続きます。

問 45 対象の方やそのご家族（援助・支援をしている人など）は、今後も西東京市に住み続けたいと思いますか。（〇は1つ）

- |   |                |   |                |
|---|----------------|---|----------------|
| 1 | 住み続けたい         | 3 | どちらかというに住み続けたい |
| 2 | どちらかというに住み続けたい | 4 | 住み続けたくない       |

問 46 最後に、この調査を通じて、選択肢や自由記述欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、自由にお書きください。（自由記述）

ご協力ありがとうございました。  
同封の返信用封筒に入れて8月21日（月）までにご投函ください。

---

平成 29 年度実施 西東京市の障害者福祉に関する調査報告書  
平成 30 年 3 月

西東京市健康福祉部障害福祉課  
〒202-8555 東京都西東京市中町一丁目 5 番 1 号（保谷庁舎 1 階）  
電話 042-464-1311（代表）

---